

QIP

Quality Indicator/Improvement Project

医療の質の指標

指標定義書

プロセス指標：

ガイドラインに沿った処方率、処置・リハビリ実施率など

アウトカム指標：

疾患別リスク調整死亡率、イベント発生率など

領域：

脳神経、呼吸器、循環器、消化器、整形、乳腺、糖尿病、産婦人科、小児、精神、感染症、診療マネジメント

ご意見・ご質問等はQIP事務局までお知らせください
TEL : 075-753-4454 E-mail: qip-office@umin.ac.jp

2019年7月29日出力データに対応する定義一覧です。

最新の定義は <http://qi.med.kyoto-u.ac.jp/> をご参照ください。

名称: 脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合

指標番号:

QIP: 2004

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合

意義: 脳卒中後のリハビリは、機能の早期回復と低下抑制につながる。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例

分子: 分母のうち、脳血管リハビリテーション治療を受けた症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。
- 3 :
このうち、脳梗塞のため入院した症例。
入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして「I63\$」（脳梗塞）が含まれる症例
- 4 :
7日以内の死亡退院症例を除外する（入院日を1として、退院日が7日目以内でかつ退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。）
- 5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :
脳血管疾患等リハビリテーションを受けた症例
レセ電コードに以下のいずれかが含まれる症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）					○
180032410	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（廃用症候群）	○	○	○		
180027710	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180027710	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）					○
180032510	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（廃用症候群）	○	○	○		
180030810	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180030810	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）					○
180032610	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（廃用症候群）	○	○	○		
180033910	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○	
180033910	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・入院外）					○
180034010	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・廃用症候群）		○	○		

180034110 ICDコード	脳血管疾患等リハビリテーション料(2)(要介護・廃用症候群以外) 診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
180034110	脳血管疾患等リハビリテーション料(2)(要介護・入院外)					○
180034210	脳血管疾患等リハビリテーション料(2)(要介護・廃用症候群)		○	○		
180034310	脳血管疾患等リハビリテーション料(3)(要介護・廃用症候群以外)		○	○	○	
180034310	脳血管疾患等リハビリテーション料(3)(要介護・入院外)					○
180034410	脳血管疾患等リハビリテーション料(3)(要介護・廃用症候群)		○	○		
180043430	脳血管疾患等リハビリテーション料1(要介・廃用症以外)基準不適合			○	○	
180043430	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(要介護)基準不適合					○
180043530	脳血管疾患等リハビリテーション料1(要介・廃用症)基準不適合			○		
180043630	脳血管疾患等リハビリテーション料2(要介・廃用症以外)基準不適合			○	○	
180043630	脳血管疾患等リハビリテーション料(2)(要介護)基準不適合					○
180043730	脳血管疾患等リハビリテーション料2(要介・廃用症)基準不適合			○		
180043830	脳血管疾患等リハビリテーション料3(要介・廃用症以外)基準不適合			○	○	
180043830	脳血管疾患等リハビリテーション料(3)(要介護)基準不適合					○
180043930	脳血管疾患等リハビリテーション料3(要介・廃用症)基準不適合			○		
180044310	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(要介護・入院)				○	
180044410	脳血管疾患等リハビリテーション料(2)(要介護・入院)				○	
180044510	脳血管疾患等リハビリテーション料(3)(要介護・入院)				○	

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

2:
2018年計測時より定義を変更し、除外条件の死亡退院を7日以内の死亡退院に変更

参考値:

1:
QIPの過去の指標では60%前後。

参考資料:

1:
American Heart Association. Heart disease and stroke statistics - 2008 update. Dallas (TX): American Heart Association; 2008. 43 p.

2:
脳卒中治療ガイドライン2009および2015 (VII リハビリテーション)

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合

指標番号:

QIP: 2005

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合

意義: 脳卒中の診断後、できるだけ早期にリハビリを開始することが、機能の早期回復と低下抑制につながる。

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例

分子: 分母のうち、入院後早期（3日以内）に脳血管リハビリテーション治療を受けた症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1:
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2:
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。
- 3:
このうち、脳梗塞のため入院した症例。
入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして「I63\$」（脳梗塞）が含まれる症例
- 4:
このうち、脳卒中の発症時期が3日以内の症例
2010年度～2011年度 脳卒中の発症時期に入力された日付が、入院日より3日以内
例: 2010年9月10日発症 2010年9月13日入院 →4日目入院であり含めない
2012年度～ 脳卒中の発症時期「1（発症3日以内）」
- 5:
このうち、7日以内の死亡退院症例を除外する（入院日を1として、退院日が7日目以内でかつ退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。）
- 6:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1:
入院後3日以内に脳血管疾患等リハビリテーションを受けた症例
入院日後3日以内（入院日を1とする）に、レセ電コードに以下のいずれかが含まれる症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）					○
180032410	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（廃用症候群）	○	○	○		
180027710	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180027710	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）					○
180032510	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（廃用症候群）	○	○	○		
180030810	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180030810	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）					○
180032610	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（廃用症候群）	○	○	○		

ICDコード	診療科目等	2010	2012	2014	2016	2018
180033910	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・廃用症候群以外）					○
180034010	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・廃用症候群）		○	○		
180034110	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○	
180034110	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・入院外）					○
180034210	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・廃用症候群）		○	○		
180034310	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○	
180034310	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・入院外）					○
180034410	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・廃用症候群）		○	○		
180043430	脳血管疾患等リハビリテーション料1（要介・廃用症以外）基準不適合			○	○	
180043430	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護）基準不適合					○
180043530	脳血管疾患等リハビリテーション料1（要介・廃用症）基準不適合			○		
180043630	脳血管疾患等リハビリテーション料2（要介・廃用症以外）基準不適合			○	○	
180043630	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護）基準不適合					○
180043730	脳血管疾患等リハビリテーション料2（要介・廃用症）基準不適合			○		
180043830	脳血管疾患等リハビリテーション料3（要介・廃用症以外）基準不適合			○	○	
180043830	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護）基準不適合					○
180043930	脳血管疾患等リハビリテーション料3（要介・廃用症）基準不適合			○		
180044310	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・入院）				○	
180044410	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・入院）				○	
180044510	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・入院）				○	

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

2 :
2018年計測時より定義を変更し、除外条件の死亡退院を7日以内の死亡退院に変更

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では80%前後。

参考資料:

1 :
American Heart Association. Heart disease and stroke statistics - 2008 update. Dallas (TX): American Heart Association; 2008. 43 p.

2 :
脳卒中治療ガイドライン2009および2015（VII リハビリテーション）

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: [測定終了]脳卒中の診断で入院し、リハビリ治療のための評価を受けた症例の割合

指標番号:

QIP: 0548

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 脳卒中

名称: [測定終了]脳卒中の診断で入院し、リハビリ治療のための評価を受けた症例の割合

意義: 脳卒中の診断後、できるだけ早期にリハビリを開始することが、機能の早期回復と低下抑制につながる。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の脳卒中（虚血性/出血性）の診断で入院した症例

分子: 分母のうち、リハビリ治療を受けたか、その是非の評価を受けた症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、脳卒中のため入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、以下のICD-10コードのいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
I60\$	くも膜下出血
I61\$	脳内出血
I629	頭蓋内出血（非外傷性）、詳細不明
I63\$	脳梗塞
I64\$	脳卒中、脳出血または脳梗塞と明示されないもの
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群

4:

このうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

脳血管疾患等リハビリテーションまたはリハビリテーション総合計画評価を受けた症例。レセ電コードに以下のいずれかが含まれる症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016
180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（廃用症候群以外）	○	○	○	○
180032410	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（廃用症候群）	○	○	○	○
180027710	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（廃用症候群以外）	○	○	○	○
180032510	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（廃用症候群）	○	○	○	
180030810	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（廃用症候群以外）	○	○	○	○

180032610 ICDコード	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（廃用症候群） 診療行為名	2010	2012	2014	2016
180033910	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○
180034010	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・廃用症候群）		○	○	
180034110	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○
180034210	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・廃用症候群）		○	○	
180034310	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○
180034410	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・廃用症候群）		○	○	
180043430	脳血管疾患等リハビリテーション料1（要介・廃用症以外）基準不適合			○	○
180043530	脳血管疾患等リハビリテーション料1（要介・廃用症）基準不適合			○	
180043630	脳血管疾患等リハビリテーション料2（要介・廃用症以外）基準不適合			○	○
180043730	脳血管疾患等リハビリテーション料2（要介・廃用症）基準不適合			○	
180043830	脳血管疾患等リハビリテーション料3（要介・廃用症以外）基準不適合			○	○
180043930	脳血管疾患等リハビリテーション料3（要介・廃用症）基準不適合			○	
180024710	リハビリテーション総合計画評価料	○	○	○	○
180044310	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・入院）				○
180044410	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・入院）				○
180044510	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・入院）				○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
リハビリをしない医学的理由の情報が得られる場合は、その症例を分母から除外する。

参考値:

参考資料:

1:
American Heart Association. Heart disease and stroke statistics - 2008 update. Dallas (TX): American Heart Association; 2008. 43 p.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 脳梗塞 (TIA含む) の診断で入院し、入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法 (ワルファリン、ヘパリンを除く) を受けた症例の割合

指標番号:

QIP: 0549

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞 (TIA含む) の診断で入院し、入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法 (ワルファリン、ヘパリンを除く) を受けた症例の割合

意義: 脳梗塞の治療に際して急性期に抗血小板療法もしくは抗凝固療法を開始することが勧められる。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の脳梗塞かTIAの診断で入院した症例

分子: 分母のうち、入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法 (ワルファリン、ヘパリンを除く) を受けた症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、脳梗塞かTIAの診断で入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
I63\$	脳梗塞
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群

4:

このうち、脳卒中の発症時期が3日以内の症例。2010年度~2011年度 脳卒中の発症時期に入力された日付が、入院日より3日以内。

例: 2010年9月10日発症 2010年9月13日入院 → 4日目入院であり含めない。2012年度~ 脳卒中の発症時期「1 (発症3日以内)」

5:

このうち、t-PA治療を受けた症例を除外する。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コードに対応するレセ電コードが含まれる症例。

分母のデータ5

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
3959402	アルテプラゼ	○	○	○	○	○

6:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

1. 抗血小板療法もしくは抗凝固療法 (ワルファリン、ヘパリンを除く) を入院から2日目までに施行された症例 (入院日を第1日目とする)。

E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コードに対応するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1143001	アスピリン	○	○	○	○	○

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1143700	アスピリン	○	○			
2190408	アルガトロパン水和物	○	○	○	○	○
3399007	アスピリン	○	○	○	○	○
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン		○	○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○	○
3999411	オザグレルナトリウム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

アルテプラゼ投与後24時間以内に、抗凝固薬、抗血小板薬もしくは血栓溶解薬を投与した場合の安全性と有効性は確立していない (rt-PA (アルテプラゼ) 静注療法 適正治療指針 第二版) ため、分母から除外している
ガイドラインでは、抗凝固薬としてのヘパリンの使用はグレードC1で考慮してもよいという推奨にとどまっているため分子から除外している: 脳卒中治療ガイドライン2009および2015

抗凝固薬としてのワルファリンは、心原性脳梗塞に適応であり、また効果の発現まで時間を要するため分子から除外している
このほか抗血小板療法をしない医学的理由の情報が得られる場合は、その症例を分母から除外するのが望ましい

参考値:

参考資料:

1:

薬剤成分名は、以下を参照

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>

Anticoagulants and antiplatelet agents in acute ischemic stroke: report of the Joint Stroke Guideline Development Committee of the American Academy of Neurology and the American Stroke Association (a division of the American Heart Association).

Guidelines for the early management of adults with ischemic stroke. A guideline from the American Heart Association/American Stroke Association Stroke Council, Clinical Cardiology Council, Cardiovascular Radiology and Intervention Council, and the Atherosclerotic Peripheral Vascular Disease and Quality of Care Outcomes in Research Interdisciplinary Working Groups.

Guidelines for prevention of stroke in patients with ischemic stroke or transient ischemic attack.

Update to the AHA/ASA recommendations for the prevention of stroke in patients with stroke and transient ischemic attack.

2:

脳卒中治療ガイドライン2009および2015 (1-4. 急性期抗血小板療法)

3:

脳卒中ガイドライン2015. p58. 1-2, p64. 1-4

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 脳梗塞 (TIA含む) の診断で入院し、退院時に抗血小板薬を処方された症例

指標番号:

QIP: 0837

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞 (TIA含む) の診断で入院し、退院時に抗血小板薬を処方された症例

意義: 脳梗塞の3次予防に抗血小板薬は有効である。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の脳梗塞かTIAの診断で入院した症例

分子: 分母のうち、退院時に抗血小板薬を処方された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、在院日数が12日以下の症例

4:

このうち、脳梗塞かTIAの診断で入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ4

ICD-10コード	病名
I63\$	脳梗塞
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群

5:

このうち、退院時に抗凝固薬を処方された症例を除外する。Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

退院時処方判定:

2010年度~2015年度:FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」

2016年度~:EF-17・F-19 行為明細区分情報(12桁の数値)の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分母のデータ5

薬価基準コード上7ケタ	薬剤名	2010	2012	2014	2016	2018
3332001	ワルファリンカリウム	○	○	○	○	○
3339001	ダビガトランエテキシラート	○	○	○	○	○
3339002	エドキサバントシル酸		○	○	○	○
3339003	リバーロキサパン		○	○	○	○
3339004	アピキサパン		○	○	○	○

6:

このうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。

7:

このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度~2013年度 退院先「0 不明、4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

8 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
抗血小板薬を退院時に処方された症例。
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。
退院時処方の判定:

2010年度～2015年度：FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」
2016年度～：EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード上7ケタ	薬剤名	2010	2012	2014	2016	2018
1143001	アスピリン	○	○	○	○	○
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
1143700	アスピリン	○	○	○	○	○
3399001	チクロピジン	○	○	○	○	○
3399002	シロスタゾール	○	○	○	○	○
3399007	アスピリン	○	○	○	○	○
3399008	クロピドグレル	○	○	○	○	○
3399011	チカグレロル				○	○
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン			○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
非心原性脳梗塞の再発予防には、抗凝固薬よりも抗血小板薬の投与が（2015年ガイドラインでは強く）推奨される（グレードA）：脳卒中治療ガイドライン2009、2015
非心原性TIAの脳梗塞発症予防には抗血小板療法が推奨される（グレードA）：脳卒中治療ガイドライン2009
TIA急性期以降の治療は、脳梗塞の再発予防に準じて行う：脳卒中治療ガイドライン2015
抗血小板薬を投与しない医学的理由の情報が得られる場合は、その症例を分母から除外することが望ましい

参考値:

参考資料:

1 :
Albers GW, et al. Antithrombotic and thrombolytic therapy for ischemic stroke. Chest 2001 Jan;119(1 Suppl):300S-20S.American Academy of Neurology, American College of Radiology, Physician Consortium for Performance Improvement®, National Committee for Quality Assurance. Stroke and stroke rehabilitation physician performance measurement set. Chicago (IL): American Medical Association (AMA), National Committee for Quality Assurance (NCQA); 2009 Feb. 20 p.Sacco RL, et al. Guidelines for prevention of stroke in patients with ischemic stroke or transient ischemic attack: a statement for healthcare professionals from the American Heart Association/American Stroke Association Council on Stroke [trunc]. Stroke 2006 Feb;37(2):577-617.Anticoagulants and antiplatelet agents in acute ischemic stroke: report of the Joint Stroke Guideline Development Committee of the American Academy of Neurology and the American Stroke Association (a division of the American Heart Association).Guidelines for the early management of adults with ischemic stroke. A guideline from the American Heart Association/American Stroke Association Stroke Council, Clinical Cardiology Council, Cardiovascular Radiology and Intervention Council, and the Atherosclerotic Peripheral Vascular Disease and Quality of Care Outcomes in Research Interdisciplinary Working Groups.Guidelines for prevention of stroke in patients with ischemic stroke or transient ischemic attack.Update to the AHA/ASA recommendations for the prevention of stroke in patients with stroke and transient ischemic attack.

2 :
脳卒中治療ガイドライン2009および2015 （1-4. 急性期抗血小板療法）

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、入院中に未分画ヘパリンを投与されなかった症例の割合

指標番号:

QIP: 0842

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-09

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、入院中に未分画ヘパリンを投与されなかった症例の割合

意義: 脳梗塞の治療に際して未分画ヘパリンの静脈投与は原則として勧められない。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の脳梗塞かTIAの診断で入院した症例

分子: 分母のうち、未分画ヘパリンを投与されなかった症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、脳梗塞かTIAの診断で入院した症例。

入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
I63\$	脳梗塞
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群

4:

このうち、頸動脈内膜剥離術（CEA）かステント留置術（CAS）を受けた症例を除外する。

手術情報の点数コードのいずれか（5フィールド）に以下のいずれかが含まれる症例

※1:区分K609枝0項2。 ※2:区分K609枝2項0。

分母のデータ4

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K6092※1	動脈血栓内膜摘出術	○	○	○	○	○
K609-2※2	経皮的頸動脈ステント留置術	○	○	○	○	○

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

未分画ヘパリンを入院中に投与されなかった症例。

E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コードに対応するレセ電コードが含まれなかった症例。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
3334400	ヘパリンカルシウム	○	○	○	○	○
3334401	ヘパリンナトリウム	○	○	○	○	○
3334402	ヘパリンナトリウム	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
-----------	-----	------	------	------	------	------

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

未分画ヘパリンを投与する医学的理由の情報が得られる場合は、その症例を分母から除外する。

参考値:

参考資料:

1:

American Academy of Neurology, American College of Radiology, Physician Consortium for Performance Improvement®, National Committee for Quality Assurance. Stroke and stroke rehabilitation physician performance measurement set. Chicago (IL): American Medical Association (AMA), National Committee for Quality Assurance (NCQA); 2009 Feb. 20 p.

Coull BM, et al. Anticoagulants and antiplatelet agents in acute ischemic stroke: report of the Joint Stroke Guideline Development Committee of the American Academy of Neurology and the American Stroke Association (a division of the American Heart Association). Neurology 2002 Jul 9;59(1):13-22.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-09

名称: 心房細動を合併する脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、退院時に抗凝固薬を処方された症例

指標番号:

QIP: 0841

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 脳卒中

名称: 心房細動を合併する脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、退院時に抗凝固薬を処方された症例

意義: 心房細動を合併する脳梗塞の3次予防に抗凝固薬は有効である。

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の脳梗塞かTIAの診断で入院し、かつ心房細動と診断を受けた入院症例

分子: 分母のうち、退院時に抗凝固薬を処方された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、在院日数が120日以下の症例

4:

このうち、脳梗塞かTIAの診断で入院した症例

入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ4

ICD-10コード	病名
I63\$	脳梗塞
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群

5:

このうち、心房細動の診断を受けた症例。

いずれかの病名のICD-10コードとして以下が含まれる症例

分母のデータ5

ICD-10コード	病名
I48\$	心房細動及び粗動

6:

このうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。

7:

このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「0 不明、4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

8:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義:

1:

抗凝固薬を退院時に処方された症例。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

退院時処方の判定:

2010年度～2015年度：FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」
2016年度～：EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード	薬剤名	2010	2012	2014	2016	2018
3332001	ワルファリンカリウム	○	○	○	○	○
3339001	ダビガトランエテキシラート	○	○	○	○	○
3339003	リバーロキサパン		○	○	○	○
3339004	アピキサパン		○	○	○	○
3339002	エドキサバントシル酸塩水和物	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
抗凝固薬を投与しない医学的理由の情報が得られる場合は、その症例を分母から除外する。
本指標には、ICD-10コードI48\$による心房粗動が含まれる（約4%）が、心房粗動に対する抗凝固薬は心房細動と同じ適応のため除外していない。
2015年版ガイドラインより、抗凝固薬としての推奨にワーファリン以外が追加された。

参考値:

参考資料:

1:
Albers GW, Amarenco P, Easton JD, Sacco RL, Teal P. Antithrombotic and thrombolytic therapy for ischemic stroke. Chest 2001 Jan;119(1 Suppl):300S-20S.
American Academy of Neurology, American College of Radiology, Physician Consortium for Performance Improvement®, National Committee for Quality Assurance. Stroke and stroke rehabilitation physician performance measurement set. Chicago (IL): American Medical Association (AMA); 2010 Sep. 26 p.
American College of Cardiology, American Heart Association, European Society of Cardiology. ACC/AHA/ESC guidelines for the management of patients with atrial fibrillation. J Am Coll Cardiol 2001 Oct;38:1266i-1xx.
Sacco RL, Adams R, Albers G, Alberts MJ, Benavente O, Furie K, Goldstein LB, Gorelick P, Halperin J, Harbaugh R, Johnston SC, Katzan I, Kelly-Hayes M, Kenton EJ, Marks M, Schwamm LH, Tomsick T. Guidelines for prevention of stroke in patients with ischemic stroke or transient ischemic attack: a statement for healthcare professionals from the American Heart Association/American Stroke Association Council on Stroke [trunc]. Stroke 2006 Feb;37(2):577-617.

2:
脳卒中治療ガイドライン（2009年版4-1（6）および2015年版3-1（6） 脳梗塞慢性期 心房細動）

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 脳梗塞患者の退院時スタチン処方割合

指標番号:

QIP: 2081

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞患者の退院時スタチン処方割合

意義: 退院後の再発予防内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 脳梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、退院時にスタチンが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 : 解析期間に退院した症例を対象とする。
- 2 : このうち、脳梗塞の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名と主傷病名の ICD-10 コードがともに下記である症例。疑い病名は含めない。

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I63\$	脳梗塞

- 3 : このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。

- 4 : このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

- 5 : このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「● 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

- 6 : 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1 : スタチンが処方されている症例。
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。
退院時処方判定:

2010年度～2015年度 : FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」
2016年度～ : EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2189010	プラバスタチンナトリウム	○	○	○	○	○

2189011 薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2189012	フルバスタチンナトリウム	○	○	○	○	○
2189015	アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2189016	ピタバスタチンカルシウム	○	○	○	○	○
2189017	ロスバスタチンカルシウム	○	○	○	○	○
2189101	エゼチミブ・アトルバスタチンカルシウム水和物					○
2190101	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190102	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190103	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190104	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

参考資料:

1:
脳卒中治療ガイドライン（2009年版4-1（3）および2015年版3-1（3） 脳梗塞慢性期 脂質異常症）

2:
脳卒中ガイドライン2015. p92. 3-1

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 脳外科および脳卒中症例の深部静脈血栓症の発症率

指標番号:

QIP: 2085

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-22

指標群: 脳卒中

名称: 脳外科および脳卒中症例の深部静脈血栓症の発症率

意義: 入院患者のモニタリング

必要データセット: DPC様式1 Dファイル

定義の要約:

分母: 脳外科・脳卒中症例

分子: 深部静脈血栓症の発症症例 (QI番号 271のコードと同じものを利用)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、脳外科および脳卒中のため入院した症例

DPCコードを用いる。診断群分類が、表に当てはまりかつ、DCPの9, 10桁目が「99」ではない症例

分母のデータ3

DPC上6ケタ	診断群分類
10010	脳腫瘍
10020	くも膜下出血、破裂脳動脈瘤
10030	未破裂脳動脈瘤
10040	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）
10050	非外傷性硬膜下血腫
10060	脳梗塞
10069	脳卒中の続発症
10070	脳血管障害（その他）

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義:

1:

入院後、部静脈血栓症と診断された症例。入院後発症病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分子のデータ1

ICD-10コード	病名
I26\$	肺塞栓症
I801	大腿静脈の静脈炎及び血栓(性)静脈炎
I802	下肢のその他の深在血管の静脈炎及び血栓(性)静脈炎
I809	部位不明の静脈炎及び血栓(性)静脈炎
I82\$	その他の静脈の塞栓症及び血栓症

ICD-10コード	病名
-----------	----

薬剤一覧の出方: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

一般に、軽症の場合の深部静脈血栓症について病名の登録率は低いと考えられる

2:

Dファイルのない場合の結果は参考値（QIPでは疑似的にDPCコードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-22

名称: 急性期脳梗塞におけるリスク調整院内死亡率 (マルチレベルモデル)

指標番号:

QIP: 4001_m

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2019-04-24

指標群: 脳卒中

名称: 急性期脳梗塞におけるリスク調整院内死亡率 (マルチレベルモデル)

意義: 治療成績

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 脳梗塞(下記定義参照)で入院した18歳以上の症例数

分子: 分母のうち、死亡退院症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた18歳以上の症例。

3:

このうち、脳梗塞の症例。

入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、「疑」が含まれずかつICD-10コードとしてI63\$ (脳梗塞) が含まれる症例

4:

このうち、脳梗塞の発症が3日以内の入院を対象とする

2011年度改定まで 脳梗塞発症時期の年月日と入院年月日より計算

2012年度改定以降、「1」のフラグで判定

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母のうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」あるいは「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」である症例数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

1:

性別

2:

年齢 入院時年齢: 18-64、65-74、75-84、85>の4段階に分ける

3:

JCS 大項目で「0」、「I」、「II」、「III」の4段階に分ける

指標の算出方法(説明): 分母に相当する各症例の死亡退院の有無を患者レベル変数および施設レベルで予測するマルチレベルロジスティック回帰モデルを作成する。マルチレベルモデル分析における各病院のモデルにおけるランダム切片 (の指数) を求め、全病院例平均死亡率と掛け合わせてリスク調整死亡率を得る。

指標の算出方法(単位): なし

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

出血性脳梗塞、血栓塞栓性脳梗塞（心原性も含む）を含む。

2 :

入院時（常用薬）に抗凝固薬や抗血小板薬の内服の有無がリスク因子になる可能性があるが、DPCデータでは同定できない。

参考値:

1 :

米国の集計では5.51%(参考資料2)（院内死亡）

参考資料:

1 :

Tanne D, Yaari S, Goldbourt U. Risk profile and prediction of long-term ischemic stroke mortality: a 21-year follow-up in the Israeli Ischemic Heart Disease (IIHD) Project. *Circulation*. 1998 Oct 6;98(14):1365-71.

2 :

Smith EE, Shobha N, Dai D, Olson DM, Reeves MJ, Saver JL, Hernandez AF, Peterson ED, Fonarow GC, Schwamm LH. Risk score for in-hospital ischemic stroke mortality derived and validated within the Get With the Guidelines-Stroke Program. *Circulation*. 2010 Oct 12;122(15):1496-504.

3 :

AHRQ quality indicators. Guide to inpatient quality indicators: quality of care in hospitals - volume, mortality, and utilization [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 91 p.

4 :

AHRQ quality indicators. Inpatient quality indicators: technical specifications [version 4.2]. IQI #17 acute stroke mortality rate. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 1 p.

5 :

脳卒中治療ガイドライン2009.日本脳卒中合同ガイドライン委員会. <http://www.jsts.gr.jp/jss08.html>

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-04-24

名称: 急性期脳梗塞におけるリスク調整院内死亡率

指標番号:

QIP: 4001

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-25

指標群: 脳卒中

名称: 急性期脳梗塞におけるリスク調整院内死亡率

意義: 治療成績

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 脳梗塞(下記定義参照)で入院した18歳以上の症例数

分子: 分母のうち、死亡退院症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1:
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2:
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた18歳以上の症例。
- 3:
このうち、脳梗塞の症例。
入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、「疑」が含まれずかつICD-10コードとしてI63\$（脳梗塞）が含まれる症例
- 4:
このうち、脳梗塞の発症が3日以内の入院を対象とする
2011年度改定まで 脳梗塞発症時期の年月日と入院年月日より計算
2012年度改定以降、「1」のフラグで判定
- 5:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義:

- 1:
分母のうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」あるいは「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」である症例数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

- 1:
性別
- 2:
年齢 入院時年齢: 18-64、65-74、75-84、85>の4段階に分ける
- 3:
JCS 大項目で「0」、「I」、「II」、「III」の4段階に分ける

指標の算出方法(説明): 分母に相当する各症例の死亡退院の有無を患者レベル変数で予測するロジスティック回帰モデルを作成する。各病院ごとに患者個別の予測死亡確率を平均し、「予測死亡率」を得る。各病院ごとに分子を分母で割って、「実測死亡率」を得る。「実測死亡率」÷「予測死亡率」×「全病院例死亡率」＝「リスク調整死亡率」を得る。

指標の算出方法(単位): なし

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

出血性脳梗塞、血栓塞栓性脳梗塞（心原性も含む）を含む。

2 :

入院時（常用薬）に抗凝固薬や抗血小板薬の内服の有無がリスク因子になる可能性があるが、DPCデータでは同定できない。

参考値:

1 :

米国の集計では5.51%(参考資料2)（院内死亡）

参考資料:

1 :

Tanne D, Yaari S, Goldbourt U. Risk profile and prediction of long-term ischemic stroke mortality: a 21-year follow-up in the Israeli Ischemic Heart Disease (IIHD) Project. *Circulation*. 1998 Oct 6;98(14):1365-71.

2 :

Smith EE, Shobha N, Dai D, Olson DM, Reeves MJ, Saver JL, Hernandez AF, Peterson ED, Fonarow GC, Schwamm LH. Risk score for in-hospital ischemic stroke mortality derived and validated within the Get With the Guidelines-Stroke Program. *Circulation*. 2010 Oct 12;122(15):1496-504.

3 :

AHRQ quality indicators. Guide to inpatient quality indicators: quality of care in hospitals - volume, mortality, and utilization [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 91 p.

4 :

AHRQ quality indicators. Inpatient quality indicators: technical specifications [version 4.2]. IQI #17 acute stroke mortality rate. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 1 p.

5 :

脳卒中治療ガイドライン2009.日本脳卒中合同ガイドライン委員会. <http://www.jsts.gr.jp/jss08.html>

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-25

名称: 脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例のリハビリ実施平均日数

指標番号:

QIP: 2098

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例のリハビリ実施平均日数

意義: マネジメント

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の脳梗塞の診断で入院し、脳血管リハビリテーション治療を施行された症例数

分子: 分母に該当する症例に対して、脳血管リハビリテーション治療を施行された日数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1:
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2:
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。
- 3:
このうち、脳梗塞のため入院した症例。
入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして「I63\$」（脳梗塞）が含まれる症例
- 4:
このうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。
- 5:
脳血管疾患等リハビリテーションを受けた症例
レセ電コードに以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ5

レセ電コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180032410	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（廃用症候群）	○	○	○		
180027710	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180032510	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（廃用症候群）	○	○	○		
180030810	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180032610	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（廃用症候群）	○	○	○		
180033910	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○	
180034010	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・廃用症候群）		○	○		
180034110	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○	
180034210	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・廃用症候群）		○	○		
180034310	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○	
180034410	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・廃用症候群）		○	○		
180043430	脳血管疾患等リハビリテーション料1（要介・廃用症以外）基準不適合			○	○	
180043530	脳血管疾患等リハビリテーション料1（要介・廃用症）基準不適合			○		
180043630	脳血管疾患等リハビリテーション料2（要介・廃用症以外）基準不適合			○	○	
180043730	脳血管疾患等リハビリテーション料2（要介・廃用症）基準不適合			○		

ICDコード	脳血管疾患等リハビリテーション料3（要介・廃用症以外）基準不適合	2010	2012	2014	2016	2018
180043930	脳血管疾患等リハビリテーション料3（要介・廃用症）基準不適合			○		
180044310	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・入院）				○	○
180044410	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・入院）				○	○
180044510	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・入院）				○	○
180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）					○
180027710	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）					○
180030810	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）					○
180033910	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・入院外）					○
180034110	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・入院外）					○
180034310	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・入院外）					○
180043430	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護）基準不適合					○
180043630	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護）基準不適合					○
180043830	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護）基準不適合					○

6 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母の症例に対し、脳血管疾患等リハビリテーションを受けた日数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日（平均日数）

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
集計値の解釈が必要

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例のリハビリ平均1日実施単位数

指標番号:

QIP: 2099

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例のリハビリ平均1日実施単位数

意義: マネジメント

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例に対する脳血管リハビリテーション実施日数

分子: 分母の症例に対する脳血管リハビリテーション実施延べ単位数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1: 解析期間に退院した症例を対象とする
- 2: このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。
- 3: このうち、脳梗塞のため入院した症例。
入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして「I63\$」（脳梗塞）が含まれる症例
- 4: 脳血管疾患等リハビリテーションの実施日数

分母のデータ4

レセ電コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外)	○	○	○	○	
180032410	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群)	○	○	○		
180027710	脳血管疾患等リハビリテーション料(2)(廃用症候群以外)	○	○	○	○	
180032510	脳血管疾患等リハビリテーション料(2)(廃用症候群)	○	○	○		
180030810	脳血管疾患等リハビリテーション料(3)(廃用症候群以外)	○	○	○	○	
180032610	脳血管疾患等リハビリテーション料(3)(廃用症候群)	○	○	○		
180033910	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(要介護・廃用症候群以外)		○	○	○	
180034010	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(要介護・廃用症候群)		○	○		
180034110	脳血管疾患等リハビリテーション料(2)(要介護・廃用症候群以外)		○	○	○	
180034210	脳血管疾患等リハビリテーション料(2)(要介護・廃用症候群)		○	○		
180034310	脳血管疾患等リハビリテーション料(3)(要介護・廃用症候群以外)		○	○	○	
180034410	脳血管疾患等リハビリテーション料(3)(要介護・廃用症候群)		○	○		
180043430	脳血管疾患等リハビリテーション料1(要介・廃用症以外)基準不適合			○	○	
180043530	脳血管疾患等リハビリテーション料1(要介・廃用症)基準不適合			○		
180043630	脳血管疾患等リハビリテーション料2(要介・廃用症以外)基準不適合			○	○	
180043730	脳血管疾患等リハビリテーション料2(要介・廃用症)基準不適合			○		
180043830	脳血管疾患等リハビリテーション料3(要介・廃用症以外)基準不適合			○	○	
180043930	脳血管疾患等リハビリテーション料3(要介・廃用症)基準不適合			○		

180044310 ICDコード	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(要介護・入院) 診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
180044410	脳血管疾患等リハビリテーション料(2)(要介護・入院)				○	○
180044510	脳血管疾患等リハビリテーション料(3)(要介護・入院)				○	○
180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)					○
180027710	脳血管疾患等リハビリテーション料(2)					○
180030810	脳血管疾患等リハビリテーション料(3)					○
180033910	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(要介護・入院外)					○
180034110	脳血管疾患等リハビリテーション料(2)(要介護・入院外)					○
180034310	脳血管疾患等リハビリテーション料(3)(要介護・入院外)					○
180043430	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(要介護)基準不適合					○
180043630	脳血管疾患等リハビリテーション料(2)(要介護)基準不適合					○
180043830	脳血管疾患等リハビリテーション料(3)(要介護)基準不適合					○

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母の脳血管リハビリテーション治療における、実施単位の合計

実施単位は「使用量 EF12」×「行為回数 EF21」で計算。ただし、使用量や行為回数が○またはNULLの場合は「1」として集計。

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 単位 (平均単位数)

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

使用量、行為回数のデータの不整合が一部で見られるため、参考値としての解釈が必要

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の平均在院日数

指標番号:

QIP: 2100

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の平均在院日数

意義: マネジメント

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の脳梗塞の診断で入院し脳血管リハビリテーション実施された症例数

分子: 分母の症例の在院日数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

次の条件の症例の在院日数を合計する

2:

解析期間に退院した症例を対象とする

3:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

4:

このうち、脳梗塞のため入院した症例。

入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして「I63\$」（脳梗塞）が含まれる症例

5:

このうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。

6:

脳血管疾患等リハビリテーションの実施された症例

分母のデータ6

レセ電コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180032410	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（廃用症候群）	○	○	○		
180027710	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180032510	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（廃用症候群）	○	○	○		
180030810	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（廃用症候群以外）	○	○	○	○	
180032610	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（廃用症候群）	○	○	○		
180033910	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○	
180034010	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・廃用症候群）		○	○		
180034110	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○	
180034210	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・廃用症候群）		○	○		
180034310	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・廃用症候群以外）		○	○	○	
180034410	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・廃用症候群）		○	○		
180043430	脳血管疾患等リハビリテーション料1（要介・廃用症以外）基準不適合			○	○	
180043530	脳血管疾患等リハビリテーション料1（要介・廃用症）基準不適合			○		
180043630	脳血管疾患等リハビリテーション料2（要介・廃用症以外）基準不適合			○	○	

ICDコード	診療科目等	2010	2012	2014	2016	2018
180043830	脳血管疾患等リハビリテーション料2（要介・廃用症）基準不適合					
180043830	脳血管疾患等リハビリテーション料3（要介・廃用症以外）基準不適合			○	○	
180043930	脳血管疾患等リハビリテーション料3（要介・廃用症）基準不適合			○		
180044310	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・入院）				○	○
180044410	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・入院）				○	○
180044510	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・入院）				○	○
180027610	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）					○
180027710	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）					○
180030810	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）					○
180033910	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護・入院外）					○
180034110	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護・入院外）					○
180034310	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護・入院外）					○
180043430	脳血管疾患等リハビリテーション料（1）（要介護）基準不適合					○
180043630	脳血管疾患等リハビリテーション料（2）（要介護）基準不適合					○
180043830	脳血管疾患等リハビリテーション料（3）（要介護）基準不適合					○

7:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母の症例の在院日数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日（平均日数）

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

手術症例、非手術症例等が混在しており、結果は総合的に解釈が必要

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 脳梗塞の診断で入院し、抗痙攣薬を投与しない割合

指標番号:

QIP: 5001

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-22

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞の診断で入院し、抗痙攣薬を投与しない割合

意義: Choosing Wisely

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18 歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例

分子: 分母のうち、抗痙攣薬内服を投与されていない症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18 歳以上の症例
- 3 :
このうち、脳梗塞のため入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10 コードとして「I63\$」（脳梗塞）が含まれる症例
- 4 :
このうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。
- 5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :
分母のうち、抗痙攣薬の内服を処方されていない症例

分子のデータ1

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1124003	ニトラゼパム	○	○	○	○	○
1124017	ジアゼパム	○	○	○	○	○
1125003	フェノバルビタール	○	○	○	○	○
1125004	フェノバルビタール	○	○	○	○	○
1132002	フェニトイン	○	○	○	○	○
1135002	プリミドン	○	○	○	○	○
1139001	エトスクシミド	○	○	○	○	○
1139002	カルバマゼピン	○	○	○	○	○
1139004	バルプロ酸ナトリウム	○	○	○	○	○
1139005	ゾニサミド	○	○	○	○	○
1139006	クロバザム	○	○	○	○	○
1139007	ガバペンチン	○	○	○	○	○
1139008	トピラマート	○	○	○	○	○

1139009 薬価基準コード上7ケタ	ニトリギン 成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1139010	レベチラセタム	○	○	○	○	○
1139013	ビガバトリン				○	○
1139014	ペランパネル水和物				○	○
1139015	ラコサミド				○	○
1139100	フェニトイン・フェノバルビタール	○	○	○	○	○
1139103	フェニトイン・フェノバルビタール配合剤	○	○	○	○	○
1139104	フェニトイン・フェノバルビタール配合剤	○	○	○	○	○
1139105	フェニトイン・フェノバルビタール配合剤	○	○	○	○	○
1169015	ゾニサミド	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
予防治療をしない率を測定する指標であるが、治療が必要な症例も混在している。

2 :
抗てんかん薬は、他の効能（例：抗精神病薬）もありほかの治療目的に利用している場合指標値に誤差がでる。

参考値:

参考資料:

1 :
Don't routinely use seizure prophylaxis in patients following ischemic stroke.
<http://www.choosingwisely.org/clinician-lists/american-association-neurological-surgeons-seizure-prophylaxis-following-ischemic-stroke/>

2 :
「脳卒中治療ガイドライン2015」日本脳卒中学会

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-22

名称: 脳卒中患者に対する地域連携パスの使用率 (2016)

指標番号:

QIP: 2110

年度: 2016, 2018

更新日: 2019-05-24

指標群: 脳卒中

名称: 脳卒中患者に対する地域連携パスの使用率 (2016)

意義: 脳卒中の治療が終了した後も継続的な医学的管理とリハビリテーションが重要である。地域医療に関する医療体制を評価する。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 脳卒中で入院した症例

分子: 分母のうち、「地域連携診療計画加算」を算定した症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする。
- 2 :
このうち、入院の契機となった傷病名および最も資源を投入した傷病名のコードが両方ともI6\$ (脳血管疾患) の症例
- 3 :
このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ3

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

- 4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :
「地域連携診療計画加算」が算定されている症例

分子のデータ1

診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
113009010	地域連携診療計画管理料	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
分子としている地域連携診療計画加算の算定要件の制限上、特に2番の条件により、100%になるものではない
- 2 :

[算定要件]

- ① あらかじめ疾患ごとに地域連携診療計画が作成され、一連の治療を担う連携保険医療機関等と共有されている。
- ② 地域連携診療計画の対象疾患の患者に対し、当該計画に沿って治療を行うことについて患者の同意を得た上で、入院後7日以内に個別の患者ごとの診療計画を作成し、文書で家族等に説明を行い交付する。
- ③ 患者に対して連携保険医療機関等において引き続き治療が行われる場合には、当該連携保険医療機関に対して、当該患者に係る診療情報や退院後の診療計画等を文書により提供する。また、当該患者が、転院前の保険医療機関において地域連携診療計画加算を算定した場合には、退院時に、当該転院前の保険医療機関に対して当該患者に係る診療情報等を文書により提供する。

3 :

2016年より

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-05-24

名称: 心房細動を合併する脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、退院時に抗凝固薬を処方された症例（90歳未満）

指標番号:

QIP: 0841_2

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-12

指標群: 脳卒中

名称: 心房細動を合併する脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、退院時に抗凝固薬を処方された症例（90歳未満）

意義: 心房細動を合併する脳梗塞の3次予防に抗凝固薬は有効である。

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上90歳未満の脳梗塞かTIAの診断で入院し、かつ心房細動と診断を受けた入院症例（腎不全症例除く）

分子: 分母のうち、退院時に抗凝固薬を処方された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上90歳未満の症例。

3:

このうち、在院日数が120日以下の症例

4:

このうち、脳梗塞かTIAの診断で入院した症例

入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ4

ICD-10コード	病名
I63\$	脳梗塞
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群

5:

このうち、心房細動の診断を受けた症例。

いずれかの病名のICD-10コードとして以下が含まれる症例

分母のデータ5

ICD-10コード	病名
I48\$	心房細動及び粗動

6:

このうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。

7:

このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「0 不明、4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

8:

このうち、いずれかの病名のICD-10コードとしてN17\$-N19\$（腎不全）が含まれる症例は除外する

9:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義:

1:

抗凝固薬を退院時に処方された症例。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

退院時処方判定:

2010年度～2015年度: FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」

2016年度～: EF-17・F-19 行為明細区分情報(12桁の数値)の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード	薬剤名	2010	2012	2014	2016	2018
3332001	ワルファリンカリウム	○	○	○	○	○
3339001	ダビガトランエテキシラート	○	○	○	○	○
3339003	リバーロキサバン		○	○	○	○
3339004	アピキサバン		○	○	○	○
3339002	エドキサバントシル酸塩水和物	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

抗凝固薬を投与しない医学的理由の情報が得られる場合は、その症例を分母から除外する。

本指標には、ICD-10コードI48\$による心房粗動が含まれる(約4%)が、心房粗動に対する抗凝固薬は心房細動と同じ適応のため除外していない。2015年版ガイドラインより、抗凝固薬としての推奨にワーファリン以外が追加された。

2:

本指標は、指標「心房細動を合併する脳梗塞(TIA含む)の診断で入院し、退院時に抗凝固薬を処方された症例」の分母の条件を絞り込んだ指標

参考値:

参考資料:

1:

Albers GW, Amarenco P, Easton JD, Sacco RL, Teal P. Antithrombotic and thrombolytic therapy for ischemic stroke. Chest 2001 Jan;119(1 Suppl):300S-20S.

American Academy of Neurology, American College of Radiology, Physician Consortium for Performance Improvement®, National Committee for Quality Assurance. Stroke and stroke rehabilitation physician performance measurement set. Chicago (IL): American Medical Association (AMA); 2010 Sep. 26 p.

American College of Cardiology, American Heart Association, European Society of Cardiology. ACC/AHA/ESC guidelines for the management of patients with atrial fibrillation. J Am Coll Cardiol 2001 Oct;38:1266i-1xx.

Sacco RL, Adams R, Albers G, Alberts MJ, Benavente O, Furie K, Goldstein LB, Gorelick P, Halperin J, Harbaugh R, Johnston SC, Katzan I, Kelly-Hayes M, Kenton EJ, Marks M, Schwamm LH, Tomsick T. Guidelines for prevention of stroke in patients with ischemic stroke or transient ischemic attack: a statement for healthcare professionals from the American Heart Association/American Stroke Association Council on Stroke [trunc]. Stroke 2006 Feb;37(2):577-617.

2:

脳卒中治療ガイドライン(2009年版4-1(6)および2015年版3-1(6) 脳梗塞慢性期 心房細動)

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-12

名称: 脳梗塞の深部静脈血栓症の発症率

指標番号:

QIP: 2125

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-12

指標群: 脳卒中

名称: 脳梗塞の深部静脈血栓症の発症率

意義: 入院患者のモニタリング

必要データセット: DPC様式1 Dファイル

定義の要約:

分母: 脳梗塞で入院した症例数

分子: 深部静脈血栓症の発症症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。
- 3 :
このうち、脳梗塞のために入院した症例
最も資源を投入した傷病 あるいは入院の契機となった傷病名のICD10コードがI63\$の症例
- 4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :
入院後、部静脈血栓症と診断された症例。入院後発症病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分子のデータ1

ICD-10コード	病名
I26\$	肺塞栓症
I801	大腿静脈の静脈炎及び血栓(性)静脈炎
I802	下肢のその他の深在血管の静脈炎及び血栓(性)静脈炎
I809	部位不明の静脈炎及び血栓(性)静脈炎
I82\$	その他の静脈の塞栓症及び血栓症

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
一般に、軽症の場合の深部静脈血栓症について病名の登録率は低いと考えられる

2:

Dファイルのない場合の結果は参考値（QIPでは疑似的にDPCコードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-12

名称: 医原性気胸の発生割合 (18歳以上)

指標番号:

QIP: 0238

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-07

指標群: 呼吸器系

名称: 医原性気胸の発生割合 (18歳以上)

意義: 他施設よりも値が特に高い施設では再発予防に向けた安全管理を見直す契機になる

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の退院患者 (除外項目あり)

分子: 分母のうち、医原性気胸発生患者

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

入院時の気胸・胸水、外傷症例を除外する

入院の契機となった傷病名あるいは入院時併存症名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例を除外

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
J90\$,J91\$, J92\$,J93\$,J94\$	胸膜のその他の疾患
S\$, T\$	損傷,中毒およびその他の外因の影響
V\$, W\$, X\$, Y\$	傷病および死亡の外因

4:

周産期、産褥期、出産は除外する。いずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例を除外する

分母のデータ4

ICD-10コード	病名
O\$	妊娠,分娩および産褥
P\$	周産期に発生した病態

5:

横隔膜手術、胸部手術、胸部生検を施行した症例を除外する

手術情報の点数コードのいずれか(5フィールド)に以下が含まれる症例を除外する

分母のデータ5

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K477\$~K605\$	横隔膜・胸部手術	○	○	○	○	○

6:

EFファイルより以下の処置が施行された症例を除外する

分母のデータ6

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2016	2018
160092610	気管支鏡検査(気管支鏡)	D301	○	○	○		

ICD10コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2016	2018
160092810	気管支ファイバースコープ（EF - 気管支）	D302	○	○	○	○	○
160093010	胸腔鏡検査（胸腔鏡）	D303	○	○	○	○	○

7 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
1. 入院後、医源性気胸の発症症例
入院後発症疾患名のICD10コードに、S270又はS2700が含まれる症例
あるいは入院後発症疾患名に「気胸」が含まれかつそれに続くICD10コードがT812である症例。

分子のデータ1

CD-10コード	病名
T812	医源性気胸 処置中の不慮の穿孔及び裂傷, 他に分類されないもの
S270	外傷性気胸
S2700	外傷性気胸・胸腔に達する開放創合併なし、閉鎖性外傷性気胸

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
この指標は重大な損傷により胸部手術を必要とした医源性気胸を除外することになる。
外来処置による医源性気胸の発症を計測できない。
18歳以上の分類以外、小児、院内出生別の分類方法の妥当性は検討課題。
新生児のうち、低出生体重児、特に500g以下等の除外基準の設置の必要性も検討課題。
→小児・院内出生は、本定義では気胸発症数が非常に少なかったため算出は中止

2 :
入院後発症疾患の入力数が年度により異なる（2015年度まで最大4、2016年度より最大10）

参考値:

参考資料:

1 :
"AHRQ quality indicators. Guide to patient safety indicators [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 76 p. (AHRQ Pub; no. 03-R203).
AHRQ quality indicators. Patient safety indicators: technical specifications [version 4.2]. Appendices. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 74 p.
AHRQ quality indicators. Patient safety indicators: technical specifications [version 4.2]. PSI #6 iatrogenic pneumothorax. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 6 p."
"AHRQ quality indicators. Pediatric quality indicators: technical specifications [version 4.2]. Appendices. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 61 p.
AHRQ quality indicators. Pediatric quality indicators: technical specifications [version 4.2]. PDI #5 iatrogenic pneumothorax. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 7 p.
McDonald K, Romano P, Davies S, Haberland C, Geppert J, Ku A, Choudhry K. Measures of pediatric health care quality based on hospital administrative data: the pediatric quality indicators. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2006 Sep. 130 p. [82 references]"
"AHRQ quality indicators. Neonatal quality indicators: technical specifications [version 4.2]. NQI #1 iatrogenic pneumothorax in neonates. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 7 p.
AHRQ quality indicators. Pediatric quality indicators: technical specifications [version 4.2]. Appendices. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 61 p.
Measures of pediatric health care quality based on hospital administrative data. The pediatric quality indicators: neonatal indicator appendix. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2008 Apr 17. 37 p.

定義見直しのタイミング:

名称: 中心静脈カテーテル挿入に伴う気胸の合併率 (共通定義)

指標番号:

QIP: 2057_w

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-27

指標群: 呼吸器系

名称: 中心静脈カテーテル挿入に伴う気胸の合併率 (共通定義)

意義: 他施設よりも値が特に高い施設では再発予防に向けた安全管理を見直す契機になる

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 中心静脈カテーテル挿入を受けた症例

分子: 分母のうち、医原性気胸発生症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
このうち、中心静脈カテーテル挿入を受けた症例。EFファイルより以下の処置が施行された症例

分母のデータ2

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014
130004670	中心静脈注射用カテーテル挿入	G005-2	○	○	○

3 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
入院後、医原性気胸の発症症例。入院後発症疾患名のICD10コードに、S270が含まれる症例。あるいは入院後発症疾患名に「気胸」が含まれかつそれに続くICD10コードがT812である症例。

分子のデータ1

CD-10コード	病名
T812	医原性気胸 処置中の不慮の穿刺及び裂傷, 他に分類されないもの
S270	外傷性気胸

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
病名入力の精度に指標値が依存する

2 :
指標とは直接関係ない合併症が分子に含まれる可能性がある(カテーテルには関連しない、時期の異なる合併症の発生等)

3:

気胸の合併症処置（穿刺、ドレナージなど）や、レントゲン撮影を分子の条件に入れるなども考慮できるが、軽微な場合は経過観察のみになることがある、確認のためのレントゲンと区別がつきにくいと考えられ、現在の定義では条件に含めていない

4:

本指標は、厚労省の「医療の質の評価・公表等推進事業」により示されたDPCを用いた共通指標の定義を利用している。

このうち、いくつか改訂（コードの改訂追加）が望ましいものを反映した定義は2057として算出を行っているため、併せてご参照ください。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 中心静脈カテーテル挿入に伴う気胸の合併率

指標番号:

QIP: 2057

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 呼吸器系

名称: 中心静脈カテーテル挿入に伴う気胸の合併率

意義: 他施設よりも値が特に高い施設では再発予防に向けた安全管理を見直す契機になる

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 中心静脈カテーテル挿入を受けた症例

分子: 分母のうち、医原性気胸発症症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、中心静脈カテーテル挿入を受けた症例。EFファイルより以下の処置が施行された症例

分母のデータ2

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2016	2018
130004670	中心静脈注射用カテーテル挿入	G005-2	○	○	○	○	○

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

入院後、医原性気胸の発症症例。入院後発症疾患名のICD10コードに、S270又はS2700が含まれる症例。あるいは入院後発症疾患名に「気胸」が含まれかつそれに続くICD10コードがT812である症例。

分子のデータ1

CD-10コード	病名
T812	医原性気胸 処置中の不慮の穿刺及び裂傷, 他に分類されないもの
S270	外傷性気胸
S2700	外傷性気胸・胸腔に達する開放創合併なし、閉鎖性外傷性気胸

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

病名入力の精度に指標値が依存する

2:

指標とは直接関係ない合併症が分子に含まれる可能性がある(カテーテルには関連しない、時期の異なる合併症の発生等)

3:

気胸の合併症処置（穿刺、ドレナージなど）や、レントゲン撮影を分子の条件に入れるなども考慮できるが、軽微な場合は経過観察のみになることがある、確認のためのレントゲンと区別がつきにくいと考えられ、現在の定義では条件に含めていない

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 経胸壁的肺/縦隔生検を実施した症例において、手技後に治療を要する気胸や血胸が生じた症例の割合

指標番号:

QIP: 0064

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-07

指標群: 呼吸器系

名称: 経胸壁的肺/縦隔生検を実施した症例において、手技後に治療を要する気胸や血胸が生じた症例の割合

意義: 経胸壁的肺/縦隔生検の後に気胸や血胸の治療を行うのは、手技に伴う合併症の可能性が高い。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上で、肺、気管、気管支、あるいは縦隔腫瘍が疑われ、かつ経胸壁的肺/縦隔生検を受けた症例

分子: 分母のうち、胸腔ドレナージを受けた症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、肺、気管、気管支、あるいは縦隔腫瘍と確定診断あるいは疑われている症例。主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例。「疑」の有無は問わない。

分母のデータ3

?ICD-10コード	病名
C33\$	気管の腫瘍
C34\$	気管支及び肺の腫瘍
C37\$	胸腺の腫瘍
C381	前縦隔の腫瘍
C382	後縦隔の腫瘍
C383	部位不明の縦隔腫瘍
D142	呼吸器系の良性腫瘍
D143	呼吸器系の良性腫瘍
D144	呼吸器系の良性腫瘍
D150	隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍
D152	縦隔の良性腫瘍

4:

このうち、経胸壁的肺/縦隔生検を受けた症例。レセ電コードに以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ4

診療行為コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
160098010	経皮的針生検法	○	○	○	○	○

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :

経胸壁の肺/縦隔生検と同日かそれ以降に胸腔ドレナージを受けた症例。レセ電コードに以下のいずれかが含まれる症例

分子のデータ1

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
140004110	持続的胸腔ドレナージ	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

将来的に、発生した合併症について気胸であるか、血胸・血気胸であるかの算出が可能であれば考慮したい。

データ1

ICD-10コード	病名
J93\$	気胸
J930	緊張性自然気胸
J931	その他の自然気胸
J938	その他の気胸
J939	気胸, 詳細不明
J942	血胸
S270	外傷性気胸
S271	外傷性血胸
S272	外傷性血気胸

参考値:

参考資料:

1 :

Australian Council on Healthcare Standards (ACHS). ACHS clinical indicator users' manual 2011. ULTIMO NSW: Australian Council on Healthcare Standards (ACHS); 2011 Jan.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-07

名称: 術後肺塞栓症発症数および発症率（緊急手術を除く）

指標番号:

QIP: 0271

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-07

指標群: 呼吸器系

名称: 術後肺塞栓症発症数および発症率（緊急手術を除く）

意義: 医療の質（アウトカム）。日本における肺塞栓の発症は欧米と比べてもともと低い。このため、第1に、術後肺塞栓症例が見られた場合は、病院内で一例一例の検討が推奨される。一方、発症率として病院間での比較は単純に平均値を比べるのではなく、平均値よりも高く、かつ発症数の十分多い施設では再発予防に向けた安全管理を見直す契機になる

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 18歳以上の手術（緊急手術を除く）を行い退院した症例（周産期、産褥期、出産は除外）

分子: 分母のうち、入院後に肺塞栓症を発症した症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1: 解析期間に退院した症例を対象とする
- 2: このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。
- 3: このうち、手術1の点数表コードが、K00\$ ~K91\$で始まるコードが入力されている症例を手術症例として選択する。ただし、以下の血栓に関する手術を除外する。手術1の点数コードに以下のいずれかが含まれる症例は除外

分母のデータ3

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K592\$	肺動脈血栓除去術	○	○	○	○	○
K593	肺静脈血栓除去術	○	○	○	○	○
K6081	動脈血栓除去術（開腹・開胸）	○	○	○	○	○
K6082	動脈血栓除去術	○	○	○	○	○
K6091	動脈血栓内膜摘出術（大動脈に及ぶ）	○	○	○	○	○
K6092	動脈血栓内膜摘出術（内頸動脈）	○	○	○	○	○
K6093	動脈血栓内膜摘出術（その他）	○	○	○	○	○
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	○	○	○	○	○
K616-3	経皮的胸部血管拡張術（先天性心疾患術後）	○	○	○	○	○
K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術		○	○	○	○
K619\$	静脈血栓摘出術	○	○	○	○	○
K620\$	下大静脈フィルター留置・除去	○	○	○	○	○

- 4: このうち、特定した手術1の手術日が入院当日もしくは翌日でありかつ、予定・緊急入院が「緊急入院」または「不明」である症例は除外する。（年度により値が異なる。下記の注意事項も参照）

- 5: 主傷病名、入院の契機となった傷病名、または入院時併存症名に肺塞栓・深部静脈血栓症のある症例は除外する
主傷病名、入院の契機となった傷病名、または入院時併存症名の病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例を除外する

分母のデータ5

ICD-10コード	病名
I26\$	肺塞栓症
I801	大腿静脈の静脈炎及び血栓(性)静脈炎
I802	下肢のその他の深在血管の静脈炎及び血栓(性)静脈炎
I809	部位不明の静脈炎及び血栓(性)静脈炎
I82\$	その他の静脈の塞栓症及び血栓症

6:

周産期、産褥期、出産は除外する。

いずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例を除外する

分母のデータ6

ICD-10コード	病名
O\$	妊娠,分娩および産褥
P\$	周産期に発生した病態

7:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

入院後に肺塞栓を発症した症例

医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を2番目に投入した傷病名、あるいは入院後発症疾患名に対するICD-10コードのいずれかに肺塞栓(I26\$)のある症例

分子のデータ1

ICD-10コード	病名
I26\$	肺塞栓症

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

手術症例の選択に、Kコードが割り当てられたものをすべて含めている。このため、たとえば内視鏡手術も、手術に含めており、リスクの低い手術が多い施設では割合が低く算出される可能性がある。

計測対象の手術を「手術1」（主たる手術情報）に限定している。

緊急手術を除くためのアルゴリズムについては、今後改善の検討課題である。

軽症で自然軽快の肺塞栓等の存在を考慮すると、診断への積極性に左右される可能性がある。

手術症例の選択に、Kコードが割り当てられたものをすべて含めている。このため、たとえば内視鏡手術も、手術に含めており、リスクの低い手術が多い施設では割合が低く算出される可能性がある。

計測対象の手術を「手術1」（主たる手術情報）に限定している。

緊急手術を除くためのアルゴリズムについては、今後改善の検討課題である。

軽症で自然軽快の肺塞栓等の存在を考慮すると、診断への積極性に左右される可能性がある。

※「予定・緊急医療入院」「予定・救急医療入院」：定義が年度で異なることに注意。

2:

2009年度までは診療情報管理士判断による。

3:

2010年度～救命救急入院料をとれば救急と判断される。

4:

2012年度～入院理由を下2桁で表現するように変更あり。

参考値:

参考資料:

1 :

AHRQ quality indicators. Guide to patient safety indicators [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 76 p. (AHRQ Pub; no. 03-R203). AHRQ quality indicators. Patient safety indicators: technical specifications [version 4.2]. Appendices. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 74 p.

2 :

AHRQ quality indicators. Patient safety indicators: technical specifications [version 4.2]. PSI #12 postoperative pulmonary embolism or deep vein thrombosis. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 2 p.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-07

名称: 術後呼吸不全発症率 (緊急手術を除く)

指標番号:

QIP: 0272

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-07

指標群: 呼吸器系

名称: 術後呼吸不全発症率 (緊急手術を除く)

意義: 医療の質 (アウトカム) 他施設よりも値が特に高い施設では治療安全に向けた安全管理を見直す契機になる

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 18歳以上の手術 (緊急手術を除く) を行い退院した症例 (周産期、産褥期、出産は除外)

分子: 分母のうち、術後呼吸不全症のある症例 (入院後発症した傷病名に呼吸不全の見られる症例)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、手術1の点数表コードが、K00\$ ~K91\$で始まるコードが入力されている症例を手術症例として選択する。ただし、気管切開術 (K386) を除外する。

手術1の点数コードに以下のいずれかが含まれる症例は除外

分母のデータ3

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K386	気管切開術	○	○	○	○	○

4:

このうち、特定した手術1の手術日が入院当日もしくは翌日でありかつ、予定・緊急入院が「緊急入院」または「不明」である症例は除外する。(年度により値が異なる。下記の注意事項も参照)

5:

主傷病名、入院の契機となった傷病名、または入院時併存症名に呼吸器疾患、循環器疾患のある症例は除外する

主傷病名、入院の契機となった傷病名、または入院時併存症名の病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例を除外する

分母のデータ5

ICD-10コード	病名
I\$	循環器系の疾患
J\$	呼吸器系の疾患

6:

神経疾患、周産期、産褥期、出産は除外する。

いずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例を除外する

分母のデータ6

ICD-10コード	病名
G\$	神経系の疾患
O\$	妊娠、分娩および産褥
P\$	周産期に発生した病態

7:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
医療資源を2番目に投入した傷病名あるいは入院後発症疾患名に「呼吸不全」の含まれる症例
あるいは、
医療資源を2番目に投入した傷病名あるいは入院後発症疾患名に対するICD-10コードのいずれかにJ960もしくはJ969の含まれる症例
ICD-10コードのいずれか（5フィールド）に以下が含まれる症例

分子のデータ1

ICD-10コード	病名
J960	急性呼吸不全
J969	呼吸不全, 詳細不明
J958	術後呼吸不全
J959	術後呼吸不全

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
手術症例の選択に、Kコードが割り当てられたものを気管切開以外すべて含めている。このため、たとえば内視鏡手術等も、手術に含めており、リスクの低い手術が多い施設では割合が低く算出される可能性がある。
計測対象の手術を「手術1」（主たる手術情報）に限定している。
緊急手術を除くためのアルゴリズムについては、今後改善の検討課題である。
※「予定・緊急医療入院」「予定・救急医療入院」：定義が年度で異なることに注意が必要。

2 :
2009年度までは診療情報管理士判断による。

3 :
2010年度～救命救急入院料をとれば救急と判断される。

4 :
2012年度～入院理由を下2桁で表現するように変更あり。
今後の検討：整形外科限定、消化器外科限定、胃がん手術限定など、特定のものと比較する。
手術を、全麻症例に限ることを検討
18歳未満では、同じ定義では検出数が非常に小さく指標にならない

5 :
2018年度データから、傷病名コードの利用も検討可

参考値:

参考資料:

1 :
AHRQ quality indicators. Guide to patient safety indicators [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 76 p. (AHRQ Pub; no. 03-R203). AHRQ quality indicators. Patient safety indicators: technical specifications [version 4.2]. Appendices. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 74 p.
AHRQ quality indicators. Patient safety indicators: technical specifications [version 4.2]. PSI #12 postoperative pulmonary embolism or deep vein thrombosis. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 2 p.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-07

名称: 喘息入院患者における退院後30日間以内の同一施設再入院割合

指標番号:

QIP: 0417

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-07

指標群: 呼吸器系

名称: 喘息入院患者における退院後30日間以内の同一施設再入院割合

意義: 治療成績をみるアウトカム指標。 他施設よりも値が特に高い施設では再発予防に向けた慢性期管理を見直す契機になる。

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 喘息に関連した原因による5歳以上の入院症例数

分子: 分母のうち、退院後30日間以内に喘息に関連した原因で再入院した症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め5歳以上の症例。

3:

このうち、喘息の診断を受けた症例。

主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれ、かつ以下の標準病名が部分一致（疑い病名は対象外）すれば対象とする

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
J45\$	喘息
J46\$	喘息発作重積状態

4:

退院から30日以内のデータが病院から提出されていない場合は除外する

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母の症例と施設コード・データ識別番号が一致する別の様式1レコードを同定する

2:

1) の入院日が分母の退院日より1日後(翌日)～3●日後になっており、かつ

主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかに上記のICD-10コードが該当し、かつ上記の標準病名が部分一致（疑い病名は除く）すれば対象とする。

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

再入院後の入院日数が特に長い症例は分子から外れて、値が低くなる可能性がある。
様式1データ提出に中断期間があると直前の月は分母がゼロに近くなる。

参考値:

1 :

米国保健社会福祉省(DHHS)では2010年全施設平均値として11.89%。

<https://healthmeasures.aspe.hhs.gov/measure/8b>

(リンク切れ)

参考資料:

1 :

Institute for Clinical Systems Improvement (ICSI). Diagnosis and management of asthma. Bloomington (MN): Institute for Clinical Systems Improvement (ICSI); 2010 Jun. 64 p

2 :

Diagnosis and management of asthma: percentage of discharged patients with asthma who are readmitted to hospital within 30 days of discharge. 2010 Jun. NQMC:006176

3 :

Sveum R, Bergstrom J, Brottman G, Hanson M, Heiman M, Johns K, Malkiewicz J, Manney S, Moyer L, Myers C, Myers N, O'Brien M, Rethwill M, Schaefer K, Uden D. Diagnosis and management of asthma. Bloomington (MN): Institute for Clinical Systems Improvement (ICSI); 2012 Jul. 86 p.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-07

名称: 喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合 (5歳以上)

指標番号:

QIP: 0418

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2019-04-15

指標群: 呼吸器系

名称: 喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合 (5歳以上)

意義: 慢性期の管理方法として中心的な役割を果たしている

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 喘息を原因とする5歳以上の入院症例数

分子: 分母のうち、入院中に吸入ステロイド薬の処方を受けた症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め5歳以上の症例。

3:

このうち、喘息の診断を受けた症例。

主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれ、かつ以下の標準病名が部分一致（疑い病名は対象外）すれば対象とする

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
J45\$	喘息
J46\$	喘息発作重積状態

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母のうち、入院中に吸入ステロイドが処方されている症例。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、入院中に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例（EF5データ区分が20番台（投薬の部））。

吸入ステロイド

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2290700	フルチカゾンプロピオン酸エステル	○	○	○	○	○
2290701	ブデソニド	○	○	○	○	○
2290702	シクレソニド	○	○	○	○	○
2290703	モメタゾンフランカルボン酸エステル	○	○	○	○	○
2290800	サルメテロールキシナホ酸塩・フルチカゾンプロピオン酸エステル	○	○	○	○	○
2290801	ブデソニド・ホルモテロールフマル酸塩水和物	○	○	○	○	○
2259703	ベクロメタゾンプロピオン酸エステル	○	○	○	○	○
2290802	フルチカゾンプロピオン酸エステル・ホルモテロールフマル酸塩水和物		○	○	○	○

2290893 薬価基準コード7桁	成分名 バシロロールトリフェニル酢酸塩・フルチカゾンフランカルボン酸エステル	2010	2012	2014	2016	2018
----------------------	---	------	------	------	------	------

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

吸入ステロイドが外来で処方され、発作による入院期間中に改めて処方されないケースも少なくないと考えられる。

参考値:

1:

米国HEDIS® Performance Trending Report 2012によれば、入院・外来を問わずに行った集計で、中央値85.9%、75パーセンタイル値 88.2%

参考資料:

1:

Institute for Clinical Systems Improvement (ICSI). Diagnosis and management of asthma. Bloomington (MN): Institute for Clinical Systems Improvement (ICSI); 2010 Jun. 64 p

2:

Diagnosis and management of asthma: percentage of hospitalized patients with asthma who are discharged on an inhaled anti-inflammatory medication. 2010 Jun. NQMC:006175

3:

Use of appropriate medications for people with asthma: percentage of members 5 to 64 years of age during the measurement year who were identified as having persistent asthma and who were appropriately prescribed medication during the measurement year. National Committee for Quality Assurance (NCQA). HEDIS 2012: Healthcare Effectiveness Data and Information Set. Vol. 1, narrative. Washington (DC): National Committee for Quality Assurance (NCQA); 2011.

4:

Performance Trending Report 2012. Office of Medical Assistance Programs, Pennsylvania Department of Public Welfare. February 6, 2013. http://www.dpw.state.pa.us/ucmprd/groups/public/documents/communication/s_002193.pdf
(リンク切れ)

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-04-15

名称: 小児喘息に対して入院中に発作治療薬を処方された症例の割合

指標番号:

QIP: 0522

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-08

指標群: 呼吸器系

名称: 小児喘息に対して入院中に発作治療薬を処方された症例の割合

意義: 喘息発作の症状を素早く軽快し、重症度を下げするためにガイドラインで推奨されている。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 2-15歳で、喘息に関連した疾病の入院症例

分子: 分母のうち、入院中に発作治療薬を処方された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め2歳以上15歳以下の症例。

3:

このうち、喘息の診断を受けた症例。

主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
J45\$	喘息
J46\$	喘息発作重積状態

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

喘息発作治療薬を処方された症例

E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の喘息発作治療薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる症例

喘息発作治療薬は、 β 2刺激薬吸入、テオフィリン点滴のいずれか

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2259704	プロカテロール	○	○	○	○	○
2254700	サルブタモール	○	○	○	○	○
2259700	トリメトキノール	○	○	○	○	○
2259708	サルメテロールキシナホ酸塩	○	○	○	○	○
2252703	オルシプレナリン	○				
2252700	イソプレナリン	○	○	○	○	○
2252704	フェノテロール	○	○	○	○	○
2115400	アミノフィリン	○	○	○	○	○
2115401	ジプロフィリン	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2115404	アミノフィリン	○	○	○	○	○
2290800	サルメテロールキシナホ酸塩・フルチカゾンプロピオン酸エステル	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

発作治療薬を投与しない医学的理由がある症例は分母から除く。

本指標の分子の定義では、以下のβ2刺激薬は除外している

データ1

薬価基準コード7桁	成分名	コメント
2252700	d l - イソプレナリン塩酸塩	β刺激薬
2259700	トリメトキノール塩酸塩水和物	β刺激薬
2259707	ツロブテロール	β刺激薬 (テープ)
2259708	サルメテロールキシナホ酸塩	β刺激薬
2259711	ホルモテロールフマル酸塩水和物	β刺激薬 (肺気腫)
2259712	グリコピロニウム臭化物	β刺激薬 (肺気腫)
2259800	d l - メチルエフェドリン塩酸塩・ジプロフィリン	β刺激薬 座薬
2259803	硫酸イソプロテレノール・臭化メチルアトロピン配合剤	β刺激薬
2259805	インダカテロールマレイン酸塩・グリコピロニウム臭化物	β刺激薬 (肺気腫)
2259806	ウメクリジニウム臭化物・ビランテロールトリフェニル酢酸塩	β刺激薬 (肺気腫)

参考値:

参考資料:

1:

薬剤成分名は、以下を参照

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>

Adams RJ, Fuhlbrigge A, Finkelstein JA, Lozano P, Livingston JM, Weiss KB, Weiss ST. Use of inhaled anti-inflammatory medication in children with asthma in managed care settings. Arch Pediatr Adolesc Med 2001 Apr;155(4):501-7.

Crain EF, Weiss KB, Fagan MJ. Pediatric asthma care in US emergency departments. Current practice in the context of the National Institutes of Health guidelines. Arch Pediatr Adolesc Med 1995 Aug;149(8):893-901.

McCormick MC, Kass B, Elixhauser A, Thompson J, Simpson L. Annual report on access to and utilization of health care for children and youth in the United States--1999. Pediatrics 2000 Jan;105(1 Pt 3):219-30.

Silber JH, Rosenbaum PR, Even-Shoshan O, Shabbout M, Zhang X, Bradlow ET, Marsh RR. Length of stay, conditional length of stay, and prolonged stay in pediatric asthma. Health Serv Res 2003 Jun;38(3):867-86.

Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.

2:

小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2017 (インターネットでは閲覧不可)

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-08

名称: 小児喘息に対して入院中にステロイドの全身投与（静注・経口）を受けた症例の割合

指標番号:

QIP: 0523

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 呼吸器系

名称: 小児喘息に対して入院中にステロイドの全身投与（静注・経口）を受けた症例の割合

意義: 喘息発作の症状を素早く軽快し、重症度を下げするためにガイドラインで推奨されている。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 2-15歳で、喘息に関連した疾病の入院症例

分子: 分母のうち、入院中にステロイドの全身投与（静注・経口処方）を受けた症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め2歳以上15歳以下の症例。
- 3 :
このうち、喘息の診断を受けた症例。
主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
J45\$	喘息
J46\$	喘息発作重積状態

- 4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :
ステロイドの全身投与を受けた症例
E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる症例。全身ステロイドは内服か注射かを問わない。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2452001	コルチゾン酢酸エステル	○	○	○	○	○
2452002	ヒドロコルチゾン	○	○	○	○	○
2452003	フルドコルチゾン酢酸エステル	○	○	○	○	○
2452400	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○
2452402	ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○
2454002	デキサメタゾン	○	○	○	○	○
2454003	トリアムシノロン	○	○	○	○	○
2454004	ベタメタゾン	○	○	○	○	○
2454401	デキサメタゾンメタスルホ安息香酸エステルナトリウム	○	○	○		

2454403 薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2454404	ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○
2454405	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○
2454407	デキサメタゾンパルミチン酸エステル	○	○	○	○	○
2454408	ベタメタゾン酢酸エステル・ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○
2456001	プレドニゾロン	○	○	○	○	○
2456002	プレドニゾロン	○	○	○	○	○
2456003	メチルプレドニゾロン	○	○	○	○	○
2456400	メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○
2456402	メチルプレドニゾロン酢酸エステル	○	○	○	○	○
2456405	プレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
全身ステロイド薬を投与しない医学的理由がある症例は分母から除く。

参考値:

参考資料:

1 :
薬剤成分名は、以下を参照
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>
 Adams RJ, Fuhlbrigge A, Finkelstein JA, Lozano P, Livingston JM, Weiss KB, Weiss ST. Use of inhaled anti-inflammatory medication in children with asthma in managed care settings. Arch Pediatr Adolesc Med 2001 Apr;155(4):501-7.
 Crain EF, Weiss KB, Fagan MJ. Pediatric asthma care in US emergency departments. Current practice in the context of the National Institutes of Health guidelines. Arch Pediatr Adolesc Med 1995 Aug;149(8):893-901.
 McCormick MC, Kass B, Elixhauser A, Thompson J, Simpson L. Annual report on access to and utilization of health care for children and youth in the United States--1999. Pediatrics 2000 Jan;105(1 Pt 3):219-30.
 Silber JH, Rosenbaum PR, Even-Shoshan O, Shabbout M, Zhang X, Bradlow ET, Marsh RR. Length of stay, conditional length of stay, and prolonged stay in pediatric asthma. Health Serv Res 2003 Jun;38(3):867-86.
 Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.

2 :
小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2017（インターネットでは閲覧不可）

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 院内肺炎症例の平均在院日数

指標番号:

QIP: 2092

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 呼吸器系

名称: 院内肺炎症例の平均在院日数

意義: マネジメント

必要データセット: DPC様式1 Dファイル

定義の要約:

分母: 院内肺炎症例数

分子: 院内肺炎症例の在院日数合計

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1:
解析期間に退院した症例を対象とする (2012年度以降)
- 2:
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例
- 3:
このうち、DPCコードが040070\$もしくは、040080\$の症例
- 4:
このうち、肺炎の重症度分類の7桁目(右端)が「3:院内肺炎」である症例
- 5:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

- 1:
対象となる症例の在院日数を合計する

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日(平均)

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1:
症例の限定はDPCコーディングによる
病棟移動を行っている症例を含む
最も医療資源を投入した傷病がほかで、院内肺炎を併発した症例が含まれない
本指標は、これらを考慮しての総合的なマネジメントにおける参考値
- 2:
Dファイルのない場合の結果は参考値 (QIPでは疑似的にDPCコードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している)

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

名称: 院内肺炎症例の平均抗菌薬投与日数

指標番号:

QIP: 2093

年度: 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 呼吸器系

名称: 院内肺炎症例の平均抗菌薬投与日数

意義: マネジメント

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 院内肺炎症例数

分子: 院内肺炎症例の抗菌薬投与日数合計

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする (2012年度以降)

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例

3:

このうち、①または②の症例 ①医療資源を最も投入した傷病名のコードが下記の院内肺炎に関するICD-10コードのいずれかでありかつ、肺炎の重症度分類の7桁目(右端)が「3: 院内肺炎」である症例②入院後発症疾患名のコードに下記の院内肺炎に関するICD10コードが含まれている症例
院内肺炎に関するICD-10コード

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
J13	肺炎レンサ(連鎖)球菌による肺炎
J14	インフルエンザ菌による肺炎
J15\$	細菌性肺炎, 他に分類されないもの
J16\$	その他の感染病原体による肺炎, 他に分類されないもの
J17\$	他に分類される疾患における肺炎
J18\$	肺炎, 病原体不詳

4:

このうち抗菌薬の投与を行った症例。抗菌薬(内服薬もしくは注射薬)を投与された症例。EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる症例 ※薬価基準コード上7桁について、上2~4ケタ情報を利用、「xxx」は001~699として内服薬・注射薬を指定

分母のデータ4

薬価基準コード上7ケタ	内容
61**xxx	抗生物質製剤 内服薬・注射薬 (xxxは001~699) ※ただし 6199xxxは除く(ヘリコバクター・ピロリ菌除菌薬)
621*xxx	サルファ剤 内服薬・注射薬 (xxxは001~699)
624*xxx	合成抗菌剤 内服薬・注射薬 (xxxは001~699)
629*xxx	その他の化学療法剤 内服薬・注射薬 (xxxは001~699)

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
対象となる症例に対して、抗菌薬の投与された日数の合計

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日 (平均)

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
症例の限定はDPCコーディングによる
病棟移動を行っている症例を含む 最も医療資源を投入した傷病がほかで、院内肺炎を併発した症例が含まれない 抗菌薬投与は内服薬と注射薬を集計。内服薬は1回の処方複数日処方されるため、結果に誤差が出る。本指標は、これらを考慮しての総合的なマネジメントにおける参考値

参考値:**参考資料:****定義見直しのタイミング:**

最終更新日: 2018-09-27

名称: 院内肺炎症例に対する抗緑膿菌薬投与割合

指標番号:

QIP: 2094

年度: 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 呼吸器系

名称: 院内肺炎症例に対する抗緑膿菌薬投与割合

意義: マネジメント

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 院内肺炎症例数

分子: 抗緑膿菌薬を処方された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする (2012年度以降)
- 2 :
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例
- 3 :
このうち、①または②の症例 ①医療資源を最も投入した傷病名のコードが下記の院内肺炎に関するICD-10コードのいずれかでありかつ、肺炎の重症度分類の7桁目(右端)が「3:院内肺炎」である症例 ②入院後発症疾患名のコードに下記の院内肺炎に関するICD10コードが含まれている症例
院内肺炎に関するICD-10コード

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
J13	肺炎レンサ(連鎖)球菌による肺炎
J14	インフルエンザ菌による肺炎
J15\$	細菌性肺炎,他に分類されないもの
J16\$	その他の感染病原体による肺炎,他に分類されないもの
J17\$	他に分類される疾患における肺炎
J18\$	肺炎,病原体不詳

- 4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :
分母のうち、抗緑膿菌薬を処方された症例数。EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる症例

分子のデータ1

薬価基準コード上7ケタ	系列	代表薬	成分名	記号
6131403	1. ペニシリン系	ペントシリン	ピペラシリン	PIPC
6139505	1. ペニシリン系	ゾシン	ピペラシリン/タゾバクタム	PIPC/TAZ
6132418	2. セフェム系	モダシン	セフトジジム	CAZ
6132425	2. セフェム系	マキシピーム	セフェピム	CFPM
6132426	2. セフェム系	ファーストシン	セフォゾプラム	CZOP

薬価基準コード上7ケタ	系列	代表薬	成分名	SB/CPZ 記号
6139501	3. カルバペネム系	チエナム	イミペネム/シラスタチン	IPM/CS
6139400	3. カルバペネム系	メロペン	メロペネム	MEPM
6139401	3. カルバペネム系	オメガシン	ピアペネム	BIPM
6139402	3. カルバペネム系	フィニバックス	ドリペネム	DRPM
6139503	3. カルバペネム系	カルベニン	パニペネム/ベタミブロン	PAPM/BP
6241013	4. ニューキノロン系	クラビット	レボフロキサシン	LVFX
6241400	4. ニューキノロン系	シプロキシサン(注射)	シプロフロキサシン	CPFX
6241008	4. ニューキノロン系	シプロキシサン(内服)	シプロフロキサシン	CPFX
6241401	4. ニューキノロン系	パシル	バズフロキサシン	PZFX
6134407	5. アミノグリコシド系	ゲンタシン(注射)	ゲンタマイシン	GM
6123402	5. アミノグリコシド系	アミカシン	アミカマイシン	AMK
6123401	5. アミノグリコシド系	トブラシン	トブラマイシン	TOB
6123404	5. アミノグリコシド系	イセパシン	イセパマイシン硫酸塩	ISP
6134400	5. アミノグリコシド系	パニマイシン	ジベカシン	DKB

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日 (平均)

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

症例の限定はDPCコーディングによる病棟移動を行っている症例を含む。最も医療資源を投入した傷病がほかで、院内肺炎を併発した症例が含まれない。

2:

本指標は、初期治療（エンピリック、デ・エスカレーションに伴う）の薬剤投与の実施集計の側面と、逆に本来抗緑膿菌薬の投与が必要ないと考えられる症例への過剰投与の集計の側面と両方が考えられる。このため、低すぎず、高すぎないことが望ましいと考えられ、これらを考慮しての総合的なマネジメントにおける参考値となる

3:

指標の並びは「降順」で示すが、前述のように必ずしも高いことが望ましいとは限らず、総合的な判断が求められる。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 院内肺炎症例の治癒軽快割合

指標番号:

QIP: 2095

年度: 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 呼吸器系

名称: 院内肺炎症例の治癒軽快割合

意義: マネジメント

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 院内肺炎症例数

分子: 治癒または軽快で退院した症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする（2012年度以降）

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め15歳以上の症例

3:

このうち、①または②の症例。①医療資源を最も投入した傷病名のコードが下記の院内肺炎に関するICD-10コードのいずれかでありかつ、肺炎の重症度分類の7桁目（右端）が「3：院内肺炎」である症例。②入院後発症疾患名のコードに下記の院内肺炎に関するICD10コードが含まれている症例。院内肺炎に関するICD-10コード

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
J13	肺炎レンサ（連鎖）球菌による肺炎
J14	インフルエンザ菌による肺炎
J15\$	細菌性肺炎，他に分類されないもの
J16\$	その他の感染病原体による肺炎，他に分類されないもの
J17\$	他に分類される疾患における肺炎
J18\$	肺炎，病原体不詳

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母のうち、治癒または軽快で退院した症例数。退院時転帰 1：最も医療資源を投入した傷病が治癒・軽快したと判断される場合。2：最も医療資源を投入した傷病が寛解したと判断される場合。（2016年度以前は1：最も医療資源を投入した傷病が治癒したと判断される場合。2：最も医療資源を投入した傷病が軽快したと判断される場合。）

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日（平均）

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

症例の限定はDPCコーディングによる病棟移動を行っている症例を含む。最も医療資源を投入した傷病がほかで、院内肺炎を併発した症例が含まれない。本指標は、これらを考慮しての総合的なマネジメントにおける参考値

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率

指標番号:

QIP: 2117

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 呼吸器系

名称: 誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコープあるいは嚥下造影検査の実施率

意義: 誤嚥性肺炎の多くは嚥下障害によって引き起こされる。咽喉ファイバースコープや嚥下造影検査によって患者の嚥下機能を評価し、適切なアプローチ(治療、摂食・嚥下訓練、リハビリテーション、音声訓練など)につなげることができる。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 誤嚥性肺炎患者数

分子: 分母のうち「D299喉頭ファイバースコープ」または「E0037造影剤注入手技 嚥下造影」検査が行われた患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
計測期間において様式1の主病名、入院契機傷病名、医療資源傷病名、医療資源2傷病名、入院時併存症、入院後発症疾患の項目のいずれかに「J690固形物及び液状物による肺臓炎(ただし、「疑い」は除く)」が記載されている退院患者を抽出し、実患者数を分母とする。

2:
1のうち、様式1の「入院時意識障害がある場合のJCS」が20以上の患者は除外する。

3:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:
分母のうち、EFファイルを参照し、計測期間中に以下のいずれかの算定があった実患者を抽出し、分子とする。

分子のデータ1

レセプト電算コード	診療行為名称	2010	2012	2014	2016	2018
160092410	E F - 喉頭	○	○	○	○	○
170028510	造影剤注入(嚥下造影)	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
病名の入力精度に値が依存する。

2:
過剰な侵襲的検査を誘発する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1:

独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3・Ver3.1計測マニュアル

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 a. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率 (共通定義)

指標番号:

QIP: 2121_w

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-10-03

指標群: 呼吸器系

名称: 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 a. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率 (共通定義)

意義: 周術期の肺血栓塞栓症の予防行為の実施は、発生率を下げることに繋がる。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数

分子: 分母のうち肺血栓塞栓症の予防対策 (弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上) が実施された患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

計測期間において、EF ファイルを参照し、危険因子の手術〔下記〕 (リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/ 深部静脈血栓症 (静脈血栓塞栓症) の予防ガイドライン』に準じて抽出) のいずれかの手術名がある退院患者を抽出し、分母とする。なお、様式1 の生年月日と入院年月日より入院時年齢を求め、区分1 は15 歳以上の患者、区分2 は40歳以上の患者を対象とする。

分母のデータ1

区分	コード	診療行為名
区分 1	150009410	筋膜切離術
区分 1	150009510	筋膜切開術
区分 1	150009610	筋切離術
区分 1	150009710	股関節内転筋切離術
区分 1	150009810	股関節筋群解離術
区分 1	150009910	筋炎手術 (腸腰筋)
区分 1	150010010	筋炎手術 (殿筋)
区分 1	150010110	筋炎手術 (大腿筋)
区分 1	150011110	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 (大腿)
区分 1	150011210	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 (下腿)
区分 1	150011410	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 (足)
区分 1	150011810	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 (大腿)
区分 1	150011910	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 (下腿)
区分 1	150012110	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 (足)
区分 1	150019210	骨折観血的手術 (大腿)
区分 1	150019410	骨折観血的手術 (下腿)
区分 1	150019610	骨折観血的手術 (膝蓋骨)
区分 1	150019810	骨折観血的手術 (足)
区分 1	150020710	骨内異物 (挿入物を含む) 除去術 (大腿)
区分 1	150021110	骨内異物 (挿入物を含む) 除去術 (膝蓋骨)
区分 1	150021310	骨内異物 (挿入物を含む) 除去術 (足)
区分 1	150021610	骨部分切除術 (大腿)

区分1	15001810	治療行為 (下腿)
区分 1	150022010	骨部分切除術 (膝蓋骨)
区分 1	150022210	骨部分切除術 (足)
区分 1	150022710	腐骨摘出術 (大腿)
区分 1	150022910	腐骨摘出術 (下腿)
区分 1	150023110	腐骨摘出術 (膝蓋骨)
区分 1	150024910	骨腫瘍切除術 (大腿)
区分 1	150025110	骨腫瘍切除術 (下腿)
区分 1	150025510	骨腫瘍切除術 (足)
区分 1	150025850	多発性軟骨性外骨腫摘出術 (大腿)
区分 1	150026050	多発性軟骨性外骨腫摘出術 (下腿)
区分 1	150026710	骨悪性腫瘍手術 (大腿)
区分 1	150026910	骨悪性腫瘍手術 (下腿)
区分 1	150027710	骨切り術 (大腿)
区分 1	150027910	骨切り術 (下腿)
区分 1	150028110	骨切り術 (膝蓋骨)
区分 1	150028310	骨切り術 (足)
区分 1	150028810	偽関節手術 (大腿)
区分 1	150029010	偽関節手術 (下腿)
区分 1	150029210	偽関節手術 (膝蓋骨)
区分 1	150029410	偽関節手術 (足)
区分 1	150032010	関節切開術 (股)
区分 1	150032110	関節切開術 (膝)
区分 1	150035310	関節脱臼靦血の整復術 (股)
区分 1	150035410	関節脱臼靦血の整復術 (膝)
区分 1	150035810	関節脱臼靦血の整復術 (足)
区分 1	150036310	関節内異物 (挿入物) 除去術 (股)
区分 1	150036410	関節内異物 (挿入物) 除去術 (膝)
区分 1	150036810	関節内異物 (挿入物) 除去術 (足)
区分 1	150037210	関節滑膜切除術 (股)
区分 1	150037310	関節滑膜切除術 (膝)
区分 1	150037710	関節滑膜切除術 (足)
区分 1	150038350	滑液膜摘出術 (膝)
区分 1	150038750	滑液膜摘出術 (足)
区分 1	150040910	半月板切除術
区分 1	150041810	関節切除術 (股)
区分 1	150041910	関節切除術 (膝)
区分 1	150042310	関節切除術 (足)
区分 1	150042710	関節内骨折靦血の手術 (股)
区分 1	150042810	関節内骨折靦血の手術 (膝)
区分 1	150043210	関節内骨折靦血の手術 (足)
区分 1	150043510	靦帯断裂縫合術 (十字靦帯)
区分 1	150043610	靦帯断裂縫合術 (膝側副靦帯)
区分 1	150045410	靦血の関節授動術 (膝)
区分 1	150045810	靦血の関節授動術 (足)

区分1	150046210	観血の関節制動術（股）
区分1	150046310	観血の関節制動術（膝）
区分1	150047110	観血の関節固定術（股）
区分1	150047210	観血の関節固定術（膝）
区分1	150047610	観血の関節固定術（足）
区分1	150047910	靭帯断裂形成手術（十字靭帯）
区分1	150048010	靭帯断裂形成手術（膝側副靭帯）
区分1	150048310	関節形成手術（股）
区分1	150048410	関節形成手術（膝）
区分1	150048810	関節形成手術（足）
区分1	150049510	人工骨頭挿入術（股）
区分1	150050010	人工骨頭挿入術（足）
区分1	150050410	人工関節置換術（股）
区分1	150050510	人工関節置換術（膝）
区分1	150050910	人工関節置換術（足）
区分1	150051610	四肢切断術（大腿）
区分1	150051710	四肢切断術（下腿）
区分1	150051810	四肢切断術（足）
区分1	150052210	四肢関節離断術（股）
区分1	150052310	四肢関節離断術（膝）
区分1	150052610	四肢関節離断術（足）
区分1	150052950	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（股）
区分1	150053050	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（膝）
区分1	150053350	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（足）
区分1	150058810	腸骨窩膿瘍切開術
区分1	150058910	腸骨窩膿瘍搔爬術
区分1	150059310	脊椎骨搔爬術
区分1	150059410	骨盤骨搔爬術
区分1	150059810	脊椎、骨盤脱臼観血の手術
区分1	150060210	仙腸関節脱臼観血の手術
区分1	150060310	恥骨結合離開観血の手術
区分1	150060810	腸骨翼骨折観血の手術
区分1	150060910	骨盤骨折観血の手術（腸骨翼骨折を除く）
区分1	150061810	脊椎内異物（挿入物）除去術
区分1	150061910	骨盤内異物（挿入物）除去術
区分1	150062910	黄色靭帯骨化症手術
区分1	150063110	椎間板摘出術（前方摘出術）
区分1	150063210	椎間板摘出術（後方摘出術）
区分1	150063310	椎間板摘出術（側方摘出術）
区分1	150063710	脊椎腫瘍切除術
区分1	150063810	骨盤腫瘍切除術
区分1	150063910	脊椎悪性腫瘍手術
区分1	150064010	骨盤悪性腫瘍手術
区分1	150064210	骨盤切断術
区分1	150064410	脊椎披裂手術（神経処置を伴う）

区分	コード	診療行為名
区分 1	150064510	脊椎接骨手術（その他）
区分 1	150064610	脊椎骨切り術
区分 1	150064710	骨盤骨切り術
区分 1	150064810	白蓋形成手術
区分 1	150066110	仙腸関節固定術
区分 1	150067210	試験開頭術
区分 1	150067350	穿頭術及び試験開頭術を 2 か所以上
区分 1	150067410	減圧開頭術（その他）
区分 1	150067510	脳膿瘍排膿術
区分 1	150067710	耳性頭蓋内合併症手術
区分 1	150067850	耳科的硬脳膜外膿瘍切開術
区分 1	150067910	鼻性頭蓋内合併症手術
区分 1	150068310	脳切截術（開頭）
区分 1	150068410	延髄における脊髄視床路切截術
区分 1	150068510	三叉神経節後線維切截術
区分 1	150068610	視神経管開放術
区分 1	150068710	顔面神経減圧手術（乳様突起経由）
区分 1	150068850	顔面神経管開放術
区分 1	150068910	脳神経手術（開頭）
区分 1	150069050	頭蓋内微小血管減圧術
区分 1	150069110	頭蓋骨腫瘍摘出術
区分 1	150069210	頭皮、頭蓋骨悪性腫瘍手術
区分 1	150069510	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜外）
区分 1	150069610	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜下）
区分 1	150069710	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）
区分 1	150069850	脳血管塞栓摘出術
区分 1	150069950	脳血管血栓摘出術
区分 1	150070010	脳内異物摘出術
区分 1	150070110	脳膿瘍全摘術
区分 1	150070210	頭蓋内腫瘤摘出術
区分 1	150070310	脳切除術
区分 1	150070510	頭蓋内腫瘍摘出術（松果体部腫瘍）
区分 1	150071010	経鼻的下垂体腫瘍摘出術
区分 1	150071110	脳動静脈奇形摘出術
区分 1	150071310	脳・脳膜脱手術
区分 1	150072110	頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）
区分 1	150072210	頭蓋骨形成手術（硬膜形成を伴う）
区分 1	150072950	骨形成的片側椎弓切除術と髄核摘出術
区分 2	150121610	乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術（乳腺全摘術））
区分 2	150121710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施しない）
区分 2	150121810	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）
区分 2	150121910	乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術（郭清を併施する））
区分 2	150123810	胸壁悪性腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）
区分 2	150123910	胸壁悪性腫瘍摘出術（その他）
区分 2	150124150	胸骨悪性腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）

区分2	150124710	試験開胸術 診療行為名
区分2	150127350	試験的開胸開腹術
区分2	150128310	縦隔腫瘍、胸腺摘出術
区分2	150128610	縦隔悪性腫瘍手術（単純摘出）
区分2	150129710	肺切除術（楔状部分切除）
区分2	150129810	肺切除術（区域切除（1肺葉に満たない））
区分2	150129910	肺切除術（肺葉切除）
区分2	150130010	肺切除術（複合切除（1肺葉を超える））
区分2	150130110	肺切除術（1側肺全摘）
区分2	150130650	肺切除と胸郭形成手術併施
区分2	150132210	食道縫合術（穿孔、損傷）（開胸手術）
区分2	150132310	食道縫合術（穿孔、損傷）（開腹手術）
区分2	150132410	食道周囲膿瘍切開誘導術（開胸手術）
区分2	150132610	食道周囲膿瘍切開誘導術（その他）
区分2	150133810	食道切除再建術（頸部、胸部、腹部の操作）
区分2	150133910	食道切除再建術（胸部、腹部の操作）
区分2	150134010	食道切除再建術（腹部の操作）
区分2	150134110	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（頸部食道）
区分2	150134210	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（胸部食道）
区分2	150135110	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作）
区分2	150135210	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（胸部、腹部の操作）
区分2	150135310	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（腹部の操作）
区分2	150135510	食道アカラシア形成手術
区分2	150136510	食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡）
区分2	150136610	横隔膜縫合術（経胸）
区分2	150136710	横隔膜縫合術（経腹）
区分2	150136810	横隔膜縫合術（経胸及び経腹）
区分2	150136950	横隔膜レラクサチオ手術（経胸）
区分2	150137050	横隔膜レラクサチオ手術（経腹）
区分2	150137150	横隔膜レラクサチオ手術（経胸及び経腹）
区分2	150137210	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1歳以上）
区分2	150137310	胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1歳以上）
区分2	150137410	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1歳以上）
区分2	150137810	後胸骨ヘルニア手術
区分2	150137910	食道裂孔ヘルニア手術（経胸）
区分2	150138010	食道裂孔ヘルニア手術（経腹）
区分2	150138110	食道裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）
区分2	150138210	心膜縫合術
区分2	150138310	心筋縫合止血術（外傷性）
区分2	150138410	心膜切開術
区分2	150138510	心膜嚢胞、心膜腫瘍切除術
区分2	150160810	急性汎発性腹膜炎手術
区分2	150162310	後腹膜悪性腫瘍手術
区分2	150165210	胃切除術（単純切除術）
区分2	150166110	胃全摘術（単純全摘術）

区分2	コード	診療行為名
区分2	150168010	胃切除術（悪性腫瘍手術）
区分2	150168110	胃全摘術（悪性腫瘍手術）
区分2	150169950	胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢に限局するもの（リンパ節郭清を含む））
区分2	150170050	胆管悪性腫瘍手術
区分2	150170310	食道下部迷走神経切除術（幹迷切）（胃切除術を併施）
区分2	150171310	胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）
区分2	150171510	十二指腸空腸吻合術
区分2	150172410	胆嚢摘出術
区分2	150173110	胆管形成手術（胆管切除術を含む）
区分2	150176110	肝内結石摘出術（開腹）
区分2	150176210	肝嚢胞、肝膿瘍摘出術
区分2	150177210	肝内胆管（肝管）胃（腸）吻合術
区分2	150177310	肝内胆管外瘻造設術（開腹）
区分2	150177410	肝内胆管外瘻造設術（経皮経肝）
区分2	150178110	脾体尾部腫瘍切除術（脾尾部切除術・腫瘍摘出術含む）（脾同時切除）
区分2	150178210	脾体尾部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）
区分2	150178410	脾頭部腫瘍切除術（脾頭十二指腸切除術）
区分2	150178710	脾全摘術
区分2	150179010	脾嚢胞胃（腸）吻合術
区分2	150179110	脾管空腸吻合術
区分2	150179310	脾嚢胞外瘻造設術（開腹）
区分2	150179710	脾縫合術（部分切除を含む）
区分2	150179810	脾摘出術
区分2	150180010	破裂腸管縫合術
区分2	150180110	腸切開術
区分2	150180210	腸管癒着症手術
区分2	150180350	腸閉塞症手術（腸管癒着症手術）
区分2	150180550	腸閉塞症手術（腸重積症整復術）（観血的）
区分2	150180650	腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術以外の切除術）
区分2	150180750	腸閉塞症手術（結腸切除術）（小範囲切除）
区分2	150180850	腸閉塞症手術（結腸切除術）（半側切除）
区分2	150180950	腸閉塞症手術（結腸切除術）（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）
区分2	150181110	腸重積症整復術（観血的）
区分2	150181210	小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）
区分2	150181310	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術（メッケル憩室炎手術を含む）
区分2	150181710	結腸切除術（小範囲切除）
区分2	150181810	結腸切除術（結腸半側切除）
区分2	150181910	結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）
区分2	150183110	結腸腫瘍摘出術（回盲部腫瘍摘出術を含む）
区分2	150183510	結腸ポリープ切除術（開腹）
区分2	150184110	腸吻合術
区分2	150187110	直腸切除・切断術（切除術）
区分2	150187210	直腸切除・切断術（切断術）
区分2	150192810	副腎悪性腫瘍手術（1歳以上）
区分2	150193010	腎破裂縫合術

区分	150193150	子宮破裂手術 診療行為名
区分 2	150194610	腎部分切除術
区分 2	150194810	腎嚢胞切除縮小術
区分 2	150195010	腎摘出術
区分 2	150195210	腎（尿管）悪性腫瘍手術（1歳以上）
区分 2	150200610	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（尿路変更を行わない））
区分 2	150209310	前立腺悪性腫瘍手術
区分 1	150215110	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮位置矯正術）
区分 1	150215310	子宮脱手術（マンチェスター手術）
区分 1	150215410	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮全摘術）（腔式、腹式）
区分 1	150215550	子宮脱手術（腔壁裂創縫合術、子宮筋腫核出術（腔式））
区分 1	150216010	子宮頸管ポリープ切除術
区分 1	150216510	子宮頸部（腔部）切除術
区分 1	150216910	子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）
区分 1	150217050	痕跡副角子宮手術（腹式）
区分 1	150217510	子宮全摘術
区分 1	150217610	広靱帯内腫瘍摘出術
区分 1	150217710	子宮悪性腫瘍手術
区分 1	150219010	奇形子宮形成手術（ストラスマン手術）
区分 1	150219210	腔式卵巣嚢腫内容排除術
区分 1	150219410	子宮附属器癒着剥離術（両側）（開腹）
区分 1	150219650	卵管口切開術（開腹）
区分 1	150219710	卵巣部分切除術（開腹）
区分 1	150219850	卵管結紮術（両側）（開腹）
区分 1	150220010	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（開腹）
区分 1	150220150	卵管全摘除術（両側）（開腹）
区分 1	150220250	卵管腫瘍全摘除術（両側）（開腹）
区分 1	150220450	子宮卵管留血腫手術（両側）（開腹）
区分 1	150220710	子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）
区分 1	150220910	卵管形成手術（卵管・卵巣移植、卵管架橋等）
区分 1	150222110	帝王切開術（緊急帝王切開）
区分 1	150222210	帝王切開術（選択帝王切開）
区分 1	150222810	子宮破裂手術（子宮全摘除を行う）
区分 1	150222910	子宮破裂手術（子宮腔上部切断を行う）
区分 1	150223010	子宮破裂手術（その他）
区分 1	150223110	妊娠子宮摘出術（ポロー手術）
区分 1	150224510	子宮外妊娠手術（開腹）
区分 1	150243210	体外式脊椎固定術
区分 1	150243410	脳動脈瘤被包術（1箇所）
区分 1	150243510	脳動脈瘤被包術（2箇所以上）
区分 1	150243610	脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（1箇所）
区分 1	150243710	脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（2箇所以上）
区分 1	150243810	脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）
区分 1	150243910	脳動脈瘤頸部クリッピング（2箇所以上）
区分 1	150245310	骨盤内臓全摘術

区分	診療行為名	診療行為名
区分2	150245410	低位前方切除術
区分2	150245510	副腎腫瘍摘出術（皮質腫瘍）
区分2	150245610	副腎腫瘍摘出術（髓質腫瘍（褐色細胞腫））
区分2	150245910	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（尿管S状結腸吻合利用で尿路変更を行う））
区分2	150246010	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（回腸又は結腸導管利用で尿路変更を行う））
区分2	150246110	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（代用膀胱利用で尿路変更を行う））
区分2	150253610	食道腫瘍摘出術（開胸又は開腹手術）
区分2	150254110	腹腔鏡下胆嚢摘出術
区分1	150255510	組織拡張器による再建手術
区分1	150256010	人工関節再置換術（股）
区分1	150256110	人工関節再置換術（膝）
区分1	150256510	人工関節再置換術（足）
区分1	150261910	半月板縫合術
区分2	150262710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う））
区分2	150264410	精巣悪性腫瘍手術
区分2	150264510	腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術
区分1	150264610	子宮付属器癒着剥離術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150264710	卵巣部分切除術（腹腔鏡）
区分1	150264910	子宮外妊娠手術（腹腔鏡）
区分2	150266610	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除））
区分1	150267650	卵管結紮術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150267750	卵管口切開術（腹腔鏡）
区分1	150268050	卵管全摘除術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150268150	卵管腫瘍全摘除術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150268250	子宮卵管留血腫手術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150270010	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）
区分2	150270150	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術
区分2	150270750	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術
区分2	150270850	胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術
区分2	150271550	腹腔鏡下腸管癒着剥離術
区分2	150271850	腹腔鏡下脾摘出術
区分2	150271950	腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）
区分1	150272250	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
区分1	150273310	椎間板摘出術（経皮的髓核摘出術）
区分2	150274710	食道腫瘍摘出術（腹腔鏡下）
区分2	150274810	内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）
区分2	150275110	腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術
区分2	150277410	脛体尾部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）
区分2	150277510	脛体尾部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）
区分2	150277710	腹腔鏡下肝嚢胞切開術
区分2	150277810	腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）
区分1	150278510	子宮筋腫摘出（核出）術（腔式）
区分1	150278610	子宮鏡下子宮筋腫摘出術
区分2	150279210	腹腔鏡下副腎摘出術
区分1	150282510	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方椎体固定）

区分1	コード	診療行為名
	150282610	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方又は後側方固定）
区分1	150282750	脊椎側彎症手術（固定術）
区分1	150284510	頭蓋内腫瘍摘出術（その他）
区分2	150288310	食道腫瘍摘出術（縦隔鏡下）
区分1	150291010	広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術
区分1	150291110	顕微鏡使用によるてんかん手術（焦点切除術）
区分1	150291210	顕微鏡使用によるてんかん手術（側頭葉切除術）
区分1	150291310	顕微鏡使用によるてんかん手術（脳梁離断術）
区分1	150294110	腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）術
区分2	150296310	腹腔鏡下食道アカラシア形成手術
区分2	150296910	腓頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）
区分2	150297010	腓頭部腫瘍切除術（十二指腸温存腓頭切除術）
区分2	150297110	腓頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）
区分2	150297210	腓頭部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）
区分2	150297310	小腸切除術（悪性腫瘍手術）
区分2	150297410	結腸憩室摘出術
区分2	150297510	直腸切除・切断術（超低位前方切除術）（経肛門の結腸囊肛門吻合）
区分2	150298750	胸腔鏡下肺縫縮術
区分2	150299350	腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術）
区分1	150299850	腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術
区分1	150300310	人工関節抜去術（股）
区分1	150300410	人工関節抜去術（膝）
区分2	150303110	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））
区分1	150308510	股関節周囲筋腱解離術（変形性股関節症）
区分1	150308610	四肢・躯幹部腫瘍摘出術（躯幹）
区分1	150308710	四肢・躯幹部悪性腫瘍手術（躯幹）
区分1	150308810	大腿骨頭回転骨切り術
区分1	150308910	大腿骨近位部（転子間を含む）骨切り術
区分1	150309510	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（膝）
区分1	150309910	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（足）
区分1	150310310	関節鏡下関節滑膜切除術（股）
区分1	150310410	関節鏡下関節滑膜切除術（膝）
区分1	150310810	関節鏡下関節滑膜切除術（足）
区分1	150311210	関節鏡下滑液膜摘出術（股）
区分1	150311310	関節鏡下滑液膜摘出術（膝）
区分1	150313110	関節鏡下半月板切除術
区分1	150313210	関節鏡下半月板縫合術
区分1	150313310	関節鏡下靭帯断裂縫合術（十字靭帯）
区分1	150313710	関節鏡下靭帯断裂形成手術（十字靭帯）
区分1	150313810	関節鏡下靭帯断裂形成手術（膝側副靭帯）
区分1	150314210	内視鏡下椎弓切除術
区分1	150314410	内視鏡下椎間板摘出（切除）術（後方摘出術）
区分1	150314510	寛骨臼移動術
区分1	150314610	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方椎体固定）

区分	コード	診療行為名
区分1	150314710	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方後方同時固定）
区分1	150314810	内視鏡下脊椎固定術（胸椎又は腰椎前方固定）
区分2	150316510	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わない））
区分2	150317110	肺切除術（気管支形成を伴う肺切除）
区分2	150317710	食道腫瘍摘出術（胸腔鏡下）
区分2	150323410	腹腔鏡下胃切除術（単純切除術）
区分2	150323510	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）
区分2	150323710	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）
区分2	150324010	胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（葉以上）を伴う）
区分2	150324110	胆嚢悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除を伴う）
区分2	150324210	胆嚢悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴う）
区分2	150324910	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
区分2	150325210	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）
区分2	150325710	腹腔鏡下腎部分切除術
区分2	150325810	腹腔鏡下腎嚢胞切除縮小術
区分2	150325910	腹腔鏡下腎摘出術
区分2	150326010	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術
区分2	150326110	腹腔鏡下腎盂形成手術
区分2	150326510	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
区分1	150327210	腹腔鏡下広靭帯内腫瘍摘出術
区分2	150329510	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1歳未満）
区分2	150329610	胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1歳未満）
区分2	150329710	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1歳未満）
区分1	150334810	多発性骨腫摘出術（下腿）
区分1	150335610	減圧開頭術（キアリ奇形、脊髓空洞症）
区分1	150335810	頭蓋骨形成手術（骨移動を伴う）
区分2	150336810	内視鏡の食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）
区分2	150337210	噴門側胃切除術（単純切除術）
区分2	150337310	噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）
区分2	150337710	腹腔鏡下結腸切除術（全切除、亜全切除）
区分2	150337810	腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）
区分2	150337910	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）
区分2	150338110	腹腔鏡下小切開副腎摘出術
区分2	150338310	腹腔鏡下小切開腎摘出術
区分2	150338410	腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
区分2	150338810	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
区分1	150343910	脊椎側彎症手術（矯正術）（初回挿入）
区分1	150344010	脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）
区分1	150344110	脊椎側彎症手術（矯正術）（伸展術）
区分1	150344250	脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）（胸郭変形矯正用材料使用）
区分2	150346310	食道空置バイパス作成術
区分2	150347910	肝門部胆管悪性腫瘍手術（血行再建なし）
区分2	150348110	腹腔鏡下肝切除術（外側区域切除）
区分2	150348410	臍体尾部腫瘍切除術（臍尾部切除術・腫瘍摘出術含む）（臍温存）
区分1	150349210	帝王切開術（前置胎盤を合併又は32週未満の早産）

区分	コード	診療行為名
区分 1	150352210	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（大腿）
区分 1	150352410	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（下腿）
区分 1	150352610	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（足）
区分 1	150353310	関節鏡下関節内骨折観血の手術（股）
区分 1	150353410	関節鏡下関節内骨折観血の手術（膝）
区分 1	150353810	関節鏡下関節内骨折観血の手術（足）
区分 1	150354110	関節鏡下靭帯断裂形成手術（内側膝蓋大腿靭帯）
区分 1	150354810	腫瘍脊椎骨全摘術
区分 1	150354910	脊椎制動術
区分 1	150355010	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓切除）
区分 1	150355110	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓形成）
区分 1	150355210	経皮的椎体形成術
区分 2	150356910	胸腔鏡下試験開胸術
区分 2	150357110	膿胸腔有茎大網充填術
区分 2	150357210	胸腔鏡下胸管結紮術（乳糜胸手術）
区分 2	150357310	胸腔鏡下縦隔切開術
区分 2	150357410	縦隔悪性腫瘍手術（広汎摘出）
区分 2	150357710	胸腔鏡下肺切除術（その他）
区分 2	150357810	肺悪性腫瘍手術（部分切除）
区分 2	150357910	肺悪性腫瘍手術（区域切除）
区分 2	150358010	肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超える）
区分 2	150358110	肺悪性腫瘍手術（肺全摘）
区分 2	150358210	肺悪性腫瘍手術（隣接臓器合併切除を伴う肺切除）
区分 2	150358310	肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
区分 2	150358410	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部切除を伴う肺切除）
区分 2	150358510	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部再建を伴う肺切除）
区分 2	150358610	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）
区分 2	150358710	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）
区分 2	150358810	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超える）
区分 2	150359110	胸腔鏡下（腹腔鏡下を含む）横隔膜縫合術
区分 2	150361110	腹腔鏡下骨盤内リンパ節群郭清術
区分 2	150361610	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術
区分 2	150361710	腹腔鏡下後腹膜腫瘍摘出術
区分 2	150362010	腹腔鏡下胃腸吻合術
区分 2	150362210	胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（亜区域切除以上））
区分 2	150362610	肝切除術（部分切除）（1 歳以上）
区分 2	150362710	肝切除術（亜区域切除）（1 歳以上）
区分 2	150362810	肝切除術（外側区域切除）（1 歳以上）
区分 2	150362910	肝切除術（1 区域切除（外側区域切除を除く））（1 歳以上）
区分 2	150363010	肝切除術（2 区域切除）（1 歳以上）
区分 2	150363110	肝切除術（3 区域切除以上）（1 歳以上）
区分 2	150363210	肝切除術（2 区域切除以上で血行再建）（1 歳以上）
区分 2	150363510	腹腔鏡下臀部尾部腫瘍切除術
区分 2	150363710	腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術）
区分 2	150363810	全結腸・直腸切除嚢肛門吻合術

区分2	150364210	腹腔鏡下腸閉鎖症手術
区分2	150364610	腹腔鏡下直腸脱手術
区分2	150364710	腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術
区分2	150365010	経尿道的尿路結石除去術（レーザー）
区分2	150365110	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）
区分2	150365210	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
区分2	150365310	腹腔鏡下膀胱内手術
区分2	150365710	経尿道的レーザー前立腺切除術（ホルミウムレーザー）
区分1	150366010	腹腔鏡下子宮腔上部切断術
区分1	150366110	腹腔鏡下卵管形成術
区分2	150366910	腹腔鏡下食道静脈瘤手術（胃上部血行遮断術）

分子の定義:

1 :
分母のうち、EF ファイルを参照し、当該入院期間中に以下のいずれかに該当する患者を抽出し、分子とする。

2 :
(ア) 以下の算定があった患者

分子のデータ2

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
113006910	肺血栓栓塞症予防管理料	○	○	○	○	○

3 :
(イ) 抗凝固療法〔以下の薬価基準コードの薬剤が用いられたもの〕が行われた患者

分子のデータ3

薬価基準コード	名称
3332\$	ワルファリンカリウム
3334400\$	ヘパリンカルシウム
3334401\$	ヘパリンナトリウム
3334402\$	ヘパリンナトリウム
3334406\$	エノキサパリンナトリウム
3339001\$	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩
3339002\$	エドキサバントシル酸塩水和物
3339003\$	リバーロキサバン
3339004\$	アピキサバン
3339400\$	フォンダパリヌクスナトリウム

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
手術の一覧は、独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアルおよびVer.3.1を引用している。

参考値:

参考資料:

1 :

独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアル

2 :

The Joint Commission; Specifications Manual for National Hospital Inpatient Quality Measures, Version 4.3a SCIP-VTE-2 Surgery Patients Who Received Appropriate Venous Thromboembolism Prophylaxis Within 24 Hours Prior to Surgery to 24 Hours After Surgery(http://www.jointcommission.org/assets/1/6/NHQM_v4_3a_PDF_10_2_2013.zip)

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-03

名称: 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 a. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

指標番号:

QIP: 2121

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 呼吸器系

名称: 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 a. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

意義: 周術期の肺血栓塞栓症の予防行為の実施は、発生率を下げることに繋がる。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数

分子: 分母のうち肺血栓塞栓症の予防対策（弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上）が実施された患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

計測期間において、EF ファイルを参照し、危険因子の手術〔下記〕（リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/ 深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）の予防ガイドライン』に準じて抽出）のいずれかの手術名がある退院患者を抽出し、分母とする。なお、様式1 の生年月日と入院年月日より入院時年齢を求め、区分1 は15 歳以上の患者、区分2 は40歳以上の患者を対象とする。

分母のデータ1

区分	コード	診療行為名
区分 1	150009410	筋膜切離術
区分 1	150009510	筋膜切開術
区分 1	150009610	筋切離術
区分 1	150009710	股関節内転筋切離術
区分 1	150009810	股関節筋群解離術
区分 1	150009910	筋炎手術（腸腰筋）
区分 1	150010010	筋炎手術（殿筋）
区分 1	150010110	筋炎手術（大腿筋）
区分 1	150011110	四肢・躯幹部腫瘍摘出術（大腿）
区分 1	150011210	四肢・躯幹部腫瘍摘出術（下腿）
区分 1	150011410	四肢・躯幹部腫瘍摘出術（足）
区分 1	150011810	四肢・躯幹部悪性腫瘍手術（大腿）
区分 1	150011910	四肢・躯幹部悪性腫瘍手術（下腿）
区分 1	150012110	四肢・躯幹部悪性腫瘍手術（足）
区分 1	150019210	骨折観血的手術（大腿）
区分 1	150019410	骨折観血的手術（下腿）
区分 1	150019610	骨折観血的手術（膝蓋骨）
区分 1	150019810	骨折観血的手術（足）
区分 1	150020710	骨内異物（挿入物を含む）除去術（大腿）
区分 1	150021110	骨内異物（挿入物を含む）除去術（膝蓋骨）
区分 1	150021310	骨内異物（挿入物を含む）除去術（足）
区分 1	150021610	骨部分切除術（大腿）

区分1	15001810	治療行為 (下腿)
区分1	150022010	骨部分切除術 (膝蓋骨)
区分1	150022210	骨部分切除術 (足)
区分1	150022710	腐骨摘出術 (大腿)
区分1	150022910	腐骨摘出術 (下腿)
区分1	150023110	腐骨摘出術 (膝蓋骨)
区分1	150024910	骨腫瘍切除術 (大腿)
区分1	150025110	骨腫瘍切除術 (下腿)
区分1	150025510	骨腫瘍切除術 (足)
区分1	150025850	多発性軟骨性外骨腫摘出術 (大腿)
区分1	150026050	多発性軟骨性外骨腫摘出術 (下腿)
区分1	150026710	骨悪性腫瘍手術 (大腿)
区分1	150026910	骨悪性腫瘍手術 (下腿)
区分1	150027710	骨切り術 (大腿)
区分1	150027910	骨切り術 (下腿)
区分1	150028110	骨切り術 (膝蓋骨)
区分1	150028310	骨切り術 (足)
区分1	150028810	偽関節手術 (大腿)
区分1	150029010	偽関節手術 (下腿)
区分1	150029210	偽関節手術 (膝蓋骨)
区分1	150029410	偽関節手術 (足)
区分1	150032010	関節切開術 (股)
区分1	150032110	関節切開術 (膝)
区分1	150035310	関節脱臼靦血の整復術 (股)
区分1	150035410	関節脱臼靦血の整復術 (膝)
区分1	150035810	関節脱臼靦血の整復術 (足)
区分1	150036310	関節内異物 (挿入物) 除去術 (股)
区分1	150036410	関節内異物 (挿入物) 除去術 (膝)
区分1	150036810	関節内異物 (挿入物) 除去術 (足)
区分1	150037210	関節滑膜切除術 (股)
区分1	150037310	関節滑膜切除術 (膝)
区分1	150037710	関節滑膜切除術 (足)
区分1	150038350	滑液膜摘出術 (膝)
区分1	150038750	滑液膜摘出術 (足)
区分1	150040910	半月板切除術
区分1	150041810	関節切除術 (股)
区分1	150041910	関節切除術 (膝)
区分1	150042310	関節切除術 (足)
区分1	150042710	関節内骨折靦血の手術 (股)
区分1	150042810	関節内骨折靦血の手術 (膝)
区分1	150043210	関節内骨折靦血の手術 (足)
区分1	150043510	靦帯断裂縫合術 (十字靦帯)
区分1	150043610	靦帯断裂縫合術 (膝側副靦帯)
区分1	150045410	靦血の関節授動術 (膝)
区分1	150045810	靦血の関節授動術 (足)

区分1	150046210	観血の関節制動術（股）
区分1	150046310	観血の関節制動術（膝）
区分1	150047110	観血の関節固定術（股）
区分1	150047210	観血の関節固定術（膝）
区分1	150047610	観血の関節固定術（足）
区分1	150047910	靭帯断裂形成手術（十字靭帯）
区分1	150048010	靭帯断裂形成手術（膝側副靭帯）
区分1	150048310	関節形成手術（股）
区分1	150048410	関節形成手術（膝）
区分1	150048810	関節形成手術（足）
区分1	150049510	人工骨頭挿入術（股）
区分1	150050010	人工骨頭挿入術（足）
区分1	150050410	人工関節置換術（股）
区分1	150050510	人工関節置換術（膝）
区分1	150050910	人工関節置換術（足）
区分1	150051610	四肢切断術（大腿）
区分1	150051710	四肢切断術（下腿）
区分1	150051810	四肢切断術（足）
区分1	150052210	四肢関節離断術（股）
区分1	150052310	四肢関節離断術（膝）
区分1	150052610	四肢関節離断術（足）
区分1	150052950	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（股）
区分1	150053050	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（膝）
区分1	150053350	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（足）
区分1	150058810	腸骨窩膿瘍切開術
区分1	150058910	腸骨窩膿瘍搔爬術
区分1	150059310	脊椎骨搔爬術
区分1	150059410	骨盤骨搔爬術
区分1	150059810	脊椎、骨盤脱臼観血の手術
区分1	150060210	仙腸関節脱臼観血の手術
区分1	150060310	恥骨結合離開観血の手術
区分1	150060810	腸骨翼骨折観血の手術
区分1	150060910	骨盤骨折観血の手術（腸骨翼骨折を除く）
区分1	150061810	脊椎内異物（挿入物）除去術
区分1	150061910	骨盤内異物（挿入物）除去術
区分1	150062910	黄色靭帯骨化症手術
区分1	150063110	椎間板摘出術（前方摘出術）
区分1	150063210	椎間板摘出術（後方摘出術）
区分1	150063310	椎間板摘出術（側方摘出術）
区分1	150063710	脊椎腫瘍切除術
区分1	150063810	骨盤腫瘍切除術
区分1	150063910	脊椎悪性腫瘍手術
区分1	150064010	骨盤悪性腫瘍手術
区分1	150064210	骨盤切断術
区分1	150064410	脊椎披裂手術（神経処置を伴う）

区分	コード	診療行為名
区分1	150064510	脊椎接合手術（その他）
区分1	150064610	脊椎骨切り術
区分1	150064710	骨盤骨切り術
区分1	150064810	白蓋形成手術
区分1	150066110	仙腸関節固定術
区分1	150067210	試験開頭術
区分1	150067350	穿頭術及び試験開頭術を2か所以上
区分1	150067410	減圧開頭術（その他）
区分1	150067510	脳膿瘍排膿術
区分1	150067710	耳性頭蓋内合併症手術
区分1	150067850	耳科的硬脳膜外膿瘍切開術
区分1	150067910	鼻性頭蓋内合併症手術
区分1	150068310	脳切截術（開頭）
区分1	150068410	延髄における脊髄視床路切截術
区分1	150068510	三叉神経節後線維切截術
区分1	150068610	視神経管開放術
区分1	150068710	顔面神経減圧手術（乳様突起経由）
区分1	150068850	顔面神経管開放術
区分1	150068910	脳神経手術（開頭）
区分1	150069050	頭蓋内微小血管減圧術
区分1	150069110	頭蓋骨腫瘍摘出術
区分1	150069210	頭皮、頭蓋骨悪性腫瘍手術
区分1	150069510	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜外）
区分1	150069610	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜下）
区分1	150069710	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）
区分1	150069850	脳血管塞栓摘出術
区分1	150069950	脳血管血栓摘出術
区分1	150070010	脳内異物摘出術
区分1	150070110	脳膿瘍全摘術
区分1	150070210	頭蓋内腫瘤摘出術
区分1	150070310	脳切除術
区分1	150070510	頭蓋内腫瘍摘出術（松果体部腫瘍）
区分1	150071010	経鼻的下垂体腫瘍摘出術
区分1	150071110	脳動静脈奇形摘出術
区分1	150071310	脳・脳膜脱手術
区分1	150072110	頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）
区分1	150072210	頭蓋骨形成手術（硬膜形成を伴う）
区分1	150072950	骨形成的片側椎弓切除術と髄核摘出術
区分2	150121610	乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術（乳腺全摘術））
区分2	150121710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施しない）
区分2	150121810	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）
区分2	150121910	乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術（郭清を併施する））
区分2	150123810	胸壁悪性腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）
区分2	150123910	胸壁悪性腫瘍摘出術（その他）
区分2	150124150	胸骨悪性腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）

区分	コード	診療行為名
区分2	150124710	試験的開胸開腹術
区分2	150127350	試験的開胸開腹術
区分2	150128310	縦隔腫瘍、胸腺摘出術
区分2	150128610	縦隔悪性腫瘍手術（単純摘出）
区分2	150129710	肺切除術（楔状部分切除）
区分2	150129810	肺切除術（区域切除（1肺葉に満たない））
区分2	150129910	肺切除術（肺葉切除）
区分2	150130010	肺切除術（複合切除（1肺葉を超える））
区分2	150130110	肺切除術（1側肺全摘）
区分2	150130650	肺切除と胸郭形成手術併施
区分2	150132210	食道縫合術（穿孔、損傷）（開胸手術）
区分2	150132310	食道縫合術（穿孔、損傷）（開腹手術）
区分2	150132410	食道周囲膿瘍切開誘導術（開胸手術）
区分2	150132610	食道周囲膿瘍切開誘導術（その他）
区分2	150133810	食道切除再建術（頸部、胸部、腹部の操作）
区分2	150133910	食道切除再建術（胸部、腹部の操作）
区分2	150134010	食道切除再建術（腹部の操作）
区分2	150134110	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（頸部食道）
区分2	150134210	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（胸部食道）
区分2	150135110	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作）
区分2	150135210	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（胸部、腹部の操作）
区分2	150135310	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（腹部の操作）
区分2	150135510	食道アカラシア形成手術
区分2	150136510	食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡）
区分2	150136610	横隔膜縫合術（経胸）
区分2	150136710	横隔膜縫合術（経腹）
区分2	150136810	横隔膜縫合術（経胸及び経腹）
区分2	150136950	横隔膜レラクサチオ手術（経胸）
区分2	150137050	横隔膜レラクサチオ手術（経腹）
区分2	150137150	横隔膜レラクサチオ手術（経胸及び経腹）
区分2	150137210	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1歳以上）
区分2	150137310	胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1歳以上）
区分2	150137410	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1歳以上）
区分2	150137810	後胸骨ヘルニア手術
区分2	150137910	食道裂孔ヘルニア手術（経胸）
区分2	150138010	食道裂孔ヘルニア手術（経腹）
区分2	150138110	食道裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）
区分2	150138210	心膜縫合術
区分2	150138310	心筋縫合止血術（外傷性）
区分2	150138410	心膜切開術
区分2	150138510	心膜嚢胞、心膜腫瘍切除術
区分2	150160810	急性汎発性腹膜炎手術
区分2	150162310	後腹膜悪性腫瘍手術
区分2	150165210	胃切除術（単純切除術）
区分2	150166110	胃全摘術（単純全摘術）

区分2	コード	診療行為名
区分2	150168010	胃切除術（悪性腫瘍手術）
区分2	150168110	胃全摘術（悪性腫瘍手術）
区分2	150169950	胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢に限局するもの（リンパ節郭清を含む））
区分2	150170050	胆管悪性腫瘍手術
区分2	150170310	食道下部迷走神経切除術（幹迷切）（胃切除術を併施）
区分2	150171310	胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）
区分2	150171510	十二指腸空腸吻合術
区分2	150172410	胆嚢摘出術
区分2	150173110	胆管形成手術（胆管切除術を含む）
区分2	150176110	肝内結石摘出術（開腹）
区分2	150176210	肝嚢胞、肝膿瘍摘出術
区分2	150177210	肝内胆管（肝管）胃（腸）吻合術
区分2	150177310	肝内胆管外瘻造設術（開腹）
区分2	150177410	肝内胆管外瘻造設術（経皮経肝）
区分2	150178110	脾体尾部腫瘍切除術（脾尾部切除術・腫瘍摘出術含む）（脾同時切除）
区分2	150178210	脾体尾部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）
区分2	150178410	脾頭部腫瘍切除術（脾頭十二指腸切除術）
区分2	150178710	脾全摘術
区分2	150179010	脾嚢胞胃（腸）吻合術
区分2	150179110	脾管空腸吻合術
区分2	150179310	脾嚢胞外瘻造設術（開腹）
区分2	150179710	脾縫合術（部分切除を含む）
区分2	150179810	脾摘出術
区分2	150180010	破裂腸管縫合術
区分2	150180110	腸切開術
区分2	150180210	腸管癒着症手術
区分2	150180350	腸閉塞症手術（腸管癒着症手術）
区分2	150180550	腸閉塞症手術（腸重積症整復術）（観血的）
区分2	150180650	腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術以外の切除術）
区分2	150180750	腸閉塞症手術（結腸切除術）（小範囲切除）
区分2	150180850	腸閉塞症手術（結腸切除術）（半側切除）
区分2	150180950	腸閉塞症手術（結腸切除術）（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）
区分2	150181110	腸重積症整復術（観血的）
区分2	150181210	小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）
区分2	150181310	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術（メッケル憩室炎手術を含む）
区分2	150181710	結腸切除術（小範囲切除）
区分2	150181810	結腸切除術（結腸半側切除）
区分2	150181910	結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）
区分2	150183110	結腸腫瘍摘出術（回盲部腫瘍摘出術を含む）
区分2	150183510	結腸ポリープ切除術（開腹）
区分2	150184110	腸吻合術
区分2	150187110	直腸切除・切断術（切除術）
区分2	150187210	直腸切除・切断術（切断術）
区分2	150192810	副腎悪性腫瘍手術（1歳以上）
区分2	150193010	腎破裂縫合術

区分	150193150	子宮破裂手術 診療行為名
区分 2	150194610	腎部分切除術
区分 2	150194810	腎嚢胞切除縮小術
区分 2	150195010	腎摘出術
区分 2	150195210	腎（尿管）悪性腫瘍手術（1歳以上）
区分 2	150200610	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（尿路変更を行わない））
区分 2	150209310	前立腺悪性腫瘍手術
区分 1	150215110	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮位置矯正術）
区分 1	150215310	子宮脱手術（マンチェスター手術）
区分 1	150215410	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮全摘術）（腔式、腹式）
区分 1	150215550	子宮脱手術（腔壁裂創縫合術、子宮筋腫核出術（腔式））
区分 1	150216010	子宮頸管ポリープ切除術
区分 1	150216510	子宮頸部（腔部）切除術
区分 1	150216910	子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）
区分 1	150217050	痕跡副角子宮手術（腹式）
区分 1	150217510	子宮全摘術
区分 1	150217610	広靱帯内腫瘍摘出術
区分 1	150217710	子宮悪性腫瘍手術
区分 1	150219010	奇形子宮形成手術（ストラスマン手術）
区分 1	150219210	腔式卵巣嚢腫内容排除術
区分 1	150219410	子宮附属器癒着剥離術（両側）（開腹）
区分 1	150219650	卵管口切開術（開腹）
区分 1	150219710	卵巣部分切除術（開腹）
区分 1	150219850	卵管結紮術（両側）（開腹）
区分 1	150220010	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（開腹）
区分 1	150220150	卵管全摘除術（両側）（開腹）
区分 1	150220250	卵管腫瘍全摘除術（両側）（開腹）
区分 1	150220450	子宮卵管留血腫手術（両側）（開腹）
区分 1	150220710	子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）
区分 1	150220910	卵管形成手術（卵管・卵巣移植、卵管架橋等）
区分 1	150222110	帝王切開術（緊急帝王切開）
区分 1	150222210	帝王切開術（選択帝王切開）
区分 1	150222810	子宮破裂手術（子宮全摘除を行う）
区分 1	150222910	子宮破裂手術（子宮腔上部切断を行う）
区分 1	150223010	子宮破裂手術（その他）
区分 1	150223110	妊娠子宮摘出術（ポロー手術）
区分 1	150224510	子宮外妊娠手術（開腹）
区分 1	150243210	体外式脊椎固定術
区分 1	150243410	脳動脈瘤被包術（1箇所）
区分 1	150243510	脳動脈瘤被包術（2箇所以上）
区分 1	150243610	脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（1箇所）
区分 1	150243710	脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（2箇所以上）
区分 1	150243810	脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）
区分 1	150243910	脳動脈瘤頸部クリッピング（2箇所以上）
区分 1	150245310	骨盤内臓全摘術

区分	診療行為名	診療行為名
区分2	150245410	低位前方切除術（低位前方切除術）
区分2	150245510	副腎腫瘍摘出術（皮質腫瘍）
区分2	150245610	副腎腫瘍摘出術（髓質腫瘍（褐色細胞腫））
区分2	150245910	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（尿管S状結腸吻合利用で尿路変更を行う））
区分2	150246010	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（回腸又は結腸導管利用で尿路変更を行う））
区分2	150246110	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（代用膀胱利用で尿路変更を行う））
区分2	150253610	食道腫瘍摘出術（開胸又は開腹手術）
区分2	150254110	腹腔鏡下胆嚢摘出術
区分1	150255510	組織拡張器による再建手術
区分1	150256010	人工関節再置換術（股）
区分1	150256110	人工関節再置換術（膝）
区分1	150256510	人工関節再置換術（足）
区分1	150261910	半月板縫合術
区分2	150262710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う））
区分2	150264410	精巣悪性腫瘍手術
区分2	150264510	腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術
区分1	150264610	子宮付属器癒着剥離術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150264710	卵巣部分切除術（腹腔鏡）
区分1	150264910	子宮外妊娠手術（腹腔鏡）
区分2	150266610	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除））
区分1	150267650	卵管結紮術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150267750	卵管口切開術（腹腔鏡）
区分1	150268050	卵管全摘除術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150268150	卵管腫瘍全摘除術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150268250	子宮卵管留血腫手術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150270010	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）
区分2	150270150	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術
区分2	150270750	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術
区分2	150270850	胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術
区分2	150271550	腹腔鏡下腸管癒着剥離術
区分2	150271850	腹腔鏡下脾摘出術
区分2	150271950	腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）
区分1	150272250	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
区分1	150273310	椎間板摘出術（経皮的髓核摘出術）
区分2	150274710	食道腫瘍摘出術（腹腔鏡下）
区分2	150274810	内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）
区分2	150275110	腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術
区分2	150277410	脛体尾部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）
区分2	150277510	脛体尾部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）
区分2	150277710	腹腔鏡下肝嚢胞切開術
区分2	150277810	腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）
区分1	150278510	子宮筋腫摘出（核出）術（腔式）
区分1	150278610	子宮鏡下子宮筋腫摘出術
区分2	150279210	腹腔鏡下副腎摘出術
区分1	150282510	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方椎体固定）

区分	コード	診療行為名
	150282610	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方又は後側方固定）
区分 1	150282750	脊椎側彎症手術（固定術）
区分 1	150284510	頭蓋内腫瘍摘出術（その他）
区分 2	150288310	食道腫瘍摘出術（縦隔鏡下）
区分 1	150291010	広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術
区分 1	150291110	顕微鏡使用によるてんかん手術（焦点切除術）
区分 1	150291210	顕微鏡使用によるてんかん手術（側頭葉切除術）
区分 1	150291310	顕微鏡使用によるてんかん手術（脳梁離断術）
区分 1	150294110	腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）術
区分 2	150296310	腹腔鏡下食道アカラシア形成手術
区分 2	150296910	腓頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）
区分 2	150297010	腓頭部腫瘍切除術（十二指腸温存腓頭切除術）
区分 2	150297110	腓頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）
区分 2	150297210	腓頭部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）
区分 2	150297310	小腸切除術（悪性腫瘍手術）
区分 2	150297410	結腸憩室摘出術
区分 2	150297510	直腸切除・切断術（超低位前方切除術）（経肛門の結腸囊肛門吻合）
区分 2	150298750	胸腔鏡下肺縫縮術
区分 2	150299350	腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術）
区分 1	150299850	腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術
区分 1	150300310	人工関節抜去術（股）
区分 1	150300410	人工関節抜去術（膝）
区分 2	150303110	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））
区分 1	150308510	股関節周囲筋腱解離術（変形性股関節症）
区分 1	150308610	四肢・躯幹部腫瘍摘出術（躯幹）
区分 1	150308710	四肢・躯幹部悪性腫瘍手術（躯幹）
区分 1	150308810	大腿骨頭回転骨切り術
区分 1	150308910	大腿骨近位部（転子間を含む）骨切り術
区分 1	150309510	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（膝）
区分 1	150309910	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（足）
区分 1	150310310	関節鏡下関節滑膜切除術（股）
区分 1	150310410	関節鏡下関節滑膜切除術（膝）
区分 1	150310810	関節鏡下関節滑膜切除術（足）
区分 1	150311210	関節鏡下滑液膜摘出術（股）
区分 1	150311310	関節鏡下滑液膜摘出術（膝）
区分 1	150313110	関節鏡下半月板切除術
区分 1	150313210	関節鏡下半月板縫合術
区分 1	150313310	関節鏡下靭帯断裂縫合術（十字靭帯）
区分 1	150313710	関節鏡下靭帯断裂形成手術（十字靭帯）
区分 1	150313810	関節鏡下靭帯断裂形成手術（膝側副靭帯）
区分 1	150314210	内視鏡下椎弓切除術
区分 1	150314410	内視鏡下椎間板摘出（切除）術（後方摘出術）
区分 1	150314510	寛骨臼移動術
区分 1	150314610	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方椎体固定）

区分	コード	診療行為名
区分1	150314710	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方後方同時固定）
区分1	150314810	内視鏡下脊椎固定術（胸椎又は腰椎前方固定）
区分2	150316510	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わない））
区分2	150317110	肺切除術（気管支形成を伴う肺切除）
区分2	150317710	食道腫瘍摘出術（胸腔鏡下）
区分2	150323410	腹腔鏡下胃切除術（単純切除術）
区分2	150323510	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）
区分2	150323710	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）
区分2	150324010	胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（葉以上）を伴う）
区分2	150324110	胆嚢悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除を伴う）
区分2	150324210	胆嚢悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴う）
区分2	150324910	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
区分2	150325210	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）
区分2	150325710	腹腔鏡下腎部分切除術
区分2	150325810	腹腔鏡下腎嚢胞切除縮小術
区分2	150325910	腹腔鏡下腎摘出術
区分2	150326010	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術
区分2	150326110	腹腔鏡下腎盂形成手術
区分2	150326510	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
区分1	150327210	腹腔鏡下広靭帯内腫瘍摘出術
区分2	150329510	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1歳未満）
区分2	150329610	胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1歳未満）
区分2	150329710	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1歳未満）
区分1	150334810	多発性骨腫瘍摘出術（下腿）
区分1	150335610	減圧開頭術（キアリ奇形、脊髓空洞症）
区分1	150335810	頭蓋骨形成手術（骨移動を伴う）
区分2	150336810	内視鏡の食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）
区分2	150337210	噴門側胃切除術（単純切除術）
区分2	150337310	噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）
区分2	150337710	腹腔鏡下結腸切除術（全切除、亜全切除）
区分2	150337810	腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）
区分2	150337910	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）
区分2	150338110	腹腔鏡下小切開副腎摘出術
区分2	150338310	腹腔鏡下小切開腎摘出術
区分2	150338410	腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
区分2	150338810	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
区分1	150343910	脊椎側彎症手術（矯正術）（初回挿入）
区分1	150344010	脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）
区分1	150344110	脊椎側彎症手術（矯正術）（伸展術）
区分1	150344250	脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）（胸郭変形矯正用材料使用）
区分2	150346310	食道空置バイパス作成術
区分2	150347910	肝門部胆管悪性腫瘍手術（血行再建なし）
区分2	150348110	腹腔鏡下肝切除術（外側区域切除）
区分2	150348410	臍体尾部腫瘍切除術（臍尾部切除術・腫瘍摘出術含む）（臍温存）
区分1	150349210	帝王切開術（前置胎盤を合併又は32週未満の早産）

区分	コード	診療行為名
区分 1	150352210	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（大腿）
区分 1	150352410	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（下腿）
区分 1	150352610	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（足）
区分 1	150353310	関節鏡下関節内骨折観血の手術（股）
区分 1	150353410	関節鏡下関節内骨折観血の手術（膝）
区分 1	150353810	関節鏡下関節内骨折観血の手術（足）
区分 1	150354110	関節鏡下靭帯断裂形成手術（内側膝蓋大腿靭帯）
区分 1	150354810	腫瘍脊椎骨全摘術
区分 1	150354910	脊椎制動術
区分 1	150355010	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓切除）
区分 1	150355110	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓形成）
区分 1	150355210	経皮的椎体形成術
区分 2	150356910	胸腔鏡下試験開胸術
区分 2	150357110	膿胸腔有茎大網充填術
区分 2	150357210	胸腔鏡下胸管結紮術（乳糜胸手術）
区分 2	150357310	胸腔鏡下縦隔切開術
区分 2	150357410	縦隔悪性腫瘍手術（広汎摘出）
区分 2	150357710	胸腔鏡下肺切除術（その他）
区分 2	150357810	肺悪性腫瘍手術（部分切除）
区分 2	150357910	肺悪性腫瘍手術（区域切除）
区分 2	150358010	肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超える）
区分 2	150358110	肺悪性腫瘍手術（肺全摘）
区分 2	150358210	肺悪性腫瘍手術（隣接臓器合併切除を伴う肺切除）
区分 2	150358310	肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
区分 2	150358410	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部切除を伴う肺切除）
区分 2	150358510	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部再建を伴う肺切除）
区分 2	150358610	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）
区分 2	150358710	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）
区分 2	150358810	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超える）
区分 2	150359110	胸腔鏡下（腹腔鏡下を含む）横隔膜縫合術
区分 2	150361110	腹腔鏡下骨盤内リンパ節群郭清術
区分 2	150361610	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術
区分 2	150361710	腹腔鏡下後腹膜腫瘍摘出術
区分 2	150362010	腹腔鏡下胃腸吻合術
区分 2	150362210	胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（亜区域切除以上））
区分 2	150362610	肝切除術（部分切除）（1 歳以上）
区分 2	150362710	肝切除術（亜区域切除）（1 歳以上）
区分 2	150362810	肝切除術（外側区域切除）（1 歳以上）
区分 2	150362910	肝切除術（1 区域切除（外側区域切除を除く））（1 歳以上）
区分 2	150363010	肝切除術（2 区域切除）（1 歳以上）
区分 2	150363110	肝切除術（3 区域切除以上）（1 歳以上）
区分 2	150363210	肝切除術（2 区域切除以上で血行再建）（1 歳以上）
区分 2	150363510	腹腔鏡下臀部尾部腫瘍切除術
区分 2	150363710	腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術）
区分 2	150363810	全結腸・直腸切除嚢肛門吻合術

区分2	150364210	腹腔鏡下腸閉鎖症手術
区分2	150364610	腹腔鏡下直腸脱手術
区分2	150364710	腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術
区分2	150365010	経尿道的尿路結石除去術（レーザー）
区分2	150365110	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）
区分2	150365210	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
区分2	150365310	腹腔鏡下膀胱内手術
区分2	150365710	経尿道的レーザー前立腺切除術（ホルミウムレーザー）
区分1	150366010	腹腔鏡下子宮腔上部切断術
区分1	150366110	腹腔鏡下卵管形成術
区分2	150366910	腹腔鏡下食道静脈瘤手術（胃上部血行遮断術）

2：
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義：

1：
分母のうち、EF ファイルを参照し、当該入院期間中に以下のいずれかに該当する患者を抽出し、分子とする。

2：
(ア) 以下の算定があった患者

分子のデータ2

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
113006910	肺血栓塞栓症予防管理料	○	○	○	○	○

3：
(イ) 抗凝固療法〔以下の薬価基準コードの薬剤が用いられたもの〕が行われた患者

分子のデータ3

薬価基準コード	名称
3332\$	ワルファリンカリウム
3334400\$	ヘパリンカルシウム
3334401\$	ヘパリンナトリウム
3334402\$	ヘパリンナトリウム
3334406\$	エノキサパリンナトリウム
3339001\$	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩
3339002\$	エドキサバントシル酸塩水和物
3339003\$	リパーロキサバン
3339004\$	アピキサバン
3339400\$	フォンダパリヌクスナトリウム

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1：
手術の一覧は、独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアルおよびVer.3.1を引用している。

参考値:

参考資料:

1 :

独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアル

2 :

The Joint Commission; Specifications Manual for National Hospital Inpatient Quality Measures, Version 4.3a SCIP-VTE-2 Surgery Patients Who Received Appropriate Venous Thromboembolism Prophylaxis Within 24 Hours Prior to Surgery to 24 Hours After Surgery(http://www.jointcommission.org/assets/1/6/NHQM_v4_3a_PDF_10_2_2013.zip)

3 :

独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3.1計測マニュアル

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 b. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率 (共通定義)

指標番号:

QIP: 2122_w

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-10-03

指標群: 呼吸器系

名称: 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 b. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率 (共通定義)

意義: 深部静脈血栓症の危険因子には、加齢、悪性腫瘍、肥満や妊娠、長期臥床など、周術期以外の場面でも発症するリスクがある。ガイドライン通りに予防措置を行ったとしても、肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症を完全に予防できるわけではないが、予防する行為を行っていないければ、その発症率は高まる。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数

分子: 分母のうち肺血栓塞栓症を発症した患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

計測期間において、EF ファイルを参照し、危険因子の手術〔下記〕(リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症(静脈血栓塞栓症)の予防ガイドライン』に準じて抽出)のいずれかの手術名がある退院患者を抽出し、分母とする。なお、様式1の生年月日と入院年月日より入院時年齢を求め、区分1は15歳以上の患者、区分2は40歳以上の患者を対象とする。

分母のデータ1

区分	コード	診療行為名
区分1	150009410	筋膜切離術
区分1	150009510	筋膜切開術
区分1	150009610	筋切離術
区分1	150009710	股関節内転筋切離術
区分1	150009810	股関節筋群解離術
区分1	150009910	筋炎手術(腸腰筋)
区分1	150010010	筋炎手術(殿筋)
区分1	150010110	筋炎手術(大腿筋)
区分1	150011110	四肢・躯幹部腫瘍摘出術(大腿)
区分1	150011210	四肢・躯幹部腫瘍摘出術(下腿)
区分1	150011410	四肢・躯幹部腫瘍摘出術(足)
区分1	150011810	四肢・躯幹部悪性腫瘍手術(大腿)
区分1	150011910	四肢・躯幹部悪性腫瘍手術(下腿)
区分1	150012110	四肢・躯幹部悪性腫瘍手術(足)
区分1	150019210	骨折観血的手術(大腿)
区分1	150019410	骨折観血的手術(下腿)
区分1	150019610	骨折観血的手術(膝蓋骨)
区分1	150019810	骨折観血的手術(足)
区分1	150020710	骨内異物(挿入物を含む)除去術(大腿)
区分1	150021110	骨内異物(挿入物を含む)除去術(膝蓋骨)
区分1	150021310	骨内異物(挿入物を含む)除去術(足)

区分	コード	診療行為名
区分 1	150021610	骨部分切除術（大腿）
区分 1	150021810	骨部分切除術（下腿）
区分 1	150022010	骨部分切除術（膝蓋骨）
区分 1	150022210	骨部分切除術（足）
区分 1	150022710	腐骨摘出術（大腿）
区分 1	150022910	腐骨摘出術（下腿）
区分 1	150023110	腐骨摘出術（膝蓋骨）
区分 1	150024910	骨腫瘍切除術（大腿）
区分 1	150025110	骨腫瘍切除術（下腿）
区分 1	150025510	骨腫瘍切除術（足）
区分 1	150025850	多発性軟骨性外骨腫摘出術（大腿）
区分 1	150026050	多発性軟骨性外骨腫摘出術（下腿）
区分 1	150026710	骨悪性腫瘍手術（大腿）
区分 1	150026910	骨悪性腫瘍手術（下腿）
区分 1	150027710	骨切り術（大腿）
区分 1	150027910	骨切り術（下腿）
区分 1	150028110	骨切り術（膝蓋骨）
区分 1	150028310	骨切り術（足）
区分 1	150028810	偽関節手術（大腿）
区分 1	150029010	偽関節手術（下腿）
区分 1	150029210	偽関節手術（膝蓋骨）
区分 1	150029410	偽関節手術（足）
区分 1	150032010	関節切開術（股）
区分 1	150032110	関節切開術（膝）
区分 1	150035310	関節脱臼靱血の整復術（股）
区分 1	150035410	関節脱臼靱血の整復術（膝）
区分 1	150035810	関節脱臼靱血の整復術（足）
区分 1	150036310	関節内異物（挿入物）除去術（股）
区分 1	150036410	関節内異物（挿入物）除去術（膝）
区分 1	150036810	関節内異物（挿入物）除去術（足）
区分 1	150037210	関節滑膜切除術（股）
区分 1	150037310	関節滑膜切除術（膝）
区分 1	150037710	関節滑膜切除術（足）
区分 1	150038350	滑液膜摘出術（膝）
区分 1	150038750	滑液膜摘出術（足）
区分 1	150040910	半月板切除術
区分 1	150041810	関節切除術（股）
区分 1	150041910	関節切除術（膝）
区分 1	150042310	関節切除術（足）
区分 1	150042710	関節内骨折靱血の手術（股）
区分 1	150042810	関節内骨折靱血の手術（膝）
区分 1	150043210	関節内骨折靱血の手術（足）
区分 1	150043510	靱帯断裂縫合術（十字靱帯）
区分 1	150043610	靱帯断裂縫合術（膝側副靱帯）
区分 1	150045410	靱血の関節授動術（膝）

区分1	150045810	観血の関節受動術（足） 治療行為名
区分1	150046210	観血の関節制動術（股）
区分1	150046310	観血の関節制動術（膝）
区分1	150047110	観血の関節固定術（股）
区分1	150047210	観血の関節固定術（膝）
区分1	150047610	観血の関節固定術（足）
区分1	150047910	靭帯断裂形成手術（十字靭帯）
区分1	150048010	靭帯断裂形成手術（膝側副靭帯）
区分1	150048310	関節形成手術（股）
区分1	150048410	関節形成手術（膝）
区分1	150048810	関節形成手術（足）
区分1	150049510	人工骨頭挿入術（股）
区分1	150050010	人工骨頭挿入術（足）
区分1	150050410	人工関節置換術（股）
区分1	150050510	人工関節置換術（膝）
区分1	150050910	人工関節置換術（足）
区分1	150051610	四肢切断術（大腿）
区分1	150051710	四肢切断術（下腿）
区分1	150051810	四肢切断術（足）
区分1	150052210	四肢関節離断術（股）
区分1	150052310	四肢関節離断術（膝）
区分1	150052610	四肢関節離断術（足）
区分1	150052950	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（股）
区分1	150053050	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（膝）
区分1	150053350	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（足）
区分1	150058810	腸骨窩膿瘍切開術
区分1	150058910	腸骨窩膿瘍搔爬術
区分1	150059310	脊椎骨搔爬術
区分1	150059410	骨盤骨搔爬術
区分1	150059810	脊椎、骨盤脱臼観血の手術
区分1	150060210	仙腸関節脱臼観血の手術
区分1	150060310	恥骨結合離開観血の手術
区分1	150060810	腸骨翼骨折観血の手術
区分1	150060910	骨盤骨折観血の手術（腸骨翼骨折を除く）
区分1	150061810	脊椎内異物（挿入物）除去術
区分1	150061910	骨盤内異物（挿入物）除去術
区分1	150062910	黄色靭帯骨化症手術
区分1	150063110	椎間板摘出術（前方摘出術）
区分1	150063210	椎間板摘出術（後方摘出術）
区分1	150063310	椎間板摘出術（側方摘出術）
区分1	150063710	脊椎腫瘍切除術
区分1	150063810	骨盤腫瘍切除術
区分1	150063910	脊椎悪性腫瘍手術
区分1	150064010	骨盤悪性腫瘍手術
区分1	150064210	骨盤切断術

区分	コード	診療行為名
区分 1	150064410	脊椎披裂手術（神経処置を伴う）
区分 1	150064510	脊椎披裂手術（その他）
区分 1	150064610	脊椎骨切り術
区分 1	150064710	骨盤骨切り術
区分 1	150064810	白蓋形成手術
区分 1	150066110	仙腸関節固定術
区分 1	150067210	試験開頭術
区分 1	150067350	穿頭術及び試験開頭術を 2 か所以上
区分 1	150067410	減圧開頭術（その他）
区分 1	150067510	脳膿瘍排膿術
区分 1	150067710	耳性頭蓋内合併症手術
区分 1	150067850	耳科的硬脳膜外膿瘍切開術
区分 1	150067910	鼻性頭蓋内合併症手術
区分 1	150068310	脳切截術（開頭）
区分 1	150068410	延髄における脊髄視床路切截術
区分 1	150068510	三叉神経節後線維切截術
区分 1	150068610	視神経管開放術
区分 1	150068710	顔面神経減圧手術（乳様突起経由）
区分 1	150068850	顔面神経管開放術
区分 1	150068910	脳神経手術（開頭）
区分 1	150069050	頭蓋内微小血管減圧術
区分 1	150069110	頭蓋骨腫瘍摘出術
区分 1	150069210	頭皮、頭蓋骨悪性腫瘍手術
区分 1	150069510	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜外）
区分 1	150069610	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜下）
区分 1	150069710	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）
区分 1	150069850	脳血管塞栓摘出術
区分 1	150069950	脳血管血栓摘出術
区分 1	150070010	脳内異物摘出術
区分 1	150070110	脳膿瘍全摘術
区分 1	150070210	頭蓋内腫瘤摘出術
区分 1	150070310	脳切除術
区分 1	150070510	頭蓋内腫瘍摘出術（松果体部腫瘍）
区分 1	150071010	経鼻の下垂体腫瘍摘出術
区分 1	150071110	脳動静脈奇形摘出術
区分 1	150071310	脳・脳膜脱手術
区分 1	150072110	頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）
区分 1	150072210	頭蓋骨形成手術（硬膜形成を伴う）
区分 1	150072950	骨形成的片側椎弓切除術と髄核摘出術
区分 2	150121610	乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術（乳腺全摘術））
区分 2	150121710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施しない）
区分 2	150121810	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）
区分 2	150121910	乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術（郭清を併施する））
区分 2	150123810	胸壁悪性腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）
区分 2	150123910	胸壁悪性腫瘍摘出術（その他）

区分2	150124150	肺腺癌腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）
区分2	150124710	試験開胸術
区分2	150127350	試験的開胸開腹術
区分2	150128310	縦隔腫瘍、胸腺摘出術
区分2	150128610	縦隔悪性腫瘍手術（単純摘出）
区分2	150129710	肺切除術（楔状部分切除）
区分2	150129810	肺切除術（区域切除（1肺葉に満たない））
区分2	150129910	肺切除術（肺葉切除）
区分2	150130010	肺切除術（複合切除（1肺葉を超える））
区分2	150130110	肺切除術（1側肺全摘）
区分2	150130650	肺切除と胸郭形成手術併施
区分2	150132210	食道縫合術（穿孔、損傷）（開胸手術）
区分2	150132310	食道縫合術（穿孔、損傷）（開腹手術）
区分2	150132410	食道周囲膿瘍切開誘導術（開胸手術）
区分2	150132610	食道周囲膿瘍切開誘導術（その他）
区分2	150133810	食道切除再建術（頸部、胸部、腹部の操作）
区分2	150133910	食道切除再建術（胸部、腹部の操作）
区分2	150134010	食道切除再建術（腹部の操作）
区分2	150134110	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（頸部食道）
区分2	150134210	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（胸部食道）
区分2	150135110	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作）
区分2	150135210	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（胸部、腹部の操作）
区分2	150135310	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（腹部の操作）
区分2	150135510	食道アカラシア形成手術
区分2	150136510	食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡）
区分2	150136610	横隔膜縫合術（経胸）
区分2	150136710	横隔膜縫合術（経腹）
区分2	150136810	横隔膜縫合術（経胸及び経腹）
区分2	150136950	横隔膜レラクサチオ手術（経胸）
区分2	150137050	横隔膜レラクサチオ手術（経腹）
区分2	150137150	横隔膜レラクサチオ手術（経胸及び経腹）
区分2	150137210	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1歳以上）
区分2	150137310	胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1歳以上）
区分2	150137410	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1歳以上）
区分2	150137810	後胸骨ヘルニア手術
区分2	150137910	食道裂孔ヘルニア手術（経胸）
区分2	150138010	食道裂孔ヘルニア手術（経腹）
区分2	150138110	食道裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）
区分2	150138210	心膜縫合術
区分2	150138310	心筋縫合止血術（外傷性）
区分2	150138410	心膜切開術
区分2	150138510	心膜嚢胞、心膜腫瘍切除術
区分2	150160810	急性汎発性腹膜炎手術
区分2	150162310	後腹膜悪性腫瘍手術
区分2	150165210	胃切除術（単純切除術）

区分2	コード	診療行為名
	150166110	胃全摘術(単純全摘術)
区分2	150168010	胃切除術(悪性腫瘍手術)
区分2	150168110	胃全摘術(悪性腫瘍手術)
区分2	150169950	胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢に限局するもの(リンパ節郭清を含む))
区分2	150170050	胆管悪性腫瘍手術
区分2	150170310	食道下部迷走神経切除術(幹迷切)(胃切除術を併施)
区分2	150171310	胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む)
区分2	150171510	十二指腸空腸吻合術
区分2	150172410	胆嚢摘出術
区分2	150173110	胆管形成手術(胆管切除術を含む)
区分2	150176110	肝内結石摘出術(開腹)
区分2	150176210	肝嚢胞、肝膿瘍摘出術
区分2	150177210	肝内胆管(肝管)胃(腸)吻合術
区分2	150177310	肝内胆管外瘻造設術(開腹)
区分2	150177410	肝内胆管外瘻造設術(経皮経肝)
区分2	150178110	膵体尾部腫瘍切除術(膵尾部切除術・腫瘍摘出術含む)(脾同時切除)
区分2	150178210	膵体尾部腫瘍切除術(リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術)
区分2	150178410	膵頭部腫瘍切除術(膵頭十二指腸切除術)
区分2	150178710	膵全摘術
区分2	150179010	膵嚢胞胃(腸)吻合術
区分2	150179110	膵管空腸吻合術
区分2	150179310	膵嚢胞外瘻造設術(開腹)
区分2	150179710	脾縫合術(部分切除を含む)
区分2	150179810	脾摘出術
区分2	150180010	破裂腸管縫合術
区分2	150180110	腸切開術
区分2	150180210	腸管癒着症手術
区分2	150180350	腸閉塞症手術(腸管癒着症手術)
区分2	150180550	腸閉塞症手術(腸重積症整復術)(観血的)
区分2	150180650	腸閉塞症手術(小腸切除術)(悪性腫瘍手術以外の切除術)
区分2	150180750	腸閉塞症手術(結腸切除術)(小範囲切除)
区分2	150180850	腸閉塞症手術(結腸切除術)(半側切除)
区分2	150180950	腸閉塞症手術(結腸切除術)(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)
区分2	150181110	腸重積症整復術(観血的)
区分2	150181210	小腸切除術(悪性腫瘍手術以外の切除術)
区分2	150181310	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術(メッケル憩室炎手術を含む)
区分2	150181710	結腸切除術(小範囲切除)
区分2	150181810	結腸切除術(結腸半側切除)
区分2	150181910	結腸切除術(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)
区分2	150183110	結腸腫瘍摘出術(回盲部腫瘍摘出術を含む)
区分2	150183510	結腸ポリープ切除術(開腹)
区分2	150184110	腸吻合術
区分2	150187110	直腸切除・切断術(切除術)
区分2	150187210	直腸切除・切断術(切断術)

区分2	150192810	副腎悪性腫瘍手術（1歳以上）
区分2	150193010	腎破裂縫合術
区分2	150193150	腎破裂手術
区分2	150194610	腎部分切除術
区分2	150194810	腎嚢胞切除縮小術
区分2	150195010	腎摘出術
区分2	150195210	腎（尿管）悪性腫瘍手術（1歳以上）
区分2	150200610	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（尿路変更を行わない））
区分2	150209310	前立腺悪性腫瘍手術
区分1	150215110	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮位置矯正術）
区分1	150215310	子宮脱手術（マンチェスター手術）
区分1	150215410	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮全摘術）（腔式、腹式）
区分1	150215550	子宮脱手術（腔壁裂創縫合術、子宮筋腫核出術（腔式））
区分1	150216010	子宮頸管ポリープ切除術
区分1	150216510	子宮頸部（腔部）切除術
区分1	150216910	子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）
区分1	150217050	痕跡副角子宮手術（腹式）
区分1	150217510	子宮全摘術
区分1	150217610	広靱帯内腫瘍摘出術
区分1	150217710	子宮悪性腫瘍手術
区分1	150219010	奇形子宮形成手術（ストラスマン手術）
区分1	150219210	腔式卵巢嚢腫内容排除術
区分1	150219410	子宮付属器癒着剥離術（両側）（開腹）
区分1	150219650	卵管口切開術（開腹）
区分1	150219710	卵巢部分切除術（開腹）
区分1	150219850	卵管結紮術（両側）（開腹）
区分1	150220010	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）（開腹）
区分1	150220150	卵管全摘除術（両側）（開腹）
区分1	150220250	卵管腫瘍全摘除術（両側）（開腹）
区分1	150220450	子宮卵管留血腫手術（両側）（開腹）
区分1	150220710	子宮付属器悪性腫瘍手術（両側）
区分1	150220910	卵管形成手術（卵管・卵巢移植、卵管架橋等）
区分1	150222110	帝王切開術（緊急帝王切開）
区分1	150222210	帝王切開術（選択帝王切開）
区分1	150222810	子宮破裂手術（子宮全摘除を行う）
区分1	150222910	子宮破裂手術（子宮腔上部切断を行う）
区分1	150223010	子宮破裂手術（その他）
区分1	150223110	妊娠子宮摘出術（ポロー手術）
区分1	150224510	子宮外妊娠手術（開腹）
区分1	150243210	体外式脊椎固定術
区分1	150243410	脳動脈瘤被包術（1箇所）
区分1	150243510	脳動脈瘤被包術（2箇所以上）
区分1	150243610	脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（1箇所）
区分1	150243710	脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（2箇所以上）
区分1	150243810	脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）

区分	コード	診療行為名
区分1	150243910	脳動脈瘤頸部クリッピング（2箇所以上）
区分1	150245310	骨盤内臓全摘術
区分2	150245410	直腸切除・切断術（低位前方切除術）
区分2	150245510	副腎腫瘍摘出術（皮質腫瘍）
区分2	150245610	副腎腫瘍摘出術（髄質腫瘍（褐色細胞腫））
区分2	150245910	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（尿管S状結腸吻合利用で尿路変更を行う））
区分2	150246010	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（回腸又は結腸導管利用で尿路変更を行う））
区分2	150246110	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（代用膀胱利用で尿路変更を行う））
区分2	150253610	食道腫瘍摘出術（開胸又は開腹手術）
区分2	150254110	腹腔鏡下胆嚢摘出術
区分1	150255510	組織拡張器による再建手術
区分1	150256010	人工関節再置換術（股）
区分1	150256110	人工関節再置換術（膝）
区分1	150256510	人工関節再置換術（足）
区分1	150261910	半月板縫合術
区分2	150262710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う））
区分2	150264410	精巣悪性腫瘍手術
区分2	150264510	腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術
区分1	150264610	子宮附属器癒着剥離術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150264710	卵巣部分切除術（腹腔鏡）
区分1	150264910	子宮外妊娠手術（腹腔鏡）
区分2	150266610	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除））
区分1	150267650	卵管結紮術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150267750	卵管口切開術（腹腔鏡）
区分1	150268050	卵管全摘除術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150268150	卵管腫瘍全摘除術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150268250	子宮卵管留血腫手術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150270010	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）
区分2	150270150	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術
区分2	150270750	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術
区分2	150270850	胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術
区分2	150271550	腹腔鏡下腸管癒着剥離術
区分2	150271850	腹腔鏡下脾摘出術
区分2	150271950	腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）
区分1	150272250	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
区分1	150273310	椎間板摘出術（経皮的髄核摘出術）
区分2	150274710	食道腫瘍摘出術（腹腔鏡下）
区分2	150274810	内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）
区分2	150275110	腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術
区分2	150277410	腓体尾部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）
区分2	150277510	腓体尾部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）
区分2	150277710	腹腔鏡下肝嚢胞切開術
区分2	150277810	腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）
区分1	150278510	子宮筋腫摘出（核出）術（腔式）
区分1	150278610	子宮鏡下子宮筋腫摘出術

区分2	150279210	腹腔鏡下副腎摘出術
区分1	150282510	脊髄固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方椎体固定）
区分1	150282610	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方又は後側方固定）
区分1	150282750	脊椎側彎症手術（固定術）
区分1	150284510	頭蓋内腫瘍摘出術（その他）
区分2	150288310	食道腫瘍摘出術（縦隔鏡下）
区分1	150291010	広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術
区分1	150291110	顕微鏡使用によるてんかん手術（焦点切除術）
区分1	150291210	顕微鏡使用によるてんかん手術（側頭葉切除術）
区分1	150291310	顕微鏡使用によるてんかん手術（脳梁離断術）
区分1	150294110	腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）術
区分2	150296310	腹腔鏡下食道アカラシア形成手術
区分2	150296910	腓頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）
区分2	150297010	腓頭部腫瘍切除術（十二指腸温存腓頭切除術）
区分2	150297110	腓頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）
区分2	150297210	腓頭部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）
区分2	150297310	小腸切除術（悪性腫瘍手術）
区分2	150297410	結腸憩室摘出術
区分2	150297510	直腸切除・切断術（超低位前方切除術）（経肛門的結腸囊肛門吻合）
区分2	150298750	胸腔鏡下肺縫縮術
区分2	150299350	腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術）
区分1	150299850	腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術
区分1	150300310	人工関節抜去術（股）
区分1	150300410	人工関節抜去術（膝）
区分2	150303110	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））
区分1	150308510	股関節周囲筋腱離断術（変形性股関節症）
区分1	150308610	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（躯幹）
区分1	150308710	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術（躯幹）
区分1	150308810	大腿骨頭回転骨切り術
区分1	150308910	大腿骨近位部（転子間を含む）骨切り術
区分1	150309510	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（膝）
区分1	150309910	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（足）
区分1	150310310	関節鏡下関節滑膜切除術（股）
区分1	150310410	関節鏡下関節滑膜切除術（膝）
区分1	150310810	関節鏡下関節滑膜切除術（足）
区分1	150311210	関節鏡下滑液膜摘出術（股）
区分1	150311310	関節鏡下滑液膜摘出術（膝）
区分1	150313110	関節鏡下半月板切除術
区分1	150313210	関節鏡下半月板縫合術
区分1	150313310	関節鏡下靭帯断裂縫合術（十字靭帯）
区分1	150313710	関節鏡下靭帯断裂形成手術（十字靭帯）
区分1	150313810	関節鏡下靭帯断裂形成手術（膝側副靭帯）
区分1	150314210	内視鏡下椎弓切除術
区分1	150314410	内視鏡下椎間板摘出（切除）術（後方摘出術）
区分1	150314510	寛骨臼移動術

区分1	150314610	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方椎体固定）
区分1	150314710	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方後方同時固定）
区分1	150314810	内視鏡下脊椎固定術（胸椎又は腰椎前方固定）
区分2	150316510	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わない））
区分2	150317110	肺切除術（気管支形成を伴う肺切除）
区分2	150317710	食道腫瘍摘出術（胸腔鏡下）
区分2	150323410	腹腔鏡下胃切除術（単純切除術）
区分2	150323510	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）
区分2	150323710	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）
区分2	150324010	胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（葉以上）を伴う）
区分2	150324110	胆嚢悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除を伴う）
区分2	150324210	胆嚢悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴う）
区分2	150324910	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
区分2	150325210	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）
区分2	150325710	腹腔鏡下腎部分切除術
区分2	150325810	腹腔鏡下腎嚢胞切除縮小術
区分2	150325910	腹腔鏡下腎摘出術
区分2	150326010	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術
区分2	150326110	腹腔鏡下腎盂形成手術
区分2	150326510	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
区分1	150327210	腹腔鏡下広靱帯内腫瘍摘出術
区分2	150329510	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1歳未満）
区分2	150329610	胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1歳未満）
区分2	150329710	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1歳未満）
区分1	150334810	多発性骨腫摘出術（下腿）
区分1	150335610	減圧開頭術（キアリ奇形、脊髓空洞症）
区分1	150335810	頭蓋骨形成手術（骨移動を伴う）
区分2	150336810	内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）
区分2	150337210	噴門側胃切除術（単純切除術）
区分2	150337310	噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）
区分2	150337710	腹腔鏡下結腸切除術（全切除、亜全切除）
区分2	150337810	腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）
区分2	150337910	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）
区分2	150338110	腹腔鏡下小切開副腎摘出術
区分2	150338310	腹腔鏡下小切開腎摘出術
区分2	150338410	腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
区分2	150338810	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
区分1	150343910	脊椎側彎症手術（矯正術）（初回挿入）
区分1	150344010	脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）
区分1	150344110	脊椎側彎症手術（矯正術）（伸展術）
区分1	150344250	脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）（胸郭変形矯正用材料使用）
区分2	150346310	食道空置バイパス作成術
区分2	150347910	肝門部胆管悪性腫瘍手術（血行再建なし）
区分2	150348110	腹腔鏡下肝切除術（外側区域切除）
区分2	150348410	臍体尾部腫瘍切除術（臍尾部切除術・腫瘍摘出術含む）（臍温存）
区分1	150349210	帝王切開術（前置胎盤を合併又は32週未満の早産）

区分	コード	診療行為名
区分 1	150352210	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（大腿）
区分 1	150352410	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（下腿）
区分 1	150352610	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（足）
区分 1	150353310	関節鏡下関節内骨折観血の手術（股）
区分 1	150353410	関節鏡下関節内骨折観血の手術（膝）
区分 1	150353810	関節鏡下関節内骨折観血の手術（足）
区分 1	150354110	関節鏡下靭帯断裂形成手術（内側膝蓋大腿靭帯）
区分 1	150354810	腫瘍脊椎骨全摘術
区分 1	150354910	脊椎制動術
区分 1	150355010	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓切除）
区分 1	150355110	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓形成）
区分 1	150355210	経皮的椎体形成術
区分 2	150356910	胸腔鏡下試験開胸術
区分 2	150357110	膿胸腔有茎大網充填術
区分 2	150357210	胸腔鏡下胸管結紮術（乳糜胸手術）
区分 2	150357310	胸腔鏡下縦隔切開術
区分 2	150357410	縦隔悪性腫瘍手術（広汎摘出）
区分 2	150357710	胸腔鏡下肺切除術（その他）
区分 2	150357810	肺悪性腫瘍手術（部分切除）
区分 2	150357910	肺悪性腫瘍手術（区域切除）
区分 2	150358010	肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超える）
区分 2	150358110	肺悪性腫瘍手術（肺全摘）
区分 2	150358210	肺悪性腫瘍手術（隣接臓器合併切除を伴う肺切除）
区分 2	150358310	肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
区分 2	150358410	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部切除を伴う肺切除）
区分 2	150358510	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部再建を伴う肺切除）
区分 2	150358610	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）
区分 2	150358710	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）
区分 2	150358810	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超える）
区分 2	150359110	胸腔鏡下（腹腔鏡下を含む）横隔膜縫合術
区分 2	150361110	腹腔鏡下骨盤内リンパ節群郭清術
区分 2	150361610	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術
区分 2	150361710	腹腔鏡下後腹膜腫瘍摘出術
区分 2	150362010	腹腔鏡下胃腸吻合術
区分 2	150362210	胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（亜区域切除以上））
区分 2	150362610	肝切除術（部分切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150362710	肝切除術（亜区域切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150362810	肝切除術（外側区域切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150362910	肝切除術（ 1 区域切除（外側区域切除を除く））（ 1 歳以上）
区分 2	150363010	肝切除術（ 2 区域切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150363110	肝切除術（ 3 区域切除以上）（ 1 歳以上）
区分 2	150363210	肝切除術（ 2 区域切除以上で血行再建）（ 1 歳以上）
区分 2	150363510	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
区分 2	150363710	腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術）
区分 2	150363810	全結腸・直腸切除肛門吻合術

区分2	150364210	腹腔鏡下閉鎖症手術
区分2	150364610	腹腔鏡下直腸脱手術
区分2	150364710	腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術
区分2	150365010	経尿道的尿路結石除去術（レーザー）
区分2	150365110	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）
区分2	150365210	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
区分2	150365310	腹腔鏡下膀胱内手術
区分2	150365710	経尿道的レーザー前立腺切除術（ホルミウムレーザー）
区分1	150366010	腹腔鏡下子宮腔上部切断術
区分1	150366110	腹腔鏡下卵管形成術
区分2	150366910	腹腔鏡下食道静脈瘤手術（胃上部血行遮断術）

分子の定義:

1 :
分母のうち、様式1の入院後発症疾患名に「肺塞栓症（I26）」が記載されている患者を抽出し、分子とする。

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
手術の一覧は、独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアルおよびVer.3.1を引用している。

参考値:

参考資料:

1 :
独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアル

2 :
肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）予防ガイドライン

3 :
The Joint Commission; Specifications Manual for National Hospital Inpatient Quality Measures, Version 4.3b VTE-6 Incidence of Potentially-Preventable Venous Thromboembolism(http://www.jointcommission.org/assets/1/6/HIQR_Jan2014_v4_3b.zip)

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-03

名称: 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 b. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率

指標番号:

QIP: 2122

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 呼吸器系

名称: 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 b. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率

意義: 深部静脈血栓症の危険因子には、加齢、悪性腫瘍、肥満や妊娠、長期臥床など、周術期以外の場面でも発症するリスクがある。ガイドライン通りに予防措置を行ったとしても、肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症を完全に予防できるわけではないが、予防する行為を行っていないければ、その発症率は高まる。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数

分子: 分母のうち肺血栓塞栓症を発症した患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

計測期間において、EF ファイルを参照し、危険因子の手術〔下記〕（リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）の予防ガイドライン』に準じて抽出）のいずれかの手術名がある退院患者を抽出し、分母とする。なお、様式1の生年月日と入院年月日より入院時年齢を求め、区分1は15歳以上の患者、区分2は40歳以上の患者を対象とする。

分母のデータ1

区分	コード	診療行為名
区分1	150009410	筋膜切離術
区分1	150009510	筋膜切開術
区分1	150009610	筋切離術
区分1	150009710	股関節内転筋切離術
区分1	150009810	股関節筋群解離術
区分1	150009910	筋炎手術（腸腰筋）
区分1	150010010	筋炎手術（殿筋）
区分1	150010110	筋炎手術（大腿筋）
区分1	150011110	四肢・躯幹部腫瘍摘出術（大腿）
区分1	150011210	四肢・躯幹部腫瘍摘出術（下腿）
区分1	150011410	四肢・躯幹部腫瘍摘出術（足）
区分1	150011810	四肢・躯幹部悪性腫瘍手術（大腿）
区分1	150011910	四肢・躯幹部悪性腫瘍手術（下腿）
区分1	150012110	四肢・躯幹部悪性腫瘍手術（足）
区分1	150019210	骨折観血的手術（大腿）
区分1	150019410	骨折観血的手術（下腿）
区分1	150019610	骨折観血的手術（膝蓋骨）
区分1	150019810	骨折観血的手術（足）
区分1	150020710	骨内異物（挿入物を含む）除去術（大腿）
区分1	150021110	骨内異物（挿入物を含む）除去術（膝蓋骨）
区分1	150021310	骨内異物（挿入物を含む）除去術（足）

区分	コード	診療行為名
区分 1	150021610	骨部分切除術（大腿）
区分 1	150021810	骨部分切除術（下腿）
区分 1	150022010	骨部分切除術（膝蓋骨）
区分 1	150022210	骨部分切除術（足）
区分 1	150022710	腐骨摘出術（大腿）
区分 1	150022910	腐骨摘出術（下腿）
区分 1	150023110	腐骨摘出術（膝蓋骨）
区分 1	150024910	骨腫瘍切除術（大腿）
区分 1	150025110	骨腫瘍切除術（下腿）
区分 1	150025510	骨腫瘍切除術（足）
区分 1	150025850	多発性軟骨性外骨腫摘出術（大腿）
区分 1	150026050	多発性軟骨性外骨腫摘出術（下腿）
区分 1	150026710	骨悪性腫瘍手術（大腿）
区分 1	150026910	骨悪性腫瘍手術（下腿）
区分 1	150027710	骨切り術（大腿）
区分 1	150027910	骨切り術（下腿）
区分 1	150028110	骨切り術（膝蓋骨）
区分 1	150028310	骨切り術（足）
区分 1	150028810	偽関節手術（大腿）
区分 1	150029010	偽関節手術（下腿）
区分 1	150029210	偽関節手術（膝蓋骨）
区分 1	150029410	偽関節手術（足）
区分 1	150032010	関節切開術（股）
区分 1	150032110	関節切開術（膝）
区分 1	150035310	関節脱臼靱血の整復術（股）
区分 1	150035410	関節脱臼靱血の整復術（膝）
区分 1	150035810	関節脱臼靱血の整復術（足）
区分 1	150036310	関節内異物（挿入物）除去術（股）
区分 1	150036410	関節内異物（挿入物）除去術（膝）
区分 1	150036810	関節内異物（挿入物）除去術（足）
区分 1	150037210	関節滑膜切除術（股）
区分 1	150037310	関節滑膜切除術（膝）
区分 1	150037710	関節滑膜切除術（足）
区分 1	150038350	滑液膜摘出術（膝）
区分 1	150038750	滑液膜摘出術（足）
区分 1	150040910	半月板切除術
区分 1	150041810	関節切除術（股）
区分 1	150041910	関節切除術（膝）
区分 1	150042310	関節切除術（足）
区分 1	150042710	関節内骨折靱血の手術（股）
区分 1	150042810	関節内骨折靱血の手術（膝）
区分 1	150043210	関節内骨折靱血の手術（足）
区分 1	150043510	靱帯断裂縫合術（十字靱帯）
区分 1	150043610	靱帯断裂縫合術（膝側副靱帯）
区分 1	150045410	靱血の関節授動術（膝）

区分1	150045810	観血の関節受動術（足） 治療行為名
区分1	150046210	観血の関節制動術（股）
区分1	150046310	観血の関節制動術（膝）
区分1	150047110	観血の関節固定術（股）
区分1	150047210	観血の関節固定術（膝）
区分1	150047610	観血の関節固定術（足）
区分1	150047910	靭帯断裂形成手術（十字靭帯）
区分1	150048010	靭帯断裂形成手術（膝側副靭帯）
区分1	150048310	関節形成手術（股）
区分1	150048410	関節形成手術（膝）
区分1	150048810	関節形成手術（足）
区分1	150049510	人工骨頭挿入術（股）
区分1	150050010	人工骨頭挿入術（足）
区分1	150050410	人工関節置換術（股）
区分1	150050510	人工関節置換術（膝）
区分1	150050910	人工関節置換術（足）
区分1	150051610	四肢切断術（大腿）
区分1	150051710	四肢切断術（下腿）
区分1	150051810	四肢切断術（足）
区分1	150052210	四肢関節離断術（股）
区分1	150052310	四肢関節離断術（膝）
区分1	150052610	四肢関節離断術（足）
区分1	150052950	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（股）
区分1	150053050	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（膝）
区分1	150053350	化膿性又は結核性関節炎搔爬術（足）
区分1	150058810	腸骨窩膿瘍切開術
区分1	150058910	腸骨窩膿瘍搔爬術
区分1	150059310	脊椎骨搔爬術
区分1	150059410	骨盤骨搔爬術
区分1	150059810	脊椎、骨盤脱臼観血の手術
区分1	150060210	仙腸関節脱臼観血の手術
区分1	150060310	恥骨結合離開観血の手術
区分1	150060810	腸骨翼骨折観血の手術
区分1	150060910	骨盤骨折観血の手術（腸骨翼骨折を除く）
区分1	150061810	脊椎内異物（挿入物）除去術
区分1	150061910	骨盤内異物（挿入物）除去術
区分1	150062910	黄色靭帯骨化症手術
区分1	150063110	椎間板摘出術（前方摘出術）
区分1	150063210	椎間板摘出術（後方摘出術）
区分1	150063310	椎間板摘出術（側方摘出術）
区分1	150063710	脊椎腫瘍切除術
区分1	150063810	骨盤腫瘍切除術
区分1	150063910	脊椎悪性腫瘍手術
区分1	150064010	骨盤悪性腫瘍手術
区分1	150064210	骨盤切断術

区分	コード	診療行為名
区分 1	150064410	脊椎披裂手術（神経処置を伴う）
区分 1	150064510	脊椎披裂手術（その他）
区分 1	150064610	脊椎骨切り術
区分 1	150064710	骨盤骨切り術
区分 1	150064810	白蓋形成手術
区分 1	150066110	仙腸関節固定術
区分 1	150067210	試験開頭術
区分 1	150067350	穿頭術及び試験開頭術を 2 か所以上
区分 1	150067410	減圧開頭術（その他）
区分 1	150067510	脳膿瘍排膿術
区分 1	150067710	耳性頭蓋内合併症手術
区分 1	150067850	耳科的硬脳膜外膿瘍切開術
区分 1	150067910	鼻性頭蓋内合併症手術
区分 1	150068310	脳切截術（開頭）
区分 1	150068410	延髄における脊髄視床路切截術
区分 1	150068510	三叉神経節後線維切截術
区分 1	150068610	視神経管開放術
区分 1	150068710	顔面神経減圧手術（乳様突起経由）
区分 1	150068850	顔面神経管開放術
区分 1	150068910	脳神経手術（開頭）
区分 1	150069050	頭蓋内微小血管減圧術
区分 1	150069110	頭蓋骨腫瘍摘出術
区分 1	150069210	頭皮、頭蓋骨悪性腫瘍手術
区分 1	150069510	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜外）
区分 1	150069610	頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜下）
区分 1	150069710	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）
区分 1	150069850	脳血管血栓摘出術
区分 1	150069950	脳血管血栓摘出術
区分 1	150070010	脳内異物摘出術
区分 1	150070110	脳膿瘍全摘術
区分 1	150070210	頭蓋内腫瘤摘出術
区分 1	150070310	脳切除術
区分 1	150070510	頭蓋内腫瘍摘出術（松果体部腫瘍）
区分 1	150071010	経鼻の下垂体腫瘍摘出術
区分 1	150071110	脳動静脈奇形摘出術
区分 1	150071310	脳・脳膜脱手術
区分 1	150072110	頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）
区分 1	150072210	頭蓋骨形成手術（硬膜形成を伴う）
区分 1	150072950	骨形成的片側椎弓切除術と髄核摘出術
区分 2	150121610	乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術（乳腺全摘術））
区分 2	150121710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施しない）
区分 2	150121810	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）
区分 2	150121910	乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術（郭清を併施する））
区分 2	150123810	胸壁悪性腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）
区分 2	150123910	胸壁悪性腫瘍摘出術（その他）

区分2	150124150	肺腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）
区分2	150124710	試験開胸術
区分2	150127350	試験的開胸開腹術
区分2	150128310	縦隔腫瘍、胸腺摘出術
区分2	150128610	縦隔悪性腫瘍手術（単純摘出）
区分2	150129710	肺切除術（楔状部分切除）
区分2	150129810	肺切除術（区域切除（1肺葉に満たない））
区分2	150129910	肺切除術（肺葉切除）
区分2	150130010	肺切除術（複合切除（1肺葉を超える））
区分2	150130110	肺切除術（1側肺全摘）
区分2	150130650	肺切除と胸郭形成手術併施
区分2	150132210	食道縫合術（穿孔、損傷）（開胸手術）
区分2	150132310	食道縫合術（穿孔、損傷）（開腹手術）
区分2	150132410	食道周囲膿瘍切開誘導術（開胸手術）
区分2	150132610	食道周囲膿瘍切開誘導術（その他）
区分2	150133810	食道切除再建術（頸部、胸部、腹部の操作）
区分2	150133910	食道切除再建術（胸部、腹部の操作）
区分2	150134010	食道切除再建術（腹部の操作）
区分2	150134110	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（頸部食道）
区分2	150134210	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（胸部食道）
区分2	150135110	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作）
区分2	150135210	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（胸部、腹部の操作）
区分2	150135310	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（腹部の操作）
区分2	150135510	食道アカラシア形成手術
区分2	150136510	食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡）
区分2	150136610	横隔膜縫合術（経胸）
区分2	150136710	横隔膜縫合術（経腹）
区分2	150136810	横隔膜縫合術（経胸及び経腹）
区分2	150136950	横隔膜レラクサチオ手術（経胸）
区分2	150137050	横隔膜レラクサチオ手術（経腹）
区分2	150137150	横隔膜レラクサチオ手術（経胸及び経腹）
区分2	150137210	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1歳以上）
区分2	150137310	胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1歳以上）
区分2	150137410	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1歳以上）
区分2	150137810	後胸骨ヘルニア手術
区分2	150137910	食道裂孔ヘルニア手術（経胸）
区分2	150138010	食道裂孔ヘルニア手術（経腹）
区分2	150138110	食道裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）
区分2	150138210	心膜縫合術
区分2	150138310	心筋縫合止血術（外傷性）
区分2	150138410	心膜切開術
区分2	150138510	心膜嚢胞、心膜腫瘍切除術
区分2	150160810	急性汎発性腹膜炎手術
区分2	150162310	後腹膜悪性腫瘍手術
区分2	150165210	胃切除術（単純切除術）

区分2	コード	診療行為名
	150166110	胃全摘術(単純全摘術)
区分2	150168010	胃切除術(悪性腫瘍手術)
区分2	150168110	胃全摘術(悪性腫瘍手術)
区分2	150169950	胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢に限局するもの(リンパ節郭清を含む))
区分2	150170050	胆管悪性腫瘍手術
区分2	150170310	食道下部迷走神経切除術(幹迷切)(胃切除術を併施)
区分2	150171310	胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む)
区分2	150171510	十二指腸空腸吻合術
区分2	150172410	胆嚢摘出術
区分2	150173110	胆管形成手術(胆管切除術を含む)
区分2	150176110	肝内結石摘出術(開腹)
区分2	150176210	肝嚢胞、肝膿瘍摘出術
区分2	150177210	肝内胆管(肝管)胃(腸)吻合術
区分2	150177310	肝内胆管外瘻造設術(開腹)
区分2	150177410	肝内胆管外瘻造設術(経皮経肝)
区分2	150178110	膵体尾部腫瘍切除術(膵尾部切除術・腫瘍摘出術含む)(脾同時切除)
区分2	150178210	膵体尾部腫瘍切除術(リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術)
区分2	150178410	膵頭部腫瘍切除術(膵頭十二指腸切除術)
区分2	150178710	膵全摘術
区分2	150179010	膵嚢胞胃(腸)吻合術
区分2	150179110	膵管空腸吻合術
区分2	150179310	膵嚢胞外瘻造設術(開腹)
区分2	150179710	脾縫合術(部分切除を含む)
区分2	150179810	脾摘出術
区分2	150180010	破裂腸管縫合術
区分2	150180110	腸切開術
区分2	150180210	腸管癒着症手術
区分2	150180350	腸閉塞症手術(腸管癒着症手術)
区分2	150180550	腸閉塞症手術(腸重積症整復術)(観血的)
区分2	150180650	腸閉塞症手術(小腸切除術)(悪性腫瘍手術以外の切除術)
区分2	150180750	腸閉塞症手術(結腸切除術)(小範囲切除)
区分2	150180850	腸閉塞症手術(結腸切除術)(半側切除)
区分2	150180950	腸閉塞症手術(結腸切除術)(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)
区分2	150181110	腸重積症整復術(観血的)
区分2	150181210	小腸切除術(悪性腫瘍手術以外の切除術)
区分2	150181310	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術(メッケル憩室炎手術を含む)
区分2	150181710	結腸切除術(小範囲切除)
区分2	150181810	結腸切除術(結腸半側切除)
区分2	150181910	結腸切除術(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)
区分2	150183110	結腸腫瘍摘出術(回盲部腫瘍摘出術を含む)
区分2	150183510	結腸ポリープ切除術(開腹)
区分2	150184110	腸吻合術
区分2	150187110	直腸切除・切断術(切除術)
区分2	150187210	直腸切除・切断術(切断術)

区分2	150192810	副腎悪性腫瘍手術（1歳以上）
区分2	150193010	腎破裂縫合術
区分2	150193150	腎破裂手術
区分2	150194610	腎部分切除術
区分2	150194810	腎嚢胞切除縮小術
区分2	150195010	腎摘出術
区分2	150195210	腎（尿管）悪性腫瘍手術（1歳以上）
区分2	150200610	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（尿路変更を行わない））
区分2	150209310	前立腺悪性腫瘍手術
区分1	150215110	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮位置矯正術）
区分1	150215310	子宮脱手術（マンチェスター手術）
区分1	150215410	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮全摘術）（腔式、腹式）
区分1	150215550	子宮脱手術（腔壁裂創縫合術、子宮筋腫核出術（腔式））
区分1	150216010	子宮頸管ポリープ切除術
区分1	150216510	子宮頸部（腔部）切除術
区分1	150216910	子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）
区分1	150217050	痕跡副角子宮手術（腹式）
区分1	150217510	子宮全摘術
区分1	150217610	広靱帯内腫瘍摘出術
区分1	150217710	子宮悪性腫瘍手術
区分1	150219010	奇形子宮形成手術（ストラスマン手術）
区分1	150219210	腔式卵巣嚢腫内容排除術
区分1	150219410	子宮付属器癒着剥離術（両側）（開腹）
区分1	150219650	卵管口切開術（開腹）
区分1	150219710	卵巣部分切除術（開腹）
区分1	150219850	卵管結紮術（両側）（開腹）
区分1	150220010	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）（開腹）
区分1	150220150	卵管全摘除術（両側）（開腹）
区分1	150220250	卵管腫瘍全摘除術（両側）（開腹）
区分1	150220450	子宮卵管留血腫手術（両側）（開腹）
区分1	150220710	子宮付属器悪性腫瘍手術（両側）
区分1	150220910	卵管形成手術（卵管・卵巣移植、卵管架橋等）
区分1	150222110	帝王切開術（緊急帝王切開）
区分1	150222210	帝王切開術（選択帝王切開）
区分1	150222810	子宮破裂手術（子宮全摘除を行う）
区分1	150222910	子宮破裂手術（子宮腔上部切断を行う）
区分1	150223010	子宮破裂手術（その他）
区分1	150223110	妊娠子宮摘出術（ポロー手術）
区分1	150224510	子宮外妊娠手術（開腹）
区分1	150243210	体外式脊椎固定術
区分1	150243410	脳動脈瘤被包術（1箇所）
区分1	150243510	脳動脈瘤被包術（2箇所以上）
区分1	150243610	脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（1箇所）
区分1	150243710	脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（2箇所以上）
区分1	150243810	脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）

区分	コード	診療行為名
区分1	150243910	脳動脈瘤頸部クリッピング（2箇所以上）
区分1	150245310	骨盤内臓全摘術
区分2	150245410	直腸切除・切断術（低位前方切除術）
区分2	150245510	副腎腫瘍摘出術（皮質腫瘍）
区分2	150245610	副腎腫瘍摘出術（髄質腫瘍（褐色細胞腫））
区分2	150245910	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（尿管S状結腸吻合利用で尿路変更を行う））
区分2	150246010	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（回腸又は結腸導管利用で尿路変更を行う））
区分2	150246110	膀胱悪性腫瘍手術（全摘（代用膀胱利用で尿路変更を行う））
区分2	150253610	食道腫瘍摘出術（開胸又は開腹手術）
区分2	150254110	腹腔鏡下胆嚢摘出術
区分1	150255510	組織拡張器による再建手術
区分1	150256010	人工関節再置換術（股）
区分1	150256110	人工関節再置換術（膝）
区分1	150256510	人工関節再置換術（足）
区分1	150261910	半月板縫合術
区分2	150262710	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う））
区分2	150264410	精巣悪性腫瘍手術
区分2	150264510	腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術
区分1	150264610	子宮付属器癒着剥離術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150264710	卵巣部分切除術（腹腔鏡）
区分1	150264910	子宮外妊娠手術（腹腔鏡）
区分2	150266610	胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除））
区分1	150267650	卵管結紮術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150267750	卵管口切開術（腹腔鏡）
区分1	150268050	卵管全摘除術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150268150	卵管腫瘍全摘除術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150268250	子宮卵管留血腫手術（両側）（腹腔鏡）
区分1	150270010	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）
区分2	150270150	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術
区分2	150270750	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術
区分2	150270850	胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術
区分2	150271550	腹腔鏡下腸管癒着剥離術
区分2	150271850	腹腔鏡下脾摘出術
区分2	150271950	腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）
区分1	150272250	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
区分1	150273310	椎間板摘出術（経皮的髄核摘出術）
区分2	150274710	食道腫瘍摘出術（腹腔鏡下）
区分2	150274810	内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）
区分2	150275110	腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術
区分2	150277410	腓体尾部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）
区分2	150277510	腓体尾部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）
区分2	150277710	腹腔鏡下肝嚢胞切開術
区分2	150277810	腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）
区分1	150278510	子宮筋腫摘出（核出）術（腔式）
区分1	150278610	子宮鏡下子宮筋腫摘出術

区分2	150279210	腹腔鏡下副腎摘出術
区分1	150282510	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方椎体固定）
区分1	150282610	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方又は後側方固定）
区分1	150282750	脊椎側彎症手術（固定術）
区分1	150284510	頭蓋内腫瘍摘出術（その他）
区分2	150288310	食道腫瘍摘出術（縦隔鏡下）
区分1	150291010	広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術
区分1	150291110	顕微鏡使用によるてんかん手術（焦点切除術）
区分1	150291210	顕微鏡使用によるてんかん手術（側頭葉切除術）
区分1	150291310	顕微鏡使用によるてんかん手術（脳梁離断術）
区分1	150294110	腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）術
区分2	150296310	腹腔鏡下食道アカラシア形成手術
区分2	150296910	腓頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）
区分2	150297010	腓頭部腫瘍切除術（十二指腸温存腓頭切除術）
区分2	150297110	腓頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）
区分2	150297210	腓頭部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）
区分2	150297310	小腸切除術（悪性腫瘍手術）
区分2	150297410	結腸憩室摘出術
区分2	150297510	直腸切除・切断術（超低位前方切除術）（経肛門的結腸囊肛門吻合）
区分2	150298750	胸腔鏡下肺縫縮術
区分2	150299350	腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術）
区分1	150299850	腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術
区分1	150300310	人工関節抜去術（股）
区分1	150300410	人工関節抜去術（膝）
区分2	150303110	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））
区分1	150308510	股関節周囲筋腱解離術（変形性股関節症）
区分1	150308610	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（躯幹）
区分1	150308710	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術（躯幹）
区分1	150308810	大腿骨頭回転骨切り術
区分1	150308910	大腿骨近位部（転子間を含む）骨切り術
区分1	150309510	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（膝）
区分1	150309910	関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（足）
区分1	150310310	関節鏡下関節滑膜切除術（股）
区分1	150310410	関節鏡下関節滑膜切除術（膝）
区分1	150310810	関節鏡下関節滑膜切除術（足）
区分1	150311210	関節鏡下滑液膜摘出術（股）
区分1	150311310	関節鏡下滑液膜摘出術（膝）
区分1	150313110	関節鏡下半月板切除術
区分1	150313210	関節鏡下半月板縫合術
区分1	150313310	関節鏡下靭帯断裂縫合術（十字靭帯）
区分1	150313710	関節鏡下靭帯断裂形成手術（十字靭帯）
区分1	150313810	関節鏡下靭帯断裂形成手術（膝側副靭帯）
区分1	150314210	内視鏡下椎弓切除術
区分1	150314410	内視鏡下椎間板摘出（切除）術（後方摘出術）
区分1	150314510	寛骨臼移動術

区分1	150314610	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方椎体固定）
区分1	150314710	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方後方同時固定）
区分1	150314810	内視鏡下脊椎固定術（胸椎又は腰椎前方固定）
区分2	150316510	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わない））
区分2	150317110	肺切除術（気管支形成を伴う肺切除）
区分2	150317710	食道腫瘍摘出術（胸腔鏡下）
区分2	150323410	腹腔鏡下胃切除術（単純切除術）
区分2	150323510	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）
区分2	150323710	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）
区分2	150324010	胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（葉以上）を伴う）
区分2	150324110	胆嚢悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除を伴う）
区分2	150324210	胆嚢悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴う）
区分2	150324910	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
区分2	150325210	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）
区分2	150325710	腹腔鏡下腎部分切除術
区分2	150325810	腹腔鏡下腎嚢胞切除縮小術
区分2	150325910	腹腔鏡下腎摘出術
区分2	150326010	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術
区分2	150326110	腹腔鏡下腎盂形成手術
区分2	150326510	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
区分1	150327210	腹腔鏡下広靭帯内腫瘍摘出術
区分2	150329510	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1歳未満）
区分2	150329610	胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1歳未満）
区分2	150329710	胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1歳未満）
区分1	150334810	多発性骨腫摘出術（下腿）
区分1	150335610	減圧開頭術（キアリ奇形、脊髓空洞症）
区分1	150335810	頭蓋骨形成手術（骨移動を伴う）
区分2	150336810	内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）
区分2	150337210	噴門側胃切除術（単純切除術）
区分2	150337310	噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）
区分2	150337710	腹腔鏡下結腸切除術（全切除、亜全切除）
区分2	150337810	腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）
区分2	150337910	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）
区分2	150338110	腹腔鏡下小切開副腎摘出術
区分2	150338310	腹腔鏡下小切開腎摘出術
区分2	150338410	腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術
区分2	150338810	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
区分1	150343910	脊椎側彎症手術（矯正術）（初回挿入）
区分1	150344010	脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）
区分1	150344110	脊椎側彎症手術（矯正術）（伸展術）
区分1	150344250	脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）（胸郭変形矯正用材料使用）
区分2	150346310	食道空置バイパス作成術
区分2	150347910	肝門部胆管悪性腫瘍手術（血行再建なし）
区分2	150348110	腹腔鏡下肝切除術（外側区域切除）
区分2	150348410	臍体尾部腫瘍切除術（臍尾部切除術・腫瘍摘出術含む）（臍温存）
区分1	150349210	帝王切開術（前置胎盤を合併又は32週未満の早産）

区分	コード	診療行為名
区分 1	150352210	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（大腿）
区分 1	150352410	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（下腿）
区分 1	150352610	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（足）
区分 1	150353310	関節鏡下関節内骨折観血の手術（股）
区分 1	150353410	関節鏡下関節内骨折観血の手術（膝）
区分 1	150353810	関節鏡下関節内骨折観血の手術（足）
区分 1	150354110	関節鏡下靭帯断裂形成手術（内側膝蓋大腿靭帯）
区分 1	150354810	腫瘍脊椎骨全摘術
区分 1	150354910	脊椎制動術
区分 1	150355010	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓切除）
区分 1	150355110	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓形成）
区分 1	150355210	経皮的椎体形成術
区分 2	150356910	胸腔鏡下試験開胸術
区分 2	150357110	膿胸腔有茎大網充填術
区分 2	150357210	胸腔鏡下胸管結紮術（乳糜胸手術）
区分 2	150357310	胸腔鏡下縦隔切開術
区分 2	150357410	縦隔悪性腫瘍手術（広汎摘出）
区分 2	150357710	胸腔鏡下肺切除術（その他）
区分 2	150357810	肺悪性腫瘍手術（部分切除）
区分 2	150357910	肺悪性腫瘍手術（区域切除）
区分 2	150358010	肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超える）
区分 2	150358110	肺悪性腫瘍手術（肺全摘）
区分 2	150358210	肺悪性腫瘍手術（隣接臓器合併切除を伴う肺切除）
区分 2	150358310	肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
区分 2	150358410	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部切除を伴う肺切除）
区分 2	150358510	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部再建を伴う肺切除）
区分 2	150358610	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）
区分 2	150358710	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）
区分 2	150358810	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超える）
区分 2	150359110	胸腔鏡下（腹腔鏡下を含む）横隔膜縫合術
区分 2	150361110	腹腔鏡下骨盤内リンパ節群郭清術
区分 2	150361610	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術
区分 2	150361710	腹腔鏡下後腹膜腫瘍摘出術
区分 2	150362010	腹腔鏡下胃腸吻合術
区分 2	150362210	胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（亜区域切除以上））
区分 2	150362610	肝切除術（部分切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150362710	肝切除術（亜区域切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150362810	肝切除術（外側区域切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150362910	肝切除術（ 1 区域切除（外側区域切除を除く））（ 1 歳以上）
区分 2	150363010	肝切除術（ 2 区域切除）（ 1 歳以上）
区分 2	150363110	肝切除術（ 3 区域切除以上）（ 1 歳以上）
区分 2	150363210	肝切除術（ 2 区域切除以上で血行再建）（ 1 歳以上）
区分 2	150363510	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
区分 2	150363710	腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術）
区分 2	150363810	全結腸・直腸切除肛門吻合術

区分2	150364210	腹腔鏡下胆嚢摘出術
区分2	150364610	腹腔鏡下直腸脱手術
区分2	150364710	腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術
区分2	150365010	経尿道的尿路結石除去術（レーザー）
区分2	150365110	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）
区分2	150365210	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
区分2	150365310	腹腔鏡下膀胱内手術
区分2	150365710	経尿道的レーザー前立腺切除術（ホルミウムレーザー）
区分1	150366010	腹腔鏡下子宮腔上部切断術
区分1	150366110	腹腔鏡下卵管形成術
区分2	150366910	腹腔鏡下食道静脈瘤手術（胃上部血行遮断術）

2 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母のうち、様式1の入院後発症疾患名に「肺塞栓症 (I26)」が記載されている患者を抽出し、分子とする。

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
手術の一覧は、独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアルおよびVer.3.1を引用している。

参考値:

参考資料:

1 :
独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアル

2 :
肺血拴塞栓症/深部静脈血拴症（静脈血拴塞栓症） 予防ガイドライン

3 :
The Joint Commission; Specifications Manual for National Hospital Inpatient Quality Measures, Version 4.3b VTE-6 Incidence of Potentially-Preventable Venous Thromboembolism(http://www.jointcommission.org/assets/1/6/HIQR_Jan2014_v4_3b.zip)

4 :
独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3.1計測マニュアル

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 急性心筋梗塞 (AMI)患者におけるリスク調整院内死亡率 (マルチレベルモデル)

指標番号:

QIP: 4003_m

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2019-04-24

指標群: 循環器系疾患 リスク調整アウトカム

名称: 急性心筋梗塞 (AMI)患者におけるリスク調整院内死亡率 (マルチレベルモデル)

意義: 治療成績

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞、その他の急性虚血性心疾患で入院した18歳以上の退院患者数

分子: 分母のうち、死亡退院の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた18歳以上の症例。
- 3 :
このうち、急性心筋梗塞あるいは再発性心筋梗塞の診断を受けた症例。
主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかに下記のICD-10コードが該当し、「疑」を含まない症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞
I22\$	再発性心筋梗塞

- 4 :
緊急入院である症例
緊急入院区分が2011年度までは「2」
2012年度以降は「2**」「3**」
- 5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く
- 6 :
来院時心肺停止症例は除外する。
以下の病名のICD-10コードが、主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名、併存症1~4のいずれかに含まれる症例を除外する。

分母のデータ6

ICD-10コード	病名
I469	心停止、詳細不明

分子の定義:

- 1 :
分母のうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」あるいは「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」である症例数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

1 :

性別

2 :

年齢 入院時年齢 : 18-64、65-74、75-84、85> の4段階に分ける

3 :

Killip分類(class1~class4 データ上、その他のNULLや0は同一として扱う)

指標の算出方法(説明): 分母に相当する各症例の死亡退院の有無を患者レベル変数および施設レベルで予測するマルチレベルロジスティック回帰モデルを作成する。マルチレベルモデル分析における各病院のモデルにおけるランダム切片 (の指数) を求め、全病院例平均死亡率と掛け合わせてリスク調整死亡率を得る。

指標の算出方法(単位): なし

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

臨床情報が十分には得られていないことを考慮して結果の解釈を行う。

2 :

コーディングの質に問題がある場合、本来見るべき心筋梗塞以外の症例が混在する可能性がある

参考値:

1 :

国内の集計では6.0%6~10.2%7 .

病院ごとのPCI症例量により実測死亡率4.9~7.0%とばらつくとする報告8と、死亡率やCABG移行例に差がない(院内実測死亡率7.2~8.4%)とする報告9がある。

参考資料:

1 :

AHRQ quality indicators. Guide to inpatient quality indicators: quality of care in hospitals—volume, mortality, and utilization [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 91 p.

2 :

AHRQ quality indicators. Inpatient quality indicators: technical specifications [version 4.2]. IQI #32 acute myocardial infarction (AMI) mortality rate, without transfer cases. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 1 p.

3 :

急性心筋梗塞 (ST上昇型) の診療に関するガイドライン. (2006-2007 年度合同研究班報告)、日本循環器学会. Circulation Journal.2008;72(Suppl IV):1347-1022 <http://www.j-circ.or.jp/guideline/>

4 :

急性冠症候群の診療に関するガイドライン (2007年改訂版) . 循環器病の診断と治療に関するガイドライン (2006 年度合同研究班報告)、日本循環器学会. <http://www.j-circ.or.jp/guideline/>

5 :

冠動脈疾患におけるインターベンション治療の適応ガイドライン (冠動脈バイパス術の適応を含む) —待機的インターベンション—、循環器病の診断と治療に関するガイドライン (1998-1999 年度合同研究班報告)、日本循環器学会. Circulation Journal.2000;64(Suppl IV):1009-1442 <http://www.j-circ.or.jp/guideline/>

6 :

東京都CCUネットワーク活動状況報告 (Annual Report from Tokyo CCU network: 2009).佐藤直樹; 吉田伸子; 高山守正 (東京都CCU連絡協議会).ICUとCCU .2011;35(10);827-829

7 :

Hayashida K, Imanaka Y, Sekimoto M, Kobuse H, Fukuda H. Evaluation of acute myocardial infarction in-hospital mortality using a risk-adjustment model based on Japanese administrative data. J Int Med Res 2007;35:590-6.

8 :

Kuwabara H, Fushimi K, Matsuda S. Relationship between hospital volume and outcomes following primary percutaneous coronary intervention in patients with acute myocardial infarction. Circ J 2011; 75: 1107 – 1112

9 :

Tsuchihashi M, Tsutsui H, Tada H, Shihara M, Takeshita A, Kono S; Japanese Coronary Intervention Study (JCIS) Group. Volume-outcome relation for hospitals performing angioplasty for acute myocardial infarction: results from the Nationwide Japanese Registry. Circ J. 2004 Oct;68(10):887-91

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-04-24

名称: 急性心筋梗塞 (AMI)患者におけるリスク調整院内死亡率

指標番号:

QIP: 4003

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-25

指標群: 循環器系疾患 リスク調整アウトカム

名称: 急性心筋梗塞 (AMI)患者におけるリスク調整院内死亡率

意義: 治療成績

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞、その他の急性虚血性心疾患で入院した18歳以上の退院患者数

分子: 分母のうち、死亡退院の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた18歳以上の症例。
- 3 :
このうち、急性心筋梗塞あるいは再発性心筋梗塞の診断を受けた症例。
主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかに下記のICD-10コードが該当し、「疑」を含まない症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞
I22\$	再発性心筋梗塞

- 4 :
緊急入院である症例
緊急入院区分が2011年度までは「2」
2012年度以降は「2**」「3**」
- 5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く
- 6 :
来院時心肺停止症例は除外する。
以下の病名のICD-10コードが、主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名、併存症1~4のいずれかに含まれる症例を除外する。

分母のデータ6

ICD-10コード	病名
I469	心停止、詳細不明

分子の定義:

- 1 :
分母のうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」あるいは「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」である症例数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

1 :
性別

2 :
年齢 入院時年齢 : 18-64、65-74、75-84、85> の4段階に分ける

3 :
Killip分類(class1~class4 データ上、その他のNULLや0は同一として扱う)

指標の算出方法(説明): 分母に相当する各症例の死亡退院の有無を患者レベル変数で予測するロジスティック回帰モデルを作成する。各病院ごとに患者個別の予測死亡確率を平均し、「予測死亡率」を得る。各病院ごとに分子を分母で割って、「実測死亡率」を得る。「実測死亡率」÷「予測死亡率」×「全病院例死亡率」＝「リスク調整死亡率」を得る。

指標の算出方法(単位): なし

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
臨床情報が十分には得られていないことを考慮して結果の解釈を行う。

2 :
コーディングの質に問題がある場合、本来見るべき心筋梗塞以外の症例が混在する可能性がある

参考値:

1 :
国内の集計では6.0%6~10.2%7 .
病院ごとのPCI症例量により実測死亡率4.9~7.0%とばらつくとする報告8と、死亡率やCABG移行例に差がない(院内実測死亡率7.2~8.4%)とする報告9がある。

参考資料:

1 :
AHRQ quality indicators. Guide to inpatient quality indicators: quality of care in hospitals—volume, mortality, and utilization [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 91 p.

2 :
AHRQ quality indicators. Inpatient quality indicators: technical specifications [version 4.2]. IQI #32 acute myocardial infarction (AMI) mortality rate, without transfer cases. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 1 p.

3 :
急性心筋梗塞 (ST上昇型) の診療に関するガイドライン. (2006-2007 年度合同研究班報告)、日本循環器学会. Circulation Journal.2008;72(Suppl IV):1347-1022 <http://www.j-circ.or.jp/guideline/>

4 :
急性冠症候群の診療に関するガイドライン (2007年改訂版) . 循環器病の診断と治療に関するガイドライン (2006 年度合同研究班報告)、日本循環器学会. <http://www.j-circ.or.jp/guideline/>

5 :
冠動脈疾患におけるインターベンション治療の適応ガイドライン (冠動脈バイパス術の適応を含む) —待機的インターベンション—、循環器病の診断と治療に関するガイドライン (1998-1999 年度合同研究班報告)、日本循環器学会. Circulation Journal.2000;64(Suppl IV):1009-1442 <http://www.j-circ.or.jp/guideline/>

6 :
東京都CCUネットワーク活動状況報告 (Annual Report from Tokyo CCU network: 2009).佐藤直樹; 吉田伸子; 高山守正 (東京都CCU連絡協議会).ICUとCCU .2011;35(10);827-829

7 :
Hayashida K, Imanaka Y, Sekimoto M, Kobuse H, Fukuda H. Evaluation of acute myocardial infarction in-hospital mortality using a risk-adjustment model based on Japanese administrative data. J Int Med Res 2007;35:590-6.

8 :
Kuwabara H, Fushimi K, Matsuda S. Relationship between hospital volume and outcomes following primary percutaneous coronary intervention in patients with acute myocardial infarction. Circ J 2011; 75: 1107 – 1112

9 :
Tsuchihashi M, Tsutsui H, Tada H, Shihara M, Takeshita A, Kono S; Japanese Coronary Intervention Study (JCIS) Group. Volume-outcome relation for hospitals performing angioplasty for acute myocardial infarction: results from the Nationwide Japanese Registry. Circ J. 2004 Oct;68(10):887-91

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-25

名称: 急性心不全 (AHF)症例におけるリスク調整院内死亡率 (急性心筋梗塞症例は除く) (マルチレベルモデル)

指標番号:

QIP: 4004_m

年度: 2014, 2016

更新日: 2019-04-24

指標群: 循環器系疾患 リスク調整アウトカム

名称: 急性心不全 (AHF)症例におけるリスク調整院内死亡率 (急性心筋梗塞症例は除く) (マルチレベルモデル)

意義: 治療成績

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 18歳以上の急性心不全症例 (急性心筋梗塞は除く)

分子: 分母のうち、死亡退院の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より求めた入院時年齢が18歳以上の症例。

3:

このうち、下記ICD-10コード心不全の診断を受けた症例で、かつ病名付加コード:30101または30102(急性心不全または慢性心不全の急性増悪)がある症例。

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
I50\$	心不全

4:

「主傷病名」「入院の契機となった傷病名」「医療資源を2番目に投入した傷病名」「併存症病名1~4」いずれかに含まれるICD-10コードが急性心不全と病態が紛らわしいもの:来院時心肺停止、末期腎不全(人工透析使用または移行症例**)、急性呼吸促進症候群(Acute Respiratory Distress Syndrome: ARDS)、肺炎、胸膜炎は除く

分母のデータ4

依存症病名	ICD-10コード
来院時心肺停止	I469,I96
AMI	I21,I22
末期腎不全	N180
ARDS	J80
胸膜炎	J90,J91,J94
肺炎	J100,J110,J12,J13,J14,J15,J16,J17,J18,J69

5:

「主傷病名」「入院の契機となった傷病名」「医療資源を2番目に投入した傷病名」「併存症病名1~4」に下記ICD-10コードを含む症例を除外する。急性心不全を合併した急性心筋梗塞は特に予後が悪く、特殊な病態のため、解析から除外する。

分母のデータ5

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

6:

緊急入院である症例。緊急入院区分が2011年度までは「2」2012年度以降は「2**」「3**」

7 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

8 :
入院時NYHA2~4以外(すなわち0,9,欠損などほか、1 : 心疾患はあるが身体活動に制限はない、日常的な身体活動では著しい疲労、動悸、呼吸困難あるいは狭心痛を生じない。)は除く。

9 :
「主傷病名」「入院の契機となった傷病名」「医療資源を2番目に投入した傷病名」「併存症病名1~4」いずれかに「末期腎不全」(N180)があるものを除外する。

分母のデータ9

ICD-10コード	病名
N180	末期腎不全

分子の定義:

1 :
分子のうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」あるいは「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」である症例数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

1 :
性別

2 :
年齢 入院時年齢 : 18-64、65-74、75-84、85>の4段階に分ける

3 :
NYHA分類(II~IV)

指標の算出方法(説明): 分母に相当する各症例の死亡退院の有無を患者レベル変数および施設レベルで予測するマルチレベルロジスティック回帰モデルを作成する。マルチレベルモデル分析における各病院のモデルにおけるランダム切片 (の指数) を求め、全病院例平均死亡率と掛け合わせてリスク調整死亡率を得る。

指標の算出方法(単位): なし

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
急性心不全と紛らわしい病態については、病名のみで完全に除外しきれないわけではないので、注意が必要である。

2 :
在院日数で症例を除外していないが、90日以上は「生存」とみなして解析するなどの計測も考慮される

3 :
2014年度 (2016年3月退院データまで) のデータに対応した定義

参考値:

1 :
日米欧のRegistry試験4-7による院内死亡率は3.8%~7.7%。

参考資料:

1 :
AHRQ quality indicators. Guide to inpatient quality indicators: quality of care in hospitals - volume, mortality, and utilization [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 91 p.

2 :
AHRQ quality indicators. Inpatient quality indicators: technical specifications [version 4.2]. IQI #16 congestive heart failure (CHF) mortality rate. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 1 p.

3 :
急性心不全治療ガイドライン (2011年改訂版) . 循環器病の診断と治療に関するガイドライン (2010 年度合同研究班報告) 、日本循環器学会.
<http://www.j-circ.or.jp/guideline/>

4 :

Sato N, Kajimoto K, Asai K, Mizuno M, Minami Y, Nagashima M, et al. Acute decompensated heart failure syndromes (ATTEND) registry. A prospective observational multicenter cohort study: rationale, design, and preliminary data. *Am Heart J.* 2010;159(6):949-55.e1.

5 :

Abraham WT, Fonarow GC, Albert NM, Stough WG, Gheorghiu M, Greenberg BH, et al. Predictors of in-hospital mortality in patients hospitalized for heart failure: insights from the Organized Program to Initiate Lifesaving Treatment in Hospitalized Patients with Heart Failure (OPTIMIZE-HF). *J Am Coll Cardiol.* 2008;52(5):347-56.

6 :

Adams KF, Fonarow GC, Emerman CL, LeJemtel TH, Costanzo MR, Abraham WT, et al. Characteristics and outcomes of patients hospitalized for heart failure in the United States: rationale, design, and preliminary observations from the first 100,000 cases in the Acute Decompensated Heart Failure National Registry (ADHERE). *Am Heart J.* 2005;149(2):209-16.

7 :

Nieminen MS, Brutsaert D, Dickstein K, Drexler H, Follath F, Harjola VP, et al. EuroHeart Failure Survey II (EHFS II): a survey on hospitalized acute heart failure patients: description of population. *Eur Heart J.* 2006;27(22):2725-36.

8 :

Wang N, Zhao D, Liu J, Liu J, Yu CM, Wang W, et al. Impact of heart failure on in-hospital outcomes of acute coronary syndrome patients in China - Results from the Bridging the Gap on CHD Secondary Prevention in China (BRIG) project. *Int J Cardiol.* 2011 Mar 29.

9 :

Sasaki N, Lee J, Park S, Umegaki T, Kunisawa S, Otsubo T, et al. Development and Validation of an Acute Heart Failure-Specific Mortality Predictive Model Based on Administrative Data. *Can J Cardiol.* 2013 Feb.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-04-24

名称: 急性心不全 (AHF)症例におけるリスク調整院内死亡率 (急性心筋梗塞症例は除く)

指標番号:

QIP: 4004

年度: 2014, 2016

更新日: 2018-09-25

指標群: 循環器系疾患 リスク調整アウトカム

名称: 急性心不全 (AHF)症例におけるリスク調整院内死亡率 (急性心筋梗塞症例は除く)

意義: 治療成績

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 18歳以上の急性心不全症例 (急性心筋梗塞は除く)

分子: 分母のうち、死亡退院の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、様式1の生年月日、入院日より求めた入院時年齢が18歳以上の症例。
- 3 :
このうち、下記ICD-10コード心不全の診断を受けた症例で、かつ病名付加コード:30101または30102(急性心不全または慢性心不全の急性増悪)がある症例。

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
I50\$	心不全

- 4 :
「主傷病名」「入院の契機となった傷病名」「医療資源を2番目に投入した傷病名」「併存症病名1~4」いずれかに含まれるICD-10コードが急性心不全と病態が紛らわしいもの:来院時心肺停止、末期腎不全(人工透析使用または移行症例**)、急性呼吸促進症候群(Acute Respiratory Distress Syndrome: ARDS)、肺炎、胸膜炎は除く

分母のデータ4

依存症病名	ICD-10コード
来院時心肺停止	I469,I96
AMI	I21,I22
末期腎不全	N180
ARDS	J80
胸膜炎	J90,J91,J94
肺炎	J100,J110,J12,J13,J14,J15,J16,J17,J18,J69

- 5 :
「主傷病名」「入院の契機となった傷病名」「医療資源を2番目に投入した傷病名」「併存症病名1~4」に下記ICD-10コードを含む症例を除外する。急性心不全を合併した急性心筋梗塞は特に予後が悪く、特殊な病態のため、解析から除外する。

分母のデータ5

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

- 6 :

緊急入院である症例。緊急入院区分が2011年度までは「2」2012年度以降は「2**」「3**」

7 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

8 :
入院時NYHA2~4以外(すなわち0,9,欠損などほか、1 : 心疾患はあるが身体活動に制限はない、日常的な身体活動では著しい疲労、動悸、呼吸困難あるいは狭心痛を生じない。)は除く。

9 :
「主傷病名」「入院の契機となった傷病名」「医療資源を2番目に投入した傷病名」「併存症病名1~4」いずれかに「末期腎不全」(N180)があるものを除外する。

分母のデータ9

ICD-10コード	病名
N180	末期腎不全

分子の定義:

1 :
分母のうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」あるいは「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」である症例数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

1 :
性別

2 :
年齢 入院時年齢 : 18-64、65-74、75-84、85>の4段階に分ける

3 :
NYHA分類(II~IV)

指標の算出方法(説明): 分母に相当する各症例の死亡退院の有無を患者レベル変数で予測するロジスティック回帰モデルを作成する。各病院ごとに患者個別の予測死亡確率を平均し、「予測死亡率」を得る。各病院ごとに分子を分母で割って、「実測死亡率」を得る。「実測死亡率」÷「予測死亡率」×「全病院例死亡率」=「リスク調整死亡率」を得る。

指標の算出方法(単位): なし

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
急性心不全と紛らわしい病態については、病名のみで完全に除外しきれないわけではないので、注意が必要である。

2 :
在院日数で症例を除外していないが、90日以上のあるいは、90日以上は「生存」とみなして解析するなどの計測も考慮される

3 :
2014年度(2016年3月退院データまで)のデータに対応した定義

参考値:

1 :
日米欧のRegistry試験4-7による院内死亡率は3.8%~7.7%。

参考資料:

1 :
AHRQ quality indicators. Guide to inpatient quality indicators: quality of care in hospitals - volume, mortality, and utilization [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 91 p.

2 :
AHRQ quality indicators. Inpatient quality indicators: technical specifications [version 4.2]. IQI #16 congestive heart failure (CHF) mortality rate. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 1 p.

3 :
急性心不全治療ガイドライン(2011年改訂版). 循環器病の診断と治療に関するガイドライン(2010年度合同研究班報告)、日本循環器学会.
<http://www.j-circ.or.jp/guideline/>

4 :

Sato N, Kajimoto K, Asai K, Mizuno M, Minami Y, Nagashima M, et al. Acute decompensated heart failure syndromes (ATTEND) registry. A prospective observational multicenter cohort study: rationale, design, and preliminary data. *Am Heart J.* 2010;159(6):949-55.e1.

5 :

Abraham WT, Fonarow GC, Albert NM, Stough WG, Gheorghiu M, Greenberg BH, et al. Predictors of in-hospital mortality in patients hospitalized for heart failure: insights from the Organized Program to Initiate Lifesaving Treatment in Hospitalized Patients with Heart Failure (OPTIMIZE-HF). *J Am Coll Cardiol.* 2008;52(5):347-56.

6 :

Adams KF, Fonarow GC, Emerman CL, LeJemtel TH, Costanzo MR, Abraham WT, et al. Characteristics and outcomes of patients hospitalized for heart failure in the United States: rationale, design, and preliminary observations from the first 100,000 cases in the Acute Decompensated Heart Failure National Registry (ADHERE). *Am Heart J.* 2005;149(2):209-16.

7 :

Nieminen MS, Brutsaert D, Dickstein K, Drexler H, Follath F, Harjola VP, et al. EuroHeart Failure Survey II (EHFS II): a survey on hospitalized acute heart failure patients: description of population. *Eur Heart J.* 2006;27(22):2725-36.

8 :

Wang N, Zhao D, Liu J, Liu J, Yu CM, Wang W, et al. Impact of heart failure on in-hospital outcomes of acute coronary syndrome patients in China - Results from the Bridging the Gap on CHD Secondary Prevention in China (BRIG) project. *Int J Cardiol.* 2011 Mar 29.

9 :

Sasaki N, Lee J, Park S, Umegaki T, Kunisawa S, Otsubo T, et al. Development and Validation of an Acute Heart Failure-Specific Mortality Predictive Model Based on Administrative Data. *Can J Cardiol.* 2013 Feb.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-25

名称: 市中肺炎症例におけるリスク調整院内死亡率（マルチレベルモデル）

指標番号:

QIP: 4005_m

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2019-04-24

指標群: 呼吸器

名称: 市中肺炎症例におけるリスク調整院内死亡率（マルチレベルモデル）

意義: 治療成績

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 15歳以上の市中肺炎症例

分子: 分母のうち、死亡退院の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする。退院日が2012年4月1日以降

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より求めた入院時年齢が15歳以上の症例。

3:

医療資源を最も投入した傷病名のICD-10コードに以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
J13	肺炎レンサ（連鎖）球菌による肺炎
J14	インフルエンザ菌による肺炎
J15\$	細菌性肺炎，他に分類されないもの
J16\$	その他の感染病原体による肺炎，他に分類されないもの
J17\$	他に分類される疾患における肺炎
J18\$	肺炎，病原体不詳

4:

いずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例を除外する。

分母のデータ4

ICD-10コード	病名
O\$	妊娠,分娩および産褥
P\$	周産期に発生した病態

5:

肺炎の重症度分類の7桁目が「5：市中肺炎」である症例に限る（2010年度データでは限定できない）

6:

肺炎重症度分類に入力がない症例を除外する。

7:

肺炎の重症度分類の4ケタが「9999」（不明）の症例を除外する。

8:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母のうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」あるいは「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」である症例数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

1 :
肺炎重症度分類（2010年度4ケタコード、2012年度より7桁のうち最初4桁）を一桁ずつに分解。

2 :
コードは0、1、2、9での入力が行われているが、2は2012年度よりSpO2についての詳細コードに使用され1として計算、9（不明）は0として計算

3 :
4ケタすべてが9999であるものは、データ欠損集団として解析から除外する（再掲）

4 :
性別が男性（1）かつ年齢70歳以上、あるいは女性（2）および年齢75歳以上の場合 1(J2)

5 :
4つのフラグと(J2)を5つの重症度フラグ（0, 1）としてリスク調整を行う

指標の算出方法(説明): 分母に相当する各症例の死亡退院の有無を患者レベル変数および施設レベルで予測するマルチレベルロジスティック回帰モデルを作成する。マルチレベルモデル分析における各病院のモデルにおけるランダム切片（の指数）を求め、全病院例平均死亡率と掛け合わせてリスク調整死亡率を得る。

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
「肺炎」は、DPCコード040080\$に相当する傷病名の一部を使用。2010年度データでは市中肺炎・院内肺炎が混在した指標になっている。2012年度以降では肺炎重症度に市中肺炎の入力項目が追加されている。

2 :
最も資源を投入した病名に限られるため、結果的に敗血症等で死亡した症例が、分母から除かれる。

3 :
重症度データの入力割合が高くない施設が存在する場合、結果にバイアスがかかる。

4 :
2012年度から、院内肺炎ガイドラインに準じた重症度項目（免疫不全状態、肺炎重症度規定因子）等が追加されている。市中肺炎に対する重症度としてガイドライン上は採用されておらず、今回の指標では重症度補正に利用していないが、今後活用は検討できる。

参考値:

参考資料:

1 :
AHRQ quality indicators. Guide to inpatient quality indicators: quality of care in hospitals - volume, mortality, and utilization [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 91 p.

2 :
AHRQ quality indicators. Inpatient quality indicators: technical specifications [version 4.2]. IQI #20 pneumonia mortality rate. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 2 p.

3 :
日本呼吸器学会「呼吸器感染症に関するガイドライン」成人市中肺炎診療ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-04-24

名称: 市中肺炎症例におけるリスク調整院内死亡率

指標番号:

QIP: 4005

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-25

指標群: 呼吸器

名称: 市中肺炎症例におけるリスク調整院内死亡率

意義: 治療成績

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 15歳以上の市中肺炎症例

分子: 分母のうち、死亡退院の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする。退院日が2012年4月1日以降
- 2 :
このうち、様式1の生年月日、入院日より求めた入院時年齢が15歳以上の症例。
- 3 :
医療資源を最も投入した傷病名のICD-10コードに以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
J13	肺炎レンサ（連鎖）球菌による肺炎
J14	インフルエンザ菌による肺炎
J15\$	細菌性肺炎，他に分類されないもの
J16\$	その他の感染病原体による肺炎，他に分類されないもの
J17\$	他に分類される疾患における肺炎
J18\$	肺炎，病原体不詳

- 4 :
いずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例を除外する。

分母のデータ4

ICD-10コード	病名
O\$	妊娠,分娩および産褥
P\$	周産期に発生した病態

- 5 :
肺炎の重症度分類の7桁目が「5：市中肺炎」である症例に限る（2010年度データでは限定できない）
- 6 :
肺炎重症度分類に入力がない症例を除外する。
- 7 :
肺炎の重症度分類の4ケタが「9999」（不明）の症例を除外する。
- 8 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母のうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」あるいは「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」である症例数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

1 :
肺炎重症度分類（2010年度4ケタコード、2012年度より7桁のうち最初4桁）を一桁ずつに分解。

2 :
コードは0、1、2、9での入力が行われているが、2は2012年度よりSpO2についての詳細コードに使用され1として計算、9（不明）は0として計算

3 :
4ケタすべてが9999であるものは、データ欠損集団として解析から除外する（再掲）

4 :
性別が男性（1）かつ年齢70歳以上、あるいは女性（2）および年齢75歳以上の場合 1(J2)

5 :
4つのフラグと(J2)を5つの重症度フラグ（0, 1）としてリスク調整を行う

指標の算出方法(説明): 分母に相当する各症例の死亡退院の有無を患者レベル変数で予測するロジスティック回帰モデルを作成する。各病院ごとに患者個別の予測死亡確率を平均し、「予測死亡率」を得る。各病院ごとに分子を分母で割って、「実測死亡率」を得る。「実測死亡率」÷「予測死亡率」×「全病院例死亡率」＝「リスク調整死亡率」を得る。

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
「肺炎」は、DPCコード040080\$に相当する傷病名の一部を使用。2010年度データでは市中肺炎・院内肺炎が混在した指標になっている。2012年度以降では肺炎重症度に市中肺炎の入力項目が追加されている。

2 :
最も資源を投入した病名に限られるため、結果的に敗血症等で死亡した症例が、分母から除かれる。

3 :
重症度データの入力割合が高くない施設が存在する場合、結果にバイアスがかかる。

4 :
2012年度から、院内肺炎ガイドラインに準じた重症度項目（免疫不全状態、肺炎重症度規定因子）等が追加されている。市中肺炎に対する重症度としてガイドライン上は採用されておらず、今回の指標では重症度補正に利用していないが、今後活用は検討できる。

参考値:

参考資料:

1 :
AHRQ quality indicators. Guide to inpatient quality indicators: quality of care in hospitals - volume, mortality, and utilization [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 91 p.

2 :
AHRQ quality indicators. Inpatient quality indicators: technical specifications [version 4.2]. IQI #20 pneumonia mortality rate. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 2 p.

3 :
日本呼吸器学会「呼吸器感染症に関するガイドライン」成人市中肺炎診療ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-25

名称: [測定終了]急性心筋梗塞患者におけるアスピリン投与割合

指標番号:

QIP: 2001

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: [測定終了]急性心筋梗塞患者におけるアスピリン投与割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、アスピリンもしくはクロピドグレルが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする。

2:
このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。
資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3:
このうち、退院日が入院後3日以降である症例。(入院日を1とする)。

4:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:
アスピリンが処方されている症例。
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
1143001	アスピリン	○	○	○	○
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○
1143700	アスピリン	○	○		
3399007	アスピリン	○	○	○	○
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン		○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

2:

座薬（サリチゾン座薬：薬価基準コード 1143700J5029）は、ガイドライン（JCS STEMI 2013）では嘔吐・上部消化管疾患のある患者に適応であると記載あり、2016年の指標定義改訂時に追加した。ただし2014年3月に販売中止となっている。

参考値:

1:

アメリカにおいては90%前後。QIPの過去の指標でも90%前後。

参考資料:

1:

Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.

Acute myocardial infarction: percent of patients who received aspirin within 24 hours before or after hospital arrival. 2010 Apr. NQMC:006060

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与割合 (共通定義)

指標番号:

QIP: 0474_w

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-14

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与割合 (共通定義)

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち入院後二日以内にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする。

2 :
このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。
資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3 :
このうち、退院日が入院後3日以降である症例。(入院日を1とする)。

分子の定義:

1 :
1. アスピリンが入院後2日以内に処方されている症例。
EおよびFファイル、もしくはEFファイルにおいて、実施年月日が入院後2日以内でありかつ以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
1143001	アスピリン	○	○	○	○
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○
1143700	アスピリン	○	○		
3399007	アスピリン	○	○	○	○
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン		○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

2 :
座薬（サリチゾン座薬：薬価基準コード 1143700J5029）は、ガイドライン（JCS STEMI 2013）では嘔吐・上部消化管疾患のある患者に適応であると記載あり、2016年の指標定義改訂時に追加した。ただし2014年3月に販売中止となっている。

参考値:

1 :
アメリカにおいては90%前後。QIPの過去の指標でも90%前後。

参考資料:

1 :
Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.
Acute myocardial infarction: percent of patients who received aspirin within 24 hours before or after hospital arrival. 2010 Apr. NQMC:006060

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-14

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時抗血小板薬投与割合

指標番号:

QIP: 0473

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-12

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時抗血小板薬投与割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、退院時にアスピリン、チクロピジン、プラスグレル、クロピドグレルのいずれかが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1: 解析期間に退院した症例を対象とする。

2: このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。
資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3: このうち、退院日が入院後3日以降である症例。(入院日を1とする)。

4: このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。
退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5: このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「● 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

6: 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1: 退院時にアスピリン、チクロピジン、プラスグレル、クロピドグレルのいずれかが処方されている症例。
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

退院時処方の判定:

2010年度～2015年度: FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」
2016年度～: EF-17・F-19 行為明細区分情報(12桁の数値)の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
1143700	アスピリン	○	○			
3399007	アスピリン	○	○	○	○	○
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン		○	○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○	○
3399001	チクロピジン塩酸塩	○	○	○	○	○
3399008	クロピドグレル硫酸塩			○	○	○
3399008	硫酸クロピドグレル	○	○	○	○	○
3399009	プラスゲレル塩酸塩			○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

2:

座薬（サリチゾン座薬：薬価基準コード 1143700J5029）は、ガイドライン（JCS STEMI 2013）では嘔吐・上部消化管疾患のある患者に適応であると記載あり、2016年の指標定義改訂時に追加した。ただし2014年3月に販売中止となっている。

3:

2018年度に指標の改定を行い、アスピリンだけではなくアスピリン、チクロピジン、プラスゲレル、クロピドグレルのいずれかが含まれるとする抗血小板薬の使用をみる指標とした。

参考値:

1:

アメリカにおいては90%前後。QIPの過去の指標でも90%前後。

参考資料:

1:

Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.

Acute myocardial infarction: percent of patients who are prescribed aspirin at hospital discharge. 2010 Apr. NQMC:006061

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-12

名称: 急性心筋梗塞患者におけるβブロッカー投与割合

指標番号:

QIP: 2002

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-29

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者におけるβブロッカー投与割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、βブロッカーが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする。

2 :
このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。
資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3 :
このうち、退院日が入院後3日以降である症例。(入院日を1とする)。

4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
βブロッカーが処方されている症例。
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2123001	アセプトロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123002	アルプレノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123004	オクスプレノロール塩酸塩	○	○			
2123005	カルテオロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123006	ブフェトロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123008	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123009	ピンドロール	○	○	○	○	○
2123011	アテノロール	○	○	○	○	○
2123014	アロチノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123015	ナドロール	○	○	○	○	○
2123016	ビソプロロールフマル酸塩	○	○	○	○	○

2123403 薬価基準コード上7桁	プロプラノロール塩酸塩 成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2123404	ランジオロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123405	エスモロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149009	ラベタロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149010	メトプロロール酒石酸塩	○	○	○	○	○
2149011	ピンドロール	○	○	○	○	○
2149014	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149018	アモスラロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149021	ニブラジロール	○	○	○	○	○
2149025	カルテオロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149028	チリソロール塩酸塩	○	○			
2149029	セリプロロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149031	ベタキソロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149032	カルベジロール	○	○	○	○	○
2149033	ボピンドロール マロン酸塩	○				
2149036	ベバントロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149700	ビソプロロール		○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では4.0%前後。

参考資料:

1 :
Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.
Acute myocardial infarction: percent of patients who are prescribed a beta-blocker at hospital discharge. 2010 Apr. NQMC:006064

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-29

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時βブロッカー投与割合

指標番号:

QIP: 0472

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時βブロッカー投与割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、退院時にβブロッカーが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする。

2:

このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。

資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3:

このうち、退院日が入院後3日以降である症例。(入院日を1とする)。

4:

このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。

退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5:

このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「● 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

6:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

退院時にβブロッカーが処方された症例。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

退院時処方の判定:

2010年度～2015年度:FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」

2016年度～:EF-17・F-19 行為明細区分情報(12桁の数値)の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
-------------	-----	------	------	------	------	------

2123001 薬価基準コード上7ケタ	2123001 成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2123002	アルプレノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123004	オクスプレノロール塩酸塩	○	○			
2123005	カルテオロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123006	ブフェトロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123008	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123009	ピンドロール	○	○	○	○	○
2123011	アテノロール	○	○	○	○	○
2123014	アロチノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123015	ナドロール	○	○	○	○	○
2123016	ビソプロロールフルマル酸塩	○	○	○	○	○
2123402	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123404	ランジオロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123405	エスモロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149009	ラベタロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149010	メトプロロール酒石酸塩	○	○	○	○	○
2149011	ピンドロール	○	○	○	○	○
2149014	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149018	アモスラロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149021	ニブラジロール	○	○	○	○	○
2149025	カルテオロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149028	チリソロール塩酸塩	○	○			
2149029	セリプロロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149031	ベタキソロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149032	カルベジロール	○	○	○	○	○
2149033	ボピンドロール マロン酸塩	○				
2149036	ババントロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149700	ビソプロロール		○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では4.6%前後。ただし、この値は退院時に限っていないので低くでることが予想される。

参考資料:

1 :
Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.
Acute myocardial infarction: percent of patients who are prescribed a beta-blocker at hospital discharge. 2010 Apr. NQMC:006064

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 急性心筋梗塞患者におけるACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合

指標番号:

QIP: 2003

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者におけるACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、ACE阻害剤（ACEI）もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤（ARB）が投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする。

2 :
このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3 :
このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。

4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
ACEIもしくはARBが処方されている症例。Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2144001	カプトプリル	○	○	○	○	○
2144002	エナラプリルマレイン酸塩	○	○	○	○	○
2144003	アラセプリル	○	○	○	○	○
2144004	デラプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144005	シラザプリル水和物	○	○	○	○	○
2144006	リシノプリル水和物	○	○	○	○	○
2144008	イミダプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144007	ベナゼプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144009	テモカプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144010	キナプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144011	トランドラプリル	○	○	○	○	○
2144012	ペリンドプリルエルブミン	○	○	○	○	○

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2149040	カンデサルタンシレキセチル	○	○	○	○	○
2149041	バルサルタン	○	○	○	○	○
2149042	テルミサルタン	○	○	○	○	○
2149044	オルメサルタンメドキシミル	○	○	○	○	○
2149046	イルベサルタン	○	○	○	○	○
2149047	アリスキレンフマル酸塩	○	○	○	○	○
2149048	アジルサルタン		○	○	○	○
2149110	ロサルタンカリウム・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149111	カンデサルタンシレキセチル・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149112	バルサルタン・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149113	テルミサルタン・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149114	バルサルタン・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149115	オルメサルタンメドキシミル・アゼルニジピン	○	○	○	○	○
2149116	カンデサルタンシレキセチル・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149117	テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149118	イルベサルタン・アムロジピンベシル酸塩		○	○	○	○
2149119	イルベサルタン・トリクロルメチアジド		○	○	○	○
2149120	バルサルタン・シルニジピン			○	○	○
2149121	アジルサルタン・アムロジピンベシル酸塩			○	○	○
2149122	テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩・ヒドロクロロチアジド				○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
アレルギーや左室機能不全ではないなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

1 :
アメリカにおいては90%前後。QIPの過去の指標でも90%前後。

参考資料:

1 :
Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時のACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合

指標番号:

QIP: 2051

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時のACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、退院時にACE阻害剤（ACEI）もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤（ARB）が投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする。

2 :
このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3 :
このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。

4 :
このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5 :
このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「● 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

6 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
退院時にACEIもしくはARBが処方されている症例。
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。
退院時処方の判定:

2010年度～2015年度：FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」
2016年度～：EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2144001	カプトプリル	○	○	○	○	○

2144003 薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2144003	アラセプリル	○	○	○	○	○
2144004	デラプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144005	シラザプリル水和物	○	○	○	○	○
2144006	リシノプリル水和物	○	○	○	○	○
2144008	イミダプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144007	ベナゼプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144009	テモカプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144010	キナプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144011	トランドラプリル	○	○	○	○	○
2144012	ペリンドプリルエルブミン	○	○	○	○	○
2149039	ロサルタンカリウム	○	○	○	○	○
2149040	カンデサルタンシレキセチル	○	○	○	○	○
2149041	バルサルタン	○	○	○	○	○
2149042	テルミサルタン	○	○	○	○	○
2149044	オルメサルタンメドキシミル	○	○	○	○	○
2149046	イルベサルタン	○	○	○	○	○
2149047	アリスキレンフマル酸塩	○	○	○	○	○
2149048	アジルサルタン		○	○	○	○
2149110	ロサルタンカリウム・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149111	カンデサルタンシレキセチル・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149112	バルサルタン・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149113	テルミサルタン・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149114	バルサルタン・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149115	オルメサルタンメドキシミル・アゼルニジピン	○	○	○	○	○
2149116	カンデサルタンシレキセチル・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149117	テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149118	イルベサルタン・アムロジピンベシル酸塩		○	○	○	○
2149119	イルベサルタン・トリクロルメチアジド		○	○	○	○
2149120	バルサルタン・シルニジピン			○	○	○
2149121	アジルサルタン・アムロジピンベシル酸塩			○	○	○
2149122	テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩・ヒドロクロロチアジド				○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

1 :
QIPの過去の似た指標では平均50%程度だが5%~95%まで幅有り。今回の指標では退院時に限定しているため下がる可能性がある。

参考資料:

1 :
日本循環器学会ほか, 心筋梗塞二次予防に関するガイドライン (2011年改訂版), 2011

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合

指標番号:

QIP: 2050

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、退院時にスタチンが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする。

2:

このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3:

このうち、退院日が入院後3日以降である症例。(入院日を1とする)。

4:

このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5:

このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「● 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

6:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

スタチンが処方されている症例。Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2189015	アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190101	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190102	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190103	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○

薬物基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2189101	エゼチミブ・アトルバスタチンカルシウム水和物					○
2189011	シンバスタチン	○	○	○	○	○
2189016	ピタバスタチンカルシウム	○	○	○	○	○
2189010	プラバスタチンナトリウム	○	○	○	○	○
2189012	フルバスタチンナトリウム	○	○	○	○	○
2189017	ロスバスタチンカルシウム	○	○	○	○	○

2:

このうち、薬剤が退院時に処方されている症例。

退院時処方の判定:

2010年度～2015年度: FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」

2016年度～: EF-17・F-19 行為明細区分情報(12桁の数値)の1桁目「退院時処方区分」が「1」

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

1:

QIPの過去の指標では4.0%前後。ただし、この値は退院時に限っていないので低くでることが予想される。

参考資料:

1:

日本循環器学会ほか, 心筋梗塞二次予防に関するガイドライン(2011年改訂版), 2011

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 心不全患者へのβブロッカー投与の割合

指標番号:

QIP: 2006

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-29

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 心不全患者へのβブロッカー投与の割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 心不全で入院した症例数

分子: 分母のうち、βブロッカーが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする。

2 :
このうち、心不全の診断を受けた症例。
資源を最も投入した傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I50\$	心不全

3 :
このうち、退院日が入院後3日以降である症例。(入院日を1とする)。

4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
βブロッカーが処方されている症例。
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2123001	アセプトロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123002	アルプレノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123004	オクスプレノロール塩酸塩	○	○			
2123005	カルテオロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123006	ブフェトロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123008	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123009	ピンドロール	○	○	○	○	○
2123011	アテノロール	○	○	○	○	○
2123014	アロチノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123015	ナドロール	○	○	○	○	○
2123016	ビソプロロールフマル酸塩	○	○	○	○	○

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2123404	ランジオロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2123405	エスモロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149009	ラベタロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149010	メトプロロール酒石酸塩	○	○	○	○	○
2149011	ピンドロール	○	○	○	○	○
2149014	プロプラノロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149018	アモスラロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149021	ニブラジロール	○	○	○	○	○
2149025	カルテオロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149028	チリソロール塩酸塩	○	○			
2149029	セリプロロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149031	ベタキシロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149032	カルベジロール	○	○	○	○	○
2149033	ボピンドロール マロン酸塩	○				
2149036	ベバントロール塩酸塩	○	○	○	○	○
2149700	ビソプロロール		○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

1:
QIPの過去の指標では35%前後。

参考資料:

1:
「慢性心不全治療ガイドライン(2005年改訂版)」「急性心不全治療ガイドライン(2006年改訂版)」日本循環器学会

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-29

名称: 心不全患者へのACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤投与の割合

指標番号:

QIP: 2007

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-10

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 心不全患者へのACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤投与の割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 心不全で入院した症例数

分子: 分母のうちACE阻害剤(ACEI)もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤(ARB)が投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする。

2:
このうち、心不全の診断を受けた症例。
資源を最も投入した傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I50\$	心不全

3:
このうち、退院日が入院後3日以降である症例。(入院日を1とする)。

4:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:
ACEIもしくはARBが処方されている症例。
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2144001	カプトプリル	○	○	○	○	○
2144002	エナラプリルマレイン酸塩	○	○	○	○	○
2144003	アラセプリル	○	○	○	○	○
2144004	デラプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144005	シラザプリル水和物	○	○	○	○	○
2144006	リシノプリル水和物	○	○	○	○	○
2144007	ベナゼプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144009	テモカプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144010	キナプリル塩酸塩	○	○	○	○	○
2144011	トランドラプリル	○	○	○	○	○
2144012	ペリンドプリルエルブミン	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2149040	カンデサルタンシレキセチル	○	○	○	○	○
2149041	バルサルタン	○	○	○	○	○
2149042	テルミサルタン	○	○	○	○	○
2149044	オルメサルタンメドキシミル	○	○	○	○	○
2149046	イルベサルタン	○	○	○	○	○
2149047	アリスキレンフマル酸塩	○	○	○	○	○
2149048	アジルサルタン		○	○	○	○
2149110	ロサルタンカリウム・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149111	カンデサルタンシレキセチル・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149112	バルサルタン・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149113	テルミサルタン・ヒドロクロロチアジド	○	○	○	○	○
2149114	バルサルタン・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149115	オルメサルタンメドキシミル・アゼルニジピン	○	○	○	○	○
2149116	カンデサルタンシレキセチル・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149117	テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩	○	○	○	○	○
2149118	イルベサルタン・アムロジピンベシル酸塩		○	○	○	○
2149119	イルベサルタン・トリクロルメチアジド		○	○	○	○
2149120	バルサルタン・シルニジピン			○	○	○
2149121	アジルサルタン・アムロジピンベシル酸塩			○	○	○
2149122	テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩・ヒドロクロロチアジド				○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
アレルギーや左室機能不全ではないなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では45%前後。

参考資料:

1 :
「慢性心不全治療ガイドライン(2005年改訂版)」「急性心不全治療ガイドライン(2006年改訂版)」日本循環器学会

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-10

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与割合 (共通定義)

指標番号:

QIP: 0473_w

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与割合 (共通定義)

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち、退院時にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする。

2:
このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。
資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3:
このうち、退院日が入院後3日以降である症例。(入院日を1とする)。

4:
このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。
退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

分子の定義:

1:
退院時にアスピリンが処方されている症例。
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。
退院時処方判定:

2010年度～2015年度: FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」
2016年度～: EF-17・F-19 行為明細区分情報(12桁の数値)の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分子のデータ1

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
1143001	アスピリン	○	○	○	○
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○
1143700	アスピリン	○	○		
3399007	アスピリン	○	○	○	○

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン		○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

2:

座薬（サリチゾン座薬：薬価基準コード 1143700J5029）は、ガイドライン（JCS STEMI 2013）では嘔吐・上部消化管疾患のある患者に適応であると記載あり、2016年の指標定義改訂時に追加した。ただし2014年3月に販売中止となっている。

3:

本指標は、厚労省の「医療の質の評価・公表等推進事業」により示されたDPCを用いた共通指標の定義を利用している。

このうち、いくつか改訂（分母より、転院症例を除外する、等）が望ましいものを反映した定義は0473として算出を行っているため、併せてご参照ください。

参考値:

1:

アメリカにおいては90%前後。QIPの過去の指標でも90%前後。

参考資料:

1:

Specifications manual for national hospital inpatient quality measures, version 3.1a. Centers for Medicare & Medicaid Services (CMS), The Joint Commission; 2010 Apr 1. various p.

Acute myocardial infarction: percent of patients who are prescribed aspirin at hospital discharge. 2010 Apr. NQMC:006061

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 急性心筋梗塞患者における当日アスピリン投与割合

指標番号:

QIP: 0475

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-12

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: 急性心筋梗塞患者における当日アスピリン投与割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞で入院した症例数

分子: 分母のうち入院当日にアスピリンが投与された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする。

2:

このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。

資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3:

このうち、退院日が入院後3日以降である症例。(入院日を1とする)。

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

1. アスピリンが入院当日に処方されている症例。

EおよびFファイル、もしくはEFファイルにおいて、実施年月日が入院当日でありかつ下記の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1143001	アスピリン	○	○	○	○	○
3399007	アスピリン	○	○	○	○	○
1143700	アスピリン	○	○			
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

2:

座薬（サリチゾン座薬：薬価基準コード 1143700J5029）は、ガイドライン（JCS STEMI 2013）では嘔吐・上部消化管疾患のある患者に適応であると記載あり、含めているが、ただし2014年3月に販売中止となっている。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-12

名称: 経皮的冠動脈形成術 (PTCA) を受けた後、同日あるいは翌日までに冠動脈バイパス術 (CABG) 受けた割合

指標番号:

QIP: 0598

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-08

指標群: 循環器系疾患

名称: 経皮的冠動脈形成術 (PTCA) を受けた後、同日あるいは翌日までに冠動脈バイパス術 (CABG) 受けた割合

意義: 治療成績

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上のPTCA件数

分子: 分母のうち、同日あるいは翌日までにCABGを受けた件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
実施日が解析期間のケースを対象とする。
- 2 :
このうち、EFファイルより以下のPTCAを受けたケースを対象とする。ケースはEFファイルの (施設コード, データ識別番号, 退院年月日, 入院年月日, 実施年月日) で1ケース。

分母のデータ2

レセ電コード	手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
150145910	K552	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (1 吻合)	○	○	○	○	○
150146010	K552	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (2 吻合以上)	○	○	○	○	○
150302770	K552	冠動脈形成術 (血栓内膜摘除) 併施加算	○	○	○	○	○
150318410	K552-2	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺不使用) (1 吻合)	○	○	○	○	○
150318510	K552-2	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺不使用) (2 吻合以上)	○	○	○	○	○

- 3 :
このうち、各ケースにつき様式 1 の生年月日、入院年月日より入院時年齢を求め、18 歳以上のケースのみ対象とする。

- 4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :
分母のうち、PTCA手技施行の同日もしくは翌日にCABGを受けたケース。EFファイルより、以下の処置を受けたケース

分子のデータ1

レセ電コード (診療行為コード)	手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016
150145910	K552	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (1 吻合)	○	○	○	○
150146010	K552	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (2 吻合以上)	○	○	○	○
150302770	K552	冠動脈形成術 (血栓内膜摘除) 併施加算	○	○	○	○
150318410	K552-2	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺不使用) (1 吻合)	○	○	○	○
150318510	K552-2	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺不使用) (2 吻合以上)	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

同日に施行されたPTCA とCABGは、どちらが先に施行されたものかは判別できない。

2 :

PTCAに積極的な病院や医師は、比較的困難な症例にPTCAを適用し、結果的に続くCABGが増加する可能性があり、解釈への検討が考慮されるべき可能性がある。

3 :

PTCAを複数回受ける場合があり、計測単位は入院患者数ではなく、実施件数にする。このため複数回のPTCAにより算出される割合が低くなる可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :

Australian Council on Healthcare Standards (ACHS). ACHS clinical indicator users' manual 2010. ULTIMO NSW: Australian Council on Healthcare Standards (ACHS); 2010 Jan. 810 p.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-08

名称: 左心カテーテル手技に際し、右心カテーテル手技を同時には行っていない割合

指標番号:

QIP: 0209

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-07

指標群: 循環器系疾患

名称: 左心カテーテル手技に際し、右心カテーテル手技を同時には行っていない割合

意義: 右心カテーテルは左心カテーテルに必ずしも必要な手技ではない。他施設よりも同時実施が特に多い施設では手技を見直す契機になる。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上で左心カテーテル手技を受けたケース。1入院中に複数回の手技を受けた患者は、回数分算出される

分子: 分母のうち、同日に右心カテーテル検査を受けていない症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

実施日が解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、EFファイルより以下の左心カテーテル手技のうちいずれかを受けたケースを対象とする。ケースはEFファイルの(施設コード,データ識別番号,退院年月日,入院年月日,実施年月日)で1ケース。

分母のデータ3

診療行為コード	手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
160064510	D206-02	心カテ(左心)	1	1	1	1	1
150153910	K546-00	経皮的冠動脈形成術	1	1	0	0	0
150374910	K546-01	経皮的冠動脈形成術(急性心筋梗塞)	0	1	1	1	1
150375010	K546-02	経皮的冠動脈形成術(不安定狭心症)	0	1	1	1	1
150375110	K546-03	経皮的冠動脈形成術(その他)	0	1	1	1	1
150260350	K547-00	経皮的冠動脈粥腫切除術	1	1	1	1	1
150284310	K548-00	経皮的冠動脈形成術(高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテル)	1	0	0	0	0
150284310	K548-01	経皮的冠動脈形成術(高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテル)	0	1	1	1	1
150359310	K548-02	経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー血管形成用カテーテル)	0	1	1	1	1
150263310	K549-00	経皮的冠動脈ステント留置術	1	1	0	0	0
150375210	K549-01	経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞)	0	1	1	1	1
150375310	K549-02	経皮的冠動脈ステント留置術(不安定狭心症)	0	1	1	1	1
150375410	K549-03	経皮的冠動脈ステント留置術(その他)	0	1	1	1	1
160107550	K550-00	冠動脈内血栓溶解療法	1	1	1	1	1
150318310	K550-20	経皮的冠動脈血栓吸引術	1	1	1	1	1

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母選択に際して抽出された左心カテーテル手技施行の同日に右心カテーテルを受けていない症例
EFファイルより、以下の処置を同日に受けていない症例

分子のデータ1

レセ電コード (診療行為コード)	手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016
160064610	D206-1	心カテ (右心)	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

心カテの外來での手技が多いようであれば、外來でのケースを追加する必要がある。

1入院中に複数回の手技を受けた患者は、回数分をケースとして算出しており、患者割合ではなく施行ケース割合が算出値である。

左心カテーテルに右心カテーテルは必ずしも必要ではないが、状態把握のため必要になるケースも一定割合存在すると考えられ、実施割合が低すぎる場合にもプロセスの見直しの契機となる。

参考値:

参考資料:

1:

AHRQ quality indicators. Guide to inpatient quality indicators: quality of care in hospitals - volume, mortality, and utilization [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 91 p.

AHRQ quality indicators. Inpatient quality indicators: technical specifications [version 4.1]. IQI #25 bilateral cardiac catheterization rate. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2009 Dec 1. 3 p. "

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-07

名称: 急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む)患者に対する心臓リハビリ実施割合

指標番号:

QIP: 2077

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-30

指標群: 循環器系疾患

名称: 急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む)患者に対する心臓リハビリ実施割合

意義: プロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む)で入院した症例数

分子: 分母のうち、心臓リハビリが実施された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より求めた入院時年齢が18歳以上の症例。

3:

このうち、急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む)の診断を受けた症例。主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のICD-10コードが下記のいずれかに該当する(疑い病名は除く)※

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞
I22\$	再発性心筋梗塞

4:

在院日数が90日以上症例は除く。

5:

治験例は除く

6:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

心大血管疾患リハビリテーションを受けた症例。入院中に以下のいずれかが算定された症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
180027410	H0001	心大血管疾患リハビリテーション料(1)	○	○	○	○	○
180027510	H0002	心大血管疾患リハビリテーション料(2)	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
適応外の患者もあり、100%を目指す指標ではない。
- 2 :
保険診療請求上、B001の17に掲げる慢性疼痛疾患管理料を算定する患者についてはリハビリテーション料を算定しないことになっているが、月1回の170点算定の管理料よりも、リハビリの方を算定することが多いと思われる。
- 3 :
平成24年（2012年）の診療報酬改定で、リハビリの標榜がなくても、循環器内科・心臓血管外科だけで算定が取れることが明らかになった（疑義解釈）。2016年からリハビリ算定要件の1つである、施設基準が緩和した。測定結果としても指標値は上昇傾向にある。

参考値:

- 1 :
運動療法を中心とした心臓リハビリテーションは虚血性心疾患の二次予防に有効であるとする報告は多くなされている。1,2
- 2 :
慢性心不全に対する運動療法単独無作為比較試験のメタアナリシスでは、虚血性慢性心不全において、運動療法自体が生命予後改善効果と入院率の減少をもたらすと報告されている。3,4,5
- 3 :
心筋梗塞後の包括的心血管疾患リハビリテーション(運動療法中心)により、心筋梗塞の再発減少、心臓血管死および全死亡の減少（20～25%）が報告されている。3,6,7

参考資料:

- 1 :
Balady GJ, Williams MA, Ades PA, et al. Core Components of Cardiac Rehabilitation/Secondary Prevention Programs: 2007 Update: A Scientific Statement From the American Heart Association Exercise, Cardiac Rehabilitation, and Prevention Committee, the Council on Clinical Cardiology; the Councils on Cardiovascular Nursing, Epidemiology and Prevention, and Nutrition, Physical Activity, and Metabolism; and the American Association of Cardiovascular and Pulmonary Rehabilitation. *Circulation* 2007; 115: 2675-2682.
- 2 :
Werf FV, Bax J, Betriu A, et al. Management of acute myocardial infarction in patients presenting with persistent ST-segment elevation: The Task Force on the management of ST-segment elevation acute myocardial infarction of the European Society of Cardiology. *Eur Heart J* 2008; 29: 2909-2945.
- 3 :
循環器病の診断と治療に関するガイドライン。心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン（2007年改訂版）。http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2007_nohara_h.pdf
- 4 :
(2013年4月24日アクセス可能)
- 5 :
Belardinelli R, Georgion D, Giovanni C, Purcaro A: Randomized controlled trial of long term moderate training in chronic heart failure. *Circulation* 1999; 99: 1173-1182.
- 6 :
Piepoli, MF, Davos, C, Francis, DP, Coats, AJ: Exercise training meta-analysis of trials in patients with chronic heart failure (ExTraMATCH). *BMJ* 2004; 328: 189.
- 7 :
Oldridge NB, Guyatt GH, Fischer ME, Rimm AA: Cardiac rehabilitation after myocardial infarction. Combined experience of randomized clinical trials. *JAMA* 1988; 260: 945-950 (A)
- 8 :
O'Connor GT, Buring JE, Yusuf S, Goldhaber SZ, Olmstead EM, Paffenberger RS, Hennenkens CH: An overview of randomized trials of rehabilitation with exercise after myocardial infarction. *Circulation* 1989; 80: 234-244

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-30

名称: 急性または慢性心不全患者に対する心臓リハビリ実施割合

指標番号:

QIP: 2078

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-30

指標群: 循環器系疾患

名称: 急性または慢性心不全患者に対する心臓リハビリ実施割合

意義: プロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 急性または慢性心不全で入院した症例数

分子: 分母のうち、心臓リハビリが実施された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より求めた入院時年齢が18歳以上の症例。

3:

このうち、急性・慢性心不全の治療目的で入院した症例。医療資源を最も投入した傷病名のICD-10コードがI50\$（疑い病名は除く）※かつ、病名付加コードが30100（慢性）または30101（急性）または30102(慢性の急性増悪)の3つのうちいずれかがコードされている

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
I50\$	心不全

4:

在院日数が90日以上 of 症例は除く。

5:

治療例は除く

6:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

心大血管疾患リハビリテーションを受けた症例。入院中に以下のいずれかが算定された症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
180027410	H0001	心大血管疾患リハビリテーション料（1）	○	○	○	○	○
180027510	H0002	心大血管疾患リハビリテーション料（2）	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

適応外の患者もあり、100%を目指す指標ではない。

2:

保険診療請求上、B001の17に掲げる慢性疼痛疾患管理料を算定する患者についてはリハビリテーション料を算定しないことになっているが、月1回の170点算定の管理料よりも、リハビリの方を算定することが多いと思われる。

3:

平成24年(2012年)の診療報酬改定で、リハビリの標榜がなくても、循環器内科・心臓血管外科だけで算定が取れることが明らかになった(疑義解釈)。2016年からリハビリ算定要件の1つである、施設基準が緩和した。測定結果としても指標値は上昇傾向にある。

参考値:

1:

運動療法を中心とした心臓リハビリテーションは虚血性心疾患の二次予防に有効であるとする報告は多くなされている。1,2

2:

慢性心不全に対する運動療法単独無作為比較試験のメタアナリシスでは、虚血性慢性心不全において、運動療法自体が生命予後改善効果と入院率の減少をもたらすと報告されている。3,4,5

3:

心筋梗塞後の包括的心血管疾患リハビリテーション(運動療法中心)により、心筋梗塞の再発減少、心臓血管死および全死亡の減少(20~25%)が報告されている。3,6,7

参考資料:

1:

Balady GJ, Williams MA, Ades PA, et al. Core Components of Cardiac Rehabilitation/Secondary Prevention Programs: 2007 Update: A Scientific Statement From the American Heart Association Exercise, Cardiac Rehabilitation, and Prevention Committee, the Council on Clinical Cardiology; the Councils on Cardiovascular Nursing, Epidemiology and Prevention, and Nutrition, Physical Activity, and Metabolism; and the American Association of Cardiovascular and Pulmonary Rehabilitation. *Circulation* 2007; 115: 2675-2682.

2:

Werf FV, Bax J, Betriu A, et al. Management of acute myocardial infarction in patients presenting with persistent ST-segment elevation: The Task Force on the management of ST-segment elevation acute myocardial infarction of the European Society of Cardiology. *Eur Heart J* 2008; 29: 2909-2945.

3:

循環器病の診断と治療に関するガイドライン. 心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン(2007年改訂版). http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2007_nohara_h.pdf

4:

(2013年4月24日アクセス可能)

5:

Belardinelli R, Georgion D, Giovanni C, Purcaro A: Randomized controlled trial of long term moderate training in chronic heart failure. *Circulation* 1999; 99: 1173-1182.

6:

Piepoli, MF, Davos, C, Francis, DP, Coats, AJ: Exercise training meta-analysis of trials in patients with chronic heart failure (ExTraMATCH). *BMJ* 2004; 328: 189.

7:

Oldridge NB, Guyatt GH, Fischer ME, Rimm AA: Cardiac rehabilitation after myocardial infarction. Combined experience of randomized clinical trials. *JAMA* 1988; 260: 945-950 (A)

8:

O'Connor GT, Buring JE, Yusuf S, Goldhaber SZ, Olmstead EM, Paffenberger RS, Hennenkens CH: An overview of randomized trials of rehabilitation with exercise after myocardial infarction. *Circulation* 1989; 80: 234-244

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-30

名称: 急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内のPCI 実施割合

指標番号:

QIP: 2082

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 循環器系疾患

名称: 急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内のPCI 実施割合

意義: プロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 18 歳以上の急性心筋梗塞でPCIを受けた症例数

分子: 分母のうち、来院後90分以内に手技を受けた件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする。

2 :
このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I210	前壁の急性貫壁性心筋梗塞
I211	下壁の急性貫壁性心筋梗塞
I212	その他の部位の急性貫壁性心筋梗塞
I213	急性貫壁性心筋梗塞, 部位不明

3 :
このうち、EF ファイルより以下のPCI を入院日もしくは翌日に1回以上受けたケースを対象とする。

分母のデータ3

レセ電コード (診療行為コード)	名称	手術点数コード	2010	2012	2014	2016	2018
150374910	経皮的冠動脈形成術 (急性心筋梗塞)	K5461			○	○	○
150375010	経皮的冠動脈形成術 (不安定狭心症)	K5462			○	○	○
150375110	経皮的冠動脈形成術 (その他)	K5463			○	○	○
150375210	経皮的冠動脈ステント留置術 (急性心筋梗塞)	K5491			○	○	○
150375310	経皮的冠動脈ステント留置術 (不安定狭心症)	K5492			○	○	○
150375410	経皮的冠動脈ステント留置術 (その他)	K5493			○	○	○

4 :
このうち、各ケースにつき様式 1 の生年月日、入院年月日より入院時年齢を求め、18 歳以上のケースのみ対象とする。

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :

分母のうち、入院日もしくは翌日に下記が算定された症例数。

分子のデータ1

レセ電コード（診療行為コード）	名称	手術点数コード	2010	2012	2014	2016	2018
150374910	経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞）	K5461			○	○	○
150375210	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞）	K5491			○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

2014年度データ以降のみ算出。ST上昇型の心筋梗塞症例を分母とすることが望ましいが、非ST上昇型の心筋梗塞症例が分母に含まれると指標値が低く算出される可能性がある。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 急性心不全 (AHF)症例におけるリスク調整院内死亡率 (急性心筋梗塞症例は除く) 2016 (マルチレベルモデル)

指標番号:

QIP: 4006_m

年度: 2016, 2018

更新日: 2019-04-24

指標群: 循環器系疾患 リスク調整アウトカム

名称: 急性心不全 (AHF)症例におけるリスク調整院内死亡率 (急性心筋梗塞症例は除く) 2016 (マルチレベルモデル)

意義: 治療成績

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 18歳以上の急性心不全症例 (急性心筋梗塞は除く)

分子: 分母のうち、死亡退院の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より求めた入院時年齢が18歳以上の症例。

3:

このうち、下記ICD-10コード心不全の診断を受けた症例で、かつ

病名付加コード:30101または30102(急性心不全または慢性心不全の急性増悪)がある症例。

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
I50\$	心不全

4:

「主傷病名」「入院の契機となった傷病名」「医療資源を2番目に投入した傷病名」「併存症病名1~4」いずれかに含まれるICD-10コードが急性心不全と病態が紛らわしいもの:来院時心肺停止、末期腎不全(人工透析使用または移行症例**)、急性呼吸促進症候群(Acute Respiratory Distress Syndrome: ARDS)、肺炎、胸膜炎は除く

分母のデータ4

依存症病名	ICD-10コード
来院時心肺停止	I469,I96
AMI	I21,I22
末期腎不全	N180
ARDS	J80
胸膜炎	J90,J91,J94
肺炎	J100,J110,J12,J13,J14,J15,J16,J17,J18,J69

5:

「主傷病名」「入院の契機となった傷病名」「医療資源を2番目に投入した傷病名」「併存症病名1~4」に下記ICD-10コードを含む症例を除外する。急性心不全を合併した急性心筋梗塞は特に予後が悪く8、特殊な病態のため、解析から除外する。

分母のデータ5

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

6:

緊急入院である症例

緊急入院区分が「2**」「3**」

7:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

8:

重症度: 収縮期血圧(1~3)以外のデータが入力されている・あるいはデータが入力されていない症例は除外する

9:

「主傷病名」「入院の契機となった傷病名」「医療資源を2番目に投入した傷病名」「併存症病名1~4」いずれかに「末期腎不全」(N180)があるものを除外する。

分子の定義:

1:

分母のうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」あるいは「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」である症例数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

1:

性別

2:

年齢 入院時年齢: 18-64、65-74、75-84、85>の4段階に分ける

3:

重症度(収縮期血圧(1~3))

指標の算出方法(説明): 分母に相当する各症例の死亡退院の有無を患者レベル変数および施設レベルで予測するマルチレベルロジスティック回帰モデルを作成する。マルチレベルモデル分析における各病院のモデルにおけるランダム切片(の指数)を求め、全病院例平均死亡率と掛け合わせてリスク調整死亡率を得る。

ティック回帰モデルを作成する。マルチレベルモデル分析における各病院のモデルにおけるランダム切片(の指数)を求め、全病院例平均死亡率と掛け合わせてリスク調整死亡率を得る。

指標の算出方法(単位): なし

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

急性心不全と紛らわしい病態については、病名のみで完全に除外しきれないわけではないので、注意が必要である。

2:

在院日数で症例を除外していないが、90日以上を除外するあるいは、90日以上は「生存」とみなして解析するなどの計測も考慮される

3:

DPCデータに、2016年から2017年までは、心不全の重症度として収縮期血圧、心拍数、心調律の3つが入力されていた。2018年度より、収縮期血圧のみの入力となったため、定義を改訂し、心不全の重症度は収縮期血圧のみを調整変数に用いるモデルに変更した。

参考値:

1:

日米欧のRegistry試験 4-7 による院内死亡率は3.8%~7.7%。

参考資料:

1:

AHRQ quality indicators. Guide to inpatient quality indicators: quality of care in hospitals - volume, mortality, and utilization [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 91 p.

2:

AHRQ quality indicators. Inpatient quality indicators: technical specifications [version 4.2]. IQI #16 congestive heart failure (CHF) mortality rate. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 1 p.

3:

急性心不全治療ガイドライン(2011年改訂版). 循環器病の診断と治療に関するガイドライン(2010年度合同研究班報告)、日本循環器学会. <http://www.j-circ.or.jp/guideline/>

4:

Sato N, Kajimoto K, Asai K, Mizuno M, Minami Y, Nagashima M, et al. Acute decompensated heart failure syndromes (ATTEND) registry. A prospective observational multicenter cohort study: rationale, design, and preliminary data. Am Heart J. 2010;159(6):949-55.e1.

5:

Abraham WT, Fonarow GC, Albert NM, Stough WG, Gheorghiade M, Greenberg BH, et al. Predictors of in-hospital mortality in patients hospitalized

for heart failure: insights from the Organized Program to Initiate Lifesaving Treatment in Hospitalized Patients with Heart Failure (OPTIMIZE-HF). J Am Coll Cardiol. 2008;52(5):347-56.

6 :

Adams KF, Fonarow GC, Emerman CL, LeJemtel TH, Costanzo MR, Abraham WT, et al. Characteristics and outcomes of patients hospitalized for heart failure in the United States: rationale, design, and preliminary observations from the first 100,000 cases in the Acute Decompensated Heart Failure National Registry (ADHERE). Am Heart J.2005;149(2):209-16.

7 :

Nieminen MS, Brutsaert D, Dickstein K, Drexler H, Follath F, Harjola VP, et al. EuroHeart Failure Survey II (EHFS II): a survey on hospitalized acute heart failure patients:description of population. Eur Heart J. 2006;27(22):2725-36.

8 :

Wang N, Zhao D, Liu J, Liu J, Yu CM, Wang W,et al. Impact of heart failure on in-hospital outcomes of acute coronary syndrome patients in China - Results from the Bridging the Gap on CHD Secondary Prevention in China (BRIG) project. Int J Cardiol. 2011 Mar 29.

9 :

Sasaki N, Lee J, Park S, Umegaki T, Kunisawa S, Otsubo T, et al. Development and Validation of an Acute Heart Failure-Specific Mortality Predictive Model Based on Administrative Data. Can J Cardiol. 2013 Feb.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-04-24

名称: 胆嚢炎・胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術率

指標番号:

QIP: 0203

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-07

指標群: 消化器系

名称: 胆嚢炎・胆石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術率

意義: 胆嚢摘出術は、侵襲度の低い腹腔鏡手術が勧められる。他施設より値が特に低い施設では、手技を見直す契機になる。

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 18歳以上の胆嚢炎・胆石症に対する胆嚢切除症例（周産期、産褥期、出産は除外）

分子: 分母のうち、腹腔鏡下胆嚢摘出症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、胆嚢炎あるいは胆石症の診断をされている症例。主傷病名、入院の契機となった傷病名、最も資源を投入した傷病名のICD-10コード少なくともどれかに、以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
K80\$	胆石症
K81\$	胆嚢炎

4:

このうち、胆嚢切除術が主な手術として施行されている症例。手術情報の点数コードの1番目に以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ4

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K672	胆嚢摘出術	○	○	○	○	○
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	○	○	○	○	○

5:

周産期、産褥期、出産は除外する。いずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例を除外する

分母のデータ5

ICD-10コード	病名
O\$	妊娠,分娩および産褥
P\$	周産期に発生した病態

6:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

腹腔鏡下胆嚢摘出症例胆嚢切除手術を受けた症例。手術情報の点数コードのいずれか（5フィールド）に以下が含まれる症例

分子のデータ1

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

外来（日帰り）胆石手術が行われているためデータの偏りに注意。複雑症例等除く方がよいが、複雑症例の特定が必要かどうかは測定を続けた上で
の検討課題とする。

参考値:

参考資料:

1:

"AHRQ quality indicators. Guide to inpatient quality indicators: quality of care in hospitals - volume, mortality, and utilization [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 91 p. AHRQ quality indicators. Inpatient quality indicators: technical specifications [version 4.2]. IQR #23 laparoscopic cholecystectomy rate. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 1 p. "「胆石症診療ガイドライン2009」日本消化器病学会

2:

急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン2013

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-07

名称: 急性胆嚢炎に対する入院2日以内の超音波検査実施割合

指標番号:

QIP: 2037

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 消化器系

名称: 急性胆嚢炎に対する入院2日以内の超音波検査実施割合

意義: 急性胆嚢炎の治療方針の決定のため重要である（プロセス指標）

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 急性胆嚢炎で入院した症例

分子: 分母のうち、入院日から2日以内に超音波検査が実施された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、胆嚢炎で入院した症例。入院の契機となった傷病名に下記のICD-10コードが該当すれば対象とする

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
K800	急性胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石
K810	急性胆のう<嚢>炎

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

入院日から2日以内に腹部超音波検査を受けた症例。EFファイルで入院日または入院日翌日に下記が請求されている症例

分子のデータ1

レセ電コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
160072210	超音波検査（断層撮影法）（胸腹部）	○	○	○	○	○
160072110	超音波検査（Aモード法）	○	○	○	○	○
160072450	超音波検査（心臓超音波検査以外）（断層撮影法とMモード法）	○	○	○	○	○
160072750	超音波検査（心臓超音波検査以外）（Mモード法）	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

急性胆嚢炎において、超音波検査は重症度の評価、診療方針の決定に必須の検査とされている。

参考値:

参考資料:

1:

科学的根拠に基づく急性胆管炎・胆嚢炎の診療ガイドライン. 急性胆道炎の診療ガイドライン作成出版委員会 編 2005

2:

急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン2013

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 急性膵炎に対する 入院2日以内のCT実施割合

指標番号:

QIP: 2056

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2019-02-25

指標群: 消化器系

名称: 急性膵炎に対する 入院2日以内のCT実施割合

意義: 急性膵炎においては、診断、重症度判定のためCT検査を施行することが勧められている

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 急性膵炎で退院した症例

分子: 分母のうち、入院日から2日以内にCTが施行された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、急性膵炎で入院した症例。入院の契機となった傷病名に下記のICD-10コードが該当すれば対象とする

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
K85	急性膵炎 (ICD10 ver.2003)
K85\$	急性膵炎 (ICD10 ver.2013)

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

入院2日以内にCT検査を受けた症例。EFファイルで 入院日または入院日翌日に下記のいずれかが請求されている症例

分子のデータ1

請求コード	行為名称	2010	2012	2014	2016	2018
170033410	CT撮影 (64列以上マルチスライス型機器)		○	○	○	○
170011810	CT撮影 (16列以上64列未満マルチスライス型機器)	○	○	○	○	○
170028610	CT撮影 (4列以上16列未満マルチスライス型機器)	○	○	○	○	○
170011710	CT撮影 (その他)	○	○	○	○	○
170034910	CT撮影 (64列以上マルチスライス型機器) (共同利用施設)			○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

急性膵炎においては、診断あるいは重症度の判定のためにCTの施行が勧められている

2:

2010年ガイドラインでは「CTを施行すべきである」となっていたが、2015年ガイドラインには「積極的に造影ダイナミック CT を施行すべきである（中略）単純 CT のみでは原因となる膵腫瘍が見逃される危険性が高い」となった。CT撮影の有無だけではなく、「造影剤使用加算」の算定有無の評価も考慮する必要がある。

参考値:

参考資料:

1:

急性膵炎診療ガイドライン2010

2:

急性膵炎診療ガイドライン 2015

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-02-25

名称: 急性膵炎入院患者における入院最初の3日間の経腸栄養実施状況

指標番号:

QIP: 2032

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2019-02-19

指標群: 消化器系

名称: 急性膵炎入院患者における入院最初の3日間の経腸栄養実施状況

意義: 急性膵炎入院患者における入院最初の3日間の経腸栄養実施状況

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 急性膵炎で退院した中等症から重症例（軽症者を除く）

分子: 入院3日以内に経腸栄養（鼻腔栄養により定義）を実施された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、もっとも資源を投入した傷病および入院の契機となった傷病名に下記のICD-10コードが該当すれば対象とする（疑い病名は除く）。

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
K85	急性膵炎（ICD10 ver.2003）
K85\$	急性膵炎（ICD10 ver.2013）

3:

このうち、軽症膵炎は除外する。様式1の急性すい炎の重症度分類（A.予後因子合計点数、B.造影剤CT重症度スコア合計点数）について、Aが3~9、あるいはBが2~4で記載されている場合に中等症から重症の症例として分母の症例とする。ただし、AとBが両方とも「99」で入力されている症例は不明例として除外する。

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

入院から3日以内に経腸栄養が実施されている症例。入院から3日以内に J120 「鼻腔栄養」の算定があるもの

分子のデータ1

レセ電コード	行為名称	2010	2012	2014	2016	2018
140023210	鼻腔栄養	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

早期の経腸栄養（EN）は感染症合併率を軽減させるとして推奨されているが、一方で、経口摂取の再開により肺炎が再開する場合もあり早期から経口摂取が開始されている症例は軽症例であると考えられる。このため、本指標は当初、食事療養がされている症例について除外していたが、流動栄養剤を食事として算定すると考えられ、2016年1月に定義の改訂を行い、様式1の重症度を用いて軽症症例を除外することにした。胃管からのENが十二指腸を超えた部分でのENと同等に安全であるかは明確にはされていないが、ガイドライン上薦められているENを積極的に行っている病院では、十二指腸以遠での栄養が行われていることが予想される。参考 J 12 ● 鼻腔栄養に関連する栄養処置に関する通知（抜粋）：患者が経口摂取不能のため、薬価基準に記載されている高カロリー薬を経鼻経管的に投与した場合は鼻腔栄養の所定点数及び薬剤料を算定し、食事療養に係る費用又は生活療養の食事の提供たる療養に係る費用及び投薬料は別に算定しない。患者が経口摂取不能のため、薬価基準に記載されていない流動食を提供した場合は、鼻腔栄養の所定点数及び食事療養に係る費用又は生活療養の食事の提供たる療養に係る費用を算定する。この場合において、当該保険医療機関が入院時食事療養（I）又は入院時生活療養（I）の届出を行っているときは入院時食事療養（I）又は入院時生活療養（I）の食事の提供たる療養に係る費用を、さらに、特別食の算定要件を満たしているときは特別食の加算をそれぞれ算定する。

データ1

薬価基準コード7桁	名称	2010	2012	2014	2016	2018
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○	○
6119401	テイコブラニン	○	○	○	○	○

2：

平成28年から入院時食事療養及び入院時生活療養に「流動食のみを提供する場合」が新設される。（参考：<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12404000-Hokenkyoku-Iryouka/0000112230.pdf>）

参考値：

参考資料：

1：

急性肺炎診療ガイドライン2015「第3版」重症度の判定は、様式1のデータ「急性肺炎の重症度判定基準（2015年改訂）」に沿う A. 予後因子 0~9 3点以上を重症、2点以下を軽症と判定 B. 造影CT Grade 0~4 造影CT Grade 2（2点）以上を重症、Grade 1以下を軽症と判定します

2：

急性肺炎診療ガイドライン 2015

定義見直しのタイミング：

最終更新日：2019-02-19

名称: 小児虫垂炎入院症例で超音波検査の施行割合

指標番号:

QIP: 5002

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-22

指標群: 消化器系

名称: 小児虫垂炎入院症例で超音波検査の施行割合

意義: Choosing Wisely

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 虫垂炎で入院した小児（5歳から15歳）症例

分子: 分母のうち、入院当日に超音波検査を施行された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め5歳以上、15歳未満の症例

3:

このうち、虫垂炎のため入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10コードとしてリストのコード（虫垂炎）が含まれる症例

分母のデータ3

ICD10	名称
K35\$	急性虫垂炎
K36\$	その他の虫垂炎
K37\$	詳細不明の虫垂炎

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

入院日に超音波検査が施行された症例 D215（超音波検査（断層撮影法）（胸腹部）160072210、超音波検査（Aモード法）160072110、超音波検査（心臓超音波検査以外）（断層撮影法とMモード法併用）160072450、超音波検査（心臓超音波検査以外）（Mモード法）160072750）

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

入院前の外来での検査を含む。ただし、入院が深夜0時付近の場合、検査日が異なるため誤差が生じる

2:

病棟検査などにより、レセプト算定を行わない場合に指標値に反映されない

3 :
Choosing Wiselyでは、CTの検査前に超音波検査を施行検討が勧められている。本指標では超音波検査をしているかどうかを指標値とした。

参考値:

参考資料:

1 :
Don't do computed tomography (CT) for the evaluation of suspected appendicitis in children until after ultrasound has been considered as an option.
<http://www.choosingwisely.org/clinician-lists/american-college-surgeons-computed-tomography-to-evaluate-appendicitis-in-children/>

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-22

名称: 胆管炎・急性胆嚢炎に対する入院2日以内の超音波検査実施割合

指標番号:

QIP: 2126

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-06

指標群: 消化器系

名称: 胆管炎・急性胆嚢炎に対する入院2日以内の超音波検査実施割合

意義: 急性胆嚢炎の治療方針の決定のため重要である（プロセス指標）

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 胆管炎・急性胆嚢炎で入院した症例

分子: 分母のうち、入院日から2日以内に超音波検査が実施された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、胆管炎もしくは急性胆嚢炎で入院した症例。入院の契機となった傷病名に下記のICD-10コードが該当すれば対象とする

分母のデータ2

CD-10コード	病名
K800	急性胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石
K810	急性胆のう<嚢>炎
K830	胆管炎

分子の定義:

- 1 :
入院日から2日以内に腹部超音波検査を受けた症例。EFファイルで入院日または入院日翌日に下記が請求されている症例

分子のデータ1

請求コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
160072210	超音波検査（断層撮影法）（胸腹部）	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
急性胆嚢炎において、超音波検査は重症度の評価、診療方針の決定に必須の検査とされている。
- 2 :
胆管炎は急性胆管炎症例に限定したいが、ICD10コードや病名からの絞りこみが困難のため、慢性胆管炎症例が一部含まれる。

参考値:

参考資料:

1:

科学的根拠に基づく急性胆管炎・胆嚢炎の診療ガイドライン. 急性胆道炎の診療ガイドライン作成出版委員会 編 2005

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-06

名称: 急性膵炎に対する 入院2日以内の造影CT実施割合

指標番号:

QIP: 2138

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2019-02-26

指標群: 消化器系

名称: 急性膵炎に対する 入院2日以内の造影CT実施割合

意義: 急性膵炎においては、診断、重症度判定のため造影CT検査を施行することが勧められている

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 急性膵炎で退院した症例

分子: 分母のうち、入院日から2日以内に造影CTが施行された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、急性膵炎で入院した症例。入院の契機となった傷病名に下記のICD-10コードが該当すれば対象とする

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
K85	急性膵炎 (ICD10 ver.2003)
K85\$	急性膵炎 (ICD10 ver.2013)

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

入院2日以内に造影CT検査を受けた症例。EFファイルで 入院日または入院日翌日に下記のいずれかが請求されている症例

分子のデータ1

請求コード	行為名称	2010	2012	2014	2016	2018
170012070	造影剤使用加算 (CT)	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

急性膵炎においては、診断あるいは重症度の判定のためにCTの施行が勧められている。

2010年ガイドラインでは「CTを施行すべきである」となっていたが、2015年ガイドラインには「積極的に造影ダイナミック CT を施行すべきである(中略)単純 CT のみでは原因となる膵腫瘍が見逃される危険性が高い」となった。

参考値:

参考資料:

1 :
急性肺炎診療ガイドライン2010

2 :
急性肺炎診療ガイドライン 2015

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-02-26

名称: アスピリン内服患者の退院時酸分泌抑制薬 (PPI/H2RA) 処方率

指標番号:

QIP: 2132

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2019-02-26

指標群: 循環器系疾患 薬剤

名称: アスピリン内服患者の退院時酸分泌抑制薬 (PPI/H2RA) 処方率

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 退院時にアスピリン内服薬が処方されている18歳以上の患者

分子: 分母のうち退院時に酸分泌抑制薬 (PPI/H2RA) が退院時に処方された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする。

2 :
退院時にアスピリン内服薬が処方されている18歳以上の症例
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分母のデータ2

薬価基準コード上7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1143001	アスピリン	○	○	○	○	○
1143010	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
3399007	アスピリン	○	○	○	○	○
3399100	アスピリン・ダイアルミネート	○	○	○	○	○
3399101	クロピドグレル硫酸塩・アスピリン		○	○	○	○
3399102	アスピリン・ランソプラゾール			○	○	○

3 :
退院時処方の判定 :
2010年度～2015年度 : FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」
2016年度～ : EF-17・F-19 行為明細区分情報 (12桁の数値) の1桁目「退院時処方区分」が「1」

4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母のうち酸分泌抑制薬 (PPI/H2RA) が退院時に処方された症例
Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	一般名	2010	2012	2014	2016	2018
1179045	アリピプラゾール	○	○	○	○	○
2329022	オメプラゾール	○	○	○	○	○
2329023	ランソプラゾール	○	○	○	○	○
2329028	ラベプラゾールナトリウム	○	○	○	○	○
2329029	エソメプラゾールマグネシウム水和物	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	剤名	2010	2012	2014	2016	2018
6199100	アスピリン・ランソプラゾール		○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○	○
6199102	ランソプラゾール・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○	○
2325001	シメチジン	○	○	○	○	○
2325002	ラニチジン塩酸塩	○	○	○	○	○
2325003	ファモチジン	○	○	○	○	○
2325004	ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩	○	○	○	○	○
2325005	ニザチジン	○	○	○	○	○
2325006	ラフチジン	○	○	○	○	○
8211001	ペチジン塩酸塩	○	○	○	○	○

2:

退院時処方判定:

2010年度～2015年度: FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」

2016年度～: EF-17・F-19 行為明細区分情報(12桁の数値)の1桁目「退院時処方区分」が「1」

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

2:

他の疾患で処方済みの患者は含まれない可能性がある為、値が低く算出される可能性がある。

3:

アスピリンの合剤も含んでいる。

4:

ガイドラインでは低容量アスピリンとなっているが分母は用量にかかわらずアスピリンを内服している患者としている。

参考値:

参考資料:

1:

消化性潰瘍診療ガイドライン2015第2版

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-02-26

名称: 大腿骨頸部骨折における早期リハビリ開始率

指標番号:

QIP: 2046

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-22

指標群: 整形外科

名称: 大腿骨頸部骨折における早期リハビリ開始率

意義: 機能回復においてリハビリを早期に始めることが重要である。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例

分子: 分母のうち、大腿骨頸部手術後3日以内にリハビリを実施した症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする。

2 :
このうち、大腿骨頸部骨折の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名のICD-10コードが下記に含まれる症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
S7200	大腿骨頸部骨折 閉鎖性
S7201	大腿骨頸部骨折 開放性

3 :
このうち、大腿骨頸部骨折に対する手術が行われている症例。手術1のKコードが下記に含まれる症例。

分母のデータ3

手術コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K0441	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K046-21	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0631	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	○	○	○	○	○
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む。）（1局所につき）	○	○	○	○	○

4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
運動器リハビリテーションが行われている症例。E/Fファイルにおいて、下記の処置が行われている症例。

分子のデータ1

診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
180032710	運動器リハビリテーション料（1）	○	○	○	○	○
180027810	運動器リハビリテーション料（2）	○	○	○	○	○

診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
	リハビリテーション料（3）					
180034510	運動器リハビリテーション料（1）（要介護）		○	○	○	
180034610	運動器リハビリテーション料（2）（要介護）		○	○	○	
180034710	運動器リハビリテーション料（3）（要介護）		○	○	○	
180044030	運動器リハビリテーション料（1）（要介護）（施設基準不適合）			○	○	○
180044130	運動器リハビリテーション料（2）（要介護）（施設基準不適合）			○	○	○
180044230	運動器リハビリテーション料（3）（要介護）（施設基準不適合）			○	○	○
180045810	運動器リハビリテーション料（1）（要介護・入院）				○	○
180045910	運動器リハビリテーション料（2）（要介護・入院）				○	○
180046010	運動器リハビリテーション料（3）（要介護・入院）				○	○
180034510	運動器リハビリテーション料（1）（要介護・入院外）					○
180034610	運動器リハビリテーション料（2）（要介護・入院外）					○
180034710	運動器リハビリテーション料（3）（要介護・入院外）					○

2：
このうち、処置が手術日以後3日以内に実施されている症例。E/Fファイルの実施年月日が手術1の手術日後3日以内である症例。

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1：
リハビリの禁忌患者など、対象患者が全員早期リハビリテーションの適応になるとは限らない。

参考値:

参考資料:

1：
日本整形外科学会, 日本骨折治療学会. 大腿骨頸部/転子部骨折診療ガイドライン 改訂第2版. 南江堂. 2011

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-22

名称: 大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率 (2015年度までが対象)

指標番号:

QIP: 2047

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-10-17

指標群: 整形外科

名称: 大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率 (2015年度までが対象)

意義: 急性期における治療が終了した後も継続的な医学的管理とリハビリテーションが重要である。地域医療に関する医療体制を評価する。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例

分子: 分母のうち、「地域連携診療計画管理料」を算定した症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする。

2:

このうち、大腿骨頸部骨折の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名のICD-10コードが下記に含まれる症例

3:

このうち、大腿骨頸部骨折に対する手術が行われている症例。手術1のKコードが下記に含まれる症例。

分母のデータ3

手術コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K0441	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K046-21	観血的整復固定術 (インプラント周囲骨折に対するもの) 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0631	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	○	○	○	○	○
K083	鋼線等による直達牽引 (初日。観血的に行った場合の手技料を含む。) (1局所につき)	○	○	○	○	○

4:

このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

5:

2016年3月31日退院症例まで

6:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

「地域連携診療計画管理料」が算定された症例。E/Fファイルにおいて、下記の算定が行われている症例。

分子のデータ1

診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
113009010	地域連携診療計画管理料	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

地域の状況により、連携を行うための資源が十分でないことも考えられる。また、算定に必要な施設基準があるため、結果が0となる病院がある程度発生することが考えられる。

参考値:

1:

済生会のQIでは4.6%前後。

参考資料:

1:

藤本 俊一郎ほか、地域連携クリティカルパス、株式会社メディカルレビュー社、2009。

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-05-24

名称: 大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率(2016)

指標番号:

QIP: 2109

年度: 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 整形外科

名称: 大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携パスの使用率(2016)

意義: 急性期における治療が終了した後も継続的な医学的管理とリハビリテーションが重要である。地域医療に関する医療体制を評価する。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例

分子: 分母のうち、「地域連携診療計画加算」を算定した症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする。

2:
このうち、大腿骨頸部骨折の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名のICD-10コードが下記に含まれる症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
S7200	大腿骨頸部骨折 閉鎖性
S7201	大腿骨頸部骨折 開放性

3:
このうち、大腿骨頸部骨折に対する手術が行われている症例。手術1のKコードが下記に含まれる症例。

分母のデータ3

手術コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K0441	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K046-21	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0631	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	○	○	○	○	○
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む。）（1局所につき）	○	○	○	○	○

4:
このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

「地域連携診療計画加算」が算定されている症例

分子のデータ1

診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
190192870	地域連携診療計画加算（退院支援加算）				○	
113023370	地域連携診療計画加算（診療情報提供料1）				○	○
190192870	地域連携診療計画加算（入退院支援加算）					○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

分子としている地域連携診療計画加算の算定要件の制限上、特に2番の条件により、100%になるものではない

2:

[算定要件]

- ① あらかじめ疾患ごとに地域連携診療計画が作成され、一連の治療を担う連携保険医療機関等と共有されている。
- ② 地域連携診療計画の対象疾患の患者に対し、当該計画に沿って治療を行うことについて患者の同意を得た上で、入院後7日以内に個別の患者ごとの診療計画を作成し、文書で家族等に説明を行い交付する。
- ③ 患者に対して連携保険医療機関等において引き続き治療が行われる場合には、当該連携保険医療機関に対して、当該患者に係る診療情報や退院後の診療計画等を文書により提供する。また、当該患者が、転院前の保険医療機関において地域連携診療計画加算を算定した場合には、退院時に、当該転院前の保険医療機関に対して当該患者に係る診療情報等を文書により提供する。

3:

2016年より

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-05-24

名称: 大腿骨頸部骨折の早期手術割合

指標番号:

QIP: 2114

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-12

指標群: 整形外科

名称: 大腿骨頸部骨折の早期手術割合

意義: 適切な手術時期

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた症例

分子: 分母のうち、入院2日以内に手術を受けた患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする。

2 :
このうち、大腿骨頸部骨折の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名のICD-10コードが下記に含まれる症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
S7200	大腿骨頸部骨折 閉鎖性
S7201	大腿骨頸部骨折 開放性

3 :
このうち、大腿骨頸部骨折に対する手術が行われている症例。手術1のKコードが下記に含まれる症例。

分母のデータ3

手術コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K0441	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K046-21	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0631	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	○	○	○	○	○
K0821	人工股関節置換術	○	○	○	○	○
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む。）（1局所につき）	○	○	○	○	○

4 :
入院後2日以内の死亡症例を除く。退院時転帰の値として入院後2日以内に以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母で同定された手術が、入院から2日以内（入院日を1とする）に施行されている症例

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

ガイドラインではできる限り早期の手術を推奨する（Grade B）

参考値:

参考資料:

1:

大腿骨頸部／転子部骨折診療ガイドライン 改訂第2版

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-12

名称: 大腿骨転子部骨折の早期手術割合

指標番号:

QIP: 2115

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-12

指標群: 整形外科

名称: 大腿骨転子部骨折の早期手術割合

意義: 適切な手術時期

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 大腿骨転子部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた症例

分子: 分母のうち、入院2日以内に手術を受けた患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする。

2:
このうち、大腿骨転子部骨折の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名のICD-10コードが下記に含まれる症例

分母のデータ2

CD-10コード	病名
S7210	大腿骨転子部骨折
S7211	大腿骨転子部開放骨折

3:
このうち、大腿骨転子部骨折に対する手術が行われている症例。手術1のKコードが下記に含まれる症例。

分母のデータ3

手術コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K0441	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K046-21	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0631	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	○	○	○	○	○
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む。）（1局所につき）	○	○	○	○	○

4:
入院後2日以内の死亡症例を除く。退院時転帰の値として入院後2日以内に以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:
分母で同定された手術が、入院から2日以内（入院日を1とする）に施行されている症例

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
ガイドラインではできる限り早期の手術を推奨する（Grade B）

参考値:

参考資料:

1:
大腿骨頸部／転子部骨折診療ガイドライン 改訂第2版

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-12

名称: T1-2,N0M0乳がん手術患者に対するセンチネルリンパ節生検率

指標番号:

QIP: 2038

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-08-10

指標群: 乳がん

名称: T1-2,N0M0乳がん手術患者に対するセンチネルリンパ節生検率

意義: プロセス指標: 検査実施割合

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: T1-2,N0M0の乳がん(初発)で入院して手術を施行した症例数

分子: 分母のうち、センチネルリンパ節生検が実施された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた18歳以上の症例。

3:

このうち、乳房の悪性新生物(乳がん)の診断を受けた症例。いずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例。かつ、以下の2条件を満たす症例。①様式1「がんの初発、再発」が「初発」かつ②「UICC病期分類(T),(N),(M)」がT1\$ (3桁以降はワイルドカード、T1a等を含む)またはT2、かつN0、かつM0

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
C50\$	乳房の悪性新生物

4:

このうち、下記手術を受けた症例。以下の手技のいずれかが算定されている症例(レセ電コードで抽出)

分母のデータ4

レセ電コード(診療行為コード)	手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
150121610	K4761	乳腺悪性腫瘍手術(単純乳房切除術)(乳腺全摘術)	○	○	○	○	○
150303110	K4762	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術)(腋窩部郭清を伴わない)	○	○	○	○	○
150316510	K4763	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩部郭清を伴わない)	○	○	○	○	○
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術)(腋窩部郭清を伴う)	○	○	○	○	○
150121710	K4765	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)(胸筋切除を併施しないもの)	○	○	○	○	○
150121810	K4766	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)(胸筋切除を併施するもの)	○	○	○	○	○
150121910	K4767	乳腺悪性腫瘍手術(拡大乳房切除術)	○	○	○	○	○
150122150	K4767	乳腺悪性腫瘍手術と両側腋窩リンパ節郭清術	○	○	○		
150386410	K4768	乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わない))				○	○
150386510	K4769	乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴う))				○	○

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
センチネルリンパ節生検を受けた症例。以下の手技のいずれかが算定されている症例（レセ電コードで抽出）

分子のデータ1

レセ電コード（診療行為コード）	手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
150345870	K4768	乳がんセンチネルリンパ節加算 1	○	○	○	○	○
150345970	K4769	乳がんセンチネルリンパ節加算 2	○	○	○	○	○
160188010	D409-21	センチネルリンパ節生検（併用法）	○	○	○	○	○
160188110	D409-22	センチネルリンパ節生検（単独法）	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
他の施設と指標値が大きく異なる場合は、診療行為の見直しのきっかけとなる。

2 :
「UICC病期分類」は治療前に得られた臨床情報も含む情報に基づく分類(cTNM)であり、pTNM(術後病理所見による),sTNM(手術所見による)と異なる場合があり、本来ならセンチネルリンパ節生検の適応にならない症例も含まれる可能性がある。

3 :
センチネルリンパ節生検は外来日帰りでも行えるため、手術前に外来で施行されている場合や他院で施行され、紹介入院となっている場合もある。結果が低値だったとしても解釈に注意が必要である。

参考値:

参考資料:

1 :
センチネルリンパ節生検の経験が豊富な外科チームがいて、患者がセンチネルリンパ節生検の候補として適切と思われる場合は、腋窩リンパ節病期診断よりもセンチネルリンパ節生検の方が望ましい方法となる(NCCN® ガイドライン2012)

2 :
浸潤性乳がんにおいて、腋窩リンパ節郭清を実施した方が生存率が高まることを実証した確定的データは存在しないため、特に予後良好と思われる腫瘍の患者つまり、術後全身療法を選択しても影響されないとと思われる患者、高齢者、あるいは深刻な併存疾患がある患者では、腋窩リンパ節郭清の実施は必ずしも必要ではない。(National Comprehensive Cancer Network: NCCN® ガイドライン2012)

3 :
日本乳癌学会 乳癌診療ガイドライン2015

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-10

名称: T1-2,N0M0乳がん手術患者に対する腋下リンパ節郭清実施率

指標番号:

QIP: 2049

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 乳がん

名称: T1-2,N0M0乳がん手術患者に対する腋下リンパ節郭清実施率

意義: プロセス指標: 処置実施割合

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: T1-2,N0M0の乳がん(初発)で入院して手術を施行した症例数

分子: 分母のうち、腋下リンパ節郭清が実施された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた18歳以上の症例。

3:

このうち、乳房の悪性新生物(乳がん)の診断を受けた症例。いずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例。かつ、以下の2条件を満たす症例。①様式1「がんの初発、再発」が「初発」かつ②「UICC病期分類(T),(N),(M)」がT1\$ (3桁以降はワイルドカード、T1a等を含む)またはT2、かつN0、かつM0

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
C50\$	乳房の悪性新生物

4:

このうち、下記手術を受けた症例。手術情報の点数コードのいずれか(5フィールド)に以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ4

レセ電コード(診療行為コード)	手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
150121610	K4761	乳腺悪性腫瘍手術(単純乳房切除術)(乳腺全摘術)	○	○	○	○	○
150303110	K4762	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術)(腋窩部郭清を伴わない)	○	○	○	○	○
150316510	K4763	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩部郭清を伴わない)	○	○	○	○	○
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術)(腋窩部郭清を伴う)	○	○	○	○	○
150121710	K4765	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)(胸筋切除を併施しないもの)	○	○	○	○	○
150121810	K4766	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)(胸筋切除を併施するもの)	○	○	○	○	○
150121910	K4767	乳腺悪性腫瘍手術(拡大乳房切除術)	○	○	○	○	○
150122150	K4767	乳腺悪性腫瘍手術と両側腋窩リンパ節郭清術	○	○	○	○	○
150386410	K4768	乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わない))				○	○
150386510	K4769	乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴う))				○	○

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
腋下行リンパ節郭清を受けた症例。手術情報の点数コードのいずれか（5フィールド）に以下が含まれる症例

分子のデータ1

レセ電コード（診療行為コード）	手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
150121910	K4767	乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術（郭清を併施する））		○	○	○	○
150122150	K4767	乳腺悪性腫瘍手術と両側腋窩リンパ節郭清術	○	○	○	○	
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う））	○	○	○	○	○
150386510	K4769	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴う））				○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
K-コード分類は年度により異なってくるので、その都度確認が必要である。

2 :
他の施設と指標値が大きく異なる場合は、診療行為の見直しのきっかけとなる。

3 :
「UICC病期分類」は治療前に得られた臨床情報も含む情報に基づく分類(cTNM)であり、pTNM(術後病理所見による),sTNM(手術所見による)と異なる場合があり、本来ならリンパ節郭清術の適応にならない症例も含まれる可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :
浸潤性乳がんにおいて、腋窩リンパ節郭清を実施した方が生存率が高まることを実証した確定的データは存在しないため、特に予後良好と思われる腫瘍の患者つまり、術後全身療法を選択しても影響されないとと思われる患者、高齢者、あるいは深刻な併存疾患がある患者では、腋窩リンパ節郭清の実施は必ずしも必要ではない。(National Comprehensive Cancer Network:NCCN® ガイドライン2012)

2 :
センチネルリンパ節生検の経験が豊富な外科チームがいて、患者がセンチネルリンパ節生検の候補として適切と思われる場合は、腋窩リンパ節病期診断よりもセンチネルリンパ節生検の方が望ましい方法となる(NCCN® ガイドライン2012)

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 腫瘍径2cm以下のStageI浸潤性乳がんに対する乳房温存手術割合

指標番号:

QIP: 2043

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 乳がん

名称: 腫瘍径2cm以下のStageI浸潤性乳がんに対する乳房温存手術割合

意義: プロセス指標: 早期浸潤性乳がんには乳房温存手術が勧められている

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 腫瘍径2cm以下のStage I乳がん(初発)で入院して手術を施行した症例数

分子: 分母のうち、乳房温存手術が実施された症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1: 解析期間に退院した症例を対象とする
- 2: このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた18歳以上の症例
- 3: このうち、乳房の悪性新生物(乳がん)の診断を受けた症例。いずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例。かつ、以下の2条件を満たす症例。①様式1「がんの初発、再発」が「初発」かつ②「UICC病期分類(T),(N),(M)」がT1\$ (3桁以降はワイルドカード、T1a等を含む)、N0、M0

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
C50\$	乳房の悪性新生物

- 4: このうち、下記手術を受けた症例。手術情報の点数コードのいずれか(5フィールド)に以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ4

レセ電コード(診療行為コード)	手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
150121610	K4761	乳腺悪性腫瘍手術(単純乳房切除術)(乳腺全摘術)	○	○	○	○	○
150303110	K4762	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術)(腋窩部郭清を伴わない)	○	○	○	○	○
150316510	K4763	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩部郭清を伴わない)	○	○	○	○	○
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術)(腋窩部郭清を伴う)	○	○	○	○	○
150121710	K4765	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)(胸筋切除を併施しないもの)	○	○	○	○	○
150121810	K4766	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・(胸筋切除を併施するもの)	○	○	○	○	○
150121910	K4767	乳腺悪性腫瘍手術(拡大乳房切除術)(胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの)	○	○	○	○	○
150386410	K4768	乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術)(腋窩郭清を伴わない)				○	○
150386510	K4769	乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術)(腋窩郭清を伴う)				○	○

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
乳房温存手術を受けた症例。手術情報の点数コードのいずれか（5フィールド）に以下が含まれる症例

分子のデータ1

レセ電コード（診療行為コード）	手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
150303110	K4762	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わない）	○	○	○	○	○
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴う）	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
K-コード分類は年度により異なってくるので、その都度確認が必要である。

2 :
Stage II（腫瘍径3cm以下）の場合も温存療法は適応だが、T2は定義上、腫瘍径2～5cmを含むため、今回の指標ではstage Iのみとした。

3 :
「UICC病期分類」は治療前に得られた臨床情報も含む情報に基づく分類(cTNM)であり、pTNM(術後病理所見による),sTNM(手術所見による)と異なる場合があり、本来なら乳房温存術の適応にならない症例も含まれる可能性がある。

4 :
乳房温存療法適応外とすべき条件に当てはまる症例が区別されないことに注意が必要である。

参考値:

参考資料:

1 :
乳房温存療法はStage I, IIの浸潤性乳癌の局所療法として強く勧められる。ただし、適応を十分に吟味して行うことが望ましい。(推奨グレードA、2011、乳癌学会ガイドライン)

2 :
Stage I, IIの浸潤性乳癌に対する局所療法では乳房温存療法と乳房切除術とでは生存率に差はなく、乳房温存療法の適応を第一選択として強く勧められる。(推奨グレードA、2011、乳癌学会ガイドライン)

3 :
乳房温存療法はStage I, IIの浸潤性乳癌の局所療法として乳房温存療法は乳房切除術との比較で生存率に差はなく、適応があれば乳房温存療法は強く勧められる。ただし、適応を十分に吟味して行うことが望ましい。(推奨グレードA、2015、乳癌学会ガイドライン)

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: [測定終了]糖尿病患者における重症低血糖発作の割合

指標番号:

QIP: 2073

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 糖尿病

名称: [測定終了]糖尿病患者における重症低血糖発作の割合

意義: プロセス指標 処置実施割合

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の糖尿病で入院した症例

分子: 重症低血糖発作を発症した入院症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた18歳以上の症例。
- 3 :
このうち、糖尿病で入院した症例。主病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかのICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
E10\$	インスリン依存性糖尿病< I D D M >
E11\$	インスリン非依存性糖尿病< N I D D M >
E12\$	栄養障害に関連する糖尿病
E13\$	その他の明示された糖尿病
E14\$	詳細不明の糖尿病

- 4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた18歳以上の症例。
- 3 :
このうち、低血糖発作に対して、高濃度ぶどう糖の静注が行われた症例。12病名のいずれかのICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分子のデータ3

ICD-10コード	病名
E100	1型糖尿病性低血糖性昏睡
E110	2型糖尿病性低血糖性昏睡
E140	糖尿病性低血糖性昏睡
E15	低血糖昏睡、非糖尿病性低血糖性昏睡

E160	ICD-10コード	病名	スリン低血糖、医原性低血糖症
E161			ケトン型低血糖症、医原性低血糖症
E162			低血糖、低血糖発作、夜間低血糖発作

4:

このうち、E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、下記のいずれかのレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ4

レセ電コード	薬価基準コード	薬剤名	2010	2012	2014
620002261	3231400P3028	2.0%糖注シリンジ「NP」 2.0mL	○	○	
620002599	3231400G9034	ブドウ糖注5.0%シリンジ「テルモ」 2.0mL	○	○	○
621651401	3231400P3036	ブドウ糖注2.0%シリンジ「NP」 2.0mL		○	○
620001315	3231401J3011	大塚糖液5.0% 2.0.0mL	○	○	○
620001316	3231401J4018	大塚糖液5.0% 5.0.0mL	○	○	○
620004173	3231401T1028	光糖液2.0% 5.0.0mL	○	○	○
620004174	3231401T2024	光糖液3.0% 5.0.0mL	○	○	○
620004332	3231401H1017	ブドウ糖注2.0%「ウジ」 2.0mL	○	○	○
620006270	3231401J5014	テルモ糖注7.0% 3.5.0mL	○	○	
620006636	3231401J3011	テルモ糖注5.0% 2.0.0mL	○	○	○
620006637	3231401J4018	テルモ糖注5.0% 5.0.0mL	○	○	○
620006647	3231401H1017	ブドウ糖注2.0%PL「フソー」 2.0mL	○	○	○
620006648	3231401H6019	ブドウ糖注4.0%PL「フソー」 2.0mL	○	○	○
620006649	3231401H7015	ブドウ糖注5.0%PL「フソー」 2.0mL	○	○	○
620008378	3231401H1262	糖液注2.0%「第一三共」 2.0mL	○	○	○
620008379	3231401H7015	糖液注5.0%「第一三共」 2.0mL	○	○	○
620155611	3231401H1289	ブドウ糖注2.0%「NP」 2.0mL		○	○
620155634	3231401H1017	光糖液2.0% 2.0mL	○	○	○
620155714	3231401H7015	光糖液5.0% 2.0mL		○	○
640406124	3231401H1017	糖注MP2.0% 2.0mL	○	○	○
640408013	3231401H1017	2.0%ブドウ糖注射液「ニッシン」 2.0mL	○	○	○
640412069	3231401J3011	ブドウ糖注射液 5.0%2.0.0mL	○	○	○
640412070	3231401J4018	ブドウ糖注射液 5.0%5.0.0mL	○	○	○
640412071	3231401J5014	ブドウ糖注射液 7.0%3.5.0mL	○	○	○
640421002	3231401H1017	2.0%ブドウ糖注「日医工」 2.0mL	○	○	○
640421003	3231401H1017	ブドウ糖注射液T2.0% 2.0mL	○	○	○
640431008	3231401H1017	2.0%ブドウ糖注射液SN 2.0mL	○	○	○
640431047	3231401H1017	ブドウ糖注2.0%「CMX」 2.0mL	○	○	○
640460006	3231401H7015	5.0%ブドウ糖注射液「ニッシン」 2.0mL	○	○	○
643230042	3231401H1017	ブドウ糖注射液 2.0%2.0mL	○	○	○
643230045	3231401H4016	ブドウ糖注射液 2.0%5.0.0mL	○	○	
643230046	3231401H5012	ブドウ糖注射液 3.0%5.0.0mL	○	○	
643230047	3231401H6019	ブドウ糖注射液 4.0%2.0mL	○	○	○
643230048	3231401H7015	ブドウ糖注射液 5.0%2.0mL	○	○	○
643230049	3231401H8011	ブドウ糖注射液 5.0%2.0.0mL	○	○	
643230050	3231401H9018	ブドウ糖注射液 5.0%3.0.0mL	○	○	○
643230052	3231401Q2013	ブドウ糖注射液 5.0%5.0.0mL	○	○	○
643230252	3231401Q4016	ブドウ糖注射液 5.0%1.0.0mL	○	○	○

コード	薬価基準コード	薬剤名	2010	2012	2014
643230098	3231401H1017	糖液 2.0% 2.0mL			
643230301	3231401H1017	小林糖液 2.0% 2.0mL	○		
643230305	3231401H1106	ブドウ糖注「ヒシヤマ」 2.0% 2.0mL	○	○	○
643230307	3231401H1017	ブドウ糖注 2.0%「イセイ」 2.0mL	○	○	○
643230308	3231401H1017	ブドウ糖注射液 2.0%「トーワ」 2.0mL	○	○	○
643230314	3231401H6019	大塚糖液 4.0% 2.0mL	○	○	○
643230317	3231401H7015	大塚糖液 5.0% 2.0mL	○	○	○
643230319	3231401H7015	小林糖液 5.0% 2.0mL	○	○	
643230324	3231401Q4016	光糖液 5.0% 1.0mL	○	○	○
643230328	3231401H9018	光糖液 5.0% 3.0mL	○	○	
643230331	3231401Q2013	光糖液 5.0% 5.0mL	○	○	
643230412	3231401J5014	大塚糖液 7.0% 3.5mL	○	○	○
620155641	3231401H1017	ブドウ糖注 2.0% PL「Hp」 2.0mL			○
620155642	3231401H1017	ブドウ糖注 2.0%「TX」 2.0mL			○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
他の施設と指標値が大きく異なる場合は、診療行為の見直しのきっかけとなる。

参考値:

参考資料:

1:
科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン2013 (日本糖尿病学会)

2:
Severe hypoglycaemia and cardiovascular disease: systematic review and meta-analysis with bias analysis (BMJ 2013;347:f4533)

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 糖尿病教育入院における強化インスリン療法実施割合

指標番号:

QIP: 2074

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-23

指標群: 糖尿病

名称: 糖尿病教育入院における強化インスリン療法実施割合

意義: プロセス指標 処置実施割合

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 糖尿病の教育入院のために入院した症例

分子: 分母のうち、強化インスリン療法を行った入院症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた18歳以上の症例。
- 3 :
このうち、主病名に糖尿病の病名のある症例。主病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
E10\$	インスリン依存性糖尿病< I D D M >
E11\$	インスリン非依存性糖尿病< N I D D M >
E12\$	栄養障害に関連する糖尿病
E13\$	その他の明示された糖尿病
E14\$	詳細不明の糖尿病

- 4 :
このうちケトアシドーシスを伴うものを除外する。いずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例を除外する

分母のデータ4

ICD-10コード	病名
E101	インスリン依存性糖尿病< I D D M >, ケトアシドーシスを伴うもの
E111	インスリン非依存性糖尿病< N I D D M >, ケトアシドーシスを伴うもの
E121	栄養障害に関連する糖尿病, ケトアシドーシスを伴うもの
E131	その他の明示された糖尿病, ケトアシドーシスを伴うもの
E141	詳細不明の糖尿病, ケトアシドーシスを伴うもの

- 5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :
分母の症例のうち、E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードの算定が入院日もしくは入院翌日に一回以上なされている症例。

分子のデータ1

薬価基準コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
2492403	(成分複数あり) インスリン ヒト (遺伝子組換え), ヒトインスリン (遺伝子組換え)	○	○	○	○	○
2492405	イソフェンインスリン水性	○	○			
2492406	インスリン	○	○			
2492407	インスリン亜鉛水性	○	○			
2492409	結晶性インスリン亜鉛水性	○	○			
2492410	無晶性インスリン亜鉛水性	○	○			
2492411	プロタミンインスリン亜鉛水性	○	○			
2492413	(成分複数あり) インスリン ヒト (遺伝子組換え), ヒトインスリン (遺伝子組換え)	○	○	○	○	○
2492414	インスリンリスプロ (遺伝子組換え)	○	○	○	○	○
2492415	インスリンアスパルト (遺伝子組換え)	○	○	○	○	○
2492416	(成分複数あり) インスリン グラルギン (遺伝子組換え), インスリン グラルギン (遺伝子組換え)	○	○	○	○	○
2492417	インスリンデテムル (遺伝子組換え)	○	○	○	○	○
2492418	インスリン グルリジン (遺伝子組換え)	○	○	○	○	○
2492419	インスリン デグルデク (遺伝子組換え)		○	○	○	○
2492420	インスリン グラルギン (遺伝子組換え) [インスリン グラルギン 後続 1]			○	○	○
2492421	インスリン グラルギン (遺伝子組換え) [インスリン グラルギン 後続 2]				○	○
2492500	インスリン デグルデク (遺伝子組換え) ・ インスリン アスパルト (遺伝子組換え)			○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
他の施設と指標値が大きく異なる場合は、診療行為の見直しのきっかけとなる。

参考値:

参考資料:

1:
科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン2013 (日本糖尿病学会)

2:
Lancet 2008 May 24;371(9626):1753,

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-23

名称: 糖尿病入院患者に対する栄養指導実施率

指標番号:

QIP: 2075

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-02

指標群: 糖尿病

名称: 糖尿病入院患者に対する栄養指導実施率

意義: プロセス指標 処置実施割合

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 入院時の病名に糖尿病のある症例

分子: 分母のうち栄養指導を行った症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた18歳以上の症例。
- 3 :
このうち、糖尿病の病名のある症例。主病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかのICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
E10\$	インスリン依存性糖尿病< I D D M >
E11\$	インスリン非依存性糖尿病< N I D D M >
E12\$	栄養障害に関連する糖尿病
E13\$	その他の明示された糖尿病
E14\$	詳細不明の糖尿病

- 4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :
分母のうち、以下のいずれかの算定が一回以上なされている症例。

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
113003310	入院栄養食事指導料	○	○			
113014810	入院栄養食事指導料 1			○		
113014910	入院栄養食事指導料 2			○		
113017610	入院栄養食事指導料 1 (初回)				○	○
113017710	入院栄養食事指導料 1 (2回目)				○	○
113017810	入院栄養食事指導料 2 (初回)				○	○
113017910	入院栄養食事指導料 2 (2回目)				○	○
113003410	集団栄養食事指導料	○	○	○	○	○

レセ電コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
--------	-------	------	------	------	------	------

薬剤一覧の出方: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
他の施設と指標値が大きく異なる場合は、診療行為の見直しのきっかけとなる。

参考値:

参考資料:

1:
科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン2013 (日本糖尿病学会)

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-02

名称: 帝王切開術における全身麻酔以外の割合

指標番号:

QIP: 0684

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-08

指標群: 周産期系

名称: 帝王切開術における全身麻酔以外の割合

意義: 帝王切開のときの麻酔は、全身麻酔よりも硬膜外麻酔や脊椎麻酔などのほうが母児ともに安全である。

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 帝王切開術を受けた症例

分子: 分母のうち、全身麻酔以外の症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
このうち、帝王切開術を受けた症例。
手術情報の点数コードのいずれか（5フィールド）に以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K898\$	帝王切開術	○	○	○	○	○

3 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
当該手術において全身麻酔以外の症例
分母で帝王切開術を同定した手術情報に対応する麻酔が（5.手術情報の(3)点数表コードにK898\$が入力されていれば、(7)麻酔を参照する）以下のいずれかである症例。
2. 硬膜外麻酔、3. 脊椎麻酔、4. 静脈麻酔、5. 局所麻酔、7. その他、9. 無

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
ハイリスク分娩には全身麻酔をすることがあり得るため、そのような症例を多く受け入れる施設では指標が低く算出される可能性がある。

参考値:

1 :
達成率が高く、病院間差が少ない (QIP)

参考資料:

1 :

Australian Council on Healthcare Standards (ACHS). ACHS clinical indicator users' manual 2011. ULTIMO NSW: Australian Council on Healthcare Standards (ACHS); 2011 Jan.

Hawkins JL, Koonin LM, Palmer SK, Gibbs CP. Anesthesia-related deaths during obstetric delivery in the United States, 1979-1990. *Anesthesiology* 1997 Feb;86(2):277-84.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-08

名称: 帝王切開術のための入院期間中に輸血を受けた症例の割合

指標番号:

QIP: 0687

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-09

指標群: 周産期系

名称: 帝王切開術のための入院期間中に輸血を受けた症例の割合

意義: 出血は周産期の生命を脅かし得る。妊産婦死亡の主要な原因である。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 帝王切開術を受けた症例

分子: 分母のうち、赤血球輸血を受けた症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
このうち、帝王切開術を受けた症例。
手術情報の点数コードのいずれか（5フィールド）に以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ2

6341	手術名	2010	2012	2014	2016	2018
K898\$	帝王切開術	○	○	○	○	○

3 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
当該手術と同じ入院期間中に赤血球の輸血を受けた症例
E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
6341403	人全血液	○	○	○	○	○
6341404	人全血液	○	○	○	○	○
6342402	合成血	○	○	○	○	○
6342403	(成分複数あり) 解凍人赤血球液, 解凍人赤血球濃厚液	○	○	○	○	○
6342405	(成分複数あり) 人赤血球液, 人赤血球濃厚液	○	○	○	○	○
6342407	白血球除去人赤血球浮遊液	○	○	○	○	
6342408	(成分複数あり) 洗浄人赤血球液, 洗浄人赤血球浮遊液	○	○	○	○	○
6342410	(成分複数あり) 人赤血球液, 人赤血球濃厚液	○	○	○	○	○
6342413	(成分複数あり) 解凍人赤血球液, 解凍人赤血球濃厚液	○	○	○	○	○
6342414	合成血	○	○	○	○	○
6342415	(成分複数あり) 洗浄人赤血球液, 洗浄人赤血球浮遊液	○	○	○	○	○

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

ハイリスク分娩には全身麻酔をすることがあり得る。

2:

自己血輸血は分子に含めない

参考値:

参考資料:

1:

薬剤成分名は、以下を参照

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>

Australian Council on Healthcare Standards (ACHS). ACHS clinical indicator users' manual 2011. ULTIMO NSW: Australian Council on Healthcare Standards (ACHS); 2011 Jan.

Hawkins JL, Koonin LM, Palmer SK, Gibbs CP. Anesthesia-related deaths during obstetric delivery in the United States, 1979-1990. *Anesthesiology* 1997 Feb;86(2):277-84.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-09

名称: ハイリスク妊娠・分娩症例の割合

指標番号:

QIP: 2041

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 周産期系

名称: ハイリスク妊娠・分娩症例の割合

意義: 周産期における二次・三次医療機関としての役割を見る

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 妊娠あるいは分娩に関連する疾病の治療・分娩のために入院した患者

分子: 分母のうち、ハイリスク妊娠・分娩管理加算を算定された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1: 解析期間に退院した症例を対象とする
- 2: このうち、妊娠あるいは分娩に関連する疾病の診断を受けた症例。いずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
O\$	妊娠、分娩および産褥

- 3: 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

- 1: ハイリスク妊娠管理加算かハイリスク分娩管理加算を受けた症例。E/Fファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
190128110	A236-2	ハイリスク妊娠管理加算	○	○	○	○	○
190120710	A237	ハイリスク分娩管理加算	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1: 当該管理料を算定するにはハイリスク妊産婦を適切に管理するとともに、一定数以上の産科医師や一定数以上の分娩を実施しているなどの施設基準が定められている。すなわち当該管理料の算定の有無はストラクチャー的要素に依存する。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 帝王切開患者における深部静脈血栓症の発生率

指標番号:

QIP: 2087

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-23

指標群: 周産期系

名称: 帝王切開患者における深部静脈血栓症の発生率

意義: 入院患者のモニタリング

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 帝王切開による出産症例

分子: 深部静脈血栓症の発症症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、帝王切開出産のため入院した症例

入院の契機となった傷病名のICD-10コードがO\$ (妊娠,分娩および産じょく) でかつ、手術1~5のうちいずれかに帝王切開 K898\$ が算定されている症例

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

入院後、部静脈血栓症と診断された症例

入院後発症病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分子のデータ1

ICD-10コード	病名
I26\$	肺塞栓症
I801	大腿静脈の静脈炎及び血栓(性)静脈炎
I802	下肢のその他の深在血管の静脈炎及び血栓(性)静脈炎
I809	部位不明の静脈炎及び血栓(性)静脈炎
I82\$	その他の静脈の塞栓症及び血栓症

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

一般に、軽症の場合の深部静脈血栓症について病名の登録率は低いと考えられる。

2:

I80\$（血栓性静脈炎）などにより指標値が高値となる場合がみられる。分子に含めるICD-10コードの再検討も考慮される。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-23

名称: [測定終了]小児術後患者におけるアセトアミノフェンの過少量処方の割合

指標番号:

QIP: 2072

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 小児疾患

名称: [測定終了]小児術後患者におけるアセトアミノフェンの過少量処方の割合

意義: 治療内容をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 小児入院患者で手術ありの症例に対するアセトアミノフェンの処方数

分子: 分母のうちアセトアミノフェンの一日用量が過少量である処方数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
年齢: 様式1の生年月日、入院年月日より求めた入院時年齢が0歳以上18歳未満である。

2:
手術あり: 様式1の手術情報の手術1に入力があったものを手術ありとする。ただし以下に挙げるコードは手術1に入力があっても手術ありとはみなさない。

分母のデータ2

手術コード*	手術名
K913	新生児仮死蘇生術
K914	脳死臓器提供管理料
K915	生体臓器提供管理料
K920	輸血
K920-2	輸血管理料
K921	造血幹細胞採取（一連につき）
K922	造血幹細胞移植
K923	術中術後自己血回収術（自己血回収器具によるもの）
K924	自己生体組織接着剤作成術
K940	薬剤
K950	特定保険医療材料

3:
アセトアミノフェンの処方: EFファイルもしくはFファイルのレセ電コード（f9 or EF9）が下記薬価基準コード上9桁に相当する

分母のデータ3

薬価基準コード上位9桁	力価(mg)
1141001X1	1000
1141007C1	200
1141007C2	500
1141007F1	200
1141007F2	300
1141007F3	500

薬価基準コード上位9桁	力価(mg)
1141007R1	200
1141007R2	400
1141400A1	1000
1141700J1	50
1141700J2	100
1141700J3	200

4 :
処方期間：処方日と手術日より求めた処方日の術後日数が - 2日から7日である。(10. 参考資料①を参照) 以上をすべて満たす症例のアセトアミノフェンの処方数。(患者数ではない)

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
下記を満たす症例。過少量処方：アセトアミノフェンの一日処方量(屯用の場合は全処方量)が推奨される一回投与量の下限を下回る処方。すなわち体重<30kgで<10mg/kg/日、体重≥30kgでは成人の投与量に基づき<300mg/日。①処方量を求めるには、f12(使用量)と上記の「力価(mg)」を掛ける。②体重は様式 1 から引用(単位：kg)

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
DPCデータでわかるアセトアミノフェンの処方量は定期処方では一日処方量、頓用処方では総処方量であり、これらを一日処方量として扱う。一回投与量はわからないため、一日処方量が推奨される一回投与量の下限を下回る処方を過少量処方と定義した。したがって実際には過少量処方であっても、1日に複数回投与されて下限を超えた場合には過少と判定できず、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :
QIP過去データでは、術後-2日から7日でアセトアミノフェンの処方の94%を占めていた。(第33回日本臨床薬理学会学術総会2012.11.29(沖縄)にて報告)

2 :
小児薬物療法検討会議 報告書：アセトアミノフェン

3 :
アセトアミノフェンの「小児科領域における解熱及び鎮痛」 <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2006/12/dl/s1212-7g.pdf>

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 精神科入院症例のうち、向精神病薬の退院処方が単剤または2剤である割合

指標番号:

QIP: 0652

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-30

指標群: 精神科

名称: 精神科入院症例のうち、向精神病薬の退院処方が単剤または2剤である割合

意義: 向精神薬の過量処方や過量処方による副作用に対する安全性指標（プロセス指標）診療報酬においても抗精神病薬、抗不安薬および睡眠薬に対して2剤以下の処方にインセンティブを設けており、多剤併用処方の現状把握する意味がある。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方向精神薬が含まれる症例数

分子: 退院時処方向精神薬の退院処方が単剤または2剤である症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、主に精神科疾患の治療のために入院した症例。最も医療資源を投入した病名のICD-10コードがF\$である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
F\$	精神および行動の障害

3:

このうち、退院処方向抗精神病薬（抗不安薬、睡眠薬、抗精神病薬、抗うつ薬。但し注射薬を除く）が処方された症例。FファイルもしくはEFファイルに、出来高包括フラグが「1（出来高）」で、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例（薬価基準コードの7ケタで睡眠薬、抗精神病薬、抗うつ薬を分類する）。

分母のデータ3

薬価基準コード上7ケタ	成分名	区分	2010	2012	2014	2016	2018
1174002	クロミプラミン塩酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1174004	ロフェプラミン塩酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1174005	トリミプラミンマレイン酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1174006	イミプラミン塩酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179001	アモキサピン	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179002	アミトリプチリン塩酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179004	ノルトリプチリン塩酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179005	ヒドロキシジン塩酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	
1179008	マプロチリン塩酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179012	クロチアゼパム	抗うつ薬	○	○	○	○	
1179017	炭酸リチウム	抗うつ薬	○	○	○	○	
1179019	ヒドロキシジンパモ酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	
1179027	ドスレピン塩酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179033	ミアンセリン塩酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179034	セチプチリンマレイン酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	○

薬品標準コード上7ケタ	成分名	区分	2010	2012	2014	2016	2018
1179039	フルボキサミンマレイン酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179040	ミルナシبران塩酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179041	パロキセチン塩酸塩水和物	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179046	塩酸セルトラリン	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179051	ミルタザピン	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179052	デュロキセチン塩酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179054	エスタロプラムシウ酸塩	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179023	ペモリン	抗うつ薬	○	○	○	○	○
1179055	ベンラファキシン塩酸塩	抗うつ薬			○	○	○
1171001	クロルプロマジン塩酸塩	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1171005	クロルプロマジンフェノールフタリン酸塩	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1172004	ペルフェナジンフェンジゾ酸塩	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1172005	プロペリシアジン	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1172006	ペルフェナジン	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1172007	ペルフェナジン	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1172008	トリフロペラジンマレイン酸塩	抗精神病薬	○	○			
1172009	フルフェナジンマレイン酸塩	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1172010	プロクロルペラジンマレイン酸塩	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1172013	ペルフェナジンマレイン酸塩	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1172014	レボメプロマジンマレイン酸塩	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179006	ピバンペロン塩酸塩	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179011	オキシペルチン	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179015	スピペロン	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179016	スルピリド	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179020	ハロペリドール	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179022	ピモジド	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179024	ゾテピン	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179026	チミペロン	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179028	ブロムペリドール	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179029	カルピプラミン塩酸塩水和物	抗精神病薬	○	○			
1179030	クロカプラミン塩酸塩水和物	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179031	カルピプラミンマレイン酸塩	抗精神病薬	○	○			
1179032	スルトプリド塩酸塩	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179035	モサプラミン塩酸塩	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179036	ネモナプリド	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179038	リスペリドン	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179042	クエチアピンフマル酸塩	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179043	ペロスピロン塩酸塩水和物	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179044	オランザピン	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179045	アリピプラゾール	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179048	ブロナンセリン	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179049	クロザピン	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179053	パリペリドン	抗精神病薬	○	○	○	○	○
1179100	クロルプロマジン・プロメタジン	抗精神病薬	○	○	○	○	○

1179101 薬価基準コード上7ケタ	クロルプロマジン・プロメタジン 成分名	抗精神病薬 区分	2010	2012	2014	2016	2018
1179056	アセナピンマレイン酸	抗精神病薬				○	○
1179058	ブレクスピプラゾール	抗精神病薬					○
1124013	オキサゾラム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1124014	クロキサゾラム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1124015	クロラゼブ酸ニカリウム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1124017	ジアゼパム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1124018	Prazepam	抗不安薬	○				
1124019	フルジアゼパム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1124020	プロマゼパム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1124021	メダゼパム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1124022	ロラゼパム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1124023	アルプラゾラム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1124024	フルタゾラム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1124025	メキサゾラム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1124026	トフィソパム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1124027	フルトプラゼパム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1124028	クロルジアゼボキシド	抗不安薬	○	○	○	○	○
1124029	ロフラゼブ酸エチル	抗不安薬	○	○	○	○	○
1126001	臭化カリウム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1126002	臭化ナトリウム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1129008	タンドスピロンクエン酸塩	抗不安薬	○	○	○	○	○
1129010	エスゾピクロン	抗不安薬			○		
1179025	エチゾラム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1179005	ヒドロキシジン塩酸塩	抗不安薬	○	○	○	○	○
1179012	クロチアゼパム	抗不安薬	○	○	○	○	○
1179019	ヒドロキシジンパモ酸塩	抗不安薬	○	○	○	○	○
1121001	プロモバレリル尿素	睡眠薬	○	○	○	○	○
1123001	抱水クロラール	睡眠薬	○	○	○	○	○
1124001	エスタゾラム	睡眠薬	○	○	○	○	○
1124002	フルラゼパム塩酸塩	睡眠薬	○	○	○	○	○
1124003	ニトラゼパム	睡眠薬	○	○	○	○	○
1124004	ニメタゼパム	睡眠薬	○	○	○		
1124005	ハロキサゾラム	睡眠薬	○	○	○	○	○
1124007	トリアゾラム	睡眠薬	○	○	○	○	○
1124008	フルニトラゼパム	睡眠薬	○	○	○	○	○
1124009	プロチゾラム	睡眠薬	○	○	○	○	○
1124010	ロルメタゼパム	睡眠薬	○	○	○	○	○
1124030	クアゼパム	睡眠薬	○	○	○	○	○
1125001	アモバルビタール	睡眠薬	○	○	○	○	○
1125002	バルビタール	睡眠薬	○	○	○		
1125003	フェノバルビタール	睡眠薬	○	○	○	○	○
1125004	フェノバルビタール	睡眠薬	○	○	○	○	○
1125006	ペントバルビタールカルシウム	睡眠薬	○	○	○	○	○
1129004	トリクロホスナトリウム	睡眠薬	○	○	○	○	○

薬価基準コード上7ケタ	成分名	睡眠薬区分	2010	2012	2014	2016	2018
1129007	ゾピクロン	睡眠薬	○	○	○	○	○
1129009	ゾルピデム酒石酸塩	睡眠薬	○	○	○	○	○
1129010	エスゾピクロン	睡眠薬			○	○	○

4:

このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「○ 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

退院時に処方された向精神薬のうち、抗不安薬、睡眠薬、抗精神病薬、抗うつ薬のカテゴリ別にて、どのカテゴリでもそれぞれ薬剤種数（成分名でカウント）が2種類以下の症例、上に示された退院時処方として、薬剤のカテゴリごとに退院時処方された薬剤の成分名数をカウントし、4つのカテゴリすべてでそれぞれ成分名が2種類以下（○を含む）である

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

薬価基準コードに対する成分名は厚生労働省ホームページより取得
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>

参考値:

1:

オーストラリア（ACHS）では平均値で86.4%（2006年）から95.9%（2010年）に上昇している。
 日本の処方実態調査では、2009年データで抗不安薬98.1%、睡眠薬93.9%、抗うつ薬98.3%、抗精神病薬91.5%となっている。

参考資料:

1:

Australian Council on Healthcare Standards (ACHS). Australasian Clinical Indicator Report 2003 – 2010 12th Edition Mental Health Inpatient, version 6 Clinical Indicators
http://www.achs.org.au/media/3871/MentalHealthInpatient_www.pdf（2013年1月4日アクセス可能）

2:

三島和夫,片寄泰子,榎本みのり,他.診療報酬データを用いた向精神薬処方に関する実態調査研究.平成22年度厚生労働省科学研究費補助金 特別研究事業 向精神薬の処方実態に関する国内外の比較研究分担研究方向書.2010年.
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001tjq1.html>（2013年1月4日アクセス可能）

3:

厚生労働省.過量服薬への取り組み-薬物治療のみに頼らない診療体制の構築に向けて2010年
www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/jisatsu/dl/torimatome_5.pdf（2013年1月4日アクセス可能）

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-30

名称: 精神科入院症例のうち、抗精神病薬の退院処方が単剤または2剤である割合

指標番号:

QIP: 0653

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-30

指標群: 精神科

名称: 精神科入院症例のうち、抗精神病薬の退院処方が単剤または2剤である割合

意義: 向精神薬の過量処方や過量処方による副作用に対する安全性指標（プロセス指標）診療報酬（非定形抗精神病薬加算1）において、2剤以下の処方にインセンティブを設けている。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に抗精神病薬が含まれる症例数

分子: 分母のうち、退院時処方に抗精神病薬の退院処方が単剤または2剤である症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
このうち、主に精神科疾患の治療のために入院した症例。最も医療資源を投入した病名のICD-10コードがF\$である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
F\$	精神および行動の障害

3:
このうち、退院処方に抗精神病薬（注射薬を除く）が処方された症例。以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。
退院時処方判定:

2010年度～2015年度: FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」
2016年度～: EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分母のデータ3

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1171001	クロルプロマジン塩酸塩	○	○	○	○	○
1171005	クロルプロマジンフェノールフタリン酸塩	○	○	○	○	○
1172004	ペルフェナジンフェンジゾ酸塩	○	○	○	○	○
1172005	プロペリシアジン	○	○	○	○	○
1172006	ペルフェナジン	○	○	○	○	○
1172007	ペルフェナジン	○	○	○	○	○
1172008	トリフロペラジンマレイン酸塩	○	○			
1172009	フルフェナジンマレイン酸塩	○	○	○	○	○
1172010	プロクロルペラジンマレイン酸塩	○	○	○	○	○
1172013	ペルフェナジンマレイン酸塩	○	○	○	○	○
1172014	レボメプロマジンマレイン酸塩	○	○	○	○	○
1179006	ピバンペロン塩酸塩	○	○	○	○	○
1179011	オキシペルチン	○	○	○	○	○
1179015	スピペロン	○	○	○	○	○

薬価基準コード上7ケタ	フルピリド 成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1179020	ハロペリドール	○	○	○	○	○
1179022	ピモジド	○	○	○	○	○
1179024	ゾテピン	○	○	○	○	○
1179026	チミペロン	○	○	○	○	○
1179028	ブロムペリドール	○	○	○	○	○
1179029	カルピプラミン塩酸塩水和物	○	○			
1179030	クロカプラミン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
1179031	カルピプラミンマレイン酸塩	○	○			
1179032	スルトプリド塩酸塩	○	○	○	○	○
1179035	モサプラミン塩酸塩	○	○	○	○	○
1179036	ネモナプリド	○	○	○	○	○
1179038	リスペリドン	○	○	○	○	○
1179042	クエチアピンフマル酸塩	○	○	○	○	○
1179043	ペロスピロン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
1179044	オランザピン	○	○	○	○	○
1179045	アリピプラゾール	○	○	○	○	○
1179048	ブロナンセリン	○	○	○	○	○
1179049	クロザピン	○	○	○	○	○
1179053	パリペリドン	○	○	○	○	○
1179100	クロルプロマジン・プロメタジン	○	○	○	○	○
1179101	クロルプロマジン・プロメタジン	○	○	○	○	○
1179056	アセナピンマレイン酸塩				○	○
1179058	ブレクスピプラゾール					○

4 :

このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「○ 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

5 :

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :

退院時に処方された抗精神病薬の薬剤種数（成分名でカウント）が2種類以下の症例 上に示された退院時処方として、退院時処方された薬剤の成分名が2種類以下

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

薬価基準コードに対する成分名は厚労省ホームページより取得
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>

参考値:

1 :

オーストラリア（ACHS）では平均値で86.4%（2006年）から95.9%（2010年）に上昇している。
 日本の処方実態調査では、2009年データで2剤以下の抗精神病薬処方割合が91.5%となっている。

参考資料:

1 :

Australian Council on Healthcare Standards (ACHS). Australasian Clinical Indicator Report 2003 – 2010 12th Edition Mental Health Inpatient, version 6 Clinical Indicators
http://www.achs.org.au/media/3871/MentalHealthInpatient_www.pdf (2013年1月4日アクセス可能)

2 :

三島和夫,片寄泰子,榎本みのり,他.診療報酬データを用いた向精神薬処方に関する実態調査研究.平成22年度厚生労働省科学研究費補助金 特別研究事業 向精神病薬の処方実態に関する国内外の比較研究分担研究方向書.2010年.
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001tjq1.html> (2013年1月4日アクセス可能)

3 :

厚生労働省.過量服薬への取り組み-薬物治療のみに頼らない診療体制の構築に向けて2010年
www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/jisatsu/dl/torimatome_5.pdf (2013年1月4日アクセス可能)

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-30

名称: 精神科入院症例のうち、抗不安薬の退院処方が単剤または2剤である割合

指標番号:

QIP: 0654

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-31

指標群: 精神科

名称: 精神科入院症例のうち、抗不安薬の退院処方が単剤または2剤である割合

意義: 向精神薬の過量処方や過量処方による副作用に対する安全性指標（プロセス指標）診療報酬（精神科継続外来支援・指導料）において、1回の処方で3剤以上の抗不安薬を投与した場合には、所定点数の100分の20の点数が減算される。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に抗精神病薬が含まれる症例数

分子: 分母のうち、退院時処方に抗精神病薬の退院処方が単剤または2剤である症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
このうち、主に精神科疾患の治療のために入院した症例
最も医療資源を投入した病名のICD-10コードがF\$である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
F\$	精神および行動の障害

3:
このうち、退院処方に抗不安薬（注射薬を除く）が処方された症例。以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。
退院時処方の判定:

2010年度～2015年度: FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」
2016年度～: EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分母のデータ3

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1124013	オキサゾラム	○	○	○	○	○
1124014	クロキサゾラム	○	○	○	○	○
1124015	クロラゼパ酸二カリウム	○	○	○	○	○
1124017	ジアゼパム	○	○	○	○	○
1124018	Prazepam	○				
1124019	フルジアゼパム	○	○	○	○	○
1124020	プロマゼパム	○	○	○	○	○
1124021	メダゼパム	○	○	○	○	○
1124022	ロラゼパム	○	○	○	○	○
1124023	アルプラゾラム	○	○	○	○	○
1124024	フルタゾラム	○	○	○	○	○
1124025	メキサゾラム	○	○	○	○	○
1124026	トフィソパム	○	○	○	○	○
1124027	フルトプラゼパム	○	○	○	○	○

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1124029	ロフラゼパ酸エチル	○	○	○	○	○
1126001	臭化カリウム	○	○	○	○	○
1126002	臭化ナトリウム	○	○	○	○	○
1129008	タンドスピロンクエン酸塩	○	○	○	○	○
1129010	エスゾピクロン			○		
1179025	エチゾラム	○	○	○	○	○
1179005	ヒドロキシジン塩酸塩	○	○	○	○	○
1179012	クロチアゼパム	○	○	○	○	○
1179019	ヒドロキシジパモ酸塩	○	○	○	○	○

4 :
このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「○ 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
退院時に処方された抗不安薬の薬剤種数（成分名でカウント）が2種類以下の症例
上に示された退院時処方として、退院時処方された薬剤の成分名が2種類以下

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
薬価基準コードに対する成分名は厚労省ホームページより取得
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>

参考値:

1 :
オーストラリア（ACHS）では平均値で86.4%（2006年）から95.9%（2010年）に上昇している。
日本の処方実態調査では、2009年データで抗不安薬98.1%となっている。

参考資料:

1 :
Australian Council on Healthcare Standards (ACHS). Australasian Clinical Indicator Report 2003 – 2010 12th Edition Mental Health Inpatient, version 6 Clinical Indicators
http://www.achs.org.au/media/3871/MentalHealthInpatient_www.pdf（2013年1月4日アクセス可能）

2 :
三島和夫,片寄泰子,榎本みのり,他.診療報酬データを用いた向精神薬処方に関する実態調査研究.平成22年度厚生労働省科学研究費補助金 特別研究事業 向精神病薬の処方実態に関する国内外の比較研究分担研究方向書.2010年.
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001tjq1.html>（2013年1月4日アクセス可能）

3 :
厚生労働省.過量服薬への取り組み-薬物治療のみに頼らない診療体制の構築に向けて2010年
www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/jisatsu/dl/torimatome_5.pdf（2013年1月4日アクセス可能）

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-31

名称: 精神科入院症例のうち、睡眠薬の退院処方が単剤または2剤である割合

指標番号:

QIP: 0655

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-31

指標群: 精神科

名称: 精神科入院症例のうち、睡眠薬の退院処方が単剤または2剤である割合

意義: 向精神薬の過量処方や過量処方による副作用に対する安全性指標（プロセス指標）診療報酬（精神科継続外来支援・指導料）において、1回の処方で3剤以上の睡眠薬を投与した場合には、所定点数の100分の20の点数が減算される。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に睡眠薬が含まれる症例数

分子: 分母のうち、退院時処方に睡眠薬の退院処方が単剤または2剤である症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
このうち、主に精神科疾患の治療のために入院した症例
最も医療資源を投入した病名のICD-10コードがF\$である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
F\$	精神および行動の障害

3:
このうち、退院処方に睡眠薬（注射薬を除く）が処方された症例。以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例
退院時処方判定:

2010年度～2015年度: FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」
2016年度～: EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分母のデータ3

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1121001	プロモバレリル尿素	○	○	○	○	○
1123001	抱水クロラール	○	○	○	○	○
1124001	エスタゾラム	○	○	○	○	○
1124002	フルラゼパム塩酸塩	○	○	○	○	○
1124003	ニトラゼパム	○	○	○	○	○
1124004	ニメタゼパム	○	○	○		
1124005	ハロキサゾラム	○	○	○	○	○
1124007	トリアゾラム	○	○	○	○	○
1124008	フルニトラゼパム	○	○	○	○	○
1124009	プロチゾラム	○	○	○	○	○
1124010	ロルメタゼパム	○	○	○	○	○
1124030	クアゼパム	○	○	○	○	○
1125001	アモバルビタール	○	○	○	○	○
1125002	バルビタール	○	○	○		

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1125004	フェノバルビタール	○	○	○	○	○
1125006	ペントバルビタールカルシウム	○	○	○	○	○
1129004	トリクロホスナトリウム	○	○	○	○	○
1129006	リルマザホン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
1129007	ゾピクロン	○	○	○	○	○
1129009	ゾルピデム酒石酸塩	○	○	○	○	○
1129010	エスゾピクロン			○	○	○
1179047	モダフィニル	○	○	○	○	○

4 :
このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「○ 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
退院時に処方された睡眠薬の薬剤種数（成分名でカウント）が2種類以下の症例
上に示された退院時処方として、退院時処方された薬剤の成分名が2種類以下

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
薬価基準コードに対する成分名は厚労省ホームページより取得
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>

参考値:

1 :
オーストラリア（ACHS）では平均値で86.4%（2006年）から95.9%（2010年）に上昇している。
日本の処方実態調査では、2009年データで睡眠薬93.9%となっている。

参考資料:

1 :
Australian Council on Healthcare Standards (ACHS). Australasian Clinical Indicator Report 2003 – 2010 12th Edition Mental Health Inpatient, version 6 Clinical Indicators
http://www.achs.org.au/media/3871/MentalHealthInpatient_www.pdf（2013年1月4日アクセス可能）

2 :
三島和夫,片寄泰子,榎本みのり,他.診療報酬データを用いた向精神薬処方に関する実態調査研究.平成22年度厚生労働省科学研究費補助金 特別研究事業 向精神病薬の処方実態に関する国内外の比較研究分担研究方向書.2010年.
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001tjq1.html>（2013年1月4日アクセス可能）

3 :
厚生労働省.過量服薬への取り組み-薬物治療のみに頼らない診療体制の構築に向けて2010年
www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/jisatsu/dl/torimatome_5.pdf（2013年1月4日アクセス可能）

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-31

名称: 精神科入院症例のうち、抗うつ薬の退院処方が単剤または2剤である割合

指標番号:

QIP: 0656

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2019-05-29

指標群: 精神科

名称: 精神科入院症例のうち、抗うつ薬の退院処方が単剤または2剤である割合

意義: 向精神薬の過量処方や過量処方による副作用に対する安全性指標（プロセス指標）自殺予防の観点からも抗うつ薬などの過量処方の問題点も指摘されている。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 主に精神疾患の治療のために入院した症例のうち、退院処方に抗うつ薬が含まれる症例数

分子: 分母のうち、退院時処方に抗うつ薬の退院処方が単剤または2剤である症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
このうち、主に精神科疾患の治療のために入院した症例
最も医療資源を投入した病名のICD-10コードがF\$である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
F\$	精神および行動の障害

3:
このうち、退院処方に抗うつ薬（注射薬を除く）が処方された症例。以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。
退院時処方判定:

2010年度～2015年度: FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」
2016年度～: EF-17・F-19 行為明細区分情報（12桁の数値）の1桁目「退院時処方区分」が「1」

分母のデータ3

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1174002	クロミプラミン塩酸塩	○	○	○	○	○
1174004	ロフェプラミン塩酸塩	○	○	○	○	○
1174005	トリミプラミンマレイン酸塩	○	○	○	○	○
1174006	イミプラミン塩酸塩	○	○	○	○	○
1179001	アモキサピン	○	○	○	○	○
1179002	アミトリプチリン塩酸塩	○	○	○	○	○
1179004	ノルトリプチリン塩酸塩	○	○	○	○	○
1179005	ヒドロキシジン塩酸塩	○	○	○	○	
1179008	マプロチリン塩酸塩	○	○	○	○	○
1179012	クロチアゼパム	○	○	○	○	
1179017	炭酸リチウム	○	○	○	○	
1179019	ヒドロキシジンプアモ酸塩	○	○	○	○	
1179027	ドスレピン塩酸塩	○	○	○	○	○
1179033	ミアンセリン塩酸塩	○	○	○	○	○

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1179037	チリンマレイン酸塩	○	○	○	○	○
1179039	フルボキサミンマレイン酸塩	○	○	○	○	○
1179040	ミルナシブラン塩酸塩	○	○	○	○	○
1179041	パロキセチン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
1179046	塩酸セルトラリン	○	○	○	○	○
1179051	ミルタザピン	○	○	○	○	○
1179052	デュロキセチン塩酸塩	○	○	○	○	○
1179054	エスシタロプラムシュウ酸塩	○	○	○	○	○
1179023	ペモリン	○	○	○	○	○
1179055	ベンラファキシン塩酸塩			○	○	○

4 :
このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「○ 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
退院時に処方された抗うつ薬の薬剤種数（成分名でカウント）が2種類以下の症例
上に示された退院時処方として、退院時処方された薬剤の成分名が2種類以下

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
薬価基準コードに対する成分名は厚労省ホームページより取得
<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>

参考値:

1 :
オーストラリア（ACHS）では平均値で86.4%（2006年）から95.9%（2010年）に上昇している。
日本の処方実態調査では、2009年データで抗うつ薬98.3%となっている。

参考資料:

1 :
Australian Council on Healthcare Standards (ACHS). Australasian Clinical Indicator Report 2003 – 2010 12th Edition Mental Health Inpatient, version 6 Clinical Indicators
http://www.achs.org.au/media/3871/MentalHealthInpatient_www.pdf（2013年1月4日アクセス可能）

2 :
三島和夫,片寄泰子,榎本みのり,他.診療報酬データを用いた向精神薬処方に関する実態調査研究.平成22年度厚生労働省科学研究費補助金 特別研究事業 向精神薬の処方実態に関する国内外の比較研究分担研究方向書.2010年.
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001tjq1.html>（2013年1月4日アクセス可能）

3 :
厚生労働省.過量服薬への取り組み-薬物治療のみに頼らない診療体制の構築に向けて2010年
www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/jisatsu/dl/torimatome_5.pdf（2013年1月4日アクセス可能）

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-05-29

名称: 精神疾患で入院した症例における身体拘束割合 (高齢者を除く、GAF30以下)

指標番号:

QIP: 2106_2

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-12

指標群: 精神科

名称: 精神疾患で入院した症例における身体拘束割合 (高齢者を除く、GAF30以下)

意義: 身体拘束による身体的、精神的、社会的な弊害に対する安全性指標(プロセス指標)

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 精神疾患で入院した延べ患者数 (高齢者を除く、GAF30以下)

分子: 身体拘束を実施した患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、主に精神科疾患の治療のため入院した症例
最も医療資源を投入した病名のICD-10コードがF\$である症例

3:

このうち入院時GAF尺度が30以下の症例

4:

このうち、入院時年齢が80歳以上の症例を除外する

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

精神保健福祉法に基づいて身体拘束が行われた症例
精神保健福祉法に関する情報のうち、精神保健福祉法に基づく身体拘束日数で1日以上
2010年度～2013年度様式1: 精神保健福祉法に基づく身体拘束日数
2014年度様式1～: コードM170020、ペイロード種別: 精神保健福祉法に関する情報、項目名: 精神保健福祉法に基づく身体拘束日数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

身体拘束とは、精神保健福祉法に基づいて行われる行為に限定され、点滴などを目的に同法に基づかずに短時間四肢等の一部を拘束する行為は含まれない。

身体拘束は患者にとって病気そのものの苦痛に加え、精神的な苦痛を与えるとともに、ベースにある精神疾患を増悪させることもあるため、必要最小限で実施することが必要である。

高齢者に対しても、身体拘束は望ましくない。ただし、高齢者の場合、認知機能の低下や廃用症候群など本指標で計測したいものとは異なる症例が含まれる可能性が高く、計測から除外した。

参考値:

参考資料:

1 :

身体拘束ゼロへの手引き.厚生労働省「身体拘束ゼロ作戦推進会議」;2001.
<http://www.dochoju.jp/soudan/pdf/zerohenotebiki.pdf>

2 :

石川秀也. 身体拘束廃止につながる-考察-その経過・現状・今後-

3 :

精神科救急医療体制に関する検討会報告書;2011
<http://www.japc.or.jp/library/data/fukushi/kyu/siryō1-3.pdf>

4 :

野田寿恵. 精神保健福祉資料(630調査)を用いた隔離・身体拘束施行者数の分析. 精神医学. 2012. 317-323

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-12

名称: 精神疾患で入院した症例における身体拘束割合 (高齢者を除く、GAF31以上)

指標番号:

QIP: 2106_3

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-06

指標群: 精神科

名称: 精神疾患で入院した症例における身体拘束割合 (高齢者を除く、GAF31以上)

意義: 身体拘束による身体的、精神的、社会的な弊害に対する安全性指標(プロセス指標)

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 精神疾患で入院した延べ患者数 (高齢者を除く、GAF31以上)

分子: 身体拘束を実施した患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、主に精神科疾患の治療のため入院した症例
最も医療資源を投入した病名のICD-10コードがF\$である症例

3:

このうち入院時GAF尺度が31以上の症例

4:

このうち、入院時年齢が80歳以上の症例を除外する

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

精神保健福祉法に基づいて身体拘束が行われた症例
精神保健福祉法に関する情報のうち、精神保健福祉法に基づく身体拘束日数で1日以上
2010年度～2013年度様式1: 精神保健福祉法に基づく身体拘束日数
2014年度様式1～: コードM170020、ペイロード種別: 精神保健福祉法に関する情報、項目名: 精神保健福祉法に基づく身体拘束日数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

身体拘束とは、精神保健福祉法に基づいて行われる行為に限定され、点滴などを目的に同法に基づかずに短時間四肢等の一部を拘束する行為は含まれない。

身体拘束は患者にとって病気そのものの苦痛に加え、精神的な苦痛を与えるとともに、ベースにある精神疾患を増悪させることもあるため、必要最小限で実施することが必要である。

高齢者に対しても、身体拘束は望ましくない。ただし、高齢者の場合、認知機能の低下や廃用症候群など本指標で計測したいものとは異なる症例が含まれる可能性が高く、計測から除外した。

参考値:

参考資料:

1 :

身体拘束ゼロへの手引き.厚生労働省「身体拘束ゼロ作戦推進会議」;2001.
<http://www.dochoju.jp/soudan/pdf/zerohenotebiki.pdf>

2 :

石川秀也. 身体拘束廃止につながる-考察-その経過・現状・今後-

3 :

精神科救急医療体制に関する検討会報告書;2011
<http://www.japc.or.jp/library/data/fukushi/kyu/siryo1-3.pdf>

4 :

野田寿恵. 精神保健福祉資料(630調査)を用いた隔離・身体拘束施行者数の分析. 精神医学. 2012. 317-323

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-06

名称: 精神疾患で入院した症例における身体拘束割合 (高齢者を除く)

指標番号:

QIP: 2106

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-31

指標群: 精神科

名称: 精神疾患で入院した症例における身体拘束割合 (高齢者を除く)

意義: 身体拘束による身体的、精神的、社会的な弊害に対する安全性指標(プロセス指標)

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 精神疾患で入院した延べ患者数 (高齢者を除く)

分子: 身体拘束を実施した患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、主に精神科疾患の治療のため入院した症例
最も医療資源を投入した病名のICD-10コードがF\$である症例

3:

このうち、入院時年齢が80歳以上の症例を除外する

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

精神保健福祉法に基づいて身体拘束が行われた症例
精神保健福祉法に関する情報のうち、精神保健福祉法に基づく身体拘束日数で1日以上
の症例
2010年度～2013年度様式1: 精神保健福祉法に基づく身体拘束日数
2014年度様式1～: コードM170020、ペイロード種別: 精神保健福祉法に関する情報、項目名: 精神保健福祉法に基づく身体拘束日数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

身体拘束とは、精神保健福祉法に基づいて行われる行為に限定され、点滴などを目的に同法に基づかずに短時間四肢等の一部を拘束する行為は含まれない。

身体拘束は患者にとって病気そのものの苦痛に加え、精神的な苦痛を与えるとともに、ベースにある精神疾患を増悪させることもあるため、必要最小限で実施することが必要である。

高齢者に対しても、身体拘束は望ましくない。ただし、高齢者の場合、認知機能の低下や廃用症候群など本指標で計測したいものとは異なる症例が含まれる可能性が高く、計測から除外した。

参考値:

参考資料:

1:

身体拘束ゼロへの手引き.厚生労働省「身体拘束ゼロ作戦推進会議」;2001.
<http://www.dochoju.jp/soudan/pdf/zerohenotebiki.pdf>

2 :
石川秀也. 身体拘束廃止につながる-考察-その経過・現状・今後-

3 :
精神科救急医療体制に関する検討会報告書;2011
<http://www.japc.or.jp/library/data/fukushi/kyu/siryo1-3.pdf>

4 :
野田寿恵. 精神保健福祉資料(630調査)を用いた隔離・身体拘束施行者数の分析. 精神医学. 2012. 317-323

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-31

名称: 75歳以上の入院症例でトリアゾラムが処方された割合

指標番号:

QIP: 2127_1

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-06

指標群: 精神科

名称: 75歳以上の入院症例でトリアゾラムが処方された割合

意義:

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 75歳以上の入院症例

分子: トリアゾラムが処方された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
75歳以上の入院症例

2:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:
分母のうちトリアゾラムが処方された症例

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1124007	トリアゾラム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

参考値:

参考資料:

1:
高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015.(編)日本老年医学会、日本医療研究開発機構研究費・高齢者の薬物治療の安全性に関する研究研究班。メジカルビュー社

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-06

名称: 75歳以上の入院症例で長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された割合

指標番号:

QIP: 2127_2

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-06

指標群: 精神科

名称: 75歳以上の入院症例で長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された割合

意義:

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 75歳以上の入院症例

分子: 長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
75歳以上の入院症例

2 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母のうち長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された症例

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1124013	オキサゾラム	○	○	○	○	○
1124014	クロキサゾラム	○	○	○	○	○
1124017	ジアゼパム	○	○	○	○	○
1124019	フルジアゼパム	○	○	○	○	○
1124021	メダゼパム	○	○	○	○	○
1124025	メキサゾラム	○	○	○	○	○
1124027	フルトブラゼパム	○	○	○	○	○
1124028	クロルジアゼポキシド	○	○	○	○	○
1124402	ジアゼパム	○	○	○	○	○
1124701	ジアゼパム	○	○	○	○	○
1139003	クロナゼパム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

参考値:

参考資料:

1:
高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015.(編)日本老年医学会、日本医療研究開発機構研究費・高齢者の薬物治療の安全性に関する研究研究班. メジカルビュー社

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-06

名称: 75歳以上の入院症例でトリアゾラムまたは長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された割合

指標番号:

QIP: 2127_3

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-06

指標群: 精神科

名称: 75歳以上の入院症例でトリアゾラムまたは長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された割合

意義:

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 75歳以上の入院症例

分子: トリアゾラムまたは長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
75歳以上の入院症例

2 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母のうちトリアゾラムまたは長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された症例

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
1124007	トリアゾラム	○	○	○	○	○
1124013	オキサゾラム	○	○	○	○	○
1124014	クロキサゾラム	○	○	○	○	○
1124017	ジアゼパム	○	○	○	○	○
1124019	フルジアゼパム	○	○	○	○	○
1124021	メダゼパム	○	○	○	○	○
1124025	メキサゾラム	○	○	○	○	○
1124027	フルトブラゼパム	○	○	○	○	○
1124028	クロルジアゼポキシド	○	○	○	○	○
1124402	ジアゼパム	○	○	○	○	○
1124701	ジアゼパム	○	○	○	○	○
1139003	クロナゼパム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

参考値:

参考資料:

1:
高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015.(編)日本老年医学会、日本医療研究開発機構研究費・高齢者の薬物治療の安全性に関する研究研究班. メジカルビュー社

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-06

名称: がんの疼痛管理のため、長時間作用型麻薬に加えて短時間作用型麻薬等のレスキューを頓用として処方された症例の割合

指標番号:

QIP: 0517

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-10

指標群: 緩和ケア

名称: がんの疼痛管理のため、長時間作用型麻薬に加えて短時間作用型麻薬等のレスキューを頓用として処方された症例の割合

意義: がん患者に疼痛はよく起こる。疼痛の管理のためには長時間作用型麻薬だけでなく、突発痛の抑制のための短時間作用型麻薬等のレスキューも必要である。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の、がんと診断され、長時間作用型麻薬（内服、貼付）を処方された症例

分子: 分母のうち、短時間作用型麻薬等のレスキュー（内服、座薬）を処方された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、がんの診断を受けた症例。

主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
C5	悪性新生物

4:

このうち、長時間作用型麻薬を処方された症例。

E/Fファイルの薬剤情報の点数コードのいずれかに、以下のいずれかのレセ電コードが含まれる症例

分母のデータ4

レセプト電算コード	薬価基準コード	成分名	名称	2010	2012	2014	2016	2018
622404701	1149038	トラマドール塩酸塩	ワントラム錠100mg			○	○	○
610406378	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	MSコンチン錠60mg	○	○	○	○	○
610432049	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	カディアンカプセル20mg	○	○	○	○	○
610432050	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	カディアンカプセル30mg	○	○	○	○	○
610432051	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	カディアンカプセル60mg	○	○	○	○	○
610453027	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	MSツワイスロンカプセル10mg	○	○	○	○	○
610453028	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	MSツワイスロンカプセル30mg	○	○	○	○	○
610453029	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	MSツワイスロンカプセル60mg	○	○	○	○	○

610453130 シロート電算 コード	8114004 薬価基準 コード	モルヒネ硫酸塩水和物 成分名	モルベス細粒2% 名称	○	○	○	○	○
				2010	2012	2014	2016	2018
610453131	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	モルベス細粒6%	○	○	○	○	○
618110023	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	MSコンチン錠10mg	○	○	○	○	○
618110024	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	MSコンチン錠30mg	○	○	○	○	○
620002002	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	カディアンスティック粒30mg	○	○	○	○	
620002003	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	カディアンスティック粒60mg	○	○	○	○	
620002004	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	カディアンスティック粒120mg	○	○	○	○	
620002425	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	ピーガード錠20mg	○	○	○	○	○
620002426	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	ピーガード錠30mg	○	○	○	○	○
620002427	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	ピーガード錠60mg	○	○	○	○	○
620002428	8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	ピーガード錠120mg	○	○	○	○	○
620003165	8114005	モルヒネ塩酸塩水和物	パシーフカプセル30mg	○	○	○	○	○
620003166	8114005	モルヒネ塩酸塩水和物	パシーフカプセル60mg	○	○	○	○	○
620003167	8114005	モルヒネ塩酸塩水和物	パシーフカプセル120mg	○	○	○	○	○
610470005	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコンチン錠5mg	○	○	○	○	○
610470006	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコンチン錠10mg	○	○	○	○	○
610470007	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコンチン錠20mg	○	○	○	○	○
610470008	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコンチン錠40mg	○	○	○	○	○
622303501	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコドン徐放カプセル5mg「テルモ」		○	○	○	○
622303601	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコドン徐放カプセル10mg「テルモ」		○	○	○	○
622303701	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコドン徐放カプセル20mg「テルモ」		○	○	○	○
622303801	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコドン徐放カプセル40mg「テルモ」		○	○	○	○
622521701	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコドン徐放錠5mg「第一三共」				○	○
622521801	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコドン徐放錠10mg「第一三共」				○	○
622521901	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコドン徐放錠20mg「第一三共」				○	○
622522001	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコドン徐放錠40mg「第一三共」				○	○
622540101	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコドン錠2.5mg「第一三共」					○
622540201	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキシコドン錠5mg「第一三共」					○

622476 電子計算 コード	薬価基準 コード	オキシコドン塩酸塩 成剤名	オキシコドン錠10mg「第一三共」 名称	2010	2012	2014	2016	2018
622540401	8119002	オキシコドン塩酸塩 水和物	オキシコドン錠20mg「第一三共」					○
622576301	8119002	オキシコドン塩酸塩 水和物	オキシコンチンTR錠5mg					○
622576401	8119002	オキシコドン塩酸塩 水和物	オキシコンチンTR錠10mg					○
622576501	8119002	オキシコドン塩酸塩 水和物	オキシコンチンTR錠20mg					○
622576601	8119002	オキシコドン塩酸塩 水和物	オキシコンチンTR錠40mg					○
622549801	8119003	ヒドロモルフォン塩 酸塩	ナルサス錠2mg					○
622549901	8119003	ヒドロモルフォン塩 酸塩	ナルサス錠6mg					○
622550001	8119003	ヒドロモルフォン塩 酸塩	ナルサス錠12mg					○
622550101	8119003	ヒドロモルフォン塩 酸塩	ナルサス錠24mg					○
622036901	8219001	フェンタニルクエン 酸塩	アクレフ口腔粘膜吸収剤200μg	○	○	○		
622037001	8219001	フェンタニルクエン 酸塩	アクレフ口腔粘膜吸収剤400μg	○	○	○		
622037101	8219001	フェンタニルクエン 酸塩	アクレフ口腔粘膜吸収剤600μg	○	○	○		
622037201	8219001	フェンタニルクエン 酸塩	アクレフ口腔粘膜吸収剤800μg	○	○	○		
622264901	8219001	フェンタニルクエン 酸塩	イーフェンバッカル錠50μg		○	○	○	○
622265001	8219001	フェンタニルクエン 酸塩	イーフェンバッカル錠100μg		○	○	○	○
622265101	8219001	フェンタニルクエン 酸塩	イーフェンバッカル錠200μg		○	○	○	○
622265201	8219001	フェンタニルクエン 酸塩	イーフェンバッカル錠400μg		○	○	○	○
622265301	8219001	フェンタニルクエン 酸塩	イーフェンバッカル錠600μg		○	○	○	○
622265401	8219001	フェンタニルクエン 酸塩	イーフェンバッカル錠800μg		○	○	○	○
622212701	8219002	メサドン塩酸塩	メサペイン錠5mg		○	○	○	○
622212801	8219002	メサドン塩酸塩	メサペイン錠10mg		○	○	○	○
622350501	8219003	タペンタドール塩酸 塩	タペンタ錠25mg			○	○	○
622350601	8219003	タペンタドール塩酸 塩	タペンタ錠50mg			○	○	○
622350701	8219003	タペンタドール塩酸 塩	タペンタ錠100mg			○	○	○
620007678	8219700	フェンタニル	デュロテップMTパッチ2.1mg	○	○	○	○	○
620007679	8219700	フェンタニル	デュロテップMTパッチ4.2mg	○	○	○	○	○
620007680	8219700	フェンタニル	デュロテップMTパッチ8.4mg	○	○	○	○	○
620007681	8219700	フェンタニル	デュロテップMTパッチ12.6mg	○	○	○	○	○
620007682	8219700	フェンタニル	デュロテップMTパッチ16.8mg	○	○	○	○	○

622041901 622042001 コード	8219700 8219700 コード	成分名	名称	2010	2012	2014	2016	2018
622042101	8219700	フェンタニル	ワンデュロパッチ●. 84mg ワンデュロパッチ1. 7mg ワンデュロパッチ3. 4mg	○	○	○	○	○
622042201	8219700	フェンタニル	ワンデュロパッチ5mg	○	○	○	○	○
622042301	8219700	フェンタニル	ワンデュロパッチ6. 7mg	○	○	○	○	○
622177901	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ2. 1mg 「HMT」		○	○	○	○
622178001	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ4. 2mg 「HMT」		○	○	○	○
622178101	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ8. 4mg 「HMT」		○	○	○	○
622178201	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ12. 6mg 「HMT」		○	○	○	○
622178301	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ16. 8mg 「HMT」		○	○	○	○
622228201	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ2. 1mg 「明治」		○	○	○	○
622228301	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ4. 2mg 「明治」		○	○	○	○
622228401	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ8. 4mg 「明治」		○	○	○	○
622228501	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ12. 6mg 「明治」		○	○	○	○
622228601	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ16. 8mg 「明治」		○	○	○	○
622305201	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ2. 1mg 「テルモ」		○	○	○	○
622305301	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ4. 2mg 「テルモ」		○	○	○	○
622305401	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ8. 4mg 「テルモ」		○	○	○	○
622305501	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ12. 6mg 「テルモ」		○	○	○	○
622305601	8219700	フェンタニル	フェンタニル3日用テープ16. 8mg 「テルモ」		○	○	○	○
622505001	8219700	フェンタニル	フェンタニル1日用テープ●. 84mg 「明治」				○	○
622505101	8219700	フェンタニル	フェンタニル1日用テープ1. 7mg 「明治」				○	○
622505201	8219700	フェンタニル	フェンタニル1日用テープ3. 4mg 「明治」				○	○
622505301	8219700	フェンタニル	フェンタニル1日用テープ5mg「明治」				○	○
622505401	8219700	フェンタニル	フェンタニル1日用テープ6. 7mg 「明治」				○	○
660451005	8219700	フェンタニル	デュロテップパッチ2. 5mg	○				
660451006	8219700	フェンタニル	デュロテップパッチ5mg	○				
660451007	8219700	フェンタニル	デュロテップパッチ7. 5mg	○				
660451008	8219700	フェンタニル	デュロテップパッチ1●mg	○				
621988502	8219701	フェンタニルクエン酸塩	フェントステープ1mg	○	○	○	○	○
621988602	8219701	フェンタニルクエン酸塩	フェントステープ2mg	○	○	○	○	○
621988702	8219701	フェンタニルクエン酸塩	フェントステープ4mg	○	○	○	○	○

レセプト電算 621988802 コード	薬価基準 8219701 コード	酸塩 フェンタニルクエン 酸塩 成分名	フェントステープ6mg 名称	2010	2012	2014	2016	2018
621988902	8219701	フェンタニルクエン 酸塩	フェントステープ8mg	○	○	○	○	

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
短時間作用型麻薬等のレスキューを処方された症例
E/Fファイルの薬剤情報の点数コードのいずれかに、以下のいずれかのレセ電コードが含まれる症例

分子のデータ1

レセプト電算コード	薬価基準コード	成分名	名称	2010	2012	2014	2016	2018
622003301	1149038	トラマドール塩酸塩	トラマールカプセル2.5mg	○	○	○		
622003401	1149038	トラマドール塩酸塩	トラマールカプセル5mg	○	○	○		
622366101	1149038	トラマドール塩酸塩	トラマールOD錠2.5mg			○	○	○
622366201	1149038	トラマドール塩酸塩	トラマールOD錠5mg			○	○	○
618110016	8114003	モルヒネ塩酸塩水和物	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
618110017	8114003	モルヒネ塩酸塩水和物	モルヒネ塩酸塩錠 1mg	○	○	○	○	○
620001273	8114003	モルヒネ塩酸塩水和物	塩酸モルヒネ錠「マルピー」 1mg	○	○	○		
620001274	8114003	モルヒネ塩酸塩水和物	塩酸モルヒネ「三共」	○	○	○		
620008346	8114003	モルヒネ塩酸塩水和物	モルヒネ塩酸塩水和物「第一三共」 原末	○	○	○	○	○
620009255	8114003	モルヒネ塩酸塩水和物	モルヒネ塩酸塩錠1mg「DSP」	○	○	○	○	○
620009256	8114003	モルヒネ塩酸塩水和物	モルヒネ塩酸塩水和物「タケダ」 原末	○	○	○	○	○
628503102	8114003	モルヒネ塩酸塩水和物	モルヒネ塩酸塩水和物「シオノギ」 原末	○	○	○	○	○
610470010	8114005	モルヒネ塩酸塩水和物	オプソ内服液5mg 2.5mL	○	○	○	○	○
610470011	8114005	モルヒネ塩酸塩水和物	オプソ内服液1mg 5mL	○	○	○	○	○
660432005	8114700	モルヒネ塩酸塩水和物	アンベック坐剤3mg	○	○	○	○	○
668110001	8114700	モルヒネ塩酸塩水和物	アンベック坐剤1mg	○	○	○	○	○
668110002	8114700	モルヒネ塩酸塩水和物	アンベック坐剤2mg	○	○	○	○	○
620004413	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキノーム散0.5%	○	○			
622016901	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキノーム散2.5mg	○	○	○	○	○
622017001	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキノーム散5mg	○	○	○	○	○
622017101	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキノーム散1mg	○	○	○	○	○
622303901	8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	オキノーム散2mg		○	○	○	○
622550201	8119003	ヒドロモルフォン塩酸塩	ナルラピド錠1mg					○
622550301	8119003	ヒドロモルフォン塩酸塩	ナルラピド錠2mg					○
622550501	8119003	ヒドロモルフォン塩酸塩	ナルラピド錠4mg					○

222930 電算コード	薬価基準コード	フェンタニルクエン酸 塩分名	アブストラル舌下錠 100μg 名称	2010	2012	2014	2016	2018
622293601	8219001	フェンタニルクエン酸 塩	アブストラル舌下錠 200μg		○	○	○	○
622293701	8219001	フェンタニルクエン酸 塩	アブストラル舌下錠 400μg		○	○	○	○
610431099	8114003	モルヒネ塩酸塩水和物	塩酸モルヒネ「シオノギ」	○	○	○	○	
622036901	8219001	フェンタニルクエン酸 塩	アクレフ口腔粘膜吸収剤 200μg	○	○	○		
622037001	8219001	フェンタニルクエン酸 塩	アクレフ口腔粘膜吸収剤 400μg	○	○	○		
622037101	8219001	フェンタニルクエン酸 塩	アクレフ口腔粘膜吸収剤 600μg	○	○	○		
622037201	8219001	フェンタニルクエン酸 塩	アクレフ口腔粘膜吸収剤 800μg	○	○	○		
622264901	8219001	フェンタニルクエン酸 塩	イーフェンバツカル錠 50μg		○	○	○	
622265001	8219001	フェンタニルクエン酸 塩	イーフェンバツカル錠 100μg		○	○	○	
622265101	8219001	フェンタニルクエン酸 塩	イーフェンバツカル錠 200μg		○	○	○	
622265201	8219001	フェンタニルクエン酸 塩	イーフェンバツカル錠 400μg		○	○	○	
622265301	8219001	フェンタニルクエン酸 塩	イーフェンバツカル錠 600μg		○	○	○	
622265401	8219001	フェンタニルクエン酸 塩	イーフェンバツカル錠 800μg		○	○	○	

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
外来処方薬を持ち込むときなど既に短時間作用型麻薬等のレスキューを持っていれば(持参薬)、入院中に処方する必要はなく、数値が低く算出される可能性がある。

2:
トラマドール塩酸塩は短時間作用型ではないがレスキューとして使用されるため追加した

3:
アクレフ口腔粘膜吸収剤は、発売中止されている

参考値:

参考資料:

1:
当指標で用いた薬剤の成分名(同一成分で、短時間作用型麻薬等のレスキューと長時間作用型麻薬がある)

データ1

薬価基準コード7桁	成分名
1149038	トラマドール塩酸塩
8114003	モルヒネ塩酸塩水和物
8114005	モルヒネ塩酸塩水和物

薬価基準コード7桁	成分名
8114700	モルヒネ塩酸塩水和物
8119002	オキシコドン塩酸塩水和物
8119003	ヒドロモルフォン塩酸塩
8219001	フェンタニルクエン酸塩
8114004	モルヒネ硫酸塩水和物
8219002	メサドン塩酸塩
8219003	タベンタドール塩酸塩
8219700	フェンタニル
8219701	フェンタニルクエン酸塩

2 :

Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ). Management of cancer symptoms: pain, depression, and fatigue: summary. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2002 Jul. 6 p. (Evidence report/technology assessment; no. 61).
 Cancer care during the last phase of life. J Clin Oncol 1998 May;16(5):1986-96.
 Institute of Medicine. Adams K, Corrigan JM, editor(s). Priority areas for national action: transforming health care quality. Washington (DC): National Academy Press; 2003. 143 p.
 Lorenz KA, Dy SM, Naeim A, Walling AM, Sanati H, Smith P, Shanman R, Roth CP, Asch SM. Quality measures for supportive cancer care: the Cancer Quality-ASSIST Project. J Pain Symptom Manage 2009 Jun;37(6):943-64.
 Malin JL, O'Neill SM, Asch SM, Dy SM, Walling AM, Tisnado D, Antonio AL, Lorenz KA.
 Quality of supportive care for patients with advanced cancer in a VA Medical Center. Washington (DC): Department of Veterans Affairs; 26 p.
 Rose JH, O'Toole EE, Dawson NV, Lawrence R, Gurley D, Thomas C, Hamel MB, Cohen HJ. Perspectives, preferences, care practices, and outcomes among older and middle-aged patients with late-stage cancer. J Clin Oncol 2004 Dec 15;22(24):4907-17.
 Solano JP, Gomes B, Higginson IJ. A comparison of symptom prevalence in far advanced cancer, AIDS, heart disease, chronic obstructive pulmonary disease and renal disease. J Pain Symptom Manage 2006 Jan;31(1):58-69.
 Teunissen SC, Wesker W, Kruitwagen C, de Haes HC, Voest EE, de Graeff A. Symptom prevalence in patients with incurable cancer: a systematic review. J Pain Symptom Manage 2007 Jul;34(1):94-104.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-10

名称: がんの疼痛管理のため、定量的疼痛評価を受けた症例の割合

指標番号:

QIP: 2039

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 緩和ケア

名称: がんの疼痛管理のため、定量的疼痛評価を受けた症例の割合

意義: 痛みを客観的に評価し、痛みを適切にコントロールするためのプロセス。スケールの種類は問わない。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の、がんの診断を受け、麻薬を処方された症例（手術症例を除く）

分子: 分母のうち、定量的疼痛評価を受けた症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例

3:

このうち、がんの診断を受けた症例。主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
C\$	悪性新生物

4:

このうち、麻薬を処方された症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードのいずれかに、以下のいずれかの薬価基準コードに対応するレセ電コードが含まれる症例

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
8114003	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	○	○	○	○	○
8114005	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
8114401	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
8114402	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
8114700	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
8119003	ヒドロモルフォン塩酸塩					○
8119400	オキシコドン塩酸塩水和物		○	○	○	○
8119401	ヒドロモルフォン塩酸塩					○
8219001	フェンタニルクエン酸塩	○	○	○	○	○
8219002	メサドン塩酸塩		○	○	○	○
8219003	タペンタドール塩酸塩			○	○	○
8219400	フェンタニルクエン酸塩	○	○	○	○	○

薬品標準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
8219700	フェンタニル	○	○	○	○	○
8219701	フェンタニルクエン酸塩	○	○	○	○	○

5 :

このうち、手術の行われた症例は除外する。様式1の手術情報1の点数コード欄にコードが記載されている症例は除外する（K920\$の入力に関しては除外対象から外す）

6 :

このうち、緩和ケア病棟に入院した症例（部分的入院を含む）は除外する。E/Fファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例

分母のデータ6

診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
190028910	緩和ケア病棟入院料	○				
190028910	緩和ケア病棟入院料（3日以内）		○	○	○	
190028910	緩和ケア病棟入院料1（3日以内）					○
190150510	緩和ケア病棟入院料（31日以上6日以内）		○	○	○	
190150510	緩和ケア病棟入院料1（31日以上6日以内）					○
190150610	緩和ケア病棟入院料（61日以上）		○	○	○	
190150610	緩和ケア病棟入院料1（61日以上）					○
190195470	緩和ケア病棟緊急入院初期加算				○	○
190212710	緩和ケア病棟入院料2（3日以内）					○
190212810	緩和ケア病棟入院料2（31日以上6日以内）					○
190212910	緩和ケア病棟入院料2（61日以上）					○
190720710	緩和ケア病棟入院料（3日以内）（栄養経過措置）		○	○		
190720810	緩和ケア病棟入院料（31日以上6日以内）（栄養経過措置）		○	○		
190720910	緩和ケア病棟入院料（61日以上）（栄養経過措置）		○	○		

7 :

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :

がん性疼痛緩和指導管理料を算定された症例。E/Fファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例

分子のデータ1

レセ電コード	コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
113010210	B001-22-1	がん性疼痛緩和指導管理料	○				
113010210	B001-22-2	がん性疼痛緩和指導管理料（1以外の場合）		○	○	○	
113012810	B001-22-1	がん性疼痛緩和指導管理料					○
113012810	B001-22-2	がん性疼痛緩和指導管理料（緩和ケアに係る研修を受けた保険医）		○	○	○	

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

当該管理料を算定するには疼痛の適切な評価とともに、緩和ケアに関する研修を受講した医師の配置が必要である。すなわち当該管理料の算定の有無はストラクチャー的要素に依存する。手術が行われた患者については、手術に伴う疼痛と癌性疼痛の区別が困難なため、一律に除外した

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: [測定終了]がんの疼痛管理のため、定量的疼痛評価を受けた外来症例の割合（外来麻薬処方症例）

指標番号:

QIP: 2111

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 緩和ケア

名称: [測定終了]がんの疼痛管理のため、定量的疼痛評価を受けた外来症例の割合（外来麻薬処方症例）

意義: 痛みを客観的に評価し、痛みを適切にコントロールするためのプロセス。スケールの種類は問わない。

必要データセット: DPC様式1 外来EFファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 麻薬を処方された症例の処方された月数

分子: 分母の月に、定量的疼痛評価を受けた症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に外来で受診した症例を対象とする

2:

このうち、麻薬を処方された症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードのいずれかに、以下のいずれかの薬価基準コードに対応するレセ電コードが含まれる症例を1か月1症例で集計（月数）

分母のデータ2

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016
8114003	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○
8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	○	○	○	○
8114005	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○
8114401	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○
8114402	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○
8114700	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○
8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	○	○	○	○
8119400	オキシコドン塩酸塩水和物		○	○	○
8119500	複方オキシコドン	○	○	○	○
8219001	フェンタニルクエン酸塩	○	○	○	○
8219400	フェンタニルクエン酸塩	○	○		○
8219700	フェンタニル	○	○	○	○
8219701	フェンタニルクエン酸塩	○	○	○	○
8211001	ペチジン塩酸塩	○	○	○	○
8211400	ペチジン塩酸塩	○	○	○	○
8219002	メサドン塩酸塩		○	○	○
8219003	タペンタドール塩酸塩			○	○
8219500	ドロペリドール・フェンタニルクエン酸塩	○	○	○	○
8219501	ペチジン塩酸塩・レバロルフアン酒石酸塩	○	○	○	○
8219502	ペチジン塩酸塩・レバロルフアン酒石酸塩	○	○	○	○

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:
がん性疼痛緩和指導管理料を算定された症例。分母の月に、E/Fファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例を1か月1症例で集計(月数)

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016
113012810	B001-22-1	がん性疼痛緩和指導管理料(緩和ケアに係る研修を受けた保険医)	○	○	○	○
113010210	B001-22-2	がん性疼痛緩和指導管理料(上記以外の場合)	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
慢性疼痛で処方されている症例が含まれるため、指標値が低く算出されることがある。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: [測定終了]がんの疼痛管理のため、定量的疼痛評価を受けた外来症例の割合（外来麻薬処方・がん診断症例）

指標番号:

QIP: 2112

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 緩和ケア

名称: [測定終了]がんの疼痛管理のため、定量的疼痛評価を受けた外来症例の割合（外来麻薬処方・がん診断症例）

意義: 痛みを客観的に評価し、痛みを適切にコントロールするためのプロセス。スケールの種類は問わない。

必要データセット: DPC様式1 外来EFファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 麻薬を処方された症例 このうち、入院データ（前後問わない）に癌の診断がコードされている症例の月数

分子: 分母のうち、定量的疼痛評価を受けた症例の月数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に外来で受診した症例を対象とする

2:

このうち、がんの診断を受けた症例。いずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ2

?ICD-10コード	病名
C\$	悪性新生物

3:

このうち、麻薬を処方された症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードのいずれかに、以下のいずれかの薬価基準コードに対応するレセ電コードが含まれる症例を1か月1症例で集計（月数）

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
C\$	悪性新生物

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

がん性疼痛緩和指導管理料を算定された症例。分母の月に、E/Fファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例を1か月1症例で集計（月数）

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014
113012810	B001-22-1	がん性疼痛緩和指導管理料（緩和ケアに係る研修を受けた保険医）	○	○	○
113010210	B001-22-2	がん性疼痛緩和指導管理料（上記以外の場合）	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
入院歴のない症例は算出から除外されている

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: [測定終了]がんの疼痛管理のため、定量的疼痛評価を受けた外来症例の割合（外来麻薬処方症例 フェンタニル除く）

指標番号:

QIP: 2113

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 緩和ケア

名称: [測定終了]がんの疼痛管理のため、定量的疼痛評価を受けた外来症例の割合（外来麻薬処方症例 フェンタニル除く）

意義: 痛みを客観的に評価し、痛みを適切にコントロールするためのプロセス。スケールの種類は問わない。

必要データセット: EFファイル

定義の要約:

分母: 麻薬を処方された症例（フェンタニルを除く）の月数

分子: 分母のうち、定量的疼痛評価を受けた症例の月数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に外来で受診した症例を対象とする

2 :
麻薬を処方された症例（フェンタニルを除く）を1か月1症例で集計（月数）

分母のデータ2

薬価基準コード上7ケタ	成分名	2010	2012	2014	2016
8114003	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○
8114004	モルヒネ硫酸塩水和物	○	○	○	○
8114005	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○
8114401	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○
8114402	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○
8114700	モルヒネ塩酸塩水和物	○	○	○	○
8119002	オキシコドン塩酸塩水和物	○	○	○	○
8119400	オキシコドン塩酸塩水和物		○	○	○
8119500	複方オキシコドン	○	○	○	○
8219001	フェンタニルクエン酸塩	○	○	○	○
8219400	フェンタニルクエン酸塩	○	○		○
8219701	フェンタニルクエン酸塩	○	○	○	○
8211001	ペチジン塩酸塩	○	○	○	○
8211400	ペチジン塩酸塩	○	○	○	○
8219002	メサドン塩酸塩		○	○	○
8219003	タベンタドール塩酸塩			○	○
8219500	ドロペリドール・フェンタニルクエン酸塩	○	○	○	○
8219501	ペチジン塩酸塩・レバロルフアン酒石酸塩	○	○	○	○
8219502	ペチジン塩酸塩・レバロルフアン酒石酸塩	○	○	○	○

3 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

がん性疼痛緩和指導管理料を算定された症例。分母の月に、E/Fファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例を1か月1症例で集計（月数）

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016
113012810	B001-22-1	がん性疼痛緩和指導管理料（緩和ケアに係る研修を受けた保険医）	○	○	○	○
113010210	B001-22-2	がん性疼痛緩和指導管理料（上記以外の場合）	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

フェンタニルを処方されている症例が算出の対象から除外されている

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 抗MRSA薬投与症例対して、細菌検査を実施された割合

指標番号:

QIP: 2108

年度: 2016

更新日: 2018-09-06

指標群: 感染症

名称: 抗MRSA薬投与症例対して、細菌検査を実施された割合

意義: 抗MRSA薬使用時は、抗MRSA薬および他の抗菌薬に対する感受性（耐性）の確認が勧告されている

必要データセット: Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 抗MRSA薬を投与された症例数

分子: 分母のうち、細菌検査を測定された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
このうち、抗MRSA薬を投与された症例。
E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる症例。

分母のデータ2

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○	○
6119401	テイコブラニン	○	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○	○
6249002	リネゾリド	○	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○	○

3 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母のうち、細菌培養同定検査が実施された症例。E/Fファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下のいずれかが含まれる症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2016	2018
160058210	細菌培養同定（口腔）	D0181	○	○	○	○	○
160058310	細菌培養同定（消化管）	D0182	○	○	○	○	○
160058410	細菌培養同定（泌尿器）	D0184	○	○	○	○	○
160058610	細菌培養同定（血液）	D0183	○	○	○	○	○
160058710	細菌培養同定（その他）	D0185	○	○	○	○	○
160058810	簡易培養	D0186	○	○	○	○	○
160058970	嫌気性培養加算	D0187	○	○	○	○	○

160144110 シブ電コード	細菌培養同定（気道） 診療行為名	D0181 区分	2010	2012	2014	2016	2018
160144510	細菌培養同定（呼吸器）	D0181	○	○	○	○	○
160144610	細菌培養同定（生殖器）	D0184	○	○	○	○	○
160144710	細菌培養同定（穿刺液）	D0183	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

感受性の確認が推奨されるが、診療報酬上、結果として菌が検出できず実施できなかった場合においては細菌薬剤感受性検査は算定しないため、細菌培養同定検査の有無を指標とする。

参考値:

参考資料:

1:

「抗MRSA薬使用の手引き」 <http://www.kansensho.or.jp/guidelines/>

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-06

名称: 抗MRSA薬投与に対して、薬物血中濃度を測定された症例の割合

指標番号:

QIP: 2023

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-01

指標群: 感染症

名称: 抗MRSA薬投与に対して、薬物血中濃度を測定された症例の割合

意義: 抗MRSA薬の使用に際し、有効血中濃度の維持、副作用の抑制、耐性化の回避のため、治療薬物モニタリング（TDM）が重要である。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: TDMを行うべき抗MRSA薬を投与された症例数

分子: 分母のうち、薬物血中濃度を測定された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、TDMを行うべき抗MRSA薬を注射で4日以上投与された症例。
E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが4日以上含まれる症例。

分母のデータ2

薬価基準コード7桁	名称	2010	2012	2014	2016	2018
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○	○
6119401	テイクプラニン	○	○	○	○	○

- 3 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :
特定薬剤治療管理料を算定された症例。E/Fファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
113000410	B001-2	特定薬剤治療管理料	○	○	○	○	○
113000510	B001-2	特定薬剤治療管理料（第4月目以降）	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

TDMは特定薬剤治療管理として月に1回のみ算定が可能である。このため、継続的なモニタリングがされているかなど、モニタリングの質は考慮できない。

参考値:

参考資料:

1:

薬剤成分名は、以下を参照。<http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-01

名称: 血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合

指標番号:

QIP: 2107

年度: 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: 感染症系

名称: 血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合

意義: 血液培養は1セットのみの場合の偽陽性による過剰治療を防ぐため、2セット以上行うことが推奨されている

必要データセット: Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 血液培養のオーダー日数 (人日)

分子: 血液培養のオーダーが1日に2件以上ある日数 (人日)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

実施日が解析期間のケースを対象とする

2:

このうち、EFファイルより下記の血液培養オーダー、1患者1日毎に実施された日数を集計する。同一日に複数のレコードがあっても、1とカウント。

分母のデータ2

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2016	2018
160058610	細菌培養同定検査 (血液)	D018-3	○	○	○	○	○

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

上記血液培養の実施回数が1日2回以上の日数を合計する。実施回数は1患者1日で合計する。実施回数は、EFファイルではEF-7='000'以外のレコード (Fファイル相当) から集計し、行為回数EF-21×使用量EF-12 (ただし、使用量は「0」の場合1として計算) を算出する。EファイルFファイルが別の場合、Fファイルより使用量F-12を抽出し、それに紐づくEファイルの行為回数E-15を掛け合わせて算出する。(使用量「0」の場合の処理は同様)

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

2014年度データ以降で測定 (2014年度診療報酬改定から、血液を2か所以上から採取した場合に限り、2回算定できる)

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

名称: [測定終了予定]血液培養1患者1日当たりの平均実施セット数

指標番号:

QIP: 2022

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-11-01

指標群: 感染症

名称: [測定終了予定]血液培養1患者1日当たりの平均実施セット数

意義: 血液培養は1セットのみの場合の偽陽性による過剰治療を防ぐため、2セット以上行うことが推奨されている

必要データセット: EFファイル

定義の要約:

分母: 血液培養のオーダー日数 (人日)

分子: 血液培養オーダー回数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

実施日が解析期間のケースを対象とする

2:

このうち、EFファイルより下記の血液培養オーダー、1患者1日毎に実施された日数を集計する。同一日に複数のレコードがあっても、1とカウント。

分母のデータ2

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014
160058610	細菌培養同定検査 (血液)	D018-3	○	○	○

分子の定義:

1:

上記血液培養の実施回数を集計期間全体で合計する。実施回数は、EFファイルではEF-7='000'以外のレコード (Fファイル相当) から集計し、行為回数EF-21×使用量EF-12 (ただし、使用量は「0」の場合1として計算) を算出する。EファイルFファイルが別の場合、Fファイルより使用量F-12を抽出し、それに紐づくEファイルの行為回数E-15を掛け合わせて算出する。(使用量「0」の場合の処理は同様)

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): セット

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

保険診療上算定できない可能性があるため、2セット以上実施されていても、1セットしか入力されていない可能性がある。算出された値は、1患者1日あたり平均実施セット数。3セット以上のオーダーがほぼないと考える場合、算出された値から1を引いた値が、2セットオーダーを行っている割合に近い値になる。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-11-01

名称: 全退院症例中、カテーテル留置による尿路感染症の発症率

指標番号:

QIP: 2021

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 感染症

名称: 全退院症例中、カテーテル留置による尿路感染症の発症率

意義: マネジメント

必要データセット: DPC様式1 Eファイル

定義の要約:

分母: 全退院症例

分子: 入院後、カテーテル留置による尿路感染症の発生した症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:
入院後に尿路感染症を発症した症例、入院後発症疾患名のいずれかにICD-10コードとして「T835」（尿路系プロステーシス、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応）が含まれる症例

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
尿路感染症の診断日が不明のため、因果が逆転している症例の存在も考えられる。病名の入力されていない場合（未入力、ほかの病名により欄が不足など）、検出力が下がる可能性があり、一方で入力に努めている施設では発症率が高く算出される可能性がある。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 術後敗血症発症率（緊急手術を除く）

指標番号:

QIP: 0274

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-07

指標群: 感染症

名称: 術後敗血症発症率（緊急手術を除く）

意義: 医療の質（アウトカム）。他施設よりも値が特に高い施設では治療安全に向けた安全管理を見直す契機になる

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 18歳以上の手術（緊急手術を除く）を行い退院した症例（周産期、産褥期、出産は除外）

分子: 分母のうち、術後敗血症のある症例（入院後発症した傷病名に敗血症の見られる症例）

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、手術1の点数表コードが、K00\$~K91\$で始まるコードが入力されている症例を手術症例として選択する。

4:

このうち、特定した手術1の手術日が入院当日もしくは翌日でありかつ、予定・緊急入院が「緊急入院」または「不明」である症例は除外する。
（年度により値が異なる。下記の注意事項も参照）

5:

主傷病名、入院の契機となった傷病名、または入院時併存症名に敗血症に関連する疾患のある症例は除外する

主傷病名、入院の契機となった傷病名、または入院時併存症名の病名に「敗血症」が含まれる、あるいは、それらのICD-10コードとして以下の敗血症に関連するコードのいずれかが含まれる症例を除外する

分母のデータ5

ICD-10コード	病名
A021	サルモネラ敗血症
A267	類丹毒性敗血症
A327	リステリア性敗血症
A392	急性髄膜炎菌血症
A393	慢性髄膜炎菌血症
A394	髄膜炎菌血症, 詳細不明
A40\$	レンサ球菌性敗血症
A41\$	その他の敗血症
A427	放線菌症<アクチノミセス症>性敗血症
B377	カンジダ性敗血症
O85	産じょく<褥>性敗血症
O883	産科的膿血性及び敗血症性塞栓症
P36	新生児の細菌性敗血症
P365	嫌気性菌による新生児の敗血症
P361	その他及び詳細不明のレンサ球菌による新生児の敗血症

P363 ICD-10コード	菌免疫不全による新生児の敗血症
P364	大腸菌による新生児の敗血症
P368	新生児のその他の細菌性敗血症
P369	新生児の細菌性敗血症, 詳細不明
P360	B群レンサ球菌による新生児の敗血症
P363	その他及び詳細不明のブドウ球菌による新生児の敗血症

6 :

免疫不全、悪性腫瘍、周産期、産褥期、出産は除外する。

いずれかの病名のICD-10コードに以下のいずれかが含まれる症例を除外する

分母のデータ6

ICD-10コード	病名
B20\$,	ヒト免疫不全ウイルス[H I V]病
B21\$,	ヒト免疫不全ウイルス[H I V]病
B22\$,	ヒト免疫不全ウイルス[H I V]病
B23\$,	ヒト免疫不全ウイルス[H I V]病
B24\$	ヒト免疫不全ウイルス[H I V]病
D80\$	主として抗体欠乏を伴う免疫不全症
D81\$	複合免疫不全症
D82\$	その他の大きな欠損に関連する免疫不全症
D83\$	分類不能型免疫不全症
D84\$	その他の免疫不全症
C\$	新生物（悪性）
O\$	妊娠,分娩および産褥
P\$	周産期に発生した病態

7 :

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :

医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を2番目に投入した傷病名あるいは入院後発症疾患名に「敗血症」の含まれる症例

あるいは、

医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を2番目に投入した傷病名あるいは入院後発症疾患名に対するICD-10コードのいずれかに敗血症に関連するコードの含まれる症例（敗血症に関連するコードは、分母の定義に示したものと同一）

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

手術症例の選択に、Kコードが割り当てられたものを気管切開以外すべて含めている。このため、たとえば内視鏡手術等も、手術に含めており、リスクの低い手術が多い施設では割合が低く算出される可能性がある。

計測対象の手術を「手術1」（主たる手術情報）に限定している。

手術症例の選択に、Kコードが割り当てられたものを気管切開以外すべて含めている。このため、たとえば内視鏡手術等も、手術に含めており、リスクの低い手術が多い施設では割合が低く算出される可能性がある。

計測対象の手術を「手術1」（主たる手術情報）に限定している。

緊急手術を除くためのアルゴリズムについては、今後改善の検討課題である。

※「予定・緊急医療入院」「予定・救急医療入院」：定義が年度で異なることに注意が必要。

2 :

2009年度までは診療情報管理士判断による。

3 :

2010年度～救命救急入院料をとれば救急と判断される。

4 :

2012年度～入院理由を下2桁で表現するように変更あり。

入院時、感染症を伴う症例の除外を行った方がよいのかどうかは今後の検討課題とする。

18歳未満では、同じ定義では検出数が非常に小さく指標にならない

参考値:

参考資料:

1 :

AHRQ quality indicators. Guide to patient safety indicators [version 3.1]. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2007 Mar 12. 76 p. (AHRQ Pub; no. 03-R203). AHRQ quality indicators. Patient safety indicators: technical specifications [version 4.2]. Appendices.

Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 74 p.

AHRQ quality indicators. Patient safety indicators: technical specifications [version 4.2]. PSI #12 postoperative pulmonary embolism or deep vein thrombosis. Rockville (MD): Agency for Healthcare Research and Quality (AHRQ); 2010 Sep. 2 p.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-07

名称: 市中肺炎症例に対し、尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例

指標番号:

QIP: 2031_4

年度: 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 感染症系

名称: 市中肺炎症例に対し、尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例

意義: 病原微生物の同定は、治療の最適化や耐性菌の対策上重要である。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル Dファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の市中肺炎症例

分子: 分母のうち、尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、市中肺炎症例。DPCコードの上6桁が040070（インフルエンザ、ウイルス性肺炎）、040080（肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎）いずれかであかつ、肺炎の重症度分類の7桁目（コードでは8．院内肺炎、市中肺炎）が「5」（市中肺炎）の症例

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例。診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為コード	診療行為名	2012	2014	2016	2018
160058610	D018-3	細菌培養同定（血液）	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

必ずしもすべての症例に必要な検査ではなく、100%を目指す指標ではない。

2:

Dファイルのない場合の結果は参考値（QIPでは疑似的にDPCコードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

参考値:

参考資料:

1:

成人市中肺炎診療ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 市中肺炎症例に対し、血液培養検査を受けた症例

指標番号:

QIP: 2031_5

年度: 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 感染症系

名称: 市中肺炎症例に対し、血液培養検査を受けた症例

意義: 病原微生物の同定は、治療の最適化や耐性菌の対策上重要である。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル Dファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の市中肺炎症例

分子: 分母のうち、血液培養検査を受けた症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。
- 3 :
このうち、市中肺炎症例。DPCコードの上6桁が040070（インフルエンザ、ウイルス性肺炎）、040080（肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎）いずれかであかつ、肺炎の重症度分類の7桁目（コードでは8。院内肺炎、市中肺炎）が「5」（市中肺炎）の症例
- 4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :
血液培養検査を受けた症例。診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為コード	診療行為名	2012	2014	2016	2018
160058610	D018-3	細菌培養同定（血液）	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
必ずしもすべての症例に必要な検査ではなく、100%を目指す指標ではない。
- 2 :
Dファイルのない場合の結果は参考値（QIPでは疑似的にDPCコードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

参考値:

参考資料:

1:

成人市中肺炎診療ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 市中肺炎症例に対し、入院当日から抗菌薬を投与された症例

指標番号:

QIP: 2031_6

年度: 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: 感染症系

名称: 市中肺炎症例に対し、入院当日から抗菌薬を投与された症例

意義: 早期診断並びに治療の適時性

必要データセット: DPC様式1 EFファイル Dファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の市中肺炎症例

分子: 分母のうち、入院当日から抗菌薬を投与された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、市中肺炎症例。DPCコードの上6桁が040070（インフルエンザ、ウイルス性肺炎）、040080（肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎）いずれかであかつ、肺炎の重症度分類の7桁目（コードでは8．院内肺炎、市中肺炎）が「5」（市中肺炎）の症例

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

入院日と同一日に抗菌薬（内服薬もしくは注射薬）を投与された症例。EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる症例。※薬価基準コード上7桁について、上2~4ケタ情報を利用、「xxx」は001~699として内服薬・注射薬を指定

分子のデータ1

薬価基準コード上7ケタ	内容
61**xxx	抗生物質製剤 内服薬・注射薬（xxxは001~699）※ただし 6191xxxは除く（ヘリコバクター・ピロリ菌除菌薬）
621*xxx	サルファ剤 内服薬・注射薬（xxxは001~699）
624*xxx	合成抗菌剤 内服薬・注射薬（xxxは001~699）
629*xxx	その他の化学療法剤 内服薬・注射薬（xxxは001~699）

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

成人市中肺炎診療ガイドラインでは、診断後4時間以内の抗生剤投与開始が勧められている。AHRQでは、4時間以内の投与を指標として提案している。投与時刻のデータがなく、日単位での把握では適時性を十分に評価できているとはいいいにくい。

2 :

Dファイルのない場合の結果は参考値（QIPでは疑似的にDPCコードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

参考値:

参考資料:

1 :

成人市中肺炎診療ガイドライン

日本標準商品分類（平成2年6月改定）中分類87 - 医薬品及び関連製品

http://www.soumu.go.jp/main_content/000294493.pdf

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 血液培養の実施 a. 広域抗菌薬使用時の血液培養実施率（共通定義）

指標番号:

QIP: 2124_w

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-26

指標群: 感染症

名称: 血液培養の実施 a. 広域抗菌薬使用時の血液培養実施率（共通定義）

意義: 広域抗菌薬を使用する際の望ましいプラクティス

必要データセット: EFファイル

定義の要約:

分母: 広域抗菌薬投与を開始した入院患者数

分子: 分母のうち投与開始初日に血液培養検査を実施した数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
入院中の広域抗菌薬(下記) に該当するものを検索する。また最初の算定日を同定する。

分母のデータ1

名称	薬価基準コード7桁	成分名
抗MRSA薬	6119400	アルベカシン硫酸塩
抗MRSA薬	6119402	ダプトマイシン
抗MRSA薬	6119401	テイコプラニン
抗MRSA薬	6113001	バンコマイシン塩酸塩
抗MRSA薬	6113400	バンコマイシン塩酸塩
抗MRSA薬	6249002	リネゾリド
抗MRSA薬	6249401	リネゾリド
カルバペネム系注射薬	6139400	メロペネム水和物
カルバペネム系注射薬	6139401	ピアペネム
カルバペネム系注射薬	6139402	ドリペネム水和物
カルバペネム系注射薬	6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム
カルバペネム系注射薬	6139503	パニペネム・ベタミプロン
ニューキノロン系注射薬	6241400	シプロフロキサシン
ニューキノロン系注射薬	6241401	パズフロキサシンメシル酸塩
ニューキノロン系注射薬	6241401	メシル酸パズフロキサシン
ニューキノロン系注射薬	6241402	レボフロキサシン水和物

分子の定義:

1 :
分母で同定した広域抗菌薬の最初の算定日に、血液培養の実施があれば分子 1 とする。

分子のデータ1

レセプト電算コード	名称	区分	2010	2012	2014	2016	2018
160058610	細菌培養同定検査（血液）	D018-3	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-26

名称: 広域抗菌薬使用までの培養検査実施率

指標番号:

QIP: 2124_2

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-26

指標群: 感染症

名称: 広域抗菌薬使用までの培養検査実施率

意義: 広域抗菌薬を使用する際の望ましいプラクティス

必要データセット: EFファイル

定義の要約:

分母: 広域抗菌薬投与を開始した入院患者数

分子: 分母のうち投与開始初日までに培養検査を実施した数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1: 入院中の広域抗菌薬(下記) に該当するものを検索する。また最初の算定日を同定する。

分母のデータ1

名称	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
抗MRSA経口薬	6249002	リネゾリド	○	○	○	○	○
抗MRSA経口薬	6249003	テジゾリドリン酸エステル					○
抗MRSA注射薬	6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○	○
抗MRSA注射薬	6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○	○
抗MRSA注射薬	6119401	テイコプラニン	○	○	○	○	○
抗MRSA注射薬	6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○	○
抗MRSA注射薬	6249401	リネゾリド			○	○	○
抗MRSA注射薬	6249402	テジゾリドリン酸エステル					○
カルバペネム系注射薬	6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○	○
カルバペネム系注射薬	6139401	ピアペネム	○	○	○	○	○
カルバペネム系注射薬	6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○	○
カルバペネム系注射薬	6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○	○
カルバペネム系注射薬	6139503	パニペネム・ベタミブロン	○	○	○	○	○
ニューキノロン系注射薬	6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○	○
ニューキノロン系注射薬	6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○	○
ニューキノロン系注射薬	6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○	○

分子の定義:

1: 入院日より分母で同定した広域抗菌薬の最初の算定日までに、下記の培養の実施があれば分子1とする。

分子のデータ1

レセプト電算コード	区分	名称	2010	2012	2014	2016	2018
160058210	180-1	細菌培養同定(口腔)	○	○	○	○	○
160058310	180-2	細菌培養同定(消化管)	○	○	○	○	○

160058410 レポート電算コード	180-4 区分	細菌培養同定（泌尿器） 名称	2010	2012	2014	2016	2018
160058610	180-3	細菌培養同定（血液）	○	○	○	○	○
160058710	180-5	細菌培養同定（その他）	○	○	○	○	○
160058810	180-6	簡易培養	○	○	○	○	○
160144410	180-1	細菌培養同定（気道）	○	○	○	○	○
160144510	180-1	細菌培養同定（呼吸器）	○	○	○	○	○
160144610	180-4	細菌培養同定（生殖器）	○	○	○	○	○
160144710	180-3	細菌培養同定（穿刺液）	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

バンコマイシンの内服薬は腸炎への利用であり、用途が異なり分母から削除した

2:

本定義では、広域抗菌薬を「抗MRSA薬（内服、注射、バンコマイシン内服は除く）、カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬」としている（2018年度の定義の見直し時）

3:

外来や紹介元での検査結果をもとに治療している場合、指標値が低くなる

4:

スクリーニング検査などを実施している場合、指標値が高くなる

参考値:

参考資料:

1:

抗菌薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンス - 日本感染症学会
http://www.kansensho.or.jp/guidelines/pdf/1708_ASP_guidance.pdf

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-26

名称: 広域抗菌薬使用時の血液培養実施率

指標番号:

QIP: 2124

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-26

指標群: 感染症

名称: 広域抗菌薬使用時の血液培養実施率

意義: 広域抗菌薬を使用する際の望ましいプラクティス

必要データセット: EFファイル

定義の要約:

分母: 広域抗菌薬投与を開始した入院患者数

分子: 分母のうち投与開始初日に血液培養検査を実施した数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

入院中の広域抗菌薬(下記) に該当するものを検索する。また最初の算定日を同定する。

分母のデータ1

名称	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
抗MRSA経口薬	6249002	リネゾリド	○	○	○	○	○
抗MRSA経口薬	6249003	テジゾリドリン酸エステル					○
抗MRSA注射薬	6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○	○
抗MRSA注射薬	6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○	○
抗MRSA注射薬	6119401	ティコプラニン	○	○	○	○	○
抗MRSA注射薬	6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○	○
抗MRSA注射薬	6249401	リネゾリド			○	○	○
抗MRSA注射薬	6249402	テジゾリドリン酸エステル					○
カルバペネム系注射薬	6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○	○
カルバペネム系注射薬	6139401	ピアペネム	○	○	○	○	○
カルバペネム系注射薬	6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○	○
カルバペネム系注射薬	6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○	○
カルバペネム系注射薬	6139503	パニペネム・ベタミブロン	○	○	○	○	○
ニューキノロン系注射薬	6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○	○
ニューキノロン系注射薬	6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○	○
ニューキノロン系注射薬	6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○	○

分子の定義:

1:

分母で同定した広域抗菌薬の最初の算定日に、血液培養の実施があれば分子1とする。

分子のデータ1

レセプト電算コード	名称	区分	2010	2012	2014	2016	2018
160058610	細菌培養同定検査(血液)	D018-3	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

バンコマイシンの内服薬は腸炎への利用であり、用途が異なり分母から削除した

2:

本定義では、広域抗菌薬を「抗MRSA薬（内服、注射、バンコマイシン内服は除く）、カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬」としている（2018年度の定義の見直し時）

参考値:

参考資料:

1:

抗菌薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンス - 日本感染症学会
http://www.kansensho.or.jp/guidelines/pdf/1708_ASP_guidance.pdf

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-26

名称: 経口第3世代セフェム処方が経口抗菌薬全体に占める割合

指標番号:

QIP: 2128

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-12

指標群: 感染症

名称: 経口第3世代セフェム処方が経口抗菌薬全体に占める割合

意義: 経口第3世代セフェムの削減は、薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランの目標項目である。2020年までに (2013年比) 50%削減が成果指標として掲げられている。

必要データセット: 外来EFファイル

定義の要約:

分母: 外来にて経口抗菌薬 (抗ウイルス薬、抗真菌薬を除く) の含まれる処方が実施された人日

分子: 外来にて経口第3世代セフェム処方の含まれる処方が実施された人日

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
 外来EFファイルより、経口抗菌薬 (抗ウイルス薬、抗真菌薬を除く) の含まれる処方が実施された人日を算出する。
 1日に複数の種類 (例: セフェム系経口抗菌薬とカルバペネム系経口抗菌薬) の処方や複数回の処方が見られた場合も 1人日とする。

分母のデータ1

薬価基準 コード7桁	レセプト電 算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6111002	620005060	ベンジルペニシリンベンザチ ン水和物	バイシリンG顆粒4万単位	○	○	○	○	○
6112001	620006026	クリンダマイシン塩酸塩	ダラシンカプセル75mg	○	○	○	○	○
6112001	620006027	クリンダマイシン塩酸塩	ダラシンカプセル150mg	○	○	○	○	○
6112003	620006165	リンコマイシン塩酸塩水和物	リンコシンカプセル250mg	○	○	○	○	○
6113001	620003894	バンコマイシン塩酸塩	塩酸バンコマイシン散0.5「MEE K」 500mg	○	○	○	○	
6113001	620006663	バンコマイシン塩酸塩	塩酸バンコマイシン散0.5g「マイラ ン」 500mg	○	○	○		
6113001	620006791	バンコマイシン塩酸塩	塩酸バンコマイシン散0.5g (シオノ ギ) 500mg	○	○	○	○	○
6113001	620008047	バンコマイシン塩酸塩	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「サワ イ」 500mg	○	○	○	○	○
6113001	620009408	バンコマイシン塩酸塩	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「タイ ヨー」 500mg	○	○	○	○	○
6113001	621731302	バンコマイシン塩酸塩	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「ME EK」 500mg			○	○	○
6113001	621738802	バンコマイシン塩酸塩	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「ファ イザー」 500mg			○	○	○
6121001	610454086	ピブメシリナム塩酸塩	メリシン錠50mg	○	○	○		
6123003	620008598	カナマイシンー硫酸塩	カナマイシンカプセル250mg「明 治」	○	○	○	○	○
6123003	620008599	カナマイシンー硫酸塩	カナマイシンシロップ5%「明治」 5 00mg	○	○	○	○	○
6123003	620008600	カナマイシンー硫酸塩	カナマイシンドライシロップ20%「明 治」 200mg	○	○	○	○	

薬価標準 コード7桁	2009年 電 算 コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6125001	620008752	コリスチンメタンスルホン酸 ナトリウム	コリマイシン散200万単位/g	○	○	○	○	○
6125001	620008753	コリスチンメタンスルホン酸 ナトリウム	メタコリマイシンカプセル300万単位/g	○	○	○	○	○
6126001	620003657	ポリミキシシンB 硫酸塩	硫酸ポリミキシシンB錠2.5万単位「ファイザー」	○	○	○	○	○
6126001	620003658	ポリミキシシンB 硫酸塩	硫酸ポリミキシシンB錠100万単位 「ファイザー」	○	○	○	○	○
6129001	616120011	セフチブテン水和物	セフテムカプセル100mg	○	○	○	○	○
6129001	616120012	セフチブテン水和物	セフテムカプセル200mg	○	○	○	○	○
6131001	610454003	アモキシシリン水和物	アモリン細粒10% 100mg	○	○	○	○	○
6131001	616130037	アモキシシリン水和物	アモペニキシシンカプセル2.5 2.5mg	○	○			
6131001	616130039	アモキシシリン水和物	アモリンカプセル1.25 1.25mg	○	○	○	○	○
6131001	616130040	アモキシシリン水和物	アモリンカプセル2.5 2.5mg	○	○	○	○	○
6131001	616130132	アモキシシリン水和物	サワシリン錠2.5 2.5mg	○	○	○	○	○
6131001	616130295	アモキシシリン水和物	パセトシン錠2.5 2.5mg	○	○	○	○	○
6131001	616130371	アモキシシリン水和物	ワイドシリン細粒200 200mg	○	○	○		
6131001	616130382	アモキシシリン水和物	セオキシリンカプセル2.5 2.5mg	○				
6131001	620005906	アモキシシリン水和物	アモキシシリン細粒20%「タツミ」				○	○
6131001	620006829	アモキシシリン水和物	アモキシシリンカプセル2.5mg「タツミ」	○	○	○	○	○
6131001	620006919	アモキシシリン水和物	サワシリンカプセル2.5 2.5mg	○	○	○	○	○
6131001	620006920	アモキシシリン水和物	サワシリン細粒10% 100mg	○	○	○	○	○
6131001	620007024	アモキシシリン水和物	パセトシンカプセル1.25 1.25mg	○	○	○	○	○
6131001	620007025	アモキシシリン水和物	パセトシンカプセル2.5 2.5mg	○	○	○	○	○
6131001	620007026	アモキシシリン水和物	パセトシン細粒10% 100mg	○	○	○	○	○
6131001	620008584	アモキシシリン水和物	アモキシシリンカプセル2.5mg「日医工」	○	○	○	○	○
6131001	620009117	アモキシシリン水和物	アモキシシリンカプセル2.5mg 「トーフ」	○	○	○	○	○
6131001	621073001	アモキシシリン水和物	ワイドシリン細粒20% 200mg			○	○	○
6131001	621073901	アモキシシリン水和物	アモキシシリンカプセル2.5mg「NP」		○	○	○	○
6131001	622054901	アモキシシリン水和物	サワシリンカプセル1.25 1.25mg	○	○	○	○	○
6131001	622066501	アモキシシリン水和物	アモキシシリンカプセル1.25mg「タツミ」	○	○	○	○	○
6131001	622066601	アモキシシリン水和物	アモキシシリン細粒10%「タツミ」				○	○
6131001	622111101	アモキシシリン水和物	アモキシシリンカプセル1.25mg 「トーフ」	○	○	○	○	○
6131001	622112901	アモキシシリン水和物	ワイドシリン細粒100 100mg	○	○	○		
6131001	622112902	アモキシシリン水和物	ワイドシリン細粒10% 100mg			○	○	○
6131001	622127801	アモキシシリン水和物	アモキシシリンカプセル1.25mg「日医工」	○	○	○	○	○
6131001	622165901	アモキシシリン水和物	アモペニキシシンカプセル1.25 1.25mg		○			
6131001	622165902	アモキシシリン水和物	アモキシシリンカプセル1.25mg「NP」		○	○	○	○
6131001	622476100	アモキシシリン水和物	アモキシシリン100mg細粒				○	

薬価基準 コード7桁	シロップ 算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6131002	616130305	アモキシシリン水和物 アンピシリン水和物	アモキシシリン200mg細粒 ピクシリンカプセル250mg	○			○	
6131002	616130307	アンピシリン水和物	ピクシリンドライシロップ100mg	○				
6131002	621074701	アンピシリン水和物	ピクシリンカプセル250mg	○	○	○	○	○
6131002	621075101	アンピシリン水和物	ピクシリンドライシロップ10% 100mg	○	○	○	○	○
6131004	610451022	バカンピシリン塩酸塩	ペングッド顆粒250mg	○				
6131004	610451023	バカンピシリン塩酸塩	ペングッド錠250mg	○	○	○	○	○
6131005	610454058		バストシリンカプセル250 250mg	○				
6131005	610454059		バストシリン細粒10% 100mg	○				
6131005	616130287		バストシリン細粒20% 200mg	○				
6131008	616130402	スルタミシリントシル酸塩水和物	ユナシン錠375mg	○				
6131008	616130474	スルタミシリントシル酸塩水和物	ユナシン細粒小児用100mg	○				
6131008	621076301	スルタミシリントシル酸塩水和物	ユナシン細粒小児用10% 100mg	○	○	○	○	○
6131008	621076401	スルタミシリントシル酸塩水和物	ユナシン錠375mg	○	○	○	○	○
6132001	610406230		パラントシンドライシロップ250 250mg	○				
6132001	620008636		セフラコールDS10% 100mg	○				
6132001	620008637		セフラコールDS25% 250mg	○				
6132002	610453048	セファレキシン	ケフレックスシロップ用細粒100 100mg	○	○	○	○	○
6132002	610454041	セファレキシン	センセファリンカプセル125 125mg	○	○	○	○	
6132002	610454042	セファレキシン	センセファリンカプセル250 250mg	○	○	○	○	
6132002	610454043	セファレキシン	センセファリンシロップ用細粒10% 100mg	○	○	○	○	
6132002	616130002	セファレキシン	L - ケフレックス小児用顆粒 200mg	○	○	○	○	○
6132002	616130003	セファレキシン	L - ケフレックス顆粒 500mg	○	○	○	○	○
6132002	616130115	セファレキシン	ケフレックスシロップ用細粒200 200mg	○	○	○	○	○
6132002	616130169	セファレキシン	シングル錠250 250mg	○	○	○		
6132002	616130214	セファレキシン	セファレキシン錠250「マルコ」 250mg	○	○			
6132002	616130229	セファレキシン	センセファリンシロップ用細粒20% 200mg	○	○	○	○	
6132002	616130378	セファレキシン	L - キザール顆粒500 500mg	○	○	○	○	○
6132002	616130442	セファレキシン	L - パシビドール顆粒「500」 500mg	○				
6132002	620003644	セファレキシン	ラリキシンカプセル250mg	○	○			
6132002	620003645	セファレキシン	ラリキシン錠250mg	○	○	○	○	○
6132002	620003646	セファレキシン	ラリキシンドライシロップ小児用10% 100mg	○	○	○	○	○
6132002	620003647	セファレキシン	ラリキシンドライシロップ小児用20% 200mg	○	○	○	○	○
6132002	620004512	セファレキシン	セファレキシンカプセル250mg	○	○	○	○	○

薬価基準 品名	レセプト電 簿コード	感分名	「トーフ」 漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
		セファレキシ	セファセル250mg					
6132002	620005025	セファレキシ	セファレキシカプセル250mg「日 医工」	○				
6132002	620006005	セファレキシ	セファレックスSR顆粒500mg	○	○	○		
6132002	620006878	セファレキシ	オーレキシンドライシロップ50%小児 用500mg	○	○	○		
6132002	620006933	セファレキシ	シングルカプセル250mg	○	○	○		
6132002	620006959	セファレキシ	セファレキシ顆粒500mg「トー フ」	○				
6132002	621082405	セファレキシ	セファレキシ複合顆粒500mg 「トーフ」				○	○
6132002	621083104	セファレキシ	セファレキシ顆粒500mg「JG」			○	○	○
6132002	621083503	セファレキシ	セファレキシ錠250mg「日医工」				○	○
6132002	621085602	セファレキシ	セファレキシンドライシロップ小児用5 0%「日医工」				○	○
6132002	622316900	セファレキシ	セファレキシ500mg持続性顆粒		○	○	○	
6132002	622476300	セファレキシ	セファレキシ250mg錠				○	
6132002	622476400	セファレキシ	セファレキシ500mgシロップ用				○	
6132002	622612500	セファレキシ	セファレキシ100mgシロップ用				○	○
6132002	622612600	セファレキシ	セファレキシ125mgカプセル				○	○
6132002	622612700	セファレキシ	セファレキシ200mgシロップ用				○	○
6132002	622612800	セファレキシ	セファレキシ250mgカプセル				○	○
6132005	610406059	セファクロ	エリカナルL顆粒375mg	○				
6132005	610406060	セファクロ	エリカナルカプセル250mg	○	○	○		
6132005	610406161	セファクロ	セクロダン細粒200mg	○	○	○		
6132005	610407044	セファクロ	L-シーシーエルカプセル187.5mg	○				
6132005	616130110	セファクロ	ケフラルカプセル250mg	○	○	○	○	○
6132005	616130112	セファクロ	ケフラル細粒小児用100mg	○	○	○	○	○
6132005	616130469	セファクロ	L-ケフラル顆粒375mg	○	○	○	○	○
6132005	616130482	セファクロ	アレンフラル細粒小児用100mg	○	○	○		
6132005	616130483	セファクロ	クリレル細粒小児用「100mg」100mg	○				
6132005	616130490	セファクロ	アレンフラルカプセル250mg	○	○	○		
6132005	616130491	セファクロ	クリレルカプセル「250mg」250mg	○	○			
6132005	616130492	セファクロ	ケフポリンカプセル250mg	○	○	○		
6132005	616130493	セファクロ	ザルツクラルカプセル250mg	○	○	○		
6132005	616130494	セファクロ	セクロダンカプセル250mg	○	○			
6132005	620003155	セファクロ	セクロダン細粒小児用100mg	○	○	○		
6132005	620003563	セファクロ	セファクロ細粒10%「マルコ」100mg	○	○			
6132005	620003564	セファクロ	セファクロ細粒20%「マルコ」200mg	○	○			
6132005	620004460	セファクロ	エリカナル細粒小児用10%100mg	○				

薬価基準 品名	品名	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6132005	620004489	セファクロル	ケフボリン細粒 10% 100mg	○	○	○		
6132005	620006923	セファクロル	セファクロルカプセル 250mg	○	○	○	○	○
6132005	620008657	セファクロル	トキクロルカプセル 250mg	○	○	○	○	○
6132005	621086806	セファクロル	セファクロル細粒小児用 10%「JG」 100mg			○	○	○
6132005	621087001	セファクロル	セファクロル細粒小児用 10%「サワイ」 100mg			○	○	○
6132005	621087903	セファクロル	セファクロル細粒 10%「日医工」 100mg		○	○	○	○
6132005	621088403	セファクロル	セファクロル細粒 20%「日医工」				○	○
6132005	621088601	セファクロル	エリカナールL 顆粒 375mg	○				
6132005	621088705	セファクロル	セファクロルカプセル 250mg「JG」			○	○	○
6132005	621088802	セファクロル	セファクロルカプセル 250mg「TKK」		○	○	○	○
6132005	621088901	セファクロル	セファクロルカプセル 250mg「サワイ」			○	○	○
6132005	621089103	セファクロル	セファクロルカプセル 250mg「SN」			○	○	
6132005	621089501	セファクロル	セファクロルカプセル 250mg「日医工」		○	○	○	
6132005	621089701	セファクロル	セファクロルカプセル 250mg「トーフ」		○	○	○	○
6132005	622316800	セファクロル	セファクロル 100mg 細粒		○	○	○	○
6132005	622476500	セファクロル	セファクロル 200mg 細粒				○	○
6132005	622612400	セファクロル	セファクロル 250mg カプセル				○	○
6132006	620005947	セフロキサジン水和物	オラスポア小児用ドライシロップ 10% 100mg	○	○	○	○	○
6132006	620006006	セフロキサジン水和物	セフロキサジンドライシロップ 10% 「CH」 100mg	○				
6132007	616130508		ドルセファンカプセル 250 250mg	○				
6132007	616130509		ドルセファンドライシロップ 100 100mg	○				
6132007	616130510		サリスロンドドライシロップ「200」 200mg	○				
6132007	616130511		ドルセファンドライシロップ 200 200mg	○				
6132008	610453056	セフィキシム	セキスパノン細粒 50mg	○	○	○		
6132008	610453058	セフィキシム	セフィーナカプセル 100 100mg	○				
6132008	610453059	セフィキシム	セフィーナ細粒 50 50mg	○	○	○	○	○
6132008	610463089	セフィキシム	セキシム細粒 50mg	○				
6132008	610463092	セフィキシム	セフパ細粒 50mg	○				
6132008	616130404	セフィキシム	セフスパン細粒 50mg	○	○	○	○	○
6132008	616130405	セフィキシム	セフスパンカプセル 50mg	○	○	○	○	○
6132008	616130406	セフィキシム	セフスパンカプセル 100mg	○	○	○	○	○
6132008	620000061	セフィキシム	セフィーナ細粒 100 100mg	○	○	○	○	○
6132009	616130407	セフテラム ピボキシル	トミロン錠 50 50mg	○	○	○	○	○
6132009	616130408	セフテラム ピボキシル	トミロン錠 100 100mg	○	○	○	○	○
6132009	620002739	セフテラム ピボキシル	セトラート細粒小児用 10% 100mg	○				

薬価基準 コード7桁	算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6132009	620003740	セフテラム ピボキシル	セトラート錠100mg	○				
6132009	620002755	セフテラム ピボキシル	テラセフロン細粒100mg小児用	○	○	○		
6132009	620002756	セフテラム ピボキシル	テラミロン細粒小児用10% 100mg	○	○	○	○	
6132009	620002833	セフテラム ピボキシル	ボキシロン細粒小児用10% 100mg	○				
6132009	620002834	セフテラム ピボキシル	ボキシロン錠100mg	○				
6132009	620003583	セフテラム ピボキシル	トミロン細粒小児用10% 100mg	○	○	○	○	○
6132009	620005512	セフテラム ピボキシル	ソマトロン細粒小児用100 100mg	○	○			
6132009	621675801	セフテラム ピボキシル	セフテラムピボキシル細粒小児用10%「日医工」100mg		○	○	○	
6132009	622603901	セフテラム ピボキシル	トミロン細粒小児用20% 200mg				○	○
6132009	622613300	セフテラム ピボキシル	セフテラム ピボキシル100mg細粒				○	○
6132010	620004958	セフロキシム アキセチル	オラセフ錠250mg	○	○	○	○	○
6132011	620003968	セフポドキシム プロキセチル	セフポドキシムプロキセチル錠100「TCK」100mg	○	○	○	○	○
6132011	620003969	セフポドキシム プロキセチル	セフポドキシムプロキセチル錠100mg「CH」	○				
6132011	620003970	セフポドキシム プロキセチル	セフポドキシムプロキセチル錠100mg「タイヨー」	○	○	○	○	○
6132011	620003971	セフポドキシム プロキセチル	セフポドキシムプロキセチルDS5%「CH」50mg	○	○	○		
6132011	620003972	セフポドキシム プロキセチル	セフポドキシムプロキセチルDS5%「タイヨー」50mg	○	○	○		
6132011	620003973	セフポドキシム プロキセチル	セボキシム錠100mg	○	○	○		
6132011	620003974	セフポドキシム プロキセチル	セボキシムドライシロップ小児用5%50mg	○	○			
6132011	620004021	セフポドキシム プロキセチル	バナセファン錠100mg	○	○	○		
6132011	620004022	セフポドキシム プロキセチル	バナセファンDS5%50mg	○	○	○		
6132011	620008681	セフポドキシム プロキセチル	バナン錠100mg	○	○	○	○	○
6132011	620008682	セフポドキシム プロキセチル	バナンドライシロップ5%50mg	○	○	○	○	○
6132011	621744202	セフポドキシム プロキセチル	セフポドキシムプロキセチル錠100mg「タナベ」	○	○	○		
6132011	621744203	セフポドキシム プロキセチル	セフポドキシムプロキセチル錠100mg「JG」		○	○	○	○
6132011	621744401	セフポドキシム プロキセチル	セフポドキシムプロキセチル錠100mg「トーフ」		○	○	○	○
6132011	621747601	セフポドキシム プロキセチル	セフポドキシムプロキセチル錠100mg「サワイ」			○	○	○
6132011	621747701	セフポドキシム プロキセチル	セフポドキシムプロキセチルDS小児用5%「サワイ」50mg			○	○	○
6132012	616130476	セフォチアム ヘキセチル塩酸塩	パンスポリンT錠100 100mg	○	○	○	○	
6132012	616130477	セフォチアム ヘキセチル塩酸塩	パンスポリンT錠200 200mg	○	○	○	○	
6132013	616130531	セフジニル	セフゾンカプセル50mg	○	○	○	○	○
6132013	616130532	セフジニル	セフゾンカプセル100mg	○	○	○	○	○

薬価基準 6132013 6132013	シセプト電 620004513 620004513	セフジニル 成分名ニル	セフゾン細粒小児用1.0% 100mg 漢字名称 セフジニルカプセル50mg「マイラ ン」	2010	2012	2014	2016	2018
6132013	620008480	セフジニル	セフジニルカプセル100mg「マイラ ン」	○	○	○		
6132013	620008481	セフジニル	セフジニル細粒小児用1.0%「MED」 100mg	○	○	○	○	
6132013	620008482	セフジニル	セフジニル細粒小児用1.0%「サワイ」 100mg	○	○	○	○	○
6132013	620008483	セフジニル	セフジニル細粒小児用1.0%「YD」 100mg	○	○	○	○	○
6132013	620008484	セフジニル	セフジニル細粒1.0%小児用「日医工」 100mg	○	○	○	○	○
6132013	620008485	セフジニル	セフジニル細粒1.0%小児用「マイラ ン」 100mg	○	○	○		
6132013	620008486	セフジニル	セフジニル小児用細粒1.0%「CH」 1 00mg	○				
6132013	620008487	セフジニル	セフジニル錠50mg「MED」	○	○	○	○	
6132013	620008488	セフジニル	セフジニル錠50mg「サワイ」	○	○	○	○	
6132013	620008489	セフジニル	セフジニル錠100mg「MED」	○	○	○	○	
6132013	620008490	セフジニル	セフジニル錠100mg「サワイ」	○	○	○	○	
6132013	620008491	セフジニル	セフニールカプセル50mg	○	○	○	○	
6132013	620008492	セフジニル	セフニールカプセル100mg	○	○	○	○	
6132013	620009333	セフジニル	セフジニルカプセル50mg「CH」	○				
6132013	620009334	セフジニル	セフジニルカプセル50mg「TCK」	○	○	○	○	
6132013	620009335	セフジニル	セフジニルカプセル50mg「TYK」	○	○	○	○	
6132013	620009336	セフジニル	セフジニルカプセル50mg「日医工」	○	○	○	○	
6132013	620009337	セフジニル	セフジニルカプセル50mg「YD」	○	○	○	○	
6132013	620009338	セフジニル	セフジニルカプセル100mg「CH」	○				
6132013	620009339	セフジニル	セフジニルカプセル100mg「TC K」	○	○	○	○	
6132013	620009340	セフジニル	セフジニルカプセル100mg「TY K」	○	○	○	○	
6132013	620009341	セフジニル	セフジニルカプセル100mg「日医 工」	○	○	○	○	
6132013	620009342	セフジニル	セフジニルカプセル100mg「YD」	○	○	○	○	
6132013	620009343	セフジニル	セフジニル細粒1.0%小児用「TYK」 100mg	○	○	○	○	○
6132013	620009344	セフジニル	セフニール細粒小児用1.0% 100m g	○	○	○	○	
6132013	621885102	セフジニル	セフジニルカプセル50mg「ファイ ザー」			○	○	
6132013	621885202	セフジニル	セフジニルカプセル100mg「ファイ ザー」			○	○	
6132013	621885302	セフジニル	セフジニル細粒1.0%小児用「ファイ ザー」 100mg			○	○	○
6132013	621889402	セフジニル	セフジニル小児用細粒1.0%「タナベ」 100mg	○	○	○		
6132013	621889403	セフジニル	セフジニル細粒小児用1.0%「JG」 100mg		○	○	○	○
6132013	621889701	セフジニル	セフジニルカプセル50mg「トーワ」				○	○
6132013	621889801	セフジニル	セフジニルカプセル100mg「トー				○	○

薬価基準 コード	レセプト電 算コード	セフジニル 成分名	ワ セフジニル細粒小児用 1.0% 「トーワ」 漢字名称 1.00mg	2010	2012	2014	2016	2018
6132013	621910001	セフジニル	セフジニルカプセル5.0mg 「タナベ」	○	○	○		
6132013	621910002	セフジニル	セフジニルカプセル5.0mg 「JG」		○	○	○	
6132013	621910101	セフジニル	セフジニルカプセル1.00mg 「タナベ」	○	○	○		
6132013	621910102	セフジニル	セフジニルカプセル1.00mg 「JG」		○	○	○	
6132013	621935801	セフジニル	セフジニル細粒小児用1.0% 「タイヨー」 1.00mg	○	○	○	○	○
6132013	621935901	セフジニル	セフジニル細粒小児用2.0% 「タイヨー」 2.00mg	○	○	○	○	
6132013	621962201	セフジニル	シオジニルカプセル5.0mg	○	○			
6132013	621962301	セフジニル	シオジニルカプセル1.00 1.00mg	○	○			
6132013	622612900	セフジニル	セフジニル5.0mgカプセル				○	○
6132013	622613000	セフジニル	セフジニル5.0mg錠				○	○
6132013	622613100	セフジニル	セフジニル1.00mgカプセル				○	○
6132013	622613200	セフジニル	セフジニル1.00mg錠				○	○
6132015	620004080	セフジトレン ピボキシル	メイアクトMS錠1.00mg	○	○	○	○	○
6132015	620005499	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル細粒小児用1.0% 「トーワ」 1.00mg	○	○	○	○	○
6132015	620005500	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル細粒1.0%小児用「日医工」 1.00mg	○	○	○	○	○
6132015	620005501	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル小児用細粒1.0% 「EMEC」 1.00mg	○	○	○	○	○
6132015	620005502	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル小児用細粒1.0% 「サワイ」 1.00mg	○	○	○	○	○
6132015	620005503	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル小児用細粒1.0% 「CH」 1.00mg	○	○	○	○	○
6132015	620005504	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル小児用細粒1.0% 「タイヨー」 1.00mg	○	○	○		
6132015	620005505	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル錠1.00mg 「サワイ」	○	○	○	○	○
6132015	620005506	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル錠1.00mg 「CH」	○	○	○	○	○
6132015	620005507	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル錠1.00mg 「トーワ」	○	○	○	○	○
6132015	620005508	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル錠1.00mg 「日医工」	○	○	○	○	○
6132015	620008746	セフジトレン ピボキシル	メイアクトMS小児用細粒1.0% 1.00mg	○	○	○	○	○
6132015	622559401	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル錠1.00mg 「OK」				○	○
6132015	622644301	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル小児用細粒1.0% 「OK」 1.00mg					○
6132016	610411057	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	フロモックス錠7.5mg	○	○	○	○	○
6132016	610411058	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	フロモックス錠1.00mg	○	○	○	○	○
6132016	610411059	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	フロモックス小児用細粒1.00mg	○	○	○	○	○
6132016	620009331	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠7.5mg 「サワイ」	○	○	○	○	○

6132016 薬価基準 コード7桁	620009332 セブテブ 算コード	セフカペン 塩水和物 成分名	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg 「サワイ」 漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6132016	621930801	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg 「TCK」	○	○	○	○	○
6132016	621930901	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg 「TCK」	○	○	○	○	○
6132016	621931001	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児100mg TCK 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621939401	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「JG」 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621940201	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「YD」 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621940301	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg 「YD」	○	○	○	○	○
6132016	621940401	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg 「YD」	○	○	○	○	○
6132016	621942901	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児10%「マイラン」 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621942904	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%ファイザー 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621943001	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg 「マイラン」	○	○	○	○	○
6132016	621943004	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg 「ファイザー」	○	○	○	○	○
6132016	621943101	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg 「マイラン」	○	○	○	○	○
6132016	621943104	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg 「ファイザー」	○	○	○	○	○
6132016	621946301	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「トーワ」 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621947501	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg 「トーワ」	○	○	○	○	○
6132016	621947601	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg 「トーワ」	○	○	○	○	○
6132016	621955901	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「CH」 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621956001	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg 「CH」	○	○	○	○	○
6132016	621956101	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg 「CH」	○	○	○	○	○
6132016	621962401	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒10% 小児用「日医工」 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621962501	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩小児用細粒 10%「サワイ」 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621962601	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg 「日医工」	○	○	○	○	○
6132016	621962701	セフカペン 塩水和物	ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg 「日医工」	○	○	○	○	○
6135001	616130332	ホスホマイシンカルシウム水 和物		ホスミンドライシロップ200 200mg	○	○	○	○	○
6135001	616130333	ホスホマイシンカルシウム水 和物		ホスミンドライシロップ400 400mg	○	○	○	○	○
6135001	616130456	ホスホマイシンカルシウム水 和物		ハロスミンカプセル500 500mg	○	○	○	○	○
6135001	616130457	ホスホマイシンカルシウム水 和物		ハロスミンドライシロップ400 400mg	○	○	○	○	○

薬価標準 コード7桁	14130512電 算コード	成分 名称	成分 漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6135001	616130513	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスミシン錠 25 ● 25 ●mg	○	○	○	○	○
6135001	616130517	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスミシン錠 5 ● ● 5 ● ●mg	○	○	○	○	○
6135001	616130526	ホスホマイシンカルシウム水和物	ブルーバシリンカプセル 5 ● ●mg	○				
6135001	620008731	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホミンドライシロップ 4 ● ● 4 ● ●mg	○	○	○	○	
6135001	621113002	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウムカプセル 5 ● ●mg 「日医工」		○	○	○	
6135001	621113712	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウム D S 4 ● % 「日医工」 4 ● ●mg		○	○	○	○
6135001	621946401	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスマイカプセル 2 5 ●mg	○	○	○	○	
6135001	621964001	ホスホマイシンカルシウム水和物	ハロスミンカプセル 2 5 ● 2 5 ●mg	○	○			
6135001	621964002	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウムカプセル 2 5 ●mg 「日医工」		○	○	○	
6135001	622323800	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウム 4 ● ●mg シロップ用		○	○	○	
6135001	622616100	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウム 2 5 ●mg カプセル				○	○
6135001	622616200	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウム 4 ● ●mg シロップ用				○	○
6135001	622616300	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウム 5 ● ●mg カプセル				○	○
6139001	610411055	ファロペナムナトリウム水和物	ファロム錠 1 5 ●mg	○	○	○	○	○
6139001	610411056	ファロペナムナトリウム水和物	ファロム錠 2 ● ●mg	○	○	○	○	○
6139001	620008702	ファロペナムナトリウム水和物	ファロムドライシロップ小児用 1 ● % 1 ● ●mg	○	○	○	○	○
6139002	621926801	テレビペナム ピボキシル	オラペナム小児用細粒 1 ● % 1 ● ●mg	○	○	○	○	○
6139100	620003126	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	クラバモックス小児用ドライシロップ 6 3 6 . 5 mg	○				
6139100	620003521	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	オーグメンチン錠 1 2 5 1 8 7 . 5 mg	○				
6139100	620003522	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	オーグメンチン錠 2 5 ● 3 7 5 mg	○				
6139100	621116201	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	オーグメンチン配合錠 1 2 5 S S 1 8 7 . 5 mg	○	○	○	○	○
6139100	621116301	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	オーグメンチン配合錠 2 5 ● R S 3 7 5 mg	○	○	○	○	○
6139100	621709001	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	クラバモックス小児用配合ドライシロップ 6 3 6 . 5 mg	○	○	○	○	○
6141001	620000022	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	エリスロシンW顆粒 2 ● % 2 ● ●mg	○	○	○	○	○
6141001	620001974	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	エリスロシンドライシロップW 2 ● % 2 ● ●mg	○	○	○	○	○
6141001	620001975	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	エリスロシンドライシロップ 1 ● % 1 ● ●mg	○	○	○	○	○
6141002	620004463	エリスロマイシン	エリスロマイシン錠 2 ● ●mg 「サワ	○	○	○	○	○

薬価基準 品目コード	レセプト電 算コード	成分名	イ」 漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6141004	620000021	エリスロマイシステアリン酸塩	エリスロシン錠100mg					
6142001	620003495	スピラマイシン酢酸エステル	アセチルスピラマイシン錠100 100mg	○	○	○	○	○
6142001	620003496	スピラマイシン酢酸エステル	アセチルスピラマイシン錠200 200mg	○	○	○	○	○
6145001	620003554	ジョサマイシン	ジョサマイシン錠50mg	○	○	○	○	○
6145001	620003555	ジョサマイシン	ジョサマイシン錠200mg	○	○	○	○	○
6145002	620004503	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	ジョサマイシロップ3% 300mg	○	○	○	○	○
6145002	620004504	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	ジョサマイシロップ1% 100mg	○	○	○	○	○
6146001	620008754		メデマイシンカプセル200mg	○				
6146002	616140090		ミオカマイシン錠200 200mg	○				
6146002	616140091		ミオカマイシンドライシロップ100 100mg	○				
6146002	616140092		ミオカマイシンドライシロップ200 200mg	○				
6149001	610406338	ロキタマイシン	リカマイシンドライシロップ200 200mg	○	○	○		
6149001	616140094	ロキタマイシン	リカマイシン錠100mg	○				
6149001	621121601	ロキタマイシン	リカマイシン錠100mg	○	○			
6149002	616140099	ロキシスロマイシン	ルリッド錠150 150mg	○	○	○	○	○
6149002	620002697	ロキシスロマイシン	オーロライド錠150 150mg	○	○			
6149002	620002868	ロキシスロマイシン	ラドリッド錠150mg	○				
6149002	620002882	ロキシスロマイシン	ルリシン錠150mg	○	○	○		
6149002	620002885	ロキシスロマイシン	ロキシマイン錠150mg	○	○	○	○	
6149002	620002887	ロキシスロマイシン	ロクスリッド錠150 150mg	○	○	○		
6149002	620002890	ロキシスロマイシン	ロキライド錠150 150mg	○	○	○		
6149002	620004096	ロキシスロマイシン	ロキシスロマイシン錠150mg「サンド」	○	○	○	○	○
6149002	620005638	ロキシスロマイシン	ロキシスロマイシン錠150mg「MED」	○	○	○	○	
6149002	620009499	ロキシスロマイシン	ロキシスロマイシン錠150mg「マイルラン」	○	○			
6149002	621675901	ロキシスロマイシン	ロキシスロマイシン錠150mg「日医工」			○	○	○
6149002	621681102	ロキシスロマイシン	ロキシスロマイシン錠150mg「RM」		○	○	○	
6149002	621693301	ロキシスロマイシン	ロキシスロマイシン錠150mg「タナベ」	○	○	○		
6149002	621693303	ロキシスロマイシン	ロキシスロマイシン錠150mg「JG」		○	○	○	○
6149002	621694201	ロキシスロマイシン	ロキシスロマイシン錠150mg「サワイ」			○	○	○
6149002	621694501	ロキシスロマイシン	ロキシスロマイシン錠150mg「トーフ」				○	○
6149002	621694602	ロキシスロマイシン	ロキシスロマイシン錠150mg「ファイザー」		○	○	○	○

薬価基準 6149003 算140102	シブド電 616140102	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6149003	616140104	クラリスロマイシン	クラリシッド錠5 <small>㊦</small> mg小児用	○	○	○	○	○
6149003	616140105	クラリスロマイシン	クラリス錠5 <small>㊦</small> 小児用 5 <small>㊦</small> mg	○	○	○	○	○
6149003	620003916	クラリスロマイシン	クラリス錠2 <small>㊦</small> 2 <small>㊦</small> mg	○	○	○	○	○
6149003	620003917	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠小児用5 <small>㊦</small> mg 「タカタ」	○	○	○	○	○
6149003	620003918	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5 <small>㊦</small> 小児用「TC K」 5 <small>㊦</small> mg	○	○	○	○	○
6149003	620003918	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5 <small>㊦</small> mg小児用 「EMEC」	○	○	○	○	○
6149003	620003919	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5 <small>㊦</small> mg小児用 「NP I」	○	○	○	○	○
6149003	620003920	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5 <small>㊦</small> mg小児用 「サワイ」	○	○	○	○	○
6149003	620003921	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5 <small>㊦</small> mg小児用 「CH」	○	○	○	○	○
6149003	620003922	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5 <small>㊦</small> mg小児用 「タイヨー」	○	○	○	○	○
6149003	620003923	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5 <small>㊦</small> mg小児用 「日医工」	○	○	○	○	○
6149003	620003924	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5 <small>㊦</small> mg小児用 「PH」	○	○			
6149003	620003926	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2 <small>㊦</small> 「ME E K」 2 <small>㊦</small> mg	○	○	○	○	○
6149003	620003927	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2 <small>㊦</small> 「TC K」 2 <small>㊦</small> mg	○	○	○	○	○
6149003	620003928	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2 <small>㊦</small> mg「EM EC」	○	○	○	○	○
6149003	620003929	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2 <small>㊦</small> mg「NP I」	○	○	○	○	○
6149003	620003930	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2 <small>㊦</small> mg「サワ イ」	○	○	○	○	○
6149003	620003931	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2 <small>㊦</small> mg「サン ド」	○	○	○	○	○
6149003	620003932	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2 <small>㊦</small> mg「C H」	○	○	○	○	○
6149003	620003933	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2 <small>㊦</small> mg「タイ ヨー」	○	○	○	○	○
6149003	620003934	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2 <small>㊦</small> mg「タカ タ」	○	○	○	○	○
6149003	620003935	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2 <small>㊦</small> mg「日医 工」	○	○	○	○	○
6149003	620003936	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2 <small>㊦</small> mg「P H」	○	○			
6149003	620003939	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS1 <small>㊦</small> %「ME E K」 1 <small>㊦</small> mg	○	○	○	○	○
6149003	620003940	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS1 <small>㊦</small> %小児用 「EMEC」 1 <small>㊦</small> mg	○	○	○	○	○
6149003	620003941	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS1 <small>㊦</small> %小児用 「サワイ」 1 <small>㊦</small> mg	○	○	○	○	○
6149003	620003942	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS1 <small>㊦</small> %小児用 「日医工」 1 <small>㊦</small> mg	○	○	○	○	○
6149003	620003943	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS小児用1 <small>㊦</small> % 「タカタ」 1 <small>㊦</small> mg	○	○	○	○	○
6149003	620003945	クラリスロマイシン	クラロイシン錠5 <small>㊦</small> 小児用 5 <small>㊦</small> mg	○	○	○	○	○

薬価基準 コード7桁 6149003	商品名 算コード 620004075	成分名 クラリスロマイシン	漢字名称 クラロイジン錠200 200mg マインベース錠50小児用 50mg	2010	2012	2014	2016	2018
6149003	620004076	クラリスロマイシン	マインベース錠200 200mg	○	○	○	○	○
6149003	620004077	クラリスロマイシン	マインベースDS10%小児用 100mg	○	○	○	○	○
6149003	620004089	クラリスロマイシン	リクモース錠小児用50mg	○	○			
6149003	620004090	クラリスロマイシン	リクモース錠200mg	○	○			
6149003	620004091	クラリスロマイシン	リクモースドライシロップ小児用10% 100mg	○	○			
6149003	620004476	クラリスロマイシン	クラリシッド・ドライシロップ10%小 児用 100mg	○	○	○	○	○
6149003	620004974	クラリスロマイシン	クラリスドライシロップ10%小児用 100mg	○	○	○	○	○
6149003	620005353	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS10%小児用 「コーワ」 100mg	○	○			
6149003	620005425	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠50小児用「ME EK」 50mg	○	○	○	○	○
6149003	620005426	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンドライシロップ1 0%小児用タイヨー 100mg	○	○	○	○	○
6149003	620005427	クラリスロマイシン	クラロイシンドライシロップ10%小児 用 100mg	○	○	○	○	○
6149003	620006669	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠50mg小児用 「マイラン」	○	○	○	○	○
6149003	620006670	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠200mg「マイ ラン」	○	○	○	○	○
6149003	620006671	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS10%小児用 「マイラン」 100mg	○	○	○	○	○
6149003	620008013	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠200mg「タナ ベ」	○	○	○	○	○
6149003	620008014	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS10%小児用 「CH」 100mg	○	○	○	○	○
6149003	621741203	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠50mg小児用 「杏林」		○	○	○	○
6149003	621742103	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠200mg「杏 林」		○	○	○	○
6149003	621742605	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS10%小児用 「TYK」 100mg		○	○		
6149003	621752801	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠小児用50mg 「トーフ」		○	○	○	○
6149003	621752901	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠200mg「トー ワ」		○	○	○	○
6149003	621753001	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS小児用1 0%「トーフ」 100mg		○	○	○	○
6149003	622079301	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠50mg小児用 「NP」	○	○	○	○	○
6149003	622079401	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠200mg「N P」	○	○	○	○	○
6149004	610443024	アジスロマイシン水和物	ジスロマックカプセル小児用100mg	○	○	○	○	○
6149004	610443025	アジスロマイシン水和物	ジスロマック細粒小児用 100mg	○				
6149004	610443026	アジスロマイシン水和物	ジスロマック錠250mg	○	○	○	○	○
6149004	610451034	アジスロマイシン水和物	ジスロマック錠600mg	○	○	○	○	○
6149004	620009094	アジスロマイシン水和物	ジスロマックSR成人用ドライシロップ 2g	○	○	○	○	○

薬価標準 コード7桁	レセプト電 算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6149004	622269401	アジスロマイシン水和物	アジスロマック細粒小児用1.0% 100mg「YD」	○	○	○	○	○
6149004	622269501	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン細粒小児用1.0%「YD」 100mg	○	○	○	○	○
6149004	622269601	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「YD」	○	○	○	○	○
6149004	622270801	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「日医工」	○	○	○	○	○
6149004	622270901	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠500mg「日医工」	○	○	○	○	○
6149004	622274201	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「KN」	○	○	○	○	○
6149004	622274301	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン細粒1.0%小児用「KN」 100mg	○	○	○	○	○
6149004	622274401	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「タカタ」	○	○	○	○	○
6149004	622274501	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン小児用細粒1.0%「タカタ」 100mg	○	○	○	○	○
6149004	622274601	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン小児用錠100mg「タカタ」	○	○	○	○	○
6149004	622275401	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「わかもと」	○	○	○	○	○
6149004	622275601	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「アメル」	○	○	○	○	○
6149004	622276801	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「KOG」	○	○	○	○	○
6149004	622281501	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「トーフ」	○	○	○	○	○
6149004	622281601	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠500mg「トーフ」	○	○	○	○	○
6149004	622282801	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「テバ」	○	○	○	○	○
6149004	622286701	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「DSE P」	○	○	○	○	○
6149004	622289801	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「サンド」	○	○	○	○	○
6149004	622290701	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「JG」	○	○	○	○	○
6149004	622290801	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「JG」	○	○	○	○	○
6149004	622294801	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「F」	○	○	○	○	○
6149004	622295301	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン細粒小児用1.0%「JG」 100mg	○	○	○	○	○
6149004	622295401	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「サワイ」	○	○	○	○	○
6149004	622296901	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「NP」	○	○	○	○	○
6149004	622303201	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「SN」	○	○	○	○	○
6149004	622303301	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン細粒小児用1.0%「SN」 100mg	○	○	○	○	○
6149004	622303401	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「SN」	○	○	○	○	○
6149004	622352901	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「TCK」	○	○	○	○	○
6149004	622353001	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「TCK」	○	○	○	○	○

薬価基準 コード7桁	レセプト電 算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6149004	622353101 622368001	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン細粒小児用10%「T CK」 アジスロマイシン錠250mg「CH M」			○	○	○
6149004	622411501	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン細粒小児用10%「トーワ」100mg			○	○	○
6149005	620000434		ケテック錠300mg	○				
6151001	616150012	クロラムフェニコール	クロロマイセチン250 250mg	○				
6151001	616150013	クロラムフェニコール	クロロマイセチン500 500mg	○				
6151001	621122501	クロラムフェニコール	クロロマイセチン錠500 500mg	○	○	○	○	○
6151001	621122601	クロラムフェニコール	クロロマイセチン錠250 250mg	○	○	○	○	○
6151002	616150016		クロロマイセチンパルミテート液（小児用）31.25mg	○				
6152002	616150002	テトラサイクリン塩酸塩	アクロマイシンVカプセル250mg	○	○	○	○	○
6152002	616150003	テトラサイクリン塩酸塩	アクロマイシンVカプセル500mg	○	○	○	○	○
6152003	616150077	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	レダマイシンカプセル150mg	○				
6152003	621123301	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	レダマイシンカプセル150mg	○	○	○	○	○
6152004	616150040	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	パルドマイシン錠500 500mg	○				
6152004	616150069	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	ラセナマイシン錠100mg	○				
6152004	616150070	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	ラセナマイシン錠500mg	○				
6152004	620006083	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	ビブラマイシン錠500mg	○	○	○	○	○
6152004	620006084	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	ビブラマイシン錠100mg	○	○	○	○	○
6152005	610407118	ミノサイクリン塩酸塩	ミノトーワ錠500 500mg	○	○	○		
6152005	610454083	ミノサイクリン塩酸塩	ミノマイシンカプセル100mg	○	○	○	○	○
6152005	616150063	ミノサイクリン塩酸塩	ミノマイシンカプセル500mg	○	○	○	○	○
6152005	616150064	ミノサイクリン塩酸塩	ミノマイシン錠100mg	○	○	○	○	
6152005	616150088	ミノサイクリン塩酸塩	ミノマイシン錠500mg	○	○	○	○	○
6152005	616150090	ミノサイクリン塩酸塩	塩酸ミノサイクリンカプセル1000「マルコ」1000mg	○	○			
6152005	616150098	ミノサイクリン塩酸塩	ミノペン錠500 500mg	○	○	○		
6152005	616150099	ミノサイクリン塩酸塩	ミノペン錠1000 1000mg	○	○	○		
6152005	616150103	ミノサイクリン塩酸塩	クーペラシン錠100mg	○	○			
6152005	616150107	ミノサイクリン塩酸塩	塩酸ミノサイクリン錠500「マルコ」500mg	○	○			
6152005	616150108	ミノサイクリン塩酸塩	クーペラシン錠500mg	○	○			
6152005	616150112	ミノサイクリン塩酸塩	ミノトーワ錠1000 1000mg	○	○	○		
6152005	620004594	ミノサイクリン塩酸塩	ミノペン顆粒2% 200mg	○	○	○		
6152005	620004973	ミノサイクリン塩酸塩	クーペラシン顆粒2% 200mg	○	○			
6152005	620007109	ミノサイクリン塩酸塩	ミノマイシン顆粒2% 200mg	○	○	○	○	○
6152005	621124301	ミノサイクリン塩酸塩	ミノサイクリン塩酸塩顆粒2%「サワイ」200mg		○	○	○	○
6152005	621124603	ミノサイクリン塩酸塩	塩酸ミノサイクリン錠500「日医工」500mg		○	○	○	
6152005	621124604	ミノサイクリン塩酸塩	ミノサイクリン塩酸塩錠500mg「日医工」				○	○

薬価基準 コード7桁 6241008	シロプロキシ 算コード 616290155	塩酸シプロフロキサシン 成分名 塩酸シプロフロキサシン	フロキシール錠 200 200mg 漢字名称 シプロキサシン錠 100mg	○ 2010	○ 2012	○ 2014	○ 2016	○ 2018
6241008	616290156	塩酸シプロフロキサシン	シプロキサシン錠 200mg	○	○	○	○	○
6241008	620000117	塩酸シプロフロキサシン	プリモール錠 100mg	○	○	○	○	○
6241008	620000118	塩酸シプロフロキサシン	プリモール錠 200mg	○	○	○	○	○
6241008	620002814	塩酸シプロフロキサシン	ペイトン錠 200 200mg	○	○			
6241008	620002830	塩酸シプロフロキサシン	ベンジング錠 200mg	○				
6241008	621489001	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠 100mg 「日医 工」		○	○	○	○
6241008	621489102	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠 200mg 「S W」			○	○	○
6241008	621489201	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠 200mg 「タナ ベ」	○	○	○		
6241008	621489203	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠 200mg 「J G」		○	○	○	○
6241008	621489501	塩酸シプロフロキサシン	シプキサノン錠 200mg		○	○		
6241008	621489502	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠 200mg 「トー ワ」		○	○	○	○
6241008	621489601	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠 200mg 「日医 工」		○	○	○	○
6241008	621529401	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠 100mg 「T C K」			○	○	○
6241008	621529501	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠 200mg 「T C K」			○	○	○
6241008	621946501	塩酸シプロフロキサシン	シプキサノン錠 100mg	○	○	○		
6241008	621946502	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠 100mg 「トー ワ」		○	○	○	○
6241008	621964701	塩酸シプロフロキサシン	フロキシール錠 100 100mg	○	○	○		
6241008	621964702	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠 100mg 「S W」			○	○	○
6241008	621964801	塩酸シプロフロキサシン	ペイトン錠 100 100mg	○	○			
6241008	621976900	塩酸シプロフロキサシン	塩酸シプロフロキサシン 200mg 錠	○	○	○	○	○
6241008	622096201	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠 100mg 「C H」	○	○	○		
6241008	622096202	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠 100mg 「J G」		○	○	○	○
6241008	622125901	塩酸シプロフロキサシン	シバスタン錠 100mg	○	○	○	○	○
6241008	622311500	塩酸シプロフロキサシン	塩酸シプロフロキサシン 100mg 錠		○	○	○	○
6241009	610407158	塩酸ロメフロキサシン	バレオン錠 200mg	○	○	○	○	○
6241009	616290170	塩酸ロメフロキサシン	バレオンカプセル 100mg	○	○	○	○	○
6241009	616290171	塩酸ロメフロキサシン	ロメバクトカプセル 100mg	○	○	○	○	
6241010	616290166	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	オゼックス錠 75 75mg	○	○	○	○	○
6241010	616290167	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	オゼックス錠 150 150mg	○	○	○	○	○
6241010	616290168	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスキサシン錠 75mg	○	○	○	○	○
6241010	616290169	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスキサシン錠 150mg	○	○	○	○	○
6241010	621931101	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg 「T C K」	○	○	○	○	○

薬価基準 コード7桁	計算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
	62193201	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「TCK」	○	○	○	○	○
6241010	621935301	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「タイヨー」	○	○	○	○	○
6241010	621935401	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「タイヨー」	○	○	○	○	○
6241010	621940001	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「YD」	○	○	○	○	○
6241010	621940101	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「YD」	○	○	○	○	○
6241010	621952101	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「NP」	○	○	○	○	○
6241010	621952201	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「NP」	○	○	○	○	○
6241010	621953501	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「TYK」	○	○	○	○	○
6241010	621953601	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「TYK」	○	○	○	○	○
6241010	621956201	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「タナベ」	○	○	○	○	○
6241010	621956301	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「タナベ」	○	○	○	○	○
6241010	621963301	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「サワイ」	○	○	○	○	○
6241010	621963401	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「サンド」	○	○	○	○	
6241010	621963501	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「日医工」	○	○	○	○	○
6241010	621963601	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「サワイ」	○	○	○	○	○
6241010	621963701	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「サンド」	○	○	○	○	
6241010	621963801	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「日医工」	○	○	○	○	○
6241010	621971501	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	オゼックス細粒小児用15% 150mg	○	○	○	○	○
6241010	622410601	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用 15%「タカタ」 150mg			○	○	○
6241010	622413901	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用 15%「トーフ」 150mg			○	○	○
6241010	622420701	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩小児用細粒 15%「明治」 150mg			○	○	○
6241010	622481701	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用 15%「TCK」 150mg				○	○
6241010	622643601	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	オゼックス錠小児用60mg					○
6241011	616240004		スパラ錠100mg	○				
6241013	616240008	レボフロキサシン水和物	クラビット細粒 100mg	○				
6241013	616240009	レボフロキサシン水和物	クラビット錠 100mg	○				
6241013	620009467	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「アメル」 100mg	○	○	○	○	
6241013	620009468	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「オーハ ラ」 100mg	○	○	○	○	
6241013	620009469	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「サワイ」	○	○	○	○	

薬価基準 コード7桁	レセプト電 算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
		レボフロキサシン水和物	100mg レボフロキサシン細粒10%「CH」 100mg					
6241013	620009471	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「タカタ」 100mg	○	○	○	○	
6241013	620009472	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「日医工」 100mg	○	○	○	○	
6241013	620009473	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「マイラ ン」 100mg	○	○	○		
6241013	620009474	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「YD」 100mg	○	○	○	○	
6241013	620009475	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「アメ ル」	○	○	○	○	
6241013	620009476	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「イセ イ」	○	○	○	○	
6241013	620009477	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「イフ キ」	○	○	○	○	
6241013	620009478	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「NP」	○	○	○	○	
6241013	620009479	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「F」	○	○	○	○	
6241013	620009480	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「ME E K」	○	○	○	○	
6241013	620009481	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「オーハ ラ」	○	○	○	○	
6241013	620009482	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「科研」	○	○	○	○	
6241013	620009483	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「KR M」	○	○			
6241013	620009484	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「サワ イ」	○	○	○	○	
6241013	620009485	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「JG」	○	○	○	○	
6241013	620009486	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「CH」	○	○	○	○	
6241013	620009487	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「ZE」	○	○	○	○	
6241013	620009488	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「タイ ヨー」	○	○	○	○	
6241013	620009489	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「タカ タ」	○	○	○	○	
6241013	620009490	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「DK」	○	○			
6241013	620009491	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「TC K」	○	○	○	○	
6241013	620009492	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「TY K」	○	○	○	○	
6241013	620009493	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「トー ワ」	○	○	○	○	
6241013	620009494	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「日医 工」	○	○	○	○	
6241013	620009495	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「BT」	○	○	○		
6241013	620009496	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「マイラ ン」	○	○	○		
6241013	620009497	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「YD」	○	○	○	○	
6241013	621902803	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「杏林」		○	○	○	
6241013	621912401	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「ケミ ファ」		○	○	○	
6241013	621925701	レボフロキサシン水和物	クラビット錠250mg（レボフロキ サシンとして）	○	○	○	○	○

製薬基準 コード7桁	21年10月 算コード	レボフロキサシン水和物 成分名	クラビット錠500mg (レボフロキサシンとして) 漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6241013	621925901	レボフロキサシン水和物	クラビット錠500mg (レボフロキサシンとして)	○	○	○	○	○
6241013	621946601	レボフロキサシン水和物	クラビット細粒10% 100mg (レボフロキサシンとして)	○	○	○	○	○
6241013	621965901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン内注射液25mg/mL「トーフ」	○	○	○	○	
6241013	621965901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「あすか」	○	○	○	○	
6241013	622088901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「ファイザー」	○	○	○	○	
6241013	622089001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「ファイザー」 100mg	○	○	○	○	
6241013	622365901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「杏林」 (レボフロキサシンとして)			○	○	
6241013	622366001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「杏林」 (レボフロキサシンとして)			○	○	
6241013	622367801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「YD」 (レボフロキサシンとして)			○	○	○
6241013	622367901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「YD」 (レボフロキサシンとして)			○	○	○
6241013	622368201	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン粒状錠250mgモチダ (レボフロキサシンとして)			○	○	○
6241013	622368301	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン粒状錠500mgモチダ (レボフロキサシンとして)			○	○	○
6241013	622369001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「明治」 (レボフロキサシンとして)			○	○	○
6241013	622369101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「明治」 (レボフロキサシンとして)			○	○	○
6241013	622370801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「DSEP」 レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622370901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「DSEP」 レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622371001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%DSEP 100mg (レボフロキサシン)			○	○	○
6241013	622372501	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン内注射液250mgトーフ 10mLレボフロキサシン			○	○	○
6241013	622372601	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシンOD錠250mgトーフ (レボフロキサシンとして)			○	○	○
6241013	622372701	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシンOD錠500mgトーフ (レボフロキサシンとして)			○	○	○
6241013	622372801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「トーフ」 レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622372901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「トーフ」 レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622376301	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「ZE」 (レボフロキサシンとして)			○	○	○
6241013	622376401	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「ZE」 (レボフロキサシンとして)			○	○	○
6241013	622377901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「タカタ」 レボフロキサシンとして			○	○	
6241013	622378001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「タカタ」 レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622379101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「CH」 (レボフロキサシンとして)			○	○	○
6241013	622379201	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「CH」 (レボフロキサシンとして)			○	○	○

薬価基準 コード7桁	レボフロキサシ 算コード	レボフロキサシン水和物 成分名	レボフロキサシン錠250mg「タナ 漢字名称」レボフロキサシンとして	2010	2012	2014	2016	2018
6241013	622380101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「タナベ」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622380301	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「オーハラ」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622380401	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「オーハラ」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622382001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mgファイザー（レボフロキサシンとして）			○	○	○
6241013	622382101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mgファイザー（レボフロキサシンとして）			○	○	○
6241013	622383001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「サンド」				○	○
6241013	622383101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「サンド」				○	○
6241013	622383501	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「サノフィ」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622383601	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「サノフィ」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622384801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「ニットリー」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622384901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「ニットリー」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622386101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「CEO」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622386201	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「CEO」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622386801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「TKK」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622386901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「TKK」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622387801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「日医工P」				○	○
6241013	622387901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「日医工P」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622388801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「ケミア」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622388901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「ケミア」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622389401	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「イワキ」レボフロキサシンとして			○	○	
6241013	622389501	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「イワキ」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622391101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「サイイ」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622391201	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「サイイ」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622391701	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「ニプロ」				○	○
6241013	622391801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「ニプロ」				○	○
6241013	622392301	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「サトウ」レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622392401	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「サトウ」			○	○	○

薬価基準コード	レセプト電算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6241013	622394001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「F」 (レボフロキサシンとして)					
6241013	622394101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「F」 (レボフロキサシンとして)			○	○	○
6241013	622394401	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「テバ」 (レボフロキサシンとして)			○	○	
6241013	622394501	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「テバ」 (レボフロキサシンとして)			○	○	
6241013	622395201	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「アメル」				○	○
6241013	622395301	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「アメル」				○	○
6241013	622395901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「科研」 (レボフロキサシンとして)			○	○	○
6241013	622396001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「科研」 (レボフロキサシンとして)			○	○	○
6241013	622400701	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「イセイ」 レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622400801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「MEEK」 レボフロキサシンとして			○	○	
6241013	622400901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「イセイ」 レボフロキサシンとして			○	○	
6241013	622401001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「MEEK」 レボフロキサシンとして			○	○	
6241013	622435301	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「SUN」 レボフロキサシンとして			○	○	
6241013	622435401	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「SUN」 レボフロキサシンとして				○	○
6241013	622436801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「日医工」 レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622436901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「日医工」 レボフロキサシンとして			○	○	○
6241013	622476600	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン250mg錠				○	○
6241013	622476700	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン500mg錠				○	○
6241015	610462041	プルリフロキサシン	スオード錠100 100mg (活性本体として)	○	○	○	○	○
6241016	620003125	モキシフロキサシン塩酸塩	アベロック錠400mg	○	○	○	○	○
6241017	620005822	メシル酸ガレノキサシン水和物	ジェニナック錠200mg	○	○	○	○	○
6241018	620006773	シタフロキサシン水和物	グレースビット錠50mg	○	○	○	○	○
6241018	620006774	シタフロキサシン水和物	グレースビット細粒10% 100mg	○	○	○	○	○
6241018	622588201	シタフロキサシン水和物	シタフロキサシン錠50mg「サワイ」				○	○
6249002	610451000	リネゾリド	ザイボックス錠600mg	○	○	○	○	○
6249002	622461001	リネゾリド	リネゾリド錠600mg「明治」			○	○	○
6249002	622588701	リネゾリド	リネゾリド錠600mg「サワイ」				○	○
6290100	610406172	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	ダイフェン顆粒	○				
6290100	616290083	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	バクタ錠	○				
6290100	616290084	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	バクタ顆粒	○				
6290100	616290087	スルファメトキサゾール・ト	バクトラミン顆粒	○				

薬価基準 コード7桁	レセプト電 算コード	リメトプリム スルファメトキサゾール・ト リメトプリム 成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6290100	620003164	スルファメトキサゾール・ト リメトプリム	バクタラミン錠	○				
6290100	620006753	スルファメトキサゾール・ト リメトプリム	スルファメトキサゾール・トリメトプリ ム錠	○	○	○	○	○
6290100	621148101	スルファメトキサゾール・ト リメトプリム	バクタ配合顆粒	○	○	○	○	○
6290100	621148201	スルファメトキサゾール・ト リメトプリム	バクタラミン配合顆粒	○	○	○	○	○
6290100	621148801	スルファメトキサゾール・ト リメトプリム	ダイフェン配合錠	○	○	○	○	○
6290100	621148901	スルファメトキサゾール・ト リメトプリム	バクタ配合錠	○	○	○	○	○
6290100	621149001	スルファメトキサゾール・ト リメトプリム	バクタラミン配合錠	○	○	○	○	
6290100	621355101	スルファメトキサゾール・ト リメトプリム	ダイフェン配合顆粒	○	○	○	○	○
6290100	622316700	スルファメトキサゾール・ト リメトプリム	スルファメトキサゾール・トリメトプリ ム顆粒		○	○	○	
6290100	622612300	スルファメトキサゾール・ト リメトプリム	スルファメトキサゾール・トリメトプリ ム顆粒				○	○

2 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
外来EFファイルより、経口第3世代セフェムの含まれる処方を実施された人日を算出する。
1日に複数の薬剤処方や複数回の処方が見られた場合も1人日で集約する。

分子のデータ1

薬価基準 コード7桁	レセプト電 算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6132008	610453056	セフィキシム	セキシパノン細粒5●mg	○	○	○		
6132008	610453058	セフィキシム	セフィーナカプセル1●● 1●●mg	○				
6132008	610453059	セフィキシム	セフィーナ細粒5● 5●mg	○	○	○	○	○
6132008	610463089	セフィキシム	セキシム細粒5●mg	○				
6132008	610463092	セフィキシム	セフパ細粒5●mg	○				
6132008	616130404	セフィキシム	セフスパン細粒5●mg	○	○	○	○	○
6132008	616130405	セフィキシム	セフスパンカプセル5●mg	○	○	○	○	○
6132008	616130406	セフィキシム	セフスパンカプセル1●●mg	○	○	○	○	○
6132008	620000061	セフィキシム	セフィーナ細粒1●● 1●●mg	○	○	○	○	○
6132009	616130407	セフテラム ピボキシ ル	トミロン錠5● 5●mg	○	○	○	○	○
6132009	616130408	セフテラム ピボキシ ル	トミロン錠1●● 1●●mg	○	○	○	○	○
6132009	620002739	セフテラム ピボキシ ル	セトラート細粒小児用1●% 1●●mg	○				
6132009	620002740	セフテラム ピボキシ ル	セトラート錠1●●mg	○				
6132009	620002755	セフテラム ピボキシ ル	テラセフロン細粒1●●mg小児用	○	○	○		
6132009	620002756	セフテラム ピボキシ	テラミロン細粒小児用1●% 1●●mg	○	○	○	○	

薬価基準 品名	レセプト電算 コード	成分名 商品名	漢字名称 細粒小児用	2010	2012	2014	2016	2018
6132009	620002833	セフトラム ピボキシ ル	漢字名称 細粒小児用 1.0% 100mg	○	○	○	○	○
6132009	620002834	セフトラム ピボキシ ル	ボキシロン錠 100mg	○				
6132009	620003583	セフトラム ピボキシ ル	トミロン細粒小児用 1.0% 100mg	○	○	○	○	○
6132009	620005512	セフトラム ピボキシ ル	ソマトロン細粒小児用 1.0% 100mg	○	○			
6132009	621675801	セフトラム ピボキシ ル	セフトラムピボキシル細粒小児用 1.0% 「日 医工」 100mg		○	○	○	
6132009	622603901	セフトラム ピボキシ ル	トミロン細粒小児用 2.0% 200mg				○	○
6132009	622613300	セフトラム ピボキシ ル	セフトラム ピボキシル 100mg 細粒				○	○
6132011	620003968	セフボドキシム プロ キセチル	セフボドキシムプロキセチル錠 100 「TC K」 100mg	○	○	○	○	○
6132011	620003969	セフボドキシム プロ キセチル	セフボドキシムプロキセチル錠 100mg 「CH」	○				
6132011	620003970	セフボドキシム プロ キセチル	セフボドキシムプロキセチル錠 100mg 「タイヨー」	○	○	○	○	○
6132011	620003971	セフボドキシム プロ キセチル	セフボドキシムプロキセチルDS 5% 「C H」 50mg	○	○	○		
6132011	620003972	セフボドキシム プロ キセチル	セフボドキシムプロキセチルDS 5% 「タイ ヨー」 50mg	○	○	○		
6132011	620003973	セフボドキシム プロ キセチル	セボキシム錠 100mg	○	○	○		
6132011	620003974	セフボドキシム プロ キセチル	セボキシムドライシロップ小児用 5% 50 mg	○	○			
6132011	620004021	セフボドキシム プロ キセチル	バナセファン錠 100mg	○	○	○		
6132011	620004022	セフボドキシム プロ キセチル	バナセファンDS 5% 50mg	○	○	○		
6132011	620008681	セフボドキシム プロ キセチル	バナン錠 100mg	○	○	○	○	○
6132011	620008682	セフボドキシム プロ キセチル	バナンドライシロップ 5% 50mg	○	○	○	○	○
6132011	621744202	セフボドキシム プロ キセチル	セフボドキシムプロキセチル錠 100mg 「タナベ」	○	○	○		
6132011	621744203	セフボドキシム プロ キセチル	セフボドキシムプロキセチル錠 100mg 「JG」		○	○	○	○
6132011	621744401	セフボドキシム プロ キセチル	セフボドキシムプロキセチル錠 100mg 「トーワ」		○	○	○	○
6132011	621747601	セフボドキシム プロ キセチル	セフボドキシムプロキセチル錠 100mg 「サワイ」			○	○	○
6132011	621747701	セフボドキシム プロ キセチル	セフボドキシムプロキセチルDS小児用 5% 「サワイ」 50mg			○	○	○
6132013	616130531	セフジニル	セフゾンカプセル 50mg	○	○	○	○	○
6132013	616130532	セフジニル	セフゾンカプセル 100mg	○	○	○	○	○
6132013	620004513	セフジニル	セフゾン細粒小児用 1.0% 100mg	○	○	○	○	○
6132013	620008479	セフジニル	セフジニルカプセル 50mg 「マイラン」	○	○	○		
6132013	620008480	セフジニル	セフジニルカプセル 100mg 「マイラン」	○	○	○		
6132013	620008481	セフジニル	セフジニル細粒小児用 1.0% 「MED」 1 00mg	○	○	○	○	

薬価基準 コード7桁	6132013 レセプト電算 コード	成分名	セフジニル 漢字名称	1	2010	2012	2014	2016	2018
6132013	620008483	セフジニル	セフジニル細粒小児用1.0%「サワイ」 1.0mg	1	○	○	○	○	○
6132013	620008484	セフジニル	セフジニル細粒1.0%小児用「日医工」 1.0mg	1	○	○	○	○	○
6132013	620008485	セフジニル	セフジニル細粒1.0%小児用「マイラン」 1.0mg		○	○	○		
6132013	620008486	セフジニル	セフジニル小児用細粒1.0%「CH」 1.0mg		○				
6132013	620008487	セフジニル	セフジニル錠5.0mg「MED」		○	○	○	○	
6132013	620008488	セフジニル	セフジニル錠5.0mg「サワイ」		○	○	○	○	
6132013	620008489	セフジニル	セフジニル錠1.0mg「MED」		○	○	○	○	
6132013	620008490	セフジニル	セフジニル錠1.0mg「サワイ」		○	○	○	○	
6132013	620008491	セフジニル	セフニールカプセル5.0mg		○	○	○	○	
6132013	620008492	セフジニル	セフニールカプセル1.0mg		○	○	○	○	
6132013	620009333	セフジニル	セフジニルカプセル5.0mg「CH」		○				
6132013	620009334	セフジニル	セフジニルカプセル5.0mg「TCK」		○	○	○	○	
6132013	620009335	セフジニル	セフジニルカプセル5.0mg「TYK」		○	○	○	○	
6132013	620009336	セフジニル	セフジニルカプセル5.0mg「日医工」		○	○	○	○	
6132013	620009337	セフジニル	セフジニルカプセル5.0mg「YD」		○	○	○	○	
6132013	620009338	セフジニル	セフジニルカプセル1.0mg「CH」		○				
6132013	620009339	セフジニル	セフジニルカプセル1.0mg「TCK」		○	○	○	○	
6132013	620009340	セフジニル	セフジニルカプセル1.0mg「TYK」		○	○	○	○	
6132013	620009341	セフジニル	セフジニルカプセル1.0mg「日医工」		○	○	○	○	
6132013	620009342	セフジニル	セフジニルカプセル1.0mg「YD」		○	○	○	○	
6132013	620009343	セフジニル	セフジニル細粒1.0%小児用「TYK」 1.0mg	1	○	○	○	○	○
6132013	620009344	セフジニル	セフニール細粒小児用1.0% 1.0mg		○	○	○	○	
6132013	621885102	セフジニル	セフジニルカプセル5.0mg「ファイザー」				○	○	
6132013	621885202	セフジニル	セフジニルカプセル1.0mg「ファイ ザー」				○	○	
6132013	621885302	セフジニル	セフジニル細粒1.0%小児用「ファイザー」 1.0mg				○	○	○
6132013	621889402	セフジニル	セフジニル小児用細粒1.0%「タナベ」 1.0mg	1	○	○	○		
6132013	621889403	セフジニル	セフジニル細粒小児用1.0%「JG」 1.0mg	1		○	○	○	○
6132013	621889701	セフジニル	セフジニルカプセル5.0mg「トーワ」					○	○
6132013	621889801	セフジニル	セフジニルカプセル1.0mg「トーワ」					○	○
6132013	621907701	セフジニル	セフジニル細粒小児用1.0%「トーワ」 1.0mg	1				○	○
6132013	621910001	セフジニル	セフジニルカプセル5.0mg「タナベ」		○	○	○		
6132013	621910002	セフジニル	セフジニルカプセル5.0mg「JG」			○	○	○	
6132013	621910101	セフジニル	セフジニルカプセル1.0mg「タナベ」		○	○	○		
6132013	621910102	セフジニル	セフジニルカプセル1.0mg「JG」			○	○	○	
6132013	621935801	セフジニル	セフジニル細粒小児用1.0%「タイヨー」 1.0mg		○	○	○	○	○
6132013	621935901	セフジニル	セフジニル細粒小児用2.0%「タイヨー」 2.0mg		○	○	○	○	

薬価基準 6132013 6132013桁	シザブト電算 621963201 621963201桁	セフジニル 成分名	シオジニルカプセル50mg 漢字名称 シオジニルカプセル100 100mg	2010	2012	2014	2016	2018
6132013	622612900	セフジニル	セフジニル50mgカプセル				○	○
6132013	622613000	セフジニル	セフジニル50mg錠				○	○
6132013	622613100	セフジニル	セフジニル100mgカプセル				○	○
6132013	622613200	セフジニル	セフジニル100mg錠				○	○
6132015	620004080	セフジトレン ピボキシ シル	メイアクトMS錠100mg	○	○	○	○	○
6132015	620005499	セフジトレン ピボキシ シル	セフジトレンピボキシシル細粒小児用1 0%「トーワ」 100mg	○	○	○	○	○
6132015	620005500	セフジトレン ピボキシ シル	セフジトレンピボキシシル細粒10%小児用 「日医工」 100mg	○	○	○	○	○
6132015	620005501	セフジトレン ピボキシ シル	セフジトレンピボキシシル小児用細粒1 0%「EMEC」 100mg	○	○	○	○	○
6132015	620005502	セフジトレン ピボキシ シル	セフジトレンピボキシシル小児用細粒1 0%「サワイ」 100mg	○	○	○	○	○
6132015	620005503	セフジトレン ピボキシ シル	セフジトレンピボキシシル小児用細粒1 0%「CH」 100mg	○	○	○	○	○
6132015	620005504	セフジトレン ピボキシ シル	セフジトレンピボキシシル小児用細粒1 0%「タイヨー」 100mg	○	○	○		
6132015	620005505	セフジトレン ピボキシ シル	セフジトレンピボキシシル錠100mg「サワ イ」	○	○	○	○	○
6132015	620005506	セフジトレン ピボキシ シル	セフジトレンピボキシシル錠100mg「C H」	○	○	○	○	○
6132015	620005507	セフジトレン ピボキシ シル	セフジトレンピボキシシル錠100mg「トー ワ」	○	○	○	○	○
6132015	620005508	セフジトレン ピボキシ シル	セフジトレンピボキシシル錠100mg「日医 工」	○	○	○	○	○
6132015	620008746	セフジトレン ピボキシ シル	メイアクトMS小児用細粒10% 100m g	○	○	○	○	○
6132015	622559401	セフジトレン ピボキシ シル	セフジトレンピボキシシル錠100mg「O K」				○	○
6132015	622644301	セフジトレン ピボキシ シル	セフジトレンピボキシシル小児用細粒1 0%「OK」 100mg					○
6132016	610411057	セフカペン ピボキシ シル塩酸塩水和物	フロモックス錠75mg	○	○	○	○	○
6132016	610411058	セフカペン ピボキシ シル塩酸塩水和物	フロモックス錠100mg	○	○	○	○	○
6132016	610411059	セフカペン ピボキシ シル塩酸塩水和物	フロモックス小児用細粒100mg	○	○	○	○	○
6132016	620009331	セフカペン ピボキシ シル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシシル塩酸塩錠75mg「サ ワイ」	○	○	○	○	○
6132016	620009332	セフカペン ピボキシ シル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシシル塩酸塩錠100mg 「サワイ」	○	○	○	○	○
6132016	621930801	セフカペン ピボキシ シル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシシル塩酸塩錠75mg「T CK」	○	○	○	○	○
6132016	621930901	セフカペン ピボキシ シル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシシル塩酸塩錠100mg 「TCK」	○	○	○	○	○
6132016	621931001	セフカペン ピボキシ シル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシシル塩酸塩細粒小児100 mg TCK 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621939401	セフカペン ピボキシ シル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシシル塩酸塩細粒小児用1 0%「JG」 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621940201	セフカペン ピボキシ シル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシシル塩酸塩細粒小児用1 0%「YD」 100mg	○	○	○	○	○

薬品基準 コード7桁	シセット電算 コード	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物 成分名	セフカペンピボキシ ル塩酸塩錠 7.5mg 「Y D」 漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6132016	621940401	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩錠 100mg 「YD」	○	○	○	○	○
6132016	621942901	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩細粒小児 1 0% 「マイラン」 100mg	○	○	○		
6132016	621942904	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩細粒小児用 1 0% ファイザー 100mg			○	○	○
6132016	621943001	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩錠 7.5mg 「マ イラン」	○	○	○		
6132016	621943004	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩錠 7.5mg 「ファイザー」			○	○	○
6132016	621943101	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩錠 100mg 「マイラン」	○	○	○		
6132016	621943104	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩錠 100mg 「ファイザー」			○	○	○
6132016	621946301	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩細粒小児用 1 0% 「トーワ」 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621947501	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩錠 7.5mg 「トーワ」	○	○	○	○	○
6132016	621947601	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩錠 100mg 「トーワ」	○	○	○	○	○
6132016	621955901	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩細粒小児用 1 0% 「CH」 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621956001	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩錠 7.5mg 「C H」	○	○	○	○	○
6132016	621956101	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩錠 100mg 「CH」	○	○	○	○	○
6132016	621962401	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩細粒 10% 小児 用 「日医工」 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621962501	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩小児用細粒 1 0% 「サワイ」 100mg	○	○	○	○	○
6132016	621962601	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩錠 7.5mg 「日 医工」	○	○	○	○	○
6132016	621962701	セフカペン ピボキシ ル塩酸塩水和物	セフカペンピボキシ ル塩酸塩錠 100mg 「日医工」	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
投与量が十分であれば適正使用となることもあるが、ごく稀と考えられ、基本的に目標値はゼロである。

参考値:

1:
経口抗菌薬全体の22%が第3世代セフェム2)

参考資料:

1:
薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000120769.pdf>

2:

藤田基資. 5年で50%? 経口セフェムは削減できるか?. 小児感染免疫. 2016;28(4):302-310. <http://www.jspid.jp/journal/full/02804/028040302.pdf>.

定義見直しのタイミング: 2020年(アクションプランの期限)、レセプトコード変更時

最終更新日: 2018-10-12

名称: 経口カルバペネム処方数が経口抗菌薬全体に占める割合

指標番号:

QIP: 2129

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-12

指標群: 感染症

名称: 経口カルバペネム処方数が経口抗菌薬全体に占める割合

意義: 経口カルバペネム系抗菌薬の削減は、薬剤耐性（AMR）対策アクションプランの目標項目である。2020年までに（2013年比）50%削減が成果指標として掲げられている。

必要データセット: 外来EFファイル

定義の要約:

分母: 外来にて経口抗菌薬（抗ウイルス薬、抗真菌薬を除く）の含まれる処方を実施された人日

分子: 外来にて経口カルバペネム処方の含まれる処方を実施された人日

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1:
外来EFファイルより、経口抗菌薬（抗ウイルス薬、抗真菌薬を除く）の含まれる処方を実施された人日を算出する。
1日に複数の種類（例：セフェム系経口抗菌薬とカルバペネム系経口抗菌薬）の処方や複数の処方が見られた場合も1人日とする。

分母のデータ1

薬価基準 コード7桁	レセプト電 算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6111002	620005060	ベンジルペニシリンベンザチ ン水和物	バイシリンG顆粒4万単位	1	1	1	1	0
6112001	620006026	クリンダマイシン塩酸塩	ダラシンカプセル75mg	1	1	1	1	0
6112001	620006027	クリンダマイシン塩酸塩	ダラシンカプセル150mg	1	1	1	1	0
6112003	620006165	リンコマイシン塩酸塩水和物	リンコシンカプセル250mg	1	1	1	1	0
6113001	620003894	バンコマイシン塩酸塩	塩酸バンコマイシン散0.5「MEE K」500mg	1	1	1	1	0
6113001	620006663	バンコマイシン塩酸塩	塩酸バンコマイシン散0.5g「マイラ ン」500mg	1	1	1	0	0
6113001	620006791	バンコマイシン塩酸塩	塩酸バンコマイシン散0.5g（シオノ ギ）500mg	1	1	1	1	0
6113001	620008047	バンコマイシン塩酸塩	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「サワ イ」500mg	1	1	1	1	0
6113001	620009408	バンコマイシン塩酸塩	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「タイ ヨー」500mg	1	1	1	1	0
6113001	621731302	バンコマイシン塩酸塩	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「ME EK」500mg	0	0	1	1	0
6113001	621738802	バンコマイシン塩酸塩	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「ファ イザー」500mg	0	0	1	1	0
6121001	610454086	ピブメシリナム塩酸塩	メリシン錠50mg	1	1	1	0	0
6123003	620008598	カナマイシンー硫酸塩	カナマイシンカプセル250mg「明 治」	1	1	1	1	0
6123003	620008599	カナマイシンー硫酸塩	カナマイシンシロップ5%「明治」5 00mg	1	1	1	1	0
6123003	620008600	カナマイシンー硫酸塩	カナマイシンドライシロップ20%「明 治」200mg	1	1	1	1	0

薬価基準 コード	レセプト電 算コード	感分名 シキシン	「トーフ」 漢字名称 トスカブセル250mg	2010	2012	2014	2016	2018
6132002	620005025	セファレキシン	セファレキシンカプセル250mg「日医工」	1	0	0	0	0
6132002	620006005	セファレキシン	セファレックスSR顆粒500mg	1	1	1	0	0
6132002	620006878	セファレキシン	オーレキシンドライシロップ50%小児用 500mg	1	1	1	0	0
6132002	620006933	セファレキシン	シングルカプセル250mg	1	1	1	0	0
6132002	620006959	セファレキシン	セファレキシン顆粒500mg「トーフ」	1	0	0	0	0
6132002	621082405	セファレキシン	セファレキシン複合顆粒500mg「トーフ」	0	0	0	1	0
6132002	621083104	セファレキシン	セファレキシン顆粒500mg「JG」	0	0	1	1	0
6132002	621083503	セファレキシン	セファレキシン錠250「日医工」	0	0	0	1	0
6132002	621085602	セファレキシン	セファレキシンドライシロップ小児用50%「日医工」	0	0	0	1	0
6132002	622316900	セファレキシン	セファレキシン500mg持続性顆粒	0	1	1	1	0
6132002	622476300	セファレキシン	セファレキシン250mg錠	0	0	0	1	0
6132002	622476400	セファレキシン	セファレキシン500mgシロップ用	0	0	0	1	0
6132002	622612500	セファレキシン	セファレキシン1000mgシロップ用	0	0	0	1	0
6132002	622612600	セファレキシン	セファレキシン125mgカプセル	0	0	0	1	0
6132002	622612700	セファレキシン	セファレキシン2000mgシロップ用	0	0	0	1	0
6132002	622612800	セファレキシン	セファレキシン250mgカプセル	0	0	0	1	0
6132005	610406059	セファクロル	エリカナルL顆粒 375mg	1	0	0	0	0
6132005	610406060	セファクロル	エリカナルカプセル250 250mg	1	1	1	0	0
6132005	610406161	セファクロル	セクロダン細粒200 200mg	1	1	1	0	0
6132005	610407044	セファクロル	L - シーシーエルカプセル 187.5mg	1	0	0	0	0
6132005	616130110	セファクロル	ケフラールカプセル250mg	1	1	1	1	0
6132005	616130112	セファクロル	ケフラール細粒小児用1000mg	1	1	1	1	0
6132005	616130469	セファクロル	L - ケフラール顆粒 375mg	1	1	1	1	0
6132005	616130482	セファクロル	アレフラル細粒小児用1000mg	1	1	1	0	0
6132005	616130483	セファクロル	クリレール細粒小児用「100」 1000mg	1	0	0	0	0
6132005	616130490	セファクロル	アレフラルカプセル250mg	1	1	1	0	0
6132005	616130491	セファクロル	クリレールカプセル「250」 250mg	1	1	0	0	0
6132005	616130492	セファクロル	ケフポリンカプセル250 250mg	1	1	1	0	0
6132005	616130493	セファクロル	ザルツクラールカプセル250 250mg	1	1	1	0	0
6132005	616130494	セファクロル	セクロダンカプセル250 250mg	1	1	0	0	0
6132005	620003155	セファクロル	セクロダン細粒小児用1000 1000mg	1	1	1	0	0
6132005	620003563	セファクロル	セファクロル細粒10%「マルコ」 1000mg	1	1	0	0	0
6132005	620003564	セファクロル	セファクロル細粒20%「マルコ」 2000mg	1	1	0	0	0
6132005	620004460	セファクロル	エリカナル細粒小児用10% 1000mg	1	0	0	0	0

薬価基準 コード7桁	算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6132009	620003740 620002755	セフテラム ピボキシル セフテラム ピボキシル	セトラート錠100mg テラセフロン細粒100mg小児用	1 1	0 1	0 1	0 0	0 0
6132009	620002756	セフテラム ピボキシル	テラミロン細粒小児用10% 100mg	1	1	1	1	0
6132009	620002833	セフテラム ピボキシル	ボキシロン細粒小児用10% 100mg	1	0	0	0	0
6132009	620002834	セフテラム ピボキシル	ボキシロン錠100mg	1	0	0	0	0
6132009	620003583	セフテラム ピボキシル	トミロン細粒小児用10% 100mg	1	1	1	1	0
6132009	620005512	セフテラム ピボキシル	ソマトロン細粒小児用100 100mg	1	1	0	0	0
6132009	621675801	セフテラム ピボキシル	セフテラムピボキシル細粒小児用10%「日医工」 100mg	0	1	1	1	0
6132009	622603901	セフテラム ピボキシル	トミロン細粒小児用20% 200mg	0	0	0	1	0
6132009	622613300	セフテラム ピボキシル	セフテラム ピボキシル100mg細粒	0	0	0	1	0
6132010	620004958	セフロキシム アクセチル	オラセフ錠250mg	1	1	1	1	0
6132011	620003968	セフポドキシム プロキシチル	セフポドキシムプロキシチル錠100「TCK」 100mg	1	1	1	1	0
6132011	620003969	セフポドキシム プロキシチル	セフポドキシムプロキシチル錠100mg「CH」	1	0	0	0	0
6132011	620003970	セフポドキシム プロキシチル	セフポドキシムプロキシチル錠100mg「タイヨー」	1	1	1	1	0
6132011	620003971	セフポドキシム プロキシチル	セフポドキシムプロキシチルDS5%「CH」 50mg	1	1	1	0	0
6132011	620003972	セフポドキシム プロキシチル	セフポドキシムプロキシチルDS5%「タイヨー」 50mg	1	1	1	0	0
6132011	620003973	セフポドキシム プロキシチル	セボキシム錠100mg	1	1	1	0	0
6132011	620003974	セフポドキシム プロキシチル	セボキシムドライシロップ小児用5% 50mg	1	1	0	0	0
6132011	620004021	セフポドキシム プロキシチル	バナセファン錠100mg	1	1	1	0	0
6132011	620004022	セフポドキシム プロキシチル	バナセファンDS5% 50mg	1	1	1	0	0
6132011	620008681	セフポドキシム プロキシチル	バナシム錠100mg	1	1	1	1	0
6132011	620008682	セフポドキシム プロキシチル	バナシムドライシロップ5% 50mg	1	1	1	1	0
6132011	621744202	セフポドキシム プロキシチル	セフポドキシムプロキシチル錠100mg「タナベ」	1	1	1	0	0
6132011	621744203	セフポドキシム プロキシチル	セフポドキシムプロキシチル錠100mg「JG」	0	1	1	1	0
6132011	621744401	セフポドキシム プロキシチル	セフポドキシムプロキシチル錠100mg「トーフ」	0	1	1	1	0
6132011	621747601	セフポドキシム プロキシチル	セフポドキシムプロキシチル錠100mg「サワイ」	0	0	1	1	0
6132011	621747701	セフポドキシム プロキシチル	セフポドキシムプロキシチルDS小児用5%「サワイ」 50mg	0	0	1	1	0
6132012	616130476	セフオチアム ヘキシチル塩酸塩	パンスポリンT錠100 100mg	1	1	1	1	0
6132012	616130477	セフオチアム ヘキシチル塩酸塩	パンスポリンT錠200 200mg	1	1	1	1	0
6132013	616130531	セフジニル	セフゾンカプセル50mg	1	1	1	1	0
6132013	616130532	セフジニル	セフゾンカプセル100mg	1	1	1	1	0

薬価基準 コード7桁	レセプト電 算コード	セフジニル 成分名	セフジニル 漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6132013	621907701	セフジニル	セフジニル細粒小児用1.0%「トーワ」 1.00mg	0	0	0	1	0
6132013	621910001	セフジニル	セフジニルカプセル5.0mg「タナベ」	1	1	1	0	0
6132013	621910002	セフジニル	セフジニルカプセル5.0mg「JG」	0	1	1	1	0
6132013	621910101	セフジニル	セフジニルカプセル1.00mg「タナベ」	1	1	1	0	0
6132013	621910102	セフジニル	セフジニルカプセル1.00mg「JG」	0	1	1	1	0
6132013	621935801	セフジニル	セフジニル細粒小児用1.0%「タイヨー」 1.00mg	1	1	1	1	0
6132013	621935901	セフジニル	セフジニル細粒小児用2.0%「タイヨー」 2.00mg	1	1	1	1	0
6132013	621962201	セフジニル	シオジニルカプセル5.0mg	1	1	0	0	0
6132013	621962301	セフジニル	シオジニルカプセル1.00 1.00mg	1	1	0	0	0
6132013	622612900	セフジニル	セフジニル5.0mgカプセル	0	0	0	1	0
6132013	622613000	セフジニル	セフジニル5.0mg錠	0	0	0	1	0
6132013	622613100	セフジニル	セフジニル1.00mgカプセル	0	0	0	1	0
6132013	622613200	セフジニル	セフジニル1.00mg錠	0	0	0	1	0
6132015	620004080	セフジトレン ピボキシル	メイアクトMS錠1.00mg	1	1	1	1	0
6132015	620005499	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル細粒小児用1.0% 「トーワ」 1.00mg	1	1	1	1	0
6132015	620005500	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル細粒1.0%小児用 「日医工」 1.00mg	1	1	1	1	0
6132015	620005501	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル小児用細粒1.0% 「EMEC」 1.00mg	1	1	1	1	0
6132015	620005502	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル小児用細粒1.0% 「サワイ」 1.00mg	1	1	1	1	0
6132015	620005503	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル小児用細粒1.0% 「CH」 1.00mg	1	1	1	1	0
6132015	620005504	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル小児用細粒1.0% 「タイヨー」 1.00mg	1	1	1	0	0
6132015	620005505	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル錠1.00mg 「サワイ」	1	1	1	1	0
6132015	620005506	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル錠1.00mg 「CH」	1	1	1	1	0
6132015	620005507	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル錠1.00mg 「トーワ」	1	1	1	1	0
6132015	620005508	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル錠1.00mg 「日医工」	1	1	1	1	0
6132015	620008746	セフジトレン ピボキシル	メイアクトMS小児用細粒1.0% 1.00mg	1	1	1	1	0
6132015	622559401	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル錠1.00mg 「OK」	0	0	0	1	0
6132015	622644301	セフジトレン ピボキシル	セフジトレンピボキシル小児用細粒1.0% 「OK」 1.00mg	0	0	0	0	1
6132016	610411057	セフカペン ピボキシル塩酸 塩水和物	フロモックス錠7.5mg	1	1	1	1	0
6132016	610411058	セフカペン ピボキシル塩酸 塩水和物	フロモックス錠1.00mg	1	1	1	1	0
6132016	610411059	セフカペン ピボキシル塩酸 塩水和物	フロモックス小児用細粒1.00mg	1	1	1	1	0
6132016	620009331	セフカペン ピボキシル塩酸 塩水和物	セフカペンピボキシル塩酸錠7.5mg 「サワイ」	1	1	1	1	0

薬価基準 コード7桁	ピポキシル塩酸 塩水和物 成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠100mg 「サワイ」	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠75mg 「TCK」	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠100mg 「TCK」	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩細粒小児用 100mgTCK 100mg	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩細粒小児用 10%「JG」 100mg	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩細粒小児用 10%「YD」 100mg	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠75mg 「YD」	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠100mg 「YD」	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩細粒小児用 10%「マイラン」 100mg	1	1	1	0	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩細粒小児用 10%ファイザー 100mg	0	0	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠75mg 「マイラン」	1	1	1	0	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠75mg 「ファイザー」	0	0	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠100mg 「マイラン」	1	1	1	0	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠100mg 「ファイザー」	0	0	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩細粒小児用 10%「トーフ」 100mg	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠75mg 「トーフ」	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠100mg 「トーフ」	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩細粒小児用 10%「CH」 100mg	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠75mg 「CH」	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠100mg 「CH」	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩細粒10% 小児用「日医工」 100mg	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩小児用細粒 10%「サワイ」 100mg	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠75mg 「日医工」	1	1	1	1	0
6132016	セフカペン 塩水和物	セフカペンピポキシル塩酸塩錠100mg 「日医工」	1	1	1	1	0
6135001	ホスホマイシンカルシウム水 和物	ホスミンドライシロップ200 200 mg	1	1	1	1	0
6135001	ホスホマイシンカルシウム水 和物	ホスミンドライシロップ400 400 mg	1	1	1	1	0
6135001	ホスホマイシンカルシウム水 和物	ハロスミンカプセル500 500mg	1	1	0	0	0
6135001	ホスホマイシンカルシウム水 和物	ハロスミンドライシロップ400 400 mg	1	1	0	0	0

薬価基準 コード7桁	計算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6135001	616130513	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスミン錠 250 250mg	1	1	1	1	0
6135001	616130517	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスミン錠 500 500mg	1	1	1	1	0
6135001	616130526	ホスホマイシンカルシウム水和物	ブルーバシリンカプセル 500mg	1	0	0	0	0
6135001	616130526	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホミンドライシロップ 400 400mg	1	1	1	1	0
6135001	620008731	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスマイカプセル 500mg	1	1	1	1	0
6135001	621113002	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウムカプセル 500mg 「日医工」	0	1	1	1	0
6135001	621113712	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウムDS 40% 「日医工」 400mg	0	1	1	1	0
6135001	621946401	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスマイカプセル 250mg	1	1	1	1	0
6135001	621964001	ホスホマイシンカルシウム水和物	ハロスミンカプセル 250 250mg	1	1	0	0	0
6135001	621964002	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウムカプセル 250mg 「日医工」	0	1	1	1	0
6135001	622323800	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウム 400mg シロップ用	0	1	1	1	0
6135001	622616100	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウム 250mg カプセル	0	0	0	1	0
6135001	622616200	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウム 400mg シロップ用	0	0	0	1	0
6135001	622616300	ホスホマイシンカルシウム水和物	ホスホマイシンカルシウム 500mg カプセル	0	0	0	1	0
6139001	610411055	ファロペナムナトリウム水和物	ファロム錠 150mg	1	1	1	1	0
6139001	610411056	ファロペナムナトリウム水和物	ファロム錠 200mg	1	1	1	1	0
6139001	620008702	ファロペナムナトリウム水和物	ファロムドライシロップ小児用 100 100mg	1	1	1	1	0
6139002	621926801	テビペナム ピボキシル	オラペナム小児用細粒 100 100mg	1	1	1	1	0
6139100	620003126	アモキシシリン水和物・クラ ブラン酸カリウム	クラバモックス小児用ドライシロップ 636.5mg	1	0	0	0	0
6139100	620003521	アモキシシリン水和物・クラ ブラン酸カリウム	オーグメンチン錠 125 187.5mg	1	0	0	0	0
6139100	620003522	アモキシシリン水和物・クラ ブラン酸カリウム	オーグメンチン錠 250 375mg	1	0	0	0	0
6139100	621116201	アモキシシリン水和物・クラ ブラン酸カリウム	オーグメンチン配合錠 125 S S 187.5mg	1	1	1	1	0
6139100	621116301	アモキシシリン水和物・クラ ブラン酸カリウム	オーグメンチン配合錠 250 R S 375mg	1	1	1	1	0
6139100	621709001	アモキシシリン水和物・クラ ブラン酸カリウム	クラバモックス小児用配合ドライシロップ 636.5mg	1	1	1	1	0
6141001	620000022	エリスロマイシンエチルコハ ク酸エステル	エリスロシンW顆粒 200 200mg	1	1	1	1	0
6141001	620001974	エリスロマイシンエチルコハ ク酸エステル	エリスロシンドライシロップW 200 200mg	1	1	1	1	0
6141001	620001975	エリスロマイシンエチルコハ ク酸エステル	エリスロシンドライシロップ 100 100mg	1	1	1	1	0
6141002	620004463	エリスロマイシン	エリスロマイシン錠 200mg 「サワ	1	1	1	1	0

薬価基準 6141047行	レセプト電 算コード	成分名	イ」 漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
		ロマイシンステアリン酸塩	ロン錠100mg					
6141004	620000021	エリスロマイシンステアリン酸塩	エリスロシン錠200mg	1	1	1	1	0
6142001	620003495	スピラマイシン酢酸エステル	アセチルスピラマイシン錠100 100mg	1	1	1	1	0
6142001	620003496	スピラマイシン酢酸エステル	アセチルスピラマイシン錠200 200mg	1	1	1	1	0
6145001	620003554	ジョサマイシン	ジョサマイシン錠50mg	1	1	1	1	0
6145001	620003555	ジョサマイシン	ジョサマイシン錠200mg	1	1	1	1	0
6145002	620004503	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	ジョサマイシロップ3% 300mg	1	1	1	1	0
6145002	620004504	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	ジョサマイドライシロップ10% 100mg	1	1	1	1	0
6146001	620008754		メデマイシンカプセル200mg	1	0	0	0	0
6146002	616140090		ミオカマイシン錠200 200mg	1	0	0	0	0
6146002	616140091		ミオカマイシンドライシロップ100 100mg	1	0	0	0	0
6146002	616140092		ミオカマイシンドライシロップ200 200mg	1	0	0	0	0
6149001	610406338	ロキタマイシン	リカマイシンドライシロップ200 200mg	1	1	1	0	0
6149001	616140094	ロキタマイシン	リカマイシン錠100mg	1	0	0	0	0
6149001	621121601	ロキタマイシン	リカマイシン錠100mg	1	1	0	0	0
6149002	616140099	ロキスロマイシン	ルリッド錠150 150mg	1	1	1	1	0
6149002	620002697	ロキスロマイシン	オーロライド錠150 150mg	1	1	0	0	0
6149002	620002868	ロキスロマイシン	ラドリッド錠150mg	1	0	0	0	0
6149002	620002882	ロキスロマイシン	ルリシン錠150mg	1	1	1	0	0
6149002	620002885	ロキスロマイシン	ロキシマイン錠150mg	1	1	1	1	0
6149002	620002887	ロキスロマイシン	ロクスリッド錠150 150mg	1	1	1	0	0
6149002	620002890	ロキスロマイシン	ロキライド錠150 150mg	1	1	1	0	0
6149002	620004096	ロキスロマイシン	ロキスロマイシン錠150mg「サンド」	1	1	1	1	0
6149002	620005638	ロキスロマイシン	ロキスロマイシン錠150mg「MED」	1	1	1	1	0
6149002	620009499	ロキスロマイシン	ロキスロマイシン錠150mg「マイラン」	1	1	0	0	0
6149002	621675901	ロキスロマイシン	ロキスロマイシン錠150mg「日医工」	0	0	1	1	0
6149002	621681102	ロキスロマイシン	ロキスロマイシン錠150mg「RM」	0	1	1	1	0
6149002	621693301	ロキスロマイシン	ロキスロマイシン錠150mg「タナベ」	1	1	1	0	0
6149002	621693303	ロキスロマイシン	ロキスロマイシン錠150mg「JG」	0	1	1	1	0
6149002	621694201	ロキスロマイシン	ロキスロマイシン錠150mg「サワイ」	0	0	1	1	0
6149002	621694501	ロキスロマイシン	ロキスロマイシン錠150mg「トーフ」	0	0	0	1	0
6149002	621694602	ロキスロマイシン	ロキスロマイシン錠150mg「ファイザー」	0	1	1	1	0

薬価基準 6149003	レセプト電 算 616140102	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6149003	616140104	クラリスロマイシン	クラリシッド錠5●mg小児用	1	1	1	1	0
6149003	616140105	クラリスロマイシン	クラリス錠2●● 2●●mg	1	1	1	1	0
6149003	620003916	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠小児用5●mg 「タカタ」	1	1	1	1	0
6149003	620003917	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5●小児用「TC K」 5●mg	1	1	1	1	0
6149003	620003918	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5●mg小児用 「EMEC」	1	1	1	1	0
6149003	620003919	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5●mg小児用 「NP I」	1	1	1	1	0
6149003	620003920	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5●mg小児用 「サワイ」	1	1	1	1	0
6149003	620003921	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5●mg小児用 「CH」	1	1	1	1	0
6149003	620003922	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5●mg小児用 「タイヨー」	1	1	1	1	0
6149003	620003923	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5●mg小児用 「日医工」	1	1	1	1	0
6149003	620003924	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠5●mg小児用 「PH」	1	1	0	0	0
6149003	620003926	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2●●「MEE K」 2●●mg	1	1	1	1	0
6149003	620003927	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2●●「TC K」 2●●mg	1	1	1	1	0
6149003	620003928	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2●●mg「EM EC」	1	1	1	1	0
6149003	620003929	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2●●mg「NP I」	1	1	1	1	0
6149003	620003930	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2●●mg「サワ イ」	1	1	1	1	0
6149003	620003931	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2●●mg「サン ド」	1	1	1	1	0
6149003	620003932	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2●●mg「C H」	1	1	1	1	0
6149003	620003933	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2●●mg「タイ ヨー」	1	1	1	1	0
6149003	620003934	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2●●mg「タカ タ」	1	1	1	1	0
6149003	620003935	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2●●mg「日医 工」	1	1	1	1	0
6149003	620003936	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠2●●mg「P H」	1	1	0	0	0
6149003	620003939	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS 1●%「MEE K」 1●●mg	1	1	1	1	0
6149003	620003940	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS 1●%小児用 「EMEC」 1●●mg	1	1	1	1	0
6149003	620003941	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS 1●%小児用 「サワイ」 1●●mg	1	1	1	1	0
6149003	620003942	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS 1●%小児用 「日医工」 1●●mg	1	1	1	1	0
6149003	620003943	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS小児用1 ●%「タカタ」 1●●mg	1	1	1	1	0
6149003	620003945	クラリスロマイシン	クラロイシン錠5●小児用 5●mg	1	1	1	1	0

薬価基準 コード7桁	レセプト電 算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6149003	620004075	クラリスロマイシン	クラロイシン錠200 200mg	1	1	1	1	0
		クラリスロマイシン	マインベース錠50小児用 50mg	1	1	1	1	0
6149003	620004076	クラリスロマイシン	マインベース錠200 200mg	1	1	1	1	0
6149003	620004077	クラリスロマイシン	マインベースDS10%小児用 100mg	1	1	1	1	0
6149003	620004089	クラリスロマイシン	リクモース錠小児用50mg	1	1	0	0	0
6149003	620004090	クラリスロマイシン	リクモース錠200mg	1	1	0	0	0
6149003	620004091	クラリスロマイシン	リクモースドライシロップ小児用10% 100mg	1	1	0	0	0
6149003	620004476	クラリスロマイシン	クラリシッド・ドライシロップ10%小 児用 100mg	1	1	1	1	0
6149003	620004974	クラリスロマイシン	クラリスドライシロップ10%小児用 100mg	1	1	1	1	0
6149003	620005353	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS10%小児用 「コーフ」 100mg	1	1	0	0	0
6149003	620005425	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠50小児用「ME EK」 50mg	1	1	1	1	0
6149003	620005426	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンドライシロップ1 0%小児用タイヨー 100mg	1	1	1	1	0
6149003	620005427	クラリスロマイシン	クラロイシンドライシロップ10%小児 用 100mg	1	1	1	1	0
6149003	620006669	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠50mg小児用 「マイラン」	1	1	1	1	0
6149003	620006670	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠200mg「マイ ラン」	1	1	1	1	0
6149003	620006671	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS10%小児用 「マイラン」 100mg	1	1	1	1	0
6149003	620008013	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠200mg「タナ ベ」	1	1	1	1	0
6149003	620008014	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS10%小児用 「CH」 100mg	1	1	1	1	0
6149003	621741203	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠50mg小児用 「杏林」	0	1	1	1	0
6149003	621742103	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠200mg「杏 林」	0	1	1	1	0
6149003	621742605	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS10%小児用 「TYK」 100mg	0	1	1	0	0
6149003	621752801	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠小児用50mg 「トーフ」	0	1	1	1	0
6149003	621752901	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠200mg「トー フ」	0	1	1	1	0
6149003	621753001	クラリスロマイシン	クラリスロマイシンDS小児用1 0%「トーフ」 100mg	0	1	1	1	0
6149003	622079301	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠50mg小児用 「NP」	1	1	1	1	0
6149003	622079401	クラリスロマイシン	クラリスロマイシン錠200mg「N P」	1	1	1	1	0
6149004	610443024	アジスロマイシン水和物	ジスロマックカプセル小児用100mg	1	1	1	1	0
6149004	610443025	アジスロマイシン水和物	ジスロマック細粒小児用 100mg	1	0	0	0	0
6149004	610443026	アジスロマイシン水和物	ジスロマック錠250mg	1	1	1	1	0
6149004	610451034	アジスロマイシン水和物	ジスロマック錠600mg	1	1	1	1	0
6149004	620009094	アジスロマイシン水和物	ジスロマックSR成人用ドライシロップ 2g	1	1	1	1	0

薬価基準 コード7桁	レセプト電 算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6149004	622269401	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「YD」	0	1	1	1	0
6149004	622269501	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン細粒小児用100mg「YD」	0	1	1	1	0
6149004	622269601	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「YD」	0	1	1	1	0
6149004	622270801	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「日医工」	0	1	1	1	0
6149004	622270901	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠500mg「日医工」	0	1	1	1	0
6149004	622274201	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「KN」	0	1	1	1	0
6149004	622274301	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン細粒100mg小児用「KN」	0	1	1	1	0
6149004	622274401	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「タカタ」	0	1	1	1	0
6149004	622274501	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン小児用細粒100mg「タカタ」	0	1	1	1	0
6149004	622274601	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン小児用錠100mg「タカタ」	0	1	1	1	0
6149004	622275401	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「わかもと」	0	1	1	1	0
6149004	622275601	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「アメル」	0	1	1	1	0
6149004	622276801	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「KOG」	0	1	1	1	0
6149004	622281501	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「トーフ」	0	1	1	1	0
6149004	622281601	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠500mg「トーフ」	0	1	1	1	0
6149004	622282801	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「テバ」	0	1	1	1	0
6149004	622286701	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「DSEP」	0	1	1	1	0
6149004	622289801	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「サンド」	0	1	1	1	0
6149004	622290701	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「JG」	0	1	1	1	0
6149004	622290801	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「JG」	0	1	1	1	0
6149004	622294801	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「F」	0	1	1	1	0
6149004	622295301	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン細粒小児用100mg「JG」	0	1	1	1	0
6149004	622295401	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「サワイ」	0	1	1	1	0
6149004	622296901	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「NP」	0	1	1	1	0
6149004	622303201	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「SN」	0	1	1	1	0
6149004	622303301	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン細粒小児用100mg「SN」	0	1	1	1	0
6149004	622303401	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「SN」	0	1	1	1	0
6149004	622352901	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン錠250mg「TCK」	0	0	1	1	0
6149004	622353001	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「TCK」	0	0	1	1	0

薬価基準 コード7桁 6149004	レセプト電 算コード 622368001	成分名 アジスロマイシン水和物	漢字名称 アジスロマイシン細粒小児用1.0%「T CK」 アジスロマイシン錠2.5mg「CH M」	2010	2012	2014	2016	2018
				0	0	1	1	0
6149004	622411501	アジスロマイシン水和物	アジスロマイシン細粒小児用1.0%「トーワ」1.0mg	0	0	1	1	0
6149005	620000434		ケテック錠3.0mg	1	0	0	0	0
6151001	616150012	クロラムフェニコール	クロロマイセチン2.5.2.5mg	1	0	0	0	0
6151001	616150013	クロラムフェニコール	クロロマイセチン5.5.5mg	1	0	0	0	0
6151001	621122501	クロラムフェニコール	クロロマイセチン錠5.5.5mg	1	1	1	1	0
6151001	621122601	クロラムフェニコール	クロロマイセチン錠2.5.2.5mg	1	1	1	1	0
6151002	616150016		クロロマイセチンパルミテート液（小児用）3.1.2.5mg	1	0	0	0	0
6152002	616150002	テトラサイクリン塩酸塩	アクロマイシンVカプセル2.5.5mg	1	1	1	1	0
6152002	616150003	テトラサイクリン塩酸塩	アクロマイシンVカプセル5.5mg	1	1	1	1	0
6152003	616150077	デメチルクロールテトラサイクリン塩酸塩	レダマイシンカプセル1.5.5mg	1	0	0	0	0
6152003	621123301	デメチルクロールテトラサイクリン塩酸塩	レダマイシンカプセル1.5.5mg	1	1	1	1	0
6152004	616150040	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	パルドマイシン錠5.5.5mg	1	0	0	0	0
6152004	616150069	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	ラセナマイシン錠1.0.5mg	1	0	0	0	0
6152004	616150070	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	ラセナマイシン錠5.5mg	1	0	0	0	0
6152004	620006083	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	ビブラマイシン錠5.5mg	1	1	1	1	0
6152004	620006084	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	ビブラマイシン錠1.0.5mg	1	1	1	1	0
6152005	610407118	ミノサイクリン塩酸塩	ミノトーワ錠5.5.5mg	1	1	1	0	0
6152005	610454083	ミノサイクリン塩酸塩	ミノマイシンカプセル1.0.5mg	1	1	1	1	0
6152005	616150063	ミノサイクリン塩酸塩	ミノマイシンカプセル5.5mg	1	1	1	1	0
6152005	616150064	ミノサイクリン塩酸塩	ミノマイシン錠1.0.5mg	1	1	1	1	0
6152005	616150088	ミノサイクリン塩酸塩	ミノマイシン錠5.5mg	1	1	1	1	0
6152005	616150090	ミノサイクリン塩酸塩	塩酸ミノサイクリンカプセル1.0.5「マルコ」1.0.5mg	1	1	0	0	0
6152005	616150098	ミノサイクリン塩酸塩	ミノパン錠5.5.5mg	1	1	1	0	0
6152005	616150099	ミノサイクリン塩酸塩	ミノパン錠1.0.5.1.0.5mg	1	1	1	0	0
6152005	616150103	ミノサイクリン塩酸塩	クーペラシン錠1.0.5mg	1	1	0	0	0
6152005	616150107	ミノサイクリン塩酸塩	塩酸ミノサイクリン錠5.5「マルコ」5.5mg	1	1	0	0	0
6152005	616150108	ミノサイクリン塩酸塩	クーペラシン錠5.5mg	1	1	0	0	0
6152005	616150112	ミノサイクリン塩酸塩	ミノトーワ錠1.0.5.1.0.5mg	1	1	1	0	0
6152005	620004594	ミノサイクリン塩酸塩	ミノパン顆粒2%.2.5mg	1	1	1	0	0
6152005	620004973	ミノサイクリン塩酸塩	クーペラシン顆粒2%.2.5mg	1	1	0	0	0
6152005	620007109	ミノサイクリン塩酸塩	ミノマイシン顆粒2%.2.5mg	1	1	1	1	0
6152005	621124301	ミノサイクリン塩酸塩	ミノサイクリン塩酸塩顆粒2%「サワイ」2.5mg	0	1	1	1	0
6152005	621124603	ミノサイクリン塩酸塩	塩酸ミノサイクリン錠5.5「日医工」5.5mg	0	1	1	1	0
6152005	621124604	ミノサイクリン塩酸塩	ミノサイクリン塩酸塩錠5.5mg「日医	0	0	0	1	0

薬価基準 コード7桁	シチュエート 算コード	成分名	工 漢字名称	0 2010	1 2012	1 2014	1 2016	0 2018
6152005	621124801	ミノサイクリン塩酸塩 成分名	ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「サ ワ	0	1	1	1	0
6152005	621125101	ミノサイクリン塩酸塩	ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「ト ワ	0	1	1	1	0
6152005	621125401	ミノサイクリン塩酸塩	ミノサイクリン塩酸塩錠100mg「サ ワイ	0	1	1	1	0
6152005	621125701	ミノサイクリン塩酸塩	ミノサイクリン塩酸塩錠100mg 「トワ	0	1	1	1	0
6152005	621126003	ミノサイクリン塩酸塩	塩酸ミノサイクリンカプセル100mg「日 医工」	0	1	1	1	0
6152005	621126004	ミノサイクリン塩酸塩	ミノサイクリン塩酸塩カプセル100m g「日医工」	0	0	0	1	0
6191001	616190031	アンピシリン水和物・クロキ サシリンナトリウム水和物	ピクシリンSカプセル250mg	1	0	0	0	0
6191001	616190034	アンピシリン水和物・クロキ サシリンナトリウム水和物	ピクシリンS錠250mg	1	0	0	0	0
6191001	621130301	アンピシリン水和物・クロキ サシリンナトリウム水和物	ピクシリンS配合錠250mg	1	1	1	1	0
6191001	621130401	アンピシリン水和物・クロキ サシリンナトリウム水和物	ピクシリンS配合カプセル250mg	1	0	0	0	0
6199001	622517701	リファキシミン	リフキシマ錠200mg	0	0	0	1	0
6212002	616210045	スルファメトキサゾール	スルファメトキサゾール	1	1	1	1	0
6213001	616210005	スルファジメトキシシ	アブシード	1	0	0	0	0
6213001	620006826	スルファジメトキシシ	アブシードシロップ5%	1	1	1	1	0
6219001	610433148	サラゾスルファピリジン	ラノフェン錠500mg	1	0	0	0	0
6219001	610453008	サラゾスルファピリジン	アザスルファン腸溶錠500mg	1	1	1	0	0
6219001	610453051	サラゾスルファピリジン	サフィルジンEN錠500500mg	1	1	1	0	0
6219001	610453065	サラゾスルファピリジン	ソアレジン錠250mg	1	1	1	0	0
6219001	610463004	サラゾスルファピリジン	アザルフィジンEN錠250mg	1	1	1	1	0
6219001	620004897	サラゾスルファピリジン	アザルフィジンEN錠500mg	1	1	1	1	0
6219001	620006949	サラゾスルファピリジン	スラム錠500mg	1	1	1	1	0
6219001	620008624	サラゾスルファピリジン	サラゾピリン錠500mg	1	1	1	1	0
6219001	620009119	サラゾスルファピリジン	サラゾスルファピリジン錠500mg 「タイヨー」	1	1	1	1	0
6219001	621133002	サラゾスルファピリジン	サラゾスルファピリジン錠500mg 「日医工」	0	0	1	1	0
6219001	621350101	サラゾスルファピリジン	ラノフェン錠500mg	1	0	0	0	0
6219001	621442802	サラゾスルファピリジン	サラゾスルファピリジン腸溶錠500m g「SN」	0	0	1	1	0
6219001	621442905	サラゾスルファピリジン	サラゾスルファピリジン腸溶錠500m g「CH」	0	0	1	1	0
6219001	621443001	サラゾスルファピリジン	サラゾスルファピリジン腸溶錠250m g「テバ」	0	1	1	1	0
6219001	622023001	サラゾスルファピリジン	サラゾスルファピリジン錠500mg 「JG」	1	1	1	1	0
6219001	622039001	サラゾスルファピリジン	サフィルジンEN錠250250mg	1	1	1	0	0
6219001	622039002	サラゾスルファピリジン	サラゾスルファピリジン腸溶錠250m g「SN」	0	0	1	1	0
6219001	622103601	サラゾスルファピリジン	サラゾスルファピリジン腸溶錠500m g「タイヨー」	1	1	1	0	0
6219001	622103602	サラゾスルファピリジン	サラゾスルファピリジン腸溶錠500m	0	1	1	1	0

薬価基準 コード7桁 6241008	レセプト電 算コード 616290155	塩酸シプロフロキサシン 成分名 塩酸シプロフロキサシン	フロキシール錠200 200mg 漢字名称 シプロキサシン錠100mg	1 2010	1 2012	1 2014	0 2016	0 2018
				1	1	1	1	0
6241008	616290156	塩酸シプロフロキサシン	シプロキサシン錠200mg	1	1	1	1	0
6241008	620000117	塩酸シプロフロキサシン	プリモール錠100mg	1	1	1	1	0
6241008	620000118	塩酸シプロフロキサシン	プリモール錠200mg	1	1	1	1	0
6241008	620002814	塩酸シプロフロキサシン	ペイトン錠200 200mg	1	1	0	0	0
6241008	620002830	塩酸シプロフロキサシン	ベンジング錠200mg	1	0	0	0	0
6241008	621489001	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠100mg「日医 工」	0	1	1	1	0
6241008	621489102	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠200mg「S W」	0	0	1	1	0
6241008	621489201	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠200mg「タナ ベ」	1	1	1	0	0
6241008	621489203	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠200mg「J G」	0	1	1	1	0
6241008	621489501	塩酸シプロフロキサシン	シブキサノン錠200mg	0	1	1	0	0
6241008	621489502	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠200mg「トー ワ」	0	1	1	1	0
6241008	621489601	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠200mg「日医 工」	0	1	1	1	0
6241008	621529401	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠100mg「TC K」	0	0	1	1	0
6241008	621529501	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠200mg「TC K」	0	0	1	1	0
6241008	621946501	塩酸シプロフロキサシン	シブキサノン錠100mg	1	1	1	0	0
6241008	621946502	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠100mg「トー ワ」	0	1	1	1	0
6241008	621964701	塩酸シプロフロキサシン	フロキシール錠100 100mg	1	1	1	0	0
6241008	621964702	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠100mg「S W」	0	0	1	1	0
6241008	621964801	塩酸シプロフロキサシン	ペイトン錠100 100mg	1	1	0	0	0
6241008	621976900	塩酸シプロフロキサシン	塩酸シプロフロキサシン200mg錠	1	1	1	1	0
6241008	622096201	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠100mg「C H」	1	1	1	0	0
6241008	622096202	塩酸シプロフロキサシン	シプロフロキサシン錠100mg「J G」	0	1	1	1	0
6241008	622125901	塩酸シプロフロキサシン	シバスタン錠100mg	1	1	1	1	0
6241008	622311500	塩酸シプロフロキサシン	塩酸シプロフロキサシン100mg錠	0	1	1	1	0
6241009	610407158	塩酸ロメフロキサシン	バレオン錠200mg	1	1	1	1	0
6241009	616290170	塩酸ロメフロキサシン	バレオンカプセル100mg	1	1	1	1	0
6241009	616290171	塩酸ロメフロキサシン	ロメバクトカプセル100mg	1	1	1	1	0
6241010	616290166	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	オゼックス錠75 75mg	1	1	1	1	0
6241010	616290167	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	オゼックス錠150 150mg	1	1	1	1	0
6241010	616290168	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスキサシン錠75mg	1	1	1	1	0
6241010	616290169	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスキサシン錠150mg	1	1	1	1	0
6241010	621931101	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「TC K」	1	1	1	1	0

薬価基準 コード7桁	2013年電 算コード	トスフロキサシントシル酸塩 水和物 成分名	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「TCK」 漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6241010	621935301	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「タイヨー」	1	1	1	1	0
6241010	621935401	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「タイヨー」	1	1	1	1	0
6241010	621940001	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「YD」	1	1	1	1	0
6241010	621940101	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「YD」	1	1	1	1	0
6241010	621952101	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「NP」	1	1	1	1	0
6241010	621952201	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「NP」	1	1	1	1	0
6241010	621953501	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「TYK」	1	1	1	1	0
6241010	621953601	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「TYK」	1	1	1	1	0
6241010	621956201	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「タナベ」	1	1	1	1	0
6241010	621956301	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「タナベ」	1	1	1	1	0
6241010	621963301	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「サワイ」	1	1	1	1	0
6241010	621963401	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「サンド」	1	1	1	1	0
6241010	621963501	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg 「日医工」	1	1	1	1	0
6241010	621963601	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「サワイ」	1	1	1	1	0
6241010	621963701	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「サンド」	1	1	1	1	0
6241010	621963801	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg 「日医工」	1	1	1	1	0
6241010	621971501	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	オゼックス細粒小児用15% 150mg	1	1	1	1	0
6241010	622410601	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用 15%「タカタ」 150mg	0	0	1	1	0
6241010	622413901	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用 15%「トーフ」 150mg	0	0	1	1	0
6241010	622420701	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩小児用細粒 15%「明治」 150mg	0	0	1	1	0
6241010	622481701	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用 15%「TCK」 150mg	0	0	0	1	0
6241010	622643601	トスフロキサシントシル酸塩 水和物	オゼックス錠小児用60mg	0	0	0	0	1
6241011	616240004		スパラ錠100mg	1	0	0	0	0
6241013	616240008	レボフロキサシン水和物	クラビット細粒100mg	1	0	0	0	0
6241013	616240009	レボフロキサシン水和物	クラビット錠100mg	1	0	0	0	0
6241013	620009467	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「アメル」 100mg	1	1	1	1	0
6241013	620009468	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「オーハ ラ」 100mg	1	1	1	1	0
6241013	620009469	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「サワイ」	1	1	1	1	0

薬価基準 コード	レセプト電 算コード	成分名	100mg レボフロキサシン細粒10% 漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6241013	620009471	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「タカタ」 100mg	1	1	1	1	0
6241013	620009472	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「日医工」 100mg	1	1	1	1	0
6241013	620009473	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「マイラ ン」 100mg	1	1	1	0	0
6241013	620009474	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「YD」 100mg	1	1	1	1	0
6241013	620009475	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「アメ ル」	1	1	1	1	0
6241013	620009476	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「イセ イ」	1	1	1	1	0
6241013	620009477	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「イフ キ」	1	1	1	1	0
6241013	620009478	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「NP」	1	1	1	1	0
6241013	620009479	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「F」	1	1	1	1	0
6241013	620009480	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「MEE K」	1	1	1	1	0
6241013	620009481	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「オーハ ラ」	1	1	1	1	0
6241013	620009482	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「科研」	1	1	1	1	0
6241013	620009483	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「KR M」	1	1	0	0	0
6241013	620009484	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「サワ イ」	1	1	1	1	0
6241013	620009485	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「JG」	1	1	1	1	0
6241013	620009486	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「CH」	1	1	1	1	0
6241013	620009487	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「ZE」	1	1	1	1	0
6241013	620009488	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「タイ ヨー」	1	1	1	1	0
6241013	620009489	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「タカ タ」	1	1	1	1	0
6241013	620009490	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「DK」	1	1	0	0	0
6241013	620009491	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「TC K」	1	1	1	1	0
6241013	620009492	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「TY K」	1	1	1	1	0
6241013	620009493	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「トー ワ」	1	1	1	1	0
6241013	620009494	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「日医 工」	1	1	1	1	0
6241013	620009495	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「BT」	1	1	1	0	0
6241013	620009496	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「マイラ ン」	1	1	1	0	0
6241013	620009497	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「YD」	1	1	1	1	0
6241013	621902803	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「杏林」	0	1	1	1	0
6241013	621912401	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「ケミ ファ」	0	1	1	1	0
6241013	621925701	レボフロキサシン水和物	クラビット錠250mg（レボフロキ サシンとして）	1	1	1	1	0

薬価基準 コード7桁	2019年電 算コード	レボフロキサシン水和物 成分名	クラビット錠500mg (レボフロキ 漢字名称として)	1 2010	1 2012	1 2014	1 2016	0 2018
6241013	621925901	レボフロキサシン水和物	クラビット細粒10% 100mg (レ ボフロキサシンとして)	1	1	1	1	0
6241013	621946601	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン内用液2.5mg/mL 「トロー」	1	1	1	1	0
6241013	621965901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「あず か」	1	1	1	1	0
6241013	622088901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠100mg「ファイ ザー」	1	1	1	1	0
6241013	622089001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%「ファイ ザー」 100mg	1	1	1	1	0
6241013	622365901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠2.5mg「杏林」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622366001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「杏林」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622367801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠2.5mg「YD」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622367901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「YD」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622368201	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン粒状錠2.5mgモチ ダ(レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622368301	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン粒状錠500mgモチ ダ(レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622369001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠2.5mg「明治」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622369101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「明治」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622370801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠2.5mg「DSEP」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622370901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「DSEP」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622371001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン細粒10%DSEP 1 00mg (レボフロキサシン)	0	0	1	1	0
6241013	622372501	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン内用液2.5mgトロー 1mLレボフロキサシン	0	0	1	1	0
6241013	622372601	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシンOD錠2.5mgトロー ワ(レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622372701	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシンOD錠500mgトロー ワ(レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622372801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠2.5mg「トロー ワ」レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622372901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「トロー ワ」レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622376301	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠2.5mg「ZE」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622376401	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「ZE」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622377901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠2.5mg「タカ タ」レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622378001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「タカ タ」レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622379101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠2.5mg「CH」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622379201	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「CH」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0

薬価基準 コード7桁	レボフロキサ シンの算 コード	レボフロキサシン水和物 成分名	レボフロキサシン錠250mg「タナ 漢字名称レボフロキサシンとして	0 2010	0 2012	1 2014	1 2016	0 2018
6241013	622380101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「タナ ベ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622380301	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「オーハ ラ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622380401	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「オーハ ラ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622382001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mgファイ ザー（レボフロキサシンとして）	0	0	1	1	0
6241013	622382101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mgファイ ザー（レボフロキサシンとして）	0	0	1	1	0
6241013	622383001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「サン ド」	0	0	0	1	0
6241013	622383101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「サン ド」	0	0	0	1	0
6241013	622383501	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「サノ フィ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622383601	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「サノ フィ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622384801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「ニッ トール」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622384901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「ニッ トール」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622386101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「CE O」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622386201	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「CE O」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622386801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「TC K」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622386901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「TC K」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622387801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「日医工 P」	0	0	0	1	0
6241013	622387901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「日医工 P」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622388801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「ケミ ファ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622388901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「ケミ ファ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622389401	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「イワ キ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622389501	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「イワ キ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622391101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「サワ イ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622391201	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「サワ イ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622391701	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「ニブ ロ」	0	0	0	1	0
6241013	622391801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「ニブ ロ」	0	0	0	1	0
6241013	622392301	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「サト ウ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622392401	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「サト ウ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0

薬価基準 コード	レセプト電 算コード	成分名	漢字名称 ウ) レボフロキサシンとして	2010	2012	2014	2016	2018
6241013	622394101	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「F」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622394401	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「テバ」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622394501	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「テバ」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622395201	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「アメ ル」	0	0	0	1	0
6241013	622395301	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「アメ ル」	0	0	0	1	0
6241013	622395901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「科研」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622396001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「科研」 (レボフロキサシンとして)	0	0	1	1	0
6241013	622400701	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「イセ イ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622400801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「MEE K」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622400901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「イセ イ」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622401001	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「MEE K」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622435301	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「SU N」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622435401	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「SU N」	0	0	0	1	0
6241013	622436801	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠250mg「日医 工」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622436901	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン錠500mg「日医 工」 レボフロキサシンとして	0	0	1	1	0
6241013	622476600	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン250mg錠	0	0	0	1	0
6241013	622476700	レボフロキサシン水和物	レボフロキサシン500mg錠	0	0	0	1	0
6241015	610462041	プルリフロキサシン	スオード錠100 100mg (活性本 体として)	1	1	1	1	0
6241016	620003125	モキシフロキサシン塩酸塩	アベロック錠400mg	1	1	1	1	0
6241017	620005822	メシル酸ガレノキサシン水和 物	ジェニナック錠200mg	1	1	1	1	0
6241018	620006773	シタフロキサシン水和物	グレースビット錠50mg	1	1	1	1	0
6241018	620006774	シタフロキサシン水和物	グレースビット細粒10% 100mg	1	1	1	1	0
6241018	622588201	シタフロキサシン水和物	シタフロキサシン錠50mg「サワイ」	0	0	0	1	0
6249002	610451000	リネゾリド	ザイボックス錠600mg	1	1	1	1	0
6249002	622461001	リネゾリド	リネゾリド錠600mg「明治」	0	0	1	1	0
6249002	622588701	リネゾリド	リネゾリド錠600mg「サワイ」	0	0	0	1	0
6290100	610406172	スルファメトキサゾール・ト リメトプリム	ダイフェン顆粒	1	0	0	0	0
6290100	616290083	スルファメトキサゾール・ト リメトプリム	バクタ錠	1	0	0	0	0
6290100	616290084	スルファメトキサゾール・ト リメトプリム	バクタ顆粒	1	0	0	0	0
6290100	616290087	スルファメトキサゾール・ト	バクトラミン顆粒	1	0	0	0	0

薬価基準コード7桁	レセプト電算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6290100	620003164	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	バクトラミン錠	1	0	0	0	0
6290100	620006753	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	スルファメトキサゾール・トリメトプリム錠	1	1	1	1	0
6290100	621148101	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	バクタ配合顆粒	1	1	1	1	0
6290100	621148201	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	バクトラミン配合顆粒	1	1	1	1	0
6290100	621148801	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	ダイフェン配合錠	1	1	1	1	0
6290100	621148901	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	バクタ配合錠	1	1	1	1	0
6290100	621149001	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	バクトラミン配合錠	1	1	1	1	0
6290100	621355101	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	ダイフェン配合顆粒	1	1	1	1	0
6290100	622316700	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	スルファメトキサゾール・トリメトプリム顆粒	0	1	1	1	0
6290100	622612300	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	スルファメトキサゾール・トリメトプリム顆粒	0	0	0	1	0

分子の定義:

1:

外来EFファイルより、経口カルバペナムの含まれる処方を実施された人日を算出する。
1日に複数の薬剤処方や複数回の処方が見られた場合も1人日で集約する。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	レセプト電算コード	成分名	漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
6139001	610411055	ファロペナムナトリウム水和物	ファロム錠150mg	○	○	○	○	○
6139001	610411056	ファロペナムナトリウム水和物	ファロム錠200mg	○	○	○	○	○
6139001	620008702	ファロペナムナトリウム水和物	ファロムドライシロップ小児用10% 100mg	○	○	○	○	○
6139002	621926801	テビベナム ピボキシ ル	オラベナム小児用細粒10% 100mg	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

基本的に目標値はゼロである。

参考値:

参考資料:

1:
薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000120769.pdf>

定義見直しのタイミング: 2020年（アクションプランの期限）、レセプトコード変更時

最終更新日: 2018-10-12

名称: 外来における小児抗菌薬適正使用支援加算の全体数と実施割合

指標番号:

QIP: 2130

年度: 2018

更新日: 2018-10-25

指標群: 感染症

名称: 外来における小児抗菌薬適正使用支援加算の全体数と実施割合

意義: 薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランを背景に、2018年度診療報酬改訂より導入された加算。

必要データセット: 外来EFファイル

定義の要約:

分母: 急性上気道炎、急性胃腸炎、急性下痢症と診断された小児症例 (2018年度以降)

分子: 分母で特定した傷病の診療開始日と同日に小児抗菌薬適正支援加算の算定をされている症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

急性上気道炎、急性胃腸炎、急性下痢症と診断された症例。

傷病コードとして次のコードのいずれかが記載されている症例。

分母のデータ1

傷病名コード	CD-10コード	病名
0090001	A09	急性下痢症
4609008	J00	急性気道感染
0088002	A084	急性下痢症
4659007	J069	急性気道感染
4620001	J029	急性気道感染

2:

1で特定した傷病の診療開始日と同日に小児科外来診療料あるいは小児かかりつけ診療料が算定されている

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
113003510	小児科外来診療料 (処方せんを交付) 初診時	○	○	○	○	
113003510	小児科外来診療料 (処方箋を交付) 初診時					○
113003610	小児科外来診療料 (処方せんを交付) 再診時	○	○	○	○	
113003610	小児科外来診療料 (処方箋を交付) 再診時					○
113003710	小児科外来診療料 (処方せんを交付しない) 初診時	○	○	○	○	
113003710	小児科外来診療料 (処方箋を交付しない) 初診時					○
113003810	小児科外来診療料 (処方せんを交付しない) 再診時	○	○	○	○	
113003810	小児科外来診療料 (処方箋を交付しない) 再診時					○
113019710	小児かかりつけ診療料 (処方せんを交付) (初診時)				○	
113019710	小児かかりつけ診療料 (処方箋を交付) 初診時					○
113019810	小児かかりつけ診療料 (処方せんを交付) (再診時)				○	
113019810	小児かかりつけ診療料 (処方箋を交付) 再診時					○
113019910	小児かかりつけ診療料 (処方せんを交付しない) (初診時)				○	
113019910	小児かかりつけ診療料 (処方箋を交付しない) 初診時					○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
113020010	小児かかりつけ診療料（処方せんを交付しない）（再診時）					
113020010	小児かかりつけ診療料（処方箋を交付しない）再診時					○

3 :
これらの診療開始日および診療料実施日が2018年度（2018年4月）以降のみを分母とする

分子の定義:

1 :
分母の1で特定した診療開始日と同日に小児抗菌薬適正支援加算の算定をされている症例

分子のデータ1

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
113024670	小児抗菌薬適正使用支援加算（小児科外来診療料）	0	0	0	0	1
113027870	小児抗菌薬適正使用支援加算（小児かかりつけ診療料）	0	0	0	0	1

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
他の疾患で複数回、外来を受診している場合、たとえば「4月2日に急逝上気道炎を発症し外来にて治癒、4月22日に急性下痢症を発症し外来にて治癒」などの場合、原理的に分母は2として算出できるように設計している。

2 :
プライマリケアを想定した加算である。したがって、紹介症例、重症化した症例の診療が中心となることが想定される病院においては、質の指標として適切ではない可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :
薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000120769.pdf>

2 :
平成30年度診療報酬改定の概要_小児科分野を中心に(p17)
http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/121th_shaho_1_sakoi.pdf#page=17

定義見直しのタイミング: レセプトコード変更時

最終更新日: 2018-10-25

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 頭蓋内血腫除去術

指標番号:

QIP: 3010

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 頭蓋内血腫除去術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 頭蓋内血腫除去術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬連続投与日数の総計

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K164	頭蓋内血腫除去術（開頭して行うもの）	○	○	○
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	○	○	○

3 :
このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されず手術実施日に投与されている症例。※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す。

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の集計。抗菌薬のリストは 分母条件111と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2 :
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

2:

以前の指標では対象とする症例を病名も含め限定したが、本指標からは術式のみ注目し算出している。このため以前に算出した指標値との比較の際は注意が必要である。

参考値:

参考資料:

1:

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2:

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3:

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4:

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5:

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 頭蓋内血腫除去術

指標番号:

QIP: 3011

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 頭蓋内血腫除去術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 母集団: 頭蓋内血腫除去術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 中央値: 頭蓋内血腫における予防的抗菌薬投与日数の中央値

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K164	頭蓋内血腫除去術（開頭して行うもの）	○	○	○
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	○	○	○

3:
このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されおらず手術実施日に投与されている症例。※参考) 薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の中央値。抗菌薬のリストは 分母条件111と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 中央値

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
算出は、期間ごとの中央値を計測するため、各病院2010年度、2011年度、2012年度（以降同様）の中央値を求めて指標値とする。

2 :
2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

3 :
以前の指標では対象とする症例を病名も含め限定したが、本指標からは術式のみ注目し算出している。このため以前に算出した指標値との比較の際は注意が必要である。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 頭蓋内血腫除去術

指標番号:

QIP: 3012

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 頭蓋内血腫除去術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 頭蓋内血腫除去術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬投与が手術日に開始されておりかつ投与日数が2日以内の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
このうち、このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K164	頭蓋内血腫除去術（開頭して行うもの）	○	○	○
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	○	○	○

3:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:
分母条件1 | 「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。手術実施日の前日に下記抗菌薬が投与されておりかつ手術実施日に投与されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておりかつ手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち 上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

2:
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が連続した日数が2日以内の症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかひとつの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる連続した日数が2日以内である症例数。

3:
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

順守率を定義するため、平均値、中央値と異なり分母には抗菌薬を投与していない症例や術前から抗菌薬を投与されている症例も含まれることになる。2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

2:

以前の指標では対象とする症例を病名も含め限定したが、本指標からは術式のみ注目し算出している。このため以前に算出した指標値との比較の際は注意が必要である。

参考値:

参考資料:

1:

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2:

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3:

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4:

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5:

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 胃切除

指標番号:

QIP: 3020

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 胃切除

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 胃切除術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬連続投与日数の総計

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K654-2	胃局所切除術	○	○	○
K654-3	腹腔鏡下胃局所切除術	○	○	
K654-31	腹腔鏡下胃局所切除術（内視鏡処置を併施）			○
K654-32	腹腔鏡下胃局所切除術（その他）			○
K6551	胃切除術（単純切除術）	○	○	○
K6552	胃切除術（悪性腫瘍手術）	○	○	○
K655-21	腹腔鏡下胃切除術（単純切除術）	○	○	○
K655-22	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）	○	○	○
K655-41	噴門側胃切除術（単純切除術）	○	○	○
K655-42	噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）	○	○	○
K6571	胃全摘術（単純全摘術）	○	○	○
K6572	胃全摘術（悪性腫瘍手術）	○	○	○
K657-21	腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術）	○	○	○
K657-22	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）	○	○	○

3:

このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○

薬価基準コード7桁	剤名	痕跡	2010	2012	2014
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の集計。抗菌薬のリストは 分母条件ⅠⅠⅠと同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2 :
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 胃切除術

指標番号:

QIP: 3021

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 胃切除術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 母集団: 胃切除術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 中央値: 胃疾患における予防的抗菌薬投与日数の中央値

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K654-2	胃局所切除術	○	○	○
K654-3	腹腔鏡下胃局所切除術	○	○	
K654-31	腹腔鏡下胃局所切除術（内視鏡処置を併施）			○
K654-32	腹腔鏡下胃局所切除術（その他）			○
K6551	胃切除術（単純切除術）	○	○	○
K6552	胃切除術（悪性腫瘍手術）	○	○	○
K655-21	腹腔鏡下胃切除術（単純切除術）	○	○	○
K655-22	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）	○	○	○
K655-41	噴門側胃切除術（単純切除術）	○	○	○
K655-42	噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）	○	○	○
K6571	胃全摘術（単純全摘術）	○	○	○
K6572	胃全摘術（悪性腫瘍手術）	○	○	○
K657-21	腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術）	○	○	○
K657-22	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）	○	○	○

3:

このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例。※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○

薬価基準コード7桁	剤名	剤形	2010	2012	2014
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の中央値。抗菌薬のリストは 分母条件 I I I と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2 :
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 中央値

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
算出は、期間ごとの中央値を計測するため、各病院2010年度、2011年度、2012年度（以降同様）の中央値を求めて指標値とする。

2 :
2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 胃切除術

指標番号:

QIP: 3022

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 胃切除術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 胃切除術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬投与が手術日に開始されておりかつ投与日数が4日以内の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K654-2	胃局所切除術	○	○	○
K654-3	腹腔鏡下胃局所切除術	○	○	
K654-31	腹腔鏡下胃局所切除術（内視鏡処置を併施）			○
K654-32	腹腔鏡下胃局所切除術（その他）			○
K6551	胃切除術（単純切除術）	○	○	○
K6552	胃切除術（悪性腫瘍手術）	○	○	○
K655-21	腹腔鏡下胃切除術（単純切除術）	○	○	○
K655-22	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）	○	○	○
K655-41	噴門側胃切除術（単純切除術）	○	○	○
K655-42	噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）	○	○	○
K6571	胃全摘術（単純全摘術）	○	○	○
K6572	胃全摘術（悪性腫瘍手術）	○	○	○
K657-21	腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術）	○	○	○
K657-22	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）	○	○	○

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母条件1。「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。手術実施日の前日に下記抗菌薬が投与されておりかつ手術実施日に投与されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておりかつ手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

2:

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が連続した日数が4日以内の症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかひとつの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる連続した日数が4日以内である症例数。

3:

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

順守率を定義するため、平均値、中央値と異なり分母には抗菌薬を投与していない症例や術前から抗菌薬を投与されている症例も含まれることになる。2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

参考資料:

1:

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2:

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3:

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4:

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5:

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 胆嚢摘出術

指標番号:

QIP: 3030

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 胆嚢摘出術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 胆嚢摘出に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬連続投与日数の総計

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K672	胆嚢摘出術	○	○	○
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	○	○	○

3:

このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考) 薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の集計。抗菌薬のリストは 分母条件111と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1:

QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1:

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2:

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3:

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4:

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5:

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 胆嚢摘出術

指標番号:

QIP: 3031

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 胆嚢摘出術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 母集団: 胆嚢疾患に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 中央値: 胆嚢摘出術における予防的抗菌薬投与日数の中央値

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K672	胆嚢摘出術	○	○	○
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	○	○	○

3:

このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されおらず手術実施日に投与されている症例。※参考) 薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の中央値。抗菌薬のリストは 分母条件111と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 中央値

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
算出は、期間ごとの中央値を計測するため、各病院2010年度、2011年度、2012年度（以降同様）の中央値を求めて指標値とする。

2 :
2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 胆嚢摘出術

指標番号:

QIP: 3032

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 胆嚢摘出術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 胆嚢摘出術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬投与が手術日に開始されておりかつ投与日数が4日以内の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
このうち、このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K672	胆嚢摘出術	○	○	○
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	○	○	○

3 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母条件1 | 「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。手術実施日の前日に下記抗菌薬が投与されておりかつ手術実施日に投与されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておりかつ手術実施日に投与されている症例※参考) 薬価コード7桁のうち 上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

2 :
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が連続した日数が4日以内の症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかひとつの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる連続した日数が4日以内である症例数。

3 :
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
順守率を定義するため、平均値、中央値と異なり分母には抗菌薬を投与していない症例や術前から抗菌薬を投与されている症例も含まれることになる。2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 人工骨頭挿入術及び人工関節置換術

指標番号:

QIP: 3040

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 人工骨頭挿入術及び人工関節置換術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 人工骨頭挿入術及び人工関節置換術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬連続投与日数の総計

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K081 1	人工骨頭挿入術 (肩,股)	○	○	○
K082 1	人工関節置換術 (肩,股,膝)	○	○	○

3:

このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考) 薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の集計。抗菌薬のリストは 分母条件111と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1:

QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1:

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2:

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3:

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4:

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5:

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 人工骨頭挿入術及び人工関節置換術

指標番号:

QIP: 3041

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 人工骨頭挿入術及び人工関節置換術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 母集団: 人工骨頭挿入術及び人工関節置換術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 中央値: 頭部疾患及び関節疾患における予防的抗菌薬投与日数の中央値

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K081 1	人工骨頭挿入術 (肩,股)	○	○	○
K082 1	人工関節置換術 (肩,股,膝)	○	○	○

3:
このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されず手術実施日に投与されている症例。※参考) 薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の中央値。抗菌薬のリストは 分母条件111と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 中央値

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
算出は、期間ごとの中央値を計測するため、各病院2010年度、2011年度、2012年度（以降同様）の中央値を求めて指標値とする。

2 :
2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

指標番号:

QIP: 3042

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 人工骨頭挿入術及び人工関節置換術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 人工骨頭挿入術及び人工関節置換術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬投与が手術日に開始されておりかつ投与日数が4日以内の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
このうち、このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K081 1	人工骨頭挿入術 (肩,股)	○	○	○
K082 1	人工関節置換術 (肩,股,膝)	○	○	○

3 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母条件 I | 「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。手術実施日の前日に下記抗菌薬が投与されておらず手術実施日に投与されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考) 薬価コード7桁のうち 上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

2 :
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が連続した日数が4日以内の症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかひとつの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる連続した日数が4日以内である症例数。

3 :
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

順守率を定義するため、平均値、中央値と異なり分母には抗菌薬を投与していない症例や術前から抗菌薬を投与されている症例も含まれることになる。2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

参考資料:

1 :

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 乳房切除術

指標番号:

QIP: 3050

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 乳房切除術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 乳房切除術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬連続投与日数の総計

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K4761	乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術（乳腺全摘術））	○	○	○
K4762	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））	○	○	○
K4763	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わない））	○	○	○
K4764	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う））	○	○	○
K4765	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施しない）	○	○	○
K4766	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）	○	○	○
K4767	乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術（郭清を併施する））	○	○	○

3 :

このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4 :

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の集計。抗菌薬のリストは 分母条件 I I I と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2 :

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :

QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 乳房切除術

指標番号:

QIP: 3051

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 乳房切除術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 母集団: 乳房切除術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 中央値: 乳房疾患における予防的抗菌薬投与日数の中央値

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K4761	乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術（乳腺全摘術））	○	○	○
K4762	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））	○	○	○
K4763	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わない））	○	○	○
K4764	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う））	○	○	○
K4765	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施しない）	○	○	○
K4766	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）	○	○	○
K4767	乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術（郭清を併施する））	○	○	○

3:

このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例。※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の中央値。抗菌薬のリストは 分母条件 I I I と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2 :
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 中央値

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
算出は、期間ごとの中央値を計測するため、各病院2010年度、2011年度、2012年度（以降同様）の中央値を求めて指標値とする。

2 :
2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 乳房切除術

指標番号:

QIP: 3052

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 乳房切除術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 乳房切除術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬投与が手術日に開始されておりかつ投与日数が2日以内の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K4761	乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術（乳腺全摘術））	○	○	○
K4762	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））	○	○	○
K4763	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わない））	○	○	○
K4764	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う））	○	○	○
K4765	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施しない）	○	○	○
K4766	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）	○	○	○
K4767	乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術（郭清を併施する））	○	○	○

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母条件1 | 「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。手術実施日の前日に下記抗菌薬が投与されておらず手術実施日に投与されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち 上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

2 :

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が連続した日数が2日以内の症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかひとつの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる連続した日数が2日以内である症例数。

3 :

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

順守率を定義するため、平均値、中央値と異なり分母には抗菌薬を投与していない症例や術前から抗菌薬を投与されている症例も含まれることになる。2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

参考資料:

1 :

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 甲状腺手術

指標番号:

QIP: 3060

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 甲状腺手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 甲状腺手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬連続投与日数の総計

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K4612	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（片葉のみ）	○	○	○
K4612	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（両葉）	○	○	○
K462	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	○	○	○
K4631	甲状腺悪性腫瘍手術（切除）	○	○	○
K4632	甲状腺悪性腫瘍手術（全摘及び亜全摘）	○	○	○

3:

このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の集計。抗菌薬のリストは 分母条件111と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1:

QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1:

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2:

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3:

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4:

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5:

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 甲状腺手術

指標番号:

QIP: 3061

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 甲状腺手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 母集団: 甲状腺手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 中央値: 甲状腺疾患における予防的抗菌薬投与日数の中央値

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K4612	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（片葉のみ）	○	○	○
K4612	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（両葉）	○	○	○
K462	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	○	○	○
K4631	甲状腺悪性腫瘍手術（切除）	○	○	○
K4632	甲状腺悪性腫瘍手術（全摘及び亜全摘）	○	○	○

3:

このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例。※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の中央値。抗菌薬のリストは 分母条件ⅠⅠⅠと同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2 :
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 中央値

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
算出は、期間ごとの中央値を計測するため、各病院2010年度、2011年度、2012年度（以降同様）の中央値を求めて指標値とする。

2 :
2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 甲状腺手術

指標番号:

QIP: 3062

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 甲状腺手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 甲状腺手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬投与が手術日に開始されておりかつ投与日数が2日以内の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K4612	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（片葉のみ）	○	○	○
K4612	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（両葉）	○	○	○
K462	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	○	○	○
K4631	甲状腺悪性腫瘍手術（切除）	○	○	○
K4632	甲状腺悪性腫瘍手術（全摘及び亜全摘）	○	○	○

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母条件1。「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。手術実施日の前日に下記抗菌薬が投与されておりかつ手術実施日に投与されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておりかつ手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

2:

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が連続した日数が2日以内の症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬い

すれかひとつの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる連続した日数が2日以内である症例数。

3:

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

順守率を定義するため、平均値、中央値と異なり分母には抗菌薬を投与していない症例や術前から抗菌薬を投与されている症例も含まれることになる。2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

参考資料:

1:

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2:

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3:

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4:

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5:

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 前立腺悪性腫瘍手術

指標番号:

QIP: 3070

年度: 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 前立腺悪性腫瘍手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 前立腺悪性腫瘍手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬連続投与日数の総計

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016
K843	前立腺悪性腫瘍手術	○	○	○	○
K843-2	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	○	○	○	○
K843-3	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	○	○	○	○
K843-4	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる)				○

3:

このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考) 薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の集計。抗菌薬のリストは 分母条件111と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :

QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 前立腺悪性腫瘍手術

指標番号:

QIP: 3071

年度: 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 前立腺悪性腫瘍手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 母集団: 前立腺悪性腫瘍手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 中央値: 前立腺悪性腫瘍における予防的抗菌薬投与日数の中央値

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1: 解析期間に退院した症例を対象とする

2: このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016
K843	前立腺悪性腫瘍手術	○	○	○	○
K843-2	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	○	○	○	○
K843-3	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	○	○	○	○
K843-4	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる）				○

3: このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例。※参考）薬価コード7桁のうち 上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4: 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1: 手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の中央値。抗菌薬のリストは 分母条件111と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 中央値

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
算出は、期間ごとの中央値を計測するため、各病院2010年度、2011年度、2012年度（以降同様）の中央値を求めて指標値とする。

2 :
2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 前立腺悪性腫瘍手術

指標番号:

QIP: 3072

年度: 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 前立腺悪性腫瘍手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 前立腺悪性腫瘍手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬投与が手術日に開始されておりかつ投与日数が4日以内の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
このうち、このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014	2016
K843	前立腺悪性腫瘍手術	○	○	○	○
K843-2	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	○	○	○	○
K843-3	腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	○	○	○	○
K843-4	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる）				○

3:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:
分母条件1 | 「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。手術実施日の前日に下記抗菌薬が投与されておらず手術実施日に投与されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち 上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

2:
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が連続した日数が4日以内の症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかひとつの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる連続した日数が4日以内である症例数。

3 :

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

順守率を定義するため、平均値、中央値と異なり分母には抗菌薬を投与していない症例や術前から抗菌薬を投与されている症例も含まれることになる。2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

参考資料:

1 :

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 子宮良性疾患手術

指標番号:

QIP: 3080

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 子宮良性疾患手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 子宮良性疾患手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬連続投与日数の総計

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K871	子宮息肉様筋腫摘出術（腔式）	○	○	○
K8721	子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）	○	○	○
K8722	子宮筋腫摘出（核出）術（腔式）	○	○	○
K872-2	腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）術	○	○	○
K872-3	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術	○	○	○
K873	子宮鏡下子宮筋腫摘出術	○	○	○
K876	子宮腔上部切断術	○	○	○
K876-2	腹腔鏡下子宮腔上部切断術	○	○	○
K877	子宮全摘術	○	○	○
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	○	○	○

3 :
このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の集計。抗菌薬のリストは 分母条件 I I I と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2 :
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 子宮良性疾患手術

指標番号:

QIP: 3081

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 子宮良性疾患手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 母集団: 子宮良性疾患手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 中央値: 子宮良性疾患における予防的抗菌薬投与日数の中央値

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K871	子宮息肉様筋腫摘出術（腔式）	○	○	○
K8721	子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）	○	○	○
K8722	子宮筋腫摘出（核出）術（腔式）	○	○	○
K872-2	腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）術	○	○	○
K872-3	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術	○	○	○
K873	子宮鏡下子宮筋腫摘出術	○	○	○
K876	子宮腔上部切断術	○	○	○
K876-2	腹腔鏡下子宮腔上部切断術	○	○	○
K877	子宮全摘術	○	○	○
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	○	○	○

3:
このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例。※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の中央値。抗菌薬のリストは 分母条件 I I I と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2 :
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 中央値

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
算出は、期間ごとの中央値を計測するため、各病院2010年度、2011年度、2012年度（以降同様）の中央値を求めて指標値とする。

2 :
2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 子宮良性疾患手術

指標番号:

QIP: 3082

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 子宮良性疾患手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 子宮良性疾患手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬投与が手術日に開始されておりかつ投与日数が4日以内の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
このうち、このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K871	子宮息肉様筋腫摘出術（腔式）	○	○	○
K8721	子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）	○	○	○
K8722	子宮筋腫摘出（核出）術（腔式）	○	○	○
K872-2	腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）術	○	○	○
K872-3	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術	○	○	○
K873	子宮鏡下子宮筋腫摘出術	○	○	○
K876	子宮腔上部切断術	○	○	○
K876-2	腹腔鏡下子宮腔上部切断術	○	○	○
K877	子宮全摘術	○	○	○
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	○	○	○

3 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母条件1「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。手術実施日の前日に下記抗菌薬が投与されておらず手術実施日に投与されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち 上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○

薬価基準コード7桁	化学療法剤 剤名	注射 方法	2010	2012	2014
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

2 :

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が連続した日数が4日以内の症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかひとつの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる連続した日数が4日以内である症例数。

3 :

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

順守率を定義するため、平均値、中央値と異なり分母には抗菌薬を投与していない症例や術前から抗菌薬を投与されている症例も含まれることになる。2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

参考資料:

1 :

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 子宮悪性腫瘍手術

指標番号:

QIP: 3090

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 子宮悪性腫瘍手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 子宮悪性腫瘍手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬連続投与日数の総計

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K879	子宮悪性腫瘍手術	○	○	○
K879-2	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がん）			○

3:

このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されおらず手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の集計。抗菌薬のリストは 分母条件111と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1:

QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1:

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2:

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3:

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4:

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5:

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 子宮悪性腫瘍手術

指標番号:

QIP: 3091

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 子宮悪性腫瘍手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 母集団: 子宮悪性腫瘍手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 中央値: 子宮悪性腫瘍における予防的抗菌薬投与日数の中央値

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K879	子宮悪性腫瘍手術	○	○	○
K879-2	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮体がん)			○

3:

このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されおらず手術実施日に投与されている症例。※参考) 薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の中央値。抗菌薬のリストは 分母条件111と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 中央値

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
算出は、期間ごとの中央値を計測するため、各病院2010年度、2011年度、2012年度（以降同様）の中央値を求めて指標値とする。

2 :
2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 子宮悪性腫瘍手術

指標番号:

QIP: 3092

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 子宮悪性腫瘍手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 子宮悪性腫瘍手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬投与が手術日に開始されておりかつ投与日数が4日以内の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K879	子宮悪性腫瘍手術	○	○	○
K879-2	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がん）			○

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母条件1 | 「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。手術実施日の前日に下記抗菌薬が投与されておりかつ手術実施日に投与されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておりかつ手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち 上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

2:

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が連続した日数が4日以内の症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかひとつの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる連続した日数が4日以内である症例数。

3:

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

順守率を定義するため、平均値、中央値と異なり分母には抗菌薬を投与していない症例や術前から抗菌薬を投与されている症例も含まれることになる。2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

参考資料:

1 :

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 卵巣良性疾患手術

指標番号:

QIP: 3100

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 卵巣良性疾患手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 卵巣良性疾患手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬連続投与日数の総計

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K885	腔式卵巣嚢腫内容排除術	○	○	○
K885-2	経皮的卵巣嚢腫内容排除術			○
K8871	卵巣部分切除術（開腹）	○	○	○
K8872	卵巣部分切除術（腹腔鏡）	○	○	○
K8881	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（開腹）	○	○	○
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）	○	○	○
K888-21	卵管全摘除術 卵管腫瘍全摘除術 子宮卵管留血腫手術（両側）（開腹）	○	○	○
K888-22	卵管全摘除術 卵管腫瘍全摘除術 子宮卵管留血腫手術（両側）（腹腔鏡）	○	○	○

3:

このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の集計。抗菌薬のリストは 分母条件 I I I と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2 :
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 卵巣良性疾患手術

指標番号:

QIP: 3101

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 卵巣良性疾患手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 母集団: 卵巣良性疾患手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 中央値: 卵巣良性疾患における予防的抗菌薬投与日数の中央値

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K885	腔式卵巣嚢腫内容排除術	○	○	○
K885-2	経皮的卵巣嚢腫内容排除術			○
K8871	卵巣部分切除術（開腹）	○	○	○
K8872	卵巣部分切除術（腹腔鏡）	○	○	○
K8881	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（開腹）	○	○	○
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）	○	○	○
K888-21	卵管全摘除術 卵管腫瘍全摘除術 子宮卵管留血腫手術（両側）（開腹）	○	○	○
K888-22	卵管全摘除術 卵管腫瘍全摘除術 子宮卵管留血腫手術（両側）（腹腔鏡）	○	○	○

3:
このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例。※参考）薬価コード7桁のうち 上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の中央値。抗菌薬のリストは 分母条件 I I I と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2 :
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 中央値

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
算出は、期間ごとの中央値を計測するため、各病院2010年度、2011年度、2012年度（以降同様）の中央値を求めて指標値とする。

2 :
2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 卵巣良性疾患手術

指標番号:

QIP: 3102

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 卵巣良性疾患手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 卵巣良性疾患手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬投与が手術日に開始されておりかつ投与日数が4日以内の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
このうち、このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K885	腔式卵巣嚢腫内容排除術	○	○	○
K885-2	経皮的卵巣嚢腫内容排除術			○
K8871	卵巣部分切除術（開腹）	○	○	○
K8872	卵巣部分切除術（腹腔鏡）	○	○	○
K8881	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（開腹）	○	○	○
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）	○	○	○
K888-21	卵管全摘除術 卵管腫瘍全摘除術 子宮卵管留血腫手術（両側）（開腹）	○	○	○
K888-22	卵管全摘除術 卵管腫瘍全摘除術 子宮卵管留血腫手術（両側）（腹腔鏡）	○	○	○

3 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母条件1 | 「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。手術実施日の前日に下記抗菌薬が投与されておらず手術実施日に投与されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち 上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○

薬価基準コード7桁	化学療法剤 剤名	注射 方法	2010	2012	2014
-----------	-------------	----------	------	------	------

2 :
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が連続した日数が4日以内の症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかひとつの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる連続した日数が4日以内である症例数。

3 :
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
順守率を定義するため、平均値、中央値と異なり分母には抗菌薬を投与していない症例や術前から抗菌薬を投与されている症例も含まれることになる。2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 子宮附属器悪性腫瘍手術

指標番号:

QIP: 3110

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の平均値 - 子宮附属器悪性腫瘍手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 子宮附属器悪性腫瘍手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬連続投与日数の総計

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K889	子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）	○	○	○

3:

このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の集計。抗菌薬のリストは 分母条件111と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:

抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :

QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 子宮附属器悪性腫瘍手術

指標番号:

QIP: 3111

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬投与日数の中央値 - 子宮附属器悪性腫瘍手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 母集団: 子宮附属器悪性腫瘍手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 中央値: 子宮附属器悪性腫瘍における予防的抗菌薬投与日数の中央値

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K889	子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）	○	○	○

3:
このうち「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例。※参考) 薬価コード7桁のうち上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

4:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が使用された連続した日数の病院毎の中央値。抗菌薬のリストは 分母条件111と同じ。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 中央値

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
算出は、期間ごとの中央値を計測するため、各病院2010年度、2011年度、2012年度（以降同様）の中央値を求めて指標値とする。

2 :
2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

1 :
QIPの過去の指標では3日前後。

参考資料:

1 :
「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2 :
Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3 :
Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4 :
WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5 :
Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 子宮附属器悪性腫瘍手術

指標番号:

QIP: 3112

年度: 2014

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 周術期予防的抗菌薬のガイドライン順守率 - 子宮附属器悪性腫瘍手術

意義: 抗菌薬の適切な使用をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 子宮附属器悪性腫瘍手術に対して予防的抗菌薬投与が行われた症例

分子: 予防的抗菌薬投与が手術日に開始されておりかつ投与日数が4日以内の症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
このうち、このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

手術点数コード	手術名	2010	2012	2014
K889	子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）	○	○	○

3 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母条件 I | 「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬が開始されている症例。手術実施日の前日に下記抗菌薬が投与されておらず手術実施日に投与されている症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる。手術実施日の前日に投与されておらず手術実施日に投与されている症例※参考）薬価コード7桁のうち 上4桁は薬効を5桁目から7桁目は内服、注射、外用の区分を表す

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	剤名	方法	2010	2012	2014
61**4**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**5**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
61**6**	抗生物質製剤	注射	○	○	○
62**4**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**5**	化学療法剤	注射	○	○	○
62**6**	化学療法剤	注射	○	○	○

2 :
手術実施日に使用された抗菌薬と同じ成分名の抗菌薬が連続した日数が4日以内の症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかひとつの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる連続した日数が4日以内である症例数。

3 :
抗菌薬を使用した連続した日数 > (病院毎の中央値 + 3) である症例は 分母分子から除外

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

順守率を定義するため、平均値、中央値と異なり分母には抗菌薬を投与していない症例や術前から抗菌薬を投与されている症例も含まれることになる。2013年度より定義の変更を行った。「対象病名+対象術式」により分母を決定していたものを「対象術式」による分母決定に変更したので、症例数が増加する可能性がある。手術部位感染に対する予防的抗菌薬投与においては、起因菌を想定した抗菌薬を選択することが望ましいとされているが、今回の指標の算出においてはすべての抗菌薬の使用を指標として算出している。予防的抗菌薬として適した抗菌薬のリストによる指標の算出がより望ましい。

参考値:

参考資料:

1:

「抗菌薬使用のガイドライン」日本感染症学会・日本化学療法学会(2005) 周術期抗菌薬投与の基本的な考え方 品川長夫 日本化学療法学会雑誌 50 313

2:

Mangram AJ, Horan TC, Pearson ML, Silver LC, Jarvis WR. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. Hospital Infection Control Practices Advisory Committee. Infect Control Hosp Epidemiol. 1999 Apr;20(4):250-78

3:

Bratzler DW, Houck PM; Surgical Infection Prevention Guideline Writers Workgroup. Antimicrobial prophylaxis for surgery: an advisory statement from the National Surgical Infection Prevention Project. Am J Surg. 2005 Apr;189(4):395-404.

4:

WHO Guidelines for Safe Surgery 2009.

5:

Antibiotic prophylaxis in surgery -A national clinical guideline-

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(大腸手術)

指標番号:

QIP: 2118_1

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(大腸手術)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数 (大腸手術)

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150180110	腸切開術
150181810	結腸切除術 (結腸半側切除)
150181910	結腸切除術 (全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)
150277810	腹腔鏡下結腸切除術 (小範囲切除、結腸半側切除)
150337710	腹腔鏡下結腸切除術 (全切除、亜全切除)
150324910	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
150182150	ピックレル氏手術
150363810	全結腸・直腸切除嚢肛門吻合術
150184110	腸吻合術
150184710	腸狭窄部切開縫合術
150184810	腸閉鎖症手術 (腸管切除を伴わない)
150364210	腹腔鏡下腸閉鎖症手術
150186010	先天性巨大結腸症手術
150325110	腹腔鏡下先天性巨大結腸症手術
150187110	直腸切除・切断術 (切除術)
150245410	直腸切除・切断術 (低位前方切除術)
150297510	直腸切除・切断術 (超低位前方切除術) (経肛門の結腸嚢肛門吻合)
150187210	直腸切除・切断術 (切断術)
150325210	腹腔鏡下直腸切除・切断術 (切除術)
150337810	腹腔鏡下直腸切除・切断術 (低位前方切除術)
150337910	腹腔鏡下直腸切除・切断術 (切断術)

分子の定義:

1:

手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。

(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。(例:手術日が4月2日の場合4月3日を検索)

(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6111002	ベンジルペニシリンベンザチン水和物	○	○	○	○
6111400	ベンジルペニシリンカリウム	○	○	○	○
6112001	クリンダマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112400	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112401	クリンダマイシンリン酸エステル	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113700	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○
6119500	キヌプリスチン・ダルホプリスチン	○	○	○	○
6119700	ムピロシカルシウム水和物	○	○	○	○
6122400	アズトレオナム	○	○	○	○
6123003	カナマイシン一硫酸塩	○	○	○	○
6123401	トブラマイシン	○	○	○	○
6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○
6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6123700	トブラマイシン		○	○	○
6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム			○	○
6126001	ポリミキシンB硫酸塩	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	○	○	○	○
6129400	チゲサイクリン		○	○	○
6131001	アモキシシリン水和物	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	○	○	○	○
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6131400	アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6131403	ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6132002	セファレキシム	○	○	○	○
6132005	セファクロル	○	○	○	○
6132006	セフロキサジン水和物	○	○	○	○
6132008	セフィキシム	○	○	○	○
6132009	セフテラム ピボキシム	○	○	○	○
6132010	セフロキシム アキセチル	○	○	○	○
6132011	セフポドキシム プロキセチル	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6132013	セフジニル	○	○	○	○
6132015	セフジトレン ピボキシル	○	○	○	○
6132016	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム			○	○
6132403	セファロチンナトリウム	○	○	○	○
6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○
6132409	セフォタキシムナトリウム	○	○	○	○
6132410	セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6132413	セフメノキシム塩酸塩	○	○	○	○
6132418	セフトジジム水和物	○	○	○	○
6132419	セフトリアキソンナトリウム水和物	○	○	○	○
6132422	セフミノクスナトリウム水和物	○	○	○	○
6132424	セフピロム硫酸塩	○	○	○	○
6132425	セフェピム塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132426	セフォゾプラン塩酸塩	○	○	○	○
6132700	セフチゾキシムナトリウム	○	○	○	○
6133400	ラタモキシフナトリウム	○	○	○	○
6133401	フロモキシフナトリウム	○	○	○	○
6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6135400	ホスホマイシンナトリウム	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	○	○	○	○
6139002	テビペネム ピボキシル	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラプラン酸カリウム	○	○	○	○
6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○
6139401	ビアペネム	○	○	○	○
6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○
6139500	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○
6139503	パニペネム・ベタミブロン	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6139505	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	○	○	○	○
6141400	エリスロマイシンラクトビオン酸塩	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	○	○	○	○
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	○	○	○	○
6149002	ロキシスロマイシン	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6149904	アジスロマイシン水和物				
6149400	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6151001	クロラムフェニコール	○	○	○	○
6151401	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○
6152002	テトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152004	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152401	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6162001	サイクロセリン	○	○	○	○
6164001	リファンピシン	○	○	○	○
6165400	エンビオマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6169001	リファブチン	○	○	○	○
6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6171001	ナイスタチン	○	○	○	○
6173001	アムホテリシンB	○	○	○	○
6173400	アムホテリシンB	○	○	○	○
6179001	ポリコナゾール	○	○	○	○
6179400	ミカファンギンナトリウム	○	○	○	○
6179401	ポリコナゾール	○	○	○	○
6179402	カスポファンギン酢酸塩		○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6191401	アンピシリンナトリウム・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6199001	リファキシミン				○
6199100	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール	○	○	○	○
6199102	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○
6199104	ボノブラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン				○
6199105	ボノブラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール				○
6241001	ナリジクス酸	○	○	○	○
6241002	ピペミド酸水和物	○	○	○	○
6241005	ノルフロキサシン	○	○	○	○
6241006	オフロキサシン	○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6241013	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241015	プルリフロキサシン	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6249002	リネゾリド	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○
6290001	フルシトシン	○	○	○	○
6290002	フルコナゾール	○	○	○	○
6290003	ミコナゾール	○	○	○	○
6290004	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290005	テルビナフィン塩酸塩	○	○	○	○
6290006	アトバコン		○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○
6290400	ミコナゾール	○	○	○	○
6290401	フルコナゾール	○	○	○	○
6290402	ホスフルコナゾール	○	○	○	○
6290403	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290700	クロトリマゾール	○	○	○	○
6290701	イミキモド	○	○	○	○
6290702	エフィナコナゾール			○	○
6290703	ルリコナゾール				○
6419001	チニダゾール	○	○	○	○
6419002	メトロニダゾール	○	○	○	○
6419003	メフロキン塩酸塩	○	○	○	○
6419004	パロモマイシン硫酸塩		○	○	○
6419005	プリマキンリン酸塩				○
6419101	アトバコン・プログアニル塩酸塩		○	○	○
6419102	アルテメテル・ルメファントリン				○
6419400	ペンタミジンイセチオン酸塩	○	○	○	○
6419401	メトロニダゾール			○	○
6419500	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2 :
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3 :
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。
- 4 :
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(血管手術)

指標番号:

QIP: 2118_5

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(血管手術)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数 (血管手術)

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150319610	D K S 吻合を伴う大動脈狭窄症手術
150244910	大動脈瘤切除術 (上行) (弁置換術又は形成術)
150245010	大動脈瘤切除術 (上行) (その他)
150359510	大動脈瘤切除術 (上行) (人工弁置換を伴う基部置換術)
150359610	大動脈瘤切除術 (上行) (自己弁温存型基部置換術)
150150010	大動脈瘤切除術 (弓部)
150275910	大動脈瘤切除術 (上行・弓部同時) (その他)
150359710	大動脈瘤切除術 (上行・弓部同時) (弁置換術又は形成術)
150359810	大動脈瘤切除術 (上行・弓部同時) (人工弁置換を伴う基部置換術)
150359910	大動脈瘤切除術 (上行・弓部同時) (自己弁温存型基部置換術)
150150110	大動脈瘤切除術 (下行)
150264810	大動脈瘤切除術 (胸腹部大動脈)
150245110	大動脈瘤切除術 (腹部大動脈 (分枝血管の再建))
150245210	大動脈瘤切除術 (腹部大動脈 (その他))
150149410	動脈血栓内膜摘出術 (大動脈に及ぶ)
150151150	内シャント設置術
150151250	外シャント設置術
150151710	末梢動静脈瘻造設術
150360510	血管移植術、バイパス移植術 (下腿、足部動脈)

分子の定義:

1:

手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。

(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。(例：手術日が4月2日の場合4月3日を検索)

(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6111002	ベンジルペニシリンベンザチン水和物	○	○	○	○
6111400	ベンジルペニシリンカリウム	○	○	○	○
6112001	クリンダマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112400	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112401	クリンダマイシンリン酸エステル	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113700	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○
6119500	キヌプリスチン・ダルホプリスチン	○	○	○	○
6119700	ムピロシカルシウム水和物	○	○	○	○
6122400	アズトレオナム	○	○	○	○
6123003	カナマイシン一硫酸塩	○	○	○	○
6123401	トブラマイシン	○	○	○	○
6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○
6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6123700	トブラマイシン		○	○	○
6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム			○	○
6126001	ポリミキシンB硫酸塩	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	○	○	○	○
6129400	チゲサイクリン		○	○	○
6131001	アモキシシリン水和物	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	○	○	○	○
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6131400	アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6131403	ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6132002	セファレキシム	○	○	○	○
6132005	セファクロル	○	○	○	○
6132006	セフロキサジン水和物	○	○	○	○
6132008	セフィキシム	○	○	○	○
6132009	セフテラム ピボキシム	○	○	○	○
6132010	セフロキシム アキセチル	○	○	○	○
6132011	セフボドキシム プロキセチル	○	○	○	○
6132012	セフォチアム ヘキセチル塩酸塩	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6132015	セフジトレン ピボキシル	○	○	○	○
6132016	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム			○	○
6132403	セファロチンナトリウム	○	○	○	○
6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○
6132409	セフォタキシムナトリウム	○	○	○	○
6132410	セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6132413	セフメノキシム塩酸塩	○	○	○	○
6132418	セフタジジム水和物	○	○	○	○
6132419	セフトリアキソンナトリウム水和物	○	○	○	○
6132422	セフミノクスナトリウム水和物	○	○	○	○
6132424	セフピロム硫酸塩	○	○	○	○
6132425	セフェピム塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132426	セフォゾプラン塩酸塩	○	○	○	○
6132700	セフチゾキシムナトリウム	○	○	○	○
6133400	ラタモキシムナトリウム	○	○	○	○
6133401	フロモキシムナトリウム	○	○	○	○
6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6135400	ホスホマイシンナトリウム	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	○	○	○	○
6139002	テビペネム ピボキシル	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	○	○	○	○
6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○
6139401	ビアペネム	○	○	○	○
6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○
6139500	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○
6139503	パニペネム・ベタミブロン	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6139505	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	○	○	○	○
6141400	エリスロマイシンラクトビオン酸塩	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	○	○	○	○
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	○	○	○	○
6149002	ロキシシロマイシン	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	○	○	○	○
6149004	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○

6149199 薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6151001	クロラムフェニコール	○	○	○	○
6151401	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○
6152002	テトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152004	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152401	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6162001	サイクロセリン	○	○	○	○
6164001	リファンピシン	○	○	○	○
6165400	エンビオマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6169001	リファブチン	○	○	○	○
6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6171001	ナイスタチン	○	○	○	○
6173001	アムホテリシンB	○	○	○	○
6173400	アムホテリシンB	○	○	○	○
6179001	ポリコナゾール	○	○	○	○
6179400	ミカファンギンナトリウム	○	○	○	○
6179401	ポリコナゾール	○	○	○	○
6179402	カスポファンギン酢酸塩		○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6191401	アンピシリンナトリウム・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6199001	リファキシミン				○
6199100	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール	○	○	○	○
6199102	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○
6199104	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン				○
6199105	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール				○
6241001	ナリジクス酸	○	○	○	○
6241002	ピペミド酸水和物	○	○	○	○
6241005	ノルフロキサシン	○	○	○	○
6241006	オフロキサシン	○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6241013	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241015	プルリフロキサシン	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241401	バズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○
6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○

薬価標準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6249401	リネゾリド	○	○	○	○
6290001	フルシトシン	○	○	○	○
6290002	フルコナゾール	○	○	○	○
6290003	ミコナゾール	○	○	○	○
6290004	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290005	テルビナフィン塩酸塩	○	○	○	○
6290006	アトバコン		○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○
6290400	ミコナゾール	○	○	○	○
6290401	フルコナゾール	○	○	○	○
6290402	ホスフルコナゾール	○	○	○	○
6290403	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290700	クロトリマゾール	○	○	○	○
6290701	イミキモド	○	○	○	○
6290702	エフィナコナゾール			○	○
6290703	ルリコナゾール				○
6419001	チニダゾール	○	○	○	○
6419002	メトロニダゾール	○	○	○	○
6419003	メフロキン塩酸塩	○	○	○	○
6419004	パロモマイシン硫酸塩		○	○	○
6419005	プリマキンリン酸塩				○
6419101	アトバコン・プログアニル塩酸塩		○	○	○
6419102	アルテメテル・ルメファントリン				○
6419400	ペンタミジンイセチオン酸塩	○	○	○	○
6419401	メトロニダゾール			○	○
6419500	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2 :
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3 :
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。
- 4 :
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(血管手術) (共通定義)

指標番号:

QIP: 2118_w_5

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(血管手術) (共通定義)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数 (血管手術)

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150319610	D K S 吻合を伴う大動脈狭窄症手術
150244910	大動脈瘤切除術 (上行) (弁置換術又は形成術)
150245010	大動脈瘤切除術 (上行) (その他)
150359510	大動脈瘤切除術 (上行) (人工弁置換を伴う基部置換術)
150359610	大動脈瘤切除術 (上行) (自己弁温存型基部置換術)
150150010	大動脈瘤切除術 (弓部)
150275910	大動脈瘤切除術 (上行・弓部同時) (その他)
150359710	大動脈瘤切除術 (上行・弓部同時) (弁置換術又は形成術)
150359810	大動脈瘤切除術 (上行・弓部同時) (人工弁置換を伴う基部置換術)
150359910	大動脈瘤切除術 (上行・弓部同時) (自己弁温存型基部置換術)
150150110	大動脈瘤切除術 (下行)
150264810	大動脈瘤切除術 (胸腹部大動脈)
150245110	大動脈瘤切除術 (腹部大動脈 (分枝血管の再建))
150245210	大動脈瘤切除術 (腹部大動脈 (その他))
150149410	動脈血栓内膜摘出術 (大動脈に及ぶ)
150151150	内シャント設置術
150151250	外シャント設置術
150151710	末梢動脈瘻造設術
150360510	血管移植術、バイパス移植術 (下腿、足部動脈)

分子の定義:

1:

手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。

(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。(例：手術日が4月2日の場合4月3日を検索)

(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620005060	バイシリンG顆粒4〇万単位	○	○	○	○
640463089	注射用ペニシリンGカリウム2〇万単位	○	○	○	○
620000427	注射用ペニシリンGカリウム1〇〇万単位	○	○	○	○
620006026	ダラシンカプセル75mg	○	○	○	○
620006027	ダラシンカプセル15〇mg	○	○	○	○
620006165	リンコシンカプセル25〇mg	○	○	○	○
620003811	ペランコシン注3〇〇mg		○	○	
620007537	リズピオン注3〇〇mg		○	○	○
621062901	リンコマイシン塩酸塩注3〇〇mg「NP」		○	○	○
620006341	リンコシン注射液3〇〇mg	○	○	○	○
620003812	ペランコシン注6〇〇mg		○	○	
620007538	リズピオン注6〇〇mg		○	○	○
621380904	リンコマイシン塩酸塩注6〇〇mg「NP」		○	○	○
621380908	リンコマイシン塩酸塩注射液6〇〇mg「日医工」		○	○	○
620006342	リンコシン注射液6〇〇mg	○	○	○	○
620004196	ペランコシン注1g		○	○	
620004197	ペランコシン注1.5g	○	○	○	
620006344	リンコシン注射液1.5g	○	○	○	○
620006343	リンコシン注射液1g	○	○	○	○
620006261	ダラシンS注射液3〇〇mg	○	○	○	○
620008810	クリンダマイシン注射液3〇〇mg「タイヨー」	○	○	○	○
621064601	クリンダマイシンリン酸エステル注射液3〇〇mg「サワイ」	○	○	○	○
622111302	クリンダマイシンリン酸エステル注3〇〇mg「トーワ」		○	○	○
621064701	クリンダマイシンリン酸エステル注3〇〇mg「F」			○	○
621064501	クリンダマイシンリン酸エステル注射液3〇〇mg「NP」			○	○
620006262	ダラシンS注射液6〇〇mg	○	○	○	○
620008811	クリンダマイシン注射液6〇〇mg「タイヨー」	○	○	○	○
621065101	クリンダマイシンリン酸エステル注射液6〇〇mg「サワイ」	○	○	○	○
621065201	クリンダマイシンリン酸エステル注6〇〇mg「トーワ」		○	○	○
621065301	クリンダマイシンリン酸エステル注6〇〇mg「F」			○	○
621065001	クリンダマイシンリン酸エステル注射液6〇〇mg「NP」			○	○
620006226	クリンダマイシン注3〇〇mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620006227	クリンダマイシン注6〇〇mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620003894	塩酸バンコマイシン散〇.5「MEEK」	○	○	○	○
620006791	塩酸バンコマイシン散〇.5g(シオノギ)	○	○	○	○
620008047	バンコマイシン塩酸塩散〇.5g「サワイ」	○	○	○	○
620009408	バンコマイシン塩酸塩散〇.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621738802	バンコマイシン塩酸塩散〇.5g「ファイザー」			○	○
621731302	バンコマイシン塩酸塩散〇.5g「MEEK」			○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン〇.5「MEEK」	○	○	○	○

620002907 シロート電算コード	塩酸バンコマイシン点滴静注用●. 5g「TX」 名称	2010	2012	2014	2016
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用●. 5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用●. 5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用●. 5g（シオノギ）	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用●. 5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用●. 5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用●. 5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用●. 5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用●. 5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1. ●「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1. ●g「MEEK」			○	○
621971901	バンコマイシン眼軟膏1%	○	○	○	○
621876001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「ケミファ」	○	○	○	
620004729	ハベカシン注射液75mg	○	○	○	○
620009511	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「HK」	○	○	○	○
621735001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「テバ」			○	○
621066501	アルベカシン硫酸塩注射液1●●mg「ケミファ」	○	○	○	
620004730	ハベカシン注射液1●●mg	○	○	○	○
620009512	アルベカシン硫酸塩注射液1●●mg「HK」	○	○	○	○
621066401	アルベカシン硫酸塩注射液1●●mg「テバ」			○	○
621924501	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「ケミファ」	○	○	○	
620004728	ハベカシン注射液25mg	○	○	○	○
620009509	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「HK」	○	○	○	○
621896701	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「テバ」			○	○
621950502	アルベカシン硫酸塩注射液2●●mg「ケミファ」	○	○	○	
620007432	ハベカシン注射液2●●mg	○	○	○	○
621955601	アルベカシン硫酸塩注射液2●●mg「HK」	○	○	○	○
621936302	アルベカシン硫酸塩注射液2●●mg「テバ」			○	○
620004709	注射用タゴシッド2●●mg	○	○	○	○
620008212	テイコブラニン点滴静注用2●●mg「NP」	○	○	○	○
620008213	テイコブラニン点滴静注用2●●mg「日医工」	○	○	○	○
620008532	テイコブラニン点滴静注用2●●mg「F」	○	○	○	○
620008531	テイコブラニン点滴静注用2●●mg「HK」	○	○	○	○
620008533	テイコブラニン点滴静注用2●●mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008535	テイコブラニン点滴静注用2●●mg「トーワ」	○	○	○	○
620009572	テイコブラニン点滴静注用2●●mg「TYK」	○	○	○	○
620009571	テイコブラニン点滴静注用2●●mg「サワイ」	○	○	○	○
621995201	テイコブラニン点滴静注用2●●mg「サンド」	○	○	○	○
622227801	テイコブラニン点滴静注用2●●mg「明治」		○	○	○
621901402	テイコブラニン点滴静注用2●●mg「ファイザー」			○	○
621884501	テイコブラニン点滴静注用2●●mg「テバ」			○	○
620009574	テイコブラニン点滴静注用4●●mg「F」	○	○	○	○
622216601	テイコブラニン点滴静注用4●●mg「NP」		○	○	○

622207201 シロップ電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	テイコブラニン点滴静注用400mg「日医工」				
622227901	テイコブラニン点滴静注用400mg「明治」		○	○	○
622338101	テイコブラニン点滴静注用400mg「トーワ」			○	○
622085501	キュビシン静注用350mg	○	○	○	○
640462005	注射用シナシッド	○	○	○	○
620006477	バクトロバン鼻腔用軟膏2%	○	○	○	○
646130274	アザクタム注射用0.5g	○	○	○	○
646130275	アザクタム注射用1g	○	○	○	○
620008598	カナマイシンカプセル250mg「明治」	○	○	○	○
620008599	カナマイシンシロップ5%「明治」	○	○	○	○
620008600	カナマイシンドライシロップ20%「明治」	○	○	○	○
640453139	トブラシン注小児用100mg	○	○	○	○
640453140	トブラシン注600mg	○	○	○	○
646120062	トブラシン注900mg	○	○	○	○
620003676	アミカシン硫酸塩注射液100mg「サワイ」		○	○	○
620004178	ブルテツシン注射液100mg		○	○	
620006356	ロミカシン注射液100mg		○	○	
621069302	アミカシン硫酸塩注射液100mg「N i k P」		○	○	○
621069501	アミカシン硫酸塩注射液100mg「F」			○	○
620003190	アミカマイシン注射液100mg	○	○	○	○
621069402	アミカシン硫酸塩注射液100mg「日医工」	○	○	○	○
621069001	アミカシン硫酸塩注100mg「NP」		○	○	○
620003677	アミカシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
620003797	ブルテツシン注射液200mg	○	○	○	
620006651	ロミカシン注射液200mg	○	○	○	
621070102	アミカシン硫酸塩注射液200mg「N i k P」		○	○	○
621070301	アミカシン硫酸塩注射液200mg「F」			○	○
620003191	アミカマイシン注射液200mg	○	○	○	○
621070202	アミカシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621069701	アミカシン硫酸塩注200mg「NP」		○	○	○
621070602	アミカシン硫酸塩注射用100mg「日医工」	○	○	○	○
621070902	アミカシン硫酸塩注射用200mg「日医工」	○	○	○	○
640453078	シオセシン注射液200	○	○	○	○
620003198	エクサシン注射液200	○	○	○	○
620003193	イセパシン注射液200	○	○	○	○
620005641	イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621604701	イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
646120080	イセパシン注射液400	○	○	○	○
646120081	エクサシン注射液400	○	○	○	○
640453079	シオセシン注射液400	○	○	○	○
620005642	イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「日医工」	○	○	○	○
621695601	イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「サワイ」		○	○	○
622213301	トービー吸入液300mg		○	○	○
620009196	トロピシン筋注用2g	○	○	○	○
620008618	コリマイシン散200万単位/g	○	○	○	○

62000753 薬品コード	名称	2010	2012	2014	2016
62000752	メタコリマイシンカプセル300万単位	○	○	○	○
622415701	オールドレブ点滴静注用150mg			○	○
620003657	硫酸ポリミキシンB錠25万単位「ファイザー」	○	○	○	○
620003658	硫酸ポリミキシンB錠100万単位「ファイザー」	○	○	○	○
616120011	セフテムカプセル100mg	○	○	○	○
616120012	セフテムカプセル200mg	○	○	○	○
622199101	タイガシル点滴静注用50mg		○	○	○
622066601	アモキシシリン細粒10%「タツミ」	○	○	○	
610454003	アモリン細粒10%	○	○	○	○
620006920	サワシリン細粒10%	○	○	○	○
620007026	バセトシン細粒10%	○	○	○	○
622112902	ワイドシリン細粒10%			○	○
620005906	アモキシシリン細粒20%「タツミ」	○	○	○	
621073001	ワイドシリン細粒20%			○	○
616130132	サワシリン錠250	○	○	○	○
616130295	バセトシン錠250	○	○	○	○
616130039	アモリンカプセル125	○	○	○	○
620007024	バセトシンカプセル125	○	○	○	○
622054901	サワシリンカプセル125	○	○	○	○
622066501	アモキシシリンカプセル125mg「タツミ」	○	○	○	○
622111101	アモキシシリンカプセル125mg「トーワ」	○	○	○	○
622127801	アモキシシリンカプセル125mg「日医工」	○	○	○	○
622165902	アモキシシリンカプセル125mg「NP」		○	○	○
616130040	アモリンカプセル250	○	○	○	○
620006829	アモキシシリンカプセル250mg「タツミ」	○	○	○	○
620006919	サワシリンカプセル250	○	○	○	○
620007025	バセトシンカプセル250	○	○	○	○
620008584	アモキシシリンカプセル250mg「日医工」	○	○	○	○
620009117	アモキシシリンカプセル250mg「トーワ」	○	○	○	○
621073901	アモキシシリンカプセル250mg「NP」		○	○	○
621074701	ピクシリンカプセル250mg	○	○	○	○
621075101	ピクシリンドライシロップ10%	○	○	○	○
610451023	ペングッド錠250mg	○	○	○	○
621076301	ユナシン細粒小児用10%	○	○	○	○
621076401	ユナシン錠375mg	○	○	○	○
621076601	ピクシリン注射用0.25g	○	○	○	○
621076801	ピクシリン注射用0.5g	○	○	○	○
621077201	ピクシリン注射用1g	○	○	○	○
621077501	ピクシリン注射用2g	○	○	○	○
621078403	ピペラシリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	
646130136	ペントシリン注射用1g	○	○	○	○
620007456	ピペユンシン注射用1g	○	○	○	○
621078301	ピペラシリンNa注射用1g「サワイ」		○	○	○
621078103	ピペラシリンNa注射用1g「テバ」		○	○	○

レポート電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621678001	ピペラシリンNa注射用1g「トーワ」				
621342601	ピペラシリンNa注射用1g「SN」			○	○
621079203	ピペラシリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	
646130137	ペントシリン注射用2g	○	○	○	○
620007457	ピペユンシン注射用2g	○	○	○	○
621079101	ピペラシリンNa注射用2g「サワイ」		○	○	○
621078903	ピペラシリンNa注射用2g「テバ」		○	○	○
621079401	ピペラシリンNa注射用2g「トーワ」		○	○	○
621342802	ピペラシリンNa注射用2g「SN」			○	○
622079701	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ1g「NP」	○	○	○	
640462059	ペントシリン静注用1gバッグ	○	○	○	○
622079801	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ2g「NP」	○	○	○	
640462060	ペントシリン静注用2gバッグ	○	○	○	○
616130002	L-ケフレックス小児用顆粒	○	○	○	○
616130378	L-キサール顆粒500	○	○	○	○
616130003	L-ケフレックス顆粒	○	○	○	○
621083104	セファレキシシン顆粒500mg「JG」			○	
621083503	セファレキシシン錠250「日医工」		○	○	
620003645	ラリキシシン錠250mg	○	○	○	○
610454041	センセファリンカプセル125	○	○	○	○
610454042	センセファリンカプセル250	○	○	○	○
620004512	セファレキシシンカプセル250mg「トーワ」	○	○	○	○
620004981	ケフレックスカプセル250mg	○	○	○	○
610453048	ケフレックスシロップ用細粒100	○	○	○	○
610454043	センセファリンシロップ用細粒10%	○	○	○	○
620003646	ラリキシンドライシロップ小児用10%	○	○	○	○
616130115	ケフレックスシロップ用細粒200	○	○	○	○
616130229	センセファリンシロップ用細粒20%	○	○	○	○
620003647	ラリキシンドライシロップ小児用20%	○	○	○	○
621085602	セファレキシンドライシロップ小児用50%「日医工」		○	○	
621087903	セファクロル細粒10%「日医工」		○	○	○
616130112	ケフラー細粒小児用100mg	○	○	○	○
621086806	セファクロル細粒小児用10%「JG」			○	○
621087001	セファクロル細粒小児用10%「サワイ」			○	○
621088403	セファクロル細粒20%「日医工」		○	○	
616130469	L-ケフラー顆粒	○	○	○	○
616130110	ケフラーカプセル250mg	○	○	○	○
620008657	トキクロルカプセル250mg	○	○	○	○
621088802	セファクロルカプセル250mg「TCK」		○	○	○
621089701	セファクロルカプセル250mg「トーワ」		○	○	○
621089501	セファクロルカプセル250mg「日医工」		○	○	○
621088705	セファクロルカプセル250mg「JG」			○	○
621089103	セファクロルカプセル250mg「SN」			○	○
621088901	セファクロルカプセル250mg「サワイ」			○	○

620005947 シフト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
616130404	オキサポア小児用ドライシロップ10%	○	○	○	○
	セフspan細粒50mg	○	○	○	○
610453059	セフィーナ細粒50	○	○	○	○
620000061	セフィーナ細粒100	○	○	○	○
616130405	セフspanカプセル50mg	○	○	○	○
616130406	セフspanカプセル100mg	○	○	○	○
620002756	テラミロン細粒小児用10%	○	○	○	○
620003583	トミロン細粒小児用10%	○	○	○	○
621675801	セフテラムピボキシル細粒小児用10%「日医工」		○	○	○
616130407	トミロン錠50	○	○	○	○
616130408	トミロン錠100	○	○	○	○
620004958	オラセフ錠250mg	○	○	○	○
620003968	セフボドキシムプロキセチル錠100「TCK」	○	○	○	○
620003970	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620008681	パナン錠100mg	○	○	○	○
621744203	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「JG」		○	○	○
621744401	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「トーワ」		○	○	○
621747601	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「サワイ」			○	○
620008682	パナンドライシロップ5%	○	○	○	○
621747701	セフボドキシムプロキセチルDS小児用5%「サワイ」			○	○
616130476	パンスポリンT錠100	○	○	○	○
616130477	パンスポリンT錠200	○	○	○	○
620004513	セフゾン細粒小児用10%	○	○	○	○
621935801	セフジニル細粒小児用10%「タイヨー」	○	○	○	○
620008483	セフジニル細粒小児用10%「YD」	○	○	○	○
620008482	セフジニル細粒小児用10%「サワイ」	○	○	○	○
620008484	セフジニル細粒10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620009343	セフジニル細粒10%小児用「TYK」	○	○	○	○
620009344	セフニール細粒小児用10%	○	○	○	○
621889403	セフジニル細粒小児用10%「JG」		○	○	○
621885302	セフジニル細粒10%小児用「ファイザー」			○	○
621935901	セフジニル細粒小児用20%「タイヨー」	○	○	○	○
620008488	セフジニル錠50mg「サワイ」	○	○	○	○
620008490	セフジニル錠100mg「サワイ」	○	○	○	○
616130531	セフゾンカプセル50mg	○	○	○	○
620008491	セフニールカプセル50mg	○	○	○	○
620009334	セフジニルカプセル50mg「TCK」	○	○	○	○
620009335	セフジニルカプセル50mg「TYK」	○	○	○	○
620009337	セフジニルカプセル50mg「YD」	○	○	○	○
620009336	セフジニルカプセル50mg「日医工」	○	○	○	○
621910002	セフジニルカプセル50mg「JG」		○	○	○
621885102	セフジニルカプセル50mg「ファイザー」			○	○
616130532	セフゾンカプセル100mg	○	○	○	○
620008492	セフニールカプセル100mg	○	○	○	○
620009339	セフジニルカプセル100mg「TCK」	○	○	○	○

620009340 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620009342	セフジニルカプセル100mg「TYK」	○	○	○	○
	セフジニルカプセル100mg「YD」				
620009341	セフジニルカプセル100mg「日医工」	○	○	○	○
621910102	セフジニルカプセル100mg「JG」		○	○	○
621885202	セフジニルカプセル100mg「ファイザー」			○	○
620005503	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「CH」	○	○	○	○
620005501	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「EMEC」	○	○	○	○
620005502	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「サワイ」	○	○	○	○
620005499	セフジトレンピボキシル細粒小児用10%「トーワ」	○	○	○	○
620005500	セフジトレンピボキシル細粒10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620008746	メイアクトMS小児用細粒10%	○	○	○	○
620004080	メイアクトMS錠100mg	○	○	○	○
620005506	セフジトレンピボキシル錠100mg「CH」	○	○	○	○
620005505	セフジトレンピボキシル錠100mg「サワイ」	○	○	○	○
620005507	セフジトレンピボキシル錠100mg「トーワ」	○	○	○	○
620005508	セフジトレンピボキシル錠100mg「日医工」	○	○	○	○
610411059	フロモックス小児用細粒100mg	○	○	○	○
621955901	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「CH」	○	○	○	○
621939401	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「JG」	○	○	○	○
621940201	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「YD」	○	○	○	○
621946301	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「トーワ」	○	○	○	○
621931001	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用100mg「TCK」	○	○	○	○
621962401	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒10%小児用「日医工」	○	○	○	○
621962501	セフカペンピボキシル塩酸塩小児用細粒10%「サワイ」	○	○	○	○
621942904	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「ファイザー」			○	○
610411057	フロモックス錠75mg	○	○	○	○
620009331	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg「サワイ」	○	○	○	○
621956001	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg「CH」	○	○	○	○
621930801	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg「TCK」	○	○	○	○
621940301	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg「YD」	○	○	○	○
621947501	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg「トーワ」	○	○	○	○
621962601	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg「日医工」	○	○	○	○
621943004	セフカペンピボキシル塩酸塩錠75mg「ファイザー」			○	○
610411058	フロモックス錠100mg	○	○	○	○
620009332	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg「サワイ」	○	○	○	○
621956101	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg「CH」	○	○	○	○
621930901	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg「TCK」	○	○	○	○
621940401	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg「YD」	○	○	○	○
621947601	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg「トーワ」	○	○	○	○
621962701	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg「日医工」	○	○	○	○
621943104	セフカペンピボキシル塩酸塩錠100mg「ファイザー」			○	○
646130121	パンスポリン筋注用0.25g	○	○	○	○
646130110	ハロスポア静注用0.25g	○	○	○	○
646130122	パンスポリン静注用0.25g	○	○	○	○
620004140	セファピコール静注用0.25g	○	○	○	○

620007293 レセプト電算コード	621989702 名称	2010	2012	2014	2016
	ケミスポリン静注用●. 25g セフォチアム塩酸塩静注用●. 25g「日医工」		○	○	○
621987602	セフォチアム塩酸塩静注用●. 25g「NP」		○	○	○
621924001	セフォチアム塩酸塩静注用●. 25g「SN」			○	○
646130111	ハロスポア静注用●. 5g	○	○	○	○
646130123	パンスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
620004141	セファピコール静注用●. 5g	○	○	○	○
620007294	ケミスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
621989802	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「日医工」		○	○	○
621344901	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「NP」		○	○	○
621924101	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「SN」			○	○
646130112	ハロスポア静注用 1g	○	○	○	○
646130124	パンスポリン静注用 1g	○	○	○	○
620003732	セファピコール静注用 1g	○	○	○	○
620007295	ケミスポリン静注用 1g	○	○	○	○
621345002	セフォチアム塩酸塩静注用 1g「日医工」		○	○	○
621345301	セフォチアム塩酸塩静注用 1g「NP」		○	○	○
621095002	セフォチアム塩酸塩静注用 1g「SN」			○	○
640408149	パンスポリン静注用 1gバッグS	○	○	○	○
620009563	セフォチアム静注用 1gバッグ「日医工」	○	○	○	○
621540002	セフォチアム塩酸塩点滴静注用 1gバッグ「NP」		○	○	○
640408148	パンスポリン静注用 1gバッグG	○	○	○	○
620003735	セファメジンα注射用●. 25g	○	○	○	○
622104201	セファゾリンNa注射用●. 25g「タイヨー」	○	○	○	○
622130801	セファゾリンナトリウム注射用●. 25g「日医工」	○	○	○	○
622177601	トキオ注射用●. 25g		○	○	○
622124902	セファゾリンNa注射用●. 25g「NP」			○	○
622033402	セファゾリンNa注射用●. 5g「NP」			○	○
622104301	セファゾリンNa注射用●. 5g「タイヨー」		○	○	○
622177701	トキオ注射用●. 5g		○	○	○
620003736	セファメジンα注射用●. 5g	○	○	○	○
621096002	セファゾリンナトリウム注射用●. 5g「日医工」		○	○	○
620003737	セファメジンα注射用 1g	○	○	○	○
621096701	トキオ注射用 1g	○	○	○	○
621096503	セファゾリンNa注射用 1g「タイヨー」	○	○	○	○
621096802	セファゾリンナトリウム注射用 1g「日医工」		○	○	○
621096601	セファゾリンNa注射用 1g「NP」			○	○
620003738	セファメジンα注射用 2g	○	○	○	○
621097303	セファゾリンNa注射用 2g「タイヨー」	○	○	○	○
622177801	トキオ注射用 2g		○	○	○
621097602	セファゾリンナトリウム注射用 2g「日医工」		○	○	○
621097401	セファゾリンNa注射用 2g「NP」			○	○
620003733	セファメジンα筋注用●. 25g	○	○	○	○
620003734	セファメジンα筋注用●. 5g	○	○	○	○
620003740	セファメジンα点滴用キット 2g	○	○	○	○

620003739 620007318 電算コード	セファメジンα点滴用キット 1g セファゾリンNa点滴静注用 1g バッグ「オーツカ」	2010	2012	2014	2016
621757001	セファゾリンNa点滴静注用 1g バッグ「NP」			○	○
620005674	コアキシシ注射用 1g	○	○	○	○
620005675	コアキシシ注射用 2g	○	○	○	○
646130072	セフメタゾン筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130073	セフメタゾン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622125001	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「NP」	○	○	○	○
622131001	セフメタゾールナトリウム静注用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622111501	リリアジン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622104002	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「テバ」			○	○
646130074	セフメタゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
621987501	セフメタゾールNa静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
622131101	セフメタゾールナトリウム静注用●. 5g「日医工」	○	○	○	○
622111601	リリアジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622104102	セフメタゾールNa静注用●. 5g「テバ」			○	○
646130075	セフメタゾン静注用 1g	○	○	○	○
620006243	セフメタゾールNa静注用 1g「NP」	○	○	○	○
620007540	リリアジン静注用 1g	○	○	○	○
621102102	セフメタゾールナトリウム静注用 1g「日医工」		○	○	○
621101803	セフメタゾールNa静注用 1g「テバ」			○	○
646130076	セフメタゾン静注用 2g	○	○	○	○
620006244	セフメタゾールNa静注用 2g「NP」	○	○	○	○
620007541	リリアジン静注用 2g	○	○	○	○
621102802	セフメタゾールナトリウム静注用 2g「日医工」		○	○	○
621101903	セフメタゾールNa静注用 2g「テバ」			○	○
640470010	セフメタゾンキット点滴静注用 1g	○	○	○	○
620004151	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 1g「NP」	○	○	○	○
621951701	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 2g「NP」	○	○	○	○
640454018	セフォタックス注射用●. 5g	○	○	○	○
620004652	クラフォラン注射用●. 5g	○	○	○	○
640454019	セフォタックス注射用 1g	○	○	○	○
620004653	クラフォラン注射用 1g	○	○	○	○
646130067	セフォビッド注射用 1g	○	○	○	○
646130071	セフォペラジン注射用 1g	○	○	○	○
646130132	ベストコール筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130133	ベストコール静注用●. 5g	○	○	○	○
646130134	ベストコール静注用 1g	○	○	○	○
620002999	モダケミン静注用●. 5g	○	○	○	○
620003827	モダシン静注用●. 5g	○	○	○	○
620006701	セフトジジム静注用●. 5g「マイラン」	○	○	○	○
621967001	セフトジジム静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621936401	セフトジジム静注用●. 5g「タイヨー」	○	○	○	○
622052901	セフトジジム静注用●. 5g「サワイ」	○	○	○	○
622124801	セフトジジム静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
621756202	セフトジジム静注用●. 5g「日医工」		○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621755902	セフトタジジム静注用0.5g「SN」				
620003000	モダケミン静注用1g	○	○	○	○
620003001	モベンゾシン静注用1g	○	○	○	○
620003828	モダシン静注用1g	○	○	○	○
620005676	セフトタジジム静注用1g「NP」	○	○	○	○
620006702	セフトタジジム静注用1g「マイラン」	○	○	○	○
621967101	セフトタジジム静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621703001	セフトタジジム静注用1g「サワイ」	○	○	○	○
621756502	セフトタジジム静注用1g「日医工」		○	○	○
621755902	セフトタジジム静注用1g「SN」			○	○
646130268	ロセフィン静注用0.5g	○	○	○	○
640463134	リアソフィン静注用0.5g	○	○	○	○
620009566	セフキソン静注用0.5g	○	○	○	○
620009567	セフトリアキソンNa静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
621987301	セフトリアキソンナトリウム静注用0.5g「NP」	○	○	○	○
621967202	セフトリアキソンNa静注用0.5g「サワイ」		○	○	○
621538203	セフトリアキソンナトリウム静注用0.5g「日医工」		○	○	○
622077302	セフトリアキソンNa静注用0.5g「ファイザー」		○	○	○
621836501	セフトリアキソンNa静注用0.5g「テバ」		○	○	○
646130269	ロセフィン静注用1g	○	○	○	○
640463135	リアソフィン静注用1g	○	○	○	○
640463080	セフキソン静注用1g	○	○	○	○
620009568	セフトリアキソンNa静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621987401	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「NP」	○	○	○	○
621488601	セフトリアキソンNa静注用1g「サワイ」		○	○	○
621538303	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	○
621555202	セフトリアキソンNa静注用1g「ファイザー」		○	○	○
621555101	セフトリアキソンNa静注用1g「テバ」		○	○	○
640470011	ロセフィン点滴静注用1gバッグ	○	○	○	○
620002955	セフトリアキソンナトリウム点滴用1gバッグ「NP」	○	○	○	○
622051701	セフトリアキソンナトリウム点滴静注用バッグ1g「ファイザー」	○	○	○	○
620007514	メイセリン静注用1g	○	○	○	○
620004148	セフピロム硫酸塩静注用0.5g「CMX」	○	○	○	○
620006706	硫酸セフピロム静注用0.5g「マイラン」	○	○	○	○
620004149	セフピロム硫酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
620006707	硫酸セフピロム静注用1g「マイラン」	○	○	○	○
640407076	注射用マキシピーム0.5g	○	○	○	○
621966801	セフェピム塩酸塩静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
621994601	セフェピム塩酸塩静注用0.5g「CMX」	○	○	○	○
640407077	注射用マキシピーム1g	○	○	○	○
621966901	セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621994701	セフェピム塩酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
640407080	ファーストシン静注用0.5g	○	○	○	○
640407081	ファーストシン静注用1g	○	○	○	○
640443046	ファーストシン静注用1gバッグS	○	○	○	○

品名コード	名称	2010	2012	2014	2016
666130005	エポセリン坐剤 1 2 5	○	○	○	○
666130006	エポセリン坐剤 2 5 ●	○	○	○	○
646130037	シオマリン静注用 1 g	○	○	○	○
646130301	フルマリン静注用 ●. 5 g	○	○	○	○
646130302	フルマリン静注用 1 g	○	○	○	○
640443048	フルマリンキット静注用 1 g	○	○	○	○
620005201	パニマイシン注射液 5 ●mg	○	○	○	○
620005202	パニマイシン注射液 1 ●●mg	○	○	○	○
620005180	注射用パニマイシン 1 ●●mg	○	○	○	○
620003780	ビスタマイシン筋注 5 ●●mg	○	○	○	○
620003781	ビスタマイシン筋注 1 ●●●mg	○	○	○	○
646120011	ゲンタシン注 1 ●	○	○	○	○
622037301	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 1 ●mg 「日医工」	○	○	○	○
622074801	エルタシン注 1 ●mg	○	○	○	○
622074802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 1 ●mg 「F」				○
621111803	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 4 ●mg 「日医工」		○	○	○
620003210	ゲンタシン注 4 ●	○	○	○	○
620006210	エルタシン注 4 ●mg	○	○	○	○
621111802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 4 ●mg 「F」				○
646120012	ゲンタシン注 6 ●	○	○	○	○
620006211	エルタシン注 6 ●mg	○	○	○	○
621112004	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 6 ●mg 「日医工」		○	○	○
621112003	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 6 ●mg 「F」				○
616130512	ホスミン錠 2 5 ●	○	○	○	○
616130513	ホスミン錠 5 ●●	○	○	○	○
621946401	ホスマイカプセル 2 5 ●mg	○	○	○	○
621964002	ホソマイシンカルシウムカプセル 2 5 ●mg 「日医工」		○	○	○
620008731	ホスマイカプセル 5 ●●mg	○	○	○	○
621113002	ホソマイシンカルシウムカプセル 5 ●●mg 「日医工」		○	○	○
616130332	ホスミンドライシロップ 2 ●●	○	○	○	○
616130526	ホソミンドライシロップ 4 ●●	○	○	○	○
616130333	ホスミンドライシロップ 4 ●●	○	○	○	○
621113712	ホソマイシンカルシウムドライシロップ 4 ●% 「日医工」		○	○	
621812201	ホソマイシンナトリウム静注用 ●. 5 g 「日医工」		○	○	
622104401	フラゼミシン静注用 ●. 5 g	○	○	○	
622131501	ホスカリーゼ静注用 ●. 5 g	○	○	○	
620003815	ホスミンS 静注用 ●. 5 g	○	○	○	○
622079901	ホソマイシンNa 静注用 ●. 5 g 「NP」		○	○	
622045702	ホソマイシンNa 静注用 ●. 5 g 「タカタ」		○	○	○
620004750	フラゼミシン静注用 1 g	○	○	○	
620004767	ホスカリーゼ静注用 1 g	○	○	○	
621766301	ホソマイシンナトリウム静注用 1 g 「日医工」		○	○	
620003816	ホスミンS 静注用 1 g	○	○	○	○
620006316	ホソマイシンNa 静注用 1 g 「NP」	○	○	○	○

薬品コード	名称	2010	2012	2014	2016
62114002	ホマイシンNa静注用1g「タカタ」				
620004751	フラゼミシン静注用2g	○	○	○	
620004768	ホスカリーゼ静注用2g	○	○	○	
621766401	ホスホマイシンナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	
620003817	ホスミシンS静注用2g	○	○	○	○
620006317	ホスホマイシンNa静注用2g「NP」	○	○	○	○
621115302	ホスホマイシンNa静注用2g「タカタ」		○	○	○
620007477	フラゼミシン点滴静注用2gキット	○	○	○	○
640451022	ホスミシンSバッグ1g点滴静注用	○	○	○	○
640451023	ホスミシンSバッグ2g点滴静注用	○	○	○	○
610411055	ファロム錠150mg	○	○	○	○
610411056	ファロム錠200mg	○	○	○	○
620008702	ファロムドライシロップ小児用10%	○	○	○	○
621926801	オラペナム小児用細粒10%	○	○	○	○
621116201	オーグメンチン配合錠125SS	○	○	○	○
621116301	オーグメンチン配合錠250RS	○	○	○	○
621709001	クラバモックス小児用配合ドライシロップ	○	○	○	○
620007519	メロペン点滴用バイアル0.25g	○	○	○	○
620009585	メロペナム点滴静注用0.25g「タイヨー」	○	○	○	○
620009586	メロペナム点滴静注用0.25g「日医工」	○	○	○	○
621952301	メロペナム点滴静注用0.25g「NP」	○	○	○	○
621950101	メロペナム点滴静注用0.25g「ケミファ」	○	○	○	○
621967801	メロペナム点滴静注用0.25g「サワイ」	○	○	○	○
621967901	メロペナム点滴静注用0.25g「タナベ」	○	○	○	○
621946701	メロペナム点滴静注用0.25g「トーワ」	○	○	○	○
621947901	メロペナム点滴静注用0.25g「明治」	○	○	○	○
622044201	メロペナム点滴静注用0.25g「ファイザー」	○	○	○	○
620007520	メロペン点滴用バイアル0.5g	○	○	○	○
620009587	メロペナム点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009588	メロペナム点滴静注用0.5g「日医工」	○	○	○	○
621952401	メロペナム点滴静注用0.5g「NP」	○	○	○	○
621950201	メロペナム点滴静注用0.5g「ケミファ」	○	○	○	○
621968001	メロペナム点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
621968101	メロペナム点滴静注用0.5g「タナベ」	○	○	○	○
621946801	メロペナム点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621948001	メロペナム点滴静注用0.5g「明治」	○	○	○	○
622044301	メロペナム点滴静注用0.5g「ファイザー」	○	○	○	○
622439001	メロペナム点滴静注用1g「NP」			○	○
622419401	メロペナム点滴静注用1g「明治」			○	○
620007518	メロペン点滴用キット0.5g	○	○	○	○
621952501	メロペナム点滴静注用バッグ0.5g「NP」	○	○	○	○
621967701	メロペナム点滴静注用バッグ0.5g「日医工」	○	○	○	○
621931801	メロペナム点滴静注用バッグ0.5g「明治」	○	○	○	○
622471301	メロペナム点滴静注用バッグ1g「NP」			○	○

622469901 640451036 シロゲン 電算コード	イミペネム点滴静注用バッグ1g「明治」 オメガシン点滴用 3g	2010	2012	2014	2016
640451037	オメガシン点滴用 3gバッグ	○	○	○	○
621708501	フィニバックス点滴静注用 2.5g	○	○	○	○
622078501	フィニバックス点滴静注用 5g	○	○	○	○
621727601	フィニバックスキット点滴静注用 2.5g	○	○	○	○
646130264	スルペラゾン静注用 5g	○	○	○	○
620004152	セフロニック静注用 5g	○	○	○	○
620007316	スペルゾン静注用 5g	○	○	○	○
622083601	スルタムジン静注用 5g	○	○	○	○
622099301	セフォセフ静注用 5g	○	○	○	○
622130901	セフォン静注用 5g	○	○	○	○
622111401	バクフォーゼ静注用 5g	○	○	○	○
622080002	ワイスタール配合静注用 5g		○	○	○
646130265	スルペラゾン静注用 1g	○	○	○	○
640444050	セフォセフ静注用 1g	○	○	○	○
640444051	セフォン静注用 1g	○	○	○	○
640444071	バクフォーゼ静注用 1g	○	○	○	○
640453097	スルタムジン静注用 1g	○	○	○	○
620003742	セフロニック静注用 1g	○	○	○	○
620007317	スペルゾン静注用 1g	○	○	○	○
621347901	ワイスタール配合静注用 1g		○	○	○
621116801	スルペラゾンキット静注用 1g	○	○	○	○
621441901	ワイスタール配合点滴静注用 1gバッグ		○	○	○
620004108	インダスト点滴静注用 2.5g	○	○	○	○
620007364	チエナム点滴静注用 2.5g	○	○	○	○
620008211	チエペナム点滴静注用 2.5g	○	○	○	○
622010201	チエクール点滴用 2.5g	○	○	○	○
622127601	イミペネム・シラスタチン点滴用 2.5g「サンド」	○	○	○	○
622172601	イミスタン点滴静注用 2.5g		○	○	○
620003703	インダスト点滴静注用 5g	○	○	○	○
620004106	イミスタン点滴静注用 5g	○	○	○	○
620004155	チエクール点滴用 5g	○	○	○	○
620004707	チエペナム点滴静注用 5g	○	○	○	○
620005643	イミペネム・シラスタチン点滴用 5g「サンド」	○	○	○	○
620007365	チエナム点滴静注用 5g	○	○	○	○
620007362	チエナム筋注用 5g	○	○	○	○
620007363	チエナム点滴静注用キット 5g	○	○	○	○
646130368	カルベニン点滴用 2.5g	○	○	○	○
646130369	カルベニン点滴用 5g	○	○	○	○
640406222	ユナシン - S 静注用 7.5g	○	○	○	○
620003003	ユナスピン静注用 7.5g	○	○	○	○
620004132	スルバクシン静注用 7.5g	○	○	○	○
620004134	スルバシリン静注用 7.5g	○	○	○	○
620005874	ピスルシン静注用 7.5g	○	○	○	○

62009560 シブド電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622118402	スルバクタム・アンピシリン静注用0.75g「サンド」 ピシリバクタ静注用0.75g	○	○	○	○
622100601	ユーシオン - S静注用0.75g	○	○	○	○
640406223	ユナシン - S静注用1.5g	○	○	○	○
620002977	ピシリバクタ静注用1.5g	○	○	○	○
620003002	ユーシオン - S静注用1.5g	○	○	○	○
620003004	ユナスピン静注用1.5g	○	○	○	○
620004133	スルバクシン静注用1.5g	○	○	○	○
620004135	スルバシリン静注用1.5g	○	○	○	○
620005875	ピスルシン静注用1.5g	○	○	○	○
620009561	スルバクタム・アンピシリン静注用1.5g「サンド」	○	○	○	○
622250001	ユナシン - S静注用3g		○	○	○
622419601	スルバシリン静注用3g			○	○
622408701	ピスルシン静注用3g			○	○
622464401	スルバクシン静注用3g			○	○
622467201	ピシリバクタ静注用3g			○	○
622458201	ユーシオン - S静注用3g			○	○
622441301	ユナスピン静注用3g			○	○
620004775	ユナシン - Sキット静注用1.5g	○	○	○	○
620004776	ユナシン - Sキット静注用3g	○	○	○	○
620008446	ゾシン静注用2.25	○	○	○	○
622441401	タゾピペ配合静注用2.25「CHM」			○	○
622464701	タゾピペ配合静注用2.25「DK」			○	○
622453701	タゾピペ配合静注用2.25「DSEP」			○	○
622450601	タゾピペ配合静注用2.25「SN」			○	○
622461801	タゾピペ配合静注用2.25「サンド」			○	○
622458801	タゾピペ配合静注用2.25「テバ」			○	○
622467001	タゾピペ配合静注用2.25「日医工」			○	○
622470601	タゾピペ配合静注用2.25「ニプロ」			○	○
622455601	タゾピペ配合静注用2.25「ファイザー」			○	○
622460701	タゾピペ配合静注用2.25「明治」			○	○
620008447	ゾシン静注用4.5	○	○	○	○
622441501	タゾピペ配合静注用4.5「CHM」			○	○
622464801	タゾピペ配合静注用4.5「DK」			○	○
622453801	タゾピペ配合静注用4.5「DSEP」			○	○
622450701	タゾピペ配合静注用4.5「SN」			○	○
622461901	タゾピペ配合静注用4.5「サンド」			○	○
622458901	タゾピペ配合静注用4.5「テバ」			○	○
622467101	タゾピペ配合静注用4.5「日医工」			○	○
622470701	タゾピペ配合静注用4.5「ニプロ」			○	○
622455701	タゾピペ配合静注用4.5「ファイザー」			○	○
622460801	タゾピペ配合静注用4.5「明治」			○	○
622423101	ゾシン配合点滴静注用バッグ4.5			○	○
622454001	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「DSEP」			○	○
622470901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ニプロ」			○	○

6245901電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622462101	タゾピペ配合点滴静注用4.5「ファイザー」			○	○
622453901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「DSEP」			○	○
622470801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ニプロ」			○	○
622455801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ファイザー」			○	○
622462001	タゾピペ配合点滴静注用2.25バッグ「サンド」			○	○
620000022	エリスロシンW顆粒2.0%	○	○	○	○
620001975	エリスロシンドライシロップ1.0%	○	○	○	○
620001974	エリスロシンドライシロップW2.0%	○	○	○	○
620004463	エリスロマイシン錠2.0.0mg「サワイ」	○	○	○	○
620000020	エリスロシン錠1.0.0mg	○	○	○	○
620000021	エリスロシン錠2.0.0mg	○	○	○	○
621120001	エリスロシン点滴静注用5.0.0mg	○	○	○	○
620003495	アセチルスピラマイシン錠1.0.0	○	○	○	○
620003496	アセチルスピラマイシン錠2.0.0	○	○	○	○
620003554	ジョサマイシン錠5.0mg	○	○	○	○
620003555	ジョサマイシン錠2.0.0mg	○	○	○	○
620004503	ジョサマイシロップ3%	○	○	○	○
620004504	ジョサマイシロップ1.0%	○	○	○	○
616140099	ルリッド錠15.0	○	○	○	○
620002885	ロキシマイシン錠15.0mg	○	○	○	○
620004096	ロキシロマイシン錠15.0mg「サンド」	○	○	○	○
621681102	ロキシロマイシン錠15.0mg「RM」		○	○	○
621694602	ロキシロマイシン錠15.0mg「ファイザー」		○	○	○
621693303	ロキシロマイシン錠15.0mg「JG」		○	○	○
621694201	ロキシロマイシン錠15.0mg「サワイ」			○	○
621675901	ロキシロマイシン錠15.0mg「日医工」			○	○
616140101	クラリシッド錠5.0mg小児用	○	○	○	○
616140104	クラリス錠5.0小児用	○	○	○	○
620003921	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「CH」	○	○	○	○
620003918	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「EMEC」	○	○	○	○
620003919	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「NPI」	○	○	○	○
620003917	クラリスロマイシン錠5.0小児用「TCK」	○	○	○	○
620003920	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「サワイ」	○	○	○	○
620003922	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「タイヨー」	○	○	○	○
620003916	クラリスロマイシン錠小児用5.0mg「タカタ」	○	○	○	○
620003923	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「日医工」	○	○	○	○
620003945	クラロイシン錠5.0小児用	○	○	○	○
620004075	マインベース錠5.0小児用	○	○	○	○
620005425	クラリスロマイシン錠5.0小児用「MEEK」	○	○	○	○
620006669	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「マイラン」	○	○	○	○
622079301	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「NP」	○	○	○	○
621741203	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「杏林」		○	○	○
621752801	クラリスロマイシン錠小児用5.0mg「トーフ」		○	○	○

616149102 616140105 レセプト電算コード	クラリスロマイシン錠200mg クラリス錠200	2010	2012	2014	2016
620003932	クラリスロマイシン錠200mg「CH」	○	○	○	○
620003928	クラリスロマイシン錠200mg「EMEC」	○	○	○	○
620003926	クラリスロマイシン錠200「MEEK」	○	○	○	○
620003929	クラリスロマイシン錠200mg「NP1」	○	○	○	○
620003927	クラリスロマイシン錠200「TCK」	○	○	○	○
620003930	クラリスロマイシン錠200mg「サワイ」	○	○	○	○
620003931	クラリスロマイシン錠200mg「サンド」	○	○	○	○
620003933	クラリスロマイシン錠200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620003934	クラリスロマイシン錠200mg「タカタ」	○	○	○	○
620003935	クラリスロマイシン錠200mg「日医工」	○	○	○	○
620003946	クラロイシン錠200	○	○	○	○
620004076	マインベース錠200	○	○	○	○
620006670	クラリスロマイシン錠200mg「マイラン」	○	○	○	○
620008013	クラリスロマイシン錠200mg「タナベ」	○	○	○	○
622079401	クラリスロマイシン錠200mg「NP」	○	○	○	○
621742103	クラリスロマイシン錠200mg「杏林」		○	○	○
621752901	クラリスロマイシン錠200mg「トーワ」		○	○	○
620003940	クラリスロマイシンDS10%小児用「EMEC」	○	○	○	○
620003941	クラリスロマイシンDS10%小児用「サワイ」	○	○	○	○
620003943	クラリスロマイシンDS小児用10%「タカタ」	○	○	○	○
620003942	クラリスロマイシンDS10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620003939	クラリスロマイシンDS10%「MEEK」	○	○	○	○
620004077	マインベースDS10%小児用	○	○	○	○
620004476	クラリシッド・ドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620004974	クラリスドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620005426	クラリスロマイシンドライシロップ10%小児用「タイヨー」	○	○	○	○
620005427	クラロイシンドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620006671	クラリスロマイシンドライシロップ10%小児用「マイラン」	○	○	○	○
621753001	クラリスロマイシンDS小児用10%「トーワ」		○	○	○
621348401	ジスロマック細粒小児用10%	○	○	○	○
622295301	アジスロマイシン細粒小児用10%「JG」		○	○	○
622303301	アジスロマイシン細粒小児用10%「SN」		○	○	○
622269501	アジスロマイシン細粒小児用10%「YD」		○	○	○
622274301	アジスロマイシン細粒10%小児用「KN」		○	○	○
622274501	アジスロマイシン小児用細粒10%「タカタ」		○	○	○
622353101	アジスロマイシン細粒小児用10%「TCK」			○	○
622411501	アジスロマイシン細粒小児用10%「トーワ」			○	○
610443026	ジスロマック錠250mg	○	○	○	○
622286701	アジスロマイシン錠250mg「DSEP」		○	○	○
622294801	アジスロマイシン錠250mg「F」		○	○	○
622290801	アジスロマイシン錠250mg「JG」		○	○	○
622274201	アジスロマイシン錠250mg「KN」		○	○	○
622276801	アジスロマイシン錠250mg「KOG」		○	○	○

622296901 622303401	電算コード	名義 名称	2010	2012	2014	2016
		アジスロマイシン錠250mg「N.P」				
		アジスロマイシン錠250mg「S.N」				
622269601		アジスロマイシン錠250mg「Y.D」		○	○	○
622275601		アジスロマイシン錠250mg「アメル」		○	○	○
622295401		アジスロマイシン錠250mg「サワイ」		○	○	○
622289801		アジスロマイシン錠250mg「サンド」		○	○	○
622274401		アジスロマイシン錠250mg「タカタ」		○	○	○
622282801		アジスロマイシン錠250mg「テバ」		○	○	○
622281501		アジスロマイシン錠250mg「トーワ」		○	○	○
622270801		アジスロマイシン錠250mg「日医工」		○	○	○
622275401		アジスロマイシン錠250mg「わかもと」		○	○	○
622352901		アジスロマイシン錠250mg「T.C.K」			○	○
622368001		アジスロマイシン錠250mg「C.H.M」			○	○
610451034		ジスロマック錠600mg	○	○	○	○
622274601		アジスロマイシン小児用錠100mg「タカタ」		○	○	○
622281601		アジスロマイシン錠500mg「トーワ」		○	○	○
622270901		アジスロマイシン錠500mg「日医工」		○	○	○
610443024		ジスロマックカプセル小児用100mg	○	○	○	○
622290701		アジスロマイシンカプセル小児用100mg「J.G」		○	○	○
622303201		アジスロマイシンカプセル小児用100mg「S.N」		○	○	○
622269401		アジスロマイシンカプセル小児用100mg「Y.D」		○	○	○
622353001		アジスロマイシンカプセル小児用100mg「T.C.K」			○	○
620009094		ジスロマックSR成人用ドライシロップ2g	○	○	○	○
622085701		ジスロマック点滴静注用500mg	○	○	○	○
621122501		クロロマイセチン錠50	○	○	○	○
621122601		クロロマイセチン錠250	○	○	○	○
621122801		クロロマイセチンサクシネート静注用1g	○	○	○	○
616150003		アクロマイシンVカプセル50mg	○	○	○	○
616150002		アクロマイシンVカプセル250mg	○	○	○	○
621123301		レダマイシンカプセル150mg	○	○	○	○
620006083		ピブラマイシン錠50mg	○	○	○	○
620006084		ピブラマイシン錠100mg	○	○	○	○
620007109		ミノマイシン顆粒2%	○	○	○	○
621124301		ミノサイクリン塩酸塩顆粒2%「サワイ」		○	○	○
616150088		ミノマイシン錠50mg	○	○	○	○
621124603		塩酸ミノサイクリン錠50「日医工」		○	○	○
621124801		ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「サワイ」		○	○	○
621125101		ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「トーワ」		○	○	○
616150064		ミノマイシン錠100mg	○	○	○	○
621125401		ミノサイクリン塩酸塩錠100mg「サワイ」		○	○	○
621125701		ミノサイクリン塩酸塩錠100mg「トーワ」		○	○	○
616150063		ミノマイシンカプセル50mg	○	○	○	○
610454083		ミノマイシンカプセル100mg	○	○	○	○
621126003		塩酸ミノサイクリンカプセル100「日医工」		○	○	○
620004770		ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「日医工」		○	○	○
620005226		ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「タイヨー」	○	○	○	○

品名コード	名称	2010	2012	2014	2016
62007913	マイシン点滴静注用100mg				
621126801	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「サワイ」		○	○	○
621126501	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「F」			○	○
620003244	硫酸ストレプトマイシン1g注射用「明治」	○	○	○	○
620008620	サイクロセリンカプセル250mg「明治」	○	○	○	○
620004093	リファンピシンカプセル150mg「サンド」	○	○	○	○
620008583	アプテシнкаプセル150mg	○	○	○	○
621127501	リファジンカプセル150mg	○	○	○	○
620007375	ツベラクチン筋注用1g	○	○	○	○
620008440	ミコブティンカプセル150mg	○	○	○	○
620007539	硫酸カナマイシン注射液1000mg「明治」	○	○	○	○
620008666	ナスタチン錠50万単位「明治」	○	○	○	○
620007031	ハリゾン錠100mg	○	○	○	○
620004560	ファンギゾンシロップ100mg/mL	○	○	○	○
620007032	ハリゾンシロップ100mg/mL	○	○	○	○
620007467	ファンギゾン注射用50mg	○	○	○	○
620003487	アムビゾーム点滴静注用50mg	○	○	○	○
620002493	ブイフェンド錠50mg	○	○	○	○
622480701	ポリコナゾール錠50mg「DSEP」				○
622491901	ポリコナゾール錠50mg「JG」				○
622499601	ポリコナゾール錠50mg「アメル」				○
622483001	ポリコナゾール錠50mg「タカタ」				○
622495401	ポリコナゾール錠50mg「テバ」				○
622479601	ポリコナゾール錠50mg「トーワ」				○
622501301	ポリコナゾール錠50mg「日医工」				○
620002494	ブイフェンド錠200mg	○	○	○	○
622480801	ポリコナゾール錠200mg「DSEP」				○
622492101	ポリコナゾール錠200mg「JG」				○
622499801	ポリコナゾール錠200mg「アメル」				○
622483101	ポリコナゾール錠200mg「タカタ」				○
622495501	ポリコナゾール錠200mg「テバ」				○
622479701	ポリコナゾール錠200mg「トーワ」				○
622501401	ポリコナゾール錠200mg「日医工」				○
622492001	ポリコナゾール錠100mg「JG」				○
622499701	ポリコナゾール錠100mg「アメル」				○
622375301	ブイフェンドドライシロップ280mg			○	○
640462040	ファンガード点滴用50mg	○	○	○	○
640462041	ファンガード点滴用75mg	○	○	○	○
620003489	ファンガード点滴用25mg	○	○	○	○
620002497	ブイフェンド200mg静注用	○	○	○	○
622136201	カンサイダス点滴静注用50mg		○	○	○
622136301	カンサイダス点滴静注用70mg		○	○	○
621130301	ピクシリンS配合錠	○	○	○	○
621131001	注射用ピクシリンS100	○	○	○	○
646190020	注射用ピクシリンS500	○	○	○	○

64790H6 電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	小児用ピクシリンS 1000				
622517701	リフキシマ錠200mg				○
610462048	ランサップ400	○	○	○	○
610462049	ランサップ800	○	○	○	○
622029101	ランピオンパック	○	○	○	○
622289101	ラベキュアパック400		○	○	○
622289201	ラベキュアパック800		○	○	○
622289301	ラベファインパック		○	○	○
622485401	ボノサップパック400				○
622485501	ボノサップパック800				○
622485601	ボノピオンパック				○
610463036	ウイントマイロン錠250	○	○	○	○
616290016	ウイントマイロン錠500	○	○	○	○
620006852	ウイントマイロンシロップ5%	○	○	○	○
620009216	カルノマチン錠250mg	○	○		
621137802	ピペミド酸錠250mg「YD」		○	○	○
616290054	ドルコール錠250mg	○	○	○	○
610407051	キサフロール錠100	○	○	○	○
610407066	シーヌン錠100mg	○	○		
621138800	ノルフロキサシン錠100mg「YD」	○	○	○	○
621138803	ノルフロキサシン錠100mg「サワイ」			○	○
621138818	ノルフロキサシン錠100mg「ツルハラ」		○	○	○
621138823	ノルフロキサシン錠100mg「EMEC」	○	○	○	○
622058001	バスティーン錠100mg	○	○	○	○
616290121	バクシダール錠100mg	○	○	○	○
610407052	キサフロール錠200	○	○	○	○
610407067	シーヌン錠200mg	○	○		
610412023	ウナセラ錠200mg	○	○		
620006594	バスティーン錠200mg	○	○	○	○
621139104	ノルフロキサシン錠200mg「サワイ」			○	○
621139117	ノルフロキサシン錠200mg「YD」	○	○	○	○
621139123	ノルフロキサシン錠200mg「ツルハラ」		○	○	○
621139128	ノルフロキサシン錠200mg「EMEC」	○	○	○	○
616290147	バクシダール錠200mg	○	○	○	○
616240001	小児用バクシダール錠50mg	○	○	○	○
620003912	オフロキサシン錠100mg「サワイ」	○	○	○	
620003913	オフロキサシン錠100mg「ツルハラ」		○	○	○
620003984	タリフロム錠100mg	○	○	○	
620004040	フロキン錠100mg		○	○	○
620006024	タツミキシ錠100mg		○	○	○
621745304	オフロキサシン錠100mg「テバ」		○	○	○
621753101	オフロキサシン錠100mg「タナベ」		○	○	
621753103	オフロキサシン錠100mg「JG」		○	○	○
620006972	タリビッド錠100mg	○	○	○	○
622096201	シプロフロキサシン錠100mg「CH」		○	○	

2019年電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622096202	シプロフロキサシン錠100mg「JG」				
622125901	シバスタン錠100mg		○	○	○
616290155	シプロキサシン錠100mg	○	○	○	○
621489001	シプロフロキサシン錠100mg「日医工」		○	○	○
621946502	シプロフロキサシン錠100mg「トーワ」		○	○	○
621964702	シプロフロキサシン錠100mg「SW」			○	○
621529401	シプロフロキサシン錠100mg「TCK」			○	○
610463082	シバスタン錠200mg		○	○	○
620000118	プリモール錠200mg		○	○	○
621489201	シプロフロキサシン錠200mg「タナベ」	○	○	○	
621489203	シプロフロキサシン錠200mg「JG」		○	○	○
621529501	シプロフロキサシン錠200mg「TCK」			○	○
616290156	シプロキサシン錠200mg	○	○	○	○
621489601	シプロフロキサシン錠200mg「日医工」		○	○	○
621489502	シプロフロキサシン錠200mg「トーワ」		○	○	○
621489102	シプロフロキサシン錠200mg「SW」			○	○
610407158	ハレオン錠200mg	○	○	○	○
616290170	ハレオンカプセル100mg	○	○	○	○
621971501	オゼックス細粒小児用15%	○	○	○	○
622410601	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「タカタ」			○	○
622413901	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「トーワ」			○	○
622420701	トスフロキサシントシル酸塩小児用細粒15%「明治」			○	○
622481701	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「TCK」				○
616290166	オゼックス錠75	○	○	○	○
616290168	トスキサシン錠75mg	○	○	○	○
621952101	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「NP」	○	○	○	○
621931101	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「TCK」	○	○	○	○
621953501	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「TYK」	○	○	○	○
621940001	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「YD」	○	○	○	○
621963301	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サワイ」	○	○	○	○
621963401	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サンド」	○	○	○	○
621935301	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「タイヨー」	○	○	○	○
621956201	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「タナベ」	○	○	○	○
621963501	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「日医工」	○	○	○	○
616290167	オゼックス錠150	○	○	○	○
616290169	トスキサシン錠150mg	○	○	○	○
621952201	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「NP」	○	○	○	○
621931201	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「TCK」	○	○	○	○
621953601	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「TYK」	○	○	○	○
621940101	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「YD」	○	○	○	○
621963601	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「サワイ」	○	○	○	○
621963701	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「サンド」	○	○	○	○
621935401	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「タイヨー」	○	○	○	○
621956301	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「タナベ」	○	○	○	○
621963801	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「日医工」	○	○	○	○

2019年電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622371001	レボフロキサシン細粒10%「DSEP」			○	○
622383001	レボフロキサシン錠250mg「サンド」			○	
622387801	レボフロキサシン錠250mg「日医工P」			○	
622391701	レボフロキサシン錠250mg「ニプロ」			○	
622395201	レボフロキサシン錠250mg「アメル」			○	
621925701	クラビット錠250mg	○	○	○	○
622386101	レボフロキサシン錠250mg「CEO」			○	○
622379101	レボフロキサシン錠250mg「CH」			○	○
622370801	レボフロキサシン錠250mg「DSEP」			○	○
622394001	レボフロキサシン錠250mg「F」			○	○
622400801	レボフロキサシン錠250mg「MEEK」			○	○
622386801	レボフロキサシン錠250mg「TCK」			○	○
622367801	レボフロキサシン錠250mg「YD」			○	○
622376301	レボフロキサシン錠250mg「ZE」			○	○
622400701	レボフロキサシン錠250mg「イセイ」			○	○
622389401	レボフロキサシン錠250mg「イワキ」			○	○
622380301	レボフロキサシン錠250mg「オーハラ」			○	○
622395901	レボフロキサシン錠250mg「科研」			○	○
622365901	レボフロキサシン錠250mg「杏林」			○	○
622388801	レボフロキサシン錠250mg「ケミファ」			○	○
622392301	レボフロキサシン錠250mg「サトウ」			○	○
622383501	レボフロキサシン錠250mg「サノフィ」			○	○
622391101	レボフロキサシン錠250mg「サワイ」			○	○
622377901	レボフロキサシン錠250mg「タカタ」			○	○
622380001	レボフロキサシン錠250mg「タナベ」			○	○
622394401	レボフロキサシン錠250mg「テバ」			○	○
622372801	レボフロキサシン錠250mg「トーワ」			○	○
622384801	レボフロキサシン錠250mg「ニッター」			○	○
622382001	レボフロキサシン錠250mg「ファイザー」			○	○
622369001	レボフロキサシン錠250mg「明治」			○	○
622435301	レボフロキサシン錠250mg「SUN」			○	○
622436801	レボフロキサシン錠250mg「日医工」			○	○
622383101	レボフロキサシン錠500mg「サンド」			○	
622391801	レボフロキサシン錠500mg「ニプロ」			○	
622395301	レボフロキサシン錠500mg「アメル」			○	
622435401	レボフロキサシン錠500mg「SUN」			○	
621925801	クラビット錠500mg	○	○	○	○
622386201	レボフロキサシン錠500mg「CEO」			○	○
622379201	レボフロキサシン錠500mg「CH」			○	○
622370901	レボフロキサシン錠500mg「DSEP」			○	○
622394101	レボフロキサシン錠500mg「F」			○	○
622401001	レボフロキサシン錠500mg「MEEK」			○	○
622386901	レボフロキサシン錠500mg「TCK」			○	○
622367901	レボフロキサシン錠500mg「YD」			○	○

2017年電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
6223740	フロキサシン錠500mg「ZE」				
622400901	レボフロキサシン錠500mg「イセイ」			○	○
622389501	レボフロキサシン錠500mg「イワキ」			○	○
622380401	レボフロキサシン錠500mg「オーハラ」			○	○
622396001	レボフロキサシン錠500mg「科研」			○	○
622366001	レボフロキサシン錠500mg「杏林」			○	○
622388901	レボフロキサシン錠500mg「ケミファ」			○	○
622392401	レボフロキサシン錠500mg「サトウ」			○	○
622383601	レボフロキサシン錠500mg「サノフィ」			○	○
622391201	レボフロキサシン錠500mg「サワイ」			○	○
622378001	レボフロキサシン錠500mg「タカタ」			○	○
622380101	レボフロキサシン錠500mg「タナベ」			○	○
622394501	レボフロキサシン錠500mg「テバ」			○	○
622372901	レボフロキサシン錠500mg「トーワ」			○	○
622387901	レボフロキサシン錠500mg「日医工P」			○	○
622384901	レボフロキサシン錠500mg「ニッター」			○	○
622382101	レボフロキサシン錠500mg「ファイザー」			○	○
622369101	レボフロキサシン錠500mg「明治」			○	○
622436901	レボフロキサシン錠500mg「日医工」			○	○
622372601	レボフロキサシンOD錠250mg「トーワ」			○	○
622372701	レボフロキサシンOD錠500mg「トーワ」			○	○
622368201	レボフロキサシン粒状錠250mg「モチダ」			○	○
622368301	レボフロキサシン粒状錠500mg「モチダ」			○	○
622372501	レボフロキサシン内用液250mg「トーワ」			○	○
610462041	スオード錠100	○	○	○	○
620003125	アベロックス錠400mg	○	○	○	○
620005822	ジェニナック錠200mg	○	○	○	○
620006774	グレースビット細粒10%	○	○	○	○
620006773	グレースビット錠50mg	○	○	○	○
620000446	シプロキサ注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注液300mg/150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサ注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シプロフロキサシン点滴静注液200mg/100mL「明治」	○	○	○	○

品名コード	名称	2010	2012	2014	2016
62000948	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg/250mL「NP」				
620009549	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg/250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg/250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg/250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサシ点注400mg			○	○
640462032	パシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	パシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	パシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg/200mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg/1000mL	○	○	○	○
610451000	ザイボックス錠600mg	○	○	○	○
622461001	リネズリド錠600mg「明治」			○	○
640451010	ザイボックス注射液600mg	○	○	○	○
622419501	リネズリド点滴静注液600mg「明治」			○	○
620004450	アンコチル錠500mg	○	○	○	○
616290164	ジフルカンカプセル500mg	○	○	○	○
620000121	フルコナゾールカプセル500mg「F」	○	○	○	○
620002804	フルコナゾールカプセル500mg「アメル」	○	○	○	○
621688201	フルコナゾールカプセル500mg「サワイ」	○	○	○	○
622070301	フルコナゾールカプセル500mg「JG」	○	○	○	○
621530003	フルコナゾールカプセル500mg「サンド」			○	○
621569001	フルコナゾールカプセル500mg「日医工」			○	○
621531201	フルコナゾールカプセル500mg「タカタ」			○	○
616290165	ジフルカンカプセル1000mg	○	○	○	○
620000122	フルコナゾールカプセル1000mg「F」	○	○	○	○
620002805	フルコナゾールカプセル1000mg「アメル」	○	○	○	○
621639401	フルコナゾールカプセル1000mg「サワイ」	○	○	○	○
622070401	フルコナゾールカプセル1000mg「JG」	○	○	○	○
621530103	フルコナゾールカプセル1000mg「サンド」			○	○
621569101	フルコナゾールカプセル1000mg「日医工」			○	○
621531301	フルコナゾールカプセル1000mg「タカタ」			○	○
622139201	ジフルカンドライシロップ350mg		○	○	○
622139301	ジフルカンドライシロップ1400mg		○	○	○
620007077	フロリードゲル経口用2%	○	○	○	○
620001958	イトラコナゾール錠50「MEEK」	○	○	○	○
620007914	イトラコナゾール錠50mg「科研」	○	○	○	○
621636802	イトラコナゾール錠50mg「日医工」		○	○	○
620001959	イトラコナゾール錠100「MEEK」	○	○	○	○
621746701	イトラコナゾール錠100mg「日医工」		○	○	○
620007915	イトラコナゾール錠200「MEEK」	○	○	○	○
616290177	イトリゾールカプセル50	○	○	○	○

621629201 レセプト電算コード 620004349	名称 フルコナゾールカプセル50mg「SW」 イトリゾール内用液1%	2010	2012	2014	2016
610412199	ラミシール錠125mg	○	○	○	○
620003950	ケルガー錠125mg	○	○	○	○
620003987	テビーナ錠125mg	○	○	○	○
620003988	テビナシール錠125mg	○	○	○	○
620003989	テルビー錠125mg	○	○	○	○
620003995	テルビナフィン錠125mg「CH」	○	○	○	○
620003993	テルビナフィン錠125mg「F」	○	○	○	○
620003990	テルビナフィン錠125「MEEK」	○	○	○	○
620003990	テルビナフィン錠125mg「MEEK」	○	○	○	○
620003992	テルビナフィン錠125mg「NP」	○	○	○	○
620003991	テルビナフィン錠125「TCK」	○	○	○	○
620003998	テルビナフィン錠125mg「YD」	○	○	○	○
620003994	テルビナフィン錠125mg「サンド」	○	○	○	○
620003996	テルビナフィン錠125mg「タイヨー」	○	○	○	○
620004001	テルミシール錠125mg	○	○	○	○
620004019	ネドリール錠125mg	○	○	○	○
620004094	リプノール錠125mg	○	○	○	○
620008028	テルビナフィン錠125mg「タナベ」	○	○	○	○
621746301	テルビナフィン錠125mg「ケミファ」		○	○	○
621732101	テルビナフィン錠125mg「日医工」		○	○	○
622244201	テルビナフィン錠125mg「ファイザー」		○	○	○
621726702	テルビナフィン錠125mg「サワイ」		○	○	○
621748401	テルビナフィン錠125mg「トーワ」			○	○
622136101	サムチレール内用懸濁液15%		○	○	○
621355101	ダイフェン配合顆粒		○	○	
621148101	バクタ配合顆粒	○	○	○	○
621148201	バクトラミン配合顆粒	○	○	○	○
621148801	ダイフェン配合錠	○	○	○	○
621148901	バクタ配合錠	○	○	○	○
621149001	バクトラミン配合錠	○	○	○	○
620006311	フロリードF注200mg	○	○	○	○
620003726	ジフルカン静注液50mg	○	○	○	○
622056701	フルコナゾール静注50mg「トーワ」	○	○	○	○
622053301	フルコナゾール静注液50mg「サワイ」	○	○	○	○
622073601	フルコナゾール静注液50mg「日医工」	○	○	○	○
621539701	フルコナゾール静注液50mg「イセイ」		○	○	○
621544402	フルコナゾール静注液50mg「タカタ」			○	○
620003727	ジフルカン静注液100mg	○	○	○	○
620007481	フルコナゾール静注100mg「トーワ」	○	○	○	○
620008922	フルコナゾール静注液100mg「サワイ」	○	○	○	○
621569201	フルコナゾール静注液100mg「日医工」		○	○	○
621539801	フルコナゾール静注液100mg「イセイ」		○	○	○
621554502	フルコナゾール静注液100mg「タカタ」			○	○

620009582 レセプト電算コード	フルコナゾール静注液200mg「マイラン」 名称	2010	2012	2014	2016
621539901	フルコナゾール静注液200mg「イセイ」		○	○	○
620003728	ジフルカン静注液200mg	○	○	○	○
620007482	フルコナゾール静注200mg「トーワ」	○	○	○	○
620008923	フルコナゾール静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
621569301	フルコナゾール静注液200mg「日医工」		○	○	○
621554602	フルコナゾール静注液200mg「タカタ」			○	○
620000295	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621541601	フルコナゾール静注液100mg「テバ」		○	○	○
621543302	フルコナゾール静注100mg「NP」		○	○	○
621541701	フルコナゾール静注液200mg「テバ」		○	○	○
620000296	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621543402	フルコナゾール静注200mg「NP」		○	○	○
620000294	フルコナゾール静注液0.1%「F」	○	○	○	○
621543201	フルコナゾール静注50mg「NP」		○	○	○
620000437	プロジフ静注液100	○	○	○	○
620000438	プロジフ静注液200	○	○	○	○
620000439	プロジフ静注液400	○	○	○	○
620004424	イトリゾール注1%	○	○	○	○
621150001	エンペシドトローチ10mg	○	○	○	○
620005834	ベセルナクリーム5%	○	○	○	○
622365201	クレナフィン爪外用液10%			○	○
622471601	ルコナック爪外用液5%				○
621166401	チニダゾール錠200mg「F」		○	○	○
621166501	チニダゾール錠500mg「F」		○	○	○
620006817	アズゾール錠250mg	○	○	○	○
620007057	フラジール内服錠250mg	○	○	○	○
620002484	メファキン「ヒサミツ」錠275	○	○	○	○
622224801	アメパロモカプセル250mg		○	○	○
622500501	プリマキン錠15mg「サノフィ」				○
622225701	マラロン配合錠		○	○	○
622500601	マラロン小児用配合錠				○
622532901	リアメット配合錠				○
621167101	ベナンボックス注用300mg	○	○	○	○
622364001	アネメトロ点滴静注液500mg			○	○
646410002	バクトラミン注	○	○	○	○
640463089	注射用ペニシリンGカリウム20万単位	○	○	○	○
620000427	注射用ペニシリンGカリウム100万単位	○	○	○	○
620003811	ペランコシン注300mg		○	○	
620007537	リズピオン注300mg		○	○	○
621062901	リンコマイシン塩酸塩注300mg「NP」		○	○	○
620006341	リンコシン注射液300mg	○	○	○	○
620003812	ペランコシン注600mg		○	○	
620007538	リズピオン注600mg		○	○	○
621380904	リンコマイシン塩酸塩注600mg「NP」		○	○	○

621389908 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620006342	リンコマイシン塩酸塩注射液 600mg 「日医工」	○	○	○	○
620004196	ペランコシン注 1g		○	○	
620004197	ペランコシン注 1.5g	○	○	○	
620006344	リンコシン注射液 1.5g	○	○	○	○
620006343	リンコシン注射液 1g	○	○	○	○
620006261	ダラシンS注射液 300mg	○	○	○	○
620008810	クリンダマイシン注射液 300mg 「タイヨー」	○	○	○	○
621064601	クリンダマイシンリン酸エステル注射液 300mg 「サワイ」	○	○	○	○
622111302	クリンダマイシンリン酸エステル注 300mg 「トーワ」		○	○	○
621064701	クリンダマイシンリン酸エステル注 300mg 「F」			○	○
621064501	クリンダマイシンリン酸エステル注射液 300mg 「NP」			○	○
620006262	ダラシンS注射液 600mg	○	○	○	○
620008811	クリンダマイシン注射液 600mg 「タイヨー」	○	○	○	○
621065101	クリンダマイシンリン酸エステル注射液 600mg 「サワイ」	○	○	○	○
621065201	クリンダマイシンリン酸エステル注 600mg 「トーワ」		○	○	○
621065301	クリンダマイシンリン酸エステル注 600mg 「F」			○	○
621065001	クリンダマイシンリン酸エステル注射液 600mg 「NP」			○	○
620006226	クリンダマイシン注 300mg シリンジ 「タイヨー」	○	○	○	○
620006227	クリンダマイシン注 600mg シリンジ 「タイヨー」	○	○	○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5 「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g 「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g 「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g 「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g (シオノギ)	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g 「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g 「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g 「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g 「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g 「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g 「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン 1.0 「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 1g 「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 1.0g 「MEEK」			○	○
621876001	アルベカシン硫酸塩注射液 75mg 「ケミファ」	○	○	○	
620004729	ハベカシン注射液 75mg	○	○	○	○
620009511	アルベカシン硫酸塩注射液 75mg 「HK」	○	○	○	○
621735001	アルベカシン硫酸塩注射液 75mg 「テバ」			○	○
621066501	アルベカシン硫酸塩注射液 100mg 「ケミファ」	○	○	○	
620004730	ハベカシン注射液 100mg	○	○	○	○
620009512	アルベカシン硫酸塩注射液 100mg 「HK」	○	○	○	○
621066401	アルベカシン硫酸塩注射液 100mg 「テバ」			○	○
621924501	アルベカシン硫酸塩注射液 25mg 「ケミファ」	○	○	○	
620004728	ハベカシン注射液 25mg	○	○	○	○
620009509	アルベカシン硫酸塩注射液 25mg 「HK」	○	○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621896701	アルベカシン硫酸塩注射液 2.5mg 「テバ」				
621950502	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg 「ケミファ」	○	○	○	
620007432	ハベカシン注射液 200mg	○	○	○	○
621955601	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg 「HK」	○	○	○	○
621936302	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg 「テバ」			○	○
620004709	注射用タゴシッド 200mg	○	○	○	○
620008212	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「NP」	○	○	○	○
620008213	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「日医工」	○	○	○	○
620008532	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「F」	○	○	○	○
620008531	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「HK」	○	○	○	○
620008533	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「ケミファ」	○	○	○	○
620008535	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「トーワ」	○	○	○	○
620009572	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「TYK」	○	○	○	○
620009571	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「サワイ」	○	○	○	○
621995201	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「サンド」	○	○	○	○
622227801	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「明治」		○	○	○
621901402	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「ファイザー」			○	○
621884501	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「テバ」			○	○
620009574	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「F」	○	○	○	○
622216601	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「NP」		○	○	○
622207201	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「日医工」		○	○	○
622227901	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「明治」		○	○	○
622338101	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「トーワ」			○	○
622085501	キュビシン静注用 350mg	○	○	○	○
640462005	注射用シナシッド	○	○	○	○
646130274	アザクタム注射用0.5g	○	○	○	○
646130275	アザクタム注射用1g	○	○	○	○
640453139	トブラシン注小児用 100mg	○	○	○	○
640453140	トブラシン注 600mg	○	○	○	○
646120062	トブラシン注 900mg	○	○	○	○
620003676	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「サワイ」		○	○	○
620004178	ブルテツシン注射液 100mg		○	○	
620006356	ロミカシン注射液 100mg		○	○	
621069302	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「N i k P」		○	○	○
621069501	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「F」			○	○
620003190	アミカマイシン注射液 100mg	○	○	○	○
621069402	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「日医工」	○	○	○	○
621069001	アミカシン硫酸塩注 100mg 「NP」		○	○	○
620003677	アミカシン硫酸塩注射液 200mg 「サワイ」		○	○	○
620003797	ブルテツシン注射液 200mg	○	○	○	
620006651	ロミカシン注射液 200mg	○	○	○	
621070102	アミカシン硫酸塩注射液 200mg 「N i k P」		○	○	○
621070301	アミカシン硫酸塩注射液 200mg 「F」			○	○
620003191	アミカマイシン注射液 200mg	○	○	○	○
621070202	アミカシン硫酸塩注射液 200mg 「日医工」	○	○	○	○

621069701 シロート電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621070602	アミカシン硫酸塩注200mg「NP」	○	○	○	○
621070902	アミカシン硫酸塩注射用200mg「日医工」	○	○	○	○
640453078	シオセシン注射液200	○	○	○	○
620003198	エクサシン注射液200	○	○	○	○
620003193	イセパシン注射液200	○	○	○	○
620005641	イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621604701	イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
646120080	イセパシン注射液400	○	○	○	○
646120081	エクサシン注射液400	○	○	○	○
640453079	シオセシン注射液400	○	○	○	○
620005642	イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「日医工」	○	○	○	○
621695601	イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「サワイ」		○	○	○
620009196	トロビシン筋注用2g	○	○	○	○
622415701	オールドレブ点滴静注用150mg			○	○
622199101	タイガシル点滴静注用50mg		○	○	○
621076601	ピクシリン注射用0.25g	○	○	○	○
621076801	ピクシリン注射用0.5g	○	○	○	○
621077201	ピクシリン注射用1g	○	○	○	○
621077501	ピクシリン注射用2g	○	○	○	○
621078403	ピペラシリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	
646130136	ペントシリン注射用1g	○	○	○	○
620007456	ピペユンシン注射用1g	○	○	○	○
621078301	ピペラシリンNa注射用1g「サワイ」		○	○	○
621078103	ピペラシリンNa注射用1g「テバ」		○	○	○
621078601	ピペラシリンNa注用1g「トーワ」		○	○	○
621342601	ピペラシリンNa注射用1g「SN」			○	○
621079203	ピペラシリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	
646130137	ペントシリン注射用2g	○	○	○	○
620007457	ピペユンシン注射用2g	○	○	○	○
621079101	ピペラシリンNa注射用2g「サワイ」		○	○	○
621078903	ピペラシリンNa注射用2g「テバ」		○	○	○
621079401	ピペラシリンNa注用2g「トーワ」		○	○	○
621342802	ピペラシリンNa注射用2g「SN」			○	○
622079701	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ1g「NP」	○	○	○	
640462059	ペントシリン静注用1gバッグ	○	○	○	○
622079801	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ2g「NP」	○	○	○	
640462060	ペントシリン静注用2gバッグ	○	○	○	○
646130121	パンスポリン筋注用0.25g	○	○	○	○
646130110	ハロスポア静注用0.25g	○	○	○	○
646130122	パンスポリン静注用0.25g	○	○	○	○
620004140	セファピコール静注用0.25g	○	○	○	○
620007293	ケミスポリン静注用0.25g	○	○	○	○
621989702	セフォチアム塩酸塩静注用0.25g「日医工」		○	○	○
621987602	セフォチアム塩酸塩静注用0.25g「NP」		○	○	○

621924001 レセプト電算コード 646130111	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5g「SN」 ハロスポア静注用●. 5g	2010	2012	2014	2016
646130123	パンスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
620004141	セファピコール静注用●. 5g	○	○	○	○
620007294	ケミスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
621989802	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「日医工」		○	○	○
621344901	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「NP」		○	○	○
621924101	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「SN」			○	○
646130112	ハロスポア静注用1g	○	○	○	○
646130124	パンスポリン静注用1g	○	○	○	○
620003732	セファピコール静注用1g	○	○	○	○
620007295	ケミスポリン静注用1g	○	○	○	○
621345002	セフォチアム塩酸塩静注用1g「日医工」		○	○	○
621345301	セフォチアム塩酸塩静注用1g「NP」		○	○	○
621095002	セフォチアム塩酸塩静注用1g「SN」			○	○
640408149	パンスポリン静注用1gバッグS	○	○	○	○
620009563	セフォチアム静注用1gバッグ「日医工」	○	○	○	○
621540002	セフォチアム塩酸塩点滴静注用1gバッグ「NP」		○	○	○
640408148	パンスポリン静注用1gバッグG	○	○	○	○
620003735	セファメジンα注射用●. 2.5g	○	○	○	○
622104201	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
622130801	セファゾリンナトリウム注射用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622177601	トキオ注射用●. 2.5g		○	○	○
622124902	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「NP」			○	○
622033402	セファゾリンNa注射用●. 5g「NP」			○	○
622104301	セファゾリンNa注射用●. 5g「タイヨー」		○	○	○
622177701	トキオ注射用●. 5g		○	○	○
620003736	セファメジンα注射用●. 5g	○	○	○	○
621096002	セファゾリンナトリウム注射用●. 5g「日医工」		○	○	○
620003737	セファメジンα注射用1g	○	○	○	○
621096701	トキオ注射用1g	○	○	○	○
621096503	セファゾリンNa注射用1g「タイヨー」	○	○	○	○
621096802	セファゾリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	○
621096601	セファゾリンNa注射用1g「NP」			○	○
620003738	セファメジンα注射用2g	○	○	○	○
621097303	セファゾリンNa注射用2g「タイヨー」	○	○	○	○
622177801	トキオ注射用2g		○	○	○
621097602	セファゾリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	○
621097401	セファゾリンNa注射用2g「NP」			○	○
620003733	セファメジンα筋注用●. 2.5g	○	○	○	○
620003734	セファメジンα筋注用●. 5g	○	○	○	○
620003740	セファメジンα点滴用キット2g	○	○	○	○
620003739	セファメジンα点滴用キット1g	○	○	○	○
620007318	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「オーツカ」	○	○	○	○
621757001	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「NP」			○	○

620005674 620005675 電算コード	コキシシン注射用 1g コキシシン注射用 2g 名称	2010	2012	2014	2016
646130072	セフメタゾン筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130073	セフメタゾン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622125001	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「NP」	○	○	○	○
622131001	セフメタゾールナトリウム静注用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622111501	リリアジン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622104002	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「テバ」			○	○
646130074	セフメタゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
621987501	セフメタゾールNa静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
622131101	セフメタゾールナトリウム静注用●. 5g「日医工」	○	○	○	○
622111601	リリアジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622104102	セフメタゾールNa静注用●. 5g「テバ」			○	○
646130075	セフメタゾン静注用 1g	○	○	○	○
620006243	セフメタゾールNa静注用 1g「NP」	○	○	○	○
620007540	リリアジン静注用 1g	○	○	○	○
621102102	セフメタゾールナトリウム静注用 1g「日医工」		○	○	○
621101803	セフメタゾールNa静注用 1g「テバ」			○	○
646130076	セフメタゾン静注用 2g	○	○	○	○
620006244	セフメタゾールNa静注用 2g「NP」	○	○	○	○
620007541	リリアジン静注用 2g	○	○	○	○
621102802	セフメタゾールナトリウム静注用 2g「日医工」		○	○	○
621101903	セフメタゾールNa静注用 2g「テバ」			○	○
640470010	セフメタゾンキット点滴静注用 1g	○	○	○	○
620004151	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 1g「NP」	○	○	○	○
621951701	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 2g「NP」	○	○	○	○
640454018	セフォタックス注射用●. 5g	○	○	○	○
620004652	クラフォラン注射用●. 5g	○	○	○	○
640454019	セフォタックス注射用 1g	○	○	○	○
620004653	クラフォラン注射用 1g	○	○	○	○
646130067	セフォビッド注射用 1g	○	○	○	○
646130071	セフォペラジン注射用 1g	○	○	○	○
646130132	バスターコール筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130133	バスターコール静注用●. 5g	○	○	○	○
646130134	バスターコール静注用 1g	○	○	○	○
620002999	モダケミン静注用●. 5g	○	○	○	○
620003827	モダシン静注用●. 5g	○	○	○	○
620006701	セフトジジム静注用●. 5g「マイラン」	○	○	○	○
621967001	セフトジジム静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621936401	セフトジジム静注用●. 5g「タイヨー」	○	○	○	○
622052901	セフトジジム静注用●. 5g「サワイ」	○	○	○	○
622124801	セフトジジム静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
621756202	セフトジジム静注用●. 5g「日医工」		○	○	○
621755802	セフトジジム静注用●. 5g「SN」			○	○
620003000	モダケミン静注用 1g	○	○	○	○

620003001 620003028	電算コード	左 右 モ セ シ ン 静 注 用 1 g	2010	2012	2014	2016
620005676		セフトラジジム静注用1g「NP」	○	○	○	○
620006702		セフトラジジム静注用1g「マイラン」	○	○	○	○
621967101		セフトラジジム静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621703001		セフトラジジム静注用1g「サワイ」	○	○	○	○
621756502		セフトラジジム静注用1g「日医工」		○	○	○
621755902		セフトラジジム静注用1g「SN」			○	○
646130268		ロセフィン静注用●、5g	○	○	○	○
640463134		リアソフィン静注用●、5g	○	○	○	○
620009566		セフキソン静注用●、5g	○	○	○	○
620009567		セフトリアキソンNa静注用●、5g「サンド」	○	○	○	○
621987301		セフトリアキソンナトリウム静注用●、5g「NP」	○	○	○	○
621967202		セフトリアキソンNa静注用●、5g「サワイ」		○	○	○
621538203		セフトリアキソンナトリウム静注用●、5g「日医工」		○	○	○
622077302		セフトリアキソンNa静注用●、5g「ファイザー」		○	○	○
621836501		セフトリアキソンNa静注用●、5g「テバ」		○	○	○
646130269		ロセフィン静注用1g	○	○	○	○
640463135		リアソフィン静注用1g	○	○	○	○
640463080		セフキソン静注用1g	○	○	○	○
620009568		セフトリアキソンNa静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621987401		セフトリアキソンナトリウム静注用1g「NP」	○	○	○	○
621488601		セフトリアキソンNa静注用1g「サワイ」		○	○	○
621538303		セフトリアキソンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	○
621555202		セフトリアキソンNa静注用1g「ファイザー」		○	○	○
621555101		セフトリアキソンNa静注用1g「テバ」		○	○	○
640470011		ロセフィン点滴静注用1gバッグ	○	○	○	○
620002955		セフトリアキソンナトリウム点滴用1gバッグ「NP」	○	○	○	○
622051701		セフトリアキソンナトリウム点滴静注用バッグ1g「ファイザー」	○	○	○	○
620007514		メイセリン静注用1g	○	○	○	○
620004148		セフピロム硫酸塩静注用●、5g「CMX」	○	○	○	○
620006706		硫酸セフピロム静注用●、5g「マイラン」	○	○	○	○
620004149		セフピロム硫酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
620006707		硫酸セフピロム静注用1g「マイラン」	○	○	○	○
640407076		注射用マキシピーム●、5g	○	○	○	○
621966801		セフェピム塩酸塩静注用●、5g「サンド」	○	○	○	○
621994601		セフェピム塩酸塩静注用●、5g「CMX」	○	○	○	○
640407077		注射用マキシピーム1g	○	○	○	○
621966901		セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621994701		セフェピム塩酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
640407080		ファーストシン静注用●、5g	○	○	○	○
640407081		ファーストシン静注用1g	○	○	○	○
640443046		ファーストシン静注用1gバッグS	○	○	○	○
640443047		ファーストシン静注用1gバッグG	○	○	○	○
646130037		シオマリン静注用1g	○	○	○	○

646130301 646130302 シロート電算コード	フルマリン静注用0.5g フルマリン静注用1g 名称	2010	2012	2014	2016
640443048	フルマリンキット静注用1g	○	○	○	○
620005201	パニマイシン注射液50mg	○	○	○	○
620005202	パニマイシン注射液100mg	○	○	○	○
620005180	注射用パニマイシン100mg	○	○	○	○
620003780	ピスタマイシン筋注500mg	○	○	○	○
620003781	ピスタマイシン筋注1000mg	○	○	○	○
646120011	ゲンタシン注100	○	○	○	○
622037301	ゲンタマイシン硫酸塩注射液100mg「日医工」	○	○	○	○
622074801	エルタシン注100mg	○	○	○	○
622074802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液100mg「F」				○
621111803	ゲンタマイシン硫酸塩注射液400mg「日医工」		○	○	○
620003210	ゲンタシン注400	○	○	○	○
620006210	エルタシン注400mg	○	○	○	○
621111802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液400mg「F」				○
646120012	ゲンタシン注600	○	○	○	○
620006211	エルタシン注600mg	○	○	○	○
621112004	ゲンタマイシン硫酸塩注射液600mg「日医工」		○	○	○
621112003	ゲンタマイシン硫酸塩注射液600mg「F」				○
621812201	ホスホマイシンナトリウム静注用0.5g「日医工」		○	○	
622104401	フラゼミシン静注用0.5g	○	○	○	
622131501	ホスカリーゼ静注用0.5g	○	○	○	
620003815	ホスミンS静注用0.5g	○	○	○	○
622079901	ホスホマイシンNa静注用0.5g「NP」		○	○	
622045702	ホスホマイシンNa静注用0.5g「タカタ」		○	○	○
620004750	フラゼミシン静注用1g	○	○	○	
620004767	ホスカリーゼ静注用1g	○	○	○	
621766301	ホスホマイシンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	
620003816	ホスミンS静注用1g	○	○	○	○
620006316	ホスホマイシンNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
621114602	ホスホマイシンNa静注用1g「タカタ」		○	○	○
620004751	フラゼミシン静注用2g	○	○	○	
620004768	ホスカリーゼ静注用2g	○	○	○	
621766401	ホスホマイシンナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	
620003817	ホスミンS静注用2g	○	○	○	○
620006317	ホスホマイシンNa静注用2g「NP」	○	○	○	○
621115302	ホスホマイシンNa静注用2g「タカタ」		○	○	○
620007477	フラゼミシン点滴静注用2gキット	○	○	○	○
640451022	ホスミンSバッグ1g点滴静注用	○	○	○	○
640451023	ホスミンSバッグ2g点滴静注用	○	○	○	○
620007519	メロペン点滴用バイアル0.25g	○	○	○	○
620009585	メロペナム点滴静注用0.25g「タイヨー」	○	○	○	○
620009586	メロペナム点滴静注用0.25g「日医工」	○	○	○	○
621952301	メロペナム点滴静注用0.25g「NP」	○	○	○	○

621959101 シテプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621967801	メロペネム点滴静注用⓪. 2.5g「ケミファ」	○	○	○	○
621967801	メロペネム点滴静注用⓪. 2.5g「サワイ」	○	○	○	○
621967901	メロペネム点滴静注用⓪. 2.5g「タナベ」	○	○	○	○
621946701	メロペネム点滴静注用⓪. 2.5g「トーフ」	○	○	○	○
621947901	メロペネム点滴静注用⓪. 2.5g「明治」	○	○	○	○
622044201	メロペネム点滴静注用⓪. 2.5g「ファイザー」	○	○	○	○
620007520	メロペン点滴用バイアル⓪. 5g	○	○	○	○
620009587	メロペネム点滴静注用⓪. 5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009588	メロペネム点滴静注用⓪. 5g「日医工」	○	○	○	○
621952401	メロペネム点滴静注用⓪. 5g「NP」	○	○	○	○
621950201	メロペネム点滴静注用⓪. 5g「ケミファ」	○	○	○	○
621968001	メロペネム点滴静注用⓪. 5g「サワイ」	○	○	○	○
621968101	メロペネム点滴静注用⓪. 5g「タナベ」	○	○	○	○
621946801	メロペネム点滴静注用⓪. 5g「トーフ」	○	○	○	○
621948001	メロペネム点滴静注用⓪. 5g「明治」	○	○	○	○
622044301	メロペネム点滴静注用⓪. 5g「ファイザー」	○	○	○	○
622439001	メロペネム点滴静注用1g「NP」			○	○
622419401	メロペネム点滴静注用1g「明治」			○	○
620007518	メロペン点滴用キット⓪. 5g	○	○	○	○
621952501	メロペネム点滴静注用バッグ⓪. 5g「NP」	○	○	○	○
621967701	メロペネム点滴静注用バッグ⓪. 5g「日医工」	○	○	○	○
621931801	メロペネム点滴静注用バッグ⓪. 5g「明治」	○	○	○	○
622471301	メロペネム点滴静注用バッグ1g「NP」			○	○
622460901	メロペネム点滴静注用バッグ1g「明治」			○	○
640451036	オメガシン点滴用⓪. 3g	○	○	○	○
640451037	オメガシン点滴用⓪. 3gバッグ	○	○	○	○
621708501	フィニボックス点滴静注用⓪. 2.5g	○	○	○	○
622078501	フィニボックス点滴静注用⓪. 5g	○	○	○	○
621727601	フィニボックス点滴静注用⓪. 2.5g	○	○	○	○
646130264	スルペラゾン静注用⓪. 5g	○	○	○	○
620004152	セフロニック静注用⓪. 5g	○	○	○	○
620007316	スペルゾン静注用⓪. 5g	○	○	○	○
622083601	スルタムジン静注用⓪. 5g	○	○	○	○
622099301	セフォセフ静注用⓪. 5g	○	○	○	○
622130901	セフォン静注用⓪. 5g	○	○	○	○
622111401	バクフォーゼ静注用⓪. 5g	○	○	○	○
622080002	ワイスタール配合静注用⓪. 5g		○	○	○
646130265	スルペラゾン静注用1g	○	○	○	○
640444050	セフォセフ静注用1g	○	○	○	○
640444051	セフォン静注用1g	○	○	○	○
640444071	バクフォーゼ静注用1g	○	○	○	○
640453097	スルタムジン静注用1g	○	○	○	○
620003742	セフロニック静注用1g	○	○	○	○
620007317	スペルゾン静注用1g	○	○	○	○
621347901	ワイスタール配合静注用1g		○	○	○

2019年電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621441901	ペラゾンキット静注用 1g				
621441901	ワイスターール配合点滴静注用 1g バッグ		○	○	○
620004108	インダスト点滴静注用 2.5g	○	○	○	○
620007364	チエナム点滴静注用 2.5g	○	○	○	○
620008211	チエペナム点滴静注用 2.5g	○	○	○	○
622010201	チエクール点滴用 2.5g	○	○	○	○
622127601	イミペナム・シラスタチン点滴用 2.5g 「サンド」	○	○	○	○
622172601	イミスタン点滴静注用 2.5g		○	○	○
620003703	インダスト点滴静注用 5g	○	○	○	○
620004106	イミスタン点滴静注用 5g	○	○	○	○
620004155	チエクール点滴用 5g	○	○	○	○
620004707	チエペナム点滴静注用 5g	○	○	○	○
620005643	イミペナム・シラスタチン点滴用 5g 「サンド」	○	○	○	○
620007365	チエナム点滴静注用 5g	○	○	○	○
620007362	チエナム筋注用 5g	○	○	○	○
620007363	チエナム点滴静注用キット 5g	○	○	○	○
646130368	カルベニン点滴用 2.5g	○	○	○	○
646130369	カルベニン点滴用 5g	○	○	○	○
640406222	ユナシン - S 静注用 7.5g	○	○	○	○
620003003	ユナスピン静注用 7.5g	○	○	○	○
620004132	スルバクシン静注用 7.5g	○	○	○	○
620004134	スルバシリン静注用 7.5g	○	○	○	○
620005874	ピスルシン静注用 7.5g	○	○	○	○
620009560	スルバクタム・アンピシリン静注用 7.5g 「サンド」	○	○	○	○
622118402	ピシリバクタ静注用 7.5g	○	○	○	○
622100601	ユーシオン - S 静注用 7.5g	○	○	○	○
640406223	ユナシン - S 静注用 1.5g	○	○	○	○
620002977	ピシリバクタ静注用 1.5g	○	○	○	○
620003002	ユーシオン - S 静注用 1.5g	○	○	○	○
620003004	ユナスピン静注用 1.5g	○	○	○	○
620004133	スルバクシン静注用 1.5g	○	○	○	○
620004135	スルバシリン静注用 1.5g	○	○	○	○
620005875	ピスルシン静注用 1.5g	○	○	○	○
620009561	スルバクタム・アンピシリン静注用 1.5g 「サンド」	○	○	○	○
622250001	ユナシン - S 静注用 3g		○	○	○
622419601	スルバシリン静注用 3g			○	○
622408701	ピスルシン静注用 3g			○	○
622464401	スルバクシン静注用 3g			○	○
622467201	ピシリバクタ静注用 3g			○	○
622458201	ユーシオン - S 静注用 3g			○	○
622441301	ユナスピン静注用 3g			○	○
620004775	ユナシン - S キット静注用 1.5g	○	○	○	○
620004776	ユナシン - S キット静注用 3g	○	○	○	○
620008446	ゾシン静注用 2.25	○	○	○	○

622441401 622464701	電算コード タゾピペ配合静注用2.25「CHM」 タゾピペ配合静注用2.25「DK」	2010	2012	2014	2016
622453701	タゾピペ配合静注用2.25「DSEP」			○	○
622450601	タゾピペ配合静注用2.25「SN」			○	○
622461801	タゾピペ配合静注用2.25「サンド」			○	○
622458801	タゾピペ配合静注用2.25「テバ」			○	○
622467001	タゾピペ配合静注用2.25「日医工」			○	○
622470601	タゾピペ配合静注用2.25「ニプロ」			○	○
622455601	タゾピペ配合静注用2.25「ファイザー」			○	○
622460701	タゾピペ配合静注用2.25「明治」			○	○
620008447	ゾシン静注用4.5	○	○	○	○
622441501	タゾピペ配合静注用4.5「CHM」			○	○
622464801	タゾピペ配合静注用4.5「DK」			○	○
622453801	タゾピペ配合静注用4.5「DSEP」			○	○
622450701	タゾピペ配合静注用4.5「SN」			○	○
622461901	タゾピペ配合静注用4.5「サンド」			○	○
622458901	タゾピペ配合静注用4.5「テバ」			○	○
622467101	タゾピペ配合静注用4.5「日医工」			○	○
622470701	タゾピペ配合静注用4.5「ニプロ」			○	○
622455701	タゾピペ配合静注用4.5「ファイザー」			○	○
622460801	タゾピペ配合静注用4.5「明治」			○	○
622423101	ゾシン配合点滴静注用バッグ4.5			○	○
622454001	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「DSEP」			○	○
622470901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ニプロ」			○	○
622455901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ファイザー」			○	○
622462101	タゾピペ配合点滴静注用4.5バッグ「サンド」			○	○
622453901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「DSEP」			○	○
622470801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ニプロ」			○	○
622455801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ファイザー」			○	○
622462001	タゾピペ配合点滴静注用2.25バッグ「サンド」			○	○
621120001	エリスロシン点滴静注用500mg	○	○	○	○
622085701	ジスロマック点滴静注用500mg	○	○	○	○
621122801	クロロマイセチンサクシネート静注用1g	○	○	○	○
620004770	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「日医工」		○	○	○
620005226	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620007513	ミノマイシン点滴静注用100mg	○	○	○	○
621126801	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「サワイ」		○	○	○
621126501	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「F」			○	○
620003244	硫酸ストレプトマイシン1g注射用「明治」	○	○	○	○
620007375	ツペラクチン筋注用1g	○	○	○	○
620007539	硫酸カナマイシン注射液1000mg「明治」	○	○	○	○
620007467	ファンギゾン注射用50mg	○	○	○	○
620003487	アムビゾーム点滴静注用50mg	○	○	○	○
640462040	ファンガード点滴用50mg	○	○	○	○
640462041	ファンガード点滴用75mg	○	○	○	○
620003489	ファンガード点滴用25mg	○	○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
62002497	フェンド２〇〇mg 静注用				
622136201	カンサイダス点滴静注用５〇mg		○	○	○
622136301	カンサイダス点滴静注用７〇mg		○	○	○
621131001	注射用ピクシリンＳ１〇〇	○	○	○	○
646190020	注射用ピクシリンＳ５〇〇	○	○	○	○
646190018	注射用ピクシリンＳ１〇〇〇	○	○	○	○
620000446	シプロキサ注３〇〇mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液３〇〇mg 「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液３〇〇mg 「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液３〇〇mg 「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液３〇〇mg 「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液３〇〇mg 「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液３〇〇mg 「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注液３〇〇mg / 15〇mL 「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサ注２〇〇mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液２〇〇mg 「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液２〇〇mg 「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液２〇〇mg 「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液２〇〇mg 「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液２〇〇mg 「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液２〇〇mg 「日医工」	○	○	○	○
620009558	シプロフロキサシン点滴静注液２〇〇mg / 1〇〇mL 「明治」	○	○	○	○
620009548	シプロフロキサシンDU点滴静注液３〇〇mg / 25〇mL 「NP」	○	○	○	○
620009549	シプロフロキサシンDU点滴静注液３〇〇mg / 25〇mL 「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シプロフロキサシンDU点滴静注液３〇〇mg / 25〇mL 「日医工」	○	○	○	○
620009551	シプロフロキサシンDU点滴静注液３〇〇mg / 25〇mL 「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサ注４〇〇mg			○	○
640462032	バシル点滴静注液３〇〇mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液３〇〇mg	○	○	○	○
640462033	バシル点滴静注液５〇〇mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液５〇〇mg	○	○	○	○
622009401	バシル点滴静注液１〇〇〇mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液１〇〇〇mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注５〇〇mg / 2〇mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ５〇〇mg / 1〇〇mL	○	○	○	○
640451010	ザイボックス注射液６〇〇mg	○	○	○	○
622419501	リネズリド点滴静注液６〇〇mg 「明治」			○	○
620006311	フロリードF注２〇〇mg	○	○	○	○
620003726	ジフルカン静注液５〇mg	○	○	○	○
622056701	フルコナゾール静注５〇mg 「トーフ」	○	○	○	○
622053301	フルコナゾール静注液５〇mg 「サワイ」	○	○	○	○
622073601	フルコナゾール静注液５〇mg 「日医工」	○	○	○	○
621539701	フルコナゾール静注液５〇mg 「イセイ」		○	○	○
621544402	フルコナゾール静注液５〇mg 「タカタ」			○	○
620003727	ジフルカン静注液１〇〇mg	○	○	○	○

2010年7月1日現在 JANコード	電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
		フルコナゾール静注100mg「トーワ」				
620008922		フルコナゾール静注液100mg「サワイ」	○	○	○	○
621569201		フルコナゾール静注液100mg「日医工」		○	○	○
621539801		フルコナゾール静注液100mg「イセイ」		○	○	○
621554502		フルコナゾール静注液100mg「タカタ」			○	○
620009582		フルコナゾール静注液200mg「マイラン」		○	○	○
621539901		フルコナゾール静注液200mg「イセイ」		○	○	○
620003728		ジフルカン静注液200mg	○	○	○	○
620007482		フルコナゾール静注200mg「トーワ」	○	○	○	○
620008923		フルコナゾール静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
621569301		フルコナゾール静注液200mg「日医工」		○	○	○
621554602		フルコナゾール静注液200mg「タカタ」			○	○
620000295		フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621541601		フルコナゾール静注液100mg「テバ」		○	○	○
621543302		フルコナゾール静注100mg「NP」		○	○	○
621541701		フルコナゾール静注液200mg「テバ」		○	○	○
620000296		フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621543402		フルコナゾール静注200mg「NP」		○	○	○
620000294		フルコナゾール静注液0.1%「F」	○	○	○	○
621543201		フルコナゾール静注50mg「NP」		○	○	○
620000437		プロジフ静注液100	○	○	○	○
620000438		プロジフ静注液200	○	○	○	○
620000439		プロジフ静注液400	○	○	○	○
620004424		イトリゾール注1%	○	○	○	○
621167101		ベナンボックス注用300mg	○	○	○	○
622364001		アネメトロ点滴静注液500mg			○	○
646410002		バクタラミン注	○	○	○	○
640463091		点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907		塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792		塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g（シオノギ）	○	○	○	○
620009575		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601		バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901		点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
620000446		シプロキサシン注300mg	○	○	○	○
620008209		シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207		シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208		シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○

2010	2012	2014	2016		
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注液300mg / 150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサシ注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シプロフロキサシン点滴静注液200mg / 100mL「明治」	○	○	○	○
620009548	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「NP」	○	○	○	○
620009549	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサシ注400mg			○	○
640462032	パシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	パシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	パシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg / 200mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1:
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2:
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3:
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。
- 4:
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。
- 5:
本指標は、厚労省の「医療の質の評価・公表等推進事業」により示されたDPCを用いた共通指標の定義を利用している。
このうち、いくつか改訂（抗菌薬のコードの見直し）が望ましいものを反映した定義は2118_5として算出を行っているため、併せてご参照ください。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(股関節人工骨頭置換術)

指標番号:

QIP: 2118_2

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(股関節人工骨頭置換術)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数 (股関節人工骨頭置換術)

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150050410	人工関節置換術 (股)
150049510	人工骨頭挿入術 (股)

分子の定義:

1 :
手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。
(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。(例: 手術日が4月2日の場合4月3日を検索)
(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6111002	ベンジルペニシリンベンザチン水和物	○	○	○	○
6111400	ベンジルペニシリンカリウム	○	○	○	○
6112001	クリンダマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112400	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112401	クリンダマイシンリン酸エステル	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113700	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○
6119500	キヌプリスチン・ダルホプリスチン	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
	ノンカルシウム水和物				
6122400	アズトレオナム	○	○	○	○
6123003	カナマイシン一硫酸塩	○	○	○	○
6123401	トブラマイシン	○	○	○	○
6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○
6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6123700	トブラマイシン		○	○	○
6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム			○	○
6126001	ポリミキシンB 硫酸塩	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	○	○	○	○
6129400	チゲサイクリン		○	○	○
6131001	アモキシシリン水和物	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	○	○	○	○
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6131400	アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6131403	ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6132002	セファレキシム	○	○	○	○
6132005	セファクロル	○	○	○	○
6132006	セフロキサジン水和物	○	○	○	○
6132008	セフィキシム	○	○	○	○
6132009	セフテラム ピボキシル	○	○	○	○
6132010	セフロキシム アキセチル	○	○	○	○
6132011	セフボドキシム プロキセチル	○	○	○	○
6132012	セフォチアム ヘキセチル塩酸塩	○	○	○	○
6132013	セフジニル	○	○	○	○
6132015	セフジトレン ピボキシル	○	○	○	○
6132016	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム			○	○
6132403	セファロチンナトリウム	○	○	○	○
6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○
6132409	セフォタキシムナトリウム	○	○	○	○
6132410	セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6132413	セフメノキシム塩酸塩	○	○	○	○
6132418	セフタジジム水和物	○	○	○	○
6132419	セフトリアキソンナトリウム水和物	○	○	○	○
6132422	セフミノクスナトリウム水和物	○	○	○	○
6132424	セフピロム硫酸塩	○	○	○	○
6132425	セフェピム塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132426	セフォゾプラン塩酸塩	○	○	○	○
6132700	セフチゾキシムナトリウム	○	○	○	○
6133400	ラタモキシムナトリウム	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
	セフトリアキソンナトリウム				
6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6135400	ホスホマイシンナトリウム	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	○	○	○	○
6139002	テビペネム ピボキシル	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	○	○	○	○
6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○
6139401	ピアペネム	○	○	○	○
6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○
6139500	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○
6139503	パニペネム・ベタミブロン	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6139505	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	○	○	○	○
6141400	エリスロマイシンラクトビオン酸塩	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	○	○	○	○
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	○	○	○	○
6149002	ロキシスロマイシン	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	○	○	○	○
6149004	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6149400	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6151001	クロラムフェニコール	○	○	○	○
6151401	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○
6152002	テトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152004	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152401	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6162001	サイクロセリン	○	○	○	○
6164001	リファンピシン	○	○	○	○
6165400	エンビオマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6169001	リファブチン	○	○	○	○
6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6171001	ナイスタチン	○	○	○	○
6173001	アムホテリシンB	○	○	○	○
6173400	アムホテリシンB	○	○	○	○
6179001	ボリコナゾール	○	○	○	○

薬価標準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6179401	ポリコナゾール	○	○	○	○
6179402	カスポファンギン酢酸塩		○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6191401	アンピシリンナトリウム・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6199001	リファキシミン				○
6199100	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール	○	○	○	○
6199102	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○
6199104	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン				○
6199105	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール				○
6241001	ナリジクス酸	○	○	○	○
6241002	ピペミド酸水和物	○	○	○	○
6241005	ノルフロキサシン	○	○	○	○
6241006	オフロキサシン	○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6241013	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241015	ブルリフロキサシン	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○
6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6249002	リネゾリド	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○
6290001	フルシトシン	○	○	○	○
6290002	フルコナゾール	○	○	○	○
6290003	ミコナゾール	○	○	○	○
6290004	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290005	テルビナフィン塩酸塩	○	○	○	○
6290006	アトバコン		○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○
6290400	ミコナゾール	○	○	○	○
6290401	フルコナゾール	○	○	○	○
6290402	ホスフルコナゾール	○	○	○	○
6290403	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290700	クロトリマゾール	○	○	○	○
6290701	イミキモド	○	○	○	○
6290702	エフィナコナゾール			○	○
6290703	ルリコナゾール				○
6419001	チニダゾール	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6419003	メフロキン塩酸塩	○	○	○	○
6419004	パロモマイシン硫酸塩		○	○	○
6419005	プリマキンリン酸塩				○
6419101	アトバコン・プログアニル塩酸塩		○	○	○
6419102	アルテメテル・ルメファントリン				○
6419400	ペンタミジンイセチオン酸塩	○	○	○	○
6419401	メトロニダゾール			○	○
6419500	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2 :
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3 :
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。
- 4 :
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考値:

参考資料:

- 1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(膝関節置換術)

指標番号:

QIP: 2118_3

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(膝関節置換術)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数 (膝関節置換術)

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2:
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150050510	人工関節置換術 (膝)

分子の定義:

1:
手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。
(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。(例: 手術日が4月2日の場合4月3日を検索)
(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6111002	ベンジルペニシリンベンザチン水和物	○	○	○	○
6111400	ベンジルペニシリンカリウム	○	○	○	○
6112001	クリンダマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112400	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112401	クリンダマイシンリン酸エステル	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113700	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○
6119500	キヌプリスチン・ダルホプリスチン	○	○	○	○
6119700	ムピロシンカルシウム水和物	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名/オナム	2010	2012	2014	2016
6123003	カナマイシンー硫酸塩	○	○	○	○
6123401	トブラマイシン	○	○	○	○
6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○
6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6123700	トブラマイシン		○	○	○
6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム			○	○
6126001	ポリミキシンB 硫酸塩	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	○	○	○	○
6129400	チゲサイクリン		○	○	○
6131001	アモキシシリン水和物	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	○	○	○	○
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6131400	アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6131403	ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6132002	セファレキシム	○	○	○	○
6132005	セファクロル	○	○	○	○
6132006	セフロキサジン水和物	○	○	○	○
6132008	セフィキシム	○	○	○	○
6132009	セフテラム ピボキシル	○	○	○	○
6132010	セフロキシム アキセチル	○	○	○	○
6132011	セフボドキシム プロキセチル	○	○	○	○
6132012	セフォチアム ヘキセチル塩酸塩	○	○	○	○
6132013	セフジニル	○	○	○	○
6132015	セフジトレン ピボキシル	○	○	○	○
6132016	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム			○	○
6132403	セファロチンナトリウム	○	○	○	○
6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○
6132409	セフォタキシムナトリウム	○	○	○	○
6132410	セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6132413	セフメノキシム塩酸塩	○	○	○	○
6132418	セフタジジム水和物	○	○	○	○
6132419	セフトリアキソンナトリウム水和物	○	○	○	○
6132422	セフミノクスナトリウム水和物	○	○	○	○
6132424	セフピロム硫酸塩	○	○	○	○
6132425	セフェピム塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132426	セフォゾプラン塩酸塩	○	○	○	○
6132700	セフチゾキシムナトリウム	○	○	○	○
6133400	ラタモキシムナトリウム	○	○	○	○
6133401	フロモキシムナトリウム	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6135400	ホスホマイシンナトリウム	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	○	○	○	○
6139002	テビペネム ピボキシル	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	○	○	○	○
6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○
6139401	ピアペネム	○	○	○	○
6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○
6139500	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○
6139503	パニペネム・ベタミブロン	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6139505	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	○	○	○	○
6141400	エリスロマイシンラクトビオン酸塩	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	○	○	○	○
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	○	○	○	○
6149002	ロキシスロマイシン	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	○	○	○	○
6149004	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6149400	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6151001	クロラムフェニコール	○	○	○	○
6151401	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○
6152002	テトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152004	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152401	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6162001	サイクロセリン	○	○	○	○
6164001	リファンピシン	○	○	○	○
6165400	エンビオマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6169001	リファブチン	○	○	○	○
6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6171001	ナイスタチン	○	○	○	○
6173001	アムホテリシンB	○	○	○	○
6173400	アムホテリシンB	○	○	○	○
6179001	ボリコナゾール	○	○	○	○
6179400	ミカファンギンナトリウム	○	○	○	○

薬価標準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6179402	カスポファンギン酢酸塩		○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6191401	アンピシリンナトリウム・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6199001	リファキシミン				○
6199100	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール	○	○	○	○
6199102	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○
6199104	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン				○
6199105	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール				○
6241001	ナリジクス酸	○	○	○	○
6241002	ピペミド酸水和物	○	○	○	○
6241005	ノルフロキサシン	○	○	○	○
6241006	オフロキサシン	○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6241013	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241015	ブルリフロキサシン	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○
6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6249002	リネゾリド	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○
6290001	フルシトシン	○	○	○	○
6290002	フルコナゾール	○	○	○	○
6290003	ミコナゾール	○	○	○	○
6290004	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290005	テルビナフィン塩酸塩	○	○	○	○
6290006	アトバコン		○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○
6290400	ミコナゾール	○	○	○	○
6290401	フルコナゾール	○	○	○	○
6290402	ホスフルコナゾール	○	○	○	○
6290403	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290700	クロトリマゾール	○	○	○	○
6290701	イミキモド	○	○	○	○
6290702	エフィナコナゾール			○	○
6290703	ルリコナゾール				○
6419001	チニダゾール	○	○	○	○
6419002	メトロニダゾール	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6419003	メロキシム塩酸塩				
6419004	パロモマイシン硫酸塩		○	○	○
6419005	プリマキンリン酸塩				○
6419101	アトバコン・プログアニル塩酸塩		○	○	○
6419102	アルテメテル・ルメファントリン				○
6419400	ペンタミジンイセチオン酸塩	○	○	○	○
6419401	メトロニダゾール			○	○
6419500	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1:
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2:
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3:
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。
- 4:
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考値:

参考資料:

- 1:
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(子宮全摘除術)

指標番号:

QIP: 2118_4

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(子宮全摘除術)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数 (子宮全摘除術)

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150217510	子宮全摘術
150222810	子宮破裂手術 (子宮全摘除を行う)
150272250	腹腔鏡下腔式子宮全摘術

分子の定義:

1 :
手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。
(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。(例: 手術日が4月2日の場合4月3日を検索)
(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6111002	ベンジルペニシリンベンザチン水和物	○	○	○	○
6111400	ベンジルペニシリンカリウム	○	○	○	○
6112001	クリンダマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112400	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112401	クリンダマイシンリン酸エステル	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113700	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
	リスチン・ダルホプリスチン				
6119700	ムピロシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6122400	アズトレオナム	○	○	○	○
6123003	カナマイシン一硫酸塩	○	○	○	○
6123401	トブラマイシン	○	○	○	○
6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○
6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6123700	トブラマイシン		○	○	○
6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム			○	○
6126001	ポリミキシンB 硫酸塩	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	○	○	○	○
6129400	チゲサイクリン		○	○	○
6131001	アモキシシリン水和物	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	○	○	○	○
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6131400	アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6131403	ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6132002	セファレキシン	○	○	○	○
6132005	セファクロル	○	○	○	○
6132006	セフロキサジン水和物	○	○	○	○
6132008	セフィキシム	○	○	○	○
6132009	セフテラム ピボキシル	○	○	○	○
6132010	セフロキシム アキセチル	○	○	○	○
6132011	セフボドキシム プロキセチル	○	○	○	○
6132012	セフォチアム ヘキセチル塩酸塩	○	○	○	○
6132013	セフジニル	○	○	○	○
6132015	セフジトレン ピボキシル	○	○	○	○
6132016	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム			○	○
6132403	セファロチンナトリウム	○	○	○	○
6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○
6132409	セフォタキシムナトリウム	○	○	○	○
6132410	セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6132413	セフメノキシム塩酸塩	○	○	○	○
6132418	セフタジジム水和物	○	○	○	○
6132419	セフトリアキソンナトリウム水和物	○	○	○	○
6132422	セフミノクスナトリウム水和物	○	○	○	○
6132424	セフピロム硫酸塩	○	○	○	○
6132425	セフェピム塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132426	セフォゾプラン塩酸塩	○	○	○	○
6132700	セフチゾキシムナトリウム	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
	セフトリアキソンナトリウム				
6133401	フロモキシセフトリアキソン	○	○	○	○
6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6135400	ホスホマイシンナトリウム	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	○	○	○	○
6139002	テビペネム ピボキシル	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	○	○	○	○
6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○
6139401	ピアペネム	○	○	○	○
6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○
6139500	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○
6139503	パニペネム・ベタミブロン	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6139505	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	○	○	○	○
6141400	エリスロマイシンラクトビオン酸塩	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	○	○	○	○
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	○	○	○	○
6149002	ロキシスロマイシン	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	○	○	○	○
6149004	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6149400	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6151001	クロラムフェニコール	○	○	○	○
6151401	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○
6152002	テトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152004	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152401	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6162001	サイクロセリン	○	○	○	○
6164001	リファンピシン	○	○	○	○
6165400	エンビオマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6169001	リファブチン	○	○	○	○
6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6171001	ナスタチン	○	○	○	○
6173001	アムホテリシンB	○	○	○	○
6173400	アムホテリシンB	○	○	○	○

薬品標準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6179400	ミカファンギンナトリウム	○	○	○	○
6179401	ポリコナゾール	○	○	○	○
6179402	カスポファンギン酢酸塩		○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6191401	アンピシリンナトリウム・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6199001	リファキシミン				○
6199100	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール	○	○	○	○
6199102	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○
6199104	ポノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン				○
6199105	ポノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール				○
6241001	ナリジクス酸	○	○	○	○
6241002	ピペミド酸水和物	○	○	○	○
6241005	ノルフロキサシン	○	○	○	○
6241006	オフロキサシン	○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6241013	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241015	ブルリフロキサシン	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○
6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6249002	リネゾリド	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○
6290001	フルシトシン	○	○	○	○
6290002	フルコナゾール	○	○	○	○
6290003	ミコナゾール	○	○	○	○
6290004	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290005	テルビナフィン塩酸塩	○	○	○	○
6290006	アトバコン		○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○
6290400	ミコナゾール	○	○	○	○
6290401	フルコナゾール	○	○	○	○
6290402	ホスフルコナゾール	○	○	○	○
6290403	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290700	クロトリマゾール	○	○	○	○
6290701	イミキモド	○	○	○	○
6290702	エフィナコナゾール			○	○
6290703	ルリコナゾール				○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6419002	メトロニダゾール	○	○	○	○
6419003	メフロキン塩酸塩	○	○	○	○
6419004	パロモマイシン硫酸塩		○	○	○
6419005	プリマキンリン酸塩				○
6419101	アトバコン・プログアニル塩酸塩		○	○	○
6419102	アルテメテル・ルメファントリン				○
6419400	ペンタミジンイセチオン酸塩	○	○	○	○
6419401	メトロニダゾール			○	○
6419500	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1:
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2:
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3:
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。
- 4:
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考値:

参考資料:

- 1:
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 c. 術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率 (冠動脈バイパス手術)

指標番号:

QIP: 2119_1

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 c. 術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率 (冠動脈バイパス手術)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数 (冠動脈バイパス手術)

分子: 分母のうち術後2日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2:
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150145910	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (1吻合)
150146010	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (2吻合以上)
150318410	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺不使用) (1吻合)
150318510	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺不使用) (2吻合以上)

分子の定義:

1:
手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。
(ア) 術後2日目は手術日+2の日付とする。(例: 手術日が4月2日の場合4月4日を検索)
(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6111002	ベンジルペニシリンベンザチン水和物	○	○	○	○
6111400	ベンジルペニシリンカリウム	○	○	○	○
6112001	クリンダマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112400	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112401	クリンダマイシンリン酸エステル	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113700	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6119500	キヌブリスチン・ダルホブリスチン	○	○	○	○
6119700	ムピロシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6122400	アズトレオナム	○	○	○	○
6123003	カナマイシンー硫酸塩	○	○	○	○
6123401	トブラマイシン	○	○	○	○
6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○
6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6123700	トブラマイシン		○	○	○
6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム			○	○
6126001	ポリミキシシンB 硫酸塩	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	○	○	○	○
6129400	チゲサイクリン		○	○	○
6131001	アモキシシリン水和物	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	○	○	○	○
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6131400	アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6131403	ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6132002	セファレキシシン	○	○	○	○
6132005	セファクロル	○	○	○	○
6132006	セフロキサジン水和物	○	○	○	○
6132008	セフィキシム	○	○	○	○
6132009	セフテラム ピボキシシル	○	○	○	○
6132010	セフロキシム アキセチル	○	○	○	○
6132011	セフボドキシム プロキセチル	○	○	○	○
6132012	セフォチアム ヘキセチル塩酸塩	○	○	○	○
6132013	セフジニル	○	○	○	○
6132015	セフジトレン ピボキシシル	○	○	○	○
6132016	セフカペン ピボキシシル塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム			○	○
6132403	セファロチンナトリウム	○	○	○	○
6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○
6132409	セフォタキシムナトリウム	○	○	○	○
6132410	セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6132413	セフメノキシム塩酸塩	○	○	○	○
6132418	セフタジジム水和物	○	○	○	○
6132419	セフトリアキソンナトリウム水和物	○	○	○	○
6132422	セフミノクスナトリウム水和物	○	○	○	○
6132424	セフピロム硫酸塩	○	○	○	○
6132425	セフェピム塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132426	セフォゾبران塩酸塩	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
	ゾキシムナトリウム				
6133400	ラタモキシセフナトリウム	○	○	○	○
6133401	フロモキシセフナトリウム	○	○	○	○
6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6135400	ホスホマイシンナトリウム	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	○	○	○	○
6139002	テビペネム ピボキシル	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	○	○	○	○
6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○
6139401	ビアペネム	○	○	○	○
6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○
6139500	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○
6139503	パニペネム・ベタミブロン	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6139505	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	○	○	○	○
6141400	エリスロマイシンラクトビオン酸塩	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	○	○	○	○
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	○	○	○	○
6149002	ロキシスロマイシン	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	○	○	○	○
6149004	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6149400	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6151001	クロラムフェニコール	○	○	○	○
6151401	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○
6152002	テトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152004	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152401	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6162001	サイクロセリン	○	○	○	○
6164001	リファンピシン	○	○	○	○
6165400	エンビオマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6169001	リファブチン	○	○	○	○
6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6171001	ナイスタチン	○	○	○	○
6173001	アムホテリシンB	○	○	○	○

薬価標準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6179001	ポリコナゾール	○	○	○	○
6179400	ミカファンギンナトリウム	○	○	○	○
6179401	ポリコナゾール	○	○	○	○
6179402	カスポファンギン酢酸塩		○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6191401	アンピシリンナトリウム・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6199001	リファキシミン				○
6199100	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール	○	○	○	○
6199102	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○
6199104	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン				○
6199105	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール				○
6241001	ナリジクス酸	○	○	○	○
6241002	ピペミド酸水和物	○	○	○	○
6241005	ノルフロキサシン	○	○	○	○
6241006	オフロキサシン	○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6241013	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241015	ブルリフロキサシン	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241401	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○
6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6249002	リネゾリド	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○
6290001	フルシトシン	○	○	○	○
6290002	フルコナゾール	○	○	○	○
6290003	ミコナゾール	○	○	○	○
6290004	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290005	テルビナフィン塩酸塩	○	○	○	○
6290006	アトバコン		○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○
6290400	ミコナゾール	○	○	○	○
6290401	フルコナゾール	○	○	○	○
6290402	ホスフルコナゾール	○	○	○	○
6290403	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290700	クロトリマゾール	○	○	○	○
6290701	イミキモド	○	○	○	○
6290702	エフィナコナゾール			○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6419001	チニダゾール	○	○	○	○
6419002	メトロニダゾール	○	○	○	○
6419003	メフロキン塩酸塩	○	○	○	○
6419004	パロモマイシン硫酸塩		○	○	○
6419005	プリマキンリン酸塩				○
6419101	アトバコン・プログアニル塩酸塩		○	○	○
6419102	アルテメテル・ルメファントリン				○
6419400	ペンタミジンイセチオン酸塩	○	○	○	○
6419401	メトロニダゾール			○	○
6419500	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2 :
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3 :
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。
- 4 :
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考値:

参考資料:

- 1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 c. 術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率 (そのほかの心臓手術)

指標番号:

QIP: 2119_2

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 c. 術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率 (そのほかの心臓手術)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数 (そのほかの心臓手術)

分子: 分母のうち術後2日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2:
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150317510	同種死体肺移植術
150319010	心室中隔穿孔閉鎖術 (単独)
150319110	心室中隔穿孔閉鎖術 (冠動脈血行再建術 (1吻合) を伴う)
150141010	弁形成術 (1弁)
150279510	弁形成術 (2弁)
150279610	弁形成術 (3弁)
150141410	弁置換術 (1弁)
150141610	弁置換術 (2弁)
150141710	弁置換術 (3弁)
150387210	経カテーテル大動脈弁置換術 (経心尖大動脈弁置換術)
150387310	経カテーテル大動脈弁置換術 (経皮的大動脈弁置換術)
150143610	大動脈弁狭窄直視下切開術
150143710	大動脈弁上狭窄手術
150143810	大動脈弁下狭窄切除術
150141510	弁輪拡大術を伴う大動脈弁置換術
150292910	ロス手術 (自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術)
150381650	オープン型ステントグラフト内挿術 (上行・弓部同時、弁置換・形成)
150381750	オープン型ステントグラフト内挿術 (上行・弓部同時、弁・基部置換)
150381850	オープン型ステントグラフト内挿術 (上行・弓部同時、弁温存置換術)
150346410	経皮的大動脈形成術
150320310	三尖弁手術 (エプスタイン氏奇形、ウール氏病手術)

ICD10コード	名称
150143910	肺動脈狭窄症手術（右室流出路形成又は肺動脈形成を伴う）
150320510	純型肺動脈弁閉鎖症手術（右室流出路形成又は肺動脈形成を伴う）
150346510	経皮的肺動脈形成術
150145110	肺静脈還流異常症手術（部分肺静脈還流異常）
150376210	肺静脈還流異常症手術（総肺静脈還流異常）（心臓型）
150376310	肺静脈還流異常症手術（総肺静脈還流異常）（その他）
150139610	心房中隔欠損作成術（経皮的心房中隔欠損作成術（ラッシュキンド法））
150142410	心房中隔欠損作成術（心房中隔欠損作成術）
150141810	心房中隔欠損閉鎖術（単独）
150141910	心房中隔欠損閉鎖術（肺動脈弁狭窄を合併する）
150320610	経皮的心房中隔欠損閉鎖術
150142050	三心房心手術
150142110	心室中隔欠損閉鎖術（単独）
150142210	心室中隔欠損閉鎖術（肺動脈絞扼術後肺動脈形成を伴う）
150142310	心室中隔欠損閉鎖術（大動脈弁形成を伴う）
150142810	心室中隔欠損閉鎖術（右室流出路形成を伴う）
150144010	バルサルバ洞動脈瘤手術（単独）
150320710	バルサルバ洞動脈瘤手術（大動脈閉鎖不全症手術を伴う）
150147410	不完全型房室中隔欠損症手術（心房中隔欠損パッチ閉鎖術（単独））
150147510	不完全型房室中隔欠損症手術（心房中隔欠損パッチ閉鎖及び弁形成術）
150320810	完全型房室中隔欠損症手術（心房及び心室中隔欠損パッチ閉鎖術）
150320910	完全型房室中隔欠損症手術（ファロー四徴症手術を伴う）
150146510	ファロー四徴症手術（右室流出路形成術を伴う）
150146610	ファロー四徴症手術（末梢肺動脈形成術を伴う）
150146910	両大血管右室起始症手術（単独）
150146810	両大血管右室起始症手術（右室流出路形成を伴う）
150321310	両大血管右室起始症手術（タウシヒ・ビング奇形手術）
150142510	大血管転位症手術（マスタート・セニング手術）
150145310	大血管転位症手術（ジャテン手術）
150139510	大血管転位症手術（心室中隔欠損閉鎖術を伴う）
150147010	大血管転位症手術（ラステリ手術を伴う）
150321410	修正大血管転位症手術（心室中隔欠損パッチ閉鎖術）
150321510	修正大血管転位症手術（根治手術（ダブルスイッチ手術））
150147310	総動脈幹症手術
150141310	三尖弁閉鎖症手術（両方向性グレン手術）
150321910	単心室症手術（フォンタン手術）
150146710	単心室症手術（心室中隔造成術）
150321710	三尖弁閉鎖症手術（心室中隔造成術）

分子の定義:

1:

手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。

(ア) 術後2日目は手術日+2の日付とする。（例：手術日が4月2日の場合4月4日を検索）

(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016

薬品基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6111400	ベンジルペニシリンカリウム	○	○	○	○
6112001	クリンダマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112400	リンコマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6112401	クリンダマイシンリン酸エステル	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113400	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6113700	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○
6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6119401	テイコプラニン	○	○	○	○
6119402	ダプトマイシン	○	○	○	○
6119500	キヌプリスチン・ダルホプリスチン	○	○	○	○
6119700	ムピロシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6122400	アズトレオナム	○	○	○	○
6123003	カナマイシン一硫酸塩	○	○	○	○
6123401	トブラマイシン	○	○	○	○
6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○
6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6123700	トブラマイシン		○	○	○
6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	○	○	○	○
6125400	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム			○	○
6126001	ポリミキシンB 硫酸塩	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	○	○	○	○
6129400	チゲサイクリン		○	○	○
6131001	アモキシシリン水和物	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	○	○	○	○
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6131400	アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6131403	ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6132002	セファレキシム	○	○	○	○
6132005	セファクロル	○	○	○	○
6132006	セフロキサジン水和物	○	○	○	○
6132008	セフィキシム	○	○	○	○
6132009	セフテラム ピボキシル	○	○	○	○
6132010	セフロキシム アキセチル	○	○	○	○
6132011	セフボドキシム プロキセチル	○	○	○	○
6132012	セフォチアム ヘキセチル塩酸塩	○	○	○	○
6132013	セフジニル	○	○	○	○
6132015	セフジトレン ピボキシル	○	○	○	○
6132016	セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム			○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6132403	セフトロチンナトリウム				
6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○
6132409	セフォタキシムナトリウム	○	○	○	○
6132410	セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6132413	セフメノキシム塩酸塩	○	○	○	○
6132418	セフタジジム水和物	○	○	○	○
6132419	セフトリアキソンナトリウム水和物	○	○	○	○
6132422	セフミノクスナトリウム水和物	○	○	○	○
6132424	セフピロム硫酸塩	○	○	○	○
6132425	セフェピム塩酸塩水和物	○	○	○	○
6132426	セフォゾプラン塩酸塩	○	○	○	○
6132700	セフチゾキシムナトリウム	○	○	○	○
6133400	ラタモキシセフナトリウム	○	○	○	○
6133401	フロモキシセフナトリウム	○	○	○	○
6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○
6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	○	○	○	○
6135400	ホスホマイシンナトリウム	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	○	○	○	○
6139002	テビペネム ピボキシル	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	○	○	○	○
6139400	メロペネム水和物	○	○	○	○
6139401	ピアペネム	○	○	○	○
6139402	ドリペネム水和物	○	○	○	○
6139500	スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム	○	○	○	○
6139501	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○
6139503	パニペネム・ベタミブロン	○	○	○	○
6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○
6139505	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	○	○	○	○
6141400	エリスロマイシンラクトピオン酸塩	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	○	○	○	○
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	○	○	○	○
6149002	ロキシスロマイシン	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	○	○	○	○
6149004	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6149400	アジスロマイシン水和物	○	○	○	○
6151001	クロラムフェニコール	○	○	○	○
6151401	クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム	○	○	○	○
6152002	テトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
	ミノサイクリン塩酸塩水和物				
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6152401	ミノサイクリン塩酸塩	○	○	○	○
6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6162001	サイクロセリン	○	○	○	○
6164001	リファンピシン	○	○	○	○
6165400	エンピオマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6169001	リファブチン	○	○	○	○
6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○
6171001	ナイスタチン	○	○	○	○
6173001	アムホテリシンB	○	○	○	○
6173400	アムホテリシンB	○	○	○	○
6179001	ボリコナゾール	○	○	○	○
6179400	ミカファンギンナトリウム	○	○	○	○
6179401	ボリコナゾール	○	○	○	○
6179402	カスポファンギン酢酸塩		○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6191401	アンピシリンナトリウム・クロキサシリンナトリウム水和物	○	○	○	○
6199001	リファキシミン				○
6199100	ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン	○	○	○	○
6199101	ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール	○	○	○	○
6199102	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン		○	○	○
6199103	ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール		○	○	○
6199104	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン				○
6199105	ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール				○
6241001	ナリジクス酸	○	○	○	○
6241002	ピペミド酸水和物	○	○	○	○
6241005	ノルフロキサシン	○	○	○	○
6241006	オフロキサシン	○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	○	○	○	○
6241013	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241015	プルリフロキサシン	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	○	○	○	○
6241400	シプロフロキサシン	○	○	○	○
6241401	バズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○
6241402	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○
6249002	リネゾリド	○	○	○	○
6249401	リネゾリド	○	○	○	○
6290001	フルシトシン	○	○	○	○
6290002	フルコナゾール	○	○	○	○
6290003	ミコナゾール	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名コナゾール	2010	2012	2014	2016
6290005	テルビナフィン塩酸塩	○	○	○	○
6290006	アトバコン		○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○
6290400	ミコナゾール	○	○	○	○
6290401	フルコナゾール	○	○	○	○
6290402	ホスフルコナゾール	○	○	○	○
6290403	イトラコナゾール	○	○	○	○
6290700	クロトリマゾール	○	○	○	○
6290701	イミキモド	○	○	○	○
6290702	エフィナコナゾール			○	○
6290703	ルリコナゾール				○
6419001	チニダゾール	○	○	○	○
6419002	メトロニダゾール	○	○	○	○
6419003	メフロキン塩酸塩	○	○	○	○
6419004	パロモマイシン硫酸塩		○	○	○
6419005	プリマキンリン酸塩				○
6419101	アトバコン・プログアニル塩酸塩		○	○	○
6419102	アルテメテル・ルメファントリン				○
6419400	ペンタミジンイセチオン酸塩	○	○	○	○
6419401	メトロニダゾール			○	○
6419500	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2 :
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3 :
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。
- 4 :
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考値:

参考資料:

- 1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(大腸手術) (共通定義)

指標番号:

QIP: 2118_w_1

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(大腸手術) (共通定義)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数 (大腸手術)

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150180110	腸切開術
150181810	結腸切除術 (結腸半側切除)
150181910	結腸切除術 (全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)
150277810	腹腔鏡下結腸切除術 (小範囲切除、結腸半側切除)
150337710	腹腔鏡下結腸切除術 (全切除、亜全切除)
150324910	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
150182150	ピックレル氏手術
150363810	全結腸・直腸切除嚢肛門吻合術
150184110	腸吻合術
150184710	腸狭窄部切開縫合術
150184810	腸閉鎖症手術 (腸管切除を伴わない)
150364210	腹腔鏡下腸閉鎖症手術
150186010	先天性巨大結腸症手術
150325110	腹腔鏡下先天性巨大結腸症手術
150187110	直腸切除・切断術 (切除術)
150245410	直腸切除・切断術 (低位前方切除術)
150297510	直腸切除・切断術 (超低位前方切除術) (経肛門の結腸嚢肛門吻合)
150187210	直腸切除・切断術 (切断術)
150325210	腹腔鏡下直腸切除・切断術 (切除術)
150337810	腹腔鏡下直腸切除・切断術 (低位前方切除術)
150337910	腹腔鏡下直腸切除・切断術 (切断術)

分子の定義:

1:

手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。

(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。(例:手術日が4月2日の場合4月3日を検索)

(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620005060	バイシリンG顆粒4万単位	○	○	○	○
640463089	注射用ペニシリンGカリウム2万単位	○	○	○	○
620000427	注射用ペニシリンGカリウム1万単位	○	○	○	○
620006026	ダラシンカプセル75mg	○	○	○	○
620006027	ダラシンカプセル150mg	○	○	○	○
620006165	リンコシンカプセル250mg	○	○	○	○
620003811	ペランコシン注300mg		○	○	
620007537	リズピオン注300mg		○	○	○
621062901	リンコマイシン塩酸塩注300mg「NP」		○	○	○
620006341	リンコシン注射液300mg	○	○	○	○
620003812	ペランコシン注600mg		○	○	
620007538	リズピオン注600mg		○	○	○
621380904	リンコマイシン塩酸塩注600mg「NP」		○	○	○
621380908	リンコマイシン塩酸塩注射液600mg「日医工」		○	○	○
620006342	リンコシン注射液600mg	○	○	○	○
620004196	ペランコシン注1g		○	○	
620004197	ペランコシン注1.5g	○	○	○	
620006344	リンコシン注射液1.5g	○	○	○	○
620006343	リンコシン注射液1g	○	○	○	○
620006261	ダラシンS注射液300mg	○	○	○	○
620008810	クリンダマイシン注射液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
621064601	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「サワイ」	○	○	○	○
622111302	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「トーワ」		○	○	○
621064701	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「F」			○	○
621064501	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「NP」			○	○
620006262	ダラシンS注射液600mg	○	○	○	○
620008811	クリンダマイシン注射液600mg「タイヨー」	○	○	○	○
621065101	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「サワイ」	○	○	○	○
621065201	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「トーワ」		○	○	○
621065301	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「F」			○	○
621065001	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「NP」			○	○
620006226	クリンダマイシン注300mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620006227	クリンダマイシン注600mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620003894	塩酸バンコマイシン散0.5「MEEK」	○	○	○	○
620006791	塩酸バンコマイシン散0.5g(シオノギ)	○	○	○	○
620008047	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620009408	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621738802	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「ファイザー」			○	○
621731302	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「MEEK」			○	○

640463091 別添電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620002907	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」				
620005694	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g（シオノギ）	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
621971901	バンコマイシン眼軟膏1%	○	○	○	○
621876001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「ケミファ」	○	○	○	
620004729	ハベカシン注射液75mg	○	○	○	○
620009511	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「HK」	○	○	○	○
621735001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「テバ」			○	○
621066501	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「ケミファ」	○	○	○	
620004730	ハベカシン注射液100mg	○	○	○	○
620009512	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「HK」	○	○	○	○
621066401	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「テバ」			○	○
621924501	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「ケミファ」	○	○	○	
620004728	ハベカシン注射液25mg	○	○	○	○
620009509	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「HK」	○	○	○	○
621896701	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「テバ」			○	○
621950502	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「ケミファ」	○	○	○	
620007432	ハベカシン注射液200mg	○	○	○	○
621955601	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「HK」	○	○	○	○
621936302	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「テバ」			○	○
620004709	注射用タゴシッド200mg	○	○	○	○
620008212	テイコブラニン点滴静注用200mg「NP」	○	○	○	○
620008213	テイコブラニン点滴静注用200mg「日医工」	○	○	○	○
620008532	テイコブラニン点滴静注用200mg「F」	○	○	○	○
620008531	テイコブラニン点滴静注用200mg「HK」	○	○	○	○
620008533	テイコブラニン点滴静注用200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008535	テイコブラニン点滴静注用200mg「トーワ」	○	○	○	○
620009572	テイコブラニン点滴静注用200mg「TYK」	○	○	○	○
620009571	テイコブラニン点滴静注用200mg「サワイ」	○	○	○	○
621995201	テイコブラニン点滴静注用200mg「サンド」	○	○	○	○
622227801	テイコブラニン点滴静注用200mg「明治」		○	○	○
621901402	テイコブラニン点滴静注用200mg「ファイザー」			○	○
621884501	テイコブラニン点滴静注用200mg「テバ」			○	○
620009574	テイコブラニン点滴静注用400mg「F」	○	○	○	○

622216601 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622207201	テイコブラニン点滴静注用400mg「日医工」		○	○	○
622227901	テイコブラニン点滴静注用400mg「明治」		○	○	○
622338101	テイコブラニン点滴静注用400mg「トーワ」			○	○
622085501	キュビシン静注用350mg	○	○	○	○
640462005	注射用シナシッド	○	○	○	○
620006477	バクトロバン鼻腔用軟膏2%	○	○	○	○
646130274	アザクタム注射用0.5g	○	○	○	○
646130275	アザクタム注射用1g	○	○	○	○
620008598	カナマイシンカプセル250mg「明治」	○	○	○	○
620008599	カナマイシンシロップ5%「明治」	○	○	○	○
620008600	カナマイシンドライシロップ20%「明治」	○	○	○	○
640453139	トブラシン注小児用100mg	○	○	○	○
640453140	トブラシン注600mg	○	○	○	○
646120062	トブラシン注900mg	○	○	○	○
620003676	アミカシン硫酸塩注射液100mg「サワイ」		○	○	○
620004178	ブルテツシン注射液100mg		○	○	
620006356	ロミカシン注射液100mg		○	○	
621069302	アミカシン硫酸塩注射液100mg「N i k P」		○	○	○
621069501	アミカシン硫酸塩注射液100mg「F」			○	○
620003190	アミカマイシン注射液100mg	○	○	○	○
621069402	アミカシン硫酸塩注射液100mg「日医工」	○	○	○	○
621069001	アミカシン硫酸塩注100mg「NP」		○	○	○
620003677	アミカシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
620003797	ブルテツシン注射液200mg	○	○	○	
620006651	ロミカシン注射液200mg	○	○	○	
621070102	アミカシン硫酸塩注射液200mg「N i k P」		○	○	○
621070301	アミカシン硫酸塩注射液200mg「F」			○	○
620003191	アミカマイシン注射液200mg	○	○	○	○
621070202	アミカシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621069701	アミカシン硫酸塩注200mg「NP」		○	○	○
621070602	アミカシン硫酸塩注射用100mg「日医工」	○	○	○	○
621070902	アミカシン硫酸塩注射用200mg「日医工」	○	○	○	○
640453078	シオセシン注射液200	○	○	○	○
620003198	エクサシン注射液200	○	○	○	○
620003193	イセパシン注射液200	○	○	○	○
620005641	イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621604701	イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
646120080	イセパシン注射液400	○	○	○	○
646120081	エクサシン注射液400	○	○	○	○
640453079	シオセシン注射液400	○	○	○	○
620005642	イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「日医工」	○	○	○	○
621695601	イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「サワイ」		○	○	○
622213301	トービイ吸入液300mg		○	○	○
620009196	トロピシン筋注用2g	○	○	○	○

620009618 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620008753	コリマイシン散200万単位/g	○	○	○	○
620008752	メタコリマイシン顆粒200万単位/g	○	○	○	○
622415701	メタコリマイシンカプセル300万単位	○	○	○	○
622415701	オールドレブ点滴静注用150mg			○	○
620003657	硫酸ポリミキシンB錠25万単位「ファイザー」	○	○	○	○
620003658	硫酸ポリミキシンB錠100万単位「ファイザー」	○	○	○	○
616120011	セフテムカプセル100mg	○	○	○	○
616120012	セフテムカプセル200mg	○	○	○	○
622199101	タイガシル点滴静注用50mg		○	○	○
622066601	アモキシシリン細粒10%「タツミ」	○	○	○	
610454003	アモリン細粒10%	○	○	○	○
620006920	サワシリン細粒10%	○	○	○	○
620007026	バセトシン細粒10%	○	○	○	○
622112902	ワイドシリン細粒10%			○	○
620005906	アモキシシリン細粒20%「タツミ」	○	○	○	
621073001	ワイドシリン細粒20%			○	○
616130132	サワシリン錠250	○	○	○	○
616130295	バセトシン錠250	○	○	○	○
616130039	アモリンカプセル125	○	○	○	○
620007024	バセトシンカプセル125	○	○	○	○
622054901	サワシリンカプセル125	○	○	○	○
622066501	アモキシシリンカプセル125mg「タツミ」	○	○	○	○
622111101	アモキシシリンカプセル125mg「トーワ」	○	○	○	○
622127801	アモキシシリンカプセル125mg「日医工」	○	○	○	○
622165902	アモキシシリンカプセル125mg「NPJ」		○	○	○
616130040	アモリンカプセル250	○	○	○	○
620006829	アモキシシリンカプセル250mg「タツミ」	○	○	○	○
620006919	サワシリンカプセル250	○	○	○	○
620007025	バセトシンカプセル250	○	○	○	○
620008584	アモキシシリンカプセル250mg「日医工」	○	○	○	○
620009117	アモキシシリンカプセル250mg「トーワ」	○	○	○	○
621073901	アモキシシリンカプセル250mg「NPJ」		○	○	○
621074701	ピクシリンカプセル250mg	○	○	○	○
621075101	ピクシリンドライシロップ10%	○	○	○	○
610451023	ペングッド錠250mg	○	○	○	○
621076301	ユナシン細粒小児用10%	○	○	○	○
621076401	ユナシン錠375mg	○	○	○	○
621076601	ピクシリン注射用0.25g	○	○	○	○
621076801	ピクシリン注射用0.5g	○	○	○	○
621077201	ピクシリン注射用1g	○	○	○	○
621077501	ピクシリン注射用2g	○	○	○	○
621078403	ピペラシリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	
646130136	ペントシリン注射用1g	○	○	○	○
620007456	ピペユンシン注射用1g	○	○	○	○
621078301	ピペラシリンNa注射用1g「サワイ」		○	○	○

621079103 ピセプト電算コード	ピペラシリンNa注射用1g「テバ」 名称	2010	2012	2014	2016
621078601	ピペラシリンNa注射用1g「トーワ」		○	○	○
621342601	ピペラシリンNa注射用1g「SN」			○	○
621079203	ピペラシリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	
646130137	ペントシリン注射用2g	○	○	○	○
620007457	ピペユンシン注射用2g	○	○	○	○
621079101	ピペラシリンNa注射用2g「サワイ」		○	○	○
621078903	ピペラシリンNa注射用2g「テバ」		○	○	○
621079401	ピペラシリンNa注射用2g「トーワ」		○	○	○
621342802	ピペラシリンNa注射用2g「SN」			○	○
622079701	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ1g「NP」	○	○	○	
640462059	ペントシリン静注用1gバッグ	○	○	○	○
622079801	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ2g「NP」	○	○	○	
640462060	ペントシリン静注用2gバッグ	○	○	○	○
616130002	L-ケフレックス小児用顆粒	○	○	○	○
616130378	L-キサール顆粒500	○	○	○	○
616130003	L-ケフレックス顆粒	○	○	○	○
621083104	セファレキシン顆粒500mg「JG」			○	
621083503	セファレキシン錠250「日医工」		○	○	
620003645	ラリキシン錠250mg	○	○	○	○
610454041	センセファリンカプセル125	○	○	○	○
610454042	センセファリンカプセル250	○	○	○	○
620004512	セファレキシンカプセル250mg「トーワ」	○	○	○	○
620004981	ケフレックスカプセル250mg	○	○	○	○
610453048	ケフレックスシロップ用細粒100	○	○	○	○
610454043	センセファリンシロップ用細粒10%	○	○	○	○
620003646	ラリキシンドライシロップ小児用10%	○	○	○	○
616130115	ケフレックスシロップ用細粒200	○	○	○	○
616130229	センセファリンシロップ用細粒20%	○	○	○	○
620003647	ラリキシンドライシロップ小児用20%	○	○	○	○
621085602	セファレキシンドライシロップ小児用50%「日医工」		○	○	
621087903	セファクロル細粒10%「日医工」		○	○	○
616130112	ケフラール細粒小児用100mg	○	○	○	○
621086806	セファクロル細粒小児用10%「JG」			○	○
621087001	セファクロル細粒小児用10%「サワイ」			○	○
621088403	セファクロル細粒20%「日医工」		○	○	
616130469	L-ケフラール顆粒	○	○	○	○
616130110	ケフラールカプセル250mg	○	○	○	○
620008657	トキクロルカプセル250mg	○	○	○	○
621088802	セファクロルカプセル250mg「TCK」		○	○	○
621089701	セファクロルカプセル250mg「トーワ」		○	○	○
621089501	セファクロルカプセル250mg「日医工」		○	○	○
621088705	セファクロルカプセル250mg「JG」			○	○
621089103	セファクロルカプセル250mg「SN」			○	○
621088901	セファクロルカプセル250mg「サワイ」			○	○

2005年4月算コード	名称	2010	2012	2014	2016
616130404	セフスパン細粒50mg	○	○	○	○
610453059	セフィーナ細粒50	○	○	○	○
620000061	セフィーナ細粒100	○	○	○	○
616130405	セフスパンカプセル50mg	○	○	○	○
616130406	セフスパンカプセル100mg	○	○	○	○
620002756	テラミロン細粒小児用10%	○	○	○	○
620003583	トミロン細粒小児用10%	○	○	○	○
621675801	セフテラムピボキシル細粒小児用10%「日医工」		○	○	○
616130407	トミロン錠50	○	○	○	○
616130408	トミロン錠100	○	○	○	○
620004958	オラセフ錠250mg	○	○	○	○
620003968	セフボドキシムプロキセチル錠100「TCK」	○	○	○	○
620003970	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620008681	パナン錠100mg	○	○	○	○
621744203	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「JG」		○	○	○
621744401	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「トーワ」		○	○	○
621747601	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「サワイ」			○	○
620008682	パナンドライシロップ5%	○	○	○	○
621747701	セフボドキシムプロキセチルD S小児用5%「サワイ」			○	○
616130476	パンスポリンT錠100	○	○	○	○
616130477	パンスポリンT錠200	○	○	○	○
620004513	セフゾン細粒小児用10%	○	○	○	○
621935801	セフジニル細粒小児用10%「タイヨー」	○	○	○	○
620008483	セフジニル細粒小児用10%「YD」	○	○	○	○
620008482	セフジニル細粒小児用10%「サワイ」	○	○	○	○
620008484	セフジニル細粒10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620009343	セフジニル細粒10%小児用「TYK」	○	○	○	○
620009344	セフニール細粒小児用10%	○	○	○	○
621889403	セフジニル細粒小児用10%「JG」		○	○	○
621885302	セフジニル細粒10%小児用「ファイザー」			○	○
621935901	セフジニル細粒小児用20%「タイヨー」	○	○	○	○
620008488	セフジニル錠50mg「サワイ」	○	○	○	○
620008490	セフジニル錠100mg「サワイ」	○	○	○	○
616130531	セフゾンカプセル50mg	○	○	○	○
620008491	セフニールカプセル50mg	○	○	○	○
620009334	セフジニルカプセル50mg「TCK」	○	○	○	○
620009335	セフジニルカプセル50mg「TYK」	○	○	○	○
620009337	セフジニルカプセル50mg「YD」	○	○	○	○
620009336	セフジニルカプセル50mg「日医工」	○	○	○	○
621910002	セフジニルカプセル50mg「JG」		○	○	○
621885102	セフジニルカプセル50mg「ファイザー」			○	○
616130532	セフゾンカプセル100mg	○	○	○	○
620008492	セフニールカプセル100mg	○	○	○	○
620009339	セフジニルカプセル100mg「TCK」	○	○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620009340	セフジニルカプセル100mg「TYK」				
620009342	セフジニルカプセル100mg「YD」	○	○	○	○
620009341	セフジニルカプセル100mg「日医工」	○	○	○	○
621910102	セフジニルカプセル100mg「JG」		○	○	○
621885202	セフジニルカプセル100mg「ファイザー」			○	○
620005503	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「CH」	○	○	○	○
620005501	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「EMEC」	○	○	○	○
620005502	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「サワイ」	○	○	○	○
620005499	セフジトレンピボキシル細粒小児用10%「トーワ」	○	○	○	○
620005500	セフジトレンピボキシル細粒10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620008746	メリアクトMS小児用細粒10%	○	○	○	○
620004080	メリアクトMS錠100mg	○	○	○	○
620005506	セフジトレンピボキシル錠100mg「CH」	○	○	○	○
620005505	セフジトレンピボキシル錠100mg「サワイ」	○	○	○	○
620005507	セフジトレンピボキシル錠100mg「トーワ」	○	○	○	○
620005508	セフジトレンピボキシル錠100mg「日医工」	○	○	○	○
610411059	フロモックス小児用細粒100mg	○	○	○	○
621955901	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「CH」	○	○	○	○
621939401	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「JG」	○	○	○	○
621940201	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「YD」	○	○	○	○
621946301	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「トーワ」	○	○	○	○
621931001	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用100mg「TCK」	○	○	○	○
621962401	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒10%小児用「日医工」	○	○	○	○
621962501	セフカベンピボキシル塩酸塩小児用細粒10%「サワイ」	○	○	○	○
621942904	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「ファイザー」			○	○
610411057	フロモックス錠75mg	○	○	○	○
620009331	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「サワイ」	○	○	○	○
621956001	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「CH」	○	○	○	○
621930801	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「TCK」	○	○	○	○
621940301	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「YD」	○	○	○	○
621947501	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「トーワ」	○	○	○	○
621962601	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「日医工」	○	○	○	○
621943004	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「ファイザー」			○	○
610411058	フロモックス錠100mg	○	○	○	○
620009332	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「サワイ」	○	○	○	○
621956101	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「CH」	○	○	○	○
621930901	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「TCK」	○	○	○	○
621940401	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「YD」	○	○	○	○
621947601	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「トーワ」	○	○	○	○
621962701	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「日医工」	○	○	○	○
621943104	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「ファイザー」			○	○
646130121	パンスポリン筋注用0.25g	○	○	○	○
646130110	ハロスポア静注用0.25g	○	○	○	○
646130122	パンスポリン静注用0.25g	○	○	○	○

620004140 シブド電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620007293	セファピコール静注用●. 2.5g ケミスポリン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
621989702	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5g「日医工」		○	○	○
621987602	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5g「NP」		○	○	○
621924001	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5g「SN」			○	○
646130111	ハロスポア静注用●. 5g	○	○	○	○
646130123	パンスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
620004141	セファピコール静注用●. 5g	○	○	○	○
620007294	ケミスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
621989802	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「日医工」		○	○	○
621344901	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「NP」		○	○	○
621924101	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「SN」			○	○
646130112	ハロスポア静注用 1g	○	○	○	○
646130124	パンスポリン静注用 1g	○	○	○	○
620003732	セファピコール静注用 1g	○	○	○	○
620007295	ケミスポリン静注用 1g	○	○	○	○
621345002	セフォチアム塩酸塩静注用 1g「日医工」		○	○	○
621345301	セフォチアム塩酸塩静注用 1g「NP」		○	○	○
621095002	セフォチアム塩酸塩静注用 1g「SN」			○	○
640408149	パンスポリン静注用 1gバッグS	○	○	○	○
620009563	セフォチアム静注用 1gバッグ「日医工」	○	○	○	○
621540002	セフォチアム塩酸塩点滴静注用 1gバッグ「NP」		○	○	○
640408148	パンスポリン静注用 1gバッグG	○	○	○	○
620003735	セファメジンα注射用●. 2.5g	○	○	○	○
622104201	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
622130801	セファゾリンナトリウム注射用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622177601	トキオ注射用●. 2.5g		○	○	○
622124902	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「NP」			○	○
622033402	セファゾリンNa注射用●. 5g「NP」			○	○
622104301	セファゾリンNa注射用●. 5g「タイヨー」		○	○	○
622177701	トキオ注射用●. 5g		○	○	○
620003736	セファメジンα注射用●. 5g	○	○	○	○
621096002	セファゾリンナトリウム注射用●. 5g「日医工」		○	○	○
620003737	セファメジンα注射用 1g	○	○	○	○
621096701	トキオ注射用 1g	○	○	○	○
621096503	セファゾリンNa注射用 1g「タイヨー」	○	○	○	○
621096802	セファゾリンナトリウム注射用 1g「日医工」		○	○	○
621096601	セファゾリンNa注射用 1g「NP」			○	○
620003738	セファメジンα注射用 2g	○	○	○	○
621097303	セファゾリンNa注射用 2g「タイヨー」	○	○	○	○
622177801	トキオ注射用 2g		○	○	○
621097602	セファゾリンナトリウム注射用 2g「日医工」		○	○	○
621097401	セファゾリンNa注射用 2g「NP」			○	○
620003733	セファメジンα筋注用●. 2.5g	○	○	○	○
620003734	セファメジンα筋注用●. 5g	○	○	○	○

620003740 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620003739	セファメジンα点滴用キット 2g セファメジンα点滴用キット 1g	○	○	○	○
620007318	セファゾリンNa点滴静注用 1g バッグ「オーツカ」	○	○	○	○
621757001	セファゾリンNa点滴静注用 1g バッグ「NP」			○	○
620005674	コアキシシ注射用 1g	○	○	○	○
620005675	コアキシシ注射用 2g	○	○	○	○
646130072	セフメタゾン筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130073	セフメタゾン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622125001	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「NP」	○	○	○	○
622131001	セフメタゾールナトリウム静注用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622111501	リリアジン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622104002	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「テバ」			○	○
646130074	セフメタゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
621987501	セフメタゾールNa静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
622131101	セフメタゾールナトリウム静注用●. 5g「日医工」	○	○	○	○
622111601	リリアジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622104102	セフメタゾールNa静注用●. 5g「テバ」			○	○
646130075	セフメタゾン静注用 1g	○	○	○	○
620006243	セフメタゾールNa静注用 1g「NP」	○	○	○	○
620007540	リリアジン静注用 1g	○	○	○	○
621102102	セフメタゾールナトリウム静注用 1g「日医工」		○	○	○
621101803	セフメタゾールNa静注用 1g「テバ」			○	○
646130076	セフメタゾン静注用 2g	○	○	○	○
620006244	セフメタゾールNa静注用 2g「NP」	○	○	○	○
620007541	リリアジン静注用 2g	○	○	○	○
621102802	セフメタゾールナトリウム静注用 2g「日医工」		○	○	○
621101903	セフメタゾールNa静注用 2g「テバ」			○	○
640470010	セフメタゾンキット点滴静注用 1g	○	○	○	○
620004151	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 1g「NP」	○	○	○	○
621951701	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 2g「NP」	○	○	○	○
640454018	セフォタックス注射用●. 5g	○	○	○	○
620004652	クラフォラン注射用●. 5g	○	○	○	○
640454019	セフォタックス注射用 1g	○	○	○	○
620004653	クラフォラン注射用 1g	○	○	○	○
646130067	セフォビッド注射用 1g	○	○	○	○
646130071	セフォペラジン注射用 1g	○	○	○	○
646130132	バスターコール筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130133	バスターコール静注用●. 5g	○	○	○	○
646130134	バスターコール静注用 1g	○	○	○	○
620002999	モダケミン静注用●. 5g	○	○	○	○
620003827	モダシン静注用●. 5g	○	○	○	○
620006701	セフタジジム静注用●. 5g「マイラン」	○	○	○	○
621967001	セフタジジム静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621936401	セフタジジム静注用●. 5g「タイヨー」	○	○	○	○
622052901	セフタジジム静注用●. 5g「サワイ」	○	○	○	○

622124901 レセプト電算コード	セフトラジジム静注用●. 5g「NPJ」 セフトラジジム静注用●. 5g「日医工」	2010	2012	2014	2016
621755802	セフトラジジム静注用●. 5g「SN」			○	○
620003000	モダケミン静注用 1g	○	○	○	○
620003001	モベンゾシン静注用 1g	○	○	○	○
620003828	モダシン静注用 1g	○	○	○	○
620005676	セフトラジジム静注用 1g「NPJ」	○	○	○	○
620006702	セフトラジジム静注用 1g「マイラン」	○	○	○	○
621967101	セフトラジジム静注用 1g「サンド」	○	○	○	○
621703001	セフトラジジム静注用 1g「サワイ」	○	○	○	○
621756502	セフトラジジム静注用 1g「日医工」		○	○	○
621755902	セフトラジジム静注用 1g「SN」			○	○
646130268	ロセフィン静注用●. 5g	○	○	○	○
640463134	リアソフィン静注用●. 5g	○	○	○	○
620009566	セフキソン静注用●. 5g	○	○	○	○
620009567	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621987301	セフトリアキソンナトリウム静注用●. 5g「NPJ」	○	○	○	○
621967202	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「サワイ」		○	○	○
621538203	セフトリアキソンナトリウム静注用●. 5g「日医工」		○	○	○
622077302	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「ファイザー」		○	○	○
621836501	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「テバ」		○	○	○
646130269	ロセフィン静注用 1g	○	○	○	○
640463135	リアソフィン静注用 1g	○	○	○	○
640463080	セフキソン静注用 1g	○	○	○	○
620009568	セフトリアキソンNa静注用 1g「サンド」	○	○	○	○
621987401	セフトリアキソンナトリウム静注用 1g「NPJ」	○	○	○	○
621488601	セフトリアキソンNa静注用 1g「サワイ」		○	○	○
621538303	セフトリアキソンナトリウム静注用 1g「日医工」		○	○	○
621555202	セフトリアキソンNa静注用 1g「ファイザー」		○	○	○
621555101	セフトリアキソンNa静注用 1g「テバ」		○	○	○
640470011	ロセフィン点滴静注用 1gバッグ	○	○	○	○
620002955	セフトリアキソンナトリウム点滴用 1gバッグ「NPJ」	○	○	○	○
622051701	セフトリアキソンナトリウム点滴静注用バッグ 1g「ファイザー」	○	○	○	○
620007514	メイセリン静注用 1g	○	○	○	○
620004148	セフピロム硫酸塩静注用●. 5g「CMX」	○	○	○	○
620006706	硫酸セフピロム静注用●. 5g「マイラン」	○	○	○	○
620004149	セフピロム硫酸塩静注用 1g「CMX」	○	○	○	○
620006707	硫酸セフピロム静注用 1g「マイラン」	○	○	○	○
640407076	注射用マキシピーム●. 5g	○	○	○	○
621966801	セフェピム塩酸塩静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621994601	セフェピム塩酸塩静注用●. 5g「CMX」	○	○	○	○
640407077	注射用マキシピーム 1g	○	○	○	○
621966901	セフェピム塩酸塩静注用 1g「サンド」	○	○	○	○
621994701	セフェピム塩酸塩静注用 1g「CMX」	○	○	○	○
640407080	ファーストシン静注用●. 5g	○	○	○	○

640407081 640443046	電算コード	名称 ファーストシン静注用1g ファーストシン静注用1gバッグS	2010	2012	2014	2016
640443047		ファーストシン静注用1gバッグG	○	○	○	○
666130005		エポセリン坐剤125	○	○	○	○
666130006		エポセリン坐剤25●	○	○	○	○
646130037		シオマリノ静注用1g	○	○	○	○
646130301		フルマリノ静注用●.5g	○	○	○	○
646130302		フルマリノ静注用1g	○	○	○	○
640443048		フルマリノキット静注用1g	○	○	○	○
620005201		パニマイシン注射液5●mg	○	○	○	○
620005202		パニマイシン注射液1●●mg	○	○	○	○
620005180		注射用パニマイシン1●●mg	○	○	○	○
620003780		ビスタマイシン筋注5●●mg	○	○	○	○
620003781		ビスタマイシン筋注1●●●mg	○	○	○	○
646120011		ゲンタシン注1●	○	○	○	○
622037301		ゲンタマイシン硫酸塩注射液1●mg「日医工」	○	○	○	○
622074801		エルタシン注1●mg	○	○	○	○
622074802		ゲンタマイシン硫酸塩注射液1●mg「F」				○
621111803		ゲンタマイシン硫酸塩注射液4●mg「日医工」		○	○	○
620003210		ゲンタシン注4●	○	○	○	○
620006210		エルタシン注4●mg	○	○	○	○
621111802		ゲンタマイシン硫酸塩注射液4●mg「F」				○
646120012		ゲンタシン注6●	○	○	○	○
620006211		エルタシン注6●mg	○	○	○	○
621112004		ゲンタマイシン硫酸塩注射液6●mg「日医工」		○	○	○
621112003		ゲンタマイシン硫酸塩注射液6●mg「F」				○
616130512		ホスミン錠25●	○	○	○	○
616130513		ホスミン錠5●●	○	○	○	○
621946401		ホスマイカプセル25●mg	○	○	○	○
621964002		ホスホマイシンカルシウムカプセル25●mg「日医工」		○	○	○
620008731		ホスマイカプセル5●●mg	○	○	○	○
621113002		ホスホマイシンカルシウムカプセル5●●mg「日医工」		○	○	○
616130332		ホスミンドライシロップ2●●	○	○	○	○
616130526		ホスホミンドライシロップ4●●	○	○	○	○
616130333		ホスミンドライシロップ4●●	○	○	○	○
621113712		ホスホマイシンカルシウムドライシロップ4●%「日医工」		○	○	
621812201		ホスホマイシンナトリウム静注用●.5g「日医工」		○	○	
622104401		フラゼミシン静注用●.5g	○	○	○	
622131501		ホスカリーゼ静注用●.5g	○	○	○	
620003815		ホスミンS静注用●.5g	○	○	○	○
622079901		ホスホマイシンNa静注用●.5g「NP」		○	○	
622045702		ホスホマイシンNa静注用●.5g「タカタ」		○	○	○
620004750		フラゼミシン静注用1g	○	○	○	
620004767		ホスカリーゼ静注用1g	○	○	○	
621766301		ホスホマイシンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	
620003816		ホスミンS静注用1g	○	○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
62000316	ホスホマイシンNa静注用1g「NP」				
621114602	ホスホマイシンNa静注用1g「タカタ」		○	○	○
620004751	フラゼミシン静注用2g	○	○	○	
620004768	ホスカリーゼ静注用2g	○	○	○	
621766401	ホスホマイシンナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	
620003817	ホスミンS静注用2g	○	○	○	○
620006317	ホスホマイシンNa静注用2g「NP」	○	○	○	○
621115302	ホスホマイシンNa静注用2g「タカタ」		○	○	○
620007477	フラゼミシン点滴静注用2gキット	○	○	○	○
640451022	ホスミンSバッグ1g点滴静注用	○	○	○	○
640451023	ホスミンSバッグ2g点滴静注用	○	○	○	○
610411055	ファロム錠150mg	○	○	○	○
610411056	ファロム錠200mg	○	○	○	○
620008702	ファロムドライシロップ小児用10%	○	○	○	○
621926801	オラペナム小児用細粒10%	○	○	○	○
621116201	オーグメンチン配合錠125SS	○	○	○	○
621116301	オーグメンチン配合錠250RS	○	○	○	○
621709001	クラバモックス小児用配合ドライシロップ	○	○	○	○
620007519	メロペン点滴用バイアル0.25g	○	○	○	○
620009585	メロペナム点滴静注用0.25g「タイヨー」	○	○	○	○
620009586	メロペナム点滴静注用0.25g「日医工」	○	○	○	○
621952301	メロペナム点滴静注用0.25g「NP」	○	○	○	○
621950101	メロペナム点滴静注用0.25g「ケミファ」	○	○	○	○
621967801	メロペナム点滴静注用0.25g「サワイ」	○	○	○	○
621967901	メロペナム点滴静注用0.25g「タナベ」	○	○	○	○
621946701	メロペナム点滴静注用0.25g「トーワ」	○	○	○	○
621947901	メロペナム点滴静注用0.25g「明治」	○	○	○	○
622044201	メロペナム点滴静注用0.25g「ファイザー」	○	○	○	○
620007520	メロペン点滴用バイアル0.5g	○	○	○	○
620009587	メロペナム点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009588	メロペナム点滴静注用0.5g「日医工」	○	○	○	○
621952401	メロペナム点滴静注用0.5g「NP」	○	○	○	○
621950201	メロペナム点滴静注用0.5g「ケミファ」	○	○	○	○
621968001	メロペナム点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
621968101	メロペナム点滴静注用0.5g「タナベ」	○	○	○	○
621946801	メロペナム点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621948001	メロペナム点滴静注用0.5g「明治」	○	○	○	○
622044301	メロペナム点滴静注用0.5g「ファイザー」	○	○	○	○
622439001	メロペナム点滴静注用1g「NP」			○	○
622419401	メロペナム点滴静注用1g「明治」			○	○
620007518	メロペン点滴用キット0.5g	○	○	○	○
621952501	メロペナム点滴静注用バッグ0.5g「NP」	○	○	○	○
621967701	メロペナム点滴静注用バッグ0.5g「日医工」	○	○	○	○
621931801	メロペナム点滴静注用バッグ0.5g「明治」	○	○	○	○
622471301	メロペナム点滴静注用バッグ1g「NP」			○	○

62146006電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	ペネム点滴静注用バッグ1g「明治」				
640451036	オメガシン点滴用●. 3g	○	○	○	○
640451037	オメガシン点滴用●. 3gバッグ	○	○	○	○
621708501	フィニボックス点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622078501	フィニボックス点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
621727601	フィニボックスキット点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
646130264	スルペラゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
620004152	セフロニック静注用●. 5g	○	○	○	○
620007316	スペルゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
622083601	スルタムジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622099301	セフォセフ静注用●. 5g	○	○	○	○
622130901	セフォン静注用●. 5g	○	○	○	○
622111401	バクフォーゼ静注用●. 5g	○	○	○	○
622080002	ワイスタール配合静注用●. 5g		○	○	○
646130265	スルペラゾン静注用1g	○	○	○	○
640444050	セフォセフ静注用1g	○	○	○	○
640444051	セフォン静注用1g	○	○	○	○
640444071	バクフォーゼ静注用1g	○	○	○	○
640453097	スルタムジン静注用1g	○	○	○	○
620003742	セフロニック静注用1g	○	○	○	○
620007317	スペルゾン静注用1g	○	○	○	○
621347901	ワイスタール配合静注用1g		○	○	○
621116801	スルペラゾンキット静注用1g	○	○	○	○
621441901	ワイスタール配合点滴静注用1gバッグ		○	○	○
620004108	インダスト点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620007364	チエナム点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620008211	チエペネム点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622010201	チエクール点滴用●. 2.5g	○	○	○	○
622127601	イミペネム・シラスタチン点滴用●. 2.5g「サンド」	○	○	○	○
622172601	イミスタン点滴静注用●. 2.5g		○	○	○
620003703	インダスト点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620004106	イミスタン点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620004155	チエクール点滴用●. 5g	○	○	○	○
620004707	チエペネム点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620005643	イミペネム・シラスタチン点滴用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
620007365	チエナム点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620007362	チエナム筋注用●. 5g	○	○	○	○
620007363	チエナム点滴静注用キット●. 5g	○	○	○	○
646130368	カルベニン点滴用●. 2.5g	○	○	○	○
646130369	カルベニン点滴用●. 5g	○	○	○	○
640406222	ユナシン-S静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620003003	ユナスピン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004132	スルバクシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004134	スルバシリン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620005874	ピスルシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○

62100560 JANコード	電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
		バクタム・アンピシリン静注用0.75g「サンド」				
622118402		ピシリバクタ静注用0.75g	○	○	○	○
622100601		ユーシオン-S静注用0.75g	○	○	○	○
640406223		ユナシン-S静注用1.5g	○	○	○	○
620002977		ピシリバクタ静注用1.5g	○	○	○	○
620003002		ユーシオン-S静注用1.5g	○	○	○	○
620003004		ユナスピン静注用1.5g	○	○	○	○
620004133		スルバクシン静注用1.5g	○	○	○	○
620004135		スルバシリン静注用1.5g	○	○	○	○
620005875		ピスルシン静注用1.5g	○	○	○	○
620009561		スルバクタム・アンピシリン静注用1.5g「サンド」	○	○	○	○
622250001		ユナシン-S静注用3g		○	○	○
622419601		スルバシリン静注用3g			○	○
622408701		ピスルシン静注用3g			○	○
622464401		スルバクシン静注用3g			○	○
622467201		ピシリバクタ静注用3g			○	○
622458201		ユーシオン-S静注用3g			○	○
622441301		ユナスピン静注用3g			○	○
620004775		ユナシン-Sキット静注用1.5g	○	○	○	○
620004776		ユナシン-Sキット静注用3g	○	○	○	○
620008446		ゾシン静注用2.25	○	○	○	○
622441401		タゾピペ配合静注用2.25「CHM」			○	○
622464701		タゾピペ配合静注用2.25「DK」			○	○
622453701		タゾピペ配合静注用2.25「DSEP」			○	○
622450601		タゾピペ配合静注用2.25「SN」			○	○
622461801		タゾピペ配合静注用2.25「サンド」			○	○
622458801		タゾピペ配合静注用2.25「テバ」			○	○
622467001		タゾピペ配合静注用2.25「日医工」			○	○
622470601		タゾピペ配合静注用2.25「ニプロ」			○	○
622455601		タゾピペ配合静注用2.25「ファイザー」			○	○
622460701		タゾピペ配合静注用2.25「明治」			○	○
620008447		ゾシン静注用4.5	○	○	○	○
622441501		タゾピペ配合静注用4.5「CHM」			○	○
622464801		タゾピペ配合静注用4.5「DK」			○	○
622453801		タゾピペ配合静注用4.5「DSEP」			○	○
622450701		タゾピペ配合静注用4.5「SN」			○	○
622461901		タゾピペ配合静注用4.5「サンド」			○	○
622458901		タゾピペ配合静注用4.5「テバ」			○	○
622467101		タゾピペ配合静注用4.5「日医工」			○	○
622470701		タゾピペ配合静注用4.5「ニプロ」			○	○
622455701		タゾピペ配合静注用4.5「ファイザー」			○	○
622460801		タゾピペ配合静注用4.5「明治」			○	○
622423101		ゾシン配合点滴静注用バッグ4.5			○	○
622454001		タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「DSEP」			○	○
622470901		タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ニプロ」			○	○

レセプト計算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622453901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ファイザー」				
622462101	タゾピペ配合点滴静注用4.5バッグ「サンド」			○	○
622453901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「DSEP」			○	○
622470801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ニプロ」			○	○
622455801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ファイザー」			○	○
622462001	タゾピペ配合点滴静注用2.25バッグ「サンド」			○	○
620000022	エリスロシンW顆粒2.0%	○	○	○	○
620001975	エリスロシンドライシロップ1.0%	○	○	○	○
620001974	エリスロシンドライシロップW2.0%	○	○	○	○
620004463	エリスロマイシン錠2.0.0mg「サワイ」	○	○	○	○
620000020	エリスロシン錠1.0.0mg	○	○	○	○
620000021	エリスロシン錠2.0.0mg	○	○	○	○
621120001	エリスロシン点滴静注用5.0.0mg	○	○	○	○
620003495	アセチルスピラマイシン錠1.0.0	○	○	○	○
620003496	アセチルスピラマイシン錠2.0.0	○	○	○	○
620003554	ジョサマイシン錠5.0mg	○	○	○	○
620003555	ジョサマイシン錠2.0.0mg	○	○	○	○
620004503	ジョサマイシロップ3%	○	○	○	○
620004504	ジョサマイドドライシロップ1.0%	○	○	○	○
616140099	ルリッド錠15.0	○	○	○	○
620002885	ロキシマイン錠15.0mg	○	○	○	○
620004096	ロキスロマイシン錠15.0mg「サンド」	○	○	○	○
621681102	ロキスロマイシン錠15.0mg「RM」		○	○	○
621694602	ロキスロマイシン錠15.0mg「ファイザー」		○	○	○
621693303	ロキスロマイシン錠15.0mg「JG」		○	○	○
621694201	ロキスロマイシン錠15.0mg「サワイ」			○	○
621675901	ロキスロマイシン錠15.0mg「日医工」			○	○
616140101	クラリシッド錠5.0mg小児用	○	○	○	○
616140104	クラリス錠5.0小児用	○	○	○	○
620003921	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「CH」	○	○	○	○
620003918	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「EMEC」	○	○	○	○
620003919	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「NP I」	○	○	○	○
620003917	クラリスロマイシン錠5.0小児用「TCK」	○	○	○	○
620003920	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「サワイ」	○	○	○	○
620003922	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「タイヨー」	○	○	○	○
620003916	クラリスロマイシン錠小児用5.0mg「タカタ」	○	○	○	○
620003923	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「日医工」	○	○	○	○
620003945	クラロイシン錠5.0小児用	○	○	○	○
620004075	マインベース錠5.0小児用	○	○	○	○
620005425	クラリスロマイシン錠5.0小児用「MEEK」	○	○	○	○
620006669	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「マイラン」	○	○	○	○
622079301	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「NP」	○	○	○	○
621741203	クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「杏林」		○	○	○
621752801	クラリスロマイシン錠小児用5.0mg「トーフ」		○	○	○

616149102 レセプト電算コード 616140105	クラリスロマイシン錠200mg クラリス錠200	2010	2012	2014	2016
620003932	クラリスロマイシン錠200mg「CH」	○	○	○	○
620003928	クラリスロマイシン錠200mg「EMEC」	○	○	○	○
620003926	クラリスロマイシン錠200「MEEK」	○	○	○	○
620003929	クラリスロマイシン錠200mg「NP1」	○	○	○	○
620003927	クラリスロマイシン錠200「TCK」	○	○	○	○
620003930	クラリスロマイシン錠200mg「サワイ」	○	○	○	○
620003931	クラリスロマイシン錠200mg「サンド」	○	○	○	○
620003933	クラリスロマイシン錠200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620003934	クラリスロマイシン錠200mg「タカタ」	○	○	○	○
620003935	クラリスロマイシン錠200mg「日医工」	○	○	○	○
620003946	クラロイシン錠200	○	○	○	○
620004076	マインベース錠200	○	○	○	○
620006670	クラリスロマイシン錠200mg「マイラン」	○	○	○	○
620008013	クラリスロマイシン錠200mg「タナベ」	○	○	○	○
622079401	クラリスロマイシン錠200mg「NP」	○	○	○	○
621742103	クラリスロマイシン錠200mg「杏林」		○	○	○
621752901	クラリスロマイシン錠200mg「トーフ」		○	○	○
620003940	クラリスロマイシンDS10%小児用「EMEC」	○	○	○	○
620003941	クラリスロマイシンDS10%小児用「サワイ」	○	○	○	○
620003943	クラリスロマイシンDS小児用10%「タカタ」	○	○	○	○
620003942	クラリスロマイシンDS10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620003939	クラリスロマイシンDS10%「MEEK」	○	○	○	○
620004077	マインベースDS10%小児用	○	○	○	○
620004476	クラリシッド・ドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620004974	クラリスドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620005426	クラリスロマイシンドライシロップ10%小児用「タイヨー」	○	○	○	○
620005427	クラロイシンドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620006671	クラリスロマイシンドライシロップ10%小児用「マイラン」	○	○	○	○
621753001	クラリスロマイシンDS小児用10%「トーフ」		○	○	○
621348401	ジスロマック細粒小児用10%	○	○	○	○
622295301	アジスロマイシン細粒小児用10%「JG」		○	○	○
622303301	アジスロマイシン細粒小児用10%「SN」		○	○	○
622269501	アジスロマイシン細粒小児用10%「YD」		○	○	○
622274301	アジスロマイシン細粒10%小児用「KN」		○	○	○
622274501	アジスロマイシン小児用細粒10%「タカタ」		○	○	○
622353101	アジスロマイシン細粒小児用10%「TCK」			○	○
622411501	アジスロマイシン細粒小児用10%「トーフ」			○	○
610443026	ジスロマック錠250mg	○	○	○	○
622286701	アジスロマイシン錠250mg「DSEP」		○	○	○
622294801	アジスロマイシン錠250mg「F」		○	○	○
622290801	アジスロマイシン錠250mg「JG」		○	○	○
622274201	アジスロマイシン錠250mg「KN」		○	○	○
622276801	アジスロマイシン錠250mg「KOG」		○	○	○

622296901 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622303401	アジスロマイシン錠250mg「SN」		○	○	○
622269601	アジスロマイシン錠250mg「YD」		○	○	○
622275601	アジスロマイシン錠250mg「アメル」		○	○	○
622295401	アジスロマイシン錠250mg「サワイ」		○	○	○
622289801	アジスロマイシン錠250mg「サンド」		○	○	○
622274401	アジスロマイシン錠250mg「タカタ」		○	○	○
622282801	アジスロマイシン錠250mg「テバ」		○	○	○
622281501	アジスロマイシン錠250mg「トーワ」		○	○	○
622270801	アジスロマイシン錠250mg「日医工」		○	○	○
622275401	アジスロマイシン錠250mg「わかもと」		○	○	○
622352901	アジスロマイシン錠250mg「TCK」			○	○
622368001	アジスロマイシン錠250mg「CHM」			○	○
610451034	ジスロマック錠600mg	○	○	○	○
622274601	アジスロマイシン小児用錠100mg「タカタ」		○	○	○
622281601	アジスロマイシン錠500mg「トーワ」		○	○	○
622270901	アジスロマイシン錠500mg「日医工」		○	○	○
610443024	ジスロマックカプセル小児用100mg	○	○	○	○
622290701	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「JG」		○	○	○
622303201	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「SN」		○	○	○
622269401	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「YD」		○	○	○
622353001	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「TCK」			○	○
620009094	ジスロマックSR成人用ドライシロップ2g	○	○	○	○
622085701	ジスロマック点滴静注用500mg	○	○	○	○
621122501	クロロマイセチン錠50	○	○	○	○
621122601	クロロマイセチン錠250	○	○	○	○
621122801	クロロマイセチンサクシネート静注用1g	○	○	○	○
616150003	アクロマイシンVカプセル50mg	○	○	○	○
616150002	アクロマイシンVカプセル250mg	○	○	○	○
621123301	レダマイシンカプセル150mg	○	○	○	○
620006083	ビブラマイシン錠50mg	○	○	○	○
620006084	ビブラマイシン錠100mg	○	○	○	○
620007109	ミノマイシン顆粒2%	○	○	○	○
621124301	ミノサイクリン塩酸塩顆粒2%「サワイ」		○	○	○
616150088	ミノマイシン錠50mg	○	○	○	○
621124603	塩酸ミノサイクリン錠50「日医工」		○	○	○
621124801	ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「サワイ」		○	○	○
621125101	ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「トーワ」		○	○	○
616150064	ミノマイシン錠100mg	○	○	○	○
621125401	ミノサイクリン塩酸塩錠100mg「サワイ」		○	○	○
621125701	ミノサイクリン塩酸塩錠100mg「トーワ」		○	○	○
616150063	ミノマイシンカプセル50mg	○	○	○	○
610454083	ミノマイシンカプセル100mg	○	○	○	○
621126003	塩酸ミノサイクリンカプセル100「日医工」		○	○	○
620004770	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「日医工」		○	○	○

品名コード	名称	2010	2012	2014	2016
620007513	ミノマイシン点滴静注用100mg	○	○	○	○
621126801	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「サワイ」		○	○	○
621126501	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「F」			○	○
620003244	硫酸ストレプトマイシン1g注射用「明治」	○	○	○	○
620008620	サイクロセリンカプセル250mg「明治」	○	○	○	○
620004093	リファンピシンカプセル150mg「サンド」	○	○	○	○
620008583	アプテシンカプセル150mg	○	○	○	○
621127501	リファジンカプセル150mg	○	○	○	○
620007375	ツベラクチン筋注用1g	○	○	○	○
620008440	ミコブティンカプセル150mg	○	○	○	○
620007539	硫酸カナマイシン注射液1000mg「明治」	○	○	○	○
620008666	ナスタチン錠50万単位「明治」	○	○	○	○
620007031	ハリゾン錠100mg	○	○	○	○
620004560	ファンギゾンシロップ100mg/mL	○	○	○	○
620007032	ハリゾンシロップ100mg/mL	○	○	○	○
620007467	ファンギゾン注射用50mg	○	○	○	○
620003487	アムビゾーム点滴静注用50mg	○	○	○	○
620002493	ブイフェンド錠50mg	○	○	○	○
622480701	ポリコナゾール錠50mg「DSEP」				○
622491901	ポリコナゾール錠50mg「JG」				○
622499601	ポリコナゾール錠50mg「アメル」				○
622483001	ポリコナゾール錠50mg「タカタ」				○
622495401	ポリコナゾール錠50mg「テバ」				○
622479601	ポリコナゾール錠50mg「トーワ」				○
622501301	ポリコナゾール錠50mg「日医工」				○
620002494	ブイフェンド錠200mg	○	○	○	○
622480801	ポリコナゾール錠200mg「DSEP」				○
622492101	ポリコナゾール錠200mg「JG」				○
622499801	ポリコナゾール錠200mg「アメル」				○
622483101	ポリコナゾール錠200mg「タカタ」				○
622495501	ポリコナゾール錠200mg「テバ」				○
622479701	ポリコナゾール錠200mg「トーワ」				○
622501401	ポリコナゾール錠200mg「日医工」				○
622492001	ポリコナゾール錠100mg「JG」				○
622499701	ポリコナゾール錠100mg「アメル」				○
622375301	ブイフェンドドライシロップ2800mg			○	○
640462040	ファンガード点滴用50mg	○	○	○	○
640462041	ファンガード点滴用75mg	○	○	○	○
620003489	ファンガード点滴用25mg	○	○	○	○
620002497	ブイフェンド200mg静注用	○	○	○	○
622136201	カンサイダス点滴静注用50mg		○	○	○
622136301	カンサイダス点滴静注用70mg		○	○	○
621130301	ピクシリンS配合錠	○	○	○	○
621131001	注射用ピクシリンS100	○	○	○	○

64619000電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
646190018	注射用ピクシリンS 500				
646190018	注射用ピクシリンS 1000	○	○	○	○
622517701	リフキシマ錠200mg				○
610462048	ランサップ400	○	○	○	○
610462049	ランサップ800	○	○	○	○
622029101	ランピオンパック	○	○	○	○
622289101	ラベキュアパック400		○	○	○
622289201	ラベキュアパック800		○	○	○
622289301	ラベファインパック		○	○	○
622485401	ボノサップパック400				○
622485501	ボノサップパック800				○
622485601	ボノピオンパック				○
610463036	ウイントマイロン錠250	○	○	○	○
616290016	ウイントマイロン錠500	○	○	○	○
620006852	ウイントマイロンシロップ5%	○	○	○	○
620009216	カルノマチン錠250mg	○	○		
621137802	ピペミド酸錠250mg「YD」		○	○	○
616290054	ドルコール錠250mg	○	○	○	○
610407051	キサフロール錠100	○	○	○	○
610407066	シーヌン錠100mg	○	○		
621138800	ノルフロキサシン錠100mg「YD」	○	○	○	○
621138803	ノルフロキサシン錠100mg「サワイ」			○	○
621138818	ノルフロキサシン錠100mg「ツルハラ」		○	○	○
621138823	ノルフロキサシン錠100mg「EMEC」	○	○	○	○
622058001	バスティーン錠100mg	○	○	○	○
616290121	バクシダール錠100mg	○	○	○	○
610407052	キサフロール錠200	○	○	○	○
610407067	シーヌン錠200mg	○	○		
610412023	ウナセラ錠200mg	○	○		
620006594	バスティーン錠200mg	○	○	○	○
621139104	ノルフロキサシン錠200mg「サワイ」			○	○
621139117	ノルフロキサシン錠200mg「YD」	○	○	○	○
621139123	ノルフロキサシン錠200mg「ツルハラ」		○	○	○
621139128	ノルフロキサシン錠200mg「EMEC」	○	○	○	○
616290147	バクシダール錠200mg	○	○	○	○
616240001	小児用バクシダール錠50mg	○	○	○	○
620003912	オフロキサシン錠100mg「サワイ」	○	○	○	
620003913	オフロキサシン錠100mg「ツルハラ」		○	○	○
620003984	タリフロン錠100mg	○	○	○	
620004040	フロキン錠100mg		○	○	○
620006024	タツミキシ錠100mg		○	○	○
621745304	オフロキサシン錠100mg「テバ」		○	○	○
621753101	オフロキサシン錠100mg「タナベ」		○	○	
621753103	オフロキサシン錠100mg「JG」		○	○	○
620006972	タリビッド錠100mg	○	○	○	○

622096201 シロプロ	電算コード	名称	シロプロ	2010	2012	2014	2016
		シロプロキサシン錠100mg「CH」					
622096202		シロプロキサシン錠100mg「JG」			○	○	○
622125901		シバスタン錠100mg			○	○	○
616290155		シプロキサシン錠100mg	○	○	○	○	○
621489001		シロプロキサシン錠100mg「日医工」			○	○	○
621946502		シロプロキサシン錠100mg「トーワ」			○	○	○
621964702		シロプロキサシン錠100mg「SW」				○	○
621529401		シロプロキサシン錠100mg「TCK」				○	○
610463082		シバスタン錠200mg			○	○	○
620000118		プリモール錠200mg			○	○	○
621489201		シロプロキサシン錠200mg「タナベ」	○	○	○		
621489203		シロプロキサシン錠200mg「JG」			○	○	○
621529501		シロプロキサシン錠200mg「TCK」				○	○
616290156		シプロキサシン錠200mg	○	○	○	○	○
621489601		シロプロキサシン錠200mg「日医工」			○	○	○
621489502		シロプロキサシン錠200mg「トーワ」			○	○	○
621489102		シロプロキサシン錠200mg「SW」				○	○
610407158		バレオン錠200mg	○	○	○	○	○
616290170		バレオンカプセル100mg	○	○	○	○	○
621971501		オゼックス細粒小児用15%	○	○	○	○	○
622410601		トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「タカタ」				○	○
622413901		トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「トーワ」				○	○
622420701		トスフロキサシントシル酸塩小児用細粒15%「明治」				○	○
622481701		トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「TCK」					○
616290166		オゼックス錠75	○	○	○	○	○
616290168		トスキサシン錠75mg	○	○	○	○	○
621952101		トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「NP」	○	○	○	○	○
621931101		トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「TCK」	○	○	○	○	○
621953501		トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「TYK」	○	○	○	○	○
621940001		トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「YD」	○	○	○	○	○
621963301		トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サワイ」	○	○	○	○	○
621963401		トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サンド」	○	○	○	○	○
621935301		トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「タイヨー」	○	○	○	○	○
621956201		トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「タナベ」	○	○	○	○	○
621963501		トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「日医工」	○	○	○	○	○
616290167		オゼックス錠150	○	○	○	○	○
616290169		トスキサシン錠150mg	○	○	○	○	○
621952201		トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「NP」	○	○	○	○	○
621931201		トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「TCK」	○	○	○	○	○
621953601		トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「TYK」	○	○	○	○	○
621940101		トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「YD」	○	○	○	○	○
621963601		トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「サワイ」	○	○	○	○	○
621963701		トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「サンド」	○	○	○	○	○
621935401		トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「タイヨー」	○	○	○	○	○
621956301		トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「タナベ」	○	○	○	○	○

レボフロキサシンの電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621963801	レボフロキサシントシル酸塩錠150mg「日医工」				
621925901	クラビット細粒10%	○	○	○	○
622371001	レボフロキサシン細粒10%「DSEP」			○	○
622383001	レボフロキサシン錠250mg「サンド」			○	
622387801	レボフロキサシン錠250mg「日医工P」			○	
622391701	レボフロキサシン錠250mg「ニプロ」			○	
622395201	レボフロキサシン錠250mg「アメル」			○	
621925701	クラビット錠250mg	○	○	○	○
622386101	レボフロキサシン錠250mg「CEO」			○	○
622379101	レボフロキサシン錠250mg「CH」			○	○
622370801	レボフロキサシン錠250mg「DSEP」			○	○
622394001	レボフロキサシン錠250mg「F」			○	○
622400801	レボフロキサシン錠250mg「MEEK」			○	○
622386801	レボフロキサシン錠250mg「TCK」			○	○
622367801	レボフロキサシン錠250mg「YD」			○	○
622376301	レボフロキサシン錠250mg「ZE」			○	○
622400701	レボフロキサシン錠250mg「イセイ」			○	○
622389401	レボフロキサシン錠250mg「イワキ」			○	○
622380301	レボフロキサシン錠250mg「オーハラ」			○	○
622395901	レボフロキサシン錠250mg「科研」			○	○
622365901	レボフロキサシン錠250mg「杏林」			○	○
622388801	レボフロキサシン錠250mg「ケミファ」			○	○
622392301	レボフロキサシン錠250mg「サトウ」			○	○
622383501	レボフロキサシン錠250mg「サノフィ」			○	○
622391101	レボフロキサシン錠250mg「サワイ」			○	○
622377901	レボフロキサシン錠250mg「タカタ」			○	○
622380001	レボフロキサシン錠250mg「タナベ」			○	○
622394401	レボフロキサシン錠250mg「テバ」			○	○
622372801	レボフロキサシン錠250mg「トーワ」			○	○
622384801	レボフロキサシン錠250mg「ニッター」			○	○
622382001	レボフロキサシン錠250mg「ファイザー」			○	○
622369001	レボフロキサシン錠250mg「明治」			○	○
622435301	レボフロキサシン錠250mg「SUN」			○	○
622436801	レボフロキサシン錠250mg「日医工」			○	○
622383101	レボフロキサシン錠500mg「サンド」			○	
622391801	レボフロキサシン錠500mg「ニプロ」			○	
622395301	レボフロキサシン錠500mg「アメル」			○	
622435401	レボフロキサシン錠500mg「SUN」			○	
621925801	クラビット錠500mg	○	○	○	○
622386201	レボフロキサシン錠500mg「CEO」			○	○
622379201	レボフロキサシン錠500mg「CH」			○	○
622370901	レボフロキサシン錠500mg「DSEP」			○	○
622394101	レボフロキサシン錠500mg「F」			○	○
622401001	レボフロキサシン錠500mg「MEEK」			○	○
622386901	レボフロキサシン錠500mg「TCK」			○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622367901	レボフロキサシン錠500mg「YD」				
622376401	レボフロキサシン錠500mg「ZE」			○	○
622400901	レボフロキサシン錠500mg「イセイ」			○	○
622389501	レボフロキサシン錠500mg「イワキ」			○	○
622380401	レボフロキサシン錠500mg「オーハラ」			○	○
622396001	レボフロキサシン錠500mg「科研」			○	○
622366001	レボフロキサシン錠500mg「杏林」			○	○
622388901	レボフロキサシン錠500mg「ケミファ」			○	○
622392401	レボフロキサシン錠500mg「サトウ」			○	○
622383601	レボフロキサシン錠500mg「サノフィ」			○	○
622391201	レボフロキサシン錠500mg「サワイ」			○	○
622378001	レボフロキサシン錠500mg「タカタ」			○	○
622380101	レボフロキサシン錠500mg「タナベ」			○	○
622394501	レボフロキサシン錠500mg「テバ」			○	○
622372901	レボフロキサシン錠500mg「トーワ」			○	○
622387901	レボフロキサシン錠500mg「日医工P」			○	○
622384901	レボフロキサシン錠500mg「ニッター」			○	○
622382101	レボフロキサシン錠500mg「ファイザー」			○	○
622369101	レボフロキサシン錠500mg「明治」			○	○
622436901	レボフロキサシン錠500mg「日医工」			○	○
622372601	レボフロキサシンOD錠250mg「トーワ」			○	○
622372701	レボフロキサシンOD錠500mg「トーワ」			○	○
622368201	レボフロキサシン粒状錠250mg「モチダ」			○	○
622368301	レボフロキサシン粒状錠500mg「モチダ」			○	○
622372501	レボフロキサシン内用液250mg「トーワ」			○	○
610462041	スオード錠100	○	○	○	○
620003125	アベロックス錠400mg	○	○	○	○
620005822	ジェニナック錠200mg	○	○	○	○
620006774	グレースビット細粒10%	○	○	○	○
620006773	グレースビット錠50mg	○	○	○	○
620000446	シプロキサ注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注液300mg/150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサ注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○

シロフド電算コード	シロフロロキサシン点滴静注200mg / 100mL「明治」	2010	2012	2014	2016
620009548	シロフロロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「NP」	○	○	○	○
620009549	シロフロロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シロフロロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シロフロロキサシンDU点滴静注300mg / 250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサソン注400mg			○	○
640462032	バシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	バシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	バシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg / 20mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○
610451000	ザイボックス錠600mg	○	○	○	○
622461001	リネズリド錠600mg「明治」			○	○
640451010	ザイボックス注射液600mg	○	○	○	○
622419501	リネズリド点滴静注液600mg「明治」			○	○
620004450	アンコチル錠500mg	○	○	○	○
616290164	ジフルカンカプセル500mg	○	○	○	○
620000121	フルコナゾールカプセル500mg「F」	○	○	○	○
620002804	フルコナゾールカプセル500mg「アメル」	○	○	○	○
621688201	フルコナゾールカプセル500mg「サワイ」	○	○	○	○
622070301	フルコナゾールカプセル500mg「JG」	○	○	○	○
621530003	フルコナゾールカプセル500mg「サンド」			○	○
621569001	フルコナゾールカプセル500mg「日医工」			○	○
621531201	フルコナゾールカプセル500mg「タカタ」			○	○
616290165	ジフルカンカプセル1000mg	○	○	○	○
620000122	フルコナゾールカプセル1000mg「F」	○	○	○	○
620002805	フルコナゾールカプセル1000mg「アメル」	○	○	○	○
621639401	フルコナゾールカプセル1000mg「サワイ」	○	○	○	○
622070401	フルコナゾールカプセル1000mg「JG」	○	○	○	○
621530103	フルコナゾールカプセル1000mg「サンド」			○	○
621569101	フルコナゾールカプセル1000mg「日医工」			○	○
621531301	フルコナゾールカプセル1000mg「タカタ」			○	○
622139201	ジフルカンドライシロップ350mg		○	○	○
622139301	ジフルカンドライシロップ1400mg		○	○	○
620007077	フロリードゲル経口用2%	○	○	○	○
620001958	イトラコナゾール錠50「MEEK」	○	○	○	○
620007914	イトラコナゾール錠50mg「科研」	○	○	○	○
621636802	イトラコナゾール錠50mg「日医工」		○	○	○
620001959	イトラコナゾール錠100「MEEK」	○	○	○	○
621746701	イトラコナゾール錠100mg「日医工」		○	○	○
620007915	イトラコナゾール錠200「MEEK」	○	○	○	○
616290177	イトリゾールカプセル50	○	○	○	○

621629201 シラナド電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620004349	フルコナゾールカプセル50mg「SWJ」	○	○	○	○
610412199	イトリゾール内用液1%	○	○	○	○
620003950	ラミシール錠125mg	○	○	○	○
620003987	ケルガー錠125mg	○	○	○	○
620003988	テビーナ錠125mg	○	○	○	○
620003989	テルビナシル錠125mg	○	○	○	○
620003995	テルビナフィン錠125mg「CH」	○	○	○	○
620003993	テルビナフィン錠125mg「F」	○	○	○	○
620003990	テルビナフィン錠125「MEEK」	○	○	○	○
620003990	テルビナフィン錠125mg「MEEK」	○	○	○	○
620003992	テルビナフィン錠125mg「NP」	○	○	○	○
620003991	テルビナフィン錠125「TCK」	○	○	○	○
620003998	テルビナフィン錠125mg「YD」	○	○	○	○
620003994	テルビナフィン錠125mg「サンド」	○	○	○	○
620003996	テルビナフィン錠125mg「タイヨー」	○	○	○	○
620004001	テルミシール錠125mg	○	○	○	○
620004019	ネドリール錠125mg	○	○	○	○
620004094	リプノール錠125mg	○	○	○	○
620008028	テルビナフィン錠125mg「タナベ」	○	○	○	○
621746301	テルビナフィン錠125mg「ケミファ」		○	○	○
621732101	テルビナフィン錠125mg「日医工」		○	○	○
622244201	テルビナフィン錠125mg「ファイザー」		○	○	○
621726702	テルビナフィン錠125mg「サワイ」		○	○	○
621748401	テルビナフィン錠125mg「トーワ」			○	○
622136101	サムチレール内用懸濁液15%		○	○	○
621355101	ダイフェン配合顆粒		○	○	
621148101	バクタ配合顆粒	○	○	○	○
621148201	バクトラミン配合顆粒	○	○	○	○
621148801	ダイフェン配合錠	○	○	○	○
621148901	バクタ配合錠	○	○	○	○
621149001	バクトラミン配合錠	○	○	○	○
620006311	フロリードF注200mg	○	○	○	○
620003726	ジフルカン静注液50mg	○	○	○	○
622056701	フルコナゾール静注50mg「トーワ」	○	○	○	○
622053301	フルコナゾール静注液50mg「サワイ」	○	○	○	○
622073601	フルコナゾール静注液50mg「日医工」	○	○	○	○
621539701	フルコナゾール静注液50mg「イセイ」		○	○	○
621544402	フルコナゾール静注液50mg「タカタ」			○	○
620003727	ジフルカン静注液100mg	○	○	○	○
620007481	フルコナゾール静注100mg「トーワ」	○	○	○	○
620008922	フルコナゾール静注液100mg「サワイ」	○	○	○	○
621569201	フルコナゾール静注液100mg「日医工」		○	○	○
621539801	フルコナゾール静注液100mg「イセイ」		○	○	○
621554502	フルコナゾール静注液100mg「タカタ」			○	○

620009582 レセプト電算コード	フルコナゾール静注液200mg「マイラン」 名称	2010	2012	2014	2016
621539901	フルコナゾール静注液200mg「イセイ」		○	○	○
620003728	ジフルカン静注液200mg	○	○	○	○
620007482	フルコナゾール静注200mg「トーワ」	○	○	○	○
620008923	フルコナゾール静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
621569301	フルコナゾール静注液200mg「日医工」		○	○	○
621554602	フルコナゾール静注液200mg「タカタ」			○	○
620000295	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621541601	フルコナゾール静注液100mg「テバ」		○	○	○
621543302	フルコナゾール静注100mg「NP」		○	○	○
621541701	フルコナゾール静注液200mg「テバ」		○	○	○
620000296	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621543402	フルコナゾール静注200mg「NP」		○	○	○
620000294	フルコナゾール静注液0.1%「F」	○	○	○	○
621543201	フルコナゾール静注50mg「NP」		○	○	○
620000437	プロジフ静注液100	○	○	○	○
620000438	プロジフ静注液200	○	○	○	○
620000439	プロジフ静注液400	○	○	○	○
620004424	イトリゾール注1%	○	○	○	○
621150001	エンペシドトローチ10mg	○	○	○	○
620005834	ベセルナクリーム5%	○	○	○	○
622365201	クレナフィン爪外用液10%			○	○
622471601	ルコナック爪外用液5%				○
621166401	チニダゾール錠200mg「F」		○	○	○
621166501	チニダゾール錠500mg「F」		○	○	○
620006817	アズゾール錠250mg	○	○	○	○
620007057	フラジール内服錠250mg	○	○	○	○
620002484	メファキン「ヒサミツ」錠275	○	○	○	○
622224801	アメパロモカプセル250mg		○	○	○
622500501	プリマキン錠15mg「サノフィ」				○
622225701	マラロン配合錠		○	○	○
622500601	マラロン小児用配合錠				○
622532901	リアメット配合錠				○
621167101	ベナンボックス注用300mg	○	○	○	○
622364001	アネメトロ点滴静注液500mg			○	○
646410002	バクトラミン注	○	○	○	○
640463089	注射用ペニシリンGカリウム20万単位	○	○	○	○
620000427	注射用ペニシリンGカリウム10万単位	○	○	○	○
620003811	ペランコシン注300mg		○	○	
620007537	リズピオン注300mg		○	○	○
621062901	リンコマイシン塩酸塩注300mg「NP」		○	○	○
620006341	リンコシン注射液300mg	○	○	○	○
620003812	ペランコシン注600mg		○	○	
620007538	リズピオン注600mg		○	○	○
621380904	リンコマイシン塩酸塩注600mg「NP」		○	○	○

213006電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620006342	リンコシン注射液600mg	○	○	○	○
620004196	ペランコシン注1g		○	○	
620004197	ペランコシン注1.5g	○	○	○	
620006344	リンコシン注射液1.5g	○	○	○	○
620006343	リンコシン注射液1g	○	○	○	○
620006261	ダラシンS注射液300mg	○	○	○	○
620008810	クリンダマイシン注射液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
621064601	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「サワイ」	○	○	○	○
622111302	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「トーワ」		○	○	○
621064701	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「F」			○	○
621064501	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「NP」			○	○
620006262	ダラシンS注射液600mg	○	○	○	○
620008811	クリンダマイシン注射液600mg「タイヨー」	○	○	○	○
621065101	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「サワイ」	○	○	○	○
621065201	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「トーワ」		○	○	○
621065301	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「F」			○	○
621065001	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「NP」			○	○
620006226	クリンダマイシン注300mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620006227	クリンダマイシン注600mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g（シオノギ）	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
621876001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「ケミファ」	○	○	○	
620004729	ハベカシン注射液75mg	○	○	○	○
620009511	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「HK」	○	○	○	○
621735001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「テバ」			○	○
621066501	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「ケミファ」	○	○	○	
620004730	ハベカシン注射液100mg	○	○	○	○
620009512	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「HK」	○	○	○	○
621066401	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「テバ」			○	○
621924501	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「ケミファ」	○	○	○	
620004728	ハベカシン注射液25mg	○	○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620009509 621896701	アルベカシン硫酸塩注射液2.5mg「HK」 アルベカシン硫酸塩注射液2.5mg「テバ」				
621950502	アルベカシン硫酸塩注射液2.0mg「ケミファ」	○	○	○	
620007432	ハベカシン注射液2.0mg	○	○	○	○
621955601	アルベカシン硫酸塩注射液2.0mg「HK」	○	○	○	○
621936302	アルベカシン硫酸塩注射液2.0mg「テバ」			○	○
620004709	注射用タゴシッド2.0mg	○	○	○	○
620008212	テイコブラニン点滴静注用2.0mg「NP」	○	○	○	○
620008213	テイコブラニン点滴静注用2.0mg「日医工」	○	○	○	○
620008532	テイコブラニン点滴静注用2.0mg「F」	○	○	○	○
620008531	テイコブラニン点滴静注用2.0mg「HK」	○	○	○	○
620008533	テイコブラニン点滴静注用2.0mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008535	テイコブラニン点滴静注用2.0mg「トーワ」	○	○	○	○
620009572	テイコブラニン点滴静注用2.0mg「TYK」	○	○	○	○
620009571	テイコブラニン点滴静注用2.0mg「サワイ」	○	○	○	○
621995201	テイコブラニン点滴静注用2.0mg「サンド」	○	○	○	○
622227801	テイコブラニン点滴静注用2.0mg「明治」		○	○	○
621901402	テイコブラニン点滴静注用2.0mg「ファイザー」			○	○
621884501	テイコブラニン点滴静注用2.0mg「テバ」			○	○
620009574	テイコブラニン点滴静注用4.0mg「F」	○	○	○	○
622216601	テイコブラニン点滴静注用4.0mg「NP」		○	○	○
622207201	テイコブラニン点滴静注用4.0mg「日医工」		○	○	○
622227901	テイコブラニン点滴静注用4.0mg「明治」		○	○	○
622338101	テイコブラニン点滴静注用4.0mg「トーワ」			○	○
622085501	キュビシン静注用3.5mg	○	○	○	○
640462005	注射用シナシッド	○	○	○	○
646130274	アザクタム注射用0.5g	○	○	○	○
646130275	アザクタム注射用1g	○	○	○	○
640453139	トブラシン注小児用1.0mg	○	○	○	○
640453140	トブラシン注6.0mg	○	○	○	○
646120062	トブラシン注9.0mg	○	○	○	○
620003676	アミカシン硫酸塩注射液1.0mg「サワイ」		○	○	○
620004178	ブルテツシン注射液1.0mg		○	○	
620006356	ロミカシン注射液1.0mg		○	○	
621069302	アミカシン硫酸塩注射液1.0mg「N i k P」		○	○	○
621069501	アミカシン硫酸塩注射液1.0mg「F」			○	○
620003190	アミカマイシン注射液1.0mg	○	○	○	○
621069402	アミカシン硫酸塩注射液1.0mg「日医工」	○	○	○	○
621069001	アミカシン硫酸塩注1.0mg「NP」		○	○	○
620003677	アミカシン硫酸塩注射液2.0mg「サワイ」		○	○	○
620003797	ブルテツシン注射液2.0mg	○	○	○	
620006651	ロミカシン注射液2.0mg	○	○	○	
621070102	アミカシン硫酸塩注射液2.0mg「N i k P」		○	○	○
621070301	アミカシン硫酸塩注射液2.0mg「F」			○	○
620003191	アミカマイシン注射液2.0mg	○	○	○	○

621079902 シセナド電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621069701	カシシン硫酸塩注射液 200mg 「日医工」		○	○	○
621070602	アミカシシン硫酸塩注射液 100mg 「日医工」	○	○	○	○
621070902	アミカシシン硫酸塩注射液 200mg 「日医工」	○	○	○	○
640453078	シオセシシン注射液 200	○	○	○	○
620003198	エクサシシン注射液 200	○	○	○	○
620003193	イセパシシン注射液 200	○	○	○	○
620005641	イセパマイシシン硫酸塩注射液 200mg 「日医工」	○	○	○	○
621604701	イセパマイシシン硫酸塩注射液 200mg 「サワイ」		○	○	○
646120080	イセパシシン注射液 400	○	○	○	○
646120081	エクサシシン注射液 400	○	○	○	○
640453079	シオセシシン注射液 400	○	○	○	○
620005642	イセパマイシシン硫酸塩注射液 400mg 「日医工」	○	○	○	○
621695601	イセパマイシシン硫酸塩注射液 400mg 「サワイ」		○	○	○
620009196	トロビシシン筋注用 2g	○	○	○	○
622415701	オールドレブ点滴静注用 150mg			○	○
622199101	タイガシシル点滴静注用 50mg		○	○	○
621076601	ピクシシリン注射液 2.5g	○	○	○	○
621076801	ピクシシリン注射液 5g	○	○	○	○
621077201	ピクシシリン注射液 1g	○	○	○	○
621077501	ピクシシリン注射液 2g	○	○	○	○
621078403	ピペラシシリンナトリウム注射液 1g 「日医工」		○	○	
646130136	ペントシシリン注射液 1g	○	○	○	○
620007456	ピペユンシシン注射液 1g	○	○	○	○
621078301	ピペラシシリンNa注射液 1g 「サワイ」		○	○	○
621078103	ピペラシシリンNa注射液 1g 「テバ」		○	○	○
621078601	ピペラシシリンNa注射液 1g 「トーワ」		○	○	○
621342601	ピペラシシリンNa注射液 1g 「SN」			○	○
621079203	ピペラシシリンナトリウム注射液 2g 「日医工」		○	○	
646130137	ペントシシリン注射液 2g	○	○	○	○
620007457	ピペユンシシン注射液 2g	○	○	○	○
621079101	ピペラシシリンNa注射液 2g 「サワイ」		○	○	○
621078903	ピペラシシリンNa注射液 2g 「テバ」		○	○	○
621079401	ピペラシシリンNa注射液 2g 「トーワ」		○	○	○
621342802	ピペラシシリンNa注射液 2g 「SN」			○	○
622079701	ピペラシシリンナトリウム点滴静注用バッグ 1g 「NP」	○	○	○	
640462059	ペントシシリン静注用 1g バッグ	○	○	○	○
622079801	ピペラシシリンナトリウム点滴静注用バッグ 2g 「NP」	○	○	○	
640462060	ペントシシリン静注用 2g バッグ	○	○	○	○
646130121	パンスポリシシリン筋注用 2.5g	○	○	○	○
646130110	ハロスポア静注用 2.5g	○	○	○	○
646130122	パンスポリシシリン静注用 2.5g	○	○	○	○
620004140	セファピコール静注用 2.5g	○	○	○	○
620007293	ケミスポリシシリン静注用 2.5g	○	○	○	○
621989702	セフォチアム塩酸塩静注用 2.5g 「日医工」		○	○	○

621987602 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621924001	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5g「NP」			○	○
646130111	ハロスポア静注用●. 5g	○	○	○	○
646130123	パンスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
620004141	セファピコール静注用●. 5g	○	○	○	○
620007294	ケミスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
621989802	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「日医工」		○	○	○
621344901	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「NP」		○	○	○
621924101	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「SN」			○	○
646130112	ハロスポア静注用1g	○	○	○	○
646130124	パンスポリン静注用1g	○	○	○	○
620003732	セファピコール静注用1g	○	○	○	○
620007295	ケミスポリン静注用1g	○	○	○	○
621345002	セフォチアム塩酸塩静注用1g「日医工」		○	○	○
621345301	セフォチアム塩酸塩静注用1g「NP」		○	○	○
621095002	セフォチアム塩酸塩静注用1g「SN」			○	○
640408149	パンスポリン静注用1gバッグS	○	○	○	○
620009563	セフォチアム静注用1gバッグ「日医工」	○	○	○	○
621540002	セフォチアム塩酸塩点滴静注用1gバッグ「NP」		○	○	○
640408148	パンスポリン静注用1gバッグG	○	○	○	○
620003735	セファメジンα注射用●. 2.5g	○	○	○	○
622104201	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
622130801	セファゾリンナトリウム注射用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622177601	トキオ注射用●. 2.5g		○	○	○
622124902	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「NP」			○	○
622033402	セファゾリンNa注射用●. 5g「NP」			○	○
622104301	セファゾリンNa注射用●. 5g「タイヨー」		○	○	○
622177701	トキオ注射用●. 5g		○	○	○
620003736	セファメジンα注射用●. 5g	○	○	○	○
621096002	セファゾリンナトリウム注射用●. 5g「日医工」		○	○	○
620003737	セファメジンα注射用1g	○	○	○	○
621096701	トキオ注射用1g	○	○	○	○
621096503	セファゾリンNa注射用1g「タイヨー」	○	○	○	○
621096802	セファゾリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	○
621096601	セファゾリンNa注射用1g「NP」			○	○
620003738	セファメジンα注射用2g	○	○	○	○
621097303	セファゾリンNa注射用2g「タイヨー」	○	○	○	○
622177801	トキオ注射用2g		○	○	○
621097602	セファゾリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	○
621097401	セファゾリンNa注射用2g「NP」			○	○
620003733	セファメジンα筋注用●. 2.5g	○	○	○	○
620003734	セファメジンα筋注用●. 5g	○	○	○	○
620003740	セファメジンα点滴用キット2g	○	○	○	○
620003739	セファメジンα点滴用キット1g	○	○	○	○
620007318	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「オーツカ」	○	○	○	○

621757001 シテプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620005674	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「NPJ」 コアキシシ注射用1g	○	○	○	○
620005675	コアキシシ注射用2g	○	○	○	○
646130072	セフメタゾン筋注用○.5g	○	○	○	○
646130073	セフメタゾン静注用○.25g	○	○	○	○
622125001	セフメタゾールNa静注用○.25g「NPJ」	○	○	○	○
622131001	セフメタゾールナトリウム静注用○.25g「日医工」	○	○	○	○
622111501	リリアジン静注用○.25g	○	○	○	○
622104002	セフメタゾールNa静注用○.25g「テバ」			○	○
646130074	セフメタゾン静注用○.5g	○	○	○	○
621987501	セフメタゾールNa静注用○.5g「NPJ」	○	○	○	○
622131101	セフメタゾールナトリウム静注用○.5g「日医工」	○	○	○	○
622111601	リリアジン静注用○.5g	○	○	○	○
622104102	セフメタゾールNa静注用○.5g「テバ」			○	○
646130075	セフメタゾン静注用1g	○	○	○	○
620006243	セフメタゾールNa静注用1g「NPJ」	○	○	○	○
620007540	リリアジン静注用1g	○	○	○	○
621102102	セフメタゾールナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	○
621101803	セフメタゾールNa静注用1g「テバ」			○	○
646130076	セフメタゾン静注用2g	○	○	○	○
620006244	セフメタゾールNa静注用2g「NPJ」	○	○	○	○
620007541	リリアジン静注用2g	○	○	○	○
621102802	セフメタゾールナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	○
621101903	セフメタゾールNa静注用2g「テバ」			○	○
640470010	セフメタゾンキット点滴静注用1g	○	○	○	○
620004151	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ1g「NPJ」	○	○	○	○
621951701	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ2g「NPJ」	○	○	○	○
640454018	セフォタックス注射用○.5g	○	○	○	○
620004652	クラフォラン注射用○.5g	○	○	○	○
640454019	セフォタックス注射用1g	○	○	○	○
620004653	クラフォラン注射用1g	○	○	○	○
646130067	セフォビッド注射用1g	○	○	○	○
646130071	セフォペラジン注射用1g	○	○	○	○
646130132	ベストコール筋注用○.5g	○	○	○	○
646130133	ベストコール静注用○.5g	○	○	○	○
646130134	ベストコール静注用1g	○	○	○	○
620002999	モダケミン静注用○.5g	○	○	○	○
620003827	モダシン静注用○.5g	○	○	○	○
620006701	セフタジジム静注用○.5g「マイラン」	○	○	○	○
621967001	セフタジジム静注用○.5g「サンド」	○	○	○	○
621936401	セフタジジム静注用○.5g「タイヨー」	○	○	○	○
622052901	セフタジジム静注用○.5g「サワイ」	○	○	○	○
622124801	セフタジジム静注用○.5g「NPJ」	○	○	○	○
621756202	セフタジジム静注用○.5g「日医工」		○	○	○
621755802	セフタジジム静注用○.5g「SN」			○	○

620003000 シテプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620003001	モダシム静注用 1g モベンゾシン静注用 1g	○	○	○	○
620003828	モダシン静注用 1g	○	○	○	○
620005676	セフトジジム静注用 1g 「NP」	○	○	○	○
620006702	セフトジジム静注用 1g 「マイラン」	○	○	○	○
621967101	セフトジジム静注用 1g 「サンド」	○	○	○	○
621703001	セフトジジム静注用 1g 「サワイ」	○	○	○	○
621756502	セフトジジム静注用 1g 「日医工」		○	○	○
621755902	セフトジジム静注用 1g 「SN」			○	○
646130268	ロセフィン静注用●、5g	○	○	○	○
640463134	リアソフィン静注用●、5g	○	○	○	○
620009566	セフキソン静注用●、5g	○	○	○	○
620009567	セフトリアキソンNa静注用●、5g 「サンド」	○	○	○	○
621987301	セフトリアキソンナトリウム静注用●、5g 「NP」	○	○	○	○
621967202	セフトリアキソンNa静注用●、5g 「サワイ」		○	○	○
621538203	セフトリアキソンナトリウム静注用●、5g 「日医工」		○	○	○
622077302	セフトリアキソンNa静注用●、5g 「ファイザー」		○	○	○
621836501	セフトリアキソンNa静注用●、5g 「テバ」		○	○	○
646130269	ロセフィン静注用 1g	○	○	○	○
640463135	リアソフィン静注用 1g	○	○	○	○
640463080	セフキソン静注用 1g	○	○	○	○
620009568	セフトリアキソンNa静注用 1g 「サンド」	○	○	○	○
621987401	セフトリアキソンナトリウム静注用 1g 「NP」	○	○	○	○
621488601	セフトリアキソンNa静注用 1g 「サワイ」		○	○	○
621538303	セフトリアキソンナトリウム静注用 1g 「日医工」		○	○	○
621555202	セフトリアキソンNa静注用 1g 「ファイザー」		○	○	○
621555101	セフトリアキソンNa静注用 1g 「テバ」		○	○	○
640470011	ロセフィン点滴静注用 1g バッグ	○	○	○	○
620002955	セフトリアキソンナトリウム点滴用 1g バッグ 「NP」	○	○	○	○
622051701	セフトリアキソンナトリウム点滴静注用 バッグ 1g 「ファイザー」	○	○	○	○
620007514	メイセリン静注用 1g	○	○	○	○
620004148	セフピロム硫酸塩静注用●、5g 「CMX」	○	○	○	○
620006706	硫酸セフピロム静注用●、5g 「マイラン」	○	○	○	○
620004149	セフピロム硫酸塩静注用 1g 「CMX」	○	○	○	○
620006707	硫酸セフピロム静注用 1g 「マイラン」	○	○	○	○
640407076	注射用マキシピーム●、5g	○	○	○	○
621966801	セフェピム塩酸塩静注用●、5g 「サンド」	○	○	○	○
621994601	セフェピム塩酸塩静注用●、5g 「CMX」	○	○	○	○
640407077	注射用マキシピーム 1g	○	○	○	○
621966901	セフェピム塩酸塩静注用 1g 「サンド」	○	○	○	○
621994701	セフェピム塩酸塩静注用 1g 「CMX」	○	○	○	○
640407080	ファーストシン静注用●、5g	○	○	○	○
640407081	ファーストシン静注用 1g	○	○	○	○
640443046	ファーストシン静注用 1g バッグS	○	○	○	○
640443047	ファーストシン静注用 1g バッグG	○	○	○	○

646130037 646130301 シロマリン静注用1g フルマリン静注用0.5g	シロマリン静注用1g フルマリン静注用0.5g	2010	2012	2014	2016
646130302	フルマリン静注用1g	○	○	○	○
640443048	フルマリンキット静注用1g	○	○	○	○
620005201	パニマイシン注射液50mg	○	○	○	○
620005202	パニマイシン注射液100mg	○	○	○	○
620005180	注射用パニマイシン100mg	○	○	○	○
620003780	ビスタマイシン筋注500mg	○	○	○	○
620003781	ビスタマイシン筋注1000mg	○	○	○	○
646120011	ゲンタシン注100	○	○	○	○
622037301	ゲンタマイシン硫酸塩注射液100mg「日医工」	○	○	○	○
622074801	エルタシン注100mg	○	○	○	○
622074802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液100mg「F」				○
621111803	ゲンタマイシン硫酸塩注射液400mg「日医工」		○	○	○
620003210	ゲンタシン注400	○	○	○	○
620006210	エルタシン注400mg	○	○	○	○
621111802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液400mg「F」				○
646120012	ゲンタシン注600	○	○	○	○
620006211	エルタシン注600mg	○	○	○	○
621112004	ゲンタマイシン硫酸塩注射液600mg「日医工」		○	○	○
621112003	ゲンタマイシン硫酸塩注射液600mg「F」				○
621812201	ホスホマイシンナトリウム静注用0.5g「日医工」		○	○	
622104401	フラゼミシン静注用0.5g	○	○	○	
622131501	ホスカリーゼ静注用0.5g	○	○	○	
620003815	ホスミンS静注用0.5g	○	○	○	○
622079901	ホスホマイシンNa静注用0.5g「NP」		○	○	
622045702	ホスホマイシンNa静注用0.5g「タカタ」		○	○	○
620004750	フラゼミシン静注用1g	○	○	○	
620004767	ホスカリーゼ静注用1g	○	○	○	
621766301	ホスホマイシンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	
620003816	ホスミンS静注用1g	○	○	○	○
620006316	ホスホマイシンNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
621114602	ホスホマイシンNa静注用1g「タカタ」		○	○	○
620004751	フラゼミシン静注用2g	○	○	○	
620004768	ホスカリーゼ静注用2g	○	○	○	
621766401	ホスホマイシンナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	
620003817	ホスミンS静注用2g	○	○	○	○
620006317	ホスホマイシンNa静注用2g「NP」	○	○	○	○
621115302	ホスホマイシンNa静注用2g「タカタ」		○	○	○
620007477	フラゼミシン点滴静注用2gキット	○	○	○	○
640451022	ホスミンSバッグ1g点滴静注用	○	○	○	○
640451023	ホスミンSバッグ2g点滴静注用	○	○	○	○
620007519	メロペン点滴用バイアル0.25g	○	○	○	○
620009585	メロペナム点滴静注用0.25g「タイヨー」	○	○	○	○
620009586	メロペナム点滴静注用0.25g「日医工」	○	○	○	○

621953301 621950101	電算コード シテラド メロペネム点滴静注用Ⓞ、2.5g「NP」 メロペネム点滴静注用Ⓞ、2.5g「ケミファ」	2010	2012	2014	2016
621967801	メロペネム点滴静注用Ⓞ、2.5g「サワイ」	○	○	○	○
621967901	メロペネム点滴静注用Ⓞ、2.5g「タナベ」	○	○	○	○
621946701	メロペネム点滴静注用Ⓞ、2.5g「トーワ」	○	○	○	○
621947901	メロペネム点滴静注用Ⓞ、2.5g「明治」	○	○	○	○
622044201	メロペネム点滴静注用Ⓞ、2.5g「ファイザー」	○	○	○	○
620007520	メロペン点滴用バイアルⓄ、5g	○	○	○	○
620009587	メロペネム点滴静注用Ⓞ、5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009588	メロペネム点滴静注用Ⓞ、5g「日医工」	○	○	○	○
621952401	メロペネム点滴静注用Ⓞ、5g「NP」	○	○	○	○
621950201	メロペネム点滴静注用Ⓞ、5g「ケミファ」	○	○	○	○
621968001	メロペネム点滴静注用Ⓞ、5g「サワイ」	○	○	○	○
621968101	メロペネム点滴静注用Ⓞ、5g「タナベ」	○	○	○	○
621946801	メロペネム点滴静注用Ⓞ、5g「トーワ」	○	○	○	○
621948001	メロペネム点滴静注用Ⓞ、5g「明治」	○	○	○	○
622044301	メロペネム点滴静注用Ⓞ、5g「ファイザー」	○	○	○	○
622439001	メロペネム点滴静注用1g「NP」			○	○
622419401	メロペネム点滴静注用1g「明治」			○	○
620007518	メロペン点滴用キットⓄ、5g	○	○	○	○
621952501	メロペネム点滴静注用バッグⓄ、5g「NP」	○	○	○	○
621967701	メロペネム点滴静注用バッグⓄ、5g「日医工」	○	○	○	○
621931801	メロペネム点滴静注用バッグⓄ、5g「明治」	○	○	○	○
622471301	メロペネム点滴静注用バッグ1g「NP」			○	○
622460901	メロペネム点滴静注用バッグ1g「明治」			○	○
640451036	オメガシン点滴用Ⓞ、3g	○	○	○	○
640451037	オメガシン点滴用Ⓞ、3gバッグ	○	○	○	○
621708501	フィニバックス点滴静注用Ⓞ、2.5g	○	○	○	○
622078501	フィニバックス点滴静注用Ⓞ、5g	○	○	○	○
621727601	フィニバックス点滴静注用キットⓄ、2.5g	○	○	○	○
646130264	スルペラゾン静注用Ⓞ、5g	○	○	○	○
620004152	セフロニック静注用Ⓞ、5g	○	○	○	○
620007316	スペルゾン静注用Ⓞ、5g	○	○	○	○
622083601	スルタムジン静注用Ⓞ、5g	○	○	○	○
622099301	セフォセフ静注用Ⓞ、5g	○	○	○	○
622130901	セフォン静注用Ⓞ、5g	○	○	○	○
622111401	バクフォーゼ静注用Ⓞ、5g	○	○	○	○
622080002	ワイスタール配合静注用Ⓞ、5g		○	○	○
646130265	スルペラゾン静注用1g	○	○	○	○
640444050	セフォセフ静注用1g	○	○	○	○
640444051	セフォン静注用1g	○	○	○	○
640444071	バクフォーゼ静注用1g	○	○	○	○
640453097	スルタムジン静注用1g	○	○	○	○
620003742	セフロニック静注用1g	○	○	○	○
620007317	スペルゾン静注用1g	○	○	○	○

621347901 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621116801	ワイスターール配合静注用 1g スルペラゾンキット静注用 1g	○	○	○	○
621441901	ワイスターール配合点滴静注用 1g バッグ		○	○	○
620004108	インダスト点滴静注用 ●, 2.5g	○	○	○	○
620007364	チエナム点滴静注用 ●, 2.5g	○	○	○	○
620008211	チエペナム点滴静注用 ●, 2.5g	○	○	○	○
622010201	チエクール点滴用 ●, 2.5g	○	○	○	○
622127601	イミペナム・シラスタチン点滴用 ●, 2.5g 「サンド」	○	○	○	○
622172601	イミスタン点滴静注用 ●, 2.5g		○	○	○
620003703	インダスト点滴静注用 ●, 5g	○	○	○	○
620004106	イミスタン点滴静注用 ●, 5g	○	○	○	○
620004155	チエクール点滴用 ●, 5g	○	○	○	○
620004707	チエペナム点滴静注用 ●, 5g	○	○	○	○
620005643	イミペナム・シラスタチン点滴用 ●, 5g 「サンド」	○	○	○	○
620007365	チエナム点滴静注用 ●, 5g	○	○	○	○
620007362	チエナム筋注用 ●, 5g	○	○	○	○
620007363	チエナム点滴静注用キット ●, 5g	○	○	○	○
646130368	カルベニン点滴用 ●, 2.5g	○	○	○	○
646130369	カルベニン点滴用 ●, 5g	○	○	○	○
640406222	ユナシン - S 静注用 ●, 7.5g	○	○	○	○
620003003	ユナスピン静注用 ●, 7.5g	○	○	○	○
620004132	スルバクシン静注用 ●, 7.5g	○	○	○	○
620004134	スルバシリン静注用 ●, 7.5g	○	○	○	○
620005874	ピスルシン静注用 ●, 7.5g	○	○	○	○
620009560	スルバクタム・アンピシリン静注用 ●, 7.5g 「サンド」	○	○	○	○
622118402	ピシリバクタ静注用 ●, 7.5g	○	○	○	○
622100601	ユーシオン - S 静注用 ●, 7.5g	○	○	○	○
640406223	ユナシン - S 静注用 1. 5g	○	○	○	○
620002977	ピシリバクタ静注用 1. 5g	○	○	○	○
620003002	ユーシオン - S 静注用 1. 5g	○	○	○	○
620003004	ユナスピン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620004133	スルバクシン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620004135	スルバシリン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620005875	ピスルシン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620009561	スルバクタム・アンピシリン静注用 1. 5g 「サンド」	○	○	○	○
622250001	ユナシン - S 静注用 3g		○	○	○
622419601	スルバシリン静注用 3g			○	○
622408701	ピスルシン静注用 3g			○	○
622464401	スルバクシン静注用 3g			○	○
622467201	ピシリバクタ静注用 3g			○	○
622458201	ユーシオン - S 静注用 3g			○	○
622441301	ユナスピン静注用 3g			○	○
620004775	ユナシン - S キット静注用 1. 5g	○	○	○	○
620004776	ユナシン - S キット静注用 3g	○	○	○	○
620008446	ゾシン静注用 2. 25	○	○	○	○

622441401 シロピド電算コード	タゾピペ配合静注用2.25「CHM」 名称	2010	2012	2014	2016
622464701	タゾピペ配合静注用2.25「DK」			○	○
622453701	タゾピペ配合静注用2.25「DSEP」			○	○
622450601	タゾピペ配合静注用2.25「SN」			○	○
622461801	タゾピペ配合静注用2.25「サンド」			○	○
622458801	タゾピペ配合静注用2.25「テバ」			○	○
622467001	タゾピペ配合静注用2.25「日医工」			○	○
622470601	タゾピペ配合静注用2.25「ニプロ」			○	○
622455601	タゾピペ配合静注用2.25「ファイザー」			○	○
622460701	タゾピペ配合静注用2.25「明治」			○	○
620008447	ゾシン静注用4.5	○	○	○	○
622441501	タゾピペ配合静注用4.5「CHM」			○	○
622464801	タゾピペ配合静注用4.5「DK」			○	○
622453801	タゾピペ配合静注用4.5「DSEP」			○	○
622450701	タゾピペ配合静注用4.5「SN」			○	○
622461901	タゾピペ配合静注用4.5「サンド」			○	○
622458901	タゾピペ配合静注用4.5「テバ」			○	○
622467101	タゾピペ配合静注用4.5「日医工」			○	○
622470701	タゾピペ配合静注用4.5「ニプロ」			○	○
622455701	タゾピペ配合静注用4.5「ファイザー」			○	○
622460801	タゾピペ配合静注用4.5「明治」			○	○
622423101	ゾシン配合点滴静注用バッグ4.5			○	○
622454001	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「DSEP」			○	○
622470901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ニプロ」			○	○
622455901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ファイザー」			○	○
622462101	タゾピペ配合点滴静注用4.5バッグ「サンド」			○	○
622453901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「DSEP」			○	○
622470801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ニプロ」			○	○
622455801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ファイザー」			○	○
622462001	タゾピペ配合点滴静注用2.25バッグ「サンド」			○	○
621120001	エリスロシン点滴静注用500mg	○	○	○	○
622085701	ジスロマック点滴静注用500mg	○	○	○	○
621122801	クロロマイセチンサクシネート静注用1g	○	○	○	○
620004770	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「日医工」		○	○	○
620005226	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620007513	ミノマイシン点滴静注用100mg	○	○	○	○
621126801	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「サワイ」		○	○	○
621126501	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「F」			○	○
620003244	硫酸ストレプトマイシン1g注射用「明治」	○	○	○	○
620007375	ツベラクチン筋注用1g	○	○	○	○
620007539	硫酸カナマイシン注射液100mg「明治」	○	○	○	○
620007467	ファンギゾン注射用50mg	○	○	○	○
620003487	アムビゾーム点滴静注用50mg	○	○	○	○
640462040	ファンガード点滴用50mg	○	○	○	○
640462041	ファンガード点滴用75mg	○	○	○	○

シロキサン電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620002497	ブイフェンド200mg 静注用	○	○	○	○
622136201	カンサイダス点滴静注用50mg		○	○	○
622136301	カンサイダス点滴静注用70mg		○	○	○
621131001	注射用ピクシリンS100	○	○	○	○
646190020	注射用ピクシリンS500	○	○	○	○
646190018	注射用ピクシリンS1000	○	○	○	○
620000446	シプロキサ注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注300mg / 150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサ注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シプロフロキサシン点滴静注200mg / 100mL「明治」	○	○	○	○
620009548	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「NP」	○	○	○	○
620009549	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シプロフロキサシンDU点滴静注300mg / 250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサ注400mg			○	○
640462032	バシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	バシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	バシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg / 200mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○
640451010	ザイボックス注射液600mg	○	○	○	○
622419501	リネズリド点滴静注液600mg「明治」			○	○
620006311	フロリードF注200mg	○	○	○	○
620003726	ジフルカン静注液50mg	○	○	○	○
622056701	フルコナゾール静注50mg「トーワ」	○	○	○	○
622053301	フルコナゾール静注液50mg「サワイ」	○	○	○	○
622073601	フルコナゾール静注液50mg「日医工」	○	○	○	○
621539701	フルコナゾール静注液50mg「イセイ」		○	○	○

621544402 620003727	フルコナゾール静注液50mg「タカタ」 ジフルカン静注液100mg	2010	2012	2014	2016
620007481	フルコナゾール静注100mg「トーワ」	○	○	○	○
620008922	フルコナゾール静注液100mg「サワイ」	○	○	○	○
621569201	フルコナゾール静注液100mg「日医工」		○	○	○
621539801	フルコナゾール静注液100mg「イセイ」		○	○	○
621554502	フルコナゾール静注液100mg「タカタ」			○	○
620009582	フルコナゾール静注液200mg「マイラン」		○	○	○
621539901	フルコナゾール静注液200mg「イセイ」		○	○	○
620003728	ジフルカン静注液200mg	○	○	○	○
620007482	フルコナゾール静注200mg「トーワ」	○	○	○	○
620008923	フルコナゾール静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
621569301	フルコナゾール静注液200mg「日医工」		○	○	○
621554602	フルコナゾール静注液200mg「タカタ」			○	○
620000295	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621541601	フルコナゾール静注液100mg「テバ」		○	○	○
621543302	フルコナゾール静注100mg「NP」		○	○	○
621541701	フルコナゾール静注液200mg「テバ」		○	○	○
620000296	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621543402	フルコナゾール静注200mg「NP」		○	○	○
620000294	フルコナゾール静注液0.1%「F」	○	○	○	○
621543201	フルコナゾール静注50mg「NP」		○	○	○
620000437	プロジフ静注液100	○	○	○	○
620000438	プロジフ静注液200	○	○	○	○
620000439	プロジフ静注液400	○	○	○	○
620004424	イトリゾール注1%	○	○	○	○
621167101	ベナンボックス注用300mg	○	○	○	○
622364001	アネメトロ点滴静注液500mg			○	○
646410002	バクトラミン注	○	○	○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g（シオノギ）	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
620000446	シプロキサシン注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○

シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	2010	2012	2014	2016
シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
シプロフロキサシン点滴静注300mg / 150mL「明治」	○	○	○	○
シプロキサシ注200mg	○	○	○	○
シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
シプロフロキサシン点滴静注200mg / 100mL「明治」	○	○	○	○
シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「NP」	○	○	○	○
シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「サワイ」	○	○	○	○
シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「日医工」	○	○	○	○
シプロフロキサシンDU点滴静注300mg / 250mL「明治」	○	○	○	○
シプロキサシ注400mg			○	○
パシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
パシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
パシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
クラビット点滴静注500mg / 200mL	○	○	○	○
クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1: 術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2: 術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3: 治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。
- 4: 感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。
- 5: 本指標は、厚労省の「医療の質の評価・公表等推進事業」により示されたDPCを用いた共通指標の定義を利用している。このうち、いくつか改訂(抗菌薬のコードの見直し)が望ましいものを反映した定義は2118_1として算出を行っているため、併せてご参照ください。

参考値:

参考資料:

1:
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(股関節人工骨頭置換術) (共通定義)

指標番号:

QIP: 2118_w_2

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(股関節人工骨頭置換術) (共通定義)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数 (股関節人工骨頭置換術)

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2:
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150050410	人工関節置換術 (股)
150049510	人工骨頭挿入術 (股)

3:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:
手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。
(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。(例: 手術日が4月2日の場合4月3日を検索)
(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620005060	バイシリンG顆粒4〇万単位	○	○	○	○
640463089	注射用ペニシリンGカリウム2〇万単位	○	○	○	○
620000427	注射用ペニシリンGカリウム1〇〇万単位	○	○	○	○
620006026	ダラシンカプセル75mg	○	○	○	○
620006027	ダラシンカプセル15〇mg	○	○	○	○
620006165	リンコシンカプセル25〇mg	○	○	○	○
620003811	ペランコシン注3〇〇mg		○	○	
620007537	リズピオン注3〇〇mg		○	○	○
621062901	リンコマイシン塩酸塩注3〇〇mg「NP」		○	○	○
620006341	リンコシン注射液3〇〇mg	○	○	○	○
620003812	ペランコシン注6〇〇mg		○	○	

620007538 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621380904	リンコマイシン塩酸塩注600mg「NP」		○	○	○
621380908	リンコマイシン塩酸塩注射液600mg「日医工」		○	○	○
620006342	リンコシン注射液600mg	○	○	○	○
620004196	ペランコシン注1g		○	○	
620004197	ペランコシン注1.5g	○	○	○	
620006344	リンコシン注射液1.5g	○	○	○	○
620006343	リンコシン注射液1g	○	○	○	○
620006261	ダラシンS注射液300mg	○	○	○	○
620008810	クリンダマイシン注射液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
621064601	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「サワイ」	○	○	○	○
622111302	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「トーワ」		○	○	○
621064701	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「F」			○	○
621064501	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「NP」			○	○
620006262	ダラシンS注射液600mg	○	○	○	○
620008811	クリンダマイシン注射液600mg「タイヨー」	○	○	○	○
621065101	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「サワイ」	○	○	○	○
621065201	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「トーワ」		○	○	○
621065301	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「F」			○	○
621065001	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「NP」			○	○
620006226	クリンダマイシン注300mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620006227	クリンダマイシン注600mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620003894	塩酸バンコマイシン散0.5「MEEK」	○	○	○	○
620006791	塩酸バンコマイシン散0.5g(シオノギ)	○	○	○	○
620008047	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620009408	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621738802	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「ファイザー」			○	○
621731302	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「MEEK」			○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g(シオノギ)	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
621971901	バンコマイシン眼軟膏1%	○	○	○	○
621876001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「ケミファ」	○	○	○	
620004729	ハベカシン注射液75mg	○	○	○	○

620009511 シロート電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	アルベカシン硫酸塩注射液 7.5mg 「HK」				
621735001	アルベカシン硫酸塩注射液 7.5mg 「テバ」			○	○
621066501	アルベカシン硫酸塩注射液 100mg 「ケミファ」	○	○	○	
620004730	ハベカシン注射液 100mg	○	○	○	○
620009512	アルベカシン硫酸塩注射液 100mg 「HK」	○	○	○	○
621066401	アルベカシン硫酸塩注射液 100mg 「テバ」			○	○
621924501	アルベカシン硫酸塩注射液 2.5mg 「ケミファ」	○	○	○	
620004728	ハベカシン注射液 2.5mg	○	○	○	○
620009509	アルベカシン硫酸塩注射液 2.5mg 「HK」	○	○	○	○
621896701	アルベカシン硫酸塩注射液 2.5mg 「テバ」			○	○
621950502	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg 「ケミファ」	○	○	○	
620007432	ハベカシン注射液 200mg	○	○	○	○
621955601	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg 「HK」	○	○	○	○
621936302	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg 「テバ」			○	○
620004709	注射用タゴシッド 200mg	○	○	○	○
620008212	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「NP」	○	○	○	○
620008213	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「日医工」	○	○	○	○
620008532	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「F」	○	○	○	○
620008531	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「HK」	○	○	○	○
620008533	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「ケミファ」	○	○	○	○
620008535	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「トーワ」	○	○	○	○
620009572	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「TYK」	○	○	○	○
620009571	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「サワイ」	○	○	○	○
621995201	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「サンド」	○	○	○	○
622227801	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「明治」		○	○	○
621901402	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「ファイザー」			○	○
621884501	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「テバ」			○	○
620009574	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「F」	○	○	○	○
622216601	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「NP」		○	○	○
622207201	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「日医工」		○	○	○
622227901	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「明治」		○	○	○
622338101	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「トーワ」			○	○
622085501	キュビシン静注用 350mg	○	○	○	○
640462005	注射用シナシッド	○	○	○	○
620006477	バクトロバン鼻腔用軟膏 2%	○	○	○	○
646130274	アザクタム注射用 0.5g	○	○	○	○
646130275	アザクタム注射用 1g	○	○	○	○
620008598	カナマイシンカプセル 250mg 「明治」	○	○	○	○
620008599	カナマイシンシロップ 5% 「明治」	○	○	○	○
620008600	カナマイシンドライシロップ 20% 「明治」	○	○	○	○
640453139	トブラシン注小児用 100mg	○	○	○	○
640453140	トブラシン注 600mg	○	○	○	○
646120062	トブラシン注 900mg	○	○	○	○
620003676	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「サワイ」		○	○	○
620004178	ブルテツシン注射液 100mg		○	○	

620006356 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621069302	ロミカシン注射液 100mg		○	○	○
621069501	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「F」			○	○
620003190	アミカマイシン注射液 100mg	○	○	○	○
621069402	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「日医工」	○	○	○	○
621069001	アミカシン硫酸塩注 100mg 「NP」		○	○	○
620003677	アミカシン硫酸塩注射液 200mg 「サワイ」		○	○	○
620003797	プルテツシン注射液 200mg	○	○	○	
620006651	ロミカシン注射液 200mg	○	○	○	
621070102	アミカシン硫酸塩注射液 200mg 「N i k P」		○	○	○
621070301	アミカシン硫酸塩注射液 200mg 「F」			○	○
620003191	アミカマイシン注射液 200mg	○	○	○	○
621070202	アミカシン硫酸塩注射液 200mg 「日医工」	○	○	○	○
621069701	アミカシン硫酸塩注 200mg 「NP」		○	○	○
621070602	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「日医工」	○	○	○	○
621070902	アミカシン硫酸塩注射液 200mg 「日医工」	○	○	○	○
640453078	シオセシン注射液 200	○	○	○	○
620003198	エクサシン注射液 200	○	○	○	○
620003193	イセパシン注射液 200	○	○	○	○
620005641	イセパマイシン硫酸塩注射液 200mg 「日医工」	○	○	○	○
621604701	イセパマイシン硫酸塩注射液 200mg 「サワイ」		○	○	○
646120080	イセパシン注射液 400	○	○	○	○
646120081	エクサシン注射液 400	○	○	○	○
640453079	シオセシン注射液 400	○	○	○	○
620005642	イセパマイシン硫酸塩注射液 400mg 「日医工」	○	○	○	○
621695601	イセパマイシン硫酸塩注射液 400mg 「サワイ」		○	○	○
622213301	トービー吸入液 300mg		○	○	○
620009196	トロビシン筋注用 2g	○	○	○	○
620008618	コリマイシン散 200万単位/g	○	○	○	○
620008753	メタコリマイシン顆粒 200万単位/g	○	○	○	○
620008752	メタコリマイシンカプセル 300万単位	○	○	○	○
622415701	オールドレブ点滴静注用 150mg			○	○
620003657	硫酸ポリミキシンB錠 2.5万単位 「ファイザー」	○	○	○	○
620003658	硫酸ポリミキシンB錠 100万単位 「ファイザー」	○	○	○	○
616120011	セフテムカプセル 100mg	○	○	○	○
616120012	セフテムカプセル 200mg	○	○	○	○
622199101	タイガシル点滴静注用 50mg		○	○	○
622066601	アモキシシリン細粒 10% 「タツミ」	○	○	○	
610454003	アモリン細粒 10%	○	○	○	○
620006920	サワシリン細粒 10%	○	○	○	○
620007026	パセトシン細粒 10%	○	○	○	○
622112902	ワイドシリン細粒 10%			○	○
620005906	アモキシシリン細粒 20% 「タツミ」	○	○	○	
621073001	ワイドシリン細粒 20%			○	○
616130132	サワシリン錠 2.50	○	○	○	○

616139905 シリンジ 電算コード	名称 トシ錠25	2010	2012	2014	2016
616130039	アモリンカプセル125	○	○	○	○
620007024	パセトシンカプセル125	○	○	○	○
622054901	サワシリンカプセル125	○	○	○	○
622066501	アモキシシリンカプセル125mg「タツミ」	○	○	○	○
622111101	アモキシシリンカプセル125mg「トーワ」	○	○	○	○
622127801	アモキシシリンカプセル125mg「日医工」	○	○	○	○
622165902	アモキシシリンカプセル125mg「NP」		○	○	○
616130040	アモリンカプセル25	○	○	○	○
620006829	アモキシシリンカプセル25mg「タツミ」	○	○	○	○
620006919	サワシリンカプセル25	○	○	○	○
620007025	パセトシンカプセル25	○	○	○	○
620008584	アモキシシリンカプセル25mg「日医工」	○	○	○	○
620009117	アモキシシリンカプセル25mg「トーワ」	○	○	○	○
621073901	アモキシシリンカプセル25mg「NP」		○	○	○
621074701	ピクシリンカプセル25mg	○	○	○	○
621075101	ピクシリンドライシロップ1%	○	○	○	○
610451023	ペングッド錠25mg	○	○	○	○
621076301	ユナシン細粒小児用1%	○	○	○	○
621076401	ユナシン錠375mg	○	○	○	○
621076601	ピクシリン注射用0.25g	○	○	○	○
621076801	ピクシリン注射用0.5g	○	○	○	○
621077201	ピクシリン注射用1g	○	○	○	○
621077501	ピクシリン注射用2g	○	○	○	○
621078403	ピペラシリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	
646130136	ペントシリン注射用1g	○	○	○	○
620007456	ピペユンシン注射用1g	○	○	○	○
621078301	ピペラシリンNa注射用1g「サワイ」		○	○	○
621078103	ピペラシリンNa注射用1g「テバ」		○	○	○
621078601	ピペラシリンNa注射用1g「トーワ」		○	○	○
621342601	ピペラシリンNa注射用1g「SN」			○	○
621079203	ピペラシリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	
646130137	ペントシリン注射用2g	○	○	○	○
620007457	ピペユンシン注射用2g	○	○	○	○
621079101	ピペラシリンNa注射用2g「サワイ」		○	○	○
621078903	ピペラシリンNa注射用2g「テバ」		○	○	○
621079401	ピペラシリンNa注射用2g「トーワ」		○	○	○
621342802	ピペラシリンNa注射用2g「SN」			○	○
622079701	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ1g「NP」	○	○	○	
640462059	ペントシリン静注用1gバッグ	○	○	○	○
622079801	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ2g「NP」	○	○	○	
640462060	ペントシリン静注用2gバッグ	○	○	○	○
616130002	L-ケフレックス小児用顆粒	○	○	○	○
616130378	L-キサール顆粒5	○	○	○	○
616130003	L-ケフレックス顆粒	○	○	○	○

セファロシリン電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	アレキシン顆粒500mg「JG」				
621083503	セファレキシン錠250「日医工」		○	○	
620003645	ラリキシン錠250mg	○	○	○	○
610454041	センセファリンカプセル125	○	○	○	○
610454042	センセファリンカプセル250	○	○	○	○
620004512	セファレキシンカプセル250mg「トーワ」	○	○	○	○
620004981	ケフレックスカプセル250mg	○	○	○	○
610453048	ケフレックスシロップ用細粒100	○	○	○	○
610454043	センセファリンシロップ用細粒10%	○	○	○	○
620003646	ラリキシンドライシロップ小児用10%	○	○	○	○
616130115	ケフレックスシロップ用細粒200	○	○	○	○
616130229	センセファリンシロップ用細粒20%	○	○	○	○
620003647	ラリキシンドライシロップ小児用20%	○	○	○	○
621085602	セファレキシンドライシロップ小児用50%「日医工」		○	○	
621087903	セファクロル細粒10%「日医工」		○	○	○
616130112	ケフラー細粒小児用100mg	○	○	○	○
621086806	セファクロル細粒小児用10%「JG」			○	○
621087001	セファクロル細粒小児用10%「サワイ」			○	○
621088403	セファクロル細粒20%「日医工」		○	○	
616130469	L-ケフラー顆粒	○	○	○	○
616130110	ケフラーカプセル250mg	○	○	○	○
620008657	トキクロルカプセル250mg	○	○	○	○
621088802	セファクロルカプセル250mg「TCK」		○	○	○
621089701	セファクロルカプセル250mg「トーワ」		○	○	○
621089501	セファクロルカプセル250mg「日医工」		○	○	○
621088705	セファクロルカプセル250mg「JG」			○	○
621089103	セファクロルカプセル250mg「SN」			○	○
621088901	セファクロルカプセル250mg「サワイ」			○	○
620005947	オラスポア小児用ドライシロップ10%	○	○	○	○
616130404	セフspan細粒50mg	○	○	○	○
610453059	セフィーナ細粒50	○	○	○	○
620000061	セフィーナ細粒100	○	○	○	○
616130405	セフspanカプセル50mg	○	○	○	○
616130406	セフspanカプセル100mg	○	○	○	○
620002756	テラミロン細粒小児用10%	○	○	○	○
620003583	トミロン細粒小児用10%	○	○	○	○
621675801	セフテラムピボキシル細粒小児用10%「日医工」		○	○	○
616130407	トミロン錠50	○	○	○	○
616130408	トミロン錠100	○	○	○	○
620004958	オラセフ錠250mg	○	○	○	○
620003968	セフボドキシムプロキセチル錠100「TCK」	○	○	○	○
620003970	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620008681	バナン錠100mg	○	○	○	○
621744203	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「JG」		○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
62174401 621747601	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「トーワ」 セフボドキシムプロキセチル錠100mg「サワイ」			○	○
620008682	パナンドライシロップ5%	○	○	○	○
621747701	セフボドキシムプロキセチルD S小児用5%「サワイ」			○	○
616130476	パンスポリンT錠100	○	○	○	○
616130477	パンスポリンT錠200	○	○	○	○
620004513	セフゾン細粒小児用10%	○	○	○	○
621935801	セフジニル細粒小児用10%「タイヨー」	○	○	○	○
620008483	セフジニル細粒小児用10%「YD」	○	○	○	○
620008482	セフジニル細粒小児用10%「サワイ」	○	○	○	○
620008484	セフジニル細粒10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620009343	セフジニル細粒10%小児用「TYK」	○	○	○	○
620009344	セフニール細粒小児用10%	○	○	○	○
621889403	セフジニル細粒小児用10%「JG」		○	○	○
621885302	セフジニル細粒10%小児用「ファイザー」			○	○
621935901	セフジニル細粒小児用20%「タイヨー」	○	○	○	○
620008488	セフジニル錠50mg「サワイ」	○	○	○	○
620008490	セフジニル錠100mg「サワイ」	○	○	○	○
616130531	セフゾンカプセル50mg	○	○	○	○
620008491	セフニールカプセル50mg	○	○	○	○
620009334	セフジニルカプセル50mg「TCK」	○	○	○	○
620009335	セフジニルカプセル50mg「TYK」	○	○	○	○
620009337	セフジニルカプセル50mg「YD」	○	○	○	○
620009336	セフジニルカプセル50mg「日医工」	○	○	○	○
621910002	セフジニルカプセル50mg「JG」		○	○	○
621885102	セフジニルカプセル50mg「ファイザー」			○	○
616130532	セフゾンカプセル100mg	○	○	○	○
620008492	セフニールカプセル100mg	○	○	○	○
620009339	セフジニルカプセル100mg「TCK」	○	○	○	○
620009340	セフジニルカプセル100mg「TYK」	○	○	○	○
620009342	セフジニルカプセル100mg「YD」	○	○	○	○
620009341	セフジニルカプセル100mg「日医工」	○	○	○	○
621910102	セフジニルカプセル100mg「JG」		○	○	○
621885202	セフジニルカプセル100mg「ファイザー」			○	○
620005503	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「CH」	○	○	○	○
620005501	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「EMEC」	○	○	○	○
620005502	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「サワイ」	○	○	○	○
620005499	セフジトレンピボキシル細粒小児用10%「トーワ」	○	○	○	○
620005500	セフジトレンピボキシル細粒10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620008746	メイアクトMS小児用細粒10%	○	○	○	○
620004080	メイアクトMS錠100mg	○	○	○	○
620005506	セフジトレンピボキシル錠100mg「CH」	○	○	○	○
620005505	セフジトレンピボキシル錠100mg「サワイ」	○	○	○	○
620005507	セフジトレンピボキシル錠100mg「トーワ」	○	○	○	○
620005508	セフジトレンピボキシル錠100mg「日医工」	○	○	○	○

シヤクザン電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621955901	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用 100mg 「CH」	○	○	○	○
621939401	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用 100mg 「JG」	○	○	○	○
621940201	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用 100mg 「YD」	○	○	○	○
621946301	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用 100mg 「トーフ」	○	○	○	○
621931001	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用 100mg 「TCK」	○	○	○	○
621962401	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用 100mg 「日医工」	○	○	○	○
621962501	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用 100mg 「サワイ」	○	○	○	○
621942904	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用 100mg 「ファイザー」			○	○
610411057	フロモックス錠 75mg	○	○	○	○
620009331	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 75mg 「サワイ」	○	○	○	○
621956001	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 75mg 「CH」	○	○	○	○
621930801	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 75mg 「TCK」	○	○	○	○
621940301	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 75mg 「YD」	○	○	○	○
621947501	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 75mg 「トーフ」	○	○	○	○
621962601	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 75mg 「日医工」	○	○	○	○
621943004	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 75mg 「ファイザー」			○	○
610411058	フロモックス錠 100mg	○	○	○	○
620009332	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg 「サワイ」	○	○	○	○
621956101	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg 「CH」	○	○	○	○
621930901	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg 「TCK」	○	○	○	○
621940401	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg 「YD」	○	○	○	○
621947601	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg 「トーフ」	○	○	○	○
621962701	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg 「日医工」	○	○	○	○
621943104	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg 「ファイザー」			○	○
646130121	パンスポリン筋注用0.25g	○	○	○	○
646130110	ハロスポア静注用0.25g	○	○	○	○
646130122	パンスポリン静注用0.25g	○	○	○	○
620004140	セファピコール静注用0.25g	○	○	○	○
620007293	ケミスポリン静注用0.25g	○	○	○	○
621989702	セフォチアム塩酸塩静注用0.25g 「日医工」		○	○	○
621987602	セフォチアム塩酸塩静注用0.25g 「NP」		○	○	○
621924001	セフォチアム塩酸塩静注用0.25g 「SN」			○	○
646130111	ハロスポア静注用0.5g	○	○	○	○
646130123	パンスポリン静注用0.5g	○	○	○	○
620004141	セファピコール静注用0.5g	○	○	○	○
620007294	ケミスポリン静注用0.5g	○	○	○	○
621989802	セフォチアム塩酸塩静注用0.5g 「日医工」		○	○	○
621344901	セフォチアム塩酸塩静注用0.5g 「NP」		○	○	○
621924101	セフォチアム塩酸塩静注用0.5g 「SN」			○	○
646130112	ハロスポア静注用1g	○	○	○	○
646130124	パンスポリン静注用1g	○	○	○	○
620003732	セファピコール静注用1g	○	○	○	○
620007295	ケミスポリン静注用1g	○	○	○	○
621345002	セフォチアム塩酸塩静注用1g 「日医工」		○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621345301	セフォチアム塩酸塩静注用1g「NPJ」				
621095002	セフォチアム塩酸塩静注用1g「SNJ」			○	○
640408149	パンスポリン静注用1gバッグS	○	○	○	○
620009563	セフォチアム静注用1gバッグ「日医工」	○	○	○	○
621540002	セフォチアム塩酸塩点滴静注用1gバッグ「NPJ」		○	○	○
640408148	パンスポリン静注用1gバッグG	○	○	○	○
620003735	セファメジンα注射用●. 2.5g	○	○	○	○
622104201	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
622130801	セファゾリンナトリウム注射用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622177601	トキオ注射用●. 2.5g		○	○	○
622124902	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「NPJ」			○	○
622033402	セファゾリンNa注射用●. 5g「NPJ」			○	○
622104301	セファゾリンNa注射用●. 5g「タイヨー」		○	○	○
622177701	トキオ注射用●. 5g		○	○	○
620003736	セファメジンα注射用●. 5g	○	○	○	○
621096002	セファゾリンナトリウム注射用●. 5g「日医工」		○	○	○
620003737	セファメジンα注射用1g	○	○	○	○
621096701	トキオ注射用1g	○	○	○	○
621096503	セファゾリンNa注射用1g「タイヨー」	○	○	○	○
621096802	セファゾリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	○
621096601	セファゾリンNa注射用1g「NPJ」			○	○
620003738	セファメジンα注射用2g	○	○	○	○
621097303	セファゾリンNa注射用2g「タイヨー」	○	○	○	○
622177801	トキオ注射用2g		○	○	○
621097602	セファゾリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	○
621097401	セファゾリンNa注射用2g「NPJ」			○	○
620003733	セファメジンα筋注用●. 2.5g	○	○	○	○
620003734	セファメジンα筋注用●. 5g	○	○	○	○
620003740	セファメジンα点滴用キット2g	○	○	○	○
620003739	セファメジンα点滴用キット1g	○	○	○	○
620007318	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「オーツカ」	○	○	○	○
621757001	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「NPJ」			○	○
620005674	コアキシシ注射用1g	○	○	○	○
620005675	コアキシシ注射用2g	○	○	○	○
646130072	セフメタゾン筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130073	セフメタゾン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622125001	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「NPJ」	○	○	○	○
622131001	セフメタゾールナトリウム静注用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622111501	リリアジン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622104002	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「テバ」			○	○
646130074	セフメタゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
621987501	セフメタゾールNa静注用●. 5g「NPJ」	○	○	○	○
622131101	セフメタゾールナトリウム静注用●. 5g「日医工」	○	○	○	○
622111601	リリアジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622104102	セフメタゾールNa静注用●. 5g「テバ」			○	○

646130075 シード電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620006243	セフメタゾールN a 静注用 1 g 「NP」	○	○	○	○
620007540	リリアジン静注用 1 g	○	○	○	○
621102102	セフメタゾールナトリウム静注用 1 g 「日医工」		○	○	○
621101803	セフメタゾールN a 静注用 1 g 「テバ」			○	○
646130076	セフメタゾン静注用 2 g	○	○	○	○
620006244	セフメタゾールN a 静注用 2 g 「NP」	○	○	○	○
620007541	リリアジン静注用 2 g	○	○	○	○
621102802	セフメタゾールナトリウム静注用 2 g 「日医工」		○	○	○
621101903	セフメタゾールN a 静注用 2 g 「テバ」			○	○
640470010	セフメタゾンキット点滴静注用 1 g	○	○	○	○
620004151	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 1 g 「NP」	○	○	○	○
621951701	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 2 g 「NP」	○	○	○	○
640454018	セフォタックス注射用●. 5 g	○	○	○	○
620004652	クラフォラン注射用●. 5 g	○	○	○	○
640454019	セフォタックス注射用 1 g	○	○	○	○
620004653	クラフォラン注射用 1 g	○	○	○	○
646130067	セフォビッド注射用 1 g	○	○	○	○
646130071	セフォペラジン注射用 1 g	○	○	○	○
646130132	ベストコール筋注用●. 5 g	○	○	○	○
646130133	ベストコール静注用●. 5 g	○	○	○	○
646130134	ベストコール静注用 1 g	○	○	○	○
620002999	モダケミン静注用●. 5 g	○	○	○	○
620003827	モダシン静注用●. 5 g	○	○	○	○
620006701	セフトジジム静注用●. 5 g 「マイラン」	○	○	○	○
621967001	セフトジジム静注用●. 5 g 「サンド」	○	○	○	○
621936401	セフトジジム静注用●. 5 g 「タイヨー」	○	○	○	○
622052901	セフトジジム静注用●. 5 g 「サワイ」	○	○	○	○
622124801	セフトジジム静注用●. 5 g 「NP」	○	○	○	○
621756202	セフトジジム静注用●. 5 g 「日医工」		○	○	○
621755802	セフトジジム静注用●. 5 g 「SN」			○	○
620003000	モダケミン静注用 1 g	○	○	○	○
620003001	モベンゾシン静注用 1 g	○	○	○	○
620003828	モダシン静注用 1 g	○	○	○	○
620005676	セフトジジム静注用 1 g 「NP」	○	○	○	○
620006702	セフトジジム静注用 1 g 「マイラン」	○	○	○	○
621967101	セフトジジム静注用 1 g 「サンド」	○	○	○	○
621703001	セフトジジム静注用 1 g 「サワイ」	○	○	○	○
621756502	セフトジジム静注用 1 g 「日医工」		○	○	○
621755902	セフトジジム静注用 1 g 「SN」			○	○
646130268	ロセフィン静注用●. 5 g	○	○	○	○
640463134	リアソフィン静注用●. 5 g	○	○	○	○
620009566	セフキソン静注用●. 5 g	○	○	○	○
620009567	セフトリアキソンN a 静注用●. 5 g 「サンド」	○	○	○	○
621987301	セフトリアキソンナトリウム静注用●. 5 g 「NP」	○	○	○	○

621967202 セプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621538203	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「サワイ」		○	○	○
622077302	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「ファイザー」		○	○	○
621836501	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「テバ」		○	○	○
646130269	ロセフィン静注用1g	○	○	○	○
640463135	リアソフィン静注用1g	○	○	○	○
640463080	セフキソン静注用1g	○	○	○	○
620009568	セフトリアキソンNa静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621987401	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「NP」	○	○	○	○
621488601	セフトリアキソンNa静注用1g「サワイ」		○	○	○
621538303	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	○
621555202	セフトリアキソンNa静注用1g「ファイザー」		○	○	○
621555101	セフトリアキソンNa静注用1g「テバ」		○	○	○
640470011	ロセフィン点滴静注用1gバッグ	○	○	○	○
620002955	セフトリアキソンナトリウム点滴用1gバッグ「NP」	○	○	○	○
622051701	セフトリアキソンナトリウム点滴静注用バッグ1g「ファイザー」	○	○	○	○
620007514	メイセリン静注用1g	○	○	○	○
620004148	セフピロム硫酸塩静注用●. 5g「CMX」	○	○	○	○
620006706	硫酸セフピロム静注用●. 5g「マイラン」	○	○	○	○
620004149	セフピロム硫酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
620006707	硫酸セフピロム静注用1g「マイラン」	○	○	○	○
640407076	注射用マキシピーム●. 5g	○	○	○	○
621966801	セフェピム塩酸塩静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621994601	セフェピム塩酸塩静注用●. 5g「CMX」	○	○	○	○
640407077	注射用マキシピーム1g	○	○	○	○
621966901	セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621994701	セフェピム塩酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
640407080	ファーストシン静注用●. 5g	○	○	○	○
640407081	ファーストシン静注用1g	○	○	○	○
640443046	ファーストシン静注用1gバッグS	○	○	○	○
640443047	ファーストシン静注用1gバッグG	○	○	○	○
666130005	エポセリン坐剤125	○	○	○	○
666130006	エポセリン坐剤25●	○	○	○	○
646130037	シオマリン静注用1g	○	○	○	○
646130301	フルマリン静注用●. 5g	○	○	○	○
646130302	フルマリン静注用1g	○	○	○	○
640443048	フルマリンキット静注用1g	○	○	○	○
620005201	パニマイシン注射液5●mg	○	○	○	○
620005202	パニマイシン注射液1●●mg	○	○	○	○
620005180	注射用パニマイシン1●●mg	○	○	○	○
620003780	ピスタマイシン筋注5●●mg	○	○	○	○
620003781	ピスタマイシン筋注1●●●mg	○	○	○	○
646120011	ゲンタシン注1●	○	○	○	○
622037301	ゲンタマイシン硫酸塩注射液1●mg「日医工」	○	○	○	○
622074801	エルタシン注1●mg	○	○	○	○

622074802 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621111803	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 1 0mg 「F」		○	○	○
	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 4 0mg 「日医工」				
620003210	ゲンタシン注 4 0	○	○	○	○
620006210	エルタシン注 4 0mg	○	○	○	○
621111802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 4 0mg 「F」				○
646120012	ゲンタシン注 6 0	○	○	○	○
620006211	エルタシン注 6 0mg	○	○	○	○
621112004	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 6 0mg 「日医工」		○	○	○
621112003	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 6 0mg 「F」				○
616130512	ホスミシン錠 2 5 0	○	○	○	○
616130513	ホスミシン錠 5 0 0	○	○	○	○
621946401	ホスマイカプセル 2 5 0mg	○	○	○	○
621964002	ホスホマイシンカルシウムカプセル 2 5 0mg 「日医工」		○	○	○
620008731	ホスマイカプセル 5 0 0mg	○	○	○	○
621113002	ホスホマイシンカルシウムカプセル 5 0 0mg 「日医工」		○	○	○
616130332	ホスミシンドライシロップ 2 0 0	○	○	○	○
616130526	ホスホミシンドライシロップ 4 0 0	○	○	○	○
616130333	ホスミシンドライシロップ 4 0 0	○	○	○	○
621113712	ホスホマイシンカルシウムドライシロップ 4 0% 「日医工」		○	○	
621812201	ホスホマイシンナトリウム静注用 0. 5 g 「日医工」		○	○	
622104401	フラゼミシン静注用 0. 5 g	○	○	○	
622131501	ホスカリーゼ静注用 0. 5 g	○	○	○	
620003815	ホスミシンS 静注用 0. 5 g	○	○	○	○
622079901	ホスホマイシンNa 静注用 0. 5 g 「NP」		○	○	
622045702	ホスホマイシンNa 静注用 0. 5 g 「タカタ」		○	○	○
620004750	フラゼミシン静注用 1 g	○	○	○	
620004767	ホスカリーゼ静注用 1 g	○	○	○	
621766301	ホスホマイシンナトリウム静注用 1 g 「日医工」		○	○	
620003816	ホスミシンS 静注用 1 g	○	○	○	○
620006316	ホスホマイシンNa 静注用 1 g 「NP」	○	○	○	○
621114602	ホスホマイシンNa 静注用 1 g 「タカタ」		○	○	○
620004751	フラゼミシン静注用 2 g	○	○	○	
620004768	ホスカリーゼ静注用 2 g	○	○	○	
621766401	ホスホマイシンナトリウム静注用 2 g 「日医工」		○	○	
620003817	ホスミシンS 静注用 2 g	○	○	○	○
620006317	ホスホマイシンNa 静注用 2 g 「NP」	○	○	○	○
621115302	ホスホマイシンNa 静注用 2 g 「タカタ」		○	○	○
620007477	フラゼミシン点滴静注用 2 g キット	○	○	○	○
640451022	ホスミシンS バッグ 1 g 点滴静注用	○	○	○	○
640451023	ホスミシンS バッグ 2 g 点滴静注用	○	○	○	○
610411055	ファロム錠 1 5 0mg	○	○	○	○
610411056	ファロム錠 2 0 0mg	○	○	○	○
620008702	ファロムドライシロップ小児用 1 0%	○	○	○	○
621926801	オラペナム小児用細粒 1 0%	○	○	○	○
621116201	オーグメンチン配合錠 1 2 5 S S	○	○	○	○

62116301 レセプト電算コード	名称 オメガメンチン配合錠2.5gRS クラバモックス小児用配合ドライシロップ	2010	2012	2014	2016
620007519	メロペン点滴用バイアル●, 2.5g	○	○	○	○
620009585	メロペネム点滴静注用●, 2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009586	メロペネム点滴静注用●, 2.5g「日医工」	○	○	○	○
621952301	メロペネム点滴静注用●, 2.5g「NP」	○	○	○	○
621950101	メロペネム点滴静注用●, 2.5g「ケミファ」	○	○	○	○
621967801	メロペネム点滴静注用●, 2.5g「サワイ」	○	○	○	○
621967901	メロペネム点滴静注用●, 2.5g「タナベ」	○	○	○	○
621946701	メロペネム点滴静注用●, 2.5g「トーワ」	○	○	○	○
621947901	メロペネム点滴静注用●, 2.5g「明治」	○	○	○	○
622044201	メロペネム点滴静注用●, 2.5g「ファイザー」	○	○	○	○
620007520	メロペン点滴用バイアル●, 5g	○	○	○	○
620009587	メロペネム点滴静注用●, 5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009588	メロペネム点滴静注用●, 5g「日医工」	○	○	○	○
621952401	メロペネム点滴静注用●, 5g「NP」	○	○	○	○
621950201	メロペネム点滴静注用●, 5g「ケミファ」	○	○	○	○
621968001	メロペネム点滴静注用●, 5g「サワイ」	○	○	○	○
621968101	メロペネム点滴静注用●, 5g「タナベ」	○	○	○	○
621946801	メロペネム点滴静注用●, 5g「トーワ」	○	○	○	○
621948001	メロペネム点滴静注用●, 5g「明治」	○	○	○	○
622044301	メロペネム点滴静注用●, 5g「ファイザー」	○	○	○	○
622439001	メロペネム点滴静注用1g「NP」			○	○
622419401	メロペネム点滴静注用1g「明治」			○	○
620007518	メロペン点滴用キット●, 5g	○	○	○	○
621952501	メロペネム点滴静注用バッグ●, 5g「NP」	○	○	○	○
621967701	メロペネム点滴静注用バッグ●, 5g「日医工」	○	○	○	○
621931801	メロペネム点滴静注用バッグ●, 5g「明治」	○	○	○	○
622471301	メロペネム点滴静注用バッグ1g「NP」			○	○
622460901	メロペネム点滴静注用バッグ1g「明治」			○	○
640451036	オメガシン点滴用●, 3g	○	○	○	○
640451037	オメガシン点滴用●, 3gバッグ	○	○	○	○
621708501	フィニバックス点滴静注用●, 2.5g	○	○	○	○
622078501	フィニバックス点滴静注用●, 5g	○	○	○	○
621727601	フィニバックス点滴静注用キット●, 2.5g	○	○	○	○
646130264	スルペラゾン静注用●, 5g	○	○	○	○
620004152	セフロニック静注用●, 5g	○	○	○	○
620007316	スperlゾン静注用●, 5g	○	○	○	○
622083601	スルタムジン静注用●, 5g	○	○	○	○
622099301	セフォセフ静注用●, 5g	○	○	○	○
622130901	セフォン静注用●, 5g	○	○	○	○
622111401	バクフォーゼ静注用●, 5g	○	○	○	○
622080002	ワイスターール配合静注用●, 5g		○	○	○
646130265	スルペラゾン静注用1g	○	○	○	○
640444050	セフォセフ静注用1g	○	○	○	○

640444051 シロート電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
640444071	チエオン静注用 1g バクフォーゼ静注用 1g	○	○	○	○
640453097	スルタムジン静注用 1g	○	○	○	○
620003742	セフロニック静注用 1g	○	○	○	○
620007317	スペルゾン静注用 1g	○	○	○	○
621347901	ワイスターール配合静注用 1g		○	○	○
621116801	スルペラゾンキット静注用 1g	○	○	○	○
621441901	ワイスターール配合点滴静注用 1g バッグ		○	○	○
620004108	インダスト点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620007364	チエナム点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620008211	チエペナム点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622010201	チエクール点滴用●. 2.5g	○	○	○	○
622127601	イミペナム・シラスタチン点滴用●. 2.5g 「サンド」	○	○	○	○
622172601	イミスタン点滴静注用●. 2.5g		○	○	○
620003703	インダスト点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620004106	イミスタン点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620004155	チエクール点滴用●. 5g	○	○	○	○
620004707	チエペナム点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620005643	イミペナム・シラスタチン点滴用●. 5g 「サンド」	○	○	○	○
620007365	チエナム点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620007362	チエナム筋注用●. 5g	○	○	○	○
620007363	チエナム点滴静注用キット●. 5g	○	○	○	○
646130368	カルベニン点滴用●. 2.5g	○	○	○	○
646130369	カルベニン点滴用●. 5g	○	○	○	○
640406222	ユナシン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620003003	ユナスピン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004132	スルバクシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004134	スルバシリン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620005874	ピスルシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620009560	スルバクタム・アンピシリン静注用●. 7.5g 「サンド」	○	○	○	○
622118402	ピシリバクタ静注用●. 7.5g	○	○	○	○
622100601	ユーシオン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
640406223	ユナシン - S 静注用 1.5g	○	○	○	○
620002977	ピシリバクタ静注用 1.5g	○	○	○	○
620003002	ユーシオン - S 静注用 1.5g	○	○	○	○
620003004	ユナスピン静注用 1.5g	○	○	○	○
620004133	スルバクシン静注用 1.5g	○	○	○	○
620004135	スルバシリン静注用 1.5g	○	○	○	○
620005875	ピスルシン静注用 1.5g	○	○	○	○
620009561	スルバクタム・アンピシリン静注用 1.5g 「サンド」	○	○	○	○
622250001	ユナシン - S 静注用 3g		○	○	○
622419601	スルバシリン静注用 3g			○	○
622408701	ピスルシン静注用 3g			○	○
622464401	スルバクシン静注用 3g			○	○
622467201	ピシリバクタ静注用 3g			○	○

622458201 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622441301	ユナスピン静注用3g			○	○
620004775	ユナシン - Sキット静注用1.5g	○	○	○	○
620004776	ユナシン - Sキット静注用3g	○	○	○	○
620008446	ゾシン静注用2.25	○	○	○	○
622441401	タゾピペ配合静注用2.25「CHM」			○	○
622464701	タゾピペ配合静注用2.25「DK」			○	○
622453701	タゾピペ配合静注用2.25「DSEP」			○	○
622450601	タゾピペ配合静注用2.25「SN」			○	○
622461801	タゾピペ配合静注用2.25「サンド」			○	○
622458801	タゾピペ配合静注用2.25「テバ」			○	○
622467001	タゾピペ配合静注用2.25「日医工」			○	○
622470601	タゾピペ配合静注用2.25「ニプロ」			○	○
622455601	タゾピペ配合静注用2.25「ファイザー」			○	○
622460701	タゾピペ配合静注用2.25「明治」			○	○
620008447	ゾシン静注用4.5	○	○	○	○
622441501	タゾピペ配合静注用4.5「CHM」			○	○
622464801	タゾピペ配合静注用4.5「DK」			○	○
622453801	タゾピペ配合静注用4.5「DSEP」			○	○
622450701	タゾピペ配合静注用4.5「SN」			○	○
622461901	タゾピペ配合静注用4.5「サンド」			○	○
622458901	タゾピペ配合静注用4.5「テバ」			○	○
622467101	タゾピペ配合静注用4.5「日医工」			○	○
622470701	タゾピペ配合静注用4.5「ニプロ」			○	○
622455701	タゾピペ配合静注用4.5「ファイザー」			○	○
622460801	タゾピペ配合静注用4.5「明治」			○	○
622423101	ゾシン配合点滴静注用バッグ4.5			○	○
622454001	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「DSEP」			○	○
622470901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ニプロ」			○	○
622455901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ファイザー」			○	○
622462101	タゾピペ配合点滴静注用4.5バッグ「サンド」			○	○
622453901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「DSEP」			○	○
622470801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ニプロ」			○	○
622455801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ファイザー」			○	○
622462001	タゾピペ配合点滴静注用2.25バッグ「サンド」			○	○
620000022	エリスロシンW顆粒2.0%	○	○	○	○
620001975	エリスロシンドライシロップ1.0%	○	○	○	○
620001974	エリスロシンドライシロップW2.0%	○	○	○	○
620004463	エリスロマイシン錠2.0.0mg「サワイ」	○	○	○	○
620000020	エリスロシン錠1.0.0mg	○	○	○	○
620000021	エリスロシン錠2.0.0mg	○	○	○	○
621120001	エリスロシン点滴静注用5.0.0mg	○	○	○	○
620003495	アセチルスピラマイシン錠1.0.0	○	○	○	○
620003496	アセチルスピラマイシン錠2.0.0	○	○	○	○
620003554	ジョサマイシン錠5.0mg	○	○	○	○

2003年5月電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
6200035	サマイシン錠200mg				
620004503	ジョサマイシロップ3%	○	○	○	○
620004504	ジョサマイシロップ10%	○	○	○	○
616140099	ルリッド錠150	○	○	○	○
620002885	ロキシマイン錠150mg	○	○	○	○
620004096	ロキスロマイシン錠150mg「サンド」	○	○	○	○
621681102	ロキスロマイシン錠150mg「RM」		○	○	○
621694602	ロキスロマイシン錠150mg「ファイザー」		○	○	○
621693303	ロキスロマイシン錠150mg「JG」		○	○	○
621694201	ロキスロマイシン錠150mg「サワイ」			○	○
621675901	ロキスロマイシン錠150mg「日医工」			○	○
616140101	クラリシッド錠50mg小児用	○	○	○	○
616140104	クラリス錠50小児用	○	○	○	○
620003921	クラリスロマイシン錠50mg小児用「CH」	○	○	○	○
620003918	クラリスロマイシン錠50mg小児用「EMEC」	○	○	○	○
620003919	クラリスロマイシン錠50mg小児用「NP I」	○	○	○	○
620003917	クラリスロマイシン錠50小児用「TCK」	○	○	○	○
620003920	クラリスロマイシン錠50mg小児用「サワイ」	○	○	○	○
620003922	クラリスロマイシン錠50mg小児用「タイヨー」	○	○	○	○
620003916	クラリスロマイシン錠小児用50mg「タカタ」	○	○	○	○
620003923	クラリスロマイシン錠50mg小児用「日医工」	○	○	○	○
620003945	クラロイシン錠50小児用	○	○	○	○
620004075	マインベース錠50小児用	○	○	○	○
620005425	クラリスロマイシン錠50小児用「MEEK」	○	○	○	○
620006669	クラリスロマイシン錠50mg小児用「マイラン」	○	○	○	○
622079301	クラリスロマイシン錠50mg小児用「NP」	○	○	○	○
621741203	クラリスロマイシン錠50mg小児用「杏林」		○	○	○
621752801	クラリスロマイシン錠小児用50mg「トーワ」		○	○	○
616140102	クラリシッド錠200mg	○	○	○	○
616140105	クラリス錠200	○	○	○	○
620003932	クラリスロマイシン錠200mg「CH」	○	○	○	○
620003928	クラリスロマイシン錠200mg「EMEC」	○	○	○	○
620003926	クラリスロマイシン錠200「MEEK」	○	○	○	○
620003929	クラリスロマイシン錠200mg「NP I」	○	○	○	○
620003927	クラリスロマイシン錠200「TCK」	○	○	○	○
620003930	クラリスロマイシン錠200mg「サワイ」	○	○	○	○
620003931	クラリスロマイシン錠200mg「サンド」	○	○	○	○
620003933	クラリスロマイシン錠200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620003934	クラリスロマイシン錠200mg「タカタ」	○	○	○	○
620003935	クラリスロマイシン錠200mg「日医工」	○	○	○	○
620003946	クラロイシン錠200	○	○	○	○
620004076	マインベース錠200	○	○	○	○
620006670	クラリスロマイシン錠200mg「マイラン」	○	○	○	○
620008013	クラリスロマイシン錠200mg「タナベ」	○	○	○	○

622079401 621742103 電算コード	名称 クラリスロマイシン錠200mg「NP」 クラリスロマイシン錠200mg「杏林」	2010	2012	2014	2016
621752901	クラリスロマイシン錠200mg「トーワ」		○	○	○
620003940	クラリスロマイシンDS10%小児用「EMEC」	○	○	○	○
620003941	クラリスロマイシンDS10%小児用「サワイ」	○	○	○	○
620003943	クラリスロマイシンDS小児用10%「タカタ」	○	○	○	○
620003942	クラリスロマイシンDS10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620003939	クラリスロマイシンDS10%「MEEK」	○	○	○	○
620004077	マインベースDS10%小児用	○	○	○	○
620004476	クラリシッド・ドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620004974	クラリスドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620005426	クラリスロマイシンドライシロップ10%小児用「タイヨー」	○	○	○	○
620005427	クラロイシンドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620006671	クラリスロマイシンドライシロップ10%小児用「マイラン」	○	○	○	○
621753001	クラリスロマイシンDS小児用10%「トーワ」		○	○	○
621348401	ジスロマック細粒小児用10%	○	○	○	○
622295301	アジスロマイシン細粒小児用10%「JG」		○	○	○
622303301	アジスロマイシン細粒小児用10%「SN」		○	○	○
622269501	アジスロマイシン細粒小児用10%「YD」		○	○	○
622274301	アジスロマイシン細粒10%小児用「KN」		○	○	○
622274501	アジスロマイシン小児用細粒10%「タカタ」		○	○	○
622353101	アジスロマイシン細粒小児用10%「TCK」			○	○
622411501	アジスロマイシン細粒小児用10%「トーワ」			○	○
610443026	ジスロマック錠250mg	○	○	○	○
622286701	アジスロマイシン錠250mg「DSEP」		○	○	○
622294801	アジスロマイシン錠250mg「F」		○	○	○
622290801	アジスロマイシン錠250mg「JG」		○	○	○
622274201	アジスロマイシン錠250mg「KN」		○	○	○
622276801	アジスロマイシン錠250mg「KOG」		○	○	○
622296901	アジスロマイシン錠250mg「NP」		○	○	○
622303401	アジスロマイシン錠250mg「SN」		○	○	○
622269601	アジスロマイシン錠250mg「YD」		○	○	○
622275601	アジスロマイシン錠250mg「アメル」		○	○	○
622295401	アジスロマイシン錠250mg「サワイ」		○	○	○
622289801	アジスロマイシン錠250mg「サンド」		○	○	○
622274401	アジスロマイシン錠250mg「タカタ」		○	○	○
622282801	アジスロマイシン錠250mg「テバ」		○	○	○
622281501	アジスロマイシン錠250mg「トーワ」		○	○	○
622270801	アジスロマイシン錠250mg「日医工」		○	○	○
622275401	アジスロマイシン錠250mg「わかもと」		○	○	○
622352901	アジスロマイシン錠250mg「TCK」			○	○
622368001	アジスロマイシン錠250mg「CHM」			○	○
610451034	ジスロマック錠600mg	○	○	○	○
622274601	アジスロマイシン小児用錠100mg「タカタ」		○	○	○
622281601	アジスロマイシン錠500mg「トーワ」		○	○	○

622270901 610443024	電算コード	アジスロマイシン錠500mg「日医工」 アジスロマックカプセル小児用100mg	2010	2012	2014	2016
622290701		アジスロマイシンカプセル小児用100mg「JG」		○	○	○
622303201		アジスロマイシンカプセル小児用100mg「SN」		○	○	○
622269401		アジスロマイシンカプセル小児用100mg「YD」		○	○	○
622353001		アジスロマイシンカプセル小児用100mg「TCK」			○	○
620009094		ジスロマックSR成人用ドライシロップ2g	○	○	○	○
622085701		ジスロマック点滴静注用500mg	○	○	○	○
621122501		クロロマイセチン錠50	○	○	○	○
621122601		クロロマイセチン錠250	○	○	○	○
621122801		クロロマイセチンサクシネート静注用1g	○	○	○	○
616150003		アクロマイシンVカプセル50mg	○	○	○	○
616150002		アクロマイシンVカプセル250mg	○	○	○	○
621123301		レダマイシンカプセル150mg	○	○	○	○
620006083		ビブラマイシン錠50mg	○	○	○	○
620006084		ビブラマイシン錠100mg	○	○	○	○
620007109		ミノマイシン顆粒2%	○	○	○	○
621124301		ミノサイクリン塩酸塩顆粒2%「サワイ」		○	○	○
616150088		ミノマイシン錠50mg	○	○	○	○
621124603		塩酸ミノサイクリン錠50「日医工」		○	○	○
621124801		ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「サワイ」		○	○	○
621125101		ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「トーフ」		○	○	○
616150064		ミノマイシン錠100mg	○	○	○	○
621125401		ミノサイクリン塩酸塩錠100mg「サワイ」		○	○	○
621125701		ミノサイクリン塩酸塩錠100mg「トーフ」		○	○	○
616150063		ミノマイシンカプセル50mg	○	○	○	○
610454083		ミノマイシンカプセル100mg	○	○	○	○
621126003		塩酸ミノサイクリンカプセル100「日医工」		○	○	○
620004770		ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「日医工」		○	○	○
620005226		ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620007513		ミノマイシン点滴静注用100mg	○	○	○	○
621126801		ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「サワイ」		○	○	○
621126501		ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「F」			○	○
620003244		硫酸ストレプトマイシン1g注射用「明治」	○	○	○	○
620008620		サイクロセリンカプセル250mg「明治」	○	○	○	○
620004093		リファンピシンカプセル150mg「サンド」	○	○	○	○
620008583		アプテシンカプセル150mg	○	○	○	○
621127501		リファジンカプセル150mg	○	○	○	○
620007375		ツベラクチン筋注用1g	○	○	○	○
620008440		ミコブティンカプセル150mg	○	○	○	○
620007539		硫酸カナマイシン注射液1000mg「明治」	○	○	○	○
620008666		ナスタチン錠50万単位「明治」	○	○	○	○
620007031		ハリゾン錠100mg	○	○	○	○
620004560		ファンギゾンシロップ100mg/mL	○	○	○	○
620007032		ハリゾンシロップ100mg/mL	○	○	○	○
620007467		ファンギゾン注射用50mg	○	○	○	○

品名コード	名称	2010	2012	2014	2016
620003467	ビゾーム点滴静注用50mg				
620002493	ブイフェンド錠50mg	○	○	○	○
622480701	ポリコナゾール錠50mg「DSEP」				○
622491901	ポリコナゾール錠50mg「JG」				○
622499601	ポリコナゾール錠50mg「アメル」				○
622483001	ポリコナゾール錠50mg「タカタ」				○
622495401	ポリコナゾール錠50mg「テバ」				○
622479601	ポリコナゾール錠50mg「トーワ」				○
622501301	ポリコナゾール錠50mg「日医工」				○
620002494	ブイフェンド錠200mg	○	○	○	○
622480801	ポリコナゾール錠200mg「DSEP」				○
622492101	ポリコナゾール錠200mg「JG」				○
622499801	ポリコナゾール錠200mg「アメル」				○
622483101	ポリコナゾール錠200mg「タカタ」				○
622495501	ポリコナゾール錠200mg「テバ」				○
622479701	ポリコナゾール錠200mg「トーワ」				○
622501401	ポリコナゾール錠200mg「日医工」				○
622492001	ポリコナゾール錠100mg「JG」				○
622499701	ポリコナゾール錠100mg「アメル」				○
622375301	ブイフェンドドライシロップ2800mg			○	○
640462040	ファンガード点滴用50mg	○	○	○	○
640462041	ファンガード点滴用75mg	○	○	○	○
620003489	ファンガード点滴用25mg	○	○	○	○
620002497	ブイフェンド200mg静注用	○	○	○	○
622136201	カンサイダス点滴静注用50mg		○	○	○
622136301	カンサイダス点滴静注用70mg		○	○	○
621130301	ピクシリンS配合錠	○	○	○	○
621131001	注射用ピクシリンS100	○	○	○	○
646190020	注射用ピクシリンS500	○	○	○	○
646190018	注射用ピクシリンS1000	○	○	○	○
622517701	リフキシマ錠200mg				○
610462048	ランサップ400	○	○	○	○
610462049	ランサップ800	○	○	○	○
622029101	ランピオンパック	○	○	○	○
622289101	ラベキュアパック400		○	○	○
622289201	ラベキュアパック800		○	○	○
622289301	ラベファインパック		○	○	○
622485401	ボノサップパック400				○
622485501	ボノサップパック800				○
622485601	ボノピオンパック				○
610463036	ウイントマイロン錠250	○	○	○	○
616290016	ウイントマイロン錠500	○	○	○	○
620006852	ウイントマイロンシロップ5%	○	○	○	○
620009216	カルノマチン錠250mg	○	○		
621137802	ピペミド酸錠250mg「YD」		○	○	○

6142905 電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
610407051	キサフロール錠 1.0mg	○	○	○	○
610407066	シーヌン錠 1.0mg	○	○		
621138800	ノルフロキサシン錠 1.0mg 「YD」	○	○	○	○
621138803	ノルフロキサシン錠 1.0mg 「サワイ」			○	○
621138818	ノルフロキサシン錠 1.0mg 「ツルハラ」		○	○	○
621138823	ノルフロキサシン錠 1.0mg 「EMEC」	○	○	○	○
622058001	バステーン錠 1.0mg	○	○	○	○
616290121	バクシダール錠 1.0mg	○	○	○	○
610407052	キサフロール錠 2.0mg	○	○	○	○
610407067	シーヌン錠 2.0mg	○	○		
610412023	ウナセラ錠 2.0mg	○	○		
620006594	バステーン錠 2.0mg	○	○	○	○
621139104	ノルフロキサシン錠 2.0mg 「サワイ」			○	○
621139117	ノルフロキサシン錠 2.0mg 「YD」	○	○	○	○
621139123	ノルフロキサシン錠 2.0mg 「ツルハラ」		○	○	○
621139128	ノルフロキサシン錠 2.0mg 「EMEC」	○	○	○	○
616290147	バクシダール錠 2.0mg	○	○	○	○
616240001	小児用バクシダール錠 5.0mg	○	○	○	○
620003912	オフロキサシン錠 1.0mg 「サワイ」	○	○	○	
620003913	オフロキサシン錠 1.0mg 「ツルハラ」		○	○	○
620003984	タリフロン錠 1.0mg	○	○	○	
620004040	フロキン錠 1.0mg		○	○	○
620006024	タツミキシ錠 1.0mg		○	○	○
621745304	オフロキサシン錠 1.0mg 「テバ」		○	○	○
621753101	オフロキサシン錠 1.0mg 「タナベ」		○	○	
621753103	オフロキサシン錠 1.0mg 「JG」		○	○	○
620006972	タリビッド錠 1.0mg	○	○	○	○
622096201	シプロフロキサシン錠 1.0mg 「CH」		○	○	
622096202	シプロフロキサシン錠 1.0mg 「JG」		○	○	○
622125901	シバスタン錠 1.0mg		○	○	○
616290155	シプロキサ錠 1.0mg	○	○	○	○
621489001	シプロフロキサシン錠 1.0mg 「日医工」		○	○	○
621946502	シプロフロキサシン錠 1.0mg 「トーワ」		○	○	○
621964702	シプロフロキサシン錠 1.0mg 「SW」			○	○
621529401	シプロフロキサシン錠 1.0mg 「TCK」			○	○
610463082	シバスタン錠 2.0mg		○	○	○
620000118	プリモール錠 2.0mg		○	○	○
621489201	シプロフロキサシン錠 2.0mg 「タナベ」	○	○	○	
621489203	シプロフロキサシン錠 2.0mg 「JG」		○	○	○
621529501	シプロフロキサシン錠 2.0mg 「TCK」			○	○
616290156	シプロキサ錠 2.0mg	○	○	○	○
621489601	シプロフロキサシン錠 2.0mg 「日医工」		○	○	○
621489502	シプロフロキサシン錠 2.0mg 「トーワ」		○	○	○
621489102	シプロフロキサシン錠 2.0mg 「SW」			○	○

1407158 シロアト 電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	オン錠200mg				
616290170	バレオンカプセル100mg	○	○	○	○
621971501	オゼックス細粒小児用15%	○	○	○	○
622410601	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「タカタ」			○	○
622413901	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「トーワ」			○	○
622420701	トスフロキサシントシル酸塩小児用細粒15%「明治」			○	○
622481701	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「TCK」				○
616290166	オゼックス錠75	○	○	○	○
616290168	トスキサシン錠75mg	○	○	○	○
621952101	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「NP」	○	○	○	○
621931101	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「TCK」	○	○	○	○
621953501	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「TYK」	○	○	○	○
621940001	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「YD」	○	○	○	○
621963301	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サワイ」	○	○	○	○
621963401	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サンド」	○	○	○	○
621935301	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「タイヨー」	○	○	○	○
621956201	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「タナベ」	○	○	○	○
621963501	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「日医工」	○	○	○	○
616290167	オゼックス錠150	○	○	○	○
616290169	トスキサシン錠150mg	○	○	○	○
621952201	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「NP」	○	○	○	○
621931201	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「TCK」	○	○	○	○
621953601	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「TYK」	○	○	○	○
621940101	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「YD」	○	○	○	○
621963601	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「サワイ」	○	○	○	○
621963701	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「サンド」	○	○	○	○
621935401	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「タイヨー」	○	○	○	○
621956301	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「タナベ」	○	○	○	○
621963801	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「日医工」	○	○	○	○
621925901	クラビット細粒10%	○	○	○	○
622371001	レボフロキサシン細粒10%「DSEP」			○	○
622383001	レボフロキサシン錠250mg「サンド」			○	
622387801	レボフロキサシン錠250mg「日医工P」			○	
622391701	レボフロキサシン錠250mg「ニプロ」			○	
622395201	レボフロキサシン錠250mg「アメル」			○	
621925701	クラビット錠250mg	○	○	○	○
622386101	レボフロキサシン錠250mg「CEO」			○	○
622379101	レボフロキサシン錠250mg「CH」			○	○
622370801	レボフロキサシン錠250mg「DSEP」			○	○
622394001	レボフロキサシン錠250mg「F」			○	○
622400801	レボフロキサシン錠250mg「MEEK」			○	○
622386801	レボフロキサシン錠250mg「TCK」			○	○
622367801	レボフロキサシン錠250mg「YD」			○	○
622376301	レボフロキサシン錠250mg「ZE」			○	○
622400701	レボフロキサシン錠250mg「イセイ」			○	○

レボフロキサシンの電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622389401	レボフロキサシン錠250mg「イワキ」				
622380301	レボフロキサシン錠250mg「オーハラ」			○	○
622395901	レボフロキサシン錠250mg「科研」			○	○
622365901	レボフロキサシン錠250mg「杏林」			○	○
622388801	レボフロキサシン錠250mg「ケミファ」			○	○
622392301	レボフロキサシン錠250mg「サトウ」			○	○
622383501	レボフロキサシン錠250mg「サノフィ」			○	○
622391101	レボフロキサシン錠250mg「サワイ」			○	○
622377901	レボフロキサシン錠250mg「タカタ」			○	○
622380001	レボフロキサシン錠250mg「タナベ」			○	○
622394401	レボフロキサシン錠250mg「テバ」			○	○
622372801	レボフロキサシン錠250mg「トーワ」			○	○
622384801	レボフロキサシン錠250mg「ニッター」			○	○
622382001	レボフロキサシン錠250mg「ファイザー」			○	○
622369001	レボフロキサシン錠250mg「明治」			○	○
622435301	レボフロキサシン錠250mg「SUN」			○	○
622436801	レボフロキサシン錠250mg「日医工」			○	○
622383101	レボフロキサシン錠500mg「サンド」			○	
622391801	レボフロキサシン錠500mg「ニプロ」			○	
622395301	レボフロキサシン錠500mg「アメル」			○	
622435401	レボフロキサシン錠500mg「SUN」			○	
621925801	クラビット錠500mg	○	○	○	○
622386201	レボフロキサシン錠500mg「CEO」			○	○
622379201	レボフロキサシン錠500mg「CH」			○	○
622370901	レボフロキサシン錠500mg「DSEP」			○	○
622394101	レボフロキサシン錠500mg「F」			○	○
622401001	レボフロキサシン錠500mg「MEEK」			○	○
622386901	レボフロキサシン錠500mg「TCK」			○	○
622367901	レボフロキサシン錠500mg「YD」			○	○
622376401	レボフロキサシン錠500mg「ZE」			○	○
622400901	レボフロキサシン錠500mg「イセイ」			○	○
622389501	レボフロキサシン錠500mg「イワキ」			○	○
622380401	レボフロキサシン錠500mg「オーハラ」			○	○
622396001	レボフロキサシン錠500mg「科研」			○	○
622366001	レボフロキサシン錠500mg「杏林」			○	○
622388901	レボフロキサシン錠500mg「ケミファ」			○	○
622392401	レボフロキサシン錠500mg「サトウ」			○	○
622383601	レボフロキサシン錠500mg「サノフィ」			○	○
622391201	レボフロキサシン錠500mg「サワイ」			○	○
622378001	レボフロキサシン錠500mg「タカタ」			○	○
622380101	レボフロキサシン錠500mg「タナベ」			○	○
622394501	レボフロキサシン錠500mg「テバ」			○	○
622372901	レボフロキサシン錠500mg「トーワ」			○	○
622387901	レボフロキサシン錠500mg「日医工P」			○	○
622384901	レボフロキサシン錠500mg「ニッター」			○	○

レボフロキサシンの電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622369101	レボフロキサシン錠500mg「ファイザー」			○	○
622436901	レボフロキサシン錠500mg「日医工」			○	○
622372601	レボフロキサシンOD錠250mg「トーワ」			○	○
622372701	レボフロキサシンOD錠500mg「トーワ」			○	○
622368201	レボフロキサシン粒状錠250mg「モチダ」			○	○
622368301	レボフロキサシン粒状錠500mg「モチダ」			○	○
622372501	レボフロキサシン内用液250mg「トーワ」			○	○
610462041	スオード錠100	○	○	○	○
620003125	アベロックス錠400mg	○	○	○	○
620005822	ジェニナック錠200mg	○	○	○	○
620006774	グレースビット細粒10%	○	○	○	○
620006773	グレースビット錠50mg	○	○	○	○
620000446	シプロキサ注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注300mg/150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサ注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シプロフロキサシン点滴静注200mg/100mL「明治」	○	○	○	○
620009548	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg/250mL「NP」	○	○	○	○
620009549	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg/250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg/250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シプロフロキサシンDU点滴静注300mg/250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサ注400mg			○	○
640462032	パシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	パシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	パシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg/200mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg/100mL	○	○	○	○
610451000	ザイボックス錠600mg	○	○	○	○
622461001	リネゾリド錠600mg「明治」			○	○
640451010	ザイボックス注射液600mg	○	○	○	○

2019年電算コード	名称	ブリド点滴静注液600mg「明治」	2010	2012	2014	2016
620004450	アンコチル錠500mg		○	○	○	○
616290164	ジフルカンカプセル500mg		○	○	○	○
620000121	フルコナゾールカプセル500mg「F」		○	○	○	○
620002804	フルコナゾールカプセル500mg「アメル」		○	○	○	○
621688201	フルコナゾールカプセル500mg「サワイ」		○	○	○	○
622070301	フルコナゾールカプセル500mg「JG」		○	○	○	○
621530003	フルコナゾールカプセル500mg「サンド」				○	○
621569001	フルコナゾールカプセル500mg「日医工」				○	○
621531201	フルコナゾールカプセル500mg「タカタ」				○	○
616290165	ジフルカンカプセル1000mg		○	○	○	○
620000122	フルコナゾールカプセル1000mg「F」		○	○	○	○
620002805	フルコナゾールカプセル1000mg「アメル」		○	○	○	○
621639401	フルコナゾールカプセル1000mg「サワイ」		○	○	○	○
622070401	フルコナゾールカプセル1000mg「JG」		○	○	○	○
621530103	フルコナゾールカプセル1000mg「サンド」				○	○
621569101	フルコナゾールカプセル1000mg「日医工」				○	○
621531301	フルコナゾールカプセル1000mg「タカタ」				○	○
622139201	ジフルカンドライシロップ3500mg			○	○	○
622139301	ジフルカンドライシロップ14000mg			○	○	○
620007077	フロリードゲル経口用2%		○	○	○	○
620001958	イトラコナゾール錠50「MEEK」		○	○	○	○
620007914	イトラコナゾール錠500mg「科研」		○	○	○	○
621636802	イトラコナゾール錠500mg「日医工」			○	○	○
620001959	イトラコナゾール錠1000「MEEK」		○	○	○	○
621746701	イトラコナゾール錠1000mg「日医工」			○	○	○
620007915	イトラコナゾール錠2000「MEEK」		○	○	○	○
616290177	イトリゾールカプセル500		○	○	○	○
621629201	イトラコナゾールカプセル500mg「SWJ」				○	○
620004349	イトリゾール内用液1%		○	○	○	○
610412199	ラミシール錠125mg		○	○	○	○
620003950	ケルガー錠125mg		○	○	○	○
620003987	テビーナ錠125mg		○	○	○	○
620003988	テビナシール錠125mg		○	○	○	○
620003989	テルビー錠125mg		○	○	○	○
620003995	テルビナフィン錠125mg「CH」		○	○	○	○
620003993	テルビナフィン錠125mg「F」		○	○	○	○
620003990	テルビナフィン錠125「MEEK」		○	○	○	○
620003990	テルビナフィン錠125mg「MEEK」		○	○	○	○
620003992	テルビナフィン錠125mg「NP」		○	○	○	○
620003991	テルビナフィン錠125「TCK」		○	○	○	○
620003998	テルビナフィン錠125mg「YD」		○	○	○	○
620003994	テルビナフィン錠125mg「サンド」		○	○	○	○
620003996	テルビナフィン錠125mg「タイヨー」		○	○	○	○
620004001	テルミシール錠125mg		○	○	○	○

品名コード	名称	2010	2012	2014	2016
620004094	リプノール錠 12.5mg	○	○	○	○
620008028	テルビナフィン錠 12.5mg 「タナベ」	○	○	○	○
621746301	テルビナフィン錠 12.5mg 「ケミファ」		○	○	○
621732101	テルビナフィン錠 12.5mg 「日医工」		○	○	○
622244201	テルビナフィン錠 12.5mg 「ファイザー」		○	○	○
621726702	テルビナフィン錠 12.5mg 「サワイ」		○	○	○
621748401	テルビナフィン錠 12.5mg 「トーワ」			○	○
622136101	サムチレール内用懸濁液 1.5%		○	○	○
621355101	ダイフェン配合顆粒		○	○	
621148101	バクタ配合顆粒	○	○	○	○
621148201	バクトラミン配合顆粒	○	○	○	○
621148801	ダイフェン配合錠	○	○	○	○
621148901	バクタ配合錠	○	○	○	○
621149001	バクトラミン配合錠	○	○	○	○
620006311	フロリードF注2 0.0mg	○	○	○	○
620003726	ジフルカン静注液 50mg	○	○	○	○
622056701	フルコナゾール静注 50mg 「トーワ」	○	○	○	○
622053301	フルコナゾール静注液 50mg 「サワイ」	○	○	○	○
622073601	フルコナゾール静注液 50mg 「日医工」	○	○	○	○
621539701	フルコナゾール静注液 50mg 「イセイ」		○	○	○
621544402	フルコナゾール静注液 50mg 「タカタ」			○	○
620003727	ジフルカン静注液 100mg	○	○	○	○
620007481	フルコナゾール静注 100mg 「トーワ」	○	○	○	○
620008922	フルコナゾール静注液 100mg 「サワイ」	○	○	○	○
621569201	フルコナゾール静注液 100mg 「日医工」		○	○	○
621539801	フルコナゾール静注液 100mg 「イセイ」		○	○	○
621554502	フルコナゾール静注液 100mg 「タカタ」			○	○
620009582	フルコナゾール静注液 200mg 「マイラン」		○	○	○
621539901	フルコナゾール静注液 200mg 「イセイ」		○	○	○
620003728	ジフルカン静注液 200mg	○	○	○	○
620007482	フルコナゾール静注 200mg 「トーワ」	○	○	○	○
620008923	フルコナゾール静注液 200mg 「サワイ」	○	○	○	○
621569301	フルコナゾール静注液 200mg 「日医工」		○	○	○
621554602	フルコナゾール静注液 200mg 「タカタ」			○	○
620000295	フルコナゾール静注液 0.2% 「F」	○	○	○	○
621541601	フルコナゾール静注液 100mg 「テバ」		○	○	○
621543302	フルコナゾール静注 100mg 「NP」		○	○	○
621541701	フルコナゾール静注液 200mg 「テバ」		○	○	○
620000296	フルコナゾール静注液 0.2% 「F」	○	○	○	○
621543402	フルコナゾール静注 200mg 「NP」		○	○	○
620000294	フルコナゾール静注液 0.1% 「F」	○	○	○	○
621543201	フルコナゾール静注 50mg 「NP」		○	○	○
620000437	プロジフ静注液 100	○	○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
62000438	フロジフ静注液200	○	○	○	○
62000439	フロジフ静注液400	○	○	○	○
620004424	イトリゾール注1%	○	○	○	○
621150001	エンペシドトローチ10mg	○	○	○	○
620005834	ベセルナクリーム5%	○	○	○	○
622365201	クレナフィン爪外用液10%			○	○
622471601	ルコナック爪外用液5%				○
621166401	チニダゾール錠200mg「F」		○	○	○
621166501	チニダゾール錠500mg「F」		○	○	○
620006817	アスゾール錠250mg	○	○	○	○
620007057	フラジール内服錠250mg	○	○	○	○
620002484	メファキン「ヒサミツ」錠275	○	○	○	○
622224801	アメパロモカプセル250mg		○	○	○
622500501	プリマキン錠15mg「サノフィ」				○
622225701	マラロン配合錠		○	○	○
622500601	マラロン小児用配合錠				○
622532901	リアメット配合錠				○
621167101	ベナンボックス注用300mg	○	○	○	○
622364001	アネメトロ点滴静注液500mg			○	○
646410002	バクトラミン注	○	○	○	○
640463089	注射用ペニシリンGカリウム20万単位	○	○	○	○
620000427	注射用ペニシリンGカリウム100万単位	○	○	○	○
620003811	ペランコシン注300mg		○	○	
620007537	リズピオン注300mg		○	○	○
621062901	リンコマイシン塩酸塩注300mg「NP」		○	○	○
620006341	リンコシン注射液300mg	○	○	○	○
620003812	ペランコシン注600mg		○	○	
620007538	リズピオン注600mg		○	○	○
621380904	リンコマイシン塩酸塩注600mg「NP」		○	○	○
621380908	リンコマイシン塩酸塩注射液600mg「日医工」		○	○	○
620006342	リンコシン注射液600mg	○	○	○	○
620004196	ペランコシン注1g		○	○	
620004197	ペランコシン注1.5g	○	○	○	
620006344	リンコシン注射液1.5g	○	○	○	○
620006343	リンコシン注射液1g	○	○	○	○
620006261	ダラシンS注射液300mg	○	○	○	○
620008810	クリンダマイシン注射液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
621064601	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「サワイ」	○	○	○	○
622111302	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「トーワ」		○	○	○
621064701	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「F」			○	○
621064501	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「NP」			○	○
620006262	ダラシンS注射液600mg	○	○	○	○
620008811	クリンダマイシン注射液600mg「タイヨー」	○	○	○	○
621065101	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「サワイ」	○	○	○	○
621065201	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「トーワ」		○	○	○

シシコード	電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621065001		クラリダマイシンリン酸エステル注600mg「F」				
621065001		クラリダマイシンリン酸エステル注射液600mg「NP」			○	○
620006226		クラリダマイシン注300mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620006227		クラリダマイシン注600mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
640463091		点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907		塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792		塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g（シオノギ）	○	○	○	○
620009575		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601		バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901		点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902		バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
621876001		アルベカシン硫酸塩注射液75mg「ケミファ」	○	○	○	
620004729		ハベカシン注射液75mg	○	○	○	○
620009511		アルベカシン硫酸塩注射液75mg「HK」	○	○	○	○
621735001		アルベカシン硫酸塩注射液75mg「テバ」			○	○
621066501		アルベカシン硫酸塩注射液100mg「ケミファ」	○	○	○	
620004730		ハベカシン注射液100mg	○	○	○	○
620009512		アルベカシン硫酸塩注射液100mg「HK」	○	○	○	○
621066401		アルベカシン硫酸塩注射液100mg「テバ」			○	○
621924501		アルベカシン硫酸塩注射液25mg「ケミファ」	○	○	○	
620004728		ハベカシン注射液25mg	○	○	○	○
620009509		アルベカシン硫酸塩注射液25mg「HK」	○	○	○	○
621896701		アルベカシン硫酸塩注射液25mg「テバ」			○	○
621950502		アルベカシン硫酸塩注射液200mg「ケミファ」	○	○	○	
620007432		ハベカシン注射液200mg	○	○	○	○
621955601		アルベカシン硫酸塩注射液200mg「HK」	○	○	○	○
621936302		アルベカシン硫酸塩注射液200mg「テバ」			○	○
620004709		注射用タゴシッド200mg	○	○	○	○
620008212		テイコブラニン点滴静注用200mg「NP」	○	○	○	○
620008213		テイコブラニン点滴静注用200mg「日医工」	○	○	○	○
620008532		テイコブラニン点滴静注用200mg「F」	○	○	○	○
620008531		テイコブラニン点滴静注用200mg「HK」	○	○	○	○
620008533		テイコブラニン点滴静注用200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008535		テイコブラニン点滴静注用200mg「トーワ」	○	○	○	○
620009572		テイコブラニン点滴静注用200mg「TYK」	○	○	○	○
620009571		テイコブラニン点滴静注用200mg「サワイ」	○	○	○	○
621995201		テイコブラニン点滴静注用200mg「サンド」	○	○	○	○
622227801		テイコブラニン点滴静注用200mg「明治」		○	○	○

621904402 シロート電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621884501	テイコブラニン点滴静注用200mg「ファイザー」			○	○
620009574	テイコブラニン点滴静注用400mg「F」	○	○	○	○
622216601	テイコブラニン点滴静注用400mg「NP」		○	○	○
622207201	テイコブラニン点滴静注用400mg「日医工」		○	○	○
622227901	テイコブラニン点滴静注用400mg「明治」		○	○	○
622338101	テイコブラニン点滴静注用400mg「トーワ」			○	○
622085501	キュビシン静注用350mg	○	○	○	○
640462005	注射用シナシッド	○	○	○	○
646130274	アザクタム注射用0.5g	○	○	○	○
646130275	アザクタム注射用1g	○	○	○	○
640453139	トブラシン注小児用100mg	○	○	○	○
640453140	トブラシン注600mg	○	○	○	○
646120062	トブラシン注900mg	○	○	○	○
620003676	アミカシン硫酸塩注射液100mg「サワイ」		○	○	○
620004178	ブルテツシン注射液100mg		○	○	
620006356	ロミカシン注射液100mg		○	○	
621069302	アミカシン硫酸塩注射液100mg「N i k P」		○	○	○
621069501	アミカシン硫酸塩注射液100mg「F」			○	○
620003190	アミカマイシン注射液100mg	○	○	○	○
621069402	アミカシン硫酸塩注射液100mg「日医工」	○	○	○	○
621069001	アミカシン硫酸塩注100mg「NP」		○	○	○
620003677	アミカシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
620003797	ブルテツシン注射液200mg	○	○	○	
620006651	ロミカシン注射液200mg	○	○	○	
621070102	アミカシン硫酸塩注射液200mg「N i k P」		○	○	○
621070301	アミカシン硫酸塩注射液200mg「F」			○	○
620003191	アミカマイシン注射液200mg	○	○	○	○
621070202	アミカシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621069701	アミカシン硫酸塩注200mg「NP」		○	○	○
621070602	アミカシン硫酸塩注射用100mg「日医工」	○	○	○	○
621070902	アミカシン硫酸塩注射用200mg「日医工」	○	○	○	○
640453078	シオセシン注射液200	○	○	○	○
620003198	エクサシン注射液200	○	○	○	○
620003193	イセパシン注射液200	○	○	○	○
620005641	イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621604701	イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
646120080	イセパシン注射液400	○	○	○	○
646120081	エクサシン注射液400	○	○	○	○
640453079	シオセシン注射液400	○	○	○	○
620005642	イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「日医工」	○	○	○	○
621695601	イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「サワイ」		○	○	○
620009196	トロビシン筋注用2g	○	○	○	○
622415701	オルドレブ点滴静注用150mg			○	○
622199101	タイガシル点滴静注用500mg		○	○	○

621076601 ピセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621076801	ピクシリン注射用●. 2.5g	○	○	○	○
621077201	ピクシリン注射用●. 5g	○	○	○	○
621077501	ピクシリン注射用 1g	○	○	○	○
621078403	ピペラシリンナトリウム注射用 1g 「日医工」		○	○	
646130136	ペントシリン注射用 1g	○	○	○	○
620007456	ピペユンシン注射用 1g	○	○	○	○
621078301	ピペラシリンNa注射用 1g 「サワイ」		○	○	○
621078103	ピペラシリンNa注射用 1g 「テバ」		○	○	○
621078601	ピペラシリンNa注射用 1g 「トーワ」		○	○	○
621342601	ピペラシリンNa注射用 1g 「SN」			○	○
621079203	ピペラシリンナトリウム注射用 2g 「日医工」		○	○	
646130137	ペントシリン注射用 2g	○	○	○	○
620007457	ピペユンシン注射用 2g	○	○	○	○
621079101	ピペラシリンNa注射用 2g 「サワイ」		○	○	○
621078903	ピペラシリンNa注射用 2g 「テバ」		○	○	○
621079401	ピペラシリンNa注射用 2g 「トーワ」		○	○	○
621342802	ピペラシリンNa注射用 2g 「SN」			○	○
622079701	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ 1g 「NP」	○	○	○	
640462059	ペントシリン静注用 1g バッグ	○	○	○	○
622079801	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ 2g 「NP」	○	○	○	
640462060	ペントシリン静注用 2g バッグ	○	○	○	○
646130121	パンスポリン筋注用●. 2.5g	○	○	○	○
646130110	ハロスポア静注用●. 2.5g	○	○	○	○
646130122	パンスポリン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620004140	セファピコール静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620007293	ケミスポリン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
621989702	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5g 「日医工」		○	○	○
621987602	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5g 「NP」		○	○	○
621924001	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5g 「SN」			○	○
646130111	ハロスポア静注用●. 5g	○	○	○	○
646130123	パンスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
620004141	セファピコール静注用●. 5g	○	○	○	○
620007294	ケミスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
621989802	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g 「日医工」		○	○	○
621344901	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g 「NP」		○	○	○
621924101	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g 「SN」			○	○
646130112	ハロスポア静注用 1g	○	○	○	○
646130124	パンスポリン静注用 1g	○	○	○	○
620003732	セファピコール静注用 1g	○	○	○	○
620007295	ケミスポリン静注用 1g	○	○	○	○
621345002	セフォチアム塩酸塩静注用 1g 「日医工」		○	○	○
621345301	セフォチアム塩酸塩静注用 1g 「NP」		○	○	○
621095002	セフォチアム塩酸塩静注用 1g 「SN」			○	○
640408149	パンスポリン静注用 1g バッグ S	○	○	○	○

620099563 シブド電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621540002	セフォチアム静注用1gバッグ「日医工」 セフォチアム塩酸塩点滴静注用1gバッグ「NP」		○	○	○
640408148	パンスポリン静注用1gバッグG	○	○	○	○
620003735	セファメジンα注射用●. 25g	○	○	○	○
622104201	セファゾリンNa注射用●. 25g「タイヨー」	○	○	○	○
622130801	セファゾリンナトリウム注射用●. 25g「日医工」	○	○	○	○
622177601	トキオ注射用●. 25g		○	○	○
622124902	セファゾリンNa注射用●. 25g「NP」			○	○
622033402	セファゾリンNa注射用●. 5g「NP」			○	○
622104301	セファゾリンNa注射用●. 5g「タイヨー」		○	○	○
622177701	トキオ注射用●. 5g		○	○	○
620003736	セファメジンα注射用●. 5g	○	○	○	○
621096002	セファゾリンナトリウム注射用●. 5g「日医工」		○	○	○
620003737	セファメジンα注射用1g	○	○	○	○
621096701	トキオ注射用1g	○	○	○	○
621096503	セファゾリンNa注射用1g「タイヨー」	○	○	○	○
621096802	セファゾリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	○
621096601	セファゾリンNa注射用1g「NP」			○	○
620003738	セファメジンα注射用2g	○	○	○	○
621097303	セファゾリンNa注射用2g「タイヨー」	○	○	○	○
622177801	トキオ注射用2g		○	○	○
621097602	セファゾリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	○
621097401	セファゾリンNa注射用2g「NP」			○	○
620003733	セファメジンα筋注用●. 25g	○	○	○	○
620003734	セファメジンα筋注用●. 5g	○	○	○	○
620003740	セファメジンα点滴用キット2g	○	○	○	○
620003739	セファメジンα点滴用キット1g	○	○	○	○
620007318	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「オーツカ」	○	○	○	○
621757001	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「NP」			○	○
620005674	コアキシシ注射用1g	○	○	○	○
620005675	コアキシシ注射用2g	○	○	○	○
646130072	セフメタゾン筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130073	セフメタゾン静注用●. 25g	○	○	○	○
622125001	セフメタゾールNa静注用●. 25g「NP」	○	○	○	○
622131001	セフメタゾールナトリウム静注用●. 25g「日医工」	○	○	○	○
622111501	リリアジン静注用●. 25g	○	○	○	○
622104002	セフメタゾールNa静注用●. 25g「テバ」			○	○
646130074	セフメタゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
621987501	セフメタゾールNa静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
622131101	セフメタゾールナトリウム静注用●. 5g「日医工」	○	○	○	○
622111601	リリアジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622104102	セフメタゾールNa静注用●. 5g「テバ」			○	○
646130075	セフメタゾン静注用1g	○	○	○	○
620006243	セフメタゾールNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
620007540	リリアジン静注用1g	○	○	○	○

621103102 シセプト電算コード	621101803 名称	2010	2012	2014	2016
	セフメタゾールナトリウム静注用 1g 「日医工」			○	○
	セフメタゾールNa 静注用 1g 「テバ」			○	○
646130076	セフメタゾン静注用 2g	○	○	○	○
620006244	セフメタゾールNa 静注用 2g 「NP」	○	○	○	○
620007541	リリアジン静注用 2g	○	○	○	○
621102802	セフメタゾールナトリウム静注用 2g 「日医工」		○	○	○
621101903	セフメタゾールNa 静注用 2g 「テバ」			○	○
640470010	セフメタゾンキット点滴静注用 1g	○	○	○	○
620004151	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 1g 「NP」	○	○	○	○
621951701	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 2g 「NP」	○	○	○	○
640454018	セフォタックス注射用●. 5g	○	○	○	○
620004652	クラフォラン注射用●. 5g	○	○	○	○
640454019	セフォタックス注射用 1g	○	○	○	○
620004653	クラフォラン注射用 1g	○	○	○	○
646130067	セフォビッド注射用 1g	○	○	○	○
646130071	セフォペラジン注射用 1g	○	○	○	○
646130132	バスターコール筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130133	バスターコール静注用●. 5g	○	○	○	○
646130134	バスターコール静注用 1g	○	○	○	○
620002999	モダケミン静注用●. 5g	○	○	○	○
620003827	モダシン静注用●. 5g	○	○	○	○
620006701	セフトタジジム静注用●. 5g 「マイラン」	○	○	○	○
621967001	セフトタジジム静注用●. 5g 「サンド」	○	○	○	○
621936401	セフトタジジム静注用●. 5g 「タイヨー」	○	○	○	○
622052901	セフトタジジム静注用●. 5g 「サワイ」	○	○	○	○
622124801	セフトタジジム静注用●. 5g 「NP」	○	○	○	○
621756202	セフトタジジム静注用●. 5g 「日医工」		○	○	○
621755802	セフトタジジム静注用●. 5g 「SN」			○	○
620003000	モダケミン静注用 1g	○	○	○	○
620003001	モベンゾシン静注用 1g	○	○	○	○
620003828	モダシン静注用 1g	○	○	○	○
620005676	セフトタジジム静注用 1g 「NP」	○	○	○	○
620006702	セフトタジジム静注用 1g 「マイラン」	○	○	○	○
621967101	セフトタジジム静注用 1g 「サンド」	○	○	○	○
621703001	セフトタジジム静注用 1g 「サワイ」	○	○	○	○
621756502	セフトタジジム静注用 1g 「日医工」		○	○	○
621755902	セフトタジジム静注用 1g 「SN」			○	○
646130268	ロセフィン静注用●. 5g	○	○	○	○
640463134	リアソフィン静注用●. 5g	○	○	○	○
620009566	セフキソン静注用●. 5g	○	○	○	○
620009567	セフトリアキソンNa 静注用●. 5g 「サンド」	○	○	○	○
621987301	セフトリアキソンナトリウム静注用●. 5g 「NP」	○	○	○	○
621967202	セフトリアキソンNa 静注用●. 5g 「サワイ」		○	○	○
621538203	セフトリアキソンナトリウム静注用●. 5g 「日医工」		○	○	○
622077302	セフトリアキソンNa 静注用●. 5g 「ファイザー」		○	○	○

621836501 レセプト電算コード 646130269	セフトリアキソンNa静注用0.5g「テバ」 ロセフィン静注用1g	2010	2012	2014	2016
640463135	リアソフィン静注用1g	○	○	○	○
640463080	セフキソン静注用1g	○	○	○	○
620009568	セフトリアキソンNa静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621987401	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「NP」	○	○	○	○
621488601	セフトリアキソンNa静注用1g「サワイ」		○	○	○
621538303	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	○
621555202	セフトリアキソンNa静注用1g「ファイザー」		○	○	○
621555101	セフトリアキソンNa静注用1g「テバ」		○	○	○
640470011	ロセフィン点滴静注用1gバッグ	○	○	○	○
620002955	セフトリアキソンナトリウム点滴用1gバッグ「NP」	○	○	○	○
622051701	セフトリアキソンナトリウム点滴静注用バッグ1g「ファイザー」	○	○	○	○
620007514	メイセリン静注用1g	○	○	○	○
620004148	セフピロム硫酸塩静注用0.5g「CMX」	○	○	○	○
620006706	硫酸セフピロム静注用0.5g「マイラン」	○	○	○	○
620004149	セフピロム硫酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
620006707	硫酸セフピロム静注用1g「マイラン」	○	○	○	○
640407076	注射用マキシピーム0.5g	○	○	○	○
621966801	セフェピム塩酸塩静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
621994601	セフェピム塩酸塩静注用0.5g「CMX」	○	○	○	○
640407077	注射用マキシピーム1g	○	○	○	○
621966901	セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621994701	セフェピム塩酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
640407080	ファーストシン静注用0.5g	○	○	○	○
640407081	ファーストシン静注用1g	○	○	○	○
640443046	ファーストシン静注用1gバッグS	○	○	○	○
640443047	ファーストシン静注用1gバッグG	○	○	○	○
646130037	シオマリン静注用1g	○	○	○	○
646130301	フルマリン静注用0.5g	○	○	○	○
646130302	フルマリン静注用1g	○	○	○	○
640443048	フルマリンキット静注用1g	○	○	○	○
620005201	パニマイシン注射液50mg	○	○	○	○
620005202	パニマイシン注射液100mg	○	○	○	○
620005180	注射用パニマイシン100mg	○	○	○	○
620003780	ピスタマイシン筋注500mg	○	○	○	○
620003781	ピスタマイシン筋注1000mg	○	○	○	○
646120011	ゲンタシン注100	○	○	○	○
622037301	ゲンタマイシン硫酸塩注射液100mg「日医工」	○	○	○	○
622074801	エルタシン注100mg	○	○	○	○
622074802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液100mg「F」				○
621111803	ゲンタマイシン硫酸塩注射液400mg「日医工」		○	○	○
620003210	ゲンタシン注400	○	○	○	○
620006210	エルタシン注400mg	○	○	○	○
621111802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液400mg「F」				○

646129012 620006211 レセプト電算コード	ゲンタシン注60 名称 エルタシン注60mg	2010	2012	2014	2016
621112004	ゲンタマイシン硫酸塩注射液60mg「日医工」		○	○	○
621112003	ゲンタマイシン硫酸塩注射液60mg「F」				○
621812201	ホスホマイシンナトリウム静注用0.5g「日医工」		○	○	
622104401	フラゼミシン静注用0.5g	○	○	○	
622131501	ホスカリーゼ静注用0.5g	○	○	○	
620003815	ホスミンS静注用0.5g	○	○	○	○
622079901	ホスホマイシンNa静注用0.5g「NP」		○	○	
622045702	ホスホマイシンNa静注用0.5g「タカタ」		○	○	○
620004750	フラゼミシン静注用1g	○	○	○	
620004767	ホスカリーゼ静注用1g	○	○	○	
621766301	ホスホマイシンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	
620003816	ホスミンS静注用1g	○	○	○	○
620006316	ホスホマイシンNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
621114602	ホスホマイシンNa静注用1g「タカタ」		○	○	○
620004751	フラゼミシン静注用2g	○	○	○	
620004768	ホスカリーゼ静注用2g	○	○	○	
621766401	ホスホマイシンナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	
620003817	ホスミンS静注用2g	○	○	○	○
620006317	ホスホマイシンNa静注用2g「NP」	○	○	○	○
621115302	ホスホマイシンNa静注用2g「タカタ」		○	○	○
620007477	フラゼミシン点滴静注用2gキット	○	○	○	○
640451022	ホスミンSバッグ1g点滴静注用	○	○	○	○
640451023	ホスミンSバッグ2g点滴静注用	○	○	○	○
620007519	メロペン点滴用バイアル0.25g	○	○	○	○
620009585	メロペナム点滴静注用0.25g「タイヨー」	○	○	○	○
620009586	メロペナム点滴静注用0.25g「日医工」	○	○	○	○
621952301	メロペナム点滴静注用0.25g「NP」	○	○	○	○
621950101	メロペナム点滴静注用0.25g「ケミファ」	○	○	○	○
621967801	メロペナム点滴静注用0.25g「サワイ」	○	○	○	○
621967901	メロペナム点滴静注用0.25g「タナベ」	○	○	○	○
621946701	メロペナム点滴静注用0.25g「トーワ」	○	○	○	○
621947901	メロペナム点滴静注用0.25g「明治」	○	○	○	○
622044201	メロペナム点滴静注用0.25g「ファイザー」	○	○	○	○
620007520	メロペン点滴用バイアル0.5g	○	○	○	○
620009587	メロペナム点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009588	メロペナム点滴静注用0.5g「日医工」	○	○	○	○
621952401	メロペナム点滴静注用0.5g「NP」	○	○	○	○
621950201	メロペナム点滴静注用0.5g「ケミファ」	○	○	○	○
621968001	メロペナム点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
621968101	メロペナム点滴静注用0.5g「タナベ」	○	○	○	○
621946801	メロペナム点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621948001	メロペナム点滴静注用0.5g「明治」	○	○	○	○
622044301	メロペナム点滴静注用0.5g「ファイザー」	○	○	○	○

622439001 シード電算コード	メロペネム点滴静注用1g「NP」 名称	2010	2012	2014	2016
622419401	メロペネム点滴静注用1g「明治」			○	○
620007518	メロペン点滴用キット●、5g	○	○	○	○
621952501	メロペネム点滴静注用バッグ●、5g「NP」	○	○	○	○
621967701	メロペネム点滴静注用バッグ●、5g「日医工」	○	○	○	○
621931801	メロペネム点滴静注用バッグ●、5g「明治」	○	○	○	○
622471301	メロペネム点滴静注用バッグ1g「NP」			○	○
622460901	メロペネム点滴静注用バッグ1g「明治」			○	○
640451036	オメガシン点滴用●、3g	○	○	○	○
640451037	オメガシン点滴用●、3gバッグ	○	○	○	○
621708501	フィニバック点滴静注用●、2.5g	○	○	○	○
622078501	フィニバック点滴静注用●、5g	○	○	○	○
621727601	フィニバック点滴静注用●、2.5g	○	○	○	○
646130264	スルペラゾン静注用●、5g	○	○	○	○
620004152	セフロニック静注用●、5g	○	○	○	○
620007316	スペルゾン静注用●、5g	○	○	○	○
622083601	スルタムジン静注用●、5g	○	○	○	○
622099301	セフォセフ静注用●、5g	○	○	○	○
622130901	セフォン静注用●、5g	○	○	○	○
622111401	バクフォーゼ静注用●、5g	○	○	○	○
622080002	ワイスターール配合静注用●、5g		○	○	○
646130265	スルペラゾン静注用1g	○	○	○	○
640444050	セフォセフ静注用1g	○	○	○	○
640444051	セフォン静注用1g	○	○	○	○
640444071	バクフォーゼ静注用1g	○	○	○	○
640453097	スルタムジン静注用1g	○	○	○	○
620003742	セフロニック静注用1g	○	○	○	○
620007317	スペルゾン静注用1g	○	○	○	○
621347901	ワイスターール配合静注用1g		○	○	○
621116801	スルペラゾン点滴静注用1g	○	○	○	○
621441901	ワイスターール配合点滴静注用1gバッグ		○	○	○
620004108	インダスト点滴静注用●、2.5g	○	○	○	○
620007364	チエナム点滴静注用●、2.5g	○	○	○	○
620008211	チエペネム点滴静注用●、2.5g	○	○	○	○
622010201	チエクール点滴用●、2.5g	○	○	○	○
622127601	イミペネム・シラスタチン点滴用●、2.5g「サンド」	○	○	○	○
622172601	イミスタン点滴静注用●、2.5g		○	○	○
620003703	インダスト点滴静注用●、5g	○	○	○	○
620004106	イミスタン点滴静注用●、5g	○	○	○	○
620004155	チエクール点滴用●、5g	○	○	○	○
620004707	チエペネム点滴静注用●、5g	○	○	○	○
620005643	イミペネム・シラスタチン点滴用●、5g「サンド」	○	○	○	○
620007365	チエナム点滴静注用●、5g	○	○	○	○
620007362	チエナム筋注用●、5g	○	○	○	○
620007363	チエナム点滴静注用キット●、5g	○	○	○	○

646130368 プリント電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
646130369	カルベニン点滴用●. 2.5g				
640406222	カルベニン点滴用●. 5g	○	○	○	○
620003003	ユナシン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004132	ユナスピン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004134	スルバクシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620005874	スルバシリン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620009560	ピスルシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
622118402	スルバクタム・アンピシリン静注用●. 7.5g「サンド」	○	○	○	○
62210601	ピシリバクタ静注用●. 7.5g	○	○	○	○
640406223	ユーシオン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620002977	ユナシン - S 静注用1. 5g	○	○	○	○
620003002	ピシリバクタ静注用1. 5g	○	○	○	○
620003004	ユーシオン - S 静注用1. 5g	○	○	○	○
620004133	ユナスピン静注用1. 5g	○	○	○	○
620004135	スルバクシン静注用1. 5g	○	○	○	○
620005875	スルバシリン静注用1. 5g	○	○	○	○
620009561	ピスルシン静注用1. 5g	○	○	○	○
622250001	スルバクタム・アンピシリン静注用1. 5g「サンド」	○	○	○	○
622419601	ユナシン - S 静注用3g		○	○	○
622408701	スルバシリン静注用3g			○	○
622464401	ピスルシン静注用3g			○	○
622467201	スルバクシン静注用3g			○	○
622458201	ピシリバクタ静注用3g			○	○
622441301	ユーシオン - S 静注用3g			○	○
620004775	ユナスピン静注用3g			○	○
620004776	ユナシン - S キット静注用1. 5g	○	○	○	○
620008446	ユナシン - S キット静注用3g	○	○	○	○
622441401	ゾシン静注用2. 25	○	○	○	○
622464701	タゾピペ配合静注用2. 25「CHM」			○	○
622453701	タゾピペ配合静注用2. 25「DK」			○	○
622450601	タゾピペ配合静注用2. 25「DSEP」			○	○
622461801	タゾピペ配合静注用2. 25「SN」			○	○
622458801	タゾピペ配合静注用2. 25「サンド」			○	○
622467001	タゾピペ配合静注用2. 25「テバ」			○	○
622470601	タゾピペ配合静注用2. 25「日医工」			○	○
622455601	タゾピペ配合静注用2. 25「ニプロ」			○	○
622460701	タゾピペ配合静注用2. 25「ファイザー」			○	○
620008447	タゾピペ配合静注用2. 25「明治」			○	○
622441501	ゾシン静注用4. 5	○	○	○	○
622464801	タゾピペ配合静注用4. 5「CHM」			○	○
622453801	タゾピペ配合静注用4. 5「DK」			○	○
622450701	タゾピペ配合静注用4. 5「DSEP」			○	○
622461901	タゾピペ配合静注用4. 5「SN」			○	○
622458901	タゾピペ配合静注用4. 5「サンド」			○	○
	タゾピペ配合静注用4. 5「テバ」			○	○

品名コード	名称	2010	2012	2014	2016
622470701	タゾピペ配合静注用4.5「日医工」			○	○
622455701	タゾピペ配合静注用4.5「ファイザー」			○	○
622460801	タゾピペ配合静注用4.5「明治」			○	○
622423101	ゾシン配合点滴静注用バッグ4.5			○	○
622454001	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「DSEP」			○	○
622470901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ニプロ」			○	○
622455901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ファイザー」			○	○
622462101	タゾピペ配合点滴静注用4.5バッグ「サンド」			○	○
622453901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「DSEP」			○	○
622470801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ニプロ」			○	○
622455801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ファイザー」			○	○
622462001	タゾピペ配合点滴静注用2.25バッグ「サンド」			○	○
621120001	エリスロシン点滴静注用500mg	○	○	○	○
622085701	ジスロマック点滴静注用500mg	○	○	○	○
621122801	クロロマイセチンサクシネート静注用1g	○	○	○	○
620004770	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「日医工」		○	○	○
620005226	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620007513	ミノマイシン点滴静注用100mg	○	○	○	○
621126801	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「サワイ」		○	○	○
621126501	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「F」			○	○
620003244	硫酸ストレプトマイシン1g注射用「明治」	○	○	○	○
620007375	ツペラクチン筋注用1g	○	○	○	○
620007539	硫酸カナマイシン注射液1000mg「明治」	○	○	○	○
620007467	ファンギゾン注射用500mg	○	○	○	○
620003487	アムビゾーム点滴静注用500mg	○	○	○	○
640462040	ファンガード点滴用500mg	○	○	○	○
640462041	ファンガード点滴用750mg	○	○	○	○
620003489	ファンガード点滴用250mg	○	○	○	○
620002497	ブイフェンド200mg静注用	○	○	○	○
622136201	カンサイダス点滴静注用500mg		○	○	○
622136301	カンサイダス点滴静注用700mg		○	○	○
621131001	注射用ピクシリンS100	○	○	○	○
646190020	注射用ピクシリンS500	○	○	○	○
646190018	注射用ピクシリンS1000	○	○	○	○
620000446	シプロキサシン注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注液300mg/150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサシン注200mg	○	○	○	○

シロプロフロキサシン点滴静注液 200mg 「DK」	2010	2012	2014	2016
620009206 シロプロフロキサシン点滴静注液 200mg 「DK」	○	○	○	○
620008204 シロプロフロキサシン点滴静注液 200mg 「ケミファ」	○	○	○	○
620008205 シロプロフロキサシン点滴静注液 200mg 「タイヨー」	○	○	○	○
620009552 シロプロフロキサシン点滴静注液 200mg 「NP」	○	○	○	○
620009553 シロプロフロキサシン点滴静注液 200mg 「サワイ」	○	○	○	○
620009554 シロプロフロキサシン点滴静注液 200mg 「日医工」	○	○	○	○
620009558 シロプロフロキサシン点滴静注液 200mg / 100mL 「明治」	○	○	○	○
620009548 シロプロフロキサシンDU点滴静注液 300mg / 250mL 「NP」	○	○	○	○
620009549 シロプロフロキサシンDU点滴静注液 300mg / 250mL 「サワイ」	○	○	○	○
620009550 シロプロフロキサシンDU点滴静注液 300mg / 250mL 「日医工」	○	○	○	○
620009551 シロプロフロキサシンDU点滴静注液 300mg / 250mL 「明治」	○	○	○	○
622446501 シプロキサ注 400mg			○	○
640462032 バシル点滴静注液 300mg	○	○	○	○
621495102 バズクロス点滴静注液 300mg	○	○	○	○
640462033 バシル点滴静注液 500mg	○	○	○	○
621495202 バズクロス点滴静注液 500mg	○	○	○	○
622009401 バシル点滴静注液 1000mg	○	○	○	○
621997601 バズクロス点滴静注液 1000mg	○	○	○	○
622030301 クラビット点滴静注 500mg / 200mL	○	○	○	○
622030201 クラビット点滴静注バッグ 500mg / 100mL	○	○	○	○
640451010 ザイボックス注射液 600mg	○	○	○	○
622419501 リネゾリド点滴静注液 600mg 「明治」			○	○
620006311 フロリードF注 200mg	○	○	○	○
620003726 ジフルカン静注液 50mg	○	○	○	○
622056701 フルコナゾール静注 50mg 「トーワ」	○	○	○	○
622053301 フルコナゾール静注液 50mg 「サワイ」	○	○	○	○
622073601 フルコナゾール静注液 50mg 「日医工」	○	○	○	○
621539701 フルコナゾール静注液 50mg 「イセイ」		○	○	○
621544402 フルコナゾール静注液 50mg 「タカタ」			○	○
620003727 ジフルカン静注液 100mg	○	○	○	○
620007481 フルコナゾール静注 100mg 「トーワ」	○	○	○	○
620008922 フルコナゾール静注液 100mg 「サワイ」	○	○	○	○
621569201 フルコナゾール静注液 100mg 「日医工」		○	○	○
621539801 フルコナゾール静注液 100mg 「イセイ」		○	○	○
621554502 フルコナゾール静注液 100mg 「タカタ」			○	○
620009582 フルコナゾール静注液 200mg 「マイラン」		○	○	○
621539901 フルコナゾール静注液 200mg 「イセイ」		○	○	○
620003728 ジフルカン静注液 200mg	○	○	○	○
620007482 フルコナゾール静注 200mg 「トーワ」	○	○	○	○
620008923 フルコナゾール静注液 200mg 「サワイ」	○	○	○	○
621569301 フルコナゾール静注液 200mg 「日医工」		○	○	○
621554602 フルコナゾール静注液 200mg 「タカタ」			○	○
620000295 フルコナゾール静注液 0.2% 「F」	○	○	○	○
621541601 フルコナゾール静注液 100mg 「テバ」		○	○	○
621543302 フルコナゾール静注 100mg 「NP」		○	○	○

621544701 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620000296	フルコナゾール静注液200mg「テバ」 フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621543402	フルコナゾール静注200mg「NP」		○	○	○
620000294	フルコナゾール静注液0.1%「F」	○	○	○	○
621543201	フルコナゾール静注500mg「NP」		○	○	○
620000437	プロジフ静注液100	○	○	○	○
620000438	プロジフ静注液200	○	○	○	○
620000439	プロジフ静注液400	○	○	○	○
620004424	イトリゾール注1%	○	○	○	○
621167101	ベナンボックス注用300mg	○	○	○	○
622364001	アネメトロ点滴静注液500mg			○	○
646410002	バクタラミン注	○	○	○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g（シオノギ）	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
620000446	シプロキサ注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注300mg / 150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサ注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シプロフロキサシン点滴静注200mg / 100mL「明治」	○	○	○	○
620009548	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「NP」	○	○	○	○
620009549	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「日医工」	○	○	○	○

レコード番号 電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
62009551 622446501	シプロフロキサシンDU点滴静注300mg / 250mL「明治」 シプロキサシ注400mg	○	○	○	○
640462032	パシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	パシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	パシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg / 200mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1:
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2:
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3:
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。
- 4:
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。
- 5:
本指標は、厚労省の「医療の質の評価・公表等推進事業」により示されたDPCを用いた共通指標の定義を利用している。
このうち、いくつか改訂（抗菌薬のコードの見直し）が望ましいものを反映した定義は2118_2として算出を行っているため、併せてご参照ください。

参考値:

参考資料:

- 1:
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(膝関節置換術) (共通定義)

指標番号:

QIP: 2118_w_3

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(膝関節置換術) (共通定義)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数 (膝関節置換術)

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150050510	人工関節置換術 (膝)

分子の定義:

1 :
手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。
(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。(例: 手術日が4月2日の場合4月3日を検索)
(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620005060	バイシリンG顆粒4 0万単位	○	○	○	○
640463089	注射用ペニシリンGカリウム2 0万単位	○	○	○	○
620000427	注射用ペニシリンGカリウム1 0 0万単位	○	○	○	○
620006026	ダラシнкаプセル7 5mg	○	○	○	○
620006027	ダラシнкаプセル1 5 0mg	○	○	○	○
620006165	リンコシнкаプセル2 5 0mg	○	○	○	○
620003811	ペランコシнка注3 0 0mg		○	○	
620007537	リズピオン注3 0 0mg		○	○	○
621062901	リンコマイシнка塩酸塩注3 0 0mg 「NP」		○	○	○
620006341	リンコシнка注射液3 0 0mg	○	○	○	○
620003812	ペランコシнка注6 0 0mg		○	○	
620007538	リズピオン注6 0 0mg		○	○	○
621380904	リンコマイシнка塩酸塩注6 0 0mg 「NP」		○	○	○
621380908	リンコマイシнка塩酸塩注射液6 0 0mg 「日医工」		○	○	○

品名コード	名称	2010	2012	2014	2016
620004196	ペランコシン注1g		○	○	
620004197	ペランコシン注1.5g	○	○	○	
620006344	リンコシン注射液1.5g	○	○	○	○
620006343	リンコシン注射液1g	○	○	○	○
620006261	ダラシンS注射液300mg	○	○	○	○
620008810	クリンダマイシン注射液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
621064601	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「サワイ」	○	○	○	○
622111302	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「トーワ」		○	○	○
621064701	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「F」			○	○
621064501	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「NP」			○	○
620006262	ダラシンS注射液600mg	○	○	○	○
620008811	クリンダマイシン注射液600mg「タイヨー」	○	○	○	○
621065101	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「サワイ」	○	○	○	○
621065201	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「トーワ」		○	○	○
621065301	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「F」			○	○
621065001	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「NP」			○	○
620006226	クリンダマイシン注300mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620006227	クリンダマイシン注600mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620003894	塩酸バンコマイシン散0.5「MEEK」	○	○	○	○
620006791	塩酸バンコマイシン散0.5g(シオノギ)	○	○	○	○
620008047	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620009408	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621738802	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「ファイザー」			○	○
621731302	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「MEEK」			○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g(シオノギ)	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
621971901	バンコマイシン眼軟膏1%	○	○	○	○
621876001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「ケミファ」	○	○	○	
620004729	ハベカシン注射液75mg	○	○	○	○
620009511	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「HK」	○	○	○	○
621735001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「テバ」			○	○
621066501	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「ケミファ」	○	○	○	

6200730電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620009512	アルベカシン硫酸塩注射液 100mg 「HK」	○	○	○	○
621066401	アルベカシン硫酸塩注射液 100mg 「テバ」			○	○
621924501	アルベカシン硫酸塩注射液 25mg 「ケミファ」	○	○	○	
620004728	ハベカシン注射液 25mg	○	○	○	○
620009509	アルベカシン硫酸塩注射液 25mg 「HK」	○	○	○	○
621896701	アルベカシン硫酸塩注射液 25mg 「テバ」			○	○
621950502	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg 「ケミファ」	○	○	○	
620007432	ハベカシン注射液 200mg	○	○	○	○
621955601	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg 「HK」	○	○	○	○
621936302	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg 「テバ」			○	○
620004709	注射用タゴシッド 200mg	○	○	○	○
620008212	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「NP」	○	○	○	○
620008213	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「日医工」	○	○	○	○
620008532	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「F」	○	○	○	○
620008531	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「HK」	○	○	○	○
620008533	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「ケミファ」	○	○	○	○
620008535	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「トーワ」	○	○	○	○
620009572	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「TYK」	○	○	○	○
620009571	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「サワイ」	○	○	○	○
621995201	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「サンド」	○	○	○	○
622227801	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「明治」		○	○	○
621901402	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「ファイザー」			○	○
621884501	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「テバ」			○	○
620009574	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「F」	○	○	○	○
622216601	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「NP」		○	○	○
622207201	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「日医工」		○	○	○
622227901	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「明治」		○	○	○
622338101	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「トーワ」			○	○
622085501	キュビシン静注用 350mg	○	○	○	○
640462005	注射用シナシッド	○	○	○	○
620006477	バクトロバン鼻腔用軟膏 2%	○	○	○	○
646130274	アザクタム注射用0.5g	○	○	○	○
646130275	アザクタム注射用1g	○	○	○	○
620008598	カナマイシンカプセル 250mg 「明治」	○	○	○	○
620008599	カナマイシンシロップ 5% 「明治」	○	○	○	○
620008600	カナマイシンドライシロップ 20% 「明治」	○	○	○	○
640453139	トブラシン注小児用 100mg	○	○	○	○
640453140	トブラシン注 600mg	○	○	○	○
646120062	トブラシン注 900mg	○	○	○	○
620003676	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「サワイ」		○	○	○
620004178	ブルテツシン注射液 100mg		○	○	
620006356	ロミカシン注射液 100mg		○	○	
621069302	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「N i k P」		○	○	○
621069501	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「F」			○	○

620009190 シオセシン電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	カマイシン注射液 100mg				
621069402	アミカシン硫酸塩注射液 100mg「日医工」	○	○	○	○
621069001	アミカシン硫酸塩注 100mg「NP」		○	○	○
620003677	アミカシン硫酸塩注射液 200mg「サワイ」		○	○	○
620003797	プルテツシン注射液 200mg	○	○	○	
620006651	ロミカシン注射液 200mg	○	○	○	
621070102	アミカシン硫酸塩注射液 200mg「N i k P」		○	○	○
621070301	アミカシン硫酸塩注射液 200mg「F」			○	○
620003191	アミカマイシン注射液 200mg	○	○	○	○
621070202	アミカシン硫酸塩注射液 200mg「日医工」	○	○	○	○
621069701	アミカシン硫酸塩注 200mg「NP」		○	○	○
621070602	アミカシン硫酸塩注射用 100mg「日医工」	○	○	○	○
621070902	アミカシン硫酸塩注射用 200mg「日医工」	○	○	○	○
640453078	シオセシン注射液 200	○	○	○	○
620003198	エクサシン注射液 200	○	○	○	○
620003193	イセパシン注射液 200	○	○	○	○
620005641	イセパマイシン硫酸塩注射液 200mg「日医工」	○	○	○	○
621604701	イセパマイシン硫酸塩注射液 200mg「サワイ」		○	○	○
646120080	イセパシン注射液 400	○	○	○	○
646120081	エクサシン注射液 400	○	○	○	○
640453079	シオセシン注射液 400	○	○	○	○
620005642	イセパマイシン硫酸塩注射液 400mg「日医工」	○	○	○	○
621695601	イセパマイシン硫酸塩注射液 400mg「サワイ」		○	○	○
622213301	トービイ吸入液 300mg		○	○	○
620009196	トロビシン筋注用 2g	○	○	○	○
620008618	コリマイシン散 200万単位/g	○	○	○	○
620008753	メタコリマイシン顆粒 200万単位/g	○	○	○	○
620008752	メタコリマイシンカプセル 300万単位	○	○	○	○
622415701	オールドレブ点滴静注用 150mg			○	○
620003657	硫酸ポリミキシンB錠 2.5万単位「ファイザー」	○	○	○	○
620003658	硫酸ポリミキシンB錠 100万単位「ファイザー」	○	○	○	○
616120011	セフテムカプセル 100mg	○	○	○	○
616120012	セフテムカプセル 200mg	○	○	○	○
622199101	タイガシル点滴静注用 50mg		○	○	○
622066601	アモキシシリン細粒 10%「タツミ」	○	○	○	
610454003	アモリン細粒 10%	○	○	○	○
620006920	サワシリン細粒 10%	○	○	○	○
620007026	パセトシン細粒 10%	○	○	○	○
622112902	ワイドシリン細粒 10%			○	○
620005906	アモキシシリン細粒 20%「タツミ」	○	○	○	
621073001	ワイドシリン細粒 20%			○	○
616130132	サワシリン錠 2.50	○	○	○	○
616130295	パセトシン錠 2.50	○	○	○	○
616130039	アモリンカプセル 12.5	○	○	○	○
620007024	パセトシンカプセル 12.5	○	○	○	○

622054901 レセプト電算コード	商品名 シリンカプセル 125	2010	2012	2014	2016
622066501	アモキシシリンカプセル 125mg 「タツミ」	○	○	○	○
622111101	アモキシシリンカプセル 125mg 「トーワ」	○	○	○	○
622127801	アモキシシリンカプセル 125mg 「日医工」	○	○	○	○
622165902	アモキシシリンカプセル 125mg 「NP」		○	○	○
616130040	アモリンカプセル 25	○	○	○	○
620006829	アモキシシリンカプセル 25mg 「タツミ」	○	○	○	○
620006919	サワシリンカプセル 25	○	○	○	○
620007025	バセトシンカプセル 25	○	○	○	○
620008584	アモキシシリンカプセル 25mg 「日医工」	○	○	○	○
620009117	アモキシシリンカプセル 25mg 「トーワ」	○	○	○	○
621073901	アモキシシリンカプセル 25mg 「NP」		○	○	○
621074701	ピクシリンカプセル 25mg	○	○	○	○
621075101	ピクシリンドライシロップ 1%	○	○	○	○
610451023	ペンゲッド錠 25mg	○	○	○	○
621076301	ユナシン細粒小児用 1%	○	○	○	○
621076401	ユナシン錠 375mg	○	○	○	○
621076601	ピクシリン注射用 2.5g	○	○	○	○
621076801	ピクシリン注射用 5g	○	○	○	○
621077201	ピクシリン注射用 1g	○	○	○	○
621077501	ピクシリン注射用 2g	○	○	○	○
621078403	ピペラシリンナトリウム注射用 1g 「日医工」		○	○	
646130136	ペントシリン注射用 1g	○	○	○	○
620007456	ピペユンシン注射用 1g	○	○	○	○
621078301	ピペラシリンNa注射用 1g 「サワイ」		○	○	○
621078103	ピペラシリンNa注射用 1g 「テバ」		○	○	○
621078601	ピペラシリンNa注射用 1g 「トーワ」		○	○	○
621342601	ピペラシリンNa注射用 1g 「SN」			○	○
621079203	ピペラシリンナトリウム注射用 2g 「日医工」		○	○	
646130137	ペントシリン注射用 2g	○	○	○	○
620007457	ピペユンシン注射用 2g	○	○	○	○
621079101	ピペラシリンNa注射用 2g 「サワイ」		○	○	○
621078903	ピペラシリンNa注射用 2g 「テバ」		○	○	○
621079401	ピペラシリンNa注射用 2g 「トーワ」		○	○	○
621342802	ピペラシリンNa注射用 2g 「SN」			○	○
622079701	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ 1g 「NP」	○	○	○	
640462059	ペントシリン静注用 1g バッグ	○	○	○	○
622079801	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ 2g 「NP」	○	○	○	
640462060	ペントシリン静注用 2g バッグ	○	○	○	○
616130002	L-ケフレックス小児用顆粒	○	○	○	○
616130378	L-キサール顆粒 5	○	○	○	○
616130003	L-ケフレックス顆粒	○	○	○	○
621083104	セファレキシシン顆粒 5mg 「JG」			○	
621083503	セファレキシシン錠 25 「日医工」		○	○	
620003645	ラリキシシン錠 25mg	○	○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
610454041	センセファリンカプセル125				
610454042	センセファリンカプセル25	○	○	○	○
620004512	セファレキシнкаプセル25mg「トーワ」	○	○	○	○
620004981	ケフレックスカプセル25mg	○	○	○	○
610453048	ケフレックスシロップ用細粒1	○	○	○	○
610454043	センセファリンシロップ用細粒1%	○	○	○	○
620003646	ラリキシンドライシロップ小児用1%	○	○	○	○
616130115	ケフレックスシロップ用細粒2	○	○	○	○
616130229	センセファリンシロップ用細粒2%	○	○	○	○
620003647	ラリキシンドライシロップ小児用2%	○	○	○	○
621085602	セファレキシンドライシロップ小児用5%「日医工」		○	○	
621087903	セファクローリン細粒1%「日医工」		○	○	○
616130112	ケフラーン細粒小児用1mg	○	○	○	○
621086806	セファクローリン細粒小児用1%「JG」			○	○
621087001	セファクローリン細粒小児用1%「サワイ」			○	○
621088403	セファクローリン細粒2%「日医工」		○	○	
616130469	L-ケフラーン顆粒	○	○	○	○
616130110	ケフラーンカプセル25mg	○	○	○	○
620008657	トキクローリンカプセル25mg	○	○	○	○
621088802	セファクローリンカプセル25mg「TCK」		○	○	○
621089701	セファクローリンカプセル25mg「トーワ」		○	○	○
621089501	セファクローリンカプセル25mg「日医工」		○	○	○
621088705	セファクローリンカプセル25mg「JG」			○	○
621089103	セファクローリンカプセル25mg「SN」			○	○
621088901	セファクローリンカプセル25mg「サワイ」			○	○
620005947	オラスポア小児用ドライシロップ1%	○	○	○	○
616130404	セフスパン細粒5mg	○	○	○	○
610453059	セフィーナ細粒5	○	○	○	○
620000061	セフィーナ細粒1	○	○	○	○
616130405	セフスパンカプセル5mg	○	○	○	○
616130406	セフスパンカプセル1mg	○	○	○	○
620002756	テラミロン細粒小児用1%	○	○	○	○
620003583	トミロン細粒小児用1%	○	○	○	○
621675801	セフテラムピボキシリン細粒小児用1%「日医工」		○	○	○
616130407	トミロン錠5	○	○	○	○
616130408	トミロン錠1	○	○	○	○
620004958	オラセフ錠25mg	○	○	○	○
620003968	セフボドキシムプロキセチル錠1「TCK」	○	○	○	○
620003970	セフボドキシムプロキセチル錠1mg「タイヨー」	○	○	○	○
620008681	パナン錠1mg	○	○	○	○
621744203	セフボドキシムプロキセチル錠1mg「JG」		○	○	○
621744401	セフボドキシムプロキセチル錠1mg「トーワ」		○	○	○
621747601	セフボドキシムプロキセチル錠1mg「サワイ」			○	○
620008682	パナンドライシロップ5%	○	○	○	○
621747701	セフボドキシムプロキセチルD S小児用5%「サワイ」			○	○

レセプト電算コード	商品名	2010	2012	2014	2016
616130476	パンスポリン錠100				
616130477	パンスポリン錠200	○	○	○	○
620004513	セフゾン細粒小児用10%	○	○	○	○
621935801	セフジニル細粒小児用10%「タイヨー」	○	○	○	○
620008483	セフジニル細粒小児用10%「YD」	○	○	○	○
620008482	セフジニル細粒小児用10%「サワイ」	○	○	○	○
620008484	セフジニル細粒10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620009343	セフジニル細粒10%小児用「TYK」	○	○	○	○
620009344	セフニール細粒小児用10%	○	○	○	○
621889403	セフジニル細粒小児用10%「JG」		○	○	○
621885302	セフジニル細粒10%小児用「ファイザー」			○	○
621935901	セフジニル細粒小児用20%「タイヨー」	○	○	○	○
620008488	セフジニル錠50mg「サワイ」	○	○	○	○
620008490	セフジニル錠100mg「サワイ」	○	○	○	○
616130531	セフゾンカプセル50mg	○	○	○	○
620008491	セフニールカプセル50mg	○	○	○	○
620009334	セフジニルカプセル50mg「TCK」	○	○	○	○
620009335	セフジニルカプセル50mg「TYK」	○	○	○	○
620009337	セフジニルカプセル50mg「YD」	○	○	○	○
620009336	セフジニルカプセル50mg「日医工」	○	○	○	○
621910002	セフジニルカプセル50mg「JG」		○	○	○
621885102	セフジニルカプセル50mg「ファイザー」			○	○
616130532	セフゾンカプセル100mg	○	○	○	○
620008492	セフニールカプセル100mg	○	○	○	○
620009339	セフジニルカプセル100mg「TCK」	○	○	○	○
620009340	セフジニルカプセル100mg「TYK」	○	○	○	○
620009342	セフジニルカプセル100mg「YD」	○	○	○	○
620009341	セフジニルカプセル100mg「日医工」	○	○	○	○
621910102	セフジニルカプセル100mg「JG」		○	○	○
621885202	セフジニルカプセル100mg「ファイザー」			○	○
620005503	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「CH」	○	○	○	○
620005501	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「EMEC」	○	○	○	○
620005502	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「サワイ」	○	○	○	○
620005499	セフジトレンピボキシル細粒小児用10%「トーワ」	○	○	○	○
620005500	セフジトレンピボキシル細粒10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620008746	メイアクトMS小児用細粒10%	○	○	○	○
620004080	メイアクトMS錠100mg	○	○	○	○
620005506	セフジトレンピボキシル錠100mg「CH」	○	○	○	○
620005505	セフジトレンピボキシル錠100mg「サワイ」	○	○	○	○
620005507	セフジトレンピボキシル錠100mg「トーワ」	○	○	○	○
620005508	セフジトレンピボキシル錠100mg「日医工」	○	○	○	○
610411059	フロモックス小児用細粒100mg	○	○	○	○
621955901	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「CH」	○	○	○	○
621939401	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「JG」	○	○	○	○
621940201	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「YD」	○	○	○	○

621946301 シロート電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621931001	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「トーワ」	○	○	○	○
621962401	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒10%小児用「日医工」	○	○	○	○
621962501	セフカベンピボキシル塩酸塩小児用細粒10%「サワイ」	○	○	○	○
621942904	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「ファイザー」			○	○
610411057	フロモックス錠75mg	○	○	○	○
620009331	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「サワイ」	○	○	○	○
621956001	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「CH」	○	○	○	○
621930801	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「TCK」	○	○	○	○
621940301	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「YD」	○	○	○	○
621947501	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「トーワ」	○	○	○	○
621962601	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「日医工」	○	○	○	○
621943004	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「ファイザー」			○	○
610411058	フロモックス錠100mg	○	○	○	○
620009332	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「サワイ」	○	○	○	○
621956101	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「CH」	○	○	○	○
621930901	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「TCK」	○	○	○	○
621940401	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「YD」	○	○	○	○
621947601	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「トーワ」	○	○	○	○
621962701	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「日医工」	○	○	○	○
621943104	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「ファイザー」			○	○
646130121	パンスポリン筋注用0.25g	○	○	○	○
646130110	ハロスポア静注用0.25g	○	○	○	○
646130122	パンスポリン静注用0.25g	○	○	○	○
620004140	セファピコール静注用0.25g	○	○	○	○
620007293	ケミスポリン静注用0.25g	○	○	○	○
621989702	セフォチアム塩酸塩静注用0.25g「日医工」		○	○	○
621987602	セフォチアム塩酸塩静注用0.25g「NP」		○	○	○
621924001	セフォチアム塩酸塩静注用0.25g「SN」			○	○
646130111	ハロスポア静注用0.5g	○	○	○	○
646130123	パンスポリン静注用0.5g	○	○	○	○
620004141	セファピコール静注用0.5g	○	○	○	○
620007294	ケミスポリン静注用0.5g	○	○	○	○
621989802	セフォチアム塩酸塩静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621344901	セフォチアム塩酸塩静注用0.5g「NP」		○	○	○
621924101	セフォチアム塩酸塩静注用0.5g「SN」			○	○
646130112	ハロスポア静注用1g	○	○	○	○
646130124	パンスポリン静注用1g	○	○	○	○
620003732	セファピコール静注用1g	○	○	○	○
620007295	ケミスポリン静注用1g	○	○	○	○
621345002	セフォチアム塩酸塩静注用1g「日医工」		○	○	○
621345301	セフォチアム塩酸塩静注用1g「NP」		○	○	○
621095002	セフォチアム塩酸塩静注用1g「SN」			○	○
640408149	パンスポリン静注用1gバッグS	○	○	○	○
620009563	セフォチアム静注用1gバッグ「日医工」	○	○	○	○

2013年度電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
62134009	オチアム塩酸塩点滴静注用1gバッグ「NP」				
640408148	パンスポリン静注用1gバッグG	○	○	○	○
620003735	セファメジンα注射用●. 25g	○	○	○	○
622104201	セファゾリンNa注射用●. 25g「タイヨー」	○	○	○	○
622130801	セファゾリンナトリウム注射用●. 25g「日医工」	○	○	○	○
622177601	トキオ注射用●. 25g		○	○	○
622124902	セファゾリンNa注射用●. 25g「NP」			○	○
622033402	セファゾリンNa注射用●. 5g「NP」			○	○
622104301	セファゾリンNa注射用●. 5g「タイヨー」		○	○	○
622177701	トキオ注射用●. 5g		○	○	○
620003736	セファメジンα注射用●. 5g	○	○	○	○
621096002	セファゾリンナトリウム注射用●. 5g「日医工」		○	○	○
620003737	セファメジンα注射用1g	○	○	○	○
621096701	トキオ注射用1g	○	○	○	○
621096503	セファゾリンNa注射用1g「タイヨー」	○	○	○	○
621096802	セファゾリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	○
621096601	セファゾリンNa注射用1g「NP」			○	○
620003738	セファメジンα注射用2g	○	○	○	○
621097303	セファゾリンNa注射用2g「タイヨー」	○	○	○	○
622177801	トキオ注射用2g		○	○	○
621097602	セファゾリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	○
621097401	セファゾリンNa注射用2g「NP」			○	○
620003733	セファメジンα筋注用●. 25g	○	○	○	○
620003734	セファメジンα筋注用●. 5g	○	○	○	○
620003740	セファメジンα点滴用キット2g	○	○	○	○
620003739	セファメジンα点滴用キット1g	○	○	○	○
620007318	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「オーツカ」	○	○	○	○
621757001	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「NP」			○	○
620005674	コアキシシ注射用1g	○	○	○	○
620005675	コアキシシ注射用2g	○	○	○	○
646130072	セフメタゾン筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130073	セフメタゾン静注用●. 25g	○	○	○	○
622125001	セフメタゾールNa静注用●. 25g「NP」	○	○	○	○
622131001	セフメタゾールナトリウム静注用●. 25g「日医工」	○	○	○	○
622111501	リリアジン静注用●. 25g	○	○	○	○
622104002	セフメタゾールNa静注用●. 25g「テバ」			○	○
646130074	セフメタゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
621987501	セフメタゾールNa静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
622131101	セフメタゾールナトリウム静注用●. 5g「日医工」	○	○	○	○
622111601	リリアジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622104102	セフメタゾールNa静注用●. 5g「テバ」			○	○
646130075	セフメタゾン静注用1g	○	○	○	○
620006243	セフメタゾールNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
620007540	リリアジン静注用1g	○	○	○	○

621102102 621101803 電算コード	セフメタゾールナトリウム静注用1g「日医工」 セフメタゾールNa静注用1g「テバ」	2010	2012	2014	2016
646130076	セフメタゾン静注用2g	○	○	○	○
620006244	セフメタゾールNa静注用2g「NPJ」	○	○	○	○
620007541	リリアジン静注用2g	○	○	○	○
621102802	セフメタゾールナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	○
621101903	セフメタゾールNa静注用2g「テバ」			○	○
640470010	セフメタゾンキット点滴静注用1g	○	○	○	○
620004151	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ1g「NPJ」	○	○	○	○
621951701	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ2g「NPJ」	○	○	○	○
640454018	セフォタックス注射用●. 5g	○	○	○	○
620004652	クラフォラン注射用●. 5g	○	○	○	○
640454019	セフォタックス注射用1g	○	○	○	○
620004653	クラフォラン注射用1g	○	○	○	○
646130067	セフォビッド注射用1g	○	○	○	○
646130071	セフォペラジン注射用1g	○	○	○	○
646130132	ベストコール筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130133	ベストコール静注用●. 5g	○	○	○	○
646130134	ベストコール静注用1g	○	○	○	○
620002999	モダケミン静注用●. 5g	○	○	○	○
620003827	モダシン静注用●. 5g	○	○	○	○
620006701	セフタジジム静注用●. 5g「マイラン」	○	○	○	○
621967001	セフタジジム静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621936401	セフタジジム静注用●. 5g「タイヨー」	○	○	○	○
622052901	セフタジジム静注用●. 5g「サワイ」	○	○	○	○
622124801	セフタジジム静注用●. 5g「NPJ」	○	○	○	○
621756202	セフタジジム静注用●. 5g「日医工」		○	○	○
621755802	セフタジジム静注用●. 5g「SNJ」			○	○
620003000	モダケミン静注用1g	○	○	○	○
620003001	モベンゾシン静注用1g	○	○	○	○
620003828	モダシン静注用1g	○	○	○	○
620005676	セフタジジム静注用1g「NPJ」	○	○	○	○
620006702	セフタジジム静注用1g「マイラン」	○	○	○	○
621967101	セフタジジム静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621703001	セフタジジム静注用1g「サワイ」	○	○	○	○
621756502	セフタジジム静注用1g「日医工」		○	○	○
621755902	セフタジジム静注用1g「SNJ」			○	○
646130268	ロセフィン静注用●. 5g	○	○	○	○
640463134	リアソフィン静注用●. 5g	○	○	○	○
620009566	セフキソン静注用●. 5g	○	○	○	○
620009567	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621987301	セフトリアキソンナトリウム静注用●. 5g「NPJ」	○	○	○	○
621967202	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「サワイ」		○	○	○
621538203	セフトリアキソンナトリウム静注用●. 5g「日医工」		○	○	○
622077302	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「ファイザー」		○	○	○

621836501 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
646130269	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「テバ」				
640463135	ロセフィン静注用1g	○	○	○	○
640463080	リアソフィン静注用1g	○	○	○	○
620009568	セフトリアキソンNa静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621987401	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「NP」	○	○	○	○
621488601	セフトリアキソンNa静注用1g「サワイ」		○	○	○
621538303	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	○
621555202	セフトリアキソンNa静注用1g「ファイザー」		○	○	○
621555101	セフトリアキソンNa静注用1g「テバ」		○	○	○
640470011	ロセフィン点滴静注用1gバッグ	○	○	○	○
620002955	セフトリアキソンナトリウム点滴用1gバッグ「NP」	○	○	○	○
622051701	セフトリアキソンナトリウム点滴静注用バッグ1g「ファイザー」	○	○	○	○
620007514	メイセリン静注用1g	○	○	○	○
620004148	セフピロム硫酸塩静注用●. 5g「CMX」	○	○	○	○
620006706	硫酸セフピロム静注用●. 5g「マイラン」	○	○	○	○
620004149	セフピロム硫酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
620006707	硫酸セフピロム静注用1g「マイラン」	○	○	○	○
640407076	注射用マキシピーム●. 5g	○	○	○	○
621966801	セフェピム塩酸塩静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621994601	セフェピム塩酸塩静注用●. 5g「CMX」	○	○	○	○
640407077	注射用マキシピーム1g	○	○	○	○
621966901	セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621994701	セフェピム塩酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
640407080	ファーストシン静注用●. 5g	○	○	○	○
640407081	ファーストシン静注用1g	○	○	○	○
640443046	ファーストシン静注用1gバッグS	○	○	○	○
640443047	ファーストシン静注用1gバッグG	○	○	○	○
666130005	エポセリン坐剤125	○	○	○	○
666130006	エポセリン坐剤25●	○	○	○	○
646130037	シオマリル静注用1g	○	○	○	○
646130301	フルマリル静注用●. 5g	○	○	○	○
646130302	フルマリル静注用1g	○	○	○	○
640443048	フルマリルキット静注用1g	○	○	○	○
620005201	パニマイシン注射液5●mg	○	○	○	○
620005202	パニマイシン注射液1●●mg	○	○	○	○
620005180	注射用パニマイシン1●●mg	○	○	○	○
620003780	ピスタマイシン筋注5●●mg	○	○	○	○
620003781	ピスタマイシン筋注1●●●mg	○	○	○	○
646120011	ゲンタシン注1●	○	○	○	○
622037301	ゲンタマイシン硫酸塩注射液1●mg「日医工」	○	○	○	○
622074801	エルタシン注1●mg	○	○	○	○
622074802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液1●mg「F」				○
621111803	ゲンタマイシン硫酸塩注射液4●mg「日医工」		○	○	○
620003210	ゲンタシン注4●	○	○	○	○

620006210 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621111802	エルタシン注40mg ゲンタマイシン硫酸塩注射液40mg「F」				○
646120012	ゲンタシン注60	○	○	○	○
620006211	エルタシン注60mg	○	○	○	○
621112004	ゲンタマイシン硫酸塩注射液60mg「日医工」		○	○	○
621112003	ゲンタマイシン硫酸塩注射液60mg「F」				○
616130512	ホスミシン錠250	○	○	○	○
616130513	ホスミシン錠500	○	○	○	○
621946401	ホスマイカプセル250mg	○	○	○	○
621964002	ホスホマイシンカルシウムカプセル250mg「日医工」		○	○	○
620008731	ホスマイカプセル500mg	○	○	○	○
621113002	ホスホマイシンカルシウムカプセル500mg「日医工」		○	○	○
616130332	ホスミシンドライシロップ200	○	○	○	○
616130526	ホスホミシンドライシロップ400	○	○	○	○
616130333	ホスミシンドライシロップ400	○	○	○	○
621113712	ホスホマイシンカルシウムドライシロップ400%「日医工」		○	○	
621812201	ホスホマイシンナトリウム静注用0.5g「日医工」		○	○	
622104401	フラゼミシン静注用0.5g	○	○	○	
622131501	ホスカリーゼ静注用0.5g	○	○	○	
620003815	ホスミシンS静注用0.5g	○	○	○	○
622079901	ホスホマイシンNa静注用0.5g「NP」		○	○	
622045702	ホスホマイシンNa静注用0.5g「タカタ」		○	○	○
620004750	フラゼミシン静注用1g	○	○	○	
620004767	ホスカリーゼ静注用1g	○	○	○	
621766301	ホスホマイシンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	
620003816	ホスミシンS静注用1g	○	○	○	○
620006316	ホスホマイシンNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
621114602	ホスホマイシンNa静注用1g「タカタ」		○	○	○
620004751	フラゼミシン静注用2g	○	○	○	
620004768	ホスカリーゼ静注用2g	○	○	○	
621766401	ホスホマイシンナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	
620003817	ホスミシンS静注用2g	○	○	○	○
620006317	ホスホマイシンNa静注用2g「NP」	○	○	○	○
621115302	ホスホマイシンNa静注用2g「タカタ」		○	○	○
620007477	フラゼミシン点滴静注用2gキット	○	○	○	○
640451022	ホスミシンSバッグ1g点滴静注用	○	○	○	○
640451023	ホスミシンSバッグ2g点滴静注用	○	○	○	○
610411055	ファロム錠150mg	○	○	○	○
610411056	ファロム錠200mg	○	○	○	○
620008702	ファロムドライシロップ小児用10%	○	○	○	○
621926801	オラベネム小児用細粒10%	○	○	○	○
621116201	オーグメンチン配合錠125SS	○	○	○	○
621116301	オーグメンチン配合錠250RS	○	○	○	○
621709001	クラバモックス小児用配合ドライシロップ	○	○	○	○
620007519	メロペン点滴用バイアル0.25g	○	○	○	○

620009585 シブレット電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620009586	メロペネム点滴静注用⓪、2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621952301	メロペネム点滴静注用⓪、2.5g「NP」	○	○	○	○
621950101	メロペネム点滴静注用⓪、2.5g「ケミファ」	○	○	○	○
621967801	メロペネム点滴静注用⓪、2.5g「サワイ」	○	○	○	○
621967901	メロペネム点滴静注用⓪、2.5g「タナベ」	○	○	○	○
621946701	メロペネム点滴静注用⓪、2.5g「トーフ」	○	○	○	○
621947901	メロペネム点滴静注用⓪、2.5g「明治」	○	○	○	○
622044201	メロペネム点滴静注用⓪、2.5g「ファイザー」	○	○	○	○
620007520	メロペン点滴用バイアル⓪、5g	○	○	○	○
620009587	メロペネム点滴静注用⓪、5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009588	メロペネム点滴静注用⓪、5g「日医工」	○	○	○	○
621952401	メロペネム点滴静注用⓪、5g「NP」	○	○	○	○
621950201	メロペネム点滴静注用⓪、5g「ケミファ」	○	○	○	○
621968001	メロペネム点滴静注用⓪、5g「サワイ」	○	○	○	○
621968101	メロペネム点滴静注用⓪、5g「タナベ」	○	○	○	○
621946801	メロペネム点滴静注用⓪、5g「トーフ」	○	○	○	○
621948001	メロペネム点滴静注用⓪、5g「明治」	○	○	○	○
622044301	メロペネム点滴静注用⓪、5g「ファイザー」	○	○	○	○
622439001	メロペネム点滴静注用1g「NP」			○	○
622419401	メロペネム点滴静注用1g「明治」			○	○
620007518	メロペン点滴用キット⓪、5g	○	○	○	○
621952501	メロペネム点滴静注用バッグ⓪、5g「NP」	○	○	○	○
621967701	メロペネム点滴静注用バッグ⓪、5g「日医工」	○	○	○	○
621931801	メロペネム点滴静注用バッグ⓪、5g「明治」	○	○	○	○
622471301	メロペネム点滴静注用バッグ1g「NP」			○	○
622460901	メロペネム点滴静注用バッグ1g「明治」			○	○
640451036	オメガシン点滴用⓪、3g	○	○	○	○
640451037	オメガシン点滴用⓪、3gバッグ	○	○	○	○
621708501	フィニバックス点滴静注用⓪、2.5g	○	○	○	○
622078501	フィニバックス点滴静注用⓪、5g	○	○	○	○
621727601	フィニバックス点滴静注用⓪、2.5g	○	○	○	○
646130264	スルペラゾン静注用⓪、5g	○	○	○	○
620004152	セフロニック静注用⓪、5g	○	○	○	○
620007316	スperlゾン静注用⓪、5g	○	○	○	○
622083601	スルタムジン静注用⓪、5g	○	○	○	○
622099301	セフォセフ静注用⓪、5g	○	○	○	○
622130901	セフォン静注用⓪、5g	○	○	○	○
622111401	バクフォーゼ静注用⓪、5g	○	○	○	○
622080002	ワイスタール配合静注用⓪、5g		○	○	○
646130265	スルペラゾン静注用1g	○	○	○	○
640444050	セフォセフ静注用1g	○	○	○	○
640444051	セフォン静注用1g	○	○	○	○
640444071	バクフォーゼ静注用1g	○	○	○	○
640453097	スルタムジン静注用1g	○	○	○	○

620003742 レセプト電算コード	620007317 名称	2010	2012	2014	2016
	マイクロニック静注用 1 g	○	○	○	○
	スベルゾン静注用 1 g	○	○	○	○
621347901	ワイスタール配合静注用 1 g		○	○	○
621116801	スルペラゾンキット静注用 1 g	○	○	○	○
621441901	ワイスタール配合点滴静注用 1 g バッグ		○	○	○
620004108	インダスト点滴静注用 ●. 2.5 g	○	○	○	○
620007364	チエナム点滴静注用 ●. 2.5 g	○	○	○	○
620008211	チエペナム点滴静注用 ●. 2.5 g	○	○	○	○
622010201	チエクール点滴用 ●. 2.5 g	○	○	○	○
622127601	イミペナム・シラスタチン点滴用 ●. 2.5 g 「サンド」	○	○	○	○
622172601	イミスタン点滴静注用 ●. 2.5 g		○	○	○
620003703	インダスト点滴静注用 ●. 5 g	○	○	○	○
620004106	イミスタン点滴静注用 ●. 5 g	○	○	○	○
620004155	チエクール点滴用 ●. 5 g	○	○	○	○
620004707	チエペナム点滴静注用 ●. 5 g	○	○	○	○
620005643	イミペナム・シラスタチン点滴用 ●. 5 g 「サンド」	○	○	○	○
620007365	チエナム点滴静注用 ●. 5 g	○	○	○	○
620007362	チエナム筋注用 ●. 5 g	○	○	○	○
620007363	チエナム点滴静注用キット ●. 5 g	○	○	○	○
646130368	カルベニン点滴用 ●. 2.5 g	○	○	○	○
646130369	カルベニン点滴用 ●. 5 g	○	○	○	○
640406222	ユナシン - S 静注用 ●. 7.5 g	○	○	○	○
620003003	ユナスピン静注用 ●. 7.5 g	○	○	○	○
620004132	スルバクシン静注用 ●. 7.5 g	○	○	○	○
620004134	スルバシリン静注用 ●. 7.5 g	○	○	○	○
620005874	ピスルシン静注用 ●. 7.5 g	○	○	○	○
620009560	スルバクタム・アンピシリン静注用 ●. 7.5 g 「サンド」	○	○	○	○
622118402	ピシリバクタ静注用 ●. 7.5 g	○	○	○	○
622100601	ユーシオン - S 静注用 ●. 7.5 g	○	○	○	○
640406223	ユナシン - S 静注用 1. 5 g	○	○	○	○
620002977	ピシリバクタ静注用 1. 5 g	○	○	○	○
620003002	ユーシオン - S 静注用 1. 5 g	○	○	○	○
620003004	ユナスピン静注用 1. 5 g	○	○	○	○
620004133	スルバクシン静注用 1. 5 g	○	○	○	○
620004135	スルバシリン静注用 1. 5 g	○	○	○	○
620005875	ピスルシン静注用 1. 5 g	○	○	○	○
620009561	スルバクタム・アンピシリン静注用 1. 5 g 「サンド」	○	○	○	○
622250001	ユナシン - S 静注用 3 g		○	○	○
622419601	スルバシリン静注用 3 g			○	○
622408701	ピスルシン静注用 3 g			○	○
622464401	スルバクシン静注用 3 g			○	○
622467201	ピシリバクタ静注用 3 g			○	○
622458201	ユーシオン - S 静注用 3 g			○	○
622441301	ユナスピン静注用 3 g			○	○
620004775	ユナシン - S キット静注用 1. 5 g	○	○	○	○

620004776 620008446	電算コード 名称	2010	2012	2014	2016
	ゾシン-Sキット静注用3g				
	ゾシン静注用2.25				
622441401	タゾピペ配合静注用2.25「CHM」			○	○
622464701	タゾピペ配合静注用2.25「DK」			○	○
622453701	タゾピペ配合静注用2.25「DSEP」			○	○
622450601	タゾピペ配合静注用2.25「SN」			○	○
622461801	タゾピペ配合静注用2.25「サンド」			○	○
622458801	タゾピペ配合静注用2.25「テバ」			○	○
622467001	タゾピペ配合静注用2.25「日医工」			○	○
622470601	タゾピペ配合静注用2.25「ニプロ」			○	○
622455601	タゾピペ配合静注用2.25「ファイザー」			○	○
622460701	タゾピペ配合静注用2.25「明治」			○	○
620008447	ゾシン静注用4.5	○	○	○	○
622441501	タゾピペ配合静注用4.5「CHM」			○	○
622464801	タゾピペ配合静注用4.5「DK」			○	○
622453801	タゾピペ配合静注用4.5「DSEP」			○	○
622450701	タゾピペ配合静注用4.5「SN」			○	○
622461901	タゾピペ配合静注用4.5「サンド」			○	○
622458901	タゾピペ配合静注用4.5「テバ」			○	○
622467101	タゾピペ配合静注用4.5「日医工」			○	○
622470701	タゾピペ配合静注用4.5「ニプロ」			○	○
622455701	タゾピペ配合静注用4.5「ファイザー」			○	○
622460801	タゾピペ配合静注用4.5「明治」			○	○
622423101	ゾシン配合点滴静注用バッグ4.5			○	○
622454001	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「DSEP」			○	○
622470901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ニプロ」			○	○
622455901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ファイザー」			○	○
622462101	タゾピペ配合点滴静注用4.5バッグ「サンド」			○	○
622453901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「DSEP」			○	○
622470801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ニプロ」			○	○
622455801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ファイザー」			○	○
622462001	タゾピペ配合点滴静注用2.25バッグ「サンド」			○	○
620000022	エリスロシンW顆粒2.0%	○	○	○	○
620001975	エリスロシンドライシロップ1.0%	○	○	○	○
620001974	エリスロシンドライシロップW2.0%	○	○	○	○
620004463	エリスロマイシン錠2.0.0mg「サワイ」	○	○	○	○
620000020	エリスロシン錠1.0.0mg	○	○	○	○
620000021	エリスロシン錠2.0.0mg	○	○	○	○
621120001	エリスロシン点滴静注用5.0.0mg	○	○	○	○
620003495	アセチルスピラマイシン錠1.0.0	○	○	○	○
620003496	アセチルスピラマイシン錠2.0.0	○	○	○	○
620003554	ジョサマイシン錠5.0mg	○	○	○	○
620003555	ジョサマイシン錠2.0.0mg	○	○	○	○
620004503	ジョサマイシロップ3%	○	○	○	○
620004504	ジョサマイドドライシロップ1.0%	○	○	○	○

616140099 620002885	電算コード ルリッド錠150 名林 ロキソマイシン錠150mg	2010	2012	2014	2016
620004096	ロキソロマイシン錠150mg「サンド」	○	○	○	○
621681102	ロキソロマイシン錠150mg「RM」		○	○	○
621694602	ロキソロマイシン錠150mg「ファイザー」		○	○	○
621693303	ロキソロマイシン錠150mg「JG」		○	○	○
621694201	ロキソロマイシン錠150mg「サワイ」			○	○
621675901	ロキソロマイシン錠150mg「日医工」			○	○
616140101	クラリシッド錠50mg小児用	○	○	○	○
616140104	クラリス錠50小児用	○	○	○	○
620003921	クラリスロマイシン錠50mg小児用「CH」	○	○	○	○
620003918	クラリスロマイシン錠50mg小児用「EMEC」	○	○	○	○
620003919	クラリスロマイシン錠50mg小児用「NP I」	○	○	○	○
620003917	クラリスロマイシン錠50小児用「TCK」	○	○	○	○
620003920	クラリスロマイシン錠50mg小児用「サワイ」	○	○	○	○
620003922	クラリスロマイシン錠50mg小児用「タイヨー」	○	○	○	○
620003916	クラリスロマイシン錠小児用50mg「タカタ」	○	○	○	○
620003923	クラリスロマイシン錠50mg小児用「日医工」	○	○	○	○
620003945	クラロイシン錠50小児用	○	○	○	○
620004075	マインベース錠50小児用	○	○	○	○
620005425	クラリスロマイシン錠50小児用「MEEK」	○	○	○	○
620006669	クラリスロマイシン錠50mg小児用「マイラン」	○	○	○	○
622079301	クラリスロマイシン錠50mg小児用「NP」	○	○	○	○
621741203	クラリスロマイシン錠50mg小児用「杏林」		○	○	○
621752801	クラリスロマイシン錠小児用50mg「トーワ」		○	○	○
616140102	クラリシッド錠200mg	○	○	○	○
616140105	クラリス錠200	○	○	○	○
620003932	クラリスロマイシン錠200mg「CH」	○	○	○	○
620003928	クラリスロマイシン錠200mg「EMEC」	○	○	○	○
620003926	クラリスロマイシン錠200「MEEK」	○	○	○	○
620003929	クラリスロマイシン錠200mg「NP I」	○	○	○	○
620003927	クラリスロマイシン錠200「TCK」	○	○	○	○
620003930	クラリスロマイシン錠200mg「サワイ」	○	○	○	○
620003931	クラリスロマイシン錠200mg「サンド」	○	○	○	○
620003933	クラリスロマイシン錠200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620003934	クラリスロマイシン錠200mg「タカタ」	○	○	○	○
620003935	クラリスロマイシン錠200mg「日医工」	○	○	○	○
620003946	クラロイシン錠200	○	○	○	○
620004076	マインベース錠200	○	○	○	○
620006670	クラリスロマイシン錠200mg「マイラン」	○	○	○	○
620008013	クラリスロマイシン錠200mg「タナベ」	○	○	○	○
622079401	クラリスロマイシン錠200mg「NP」	○	○	○	○
621742103	クラリスロマイシン錠200mg「杏林」		○	○	○
621752901	クラリスロマイシン錠200mg「トーワ」		○	○	○
620003940	クラリスロマイシンDS10%小児用「EMEC」	○	○	○	○

620003941 620003943	電算コード 名称	2010	2012	2014	2016
620003942	クラリスロマイシンDS 10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620003939	クラリスロマイシンDS 10%「MEEK」	○	○	○	○
620004077	マインベースDS 10%小児用	○	○	○	○
620004476	クラリシッド・ドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620004974	クラリスドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620005426	クラリスロマイシンドライシロップ10%小児用「タイヨー」	○	○	○	○
620005427	クラロイシンドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620006671	クラリスロマイシンドライシロップ10%小児用「マイラン」	○	○	○	○
621753001	クラリスロマイシンDS小児用10%「トーワ」		○	○	○
621348401	ジスロマック細粒小児用10%	○	○	○	○
622295301	アジスロマイシン細粒小児用10%「JG」		○	○	○
622303301	アジスロマイシン細粒小児用10%「SN」		○	○	○
622269501	アジスロマイシン細粒小児用10%「YD」		○	○	○
622274301	アジスロマイシン細粒10%小児用「KN」		○	○	○
622274501	アジスロマイシン小児用細粒10%「タカタ」		○	○	○
622353101	アジスロマイシン細粒小児用10%「TCK」			○	○
622411501	アジスロマイシン細粒小児用10%「トーワ」			○	○
610443026	ジスロマック錠250mg	○	○	○	○
622286701	アジスロマイシン錠250mg「DSEP」		○	○	○
622294801	アジスロマイシン錠250mg「F」		○	○	○
622290801	アジスロマイシン錠250mg「JG」		○	○	○
622274201	アジスロマイシン錠250mg「KN」		○	○	○
622276801	アジスロマイシン錠250mg「KOG」		○	○	○
622296901	アジスロマイシン錠250mg「NP」		○	○	○
622303401	アジスロマイシン錠250mg「SN」		○	○	○
622269601	アジスロマイシン錠250mg「YD」		○	○	○
622275601	アジスロマイシン錠250mg「アメル」		○	○	○
622295401	アジスロマイシン錠250mg「サワイ」		○	○	○
622289801	アジスロマイシン錠250mg「サンド」		○	○	○
622274401	アジスロマイシン錠250mg「タカタ」		○	○	○
622282801	アジスロマイシン錠250mg「テバ」		○	○	○
622281501	アジスロマイシン錠250mg「トーワ」		○	○	○
622270801	アジスロマイシン錠250mg「日医工」		○	○	○
622275401	アジスロマイシン錠250mg「わかもと」		○	○	○
622352901	アジスロマイシン錠250mg「TCK」			○	○
622368001	アジスロマイシン錠250mg「CHM」			○	○
610451034	ジスロマック錠600mg	○	○	○	○
622274601	アジスロマイシン小児用錠100mg「タカタ」		○	○	○
622281601	アジスロマイシン錠500mg「トーワ」		○	○	○
622270901	アジスロマイシン錠500mg「日医工」		○	○	○
610443024	ジスロマックカプセル小児用100mg	○	○	○	○
622290701	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「JG」		○	○	○
622303201	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「SN」		○	○	○

622269401 レセプト電算コード	622353001 名称	2010	2012	2014	2016
	ジスロマイシンカプセル小児用 100mg「YD」				
	ジスロマイシンカプセル小児用 100mg「TCK」				
620009094	ジスロマックSR成人用ドライシロップ 2g	○	○	○	○
622085701	ジスロマック点滴静注用 500mg	○	○	○	○
621122501	クロロマイセチン錠 50	○	○	○	○
621122601	クロロマイセチン錠 250	○	○	○	○
621122801	クロロマイセチンサクシネート静注用 1g	○	○	○	○
616150003	アクロマイシンVカプセル 50mg	○	○	○	○
616150002	アクロマイシンVカプセル 250mg	○	○	○	○
621123301	レダマイシンカプセル 150mg	○	○	○	○
620006083	ビブラマイシン錠 50mg	○	○	○	○
620006084	ビブラマイシン錠 100mg	○	○	○	○
620007109	ミノマイシン顆粒 2%	○	○	○	○
621124301	ミノサイクリン塩酸塩顆粒 2%「サワイ」		○	○	○
616150088	ミノマイシン錠 50mg	○	○	○	○
621124603	塩酸ミノサイクリン錠 50「日医工」		○	○	○
621124801	ミノサイクリン塩酸塩錠 50mg「サワイ」		○	○	○
621125101	ミノサイクリン塩酸塩錠 50mg「トーワ」		○	○	○
616150064	ミノマイシン錠 100mg	○	○	○	○
621125401	ミノサイクリン塩酸塩錠 100mg「サワイ」		○	○	○
621125701	ミノサイクリン塩酸塩錠 100mg「トーワ」		○	○	○
616150063	ミノマイシンカプセル 50mg	○	○	○	○
610454083	ミノマイシンカプセル 100mg	○	○	○	○
621126003	塩酸ミノサイクリンカプセル 100「日医工」		○	○	○
620004770	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100mg「日医工」		○	○	○
620005226	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620007513	ミノマイシン点滴静注用 100mg	○	○	○	○
621126801	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100mg「サワイ」		○	○	○
621126501	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100mg「F」			○	○
620003244	硫酸ストレプトマイシン 1g注射用「明治」	○	○	○	○
620008620	サイクロセリンカプセル 250mg「明治」	○	○	○	○
620004093	リファンピシンカプセル 150mg「サンド」	○	○	○	○
620008583	アプテシンカプセル 150mg	○	○	○	○
621127501	リファジンカプセル 150mg	○	○	○	○
620007375	ツベラクチン筋注用 1g	○	○	○	○
620008440	ミコブティンカプセル 150mg	○	○	○	○
620007539	硫酸カナマイシン注射液 1000mg「明治」	○	○	○	○
620008666	ナイスタチン錠 50万単位「明治」	○	○	○	○
620007031	ハリゾン錠 100mg	○	○	○	○
620004560	ファンギゾンシロップ 100mg/mL	○	○	○	○
620007032	ハリゾンシロップ 100mg/mL	○	○	○	○
620007467	ファンギゾン注射用 50mg	○	○	○	○
620003487	アムビゾーム点滴静注用 50mg	○	○	○	○
620002493	ブイフェンド錠 50mg	○	○	○	○
622480701	ポリコナゾール錠 50mg「DSEP」				○

622491901 シロップ電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622499601	ポリコナゾール錠50mg「JG」				○
622483001	ポリコナゾール錠50mg「アメル」				○
622483001	ポリコナゾール錠50mg「タカタ」				○
622495401	ポリコナゾール錠50mg「テバ」				○
622479601	ポリコナゾール錠50mg「トーワ」				○
622501301	ポリコナゾール錠50mg「日医工」				○
620002494	ブイフェンド錠200mg	○	○	○	○
622480801	ポリコナゾール錠200mg「DSEP」				○
622492101	ポリコナゾール錠200mg「JG」				○
622499801	ポリコナゾール錠200mg「アメル」				○
622483101	ポリコナゾール錠200mg「タカタ」				○
622495501	ポリコナゾール錠200mg「テバ」				○
622479701	ポリコナゾール錠200mg「トーワ」				○
622501401	ポリコナゾール錠200mg「日医工」				○
622492001	ポリコナゾール錠100mg「JG」				○
622499701	ポリコナゾール錠100mg「アメル」				○
622375301	ブイフェンドドライシロップ280mg			○	○
640462040	ファンガード点滴用50mg	○	○	○	○
640462041	ファンガード点滴用75mg	○	○	○	○
620003489	ファンガード点滴用25mg	○	○	○	○
620002497	ブイフェンド200mg静注用	○	○	○	○
622136201	カンサイダス点滴静注用50mg		○	○	○
622136301	カンサイダス点滴静注用70mg		○	○	○
621130301	ピクシリンS配合錠	○	○	○	○
621131001	注射用ピクシリンS100	○	○	○	○
646190020	注射用ピクシリンS500	○	○	○	○
646190018	注射用ピクシリンS1000	○	○	○	○
622517701	リフキシマ錠200mg				○
610462048	ランサップ400	○	○	○	○
610462049	ランサップ800	○	○	○	○
622029101	ランピオンパック	○	○	○	○
622289101	ラベキュアパック400		○	○	○
622289201	ラベキュアパック800		○	○	○
622289301	ラベファインパック		○	○	○
622485401	ボノサップパック400				○
622485501	ボノサップパック800				○
622485601	ボノピオンパック				○
610463036	ウイントマイロン錠250	○	○	○	○
616290016	ウイントマイロン錠500	○	○	○	○
620006852	ウイントマイロンシロップ5%	○	○	○	○
620009216	カルノマチン錠250mg	○	○		
621137802	ピペミド酸錠250mg「YD」		○	○	○
616290054	ドルコール錠250mg	○	○	○	○
610407051	キサフロール錠100	○	○	○	○
610407066	シーヌン錠100mg	○	○		

62173800電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	フロキサシン錠100mg「YD」				
621138803	ノルフロキサシン錠100mg「サワイ」			○	○
621138818	ノルフロキサシン錠100mg「ツルハラ」		○	○	○
621138823	ノルフロキサシン錠100mg「EMEC」	○	○	○	○
622058001	バステーン錠100mg	○	○	○	○
616290121	バクシダール錠100mg	○	○	○	○
610407052	キサフロール錠200	○	○	○	○
610407067	シーヌン錠200mg	○	○		
610412023	ウナセラ錠200mg	○	○		
620006594	バステーン錠200mg	○	○	○	○
621139104	ノルフロキサシン錠200mg「サワイ」			○	○
621139117	ノルフロキサシン錠200mg「YD」	○	○	○	○
621139123	ノルフロキサシン錠200mg「ツルハラ」		○	○	○
621139128	ノルフロキサシン錠200mg「EMEC」	○	○	○	○
616290147	バクシダール錠200mg	○	○	○	○
616240001	小児用バクシダール錠50mg	○	○	○	○
620003912	オフロキサシン錠100mg「サワイ」	○	○	○	
620003913	オフロキサシン錠100mg「ツルハラ」		○	○	○
620003984	タリフロン錠100mg	○	○	○	
620004040	フロキン錠100mg		○	○	○
620006024	タツミキシ錠100mg		○	○	○
621745304	オフロキサシン錠100mg「テバ」		○	○	○
621753101	オフロキサシン錠100mg「タナベ」		○	○	
621753103	オフロキサシン錠100mg「JG」		○	○	○
620006972	タリビッド錠100mg	○	○	○	○
622096201	シプロフロキサシン錠100mg「CH」		○	○	
622096202	シプロフロキサシン錠100mg「JG」		○	○	○
622125901	シバスタン錠100mg		○	○	○
616290155	シプロキサ錠100mg	○	○	○	○
621489001	シプロフロキサシン錠100mg「日医工」		○	○	○
621946502	シプロフロキサシン錠100mg「トーフ」		○	○	○
621964702	シプロフロキサシン錠100mg「SW」			○	○
621529401	シプロフロキサシン錠100mg「TCK」			○	○
610463082	シバスタン錠200mg		○	○	○
620000118	プリモール錠200mg		○	○	○
621489201	シプロフロキサシン錠200mg「タナベ」	○	○	○	
621489203	シプロフロキサシン錠200mg「JG」		○	○	○
621529501	シプロフロキサシン錠200mg「TCK」			○	○
616290156	シプロキサ錠200mg	○	○	○	○
621489601	シプロフロキサシン錠200mg「日医工」		○	○	○
621489502	シプロフロキサシン錠200mg「トーフ」		○	○	○
621489102	シプロフロキサシン錠200mg「SW」			○	○
610407158	バレオン錠200mg	○	○	○	○
616290170	バレオンカプセル100mg	○	○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621974501 622410601	オゼックス細粒小児用 1.5% トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用 1.5%「タカタ」			○	○
622413901	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用 1.5%「トーフ」			○	○
622420701	トスフロキサシントシル酸塩小児用細粒 1.5%「明治」			○	○
622481701	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用 1.5%「TCK」				○
616290166	オゼックス錠 7.5	○	○	○	○
616290168	トスキサシン錠 7.5mg	○	○	○	○
621952101	トスフロキサシントシル酸塩錠 7.5mg「NP」	○	○	○	○
621931101	トスフロキサシントシル酸塩錠 7.5mg「TCK」	○	○	○	○
621953501	トスフロキサシントシル酸塩錠 7.5mg「TYK」	○	○	○	○
621940001	トスフロキサシントシル酸塩錠 7.5mg「YD」	○	○	○	○
621963301	トスフロキサシントシル酸塩錠 7.5mg「サワイ」	○	○	○	○
621963401	トスフロキサシントシル酸塩錠 7.5mg「サンド」	○	○	○	○
621935301	トスフロキサシントシル酸塩錠 7.5mg「タイヨー」	○	○	○	○
621956201	トスフロキサシントシル酸塩錠 7.5mg「タナベ」	○	○	○	○
621963501	トスフロキサシントシル酸塩錠 7.5mg「日医工」	○	○	○	○
616290167	オゼックス錠 1.5	○	○	○	○
616290169	トスキサシン錠 1.5mg	○	○	○	○
621952201	トスフロキサシントシル酸塩錠 1.5mg「NP」	○	○	○	○
621931201	トスフロキサシントシル酸塩錠 1.5mg「TCK」	○	○	○	○
621953601	トスフロキサシントシル酸塩錠 1.5mg「TYK」	○	○	○	○
621940101	トスフロキサシントシル酸塩錠 1.5mg「YD」	○	○	○	○
621963601	トスフロキサシントシル酸塩錠 1.5mg「サワイ」	○	○	○	○
621963701	トスフロキサシントシル酸塩錠 1.5mg「サンド」	○	○	○	○
621935401	トスフロキサシントシル酸塩錠 1.5mg「タイヨー」	○	○	○	○
621956301	トスフロキサシントシル酸塩錠 1.5mg「タナベ」	○	○	○	○
621963801	トスフロキサシントシル酸塩錠 1.5mg「日医工」	○	○	○	○
621925901	クラビット細粒 1%	○	○	○	○
622371001	レボフロキサシン細粒 1%「DSEP」			○	○
622383001	レボフロキサシン錠 2.5mg「サンド」			○	
622387801	レボフロキサシン錠 2.5mg「日医工P」			○	
622391701	レボフロキサシン錠 2.5mg「ニプロ」			○	
622395201	レボフロキサシン錠 2.5mg「アメル」			○	
621925701	クラビット錠 2.5mg	○	○	○	○
622386101	レボフロキサシン錠 2.5mg「CEO」			○	○
622379101	レボフロキサシン錠 2.5mg「CH」			○	○
622370801	レボフロキサシン錠 2.5mg「DSEP」			○	○
622394001	レボフロキサシン錠 2.5mg「F」			○	○
622400801	レボフロキサシン錠 2.5mg「MEEK」			○	○
622386801	レボフロキサシン錠 2.5mg「TCK」			○	○
622367801	レボフロキサシン錠 2.5mg「YD」			○	○
622376301	レボフロキサシン錠 2.5mg「ZE」			○	○
622400701	レボフロキサシン錠 2.5mg「イセイ」			○	○
622389401	レボフロキサシン錠 2.5mg「イワキ」			○	○
622380301	レボフロキサシン錠 2.5mg「オーハラ」			○	○

622395901 622365901	電算コード レボフロキサシン錠250mg「科研」 レボフロキサシン錠250mg「杏林」	2010	2012	2014	2016
622388801	レボフロキサシン錠250mg「ケミファ」			○	○
622392301	レボフロキサシン錠250mg「サトウ」			○	○
622383501	レボフロキサシン錠250mg「サノフィ」			○	○
622391101	レボフロキサシン錠250mg「サワイ」			○	○
622377901	レボフロキサシン錠250mg「タカタ」			○	○
622380001	レボフロキサシン錠250mg「タナベ」			○	○
622394401	レボフロキサシン錠250mg「テバ」			○	○
622372801	レボフロキサシン錠250mg「トーワ」			○	○
622384801	レボフロキサシン錠250mg「ニッター」			○	○
622382001	レボフロキサシン錠250mg「ファイザー」			○	○
622369001	レボフロキサシン錠250mg「明治」			○	○
622435301	レボフロキサシン錠250mg「SUN」			○	○
622436801	レボフロキサシン錠250mg「日医工」			○	○
622383101	レボフロキサシン錠500mg「サンド」			○	
622391801	レボフロキサシン錠500mg「ニプロ」			○	
622395301	レボフロキサシン錠500mg「アメル」			○	
622435401	レボフロキサシン錠500mg「SUN」			○	
621925801	クラビット錠500mg	○	○	○	○
622386201	レボフロキサシン錠500mg「CEO」			○	○
622379201	レボフロキサシン錠500mg「CH」			○	○
622370901	レボフロキサシン錠500mg「DSEP」			○	○
622394101	レボフロキサシン錠500mg「F」			○	○
622401001	レボフロキサシン錠500mg「MEEK」			○	○
622386901	レボフロキサシン錠500mg「TCK」			○	○
622367901	レボフロキサシン錠500mg「YD」			○	○
622376401	レボフロキサシン錠500mg「ZE」			○	○
622400901	レボフロキサシン錠500mg「イセイ」			○	○
622389501	レボフロキサシン錠500mg「イワキ」			○	○
622380401	レボフロキサシン錠500mg「オーハラ」			○	○
622396001	レボフロキサシン錠500mg「科研」			○	○
622366001	レボフロキサシン錠500mg「杏林」			○	○
622388901	レボフロキサシン錠500mg「ケミファ」			○	○
622392401	レボフロキサシン錠500mg「サトウ」			○	○
622383601	レボフロキサシン錠500mg「サノフィ」			○	○
622391201	レボフロキサシン錠500mg「サワイ」			○	○
622378001	レボフロキサシン錠500mg「タカタ」			○	○
622380101	レボフロキサシン錠500mg「タナベ」			○	○
622394501	レボフロキサシン錠500mg「テバ」			○	○
622372901	レボフロキサシン錠500mg「トーワ」			○	○
622387901	レボフロキサシン錠500mg「日医工」			○	○
622384901	レボフロキサシン錠500mg「ニッター」			○	○
622382101	レボフロキサシン錠500mg「ファイザー」			○	○
622369101	レボフロキサシン錠500mg「明治」			○	○

622436901 622372601	電算コード レボフロキサシン錠500mg「日医工」 レボフロキサシンOD錠250mg「トーワ」	2010	2012	2014	2016
622372701	レボフロキサシンOD錠500mg「トーワ」			○	○
622368201	レボフロキサシン粒状錠250mg「モチダ」			○	○
622368301	レボフロキサシン粒状錠500mg「モチダ」			○	○
622372501	レボフロキサシン内用液250mg「トーワ」			○	○
610462041	スオード錠100	○	○	○	○
620003125	アベロックス錠400mg	○	○	○	○
620005822	ジェニナック錠200mg	○	○	○	○
620006774	グレースビット細粒10%	○	○	○	○
620006773	グレースビット錠50mg	○	○	○	○
620000446	シプロキサソ注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注300mg / 150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサソ注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シプロフロキサシン点滴静注200mg / 100mL「明治」	○	○	○	○
620009548	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「NP」	○	○	○	○
620009549	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シプロフロキサシンDU点滴静注300mg / 250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサソ注400mg			○	○
640462032	パシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	パシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	パシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg / 200mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○
610451000	ザイボックス錠600mg	○	○	○	○
622461001	リネズリド錠600mg「明治」			○	○
640451010	ザイボックス注射液600mg	○	○	○	○
622419501	リネズリド点滴静注液600mg「明治」			○	○
620004450	アンコチル錠500mg	○	○	○	○
616290164	ジフルカンカプセル50mg	○	○	○	○

品名コード	名称	2010	2012	2014	2016
62000121	フルコナゾールカプセル50mg「F」				
620002804	フルコナゾールカプセル50mg「アメル」	○	○	○	○
621688201	フルコナゾールカプセル50mg「サワイ」	○	○	○	○
622070301	フルコナゾールカプセル50mg「JG」	○	○	○	○
621530003	フルコナゾールカプセル50mg「サンド」			○	○
621569001	フルコナゾールカプセル50mg「日医工」			○	○
621531201	フルコナゾールカプセル50mg「タカタ」			○	○
616290165	ジフルカンカプセル100mg	○	○	○	○
620000122	フルコナゾールカプセル100mg「F」	○	○	○	○
620002805	フルコナゾールカプセル100mg「アメル」	○	○	○	○
621639401	フルコナゾールカプセル100mg「サワイ」	○	○	○	○
622070401	フルコナゾールカプセル100mg「JG」	○	○	○	○
621530103	フルコナゾールカプセル100mg「サンド」			○	○
621569101	フルコナゾールカプセル100mg「日医工」			○	○
621531301	フルコナゾールカプセル100mg「タカタ」			○	○
622139201	ジフルカンドライシロップ350mg		○	○	○
622139301	ジフルカンドライシロップ1400mg		○	○	○
620007077	フロリードゲル経口用2%	○	○	○	○
620001958	イトラコナゾール錠50「MEEK」	○	○	○	○
620007914	イトラコナゾール錠50mg「科研」	○	○	○	○
621636802	イトラコナゾール錠50mg「日医工」		○	○	○
620001959	イトラコナゾール錠100「MEEK」	○	○	○	○
621746701	イトラコナゾール錠100mg「日医工」		○	○	○
620007915	イトラコナゾール錠200「MEEK」	○	○	○	○
616290177	イトリゾールカプセル50	○	○	○	○
621629201	イトラコナゾールカプセル50mg「SWJ」			○	○
620004349	イトリゾール内用液1%	○	○	○	○
610412199	ラミシール錠125mg	○	○	○	○
620003950	ケルガー錠125mg	○	○	○	○
620003987	テビーナ錠125mg	○	○	○	○
620003988	テビナシール錠125mg	○	○	○	○
620003989	テルビー錠125mg	○	○	○	○
620003995	テルビナフィン錠125mg「CH」	○	○	○	○
620003993	テルビナフィン錠125mg「F」	○	○	○	○
620003990	テルビナフィン錠125「MEEK」	○	○	○	○
620003990	テルビナフィン錠125mg「MEEK」	○	○	○	○
620003992	テルビナフィン錠125mg「NP」	○	○	○	○
620003991	テルビナフィン錠125「TCK」	○	○	○	○
620003998	テルビナフィン錠125mg「YD」	○	○	○	○
620003994	テルビナフィン錠125mg「サンド」	○	○	○	○
620003996	テルビナフィン錠125mg「タイヨー」	○	○	○	○
620004001	テルミシール錠125mg	○	○	○	○
620004019	ネドリール錠125mg	○	○	○	○
620004094	リプノール錠125mg	○	○	○	○
620008028	テルビナフィン錠125mg「タナベ」	○	○	○	○

621732101	名称	2010	2012	2014	2016
621732101	テルビナフィン錠 125mg 「ケミファ」		○	○	○
622244201	テルビナフィン錠 125mg 「ファイザー」		○	○	○
621726702	テルビナフィン錠 125mg 「サワイ」		○	○	○
621748401	テルビナフィン錠 125mg 「トーワ」			○	○
622136101	サムチレール内用懸濁液 15%		○	○	○
621355101	ダイフェン配合顆粒		○	○	
621148101	バクタ配合顆粒	○	○	○	○
621148201	バクトラミン配合顆粒	○	○	○	○
621148801	ダイフェン配合錠	○	○	○	○
621148901	バクタ配合錠	○	○	○	○
621149001	バクトラミン配合錠	○	○	○	○
620006311	フロリードF注200mg	○	○	○	○
620003726	ジフルカン静注液50mg	○	○	○	○
622056701	フルコナゾール静注50mg 「トーワ」	○	○	○	○
622053301	フルコナゾール静注液50mg 「サワイ」	○	○	○	○
622073601	フルコナゾール静注液50mg 「日医工」	○	○	○	○
621539701	フルコナゾール静注液50mg 「イセイ」		○	○	○
621544402	フルコナゾール静注液50mg 「タカタ」			○	○
620003727	ジフルカン静注液100mg	○	○	○	○
620007481	フルコナゾール静注100mg 「トーワ」	○	○	○	○
620008922	フルコナゾール静注液100mg 「サワイ」	○	○	○	○
621569201	フルコナゾール静注液100mg 「日医工」		○	○	○
621539801	フルコナゾール静注液100mg 「イセイ」		○	○	○
621554502	フルコナゾール静注液100mg 「タカタ」			○	○
620009582	フルコナゾール静注液200mg 「マイラン」		○	○	○
621539901	フルコナゾール静注液200mg 「イセイ」		○	○	○
620003728	ジフルカン静注液200mg	○	○	○	○
620007482	フルコナゾール静注200mg 「トーワ」	○	○	○	○
620008923	フルコナゾール静注液200mg 「サワイ」	○	○	○	○
621569301	フルコナゾール静注液200mg 「日医工」		○	○	○
621554602	フルコナゾール静注液200mg 「タカタ」			○	○
620000295	フルコナゾール静注液0.2% 「F」	○	○	○	○
621541601	フルコナゾール静注液100mg 「テバ」		○	○	○
621543302	フルコナゾール静注100mg 「NP」		○	○	○
621541701	フルコナゾール静注液200mg 「テバ」		○	○	○
620000296	フルコナゾール静注液0.2% 「F」	○	○	○	○
621543402	フルコナゾール静注200mg 「NP」		○	○	○
620000294	フルコナゾール静注液0.1% 「F」	○	○	○	○
621543201	フルコナゾール静注50mg 「NP」		○	○	○
620000437	プロジフ静注液100	○	○	○	○
620000438	プロジフ静注液200	○	○	○	○
620000439	プロジフ静注液400	○	○	○	○
620004424	イトリゾール注1%	○	○	○	○
621150001	エンペシドトローチ10mg	○	○	○	○

2010年3月電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622365201	クレナフィン爪外用液10%			○	○
622471601	ルコナック爪外用液5%				○
621166401	チニダゾール錠200mg「F」		○	○	○
621166501	チニダゾール錠500mg「F」		○	○	○
620006817	アズゾール錠250mg	○	○	○	○
620007057	フラジール内服錠250mg	○	○	○	○
620002484	メファキン「ヒサミツ」錠275	○	○	○	○
622224801	アメパロモカプセル250mg		○	○	○
622500501	プリマキン錠15mg「サノフィ」				○
622225701	マラロン配合錠		○	○	○
622500601	マラロン小児用配合錠				○
622532901	リアメット配合錠				○
621167101	ベナンボックス注用300mg	○	○	○	○
622364001	アネメトロ点滴静注液500mg			○	○
646410002	バクトラミン注	○	○	○	○
640463089	注射用ペニシリンGカリウム20万単位	○	○	○	○
620000427	注射用ペニシリンGカリウム100万単位	○	○	○	○
620003811	ペランコシン注300mg		○	○	
620007537	リズピオン注300mg		○	○	○
621062901	リンコマイシン塩酸塩注300mg「NP」		○	○	○
620006341	リンコシン注射液300mg	○	○	○	○
620003812	ペランコシン注600mg		○	○	
620007538	リズピオン注600mg		○	○	○
621380904	リンコマイシン塩酸塩注600mg「NP」		○	○	○
621380908	リンコマイシン塩酸塩注射液600mg「日医工」		○	○	○
620006342	リンコシン注射液600mg	○	○	○	○
620004196	ペランコシン注1g		○	○	
620004197	ペランコシン注1.5g	○	○	○	
620006344	リンコシン注射液1.5g	○	○	○	○
620006343	リンコシン注射液1g	○	○	○	○
620006261	ダラシンS注射液300mg	○	○	○	○
620008810	クリンダマイシン注射液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
621064601	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「サワイ」	○	○	○	○
622111302	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「トーワ」		○	○	○
621064701	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「F」			○	○
621064501	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「NP」			○	○
620006262	ダラシンS注射液600mg	○	○	○	○
620008811	クリンダマイシン注射液600mg「タイヨー」	○	○	○	○
621065101	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「サワイ」	○	○	○	○
621065201	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「トーワ」		○	○	○
621065301	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「F」			○	○
621065001	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「NP」			○	○
620006226	クリンダマイシン注300mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620006227	クリンダマイシン注600mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○

4430 電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620002907	点滴静注用バンコマイシン 0.5g「MEEK」	○	○	○	○
620005694	塩酸バンコマイシン点滴静注用 0.5g「TX」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620006792	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620009575	塩酸バンコマイシン点滴静注用 0.5g（シオノギ）	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 0.5g「サンド」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン点滴静注用 0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 0.5g「日医工」		○	○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 0.5g「ファイザー」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン 1.0g「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 1.0g「MEEK」			○	○
621876001	アルベカシン硫酸塩注射液 75mg「ケミファ」	○	○	○	
620004729	ハベカシン注射液 75mg	○	○	○	○
620009511	アルベカシン硫酸塩注射液 75mg「HK」	○	○	○	○
621735001	アルベカシン硫酸塩注射液 75mg「テバ」			○	○
621066501	アルベカシン硫酸塩注射液 100mg「ケミファ」	○	○	○	
620004730	ハベカシン注射液 100mg	○	○	○	○
620009512	アルベカシン硫酸塩注射液 100mg「HK」	○	○	○	○
621066401	アルベカシン硫酸塩注射液 100mg「テバ」			○	○
621924501	アルベカシン硫酸塩注射液 25mg「ケミファ」	○	○	○	
620004728	ハベカシン注射液 25mg	○	○	○	○
620009509	アルベカシン硫酸塩注射液 25mg「HK」	○	○	○	○
621896701	アルベカシン硫酸塩注射液 25mg「テバ」			○	○
621950502	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg「ケミファ」	○	○	○	
620007432	ハベカシン注射液 200mg	○	○	○	○
621955601	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg「HK」	○	○	○	○
621936302	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg「テバ」			○	○
620004709	注射用タゴシッド 200mg	○	○	○	○
620008212	テイコブラニン点滴静注用 200mg「NP」	○	○	○	○
620008213	テイコブラニン点滴静注用 200mg「日医工」	○	○	○	○
620008532	テイコブラニン点滴静注用 200mg「F」	○	○	○	○
620008531	テイコブラニン点滴静注用 200mg「HK」	○	○	○	○
620008533	テイコブラニン点滴静注用 200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008535	テイコブラニン点滴静注用 200mg「トーワ」	○	○	○	○
620009572	テイコブラニン点滴静注用 200mg「TYK」	○	○	○	○
620009571	テイコブラニン点滴静注用 200mg「サワイ」	○	○	○	○
621995201	テイコブラニン点滴静注用 200mg「サンド」	○	○	○	○
622227801	テイコブラニン点滴静注用 200mg「明治」		○	○	○
621901402	テイコブラニン点滴静注用 200mg「ファイザー」			○	○
621884501	テイコブラニン点滴静注用 200mg「テバ」			○	○
620009574	テイコブラニン点滴静注用 400mg「F」	○	○	○	○

622219601 622207201	電算コード	名称 テイコブラニン点滴静注用400mg「NP」 テイコブラニン点滴静注用400mg「日医工」	2010	2012	2014	2016
622227901		テイコブラニン点滴静注用400mg「明治」		○	○	○
622338101		テイコブラニン点滴静注用400mg「トーフ」			○	○
622085501		キュビシン静注用350mg	○	○	○	○
640462005		注射用シナシッド	○	○	○	○
646130274		アザクタム注射用0.5g	○	○	○	○
646130275		アザクタム注射用1g	○	○	○	○
640453139		トブラシン注小児用100mg	○	○	○	○
640453140		トブラシン注600mg	○	○	○	○
646120062		トブラシン注900mg	○	○	○	○
620003676		アミカシン硫酸塩注射液100mg「サワイ」		○	○	○
620004178		ブルテツシン注射液100mg		○	○	
620006356		ロミカシン注射液100mg		○	○	
621069302		アミカシン硫酸塩注射液100mg「N i k P」		○	○	○
621069501		アミカシン硫酸塩注射液100mg「F」			○	○
620003190		アミカマイシン注射液100mg	○	○	○	○
621069402		アミカシン硫酸塩注射液100mg「日医工」	○	○	○	○
621069001		アミカシン硫酸塩注100mg「NP」		○	○	○
620003677		アミカシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
620003797		ブルテツシン注射液200mg	○	○	○	
620006651		ロミカシン注射液200mg	○	○	○	
621070102		アミカシン硫酸塩注射液200mg「N i k P」		○	○	○
621070301		アミカシン硫酸塩注射液200mg「F」			○	○
620003191		アミカマイシン注射液200mg	○	○	○	○
621070202		アミカシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621069701		アミカシン硫酸塩注200mg「NP」		○	○	○
621070602		アミカシン硫酸塩注射用100mg「日医工」	○	○	○	○
621070902		アミカシン硫酸塩注射用200mg「日医工」	○	○	○	○
640453078		シオセシン注射液200	○	○	○	○
620003198		エクサシン注射液200	○	○	○	○
620003193		イセパシン注射液200	○	○	○	○
620005641		イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621604701		イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
646120080		イセパシン注射液400	○	○	○	○
646120081		エクサシン注射液400	○	○	○	○
640453079		シオセシン注射液400	○	○	○	○
620005642		イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「日医工」	○	○	○	○
621695601		イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「サワイ」		○	○	○
620009196		トロビシン筋注用2g	○	○	○	○
622415701		オールドレブ点滴静注用150mg			○	○
622199101		タイガシル点滴静注用500mg		○	○	○
621076601		ピクシリン注射用0.25g	○	○	○	○
621076801		ピクシリン注射用0.5g	○	○	○	○
621077201		ピクシリン注射用1g	○	○	○	○

621077501 シロップ電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621078403	ピペラシリンナトリウム注射用 1 g 「日医工」		○	○	
646130136	ペントシリン注射用 1 g	○	○	○	○
620007456	ピペユンシン注射用 1 g	○	○	○	○
621078301	ピペラシリンNa注射用 1 g 「サワイ」		○	○	○
621078103	ピペラシリンNa注射用 1 g 「テバ」		○	○	○
621078601	ピペラシリンNa注射用 1 g 「トーフ」		○	○	○
621342601	ピペラシリンNa注射用 1 g 「SN」			○	○
621079203	ピペラシリンナトリウム注射用 2 g 「日医工」		○	○	
646130137	ペントシリン注射用 2 g	○	○	○	○
620007457	ピペユンシン注射用 2 g	○	○	○	○
621079101	ピペラシリンNa注射用 2 g 「サワイ」		○	○	○
621078903	ピペラシリンNa注射用 2 g 「テバ」		○	○	○
621079401	ピペラシリンNa注射用 2 g 「トーフ」		○	○	○
621342802	ピペラシリンNa注射用 2 g 「SN」			○	○
622079701	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ 1 g 「NP」	○	○	○	
640462059	ペントシリン静注用 1 g バッグ	○	○	○	○
622079801	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ 2 g 「NP」	○	○	○	
640462060	ペントシリン静注用 2 g バッグ	○	○	○	○
646130121	パンスポリン筋注用●. 2.5 g	○	○	○	○
646130110	ハロスポア静注用●. 2.5 g	○	○	○	○
646130122	パンスポリン静注用●. 2.5 g	○	○	○	○
620004140	セファピコール静注用●. 2.5 g	○	○	○	○
620007293	ケミスポリン静注用●. 2.5 g	○	○	○	○
621989702	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5 g 「日医工」		○	○	○
621987602	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5 g 「NP」		○	○	○
621924001	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5 g 「SN」			○	○
646130111	ハロスポア静注用●. 5 g	○	○	○	○
646130123	パンスポリン静注用●. 5 g	○	○	○	○
620004141	セファピコール静注用●. 5 g	○	○	○	○
620007294	ケミスポリン静注用●. 5 g	○	○	○	○
621989802	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5 g 「日医工」		○	○	○
621344901	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5 g 「NP」		○	○	○
621924101	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5 g 「SN」			○	○
646130112	ハロスポア静注用 1 g	○	○	○	○
646130124	パンスポリン静注用 1 g	○	○	○	○
620003732	セファピコール静注用 1 g	○	○	○	○
620007295	ケミスポリン静注用 1 g	○	○	○	○
621345002	セフォチアム塩酸塩静注用 1 g 「日医工」		○	○	○
621345301	セフォチアム塩酸塩静注用 1 g 「NP」		○	○	○
621095002	セフォチアム塩酸塩静注用 1 g 「SN」			○	○
640408149	パンスポリン静注用 1 g バッグS	○	○	○	○
620009563	セフォチアム静注用 1 g バッグ「日医工」	○	○	○	○
621540002	セフォチアム塩酸塩点滴静注用 1 g バッグ「NP」		○	○	○
640408148	パンスポリン静注用 1 g バッグG	○	○	○	○

62009735 セファゾン電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	セファゾンα注射用●. 2.5g				
622104201	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
622130801	セファゾリンナトリウム注射用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622177601	トキオ注射用●. 2.5g		○	○	○
622124902	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「NP」			○	○
622033402	セファゾリンNa注射用●. 5g「NP」			○	○
622104301	セファゾリンNa注射用●. 5g「タイヨー」		○	○	○
622177701	トキオ注射用●. 5g		○	○	○
620003736	セファメジンα注射用●. 5g	○	○	○	○
621096002	セファゾリンナトリウム注射用●. 5g「日医工」		○	○	○
620003737	セファメジンα注射用1g	○	○	○	○
621096701	トキオ注射用1g	○	○	○	○
621096503	セファゾリンNa注射用1g「タイヨー」	○	○	○	○
621096802	セファゾリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	○
621096601	セファゾリンNa注射用1g「NP」			○	○
620003738	セファメジンα注射用2g	○	○	○	○
621097303	セファゾリンNa注射用2g「タイヨー」	○	○	○	○
622177801	トキオ注射用2g		○	○	○
621097602	セファゾリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	○
621097401	セファゾリンNa注射用2g「NP」			○	○
620003733	セファメジンα筋注用●. 2.5g	○	○	○	○
620003734	セファメジンα筋注用●. 5g	○	○	○	○
620003740	セファメジンα点滴用キット2g	○	○	○	○
620003739	セファメジンα点滴用キット1g	○	○	○	○
620007318	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「オーツカ」	○	○	○	○
621757001	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「NP」			○	○
620005674	コアキシソ注射用1g	○	○	○	○
620005675	コアキシソ注射用2g	○	○	○	○
646130072	セフメタゾン筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130073	セフメタゾン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622125001	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「NP」	○	○	○	○
622131001	セフメタゾールナトリウム静注用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622111501	リリアジン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622104002	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「テバ」			○	○
646130074	セフメタゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
621987501	セフメタゾールNa静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
622131101	セフメタゾールナトリウム静注用●. 5g「日医工」	○	○	○	○
622111601	リリアジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622104102	セフメタゾールNa静注用●. 5g「テバ」			○	○
646130075	セフメタゾン静注用1g	○	○	○	○
620006243	セフメタゾールNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
620007540	リリアジン静注用1g	○	○	○	○
621102102	セフメタゾールナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	○
621101803	セフメタゾールNa静注用1g「テバ」			○	○
646130076	セフメタゾン静注用2g	○	○	○	○

620006244 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620007541	セフメタゾールNa静注用2g「NP」				
621102802	セフメタゾールナトリウム静注用2g「日医工」				
621101903	セフメタゾールNa静注用2g「テバ」				
640470010	セフメタゾンキット点滴静注用1g				
620004151	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ1g「NP」				
621951701	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ2g「NP」				
640454018	セフォタックス注射用●. 5g				
620004652	クラフォラン注射用●. 5g				
640454019	セフォタックス注射用1g				
620004653	クラフォラン注射用1g				
646130067	セフォビッド注射用1g				
646130071	セフォペラジン注射用1g				
646130132	ベストコール筋注用●. 5g				
646130133	ベストコール静注用●. 5g				
646130134	ベストコール静注用1g				
620002999	モダケミン静注用●. 5g				
620003827	モダシン静注用●. 5g				
620006701	セフタジジム静注用●. 5g「マイラン」				
621967001	セフタジジム静注用●. 5g「サンド」				
621936401	セフタジジム静注用●. 5g「タイヨー」				
622052901	セフタジジム静注用●. 5g「サワイ」				
622124801	セフタジジム静注用●. 5g「NP」				
621756202	セフタジジム静注用●. 5g「日医工」				
621755802	セフタジジム静注用●. 5g「SN」				
620003000	モダケミン静注用1g				
620003001	モベンゾシン静注用1g				
620003828	モダシン静注用1g				
620005676	セフタジジム静注用1g「NP」				
620006702	セフタジジム静注用1g「マイラン」				
621967101	セフタジジム静注用1g「サンド」				
621703001	セフタジジム静注用1g「サワイ」				
621756502	セフタジジム静注用1g「日医工」				
621755902	セフタジジム静注用1g「SN」				
646130268	ロセフィン静注用●. 5g				
640463134	リアソフィン静注用●. 5g				
620009566	セフキソン静注用●. 5g				
620009567	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「サンド」				
621987301	セフトリアキソンナトリウム静注用●. 5g「NP」				
621967202	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「サワイ」				
621538203	セフトリアキソンナトリウム静注用●. 5g「日医工」				
622077302	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「ファイザー」				
621836501	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「テバ」				
646130269	ロセフィン静注用1g				
640463135	リアソフィン静注用1g				

640463080 シフト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620009568	セフトリアキソンNa静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621987401	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「NP」	○	○	○	○
621488601	セフトリアキソンNa静注用1g「サワイ」		○	○	○
621538303	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	○
621555202	セフトリアキソンNa静注用1g「ファイザー」		○	○	○
621555101	セフトリアキソンNa静注用1g「テバ」		○	○	○
640470011	ロセフィン点滴静注用1gバッグ	○	○	○	○
620002955	セフトリアキソンナトリウム点滴用1gバッグ「NP」	○	○	○	○
622051701	セフトリアキソンナトリウム点滴静注用バッグ1g「ファイザー」	○	○	○	○
620007514	メイセリン静注用1g	○	○	○	○
620004148	セフピロム硫酸塩静注用○.5g「CMX」	○	○	○	○
620006706	硫酸セフピロム静注用○.5g「マイラン」	○	○	○	○
620004149	セフピロム硫酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
620006707	硫酸セフピロム静注用1g「マイラン」	○	○	○	○
640407076	注射用マキシピーム○.5g	○	○	○	○
621966801	セフェピム塩酸塩静注用○.5g「サンド」	○	○	○	○
621994601	セフェピム塩酸塩静注用○.5g「CMX」	○	○	○	○
640407077	注射用マキシピーム1g	○	○	○	○
621966901	セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621994701	セフェピム塩酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
640407080	ファーストシン静注用○.5g	○	○	○	○
640407081	ファーストシン静注用1g	○	○	○	○
640443046	ファーストシン静注用1gバッグS	○	○	○	○
640443047	ファーストシン静注用1gバッグG	○	○	○	○
646130037	シオマリン静注用1g	○	○	○	○
646130301	フルマリン静注用○.5g	○	○	○	○
646130302	フルマリン静注用1g	○	○	○	○
640443048	フルマリンキット静注用1g	○	○	○	○
620005201	パニマイシン注射液5○mg	○	○	○	○
620005202	パニマイシン注射液1○mg	○	○	○	○
620005180	注射用パニマイシン1○mg	○	○	○	○
620003780	ピスタマイシン筋注5○mg	○	○	○	○
620003781	ピスタマイシン筋注1○mg	○	○	○	○
646120011	ゲンタシン注1○	○	○	○	○
622037301	ゲンタマイシン硫酸塩注射液1○mg「日医工」	○	○	○	○
622074801	エルタシン注1○mg	○	○	○	○
622074802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液1○mg「F」				○
621111803	ゲンタマイシン硫酸塩注射液4○mg「日医工」		○	○	○
620003210	ゲンタシン注4○	○	○	○	○
620006210	エルタシン注4○mg	○	○	○	○
621111802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液4○mg「F」				○
646120012	ゲンタシン注6○	○	○	○	○
620006211	エルタシン注6○mg	○	○	○	○
621112004	ゲンタマイシン硫酸塩注射液6○mg「日医工」		○	○	○

62113003 シセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621812201	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 60mg「F」 ホスホマイシンナトリウム静注用0.5g「日医工」		○	○	
622104401	フラゼミシン静注用0.5g	○	○	○	
622131501	ホスカリーゼ静注用0.5g	○	○	○	
620003815	ホスミシンS静注用0.5g	○	○	○	○
622079901	ホスホマイシンNa静注用0.5g「NP」		○	○	
622045702	ホスホマイシンNa静注用0.5g「タカタ」		○	○	○
620004750	フラゼミシン静注用1g	○	○	○	
620004767	ホスカリーゼ静注用1g	○	○	○	
621766301	ホスホマイシンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	
620003816	ホスミシンS静注用1g	○	○	○	○
620006316	ホスホマイシンNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
621114602	ホスホマイシンNa静注用1g「タカタ」		○	○	○
620004751	フラゼミシン静注用2g	○	○	○	
620004768	ホスカリーゼ静注用2g	○	○	○	
621766401	ホスホマイシンナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	
620003817	ホスミシンS静注用2g	○	○	○	○
620006317	ホスホマイシンNa静注用2g「NP」	○	○	○	○
621115302	ホスホマイシンNa静注用2g「タカタ」		○	○	○
620007477	フラゼミシン点滴静注用2gキット	○	○	○	○
640451022	ホスミシンSバッグ1g点滴静注用	○	○	○	○
640451023	ホスミシンSバッグ2g点滴静注用	○	○	○	○
620007519	メロペン点滴用バイアル0.25g	○	○	○	○
620009585	メロペネム点滴静注用0.25g「タイヨー」	○	○	○	○
620009586	メロペネム点滴静注用0.25g「日医工」	○	○	○	○
621952301	メロペネム点滴静注用0.25g「NP」	○	○	○	○
621950101	メロペネム点滴静注用0.25g「ケミファ」	○	○	○	○
621967801	メロペネム点滴静注用0.25g「サワイ」	○	○	○	○
621967901	メロペネム点滴静注用0.25g「タナベ」	○	○	○	○
621946701	メロペネム点滴静注用0.25g「トーワ」	○	○	○	○
621947901	メロペネム点滴静注用0.25g「明治」	○	○	○	○
622044201	メロペネム点滴静注用0.25g「ファイザー」	○	○	○	○
620007520	メロペン点滴用バイアル0.5g	○	○	○	○
620009587	メロペネム点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009588	メロペネム点滴静注用0.5g「日医工」	○	○	○	○
621952401	メロペネム点滴静注用0.5g「NP」	○	○	○	○
621950201	メロペネム点滴静注用0.5g「ケミファ」	○	○	○	○
621968001	メロペネム点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
621968101	メロペネム点滴静注用0.5g「タナベ」	○	○	○	○
621946801	メロペネム点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621948001	メロペネム点滴静注用0.5g「明治」	○	○	○	○
622044301	メロペネム点滴静注用0.5g「ファイザー」	○	○	○	○
622439001	メロペネム点滴静注用1g「NP」			○	○
622419401	メロペネム点滴静注用1g「明治」			○	○
620007518	メロペン点滴用キット0.5g	○	○	○	○

シテラト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621952501	メロペネム点滴静注用バッグ●、5g「NP」	○	○	○	○
621967701	メロペネム点滴静注用バッグ●、5g「日医工」	○	○	○	○
621931801	メロペネム点滴静注用バッグ●、5g「明治」	○	○	○	○
622471301	メロペネム点滴静注用バッグ1g「NP」			○	○
622460901	メロペネム点滴静注用バッグ1g「明治」			○	○
640451036	オメガシン点滴用●、3g	○	○	○	○
640451037	オメガシン点滴用●、3g/バッグ	○	○	○	○
621708501	フィニバックス点滴静注用●、2.5g	○	○	○	○
622078501	フィニバックス点滴静注用●、5g	○	○	○	○
621727601	フィニバックスキット点滴静注用●、2.5g	○	○	○	○
646130264	スルペラゾン静注用●、5g	○	○	○	○
620004152	セフロニック静注用●、5g	○	○	○	○
620007316	スペルゾン静注用●、5g	○	○	○	○
622083601	スルタムジン静注用●、5g	○	○	○	○
622099301	セフォセフ静注用●、5g	○	○	○	○
622130901	セフォン静注用●、5g	○	○	○	○
622111401	バクフォーゼ静注用●、5g	○	○	○	○
622080002	ワイスターール配合静注用●、5g		○	○	○
646130265	スルペラゾン静注用1g	○	○	○	○
640444050	セフォセフ静注用1g	○	○	○	○
640444051	セフォン静注用1g	○	○	○	○
640444071	バクフォーゼ静注用1g	○	○	○	○
640453097	スルタムジン静注用1g	○	○	○	○
620003742	セフロニック静注用1g	○	○	○	○
620007317	スペルゾン静注用1g	○	○	○	○
621347901	ワイスターール配合静注用1g		○	○	○
621116801	スルペラゾンキット静注用1g	○	○	○	○
621441901	ワイスターール配合点滴静注用1g/バッグ		○	○	○
620004108	インダスト点滴静注用●、2.5g	○	○	○	○
620007364	チエナム点滴静注用●、2.5g	○	○	○	○
620008211	チエペナム点滴静注用●、2.5g	○	○	○	○
622010201	チエクール点滴用●、2.5g	○	○	○	○
622127601	イミペナム・シラスタチン点滴用●、2.5g「サンド」	○	○	○	○
622172601	イミスタン点滴静注用●、2.5g		○	○	○
620003703	インダスト点滴静注用●、5g	○	○	○	○
620004106	イミスタン点滴静注用●、5g	○	○	○	○
620004155	チエクール点滴用●、5g	○	○	○	○
620004707	チエペナム点滴静注用●、5g	○	○	○	○
620005643	イミペナム・シラスタチン点滴用●、5g「サンド」	○	○	○	○
620007365	チエナム点滴静注用●、5g	○	○	○	○
620007362	チエナム筋注用●、5g	○	○	○	○
620007363	チエナム点滴静注用キット●、5g	○	○	○	○
646130368	カルベニン点滴用●、2.5g	○	○	○	○
646130369	カルベニン点滴用●、5g	○	○	○	○
640406222	ユナシン-S静注用●、7.5g	○	○	○	○

620003003 620004132 レボプロド 電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	ユナスピン静注用 0.75g スルバクシン静注用 0.75g	○	○	○	○
620004134	スルバシリン静注用 0.75g	○	○	○	○
620005874	ピスルシン静注用 0.75g	○	○	○	○
620009560	スルバクタム・アンピシリン静注用 0.75g「サンド」	○	○	○	○
622118402	ピシリバクタ静注用 0.75g	○	○	○	○
622100601	ユーシオン - S 静注用 0.75g	○	○	○	○
640406223	ユナシン - S 静注用 1.5g	○	○	○	○
620002977	ピシリバクタ静注用 1.5g	○	○	○	○
620003002	ユーシオン - S 静注用 1.5g	○	○	○	○
620003004	ユナスピン静注用 1.5g	○	○	○	○
620004133	スルバクシン静注用 1.5g	○	○	○	○
620004135	スルバシリン静注用 1.5g	○	○	○	○
620005875	ピスルシン静注用 1.5g	○	○	○	○
620009561	スルバクタム・アンピシリン静注用 1.5g「サンド」	○	○	○	○
622250001	ユナシン - S 静注用 3g		○	○	○
622419601	スルバシリン静注用 3g			○	○
622408701	ピスルシン静注用 3g			○	○
622464401	スルバクシン静注用 3g			○	○
622467201	ピシリバクタ静注用 3g			○	○
622458201	ユーシオン - S 静注用 3g			○	○
622441301	ユナスピン静注用 3g			○	○
620004775	ユナシン - S キット静注用 1.5g	○	○	○	○
620004776	ユナシン - S キット静注用 3g	○	○	○	○
620008446	ゾシン静注用 2.25	○	○	○	○
622441401	タゾピペ配合静注用 2.25「CHM」			○	○
622464701	タゾピペ配合静注用 2.25「DK」			○	○
622453701	タゾピペ配合静注用 2.25「DSEP」			○	○
622450601	タゾピペ配合静注用 2.25「SN」			○	○
622461801	タゾピペ配合静注用 2.25「サンド」			○	○
622458801	タゾピペ配合静注用 2.25「テバ」			○	○
622467001	タゾピペ配合静注用 2.25「日医工」			○	○
622470601	タゾピペ配合静注用 2.25「ニプロ」			○	○
622455601	タゾピペ配合静注用 2.25「ファイザー」			○	○
622460701	タゾピペ配合静注用 2.25「明治」			○	○
620008447	ゾシン静注用 4.5	○	○	○	○
622441501	タゾピペ配合静注用 4.5「CHM」			○	○
622464801	タゾピペ配合静注用 4.5「DK」			○	○
622453801	タゾピペ配合静注用 4.5「DSEP」			○	○
622450701	タゾピペ配合静注用 4.5「SN」			○	○
622461901	タゾピペ配合静注用 4.5「サンド」			○	○
622458901	タゾピペ配合静注用 4.5「テバ」			○	○
622467101	タゾピペ配合静注用 4.5「日医工」			○	○
622470701	タゾピペ配合静注用 4.5「ニプロ」			○	○
622455701	タゾピペ配合静注用 4.5「ファイザー」			○	○

622460801 622423101 レセプト電算コード	タゾピペ配合静注用4.5「明治」 ワシン配合点滴静注用バッグ4.5	2010	2012	2014	2016
622454001	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「DSEP」			○	○
622470901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ニプロ」			○	○
622455901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ファイザー」			○	○
622462101	タゾピペ配合点滴静注用4.5バッグ「サンド」			○	○
622453901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「DSEP」			○	○
622470801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ニプロ」			○	○
622455801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ファイザー」			○	○
622462001	タゾピペ配合点滴静注用2.25バッグ「サンド」			○	○
621120001	エリスロシン点滴静注用500mg	○	○	○	○
622085701	ジスロマック点滴静注用500mg	○	○	○	○
621122801	クロロマイセチンサクシネート静注用1g	○	○	○	○
620004770	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「日医工」		○	○	○
620005226	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620007513	ミノマイシン点滴静注用100mg	○	○	○	○
621126801	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「サワイ」		○	○	○
621126501	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「F」			○	○
620003244	硫酸ストレプトマイシン1g注射用「明治」	○	○	○	○
620007375	ツベラクチン筋注用1g	○	○	○	○
620007539	硫酸カナマイシン注射液1000mg「明治」	○	○	○	○
620007467	ファンギゾン注射用500mg	○	○	○	○
620003487	アムピゾーム点滴静注用500mg	○	○	○	○
640462040	ファンガード点滴用500mg	○	○	○	○
640462041	ファンガード点滴用750mg	○	○	○	○
620003489	ファンガード点滴用250mg	○	○	○	○
620002497	ブイフェンド200mg静注用	○	○	○	○
622136201	カンサイダス点滴静注用500mg		○	○	○
622136301	カンサイダス点滴静注用700mg		○	○	○
621131001	注射用ピクシリンS100	○	○	○	○
646190020	注射用ピクシリンS500	○	○	○	○
646190018	注射用ピクシリンS1000	○	○	○	○
620000446	シプロキササン注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注液300mg/150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキササン注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○

620009553 シロプロロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	シロプロロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	2010	2012	2014	2016
620009554 シロプロロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	シロプロロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シロプロロキサシン点滴静注200mg / 100mL「明治」	○	○	○	○
620009548	シロプロロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「NPJ」	○	○	○	○
620009549	シロプロロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シロプロロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シロプロロキサシンDU点滴静注300mg / 250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサソン注400mg			○	○
640462032	バシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	バシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	バシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg / 200mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○
640451010	ザイボックス注射液600mg	○	○	○	○
622419501	リネゾリド点滴静注液600mg「明治」			○	○
620006311	フロリードF注200mg	○	○	○	○
620003726	ジフルカン静注液500mg	○	○	○	○
622056701	フルコナゾール静注500mg「トーワ」	○	○	○	○
622053301	フルコナゾール静注液500mg「サワイ」	○	○	○	○
622073601	フルコナゾール静注液500mg「日医工」	○	○	○	○
621539701	フルコナゾール静注液500mg「イセイ」		○	○	○
621544402	フルコナゾール静注液500mg「タカタ」			○	○
620003727	ジフルカン静注液1000mg	○	○	○	○
620007481	フルコナゾール静注1000mg「トーワ」	○	○	○	○
620008922	フルコナゾール静注液1000mg「サワイ」	○	○	○	○
621569201	フルコナゾール静注液1000mg「日医工」		○	○	○
621539801	フルコナゾール静注液1000mg「イセイ」		○	○	○
621554502	フルコナゾール静注液1000mg「タカタ」			○	○
620009582	フルコナゾール静注液2000mg「マイラン」		○	○	○
621539901	フルコナゾール静注液2000mg「イセイ」		○	○	○
620003728	ジフルカン静注液2000mg	○	○	○	○
620007482	フルコナゾール静注2000mg「トーワ」	○	○	○	○
620008923	フルコナゾール静注液2000mg「サワイ」	○	○	○	○
621569301	フルコナゾール静注液2000mg「日医工」		○	○	○
621554602	フルコナゾール静注液2000mg「タカタ」			○	○
620000295	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621541601	フルコナゾール静注液1000mg「テバ」		○	○	○
621543302	フルコナゾール静注1000mg「NPJ」		○	○	○
621541701	フルコナゾール静注液2000mg「テバ」		○	○	○
620000296	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621543402	フルコナゾール静注2000mg「NPJ」		○	○	○
620000294	フルコナゾール静注液0.1%「F」	○	○	○	○

621543201 レセプト電算コード	フルコナゾール静注50mg「NP」 名称	2010	2012	2014	2016
620000437	プロジフ静注液100	○	○	○	○
620000438	プロジフ静注液200	○	○	○	○
620000439	プロジフ静注液400	○	○	○	○
620004424	イトリゾール注1%	○	○	○	○
621167101	ベナンボックス注用300mg	○	○	○	○
622364001	アネメトロ点滴静注液500mg			○	○
646410002	バクトラミン注	○	○	○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g（シオノギ）	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
620000446	シプロキサ注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注300mg/150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサ注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シプロフロキサシン点滴静注200mg/100mL「明治」	○	○	○	○
620009548	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg/250mL「NP」	○	○	○	○
620009549	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg/250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg/250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シプロフロキサシンDU点滴静注300mg/250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサ注400mg			○	○
640462032	バシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○

2014年2015年電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621495202	パズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	パシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	パズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg / 20mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2 :
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3 :
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。
- 4 :
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。
- 5 :
本指標は、厚労省の「医療の質の評価・公表等推進事業」により示されたDPCを用いた共通指標の定義を利用している。
このうち、いくつか改訂（抗菌薬のコードの見直し）が望ましいものを反映した定義は2118_3として算出を行っているため、併せてご参照ください。

参考値:

参考資料:

- 1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(子宮全摘除術) (共通定義)

指標番号:

QIP: 2118_w_4

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 b. 術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率(子宮全摘除術) (共通定義)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数 (子宮全摘除術)

分子: 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2 :
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150217510	子宮全摘術
150222810	子宮破裂手術 (子宮全摘除を行う)
150272250	腹腔鏡下腔式子宮全摘術

分子の定義:

1 :
手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。
(ア) 手術翌日は手術日+1の日付とする。(例: 手術日が4月2日の場合4月3日を検索)
(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620005060	バイシリンG顆粒40万単位	○	○	○	○
640463089	注射用ペニシリンGカリウム20万単位	○	○	○	○
620000427	注射用ペニシリンGカリウム100万単位	○	○	○	○
620006026	ダラシンカプセル75mg	○	○	○	○
620006027	ダラシンカプセル150mg	○	○	○	○
620006165	リンコシンカプセル250mg	○	○	○	○
620003811	ペランコシン注300mg		○	○	
620007537	リズピオン注300mg		○	○	○
621062901	リンコマイシン塩酸塩注300mg「NP」		○	○	○
620006341	リンコシン注射液300mg	○	○	○	○
620003812	ペランコシン注600mg		○	○	
620007538	リズピオン注600mg		○	○	○

213004 62138004 電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	リンコマイシン塩酸塩注600mg「NP」				
621380908	リンコマイシン塩酸塩注射液600mg「日医工」		○	○	○
620006342	リンコシン注射液600mg	○	○	○	○
620004196	ペランコシン注1g		○	○	
620004197	ペランコシン注1.5g	○	○	○	
620006344	リンコシン注射液1.5g	○	○	○	○
620006343	リンコシン注射液1g	○	○	○	○
620006261	ダラシンS注射液300mg	○	○	○	○
620008810	クリンダマイシン注射液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
621064601	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「サワイ」	○	○	○	○
622111302	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「トーワ」		○	○	○
621064701	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「F」			○	○
621064501	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「NP」			○	○
620006262	ダラシンS注射液600mg	○	○	○	○
620008811	クリンダマイシン注射液600mg「タイヨー」	○	○	○	○
621065101	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「サワイ」	○	○	○	○
621065201	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「トーワ」		○	○	○
621065301	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「F」			○	○
621065001	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「NP」			○	○
620006226	クリンダマイシン注300mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620006227	クリンダマイシン注600mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620003894	塩酸バンコマイシン散0.5「MEEK」	○	○	○	○
620006791	塩酸バンコマイシン散0.5g(シオノギ)	○	○	○	○
620008047	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620009408	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621738802	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「ファイザー」			○	○
621731302	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「MEEK」			○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g(シオノギ)	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
621971901	バンコマイシン眼軟膏1%	○	○	○	○
621876001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「ケミファ」	○	○	○	
620004729	ハベカシン注射液75mg	○	○	○	○
620009511	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「HK」	○	○	○	○

62173509電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	ベカシン硫酸塩注射液75mg「テバ」				
621066501	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「ケミファ」	○	○	○	
620004730	ハベカシン注射液100mg	○	○	○	○
620009512	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「HK」	○	○	○	○
621066401	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「テバ」			○	○
621924501	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「ケミファ」	○	○	○	
620004728	ハベカシン注射液25mg	○	○	○	○
620009509	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「HK」	○	○	○	○
621896701	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「テバ」			○	○
621950502	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「ケミファ」	○	○	○	
620007432	ハベカシン注射液200mg	○	○	○	○
621955601	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「HK」	○	○	○	○
621936302	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「テバ」			○	○
620004709	注射用タゴシッド200mg	○	○	○	○
620008212	テイコブラニン点滴静注用200mg「NP」	○	○	○	○
620008213	テイコブラニン点滴静注用200mg「日医工」	○	○	○	○
620008532	テイコブラニン点滴静注用200mg「F」	○	○	○	○
620008531	テイコブラニン点滴静注用200mg「HK」	○	○	○	○
620008533	テイコブラニン点滴静注用200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008535	テイコブラニン点滴静注用200mg「トーワ」	○	○	○	○
620009572	テイコブラニン点滴静注用200mg「TYK」	○	○	○	○
620009571	テイコブラニン点滴静注用200mg「サワイ」	○	○	○	○
621995201	テイコブラニン点滴静注用200mg「サンド」	○	○	○	○
622227801	テイコブラニン点滴静注用200mg「明治」		○	○	○
621901402	テイコブラニン点滴静注用200mg「ファイザー」			○	○
621884501	テイコブラニン点滴静注用200mg「テバ」			○	○
620009574	テイコブラニン点滴静注用400mg「F」	○	○	○	○
622216601	テイコブラニン点滴静注用400mg「NP」		○	○	○
622207201	テイコブラニン点滴静注用400mg「日医工」		○	○	○
622227901	テイコブラニン点滴静注用400mg「明治」		○	○	○
622338101	テイコブラニン点滴静注用400mg「トーワ」			○	○
622085501	キュビシン静注用350mg	○	○	○	○
640462005	注射用シナシッド	○	○	○	○
620006477	バクトロバン鼻腔用軟膏2%	○	○	○	○
646130274	アザクタム注射用0.5g	○	○	○	○
646130275	アザクタム注射用1g	○	○	○	○
620008598	カナマイシンカプセル250mg「明治」	○	○	○	○
620008599	カナマイシンシロップ5%「明治」	○	○	○	○
620008600	カナマイシンドライシロップ20%「明治」	○	○	○	○
640453139	トブラシン注小児用100mg	○	○	○	○
640453140	トブラシン注600mg	○	○	○	○
646120062	トブラシン注900mg	○	○	○	○
620003676	アミカシン硫酸塩注射液100mg「サワイ」		○	○	○
620004178	プルテツシン注射液100mg		○	○	
620006356	ロミカシン注射液100mg		○	○	

2010	2012	2014	2016			
621069302	名称	カシシン硫酸塩注射液 100mg 「N i k P」				
621069501	アミカシシン硫酸塩注射液 100mg 「F」			○	○	
620003190	アミカマイシシン注射液 100mg	○	○	○	○	
621069402	アミカシシン硫酸塩注射液 100mg 「日医工」	○	○	○	○	
621069001	アミカシシン硫酸塩注 100mg 「NP」		○	○	○	
620003677	アミカシシン硫酸塩注射液 200mg 「サワイ」		○	○	○	
620003797	プルテツシシン注射液 200mg	○	○	○		
620006651	ロミカシシン注射液 200mg	○	○	○		
621070102	アミカシシン硫酸塩注射液 200mg 「N i k P」		○	○	○	
621070301	アミカシシン硫酸塩注射液 200mg 「F」			○	○	
620003191	アミカマイシシン注射液 200mg	○	○	○	○	
621070202	アミカシシン硫酸塩注射液 200mg 「日医工」	○	○	○	○	
621069701	アミカシシン硫酸塩注 200mg 「NP」		○	○	○	
621070602	アミカシシン硫酸塩注射用 100mg 「日医工」	○	○	○	○	
621070902	アミカシシン硫酸塩注射用 200mg 「日医工」	○	○	○	○	
640453078	シオセシシン注射液 200	○	○	○	○	
620003198	エクサシシン注射液 200	○	○	○	○	
620003193	イセパシシン注射液 200	○	○	○	○	
620005641	イセパマイシシン硫酸塩注射液 200mg 「日医工」	○	○	○	○	
621604701	イセパマイシシン硫酸塩注射液 200mg 「サワイ」		○	○	○	
646120080	イセパシシン注射液 400	○	○	○	○	
646120081	エクサシシン注射液 400	○	○	○	○	
640453079	シオセシシン注射液 400	○	○	○	○	
620005642	イセパマイシシン硫酸塩注射液 400mg 「日医工」	○	○	○	○	
621695601	イセパマイシシン硫酸塩注射液 400mg 「サワイ」		○	○	○	
622213301	トービイ吸入液 300mg		○	○	○	
620009196	トロビシシン筋注用 2g	○	○	○	○	
620008618	コリマイシシン散 200万単位/g	○	○	○	○	
620008753	メタコリマイシシン顆粒 200万単位/g	○	○	○	○	
620008752	メタコリマイシシンカプセル 300万単位	○	○	○	○	
622415701	オールドレブ点滴静注用 150mg			○	○	
620003657	硫酸ポリミキシシンB錠 25万単位 「ファイザー」	○	○	○	○	
620003658	硫酸ポリミキシシンB錠 100万単位 「ファイザー」	○	○	○	○	
616120011	セフテムカプセル 100mg	○	○	○	○	
616120012	セフテムカプセル 200mg	○	○	○	○	
622199101	タイガシシル点滴静注用 50mg		○	○	○	
622066601	アモキシシシリン細粒 10% 「タツミ」	○	○	○		
610454003	アモリン細粒 10%	○	○	○	○	
620006920	サワシシリン細粒 10%	○	○	○	○	
620007026	パセトシシン細粒 10%	○	○	○	○	
622112902	ワイドシシリン細粒 10%			○	○	
620005906	アモキシシシリン細粒 20% 「タツミ」	○	○	○		
621073001	ワイドシシリン細粒 20%			○	○	
616130132	サワシシリン錠 250	○	○	○	○	
616130295	パセトシシン錠 250	○	○	○	○	

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
616130039	アモリンカプセル125				
620007024	バセトシンカプセル125	○	○	○	○
622054901	サワシリンカプセル125	○	○	○	○
622066501	アモキシシリンカプセル125mg「タツミ」	○	○	○	○
622111101	アモキシシリンカプセル125mg「トーワ」	○	○	○	○
622127801	アモキシシリンカプセル125mg「日医工」	○	○	○	○
622165902	アモキシシリンカプセル125mg「NP」		○	○	○
616130040	アモリンカプセル25	○	○	○	○
620006829	アモキシシリンカプセル25mg「タツミ」	○	○	○	○
620006919	サワシリンカプセル25	○	○	○	○
620007025	バセトシンカプセル25	○	○	○	○
620008584	アモキシシリンカプセル25mg「日医工」	○	○	○	○
620009117	アモキシシリンカプセル25mg「トーワ」	○	○	○	○
621073901	アモキシシリンカプセル25mg「NP」		○	○	○
621074701	ピクシリンカプセル25mg	○	○	○	○
621075101	ピクシリンドライシロップ1%	○	○	○	○
610451023	ペングッド錠25mg	○	○	○	○
621076301	ユナシン細粒小児用1%	○	○	○	○
621076401	ユナシン錠375mg	○	○	○	○
621076601	ピクシリン注射用0.25g	○	○	○	○
621076801	ピクシリン注射用0.5g	○	○	○	○
621077201	ピクシリン注射用1g	○	○	○	○
621077501	ピクシリン注射用2g	○	○	○	○
621078403	ピペラシリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	
646130136	ペントシリン注射用1g	○	○	○	○
620007456	ピペユンシン注射用1g	○	○	○	○
621078301	ピペラシリンNa注射用1g「サワイ」		○	○	○
621078103	ピペラシリンNa注射用1g「テバ」		○	○	○
621078601	ピペラシリンNa注射用1g「トーワ」		○	○	○
621342601	ピペラシリンNa注射用1g「SN」			○	○
621079203	ピペラシリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	
646130137	ペントシリン注射用2g	○	○	○	○
620007457	ピペユンシン注射用2g	○	○	○	○
621079101	ピペラシリンNa注射用2g「サワイ」		○	○	○
621078903	ピペラシリンNa注射用2g「テバ」		○	○	○
621079401	ピペラシリンNa注射用2g「トーワ」		○	○	○
621342802	ピペラシリンNa注射用2g「SN」			○	○
622079701	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ1g「NP」	○	○	○	
640462059	ペントシリン静注用1gバッグ	○	○	○	○
622079801	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ2g「NP」	○	○	○	
640462060	ペントシリン静注用2gバッグ	○	○	○	○
616130002	L-ケフレックス小児用顆粒	○	○	○	○
616130378	L-キサール顆粒5	○	○	○	○
616130003	L-ケフレックス顆粒	○	○	○	○
621083104	セファレキシシン顆粒5mg「JG」			○	

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621083503	セファレキシン錠250「日医工」				
620003645	ラリキシン錠250mg	○	○	○	○
610454041	センセファリンカプセル125	○	○	○	○
610454042	センセファリンカプセル250	○	○	○	○
620004512	セファレキシンカプセル250mg「トーワ」	○	○	○	○
620004981	ケフレックスカプセル250mg	○	○	○	○
610453048	ケフレックスシロップ用細粒100	○	○	○	○
610454043	センセファリンシロップ用細粒10%	○	○	○	○
620003646	ラリキシンドライシロップ小児用10%	○	○	○	○
616130115	ケフレックスシロップ用細粒200	○	○	○	○
616130229	センセファリンシロップ用細粒20%	○	○	○	○
620003647	ラリキシンドライシロップ小児用20%	○	○	○	○
621085602	セファレキシンドライシロップ小児用50%「日医工」		○	○	
621087903	セファクロル細粒10%「日医工」		○	○	○
616130112	ケフラル細粒小児用100mg	○	○	○	○
621086806	セファクロル細粒小児用10%「JG」			○	○
621087001	セファクロル細粒小児用10%「サワイ」			○	○
621088403	セファクロル細粒20%「日医工」		○	○	
616130469	L-ケフラル顆粒	○	○	○	○
616130110	ケフラルカプセル250mg	○	○	○	○
620008657	トキクロルカプセル250mg	○	○	○	○
621088802	セファクロルカプセル250mg「TCK」		○	○	○
621089701	セファクロルカプセル250mg「トーワ」		○	○	○
621089501	セファクロルカプセル250mg「日医工」		○	○	○
621088705	セファクロルカプセル250mg「JG」			○	○
621089103	セファクロルカプセル250mg「SN」			○	○
621088901	セファクロルカプセル250mg「サワイ」			○	○
620005947	オラスポア小児用ドライシロップ10%	○	○	○	○
616130404	セフspan細粒50mg	○	○	○	○
610453059	セフィーナ細粒50	○	○	○	○
620000061	セフィーナ細粒100	○	○	○	○
616130405	セフspanカプセル50mg	○	○	○	○
616130406	セフspanカプセル100mg	○	○	○	○
620002756	テラミロン細粒小児用10%	○	○	○	○
620003583	トミロン細粒小児用10%	○	○	○	○
621675801	セフテラムピボキシル細粒小児用10%「日医工」		○	○	○
616130407	トミロン錠50	○	○	○	○
616130408	トミロン錠100	○	○	○	○
620004958	オラセフ錠250mg	○	○	○	○
620003968	セフボドキシムプロキセチル錠100「TCK」	○	○	○	○
620003970	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620008681	パナン錠100mg	○	○	○	○
621744203	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「JG」		○	○	○
621744401	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「トーワ」		○	○	○
621747601	セフボドキシムプロキセチル錠100mg「サワイ」			○	○

620009682 レセプト電算コード	パナンドライシロップ5% 名称	2010	2012	2014	2016
621747701	セフボドキシムプロキセチルD S小児用5%「サワイ」			○	○
616130476	パンスポリンT錠100	○	○	○	○
616130477	パンスポリンT錠200	○	○	○	○
620004513	セフゾン細粒小児用10%	○	○	○	○
621935801	セフジニル細粒小児用10%「タイヨー」	○	○	○	○
620008483	セフジニル細粒小児用10%「YD」	○	○	○	○
620008482	セフジニル細粒小児用10%「サワイ」	○	○	○	○
620008484	セフジニル細粒10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620009343	セフジニル細粒10%小児用「TYK」	○	○	○	○
620009344	セフニール細粒小児用10%	○	○	○	○
621889403	セフジニル細粒小児用10%「JG」		○	○	○
621885302	セフジニル細粒10%小児用「ファイザー」			○	○
621935901	セフジニル細粒小児用20%「タイヨー」	○	○	○	○
620008488	セフジニル錠50mg「サワイ」	○	○	○	○
620008490	セフジニル錠100mg「サワイ」	○	○	○	○
616130531	セフゾンカプセル50mg	○	○	○	○
620008491	セフニールカプセル50mg	○	○	○	○
620009334	セフジニルカプセル50mg「TCK」	○	○	○	○
620009335	セフジニルカプセル50mg「TYK」	○	○	○	○
620009337	セフジニルカプセル50mg「YD」	○	○	○	○
620009336	セフジニルカプセル50mg「日医工」	○	○	○	○
621910002	セフジニルカプセル50mg「JG」		○	○	○
621885102	セフジニルカプセル50mg「ファイザー」			○	○
616130532	セフゾンカプセル100mg	○	○	○	○
620008492	セフニールカプセル100mg	○	○	○	○
620009339	セフジニルカプセル100mg「TCK」	○	○	○	○
620009340	セフジニルカプセル100mg「TYK」	○	○	○	○
620009342	セフジニルカプセル100mg「YD」	○	○	○	○
620009341	セフジニルカプセル100mg「日医工」	○	○	○	○
621910102	セフジニルカプセル100mg「JG」		○	○	○
621885202	セフジニルカプセル100mg「ファイザー」			○	○
620005503	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「CH」	○	○	○	○
620005501	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「EMEC」	○	○	○	○
620005502	セフジトレンピボキシル小児用細粒10%「サワイ」	○	○	○	○
620005499	セフジトレンピボキシル細粒小児用10%「トーワ」	○	○	○	○
620005500	セフジトレンピボキシル細粒10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620008746	メイアクトMS小児用細粒10%	○	○	○	○
620004080	メイアクトMS錠100mg	○	○	○	○
620005506	セフジトレンピボキシル錠100mg「CH」	○	○	○	○
620005505	セフジトレンピボキシル錠100mg「サワイ」	○	○	○	○
620005507	セフジトレンピボキシル錠100mg「トーワ」	○	○	○	○
620005508	セフジトレンピボキシル錠100mg「日医工」	○	○	○	○
610411059	フロモックス小児用細粒100mg	○	○	○	○
621955901	セフカペンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「CH」	○	○	○	○

621939401 シロート電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621940201	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「JG」	○	○	○	○
621946301	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「トーワ」	○	○	○	○
621931001	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用100mg「TCK」	○	○	○	○
621962401	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒10%小児用「日医工」	○	○	○	○
621962501	セフカベンピボキシル塩酸塩小児用細粒10%「サワイ」	○	○	○	○
621942904	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用10%「ファイザー」			○	○
610411057	フロモックス錠75mg	○	○	○	○
620009331	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「サワイ」	○	○	○	○
621956001	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「CH」	○	○	○	○
621930801	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「TCK」	○	○	○	○
621940301	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「YD」	○	○	○	○
621947501	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「トーワ」	○	○	○	○
621962601	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「日医工」	○	○	○	○
621943004	セフカベンピボキシル塩酸塩錠75mg「ファイザー」			○	○
610411058	フロモックス錠100mg	○	○	○	○
620009332	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「サワイ」	○	○	○	○
621956101	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「CH」	○	○	○	○
621930901	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「TCK」	○	○	○	○
621940401	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「YD」	○	○	○	○
621947601	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「トーワ」	○	○	○	○
621962701	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「日医工」	○	○	○	○
621943104	セフカベンピボキシル塩酸塩錠100mg「ファイザー」			○	○
646130121	パンスポリン筋注用0.25g	○	○	○	○
646130110	ハロスポア静注用0.25g	○	○	○	○
646130122	パンスポリン静注用0.25g	○	○	○	○
620004140	セファピコール静注用0.25g	○	○	○	○
620007293	ケミスポリン静注用0.25g	○	○	○	○
621989702	セフォチアム塩酸塩静注用0.25g「日医工」		○	○	○
621987602	セフォチアム塩酸塩静注用0.25g「NP」		○	○	○
621924001	セフォチアム塩酸塩静注用0.25g「SN」			○	○
646130111	ハロスポア静注用0.5g	○	○	○	○
646130123	パンスポリン静注用0.5g	○	○	○	○
620004141	セファピコール静注用0.5g	○	○	○	○
620007294	ケミスポリン静注用0.5g	○	○	○	○
621989802	セフォチアム塩酸塩静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621344901	セフォチアム塩酸塩静注用0.5g「NP」		○	○	○
621924101	セフォチアム塩酸塩静注用0.5g「SN」			○	○
646130112	ハロスポア静注用1g	○	○	○	○
646130124	パンスポリン静注用1g	○	○	○	○
620003732	セファピコール静注用1g	○	○	○	○
620007295	ケミスポリン静注用1g	○	○	○	○
621345002	セフォチアム塩酸塩静注用1g「日医工」		○	○	○
621345301	セフォチアム塩酸塩静注用1g「NP」		○	○	○
621095002	セフォチアム塩酸塩静注用1g「SN」			○	○

64407149 JANコード	電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
		スポリン静注用1gバッグS				
620009563		セフォチアム静注用1gバッグ「日医工」	○	○	○	○
621540002		セフォチアム塩酸塩点滴静注用1gバッグ「NPJ」		○	○	○
640408148		パンスポリン静注用1gバッグG	○	○	○	○
620003735		セファメジンα注射用●. 2.5g	○	○	○	○
622104201		セファゾリンNa注射用●. 2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
622130801		セファゾリンナトリウム注射用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622177601		トキオ注射用●. 2.5g		○	○	○
622124902		セファゾリンNa注射用●. 2.5g「NPJ」			○	○
622033402		セファゾリンNa注射用●. 5g「NPJ」			○	○
622104301		セファゾリンNa注射用●. 5g「タイヨー」		○	○	○
622177701		トキオ注射用●. 5g		○	○	○
620003736		セファメジンα注射用●. 5g	○	○	○	○
621096002		セファゾリンナトリウム注射用●. 5g「日医工」		○	○	○
620003737		セファメジンα注射用1g	○	○	○	○
621096701		トキオ注射用1g	○	○	○	○
621096503		セファゾリンNa注射用1g「タイヨー」	○	○	○	○
621096802		セファゾリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	○
621096601		セファゾリンNa注射用1g「NPJ」			○	○
620003738		セファメジンα注射用2g	○	○	○	○
621097303		セファゾリンNa注射用2g「タイヨー」	○	○	○	○
622177801		トキオ注射用2g		○	○	○
621097602		セファゾリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	○
621097401		セファゾリンNa注射用2g「NPJ」			○	○
620003733		セファメジンα筋注用●. 2.5g	○	○	○	○
620003734		セファメジンα筋注用●. 5g	○	○	○	○
620003740		セファメジンα点滴用キット2g	○	○	○	○
620003739		セファメジンα点滴用キット1g	○	○	○	○
620007318		セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「オーツカ」	○	○	○	○
621757001		セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「NPJ」			○	○
620005674		コアキシシ注射用1g	○	○	○	○
620005675		コアキシシ注射用2g	○	○	○	○
646130072		セフメタゾン筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130073		セフメタゾン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622125001		セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「NPJ」	○	○	○	○
622131001		セフメタゾールナトリウム静注用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622111501		リリアジン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622104002		セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「テバ」			○	○
646130074		セフメタゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
621987501		セフメタゾールNa静注用●. 5g「NPJ」	○	○	○	○
622131101		セフメタゾールナトリウム静注用●. 5g「日医工」	○	○	○	○
622111601		リリアジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622104102		セフメタゾールNa静注用●. 5g「テバ」			○	○
646130075		セフメタゾン静注用1g	○	○	○	○

620006243 620007540	セフメタゾールNa静注用1g「NP」 セフメタゾールNa静注用1g	2010	2012	2014	2016
621102102	セフメタゾールナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	○
621101803	セフメタゾールNa静注用1g「テバ」			○	○
646130076	セフメタゾン静注用2g	○	○	○	○
620006244	セフメタゾールNa静注用2g「NP」	○	○	○	○
620007541	リリアジン静注用2g	○	○	○	○
621102802	セフメタゾールナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	○
621101903	セフメタゾールNa静注用2g「テバ」			○	○
640470010	セフメタゾンキット点滴静注用1g	○	○	○	○
620004151	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ1g「NP」	○	○	○	○
621951701	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ2g「NP」	○	○	○	○
640454018	セフォタックス注射用●. 5g	○	○	○	○
620004652	クラフォラン注射用●. 5g	○	○	○	○
640454019	セフォタックス注射用1g	○	○	○	○
620004653	クラフォラン注射用1g	○	○	○	○
646130067	セフォビッド注射用1g	○	○	○	○
646130071	セフォペラジン注射用1g	○	○	○	○
646130132	ベストコール筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130133	ベストコール静注用●. 5g	○	○	○	○
646130134	ベストコール静注用1g	○	○	○	○
620002999	モダケミン静注用●. 5g	○	○	○	○
620003827	モダシン静注用●. 5g	○	○	○	○
620006701	セフタジジム静注用●. 5g「マイラン」	○	○	○	○
621967001	セフタジジム静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621936401	セフタジジム静注用●. 5g「タイヨー」	○	○	○	○
622052901	セフタジジム静注用●. 5g「サワイ」	○	○	○	○
622124801	セフタジジム静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
621756202	セフタジジム静注用●. 5g「日医工」		○	○	○
621755802	セフタジジム静注用●. 5g「SN」			○	○
620003000	モダケミン静注用1g	○	○	○	○
620003001	モベンゾシン静注用1g	○	○	○	○
620003828	モダシン静注用1g	○	○	○	○
620005676	セフタジジム静注用1g「NP」	○	○	○	○
620006702	セフタジジム静注用1g「マイラン」	○	○	○	○
621967101	セフタジジム静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621703001	セフタジジム静注用1g「サワイ」	○	○	○	○
621756502	セフタジジム静注用1g「日医工」		○	○	○
621755902	セフタジジム静注用1g「SN」			○	○
646130268	ロセフィン静注用●. 5g	○	○	○	○
640463134	リアソフィン静注用●. 5g	○	○	○	○
620009566	セフキソン静注用●. 5g	○	○	○	○
620009567	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621987301	セフトリアキソンナトリウム静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
621967202	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「サワイ」		○	○	○

621538203 シセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622077302	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「ファイザー」		○	○	○
621836501	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「テバ」		○	○	○
646130269	ロセフィン静注用 1g	○	○	○	○
640463135	リアソフィン静注用 1g	○	○	○	○
640463080	セフキソン静注用 1g	○	○	○	○
620009568	セフトリアキソンNa静注用 1g「サンド」	○	○	○	○
621987401	セフトリアキソンナトリウム静注用 1g「NP」	○	○	○	○
621488601	セフトリアキソンNa静注用 1g「サワイ」		○	○	○
621538303	セフトリアキソンナトリウム静注用 1g「日医工」		○	○	○
621555202	セフトリアキソンNa静注用 1g「ファイザー」		○	○	○
621555101	セフトリアキソンNa静注用 1g「テバ」		○	○	○
640470011	ロセフィン点滴静注用 1gバッグ	○	○	○	○
620002955	セフトリアキソンナトリウム点滴用 1gバッグ「NP」	○	○	○	○
622051701	セフトリアキソンナトリウム点滴静注用バッグ 1g「ファイザー」	○	○	○	○
620007514	メイセリン静注用 1g	○	○	○	○
620004148	セフピロム硫酸塩静注用●. 5g「CMX」	○	○	○	○
620006706	硫酸セフピロム静注用●. 5g「マイラン」	○	○	○	○
620004149	セフピロム硫酸塩静注用 1g「CMX」	○	○	○	○
620006707	硫酸セフピロム静注用 1g「マイラン」	○	○	○	○
640407076	注射用マキシピーム●. 5g	○	○	○	○
621966801	セフェピム塩酸塩静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621994601	セフェピム塩酸塩静注用●. 5g「CMX」	○	○	○	○
640407077	注射用マキシピーム 1g	○	○	○	○
621966901	セフェピム塩酸塩静注用 1g「サンド」	○	○	○	○
621994701	セフェピム塩酸塩静注用 1g「CMX」	○	○	○	○
640407080	ファーストシン静注用●. 5g	○	○	○	○
640407081	ファーストシン静注用 1g	○	○	○	○
640443046	ファーストシン静注用 1gバッグS	○	○	○	○
640443047	ファーストシン静注用 1gバッグG	○	○	○	○
666130005	エポセリン坐剤 1 2 5	○	○	○	○
666130006	エポセリン坐剤 2 5 ●	○	○	○	○
646130037	シオマリン静注用 1g	○	○	○	○
646130301	フルマリン静注用●. 5g	○	○	○	○
646130302	フルマリン静注用 1g	○	○	○	○
640443048	フルマリンキット静注用 1g	○	○	○	○
620005201	パニマイシン注射液 5 ●mg	○	○	○	○
620005202	パニマイシン注射液 1 ● ●mg	○	○	○	○
620005180	注射用パニマイシン 1 ● ●mg	○	○	○	○
620003780	ピスタマイシン筋注 5 ● ●mg	○	○	○	○
620003781	ピスタマイシン筋注 1 ● ● ●mg	○	○	○	○
646120011	ゲンタシン注 1 ●	○	○	○	○
622037301	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 1 ●mg「日医工」	○	○	○	○
622074801	エルタシン注 1 ●mg	○	○	○	○
622074802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 1 ●mg「F」				○

62111803 シブド電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620003210	ゲンタマイシン硫酸塩注射液40mg「日医工」 ゲンタシン注40	○	○	○	○
620006210	エルタシン注40mg	○	○	○	○
621111802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液40mg「F」				○
646120012	ゲンタシン注60	○	○	○	○
620006211	エルタシン注60mg	○	○	○	○
621112004	ゲンタマイシン硫酸塩注射液60mg「日医工」		○	○	○
621112003	ゲンタマイシン硫酸塩注射液60mg「F」				○
616130512	ホスミシン錠250	○	○	○	○
616130513	ホスミシン錠500	○	○	○	○
621946401	ホスマイクパセル250mg	○	○	○	○
621964002	ホスホマイシンカルシウムカプセル250mg「日医工」		○	○	○
620008731	ホスマイクパセル500mg	○	○	○	○
621113002	ホスホマイシンカルシウムカプセル500mg「日医工」		○	○	○
616130332	ホスミシンドライシロップ200	○	○	○	○
616130526	ホスホミシンドライシロップ400	○	○	○	○
616130333	ホスミシンドライシロップ400	○	○	○	○
621113712	ホスホマイシンカルシウムドライシロップ400%「日医工」		○	○	
621812201	ホスホマイシンナトリウム静注用0.5g「日医工」		○	○	
622104401	フラゼミシン静注用0.5g	○	○	○	
622131501	ホスカリーゼ静注用0.5g	○	○	○	
620003815	ホスミシンS静注用0.5g	○	○	○	○
622079901	ホスホマイシンNa静注用0.5g「NP」		○	○	
622045702	ホスホマイシンNa静注用0.5g「タカタ」		○	○	○
620004750	フラゼミシン静注用1g	○	○	○	
620004767	ホスカリーゼ静注用1g	○	○	○	
621766301	ホスホマイシンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	
620003816	ホスミシンS静注用1g	○	○	○	○
620006316	ホスホマイシンNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
621114602	ホスホマイシンNa静注用1g「タカタ」		○	○	○
620004751	フラゼミシン静注用2g	○	○	○	
620004768	ホスカリーゼ静注用2g	○	○	○	
621766401	ホスホマイシンナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	
620003817	ホスミシンS静注用2g	○	○	○	○
620006317	ホスホマイシンNa静注用2g「NP」	○	○	○	○
621115302	ホスホマイシンNa静注用2g「タカタ」		○	○	○
620007477	フラゼミシン点滴静注用2gキット	○	○	○	○
640451022	ホスミシンSバッグ1g点滴静注用	○	○	○	○
640451023	ホスミシンSバッグ2g点滴静注用	○	○	○	○
610411055	ファロム錠150mg	○	○	○	○
610411056	ファロム錠200mg	○	○	○	○
620008702	ファロムドライシロップ小児用10%	○	○	○	○
621926801	オラベネム小児用細粒10%	○	○	○	○
621116201	オーグメンチン配合錠125SS	○	○	○	○
621116301	オーグメンチン配合錠250RS	○	○	○	○

621709001 シテプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620007519	メロパネム点滴用バイアル●、2.5g	○	○	○	○
620009585	メロペネム点滴静注用●、2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009586	メロペネム点滴静注用●、2.5g「日医工」	○	○	○	○
621952301	メロペネム点滴静注用●、2.5g「NP」	○	○	○	○
621950101	メロペネム点滴静注用●、2.5g「ケミファ」	○	○	○	○
621967801	メロペネム点滴静注用●、2.5g「サワイ」	○	○	○	○
621967901	メロペネム点滴静注用●、2.5g「タナベ」	○	○	○	○
621946701	メロペネム点滴静注用●、2.5g「トーワ」	○	○	○	○
621947901	メロペネム点滴静注用●、2.5g「明治」	○	○	○	○
622044201	メロペネム点滴静注用●、2.5g「ファイザー」	○	○	○	○
620007520	メロペン点滴用バイアル●、5g	○	○	○	○
620009587	メロペネム点滴静注用●、5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009588	メロペネム点滴静注用●、5g「日医工」	○	○	○	○
621952401	メロペネム点滴静注用●、5g「NP」	○	○	○	○
621950201	メロペネム点滴静注用●、5g「ケミファ」	○	○	○	○
621968001	メロペネム点滴静注用●、5g「サワイ」	○	○	○	○
621968101	メロペネム点滴静注用●、5g「タナベ」	○	○	○	○
621946801	メロペネム点滴静注用●、5g「トーワ」	○	○	○	○
621948001	メロペネム点滴静注用●、5g「明治」	○	○	○	○
622044301	メロペネム点滴静注用●、5g「ファイザー」	○	○	○	○
622439001	メロペネム点滴静注用1g「NP」			○	○
622419401	メロペネム点滴静注用1g「明治」			○	○
620007518	メロペン点滴用キット●、5g	○	○	○	○
621952501	メロペネム点滴静注用バッグ●、5g「NP」	○	○	○	○
621967701	メロペネム点滴静注用バッグ●、5g「日医工」	○	○	○	○
621931801	メロペネム点滴静注用バッグ●、5g「明治」	○	○	○	○
622471301	メロペネム点滴静注用バッグ1g「NP」			○	○
622460901	メロペネム点滴静注用バッグ1g「明治」			○	○
640451036	オメガシン点滴用●、3g	○	○	○	○
640451037	オメガシン点滴用●、3gバッグ	○	○	○	○
621708501	フィニボックス点滴静注用●、2.5g	○	○	○	○
622078501	フィニボックス点滴静注用●、5g	○	○	○	○
621727601	フィニボックス点滴静注用キット●、2.5g	○	○	○	○
646130264	スルペラゾン静注用●、5g	○	○	○	○
620004152	セフロニック静注用●、5g	○	○	○	○
620007316	スペルゾン静注用●、5g	○	○	○	○
622083601	スルタムジン静注用●、5g	○	○	○	○
622099301	セフォセフ静注用●、5g	○	○	○	○
622130901	セフォン静注用●、5g	○	○	○	○
622111401	バクフォーゼ静注用●、5g	○	○	○	○
622080002	ワイスターール配合静注用●、5g		○	○	○
646130265	スルペラゾン静注用1g	○	○	○	○
640444050	セフォセフ静注用1g	○	○	○	○
640444051	セフォン静注用1g	○	○	○	○

640444071 640453097 シセプト電算コード	バクフォーゼ静注用 1g 名称 スルタムジン静注用 1g	2010	2012	2014	2016
620003742	セフロニック静注用 1g	○	○	○	○
620007317	スペルゾン静注用 1g	○	○	○	○
621347901	ワイスタール配合静注用 1g		○	○	○
621116801	スルペラゾンキット静注用 1g	○	○	○	○
621441901	ワイスタール配合点滴静注用 1g バッグ		○	○	○
620004108	インダスト点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620007364	チエナム点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620008211	チエペナム点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622010201	チエクール点滴用●. 2.5g	○	○	○	○
622127601	イミペナム・シラスタチン点滴用●. 2.5g 「サンド」	○	○	○	○
622172601	イミスタン点滴静注用●. 2.5g		○	○	○
620003703	インダスト点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620004106	イミスタン点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620004155	チエクール点滴用●. 5g	○	○	○	○
620004707	チエペナム点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620005643	イミペナム・シラスタチン点滴用●. 5g 「サンド」	○	○	○	○
620007365	チエナム点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620007362	チエナム筋注用●. 5g	○	○	○	○
620007363	チエナム点滴静注用キット●. 5g	○	○	○	○
646130368	カルベニン点滴用●. 2.5g	○	○	○	○
646130369	カルベニン点滴用●. 5g	○	○	○	○
640406222	ユナシン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620003003	ユナスピン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004132	スルバクシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004134	スルバシリン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620005874	ピスルシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620009560	スルバクタム・アンピシリン静注用●. 7.5g 「サンド」	○	○	○	○
622118402	ピシリバクタ静注用●. 7.5g	○	○	○	○
622100601	ユーシオン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
640406223	ユナシン - S 静注用 1. 5g	○	○	○	○
620002977	ピシリバクタ静注用 1. 5g	○	○	○	○
620003002	ユーシオン - S 静注用 1. 5g	○	○	○	○
620003004	ユナスピン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620004133	スルバクシン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620004135	スルバシリン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620005875	ピスルシン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620009561	スルバクタム・アンピシリン静注用 1. 5g 「サンド」	○	○	○	○
622250001	ユナシン - S 静注用 3g		○	○	○
622419601	スルバシリン静注用 3g			○	○
622408701	ピスルシン静注用 3g			○	○
622464401	スルバクシン静注用 3g			○	○
622467201	ピシリバクタ静注用 3g			○	○
622458201	ユーシオン - S 静注用 3g			○	○

622441301 620004775 電算コード	ユナシン静注用3g ユナシン-Sキット静注用1.5g 名称	2010	2012	2014	2016
620004776	ユナシン-Sキット静注用3g	○	○	○	○
620008446	ゾシン静注用2.25	○	○	○	○
622441401	タゾピペ配合静注用2.25「CHM」			○	○
622464701	タゾピペ配合静注用2.25「DK」			○	○
622453701	タゾピペ配合静注用2.25「DSEP」			○	○
622450601	タゾピペ配合静注用2.25「SN」			○	○
622461801	タゾピペ配合静注用2.25「サンド」			○	○
622458801	タゾピペ配合静注用2.25「テバ」			○	○
622467001	タゾピペ配合静注用2.25「日医工」			○	○
622470601	タゾピペ配合静注用2.25「ニプロ」			○	○
622455601	タゾピペ配合静注用2.25「ファイザー」			○	○
622460701	タゾピペ配合静注用2.25「明治」			○	○
620008447	ゾシン静注用4.5	○	○	○	○
622441501	タゾピペ配合静注用4.5「CHM」			○	○
622464801	タゾピペ配合静注用4.5「DK」			○	○
622453801	タゾピペ配合静注用4.5「DSEP」			○	○
622450701	タゾピペ配合静注用4.5「SN」			○	○
622461901	タゾピペ配合静注用4.5「サンド」			○	○
622458901	タゾピペ配合静注用4.5「テバ」			○	○
622467101	タゾピペ配合静注用4.5「日医工」			○	○
622470701	タゾピペ配合静注用4.5「ニプロ」			○	○
622455701	タゾピペ配合静注用4.5「ファイザー」			○	○
622460801	タゾピペ配合静注用4.5「明治」			○	○
622423101	ゾシン配合点滴静注用バッグ4.5			○	○
622454001	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「DSEP」			○	○
622470901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ニプロ」			○	○
622455901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ファイザー」			○	○
622462101	タゾピペ配合点滴静注用4.5バッグ「サンド」			○	○
622453901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「DSEP」			○	○
622470801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ニプロ」			○	○
622455801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ファイザー」			○	○
622462001	タゾピペ配合点滴静注用2.25バッグ「サンド」			○	○
620000022	エリスロシンW顆粒20%	○	○	○	○
620001975	エリスロシンドライシロップ10%	○	○	○	○
620001974	エリスロシンドライシロップW20%	○	○	○	○
620004463	エリスロマイシン錠200mg「サワイ」	○	○	○	○
620000020	エリスロシン錠100mg	○	○	○	○
620000021	エリスロシン錠200mg	○	○	○	○
621120001	エリスロシン点滴静注用500mg	○	○	○	○
620003495	アセチルスピラマイシン錠100	○	○	○	○
620003496	アセチルスピラマイシン錠200	○	○	○	○
620003554	ジョサマイシン錠50mg	○	○	○	○
620003555	ジョサマイシン錠200mg	○	○	○	○

620004503 620004504	計算コード	名称 ロキサマイシロップ3% ロキサマイシロップ1% シロップ	2010	2012	2014	2016
616140099		ルリッド錠15〇	○	○	○	○
620002885		ロキシマイシ錠15〇mg	○	○	○	○
620004096		ロキスロマイシ錠15〇mg「サンド」	○	○	○	○
621681102		ロキスロマイシ錠15〇mg「RM」		○	○	○
621694602		ロキスロマイシ錠15〇mg「ファイザー」		○	○	○
621693303		ロキスロマイシ錠15〇mg「JG」		○	○	○
621694201		ロキスロマイシ錠15〇mg「サワイ」			○	○
621675901		ロキスロマイシ錠15〇mg「日医工」			○	○
616140101		クラリシッド錠5〇mg小児用	○	○	○	○
616140104		クラリス錠5〇小児用	○	○	○	○
620003921		クラリスロマイシ錠5〇mg小児用「CH」	○	○	○	○
620003918		クラリスロマイシ錠5〇mg小児用「EMEC」	○	○	○	○
620003919		クラリスロマイシ錠5〇mg小児用「NP I」	○	○	○	○
620003917		クラリスロマイシ錠5〇小児用「TCK」	○	○	○	○
620003920		クラリスロマイシ錠5〇mg小児用「サワイ」	○	○	○	○
620003922		クラリスロマイシ錠5〇mg小児用「タイヨー」	○	○	○	○
620003916		クラリスロマイシ錠小児用5〇mg「タカタ」	○	○	○	○
620003923		クラリスロマイシ錠5〇mg小児用「日医工」	○	○	○	○
620003945		クラロイシ錠5〇小児用	○	○	○	○
620004075		マインベース錠5〇小児用	○	○	○	○
620005425		クラリスロマイシ錠5〇小児用「MEEK」	○	○	○	○
620006669		クラリスロマイシ錠5〇mg小児用「マイラン」	○	○	○	○
622079301		クラリスロマイシ錠5〇mg小児用「NP」	○	○	○	○
621741203		クラリスロマイシ錠5〇mg小児用「杏林」		○	○	○
621752801		クラリスロマイシ錠小児用5〇mg「トーワ」		○	○	○
616140102		クラリシッド錠2〇〇mg	○	○	○	○
616140105		クラリス錠2〇〇	○	○	○	○
620003932		クラリスロマイシ錠2〇〇mg「CH」	○	○	○	○
620003928		クラリスロマイシ錠2〇〇mg「EMEC」	○	○	○	○
620003926		クラリスロマイシ錠2〇〇「MEEK」	○	○	○	○
620003929		クラリスロマイシ錠2〇〇mg「NP I」	○	○	○	○
620003927		クラリスロマイシ錠2〇〇「TCK」	○	○	○	○
620003930		クラリスロマイシ錠2〇〇mg「サワイ」	○	○	○	○
620003931		クラリスロマイシ錠2〇〇mg「サンド」	○	○	○	○
620003933		クラリスロマイシ錠2〇〇mg「タイヨー」	○	○	○	○
620003934		クラリスロマイシ錠2〇〇mg「タカタ」	○	○	○	○
620003935		クラリスロマイシ錠2〇〇mg「日医工」	○	○	○	○
620003946		クラロイシ錠2〇〇	○	○	○	○
620004076		マインベース錠2〇〇	○	○	○	○
620006670		クラリスロマイシ錠2〇〇mg「マイラン」	○	○	○	○
620008013		クラリスロマイシ錠2〇〇mg「タナベ」	○	○	○	○
622079401		クラリスロマイシ錠2〇〇mg「NP」	○	○	○	○
621742103		クラリスロマイシ錠2〇〇mg「杏林」		○	○	○

621753901 620003940	電算コード 名称 クラリスロマイシン錠2.5mg「トーワ」 クラリスロマイシンDS1.5%小児用「EMEC」	2010	2012	2014	2016
620003941	クラリスロマイシンDS1.5%小児用「サワイ」	○	○	○	○
620003943	クラリスロマイシンDS小児用1.5%「タカタ」	○	○	○	○
620003942	クラリスロマイシンDS1.5%小児用「日医工」	○	○	○	○
620003939	クラリスロマイシンDS1.5%「MEEK」	○	○	○	○
620004077	マインベースDS1.5%小児用	○	○	○	○
620004476	クラリシッド・ドライシロップ1.5%小児用	○	○	○	○
620004974	クラリスドライシロップ1.5%小児用	○	○	○	○
620005426	クラリスロマイシンドライシロップ1.5%小児用「タイヨー」	○	○	○	○
620005427	クラロイシンドライシロップ1.5%小児用	○	○	○	○
620006671	クラリスロマイシンドライシロップ1.5%小児用「マイラン」	○	○	○	○
621753001	クラリスロマイシンDS小児用1.5%「トーワ」		○	○	○
621348401	ジスロマック細粒小児用1.5%	○	○	○	○
622295301	アジスロマイシン細粒小児用1.5%「JG」		○	○	○
622303301	アジスロマイシン細粒小児用1.5%「SN」		○	○	○
622269501	アジスロマイシン細粒小児用1.5%「YD」		○	○	○
622274301	アジスロマイシン細粒1.5%小児用「KN」		○	○	○
622274501	アジスロマイシン小児用細粒1.5%「タカタ」		○	○	○
622353101	アジスロマイシン細粒小児用1.5%「TCK」			○	○
622411501	アジスロマイシン細粒小児用1.5%「トーワ」			○	○
610443026	ジスロマック錠2.5mg	○	○	○	○
622286701	アジスロマイシン錠2.5mg「DSEP」		○	○	○
622294801	アジスロマイシン錠2.5mg「F」		○	○	○
622290801	アジスロマイシン錠2.5mg「JG」		○	○	○
622274201	アジスロマイシン錠2.5mg「KN」		○	○	○
622276801	アジスロマイシン錠2.5mg「KOG」		○	○	○
622296901	アジスロマイシン錠2.5mg「NP」		○	○	○
622303401	アジスロマイシン錠2.5mg「SN」		○	○	○
622269601	アジスロマイシン錠2.5mg「YD」		○	○	○
622275601	アジスロマイシン錠2.5mg「アメル」		○	○	○
622295401	アジスロマイシン錠2.5mg「サワイ」		○	○	○
622289801	アジスロマイシン錠2.5mg「サンド」		○	○	○
622274401	アジスロマイシン錠2.5mg「タカタ」		○	○	○
622282801	アジスロマイシン錠2.5mg「テバ」		○	○	○
622281501	アジスロマイシン錠2.5mg「トーワ」		○	○	○
622270801	アジスロマイシン錠2.5mg「日医工」		○	○	○
622275401	アジスロマイシン錠2.5mg「わかもと」		○	○	○
622352901	アジスロマイシン錠2.5mg「TCK」			○	○
622368001	アジスロマイシン錠2.5mg「CHM」			○	○
610451034	ジスロマック錠6.0mg	○	○	○	○
622274601	アジスロマイシン小児用錠1.5mg「タカタ」		○	○	○
622281601	アジスロマイシン錠5.0mg「トーワ」		○	○	○
622270901	アジスロマイシン錠5.0mg「日医工」		○	○	○
610443024	ジスロマックカプセル小児用1.5mg	○	○	○	○

622299701 レセプト電算コード	622303201 名称	2010	2012	2014	2016
	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「JG」		○	○	○
	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「SN」				
622269401	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「YD」		○	○	○
622353001	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「TCK」			○	○
620009094	ジスロマックSR成人用ドライシロップ2g	○	○	○	○
622085701	ジスロマック点滴静注用500mg	○	○	○	○
621122501	クロロマイセチン錠50	○	○	○	○
621122601	クロロマイセチン錠250	○	○	○	○
621122801	クロロマイセチンサクシネート静注用1g	○	○	○	○
616150003	アクロマイシンVカプセル50mg	○	○	○	○
616150002	アクロマイシンVカプセル250mg	○	○	○	○
621123301	レダマイシンカプセル150mg	○	○	○	○
620006083	ビブラマイシン錠50mg	○	○	○	○
620006084	ビブラマイシン錠100mg	○	○	○	○
620007109	ミノマイシン顆粒2%	○	○	○	○
621124301	ミノサイクリン塩酸塩顆粒2%「サワイ」		○	○	○
616150088	ミノマイシン錠50mg	○	○	○	○
621124603	塩酸ミノサイクリン錠50「日医工」		○	○	○
621124801	ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「サワイ」		○	○	○
621125101	ミノサイクリン塩酸塩錠50mg「トーフ」		○	○	○
616150064	ミノマイシン錠100mg	○	○	○	○
621125401	ミノサイクリン塩酸塩錠100mg「サワイ」		○	○	○
621125701	ミノサイクリン塩酸塩錠100mg「トーフ」		○	○	○
616150063	ミノマイシンカプセル50mg	○	○	○	○
610454083	ミノマイシンカプセル100mg	○	○	○	○
621126003	塩酸ミノサイクリンカプセル100「日医工」		○	○	○
620004770	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「日医工」		○	○	○
620005226	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620007513	ミノマイシン点滴静注用100mg	○	○	○	○
621126801	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「サワイ」		○	○	○
621126501	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「F」			○	○
620003244	硫酸ストレプトマイシン1g注射用「明治」	○	○	○	○
620008620	サイクロセリンカプセル250mg「明治」	○	○	○	○
620004093	リファンピシンカプセル150mg「サンド」	○	○	○	○
620008583	アプテシンカプセル150mg	○	○	○	○
621127501	リファジンカプセル150mg	○	○	○	○
620007375	ツベラクチン筋注用1g	○	○	○	○
620008440	ミコブティンカプセル150mg	○	○	○	○
620007539	硫酸カナマイシン注射液1000mg「明治」	○	○	○	○
620008666	ナスタチン錠50万単位「明治」	○	○	○	○
620007031	ハリゾン錠100mg	○	○	○	○
620004560	ファンギゾンシロップ100mg/mL	○	○	○	○
620007032	ハリゾンシロップ100mg/mL	○	○	○	○
620007467	ファンギゾン注射用50mg	○	○	○	○
620003487	アムビゾーム点滴静注用50mg	○	○	○	○

620002493 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622480701	ブイフェンド錠50mg ポリコナゾール錠50mg「DSEP」				○
622491901	ポリコナゾール錠50mg「JG」				○
622499601	ポリコナゾール錠50mg「アメル」				○
622483001	ポリコナゾール錠50mg「タカタ」				○
622495401	ポリコナゾール錠50mg「テバ」				○
622479601	ポリコナゾール錠50mg「トーワ」				○
622501301	ポリコナゾール錠50mg「日医工」				○
620002494	ブイフェンド錠200mg	○	○	○	○
622480801	ポリコナゾール錠200mg「DSEP」				○
622492101	ポリコナゾール錠200mg「JG」				○
622499801	ポリコナゾール錠200mg「アメル」				○
622483101	ポリコナゾール錠200mg「タカタ」				○
622495501	ポリコナゾール錠200mg「テバ」				○
622479701	ポリコナゾール錠200mg「トーワ」				○
622501401	ポリコナゾール錠200mg「日医工」				○
622492001	ポリコナゾール錠100mg「JG」				○
622499701	ポリコナゾール錠100mg「アメル」				○
622375301	ブイフェンドドライシロップ2800mg			○	○
640462040	ファンガード点滴用50mg	○	○	○	○
640462041	ファンガード点滴用75mg	○	○	○	○
620003489	ファンガード点滴用25mg	○	○	○	○
620002497	ブイフェンド200mg 静注用	○	○	○	○
622136201	カンサイダス点滴静注用50mg		○	○	○
622136301	カンサイダス点滴静注用70mg		○	○	○
621130301	ピクシリンS 配合錠	○	○	○	○
621131001	注射用ピクシリンS 100	○	○	○	○
646190020	注射用ピクシリンS 500	○	○	○	○
646190018	注射用ピクシリンS 1000	○	○	○	○
622517701	リフキシマ錠200mg				○
610462048	ランサップ400	○	○	○	○
610462049	ランサップ800	○	○	○	○
622029101	ランピオンパック	○	○	○	○
622289101	ラベキュアパック400		○	○	○
622289201	ラベキュアパック800		○	○	○
622289301	ラベファインパック		○	○	○
622485401	ボノサップパック400				○
622485501	ボノサップパック800				○
622485601	ボノピオンパック				○
610463036	ウイントマイロン錠250	○	○	○	○
616290016	ウイントマイロン錠500	○	○	○	○
620006852	ウイントマイロンシロップ5%	○	○	○	○
620009216	カルノマチン錠250mg	○	○		
621137802	ピペミド酸錠250mg「YD」		○	○	○
616290054	ドルコール錠250mg	○	○	○	○

614705電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
610407066	シーヌン錠100mg	○	○		
621138800	ノルフロキサシン錠100mg「YD」	○	○	○	○
621138803	ノルフロキサシン錠100mg「サワイ」			○	○
621138818	ノルフロキサシン錠100mg「ツルハラ」		○	○	○
621138823	ノルフロキサシン錠100mg「EMEC」	○	○	○	○
622058001	バステーン錠100mg	○	○	○	○
616290121	バクシダール錠100mg	○	○	○	○
610407052	キサフロール錠200	○	○	○	○
610407067	シーヌン錠200mg	○	○		
610412023	ウナセラ錠200mg	○	○		
620006594	バステーン錠200mg	○	○	○	○
621139104	ノルフロキサシン錠200mg「サワイ」			○	○
621139117	ノルフロキサシン錠200mg「YD」	○	○	○	○
621139123	ノルフロキサシン錠200mg「ツルハラ」		○	○	○
621139128	ノルフロキサシン錠200mg「EMEC」	○	○	○	○
616290147	バクシダール錠200mg	○	○	○	○
616240001	小児用バクシダール錠50mg	○	○	○	○
620003912	オフロキサシン錠100mg「サワイ」	○	○	○	
620003913	オフロキサシン錠100mg「ツルハラ」		○	○	○
620003984	タリフロ錠100mg	○	○	○	
620004040	フロキン錠100mg		○	○	○
620006024	タツミキシ錠100mg		○	○	○
621745304	オフロキサシン錠100mg「テバ」		○	○	○
621753101	オフロキサシン錠100mg「タナベ」		○	○	
621753103	オフロキサシン錠100mg「JG」		○	○	○
620006972	タリビッド錠100mg	○	○	○	○
622096201	シプロフロキサシン錠100mg「CH」		○	○	
622096202	シプロフロキサシン錠100mg「JG」		○	○	○
622125901	シバスタン錠100mg		○	○	○
616290155	シプロキサ錠100mg	○	○	○	○
621489001	シプロフロキサシン錠100mg「日医工」		○	○	○
621946502	シプロフロキサシン錠100mg「トーワ」		○	○	○
621964702	シプロフロキサシン錠100mg「SW」			○	○
621529401	シプロフロキサシン錠100mg「TCK」			○	○
610463082	シバスタン錠200mg		○	○	○
620000118	プリモール錠200mg		○	○	○
621489201	シプロフロキサシン錠200mg「タナベ」	○	○	○	
621489203	シプロフロキサシン錠200mg「JG」		○	○	○
621529501	シプロフロキサシン錠200mg「TCK」			○	○
616290156	シプロキサ錠200mg	○	○	○	○
621489601	シプロフロキサシン錠200mg「日医工」		○	○	○
621489502	シプロフロキサシン錠200mg「トーワ」		○	○	○
621489102	シプロフロキサシン錠200mg「SW」			○	○

レセプト電算コード	パレオン錠200mg パレオンカプセル100mg	2010	2012	2014	2016
610407158 616290170		○	○	○	○
621971501	オゼックス細粒小児用15%	○	○	○	○
622410601	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「タカタ」			○	○
622413901	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「トーワ」			○	○
622420701	トスフロキサシントシル酸塩小児用細粒15%「明治」			○	○
622481701	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「TCK」				○
616290166	オゼックス錠75	○	○	○	○
616290168	トスキサシン錠75mg	○	○	○	○
621952101	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「NP」	○	○	○	○
621931101	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「TCK」	○	○	○	○
621953501	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「TYK」	○	○	○	○
621940001	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「YD」	○	○	○	○
621963301	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サワイ」	○	○	○	○
621963401	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サンド」	○	○	○	○
621935301	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「タイヨー」	○	○	○	○
621956201	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「タナベ」	○	○	○	○
621963501	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「日医工」	○	○	○	○
616290167	オゼックス錠150	○	○	○	○
616290169	トスキサシン錠150mg	○	○	○	○
621952201	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「NP」	○	○	○	○
621931201	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「TCK」	○	○	○	○
621953601	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「TYK」	○	○	○	○
621940101	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「YD」	○	○	○	○
621963601	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「サワイ」	○	○	○	○
621963701	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「サンド」	○	○	○	○
621935401	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「タイヨー」	○	○	○	○
621956301	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「タナベ」	○	○	○	○
621963801	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「日医工」	○	○	○	○
621925901	クラビット細粒10%	○	○	○	○
622371001	レボフロキサシン細粒10%「DSEP」			○	○
622383001	レボフロキサシン錠250mg「サンド」			○	
622387801	レボフロキサシン錠250mg「日医工P」			○	
622391701	レボフロキサシン錠250mg「ニプロ」			○	
622395201	レボフロキサシン錠250mg「アメル」			○	
621925701	クラビット錠250mg	○	○	○	○
622386101	レボフロキサシン錠250mg「CEO」			○	○
622379101	レボフロキサシン錠250mg「CH」			○	○
622370801	レボフロキサシン錠250mg「DSEP」			○	○
622394001	レボフロキサシン錠250mg「F」			○	○
622400801	レボフロキサシン錠250mg「MEEK」			○	○
622386801	レボフロキサシン錠250mg「TCK」			○	○
622367801	レボフロキサシン錠250mg「YD」			○	○
622376301	レボフロキサシン錠250mg「ZE」			○	○
622400701	レボフロキサシン錠250mg「イセイ」			○	○

622389401 622380301	電算コード レボフロキサシン錠250mg「イワキ」 レボフロキサシン錠250mg「オーハラ」	2010	2012	2014	2016
622395901	レボフロキサシン錠250mg「科研」			○	○
622365901	レボフロキサシン錠250mg「杏林」			○	○
622388801	レボフロキサシン錠250mg「ケミファ」			○	○
622392301	レボフロキサシン錠250mg「サトウ」			○	○
622383501	レボフロキサシン錠250mg「サノフィ」			○	○
622391101	レボフロキサシン錠250mg「サワイ」			○	○
622377901	レボフロキサシン錠250mg「タカタ」			○	○
622380001	レボフロキサシン錠250mg「タナベ」			○	○
622394401	レボフロキサシン錠250mg「テバ」			○	○
622372801	レボフロキサシン錠250mg「トーワ」			○	○
622384801	レボフロキサシン錠250mg「ニッター」			○	○
622382001	レボフロキサシン錠250mg「ファイザー」			○	○
622369001	レボフロキサシン錠250mg「明治」			○	○
622435301	レボフロキサシン錠250mg「SUN」			○	○
622436801	レボフロキサシン錠250mg「日医工」			○	○
622383101	レボフロキサシン錠500mg「サンド」			○	
622391801	レボフロキサシン錠500mg「ニプロ」			○	
622395301	レボフロキサシン錠500mg「アメル」			○	
622435401	レボフロキサシン錠500mg「SUN」			○	
621925801	クラビット錠500mg	○	○	○	○
622386201	レボフロキサシン錠500mg「CEO」			○	○
622379201	レボフロキサシン錠500mg「CH」			○	○
622370901	レボフロキサシン錠500mg「DSEP」			○	○
622394101	レボフロキサシン錠500mg「F」			○	○
622401001	レボフロキサシン錠500mg「MEEK」			○	○
622386901	レボフロキサシン錠500mg「TCK」			○	○
622367901	レボフロキサシン錠500mg「YD」			○	○
622376401	レボフロキサシン錠500mg「ZE」			○	○
622400901	レボフロキサシン錠500mg「イセイ」			○	○
622389501	レボフロキサシン錠500mg「イワキ」			○	○
622380401	レボフロキサシン錠500mg「オーハラ」			○	○
622396001	レボフロキサシン錠500mg「科研」			○	○
622366001	レボフロキサシン錠500mg「杏林」			○	○
622388901	レボフロキサシン錠500mg「ケミファ」			○	○
622392401	レボフロキサシン錠500mg「サトウ」			○	○
622383601	レボフロキサシン錠500mg「サノフィ」			○	○
622391201	レボフロキサシン錠500mg「サワイ」			○	○
622378001	レボフロキサシン錠500mg「タカタ」			○	○
622380101	レボフロキサシン錠500mg「タナベ」			○	○
622394501	レボフロキサシン錠500mg「テバ」			○	○
622372901	レボフロキサシン錠500mg「トーワ」			○	○
622387901	レボフロキサシン錠500mg「日医工P」			○	○
622384901	レボフロキサシン錠500mg「ニッター」			○	○

622389101 622369101	電算コード	レボフロキサシン錠500mg「ファイザー」 レボフロキサシン錠500mg「明治」	2010	2012	2014	2016
622436901		レボフロキサシン錠500mg「日医工」			○	○
622372601		レボフロキサシンOD錠250mg「トーワ」			○	○
622372701		レボフロキサシンOD錠500mg「トーワ」			○	○
622368201		レボフロキサシン粒状錠250mg「モチダ」			○	○
622368301		レボフロキサシン粒状錠500mg「モチダ」			○	○
622372501		レボフロキサシン内用液250mg「トーワ」			○	○
610462041		スオード錠100	○	○	○	○
620003125		アベロックス錠400mg	○	○	○	○
620005822		ジェニナック錠200mg	○	○	○	○
620006774		グレースビット細粒10%	○	○	○	○
620006773		グレースビット錠500mg	○	○	○	○
620000446		シプロキサ注300mg	○	○	○	○
620008209		シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207		シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208		シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555		シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556		シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557		シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559		シプロフロキサシン点滴静注300mg / 150mL「明治」	○	○	○	○
620002581		シプロキサ注200mg	○	○	○	○
620008206		シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204		シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205		シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552		シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553		シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554		シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558		シプロフロキサシン点滴静注200mg / 100mL「明治」	○	○	○	○
620009548		シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「NP」	○	○	○	○
620009549		シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550		シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551		シプロフロキサシンDU点滴静注300mg / 250mL「明治」	○	○	○	○
622446501		シプロキサ注400mg			○	○
640462032		バシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102		バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033		バシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202		バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401		バシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601		バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301		クラビット点滴静注500mg / 200mL	○	○	○	○
622030201		クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○
610451000		ザイボックス錠600mg	○	○	○	○
622461001		リネズリド錠600mg「明治」			○	○
640451010		ザイボックス注射液600mg	○	○	○	○
622419501		リネズリド点滴静注液600mg「明治」			○	○

品名コード	名称	2010	2012	2014	2016
62000450	コチル錠500mg				
616290164	ジフルカンカプセル500mg	○	○	○	○
620000121	フルコナゾールカプセル500mg「F」	○	○	○	○
620002804	フルコナゾールカプセル500mg「アメル」	○	○	○	○
621688201	フルコナゾールカプセル500mg「サワイ」	○	○	○	○
622070301	フルコナゾールカプセル500mg「JG」	○	○	○	○
621530003	フルコナゾールカプセル500mg「サンド」			○	○
621569001	フルコナゾールカプセル500mg「日医工」			○	○
621531201	フルコナゾールカプセル500mg「タカタ」			○	○
616290165	ジフルカンカプセル1000mg	○	○	○	○
620000122	フルコナゾールカプセル1000mg「F」	○	○	○	○
620002805	フルコナゾールカプセル1000mg「アメル」	○	○	○	○
621639401	フルコナゾールカプセル1000mg「サワイ」	○	○	○	○
622070401	フルコナゾールカプセル1000mg「JG」	○	○	○	○
621530103	フルコナゾールカプセル1000mg「サンド」			○	○
621569101	フルコナゾールカプセル1000mg「日医工」			○	○
621531301	フルコナゾールカプセル1000mg「タカタ」			○	○
622139201	ジフルカンドライシロップ350mg		○	○	○
622139301	ジフルカンドライシロップ1400mg		○	○	○
620007077	フロリードゲル経口用2%	○	○	○	○
620001958	イトラコナゾール錠50「MEEK」	○	○	○	○
620007914	イトラコナゾール錠500mg「科研」	○	○	○	○
621636802	イトラコナゾール錠500mg「日医工」		○	○	○
620001959	イトラコナゾール錠1000「MEEK」	○	○	○	○
621746701	イトラコナゾール錠1000mg「日医工」		○	○	○
620007915	イトラコナゾール錠2000「MEEK」	○	○	○	○
616290177	イトリゾールカプセル50	○	○	○	○
621629201	イトラコナゾールカプセル500mg「SW」			○	○
620004349	イトリゾール内用液1%	○	○	○	○
610412199	ラミシール錠125mg	○	○	○	○
620003950	ケルガー錠125mg	○	○	○	○
620003987	テビーナ錠125mg	○	○	○	○
620003988	テビナシール錠125mg	○	○	○	○
620003989	テルビー錠125mg	○	○	○	○
620003995	テルビナフィン錠125mg「CH」	○	○	○	○
620003993	テルビナフィン錠125mg「F」	○	○	○	○
620003990	テルビナフィン錠125「MEEK」	○	○	○	○
620003990	テルビナフィン錠125mg「MEEK」	○	○	○	○
620003992	テルビナフィン錠125mg「NP」	○	○	○	○
620003991	テルビナフィン錠125「TCK」	○	○	○	○
620003998	テルビナフィン錠125mg「YD」	○	○	○	○
620003994	テルビナフィン錠125mg「サンド」	○	○	○	○
620003996	テルビナフィン錠125mg「タイヨー」	○	○	○	○
620004001	テルミシール錠125mg	○	○	○	○
620004019	ネドリール錠125mg	○	○	○	○

6210704電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620008028	テルビナフィン錠 125mg 「タナベ」	○	○	○	○
621746301	テルビナフィン錠 125mg 「ケミファ」		○	○	○
621732101	テルビナフィン錠 125mg 「日医工」		○	○	○
622244201	テルビナフィン錠 125mg 「ファイザー」		○	○	○
621726702	テルビナフィン錠 125mg 「サワイ」		○	○	○
621748401	テルビナフィン錠 125mg 「トーワ」			○	○
622136101	サムチレール内用懸濁液 15%		○	○	○
621355101	ダイフェン配合顆粒		○	○	
621148101	バクタ配合顆粒	○	○	○	○
621148201	バクタラミン配合顆粒	○	○	○	○
621148801	ダイフェン配合錠	○	○	○	○
621148901	バクタ配合錠	○	○	○	○
621149001	バクタラミン配合錠	○	○	○	○
620006311	フロリードF注200mg	○	○	○	○
620003726	ジフルカン静注液50mg	○	○	○	○
622056701	フルコナゾール静注50mg 「トーワ」	○	○	○	○
622053301	フルコナゾール静注液50mg 「サワイ」	○	○	○	○
622073601	フルコナゾール静注液50mg 「日医工」	○	○	○	○
621539701	フルコナゾール静注液50mg 「イセイ」		○	○	○
621544402	フルコナゾール静注液50mg 「タカタ」			○	○
620003727	ジフルカン静注液100mg	○	○	○	○
620007481	フルコナゾール静注100mg 「トーワ」	○	○	○	○
620008922	フルコナゾール静注液100mg 「サワイ」	○	○	○	○
621569201	フルコナゾール静注液100mg 「日医工」		○	○	○
621539801	フルコナゾール静注液100mg 「イセイ」		○	○	○
621554502	フルコナゾール静注液100mg 「タカタ」			○	○
620009582	フルコナゾール静注液200mg 「マイラン」		○	○	○
621539901	フルコナゾール静注液200mg 「イセイ」		○	○	○
620003728	ジフルカン静注液200mg	○	○	○	○
620007482	フルコナゾール静注200mg 「トーワ」	○	○	○	○
620008923	フルコナゾール静注液200mg 「サワイ」	○	○	○	○
621569301	フルコナゾール静注液200mg 「日医工」		○	○	○
621554602	フルコナゾール静注液200mg 「タカタ」			○	○
620000295	フルコナゾール静注液0.2% 「F」	○	○	○	○
621541601	フルコナゾール静注液100mg 「テバ」		○	○	○
621543302	フルコナゾール静注100mg 「NP」		○	○	○
621541701	フルコナゾール静注液200mg 「テバ」		○	○	○
620000296	フルコナゾール静注液0.2% 「F」	○	○	○	○
621543402	フルコナゾール静注200mg 「NP」		○	○	○
620000294	フルコナゾール静注液0.1% 「F」	○	○	○	○
621543201	フルコナゾール静注50mg 「NP」		○	○	○
620000437	プロジフ静注液100	○	○	○	○
620000438	プロジフ静注液200	○	○	○	○
620000439	プロジフ静注液400	○	○	○	○

2010年電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621150001	エンペシドトローチ 100mg	○	○	○	○
620005834	ベセルナクリーム 5%	○	○	○	○
622365201	クレナフィン爪外用液 10%			○	○
622471601	ルコナック爪外用液 5%				○
621166401	チニダゾール錠 200mg 「F」		○	○	○
621166501	チニダゾール錠 500mg 「F」		○	○	○
620006817	アズゾール錠 250mg	○	○	○	○
620007057	フラジール内服錠 250mg	○	○	○	○
620002484	メファキン「ヒサミツ」錠 275	○	○	○	○
622224801	アメパロモカプセル 250mg		○	○	○
622500501	プリマキン錠 15mg 「サノフィ」				○
622225701	マラロン配合錠		○	○	○
622500601	マラロン小児用配合錠				○
622532901	リアメット配合錠				○
621167101	ベナンボックス注用 300mg	○	○	○	○
622364001	アネメトロ点滴静注液 500mg			○	○
646410002	バクタラミン注	○	○	○	○
640463089	注射用ペニシリンGカリウム 20万単位	○	○	○	○
620000427	注射用ペニシリンGカリウム 10万単位	○	○	○	○
620003811	ペランコシン注 300mg		○	○	
620007537	リズピオン注 300mg		○	○	○
621062901	リンコマイシン塩酸塩注 300mg 「NP」		○	○	○
620006341	リンコシン注射液 300mg	○	○	○	○
620003812	ペランコシン注 600mg		○	○	
620007538	リズピオン注 600mg		○	○	○
621380904	リンコマイシン塩酸塩注 600mg 「NP」		○	○	○
621380908	リンコマイシン塩酸塩注射液 600mg 「日医工」		○	○	○
620006342	リンコシン注射液 600mg	○	○	○	○
620004196	ペランコシン注 1g		○	○	
620004197	ペランコシン注 1.5g	○	○	○	
620006344	リンコシン注射液 1.5g	○	○	○	○
620006343	リンコシン注射液 1g	○	○	○	○
620006261	ダラシンS注射液 300mg	○	○	○	○
620008810	クリンダマイシン注射液 300mg 「タイヨー」	○	○	○	○
621064601	クリンダマイシンリン酸エステル注射液 300mg 「サワイ」	○	○	○	○
622111302	クリンダマイシンリン酸エステル注 300mg 「トーワ」		○	○	○
621064701	クリンダマイシンリン酸エステル注 300mg 「F」			○	○
621064501	クリンダマイシンリン酸エステル注射液 300mg 「NP」			○	○
620006262	ダラシンS注射液 600mg	○	○	○	○
620008811	クリンダマイシン注射液 600mg 「タイヨー」	○	○	○	○
621065101	クリンダマイシンリン酸エステル注射液 600mg 「サワイ」	○	○	○	○
621065201	クリンダマイシンリン酸エステル注 600mg 「トーワ」		○	○	○
621065301	クリンダマイシンリン酸エステル注 600mg 「F」			○	○
621065001	クリンダマイシンリン酸エステル注射液 600mg 「NP」			○	○

6210026 JANコード	名称	2010	2012	2014	2016
620006227	クラリダマイシン注300mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g（シオノギ）	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
621876001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「ケミファ」	○	○	○	
620004729	ハベカシン注射液75mg	○	○	○	○
620009511	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「HK」	○	○	○	○
621735001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「テバ」			○	○
621066501	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「ケミファ」	○	○	○	
620004730	ハベカシン注射液100mg	○	○	○	○
620009512	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「HK」	○	○	○	○
621066401	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「テバ」			○	○
621924501	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「ケミファ」	○	○	○	
620004728	ハベカシン注射液25mg	○	○	○	○
620009509	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「HK」	○	○	○	○
621896701	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「テバ」			○	○
621950502	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「ケミファ」	○	○	○	
620007432	ハベカシン注射液200mg	○	○	○	○
621955601	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「HK」	○	○	○	○
621936302	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「テバ」			○	○
620004709	注射用タゴシッド200mg	○	○	○	○
620008212	テイコブラニン点滴静注用200mg「NP」	○	○	○	○
620008213	テイコブラニン点滴静注用200mg「日医工」	○	○	○	○
620008532	テイコブラニン点滴静注用200mg「F」	○	○	○	○
620008531	テイコブラニン点滴静注用200mg「HK」	○	○	○	○
620008533	テイコブラニン点滴静注用200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008535	テイコブラニン点滴静注用200mg「トーワ」	○	○	○	○
620009572	テイコブラニン点滴静注用200mg「TYK」	○	○	○	○
620009571	テイコブラニン点滴静注用200mg「サワイ」	○	○	○	○
621995201	テイコブラニン点滴静注用200mg「サンド」	○	○	○	○
622227801	テイコブラニン点滴静注用200mg「明治」		○	○	○
621901402	テイコブラニン点滴静注用200mg「ファイザー」			○	○

621884501 621009574	電算コード	名称 テイコブラニン点滴静注用200mg「テバ」 テイコブラニン点滴静注用400mg「F」	2010	2012	2014	2016
622216601		テイコブラニン点滴静注用400mg「NP」		○	○	○
622207201		テイコブラニン点滴静注用400mg「日医工」		○	○	○
622227901		テイコブラニン点滴静注用400mg「明治」		○	○	○
622338101		テイコブラニン点滴静注用400mg「トーワ」			○	○
622085501		キュビシン静注用350mg	○	○	○	○
640462005		注射用シナシッド	○	○	○	○
646130274		アザクタム注射用0.5g	○	○	○	○
646130275		アザクタム注射用1g	○	○	○	○
640453139		トブラシン注小児用100mg	○	○	○	○
640453140		トブラシン注600mg	○	○	○	○
646120062		トブラシン注900mg	○	○	○	○
620003676		アミカシン硫酸塩注射液100mg「サワイ」		○	○	○
620004178		ブルテツシン注射液100mg		○	○	
620006356		ロミカシン注射液100mg		○	○	
621069302		アミカシン硫酸塩注射液100mg「N i k P」		○	○	○
621069501		アミカシン硫酸塩注射液100mg「F」			○	○
620003190		アミカマイシン注射液100mg	○	○	○	○
621069402		アミカシン硫酸塩注射液100mg「日医工」	○	○	○	○
621069001		アミカシン硫酸塩注100mg「NP」		○	○	○
620003677		アミカシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
620003797		ブルテツシン注射液200mg	○	○	○	
620006651		ロミカシン注射液200mg	○	○	○	
621070102		アミカシン硫酸塩注射液200mg「N i k P」		○	○	○
621070301		アミカシン硫酸塩注射液200mg「F」			○	○
620003191		アミカマイシン注射液200mg	○	○	○	○
621070202		アミカシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621069701		アミカシン硫酸塩注200mg「NP」		○	○	○
621070602		アミカシン硫酸塩注射用100mg「日医工」	○	○	○	○
621070902		アミカシン硫酸塩注射用200mg「日医工」	○	○	○	○
640453078		シオセシン注射液200	○	○	○	○
620003198		エクサシン注射液200	○	○	○	○
620003193		イセパシン注射液200	○	○	○	○
620005641		イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621604701		イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
646120080		イセパシン注射液400	○	○	○	○
646120081		エクサシン注射液400	○	○	○	○
640453079		シオセシン注射液400	○	○	○	○
620005642		イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「日医工」	○	○	○	○
621695601		イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「サワイ」		○	○	○
620009196		トロピシン筋注用2g	○	○	○	○
622415701		オールドレブ点滴静注用150mg			○	○
622199101		タイガシル点滴静注用500mg		○	○	○
621076601		ピクシリン注射用0.25g	○	○	○	○

621076801 ピセプト電算コード	ピクシリン注射用●. 5g 名称	2010	2012	2014	2016
621077201	ピクシリン注射用 1g	○	○	○	○
621077501	ピクシリン注射用 2g	○	○	○	○
621078403	ピペラシリンナトリウム注射用 1g 「日医工」		○	○	
646130136	ペントシリン注射用 1g	○	○	○	○
620007456	ピペユンシン注射用 1g	○	○	○	○
621078301	ピペラシリンNa注射用 1g 「サワイ」		○	○	○
621078103	ピペラシリンNa注射用 1g 「テバ」		○	○	○
621078601	ピペラシリンNa注射用 1g 「トーフ」		○	○	○
621342601	ピペラシリンNa注射用 1g 「SN」			○	○
621079203	ピペラシリンナトリウム注射用 2g 「日医工」		○	○	
646130137	ペントシリン注射用 2g	○	○	○	○
620007457	ピペユンシン注射用 2g	○	○	○	○
621079101	ピペラシリンNa注射用 2g 「サワイ」		○	○	○
621078903	ピペラシリンNa注射用 2g 「テバ」		○	○	○
621079401	ピペラシリンNa注射用 2g 「トーフ」		○	○	○
621342802	ピペラシリンNa注射用 2g 「SN」			○	○
622079701	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ 1g 「NP」	○	○	○	
640462059	ペントシリン静注用 1g バッグ	○	○	○	○
622079801	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ 2g 「NP」	○	○	○	
640462060	ペントシリン静注用 2g バッグ	○	○	○	○
646130121	パンスポリン筋注用●. 2.5g	○	○	○	○
646130110	ハロスポア静注用●. 2.5g	○	○	○	○
646130122	パンスポリン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620004140	セファピコール静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620007293	ケミスポリン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
621989702	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5g 「日医工」		○	○	○
621987602	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5g 「NP」		○	○	○
621924001	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5g 「SN」			○	○
646130111	ハロスポア静注用●. 5g	○	○	○	○
646130123	パンスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
620004141	セファピコール静注用●. 5g	○	○	○	○
620007294	ケミスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
621989802	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g 「日医工」		○	○	○
621344901	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g 「NP」		○	○	○
621924101	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g 「SN」			○	○
646130112	ハロスポア静注用 1g	○	○	○	○
646130124	パンスポリン静注用 1g	○	○	○	○
620003732	セファピコール静注用 1g	○	○	○	○
620007295	ケミスポリン静注用 1g	○	○	○	○
621345002	セフォチアム塩酸塩静注用 1g 「日医工」		○	○	○
621345301	セフォチアム塩酸塩静注用 1g 「NP」		○	○	○
621095002	セフォチアム塩酸塩静注用 1g 「SN」			○	○
640408149	パンスポリン静注用 1g バッグS	○	○	○	○
620009563	セフォチアム静注用 1g バッグ 「日医工」	○	○	○	○

2015年電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621549002	オチアム塩酸塩点滴静注用1gバッグ「NP」				
640408148	パンスポリン静注用1gバッグG	○	○	○	○
620003735	セファメジンα注射用●、2.5g	○	○	○	○
622104201	セファゾリンNa注射用●、2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
622130801	セファゾリンナトリウム注射用●、2.5g「日医工」	○	○	○	○
622177601	トキオ注射用●、2.5g		○	○	○
622124902	セファゾリンNa注射用●、2.5g「NP」			○	○
622033402	セファゾリンNa注射用●、5g「NP」			○	○
622104301	セファゾリンNa注射用●、5g「タイヨー」		○	○	○
622177701	トキオ注射用●、5g		○	○	○
620003736	セファメジンα注射用●、5g	○	○	○	○
621096002	セファゾリンナトリウム注射用●、5g「日医工」		○	○	○
620003737	セファメジンα注射用1g	○	○	○	○
621096701	トキオ注射用1g	○	○	○	○
621096503	セファゾリンNa注射用1g「タイヨー」	○	○	○	○
621096802	セファゾリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	○
621096601	セファゾリンNa注射用1g「NP」			○	○
620003738	セファメジンα注射用2g	○	○	○	○
621097303	セファゾリンNa注射用2g「タイヨー」	○	○	○	○
622177801	トキオ注射用2g		○	○	○
621097602	セファゾリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	○
621097401	セファゾリンNa注射用2g「NP」			○	○
620003733	セファメジンα筋注用●、2.5g	○	○	○	○
620003734	セファメジンα筋注用●、5g	○	○	○	○
620003740	セファメジンα点滴用キット2g	○	○	○	○
620003739	セファメジンα点滴用キット1g	○	○	○	○
620007318	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「オーツカ」	○	○	○	○
621757001	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「NP」			○	○
620005674	コアキシシ注射用1g	○	○	○	○
620005675	コアキシシ注射用2g	○	○	○	○
646130072	セフメタゾン筋注用●、5g	○	○	○	○
646130073	セフメタゾン静注用●、2.5g	○	○	○	○
622125001	セフメタゾールNa静注用●、2.5g「NP」	○	○	○	○
622131001	セフメタゾールナトリウム静注用●、2.5g「日医工」	○	○	○	○
622111501	リリアジン静注用●、2.5g	○	○	○	○
622104002	セフメタゾールNa静注用●、2.5g「テバ」			○	○
646130074	セフメタゾン静注用●、5g	○	○	○	○
621987501	セフメタゾールNa静注用●、5g「NP」	○	○	○	○
622131101	セフメタゾールナトリウム静注用●、5g「日医工」	○	○	○	○
622111601	リリアジン静注用●、5g	○	○	○	○
622104102	セフメタゾールNa静注用●、5g「テバ」			○	○
646130075	セフメタゾン静注用1g	○	○	○	○
620006243	セフメタゾールNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
620007540	リリアジン静注用1g	○	○	○	○
621102102	セフメタゾールナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	○

621101803 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
646130076	セフメタゾールN a 静注用 1 g 「テバ」				
646130076	セフメタゾン静注用 2 g	○	○	○	○
620006244	セフメタゾールN a 静注用 2 g 「NP」	○	○	○	○
620007541	リリアジン静注用 2 g	○	○	○	○
621102802	セフメタゾールナトリウム静注用 2 g 「日医工」		○	○	○
621101903	セフメタゾールN a 静注用 2 g 「テバ」			○	○
640470010	セフメタゾンキット点滴静注用 1 g	○	○	○	○
620004151	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 1 g 「NP」	○	○	○	○
621951701	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 2 g 「NP」	○	○	○	○
640454018	セフォタックス注射用●. 5 g	○	○	○	○
620004652	クラフォラン注射用●. 5 g	○	○	○	○
640454019	セフォタックス注射用 1 g	○	○	○	○
620004653	クラフォラン注射用 1 g	○	○	○	○
646130067	セフォビッド注射用 1 g	○	○	○	○
646130071	セフォペラジン注射用 1 g	○	○	○	○
646130132	バスターコール筋注用●. 5 g	○	○	○	○
646130133	バスターコール静注用●. 5 g	○	○	○	○
646130134	バスターコール静注用 1 g	○	○	○	○
620002999	モダケミン静注用●. 5 g	○	○	○	○
620003827	モダシン静注用●. 5 g	○	○	○	○
620006701	セフタジジム静注用●. 5 g 「マイラン」	○	○	○	○
621967001	セフタジジム静注用●. 5 g 「サンド」	○	○	○	○
621936401	セフタジジム静注用●. 5 g 「タイヨー」	○	○	○	○
622052901	セフタジジム静注用●. 5 g 「サワイ」	○	○	○	○
622124801	セフタジジム静注用●. 5 g 「NP」	○	○	○	○
621756202	セフタジジム静注用●. 5 g 「日医工」		○	○	○
621755802	セフタジジム静注用●. 5 g 「SN」			○	○
620003000	モダケミン静注用 1 g	○	○	○	○
620003001	モベンゾシン静注用 1 g	○	○	○	○
620003828	モダシン静注用 1 g	○	○	○	○
620005676	セフタジジム静注用 1 g 「NP」	○	○	○	○
620006702	セフタジジム静注用 1 g 「マイラン」	○	○	○	○
621967101	セフタジジム静注用 1 g 「サンド」	○	○	○	○
621703001	セフタジジム静注用 1 g 「サワイ」	○	○	○	○
621756502	セフタジジム静注用 1 g 「日医工」		○	○	○
621755902	セフタジジム静注用 1 g 「SN」			○	○
646130268	ロセフィン静注用●. 5 g	○	○	○	○
640463134	リアソフィン静注用●. 5 g	○	○	○	○
620009566	セフキソン静注用●. 5 g	○	○	○	○
620009567	セフトリアキソンN a 静注用●. 5 g 「サンド」	○	○	○	○
621987301	セフトリアキソンナトリウム静注用●. 5 g 「NP」	○	○	○	○
621967202	セフトリアキソンN a 静注用●. 5 g 「サワイ」		○	○	○
621538203	セフトリアキソンナトリウム静注用●. 5 g 「日医工」		○	○	○
622077302	セフトリアキソンN a 静注用●. 5 g 「ファイザー」		○	○	○
621836501	セフトリアキソンN a 静注用●. 5 g 「テバ」		○	○	○

646139269 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
640463135	ロセフィン静注用 1 g	○	○	○	○
640463080	セフキソン静注用 1 g	○	○	○	○
620009568	セフトリアキソンNa静注用 1 g 「サンド」	○	○	○	○
621987401	セフトリアキソンナトリウム静注用 1 g 「NP」	○	○	○	○
621488601	セフトリアキソンNa静注用 1 g 「サワイ」		○	○	○
621538303	セフトリアキソンナトリウム静注用 1 g 「日医工」		○	○	○
621555202	セフトリアキソンNa静注用 1 g 「ファイザー」		○	○	○
621555101	セフトリアキソンNa静注用 1 g 「テバ」		○	○	○
640470011	ロセフィン点滴静注用 1 g バッグ	○	○	○	○
620002955	セフトリアキソンナトリウム点滴用 1 g バッグ 「NP」	○	○	○	○
622051701	セフトリアキソンナトリウム点滴静注用バッグ 1 g 「ファイザー」	○	○	○	○
620007514	メイセリン静注用 1 g	○	○	○	○
620004148	セフピロム硫酸塩静注用 5 g 「CMX」	○	○	○	○
620006706	硫酸セフピロム静注用 5 g 「マイラン」	○	○	○	○
620004149	セフピロム硫酸塩静注用 1 g 「CMX」	○	○	○	○
620006707	硫酸セフピロム静注用 1 g 「マイラン」	○	○	○	○
640407076	注射用マキシピーム 5 g	○	○	○	○
621966801	セフェピム塩酸塩静注用 5 g 「サンド」	○	○	○	○
621994601	セフェピム塩酸塩静注用 5 g 「CMX」	○	○	○	○
640407077	注射用マキシピーム 1 g	○	○	○	○
621966901	セフェピム塩酸塩静注用 1 g 「サンド」	○	○	○	○
621994701	セフェピム塩酸塩静注用 1 g 「CMX」	○	○	○	○
640407080	ファーストシン静注用 5 g	○	○	○	○
640407081	ファーストシン静注用 1 g	○	○	○	○
640443046	ファーストシン静注用 1 g バッグ S	○	○	○	○
640443047	ファーストシン静注用 1 g バッグ G	○	○	○	○
646130037	シオマリル静注用 1 g	○	○	○	○
646130301	フルマリル静注用 5 g	○	○	○	○
646130302	フルマリル静注用 1 g	○	○	○	○
640443048	フルマリルキット静注用 1 g	○	○	○	○
620005201	パニマイシン注射液 50 mg	○	○	○	○
620005202	パニマイシン注射液 100 mg	○	○	○	○
620005180	注射用パニマイシン 100 mg	○	○	○	○
620003780	ピスタマイシン筋注 500 mg	○	○	○	○
620003781	ピスタマイシン筋注 1000 mg	○	○	○	○
646120011	ゲンタシン注 100	○	○	○	○
622037301	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 100 mg 「日医工」	○	○	○	○
622074801	エルタシン注 100 mg	○	○	○	○
622074802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 100 mg 「F」				○
621111803	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 400 mg 「日医工」		○	○	○
620003210	ゲンタシン注 400	○	○	○	○
620006210	エルタシン注 400 mg	○	○	○	○
621111802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 400 mg 「F」				○
646120012	ゲンタシン注 600	○	○	○	○

620006211 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621112004	エリタシン注60mg ゲンタマイシン硫酸塩注射液60mg「日医工」		○	○	○
621112003	ゲンタマイシン硫酸塩注射液60mg「F」				○
621812201	ホスホマイシンナトリウム静注用0.5g「日医工」		○	○	
622104401	フラゼミシン静注用0.5g	○	○	○	
622131501	ホスカリーゼ静注用0.5g	○	○	○	
620003815	ホスミンS静注用0.5g	○	○	○	○
622079901	ホスホマイシンNa静注用0.5g「NP」		○	○	
622045702	ホスホマイシンNa静注用0.5g「タカタ」		○	○	○
620004750	フラゼミシン静注用1g	○	○	○	
620004767	ホスカリーゼ静注用1g	○	○	○	
621766301	ホスホマイシンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	
620003816	ホスミンS静注用1g	○	○	○	○
620006316	ホスホマイシンNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
621114602	ホスホマイシンNa静注用1g「タカタ」		○	○	○
620004751	フラゼミシン静注用2g	○	○	○	
620004768	ホスカリーゼ静注用2g	○	○	○	
621766401	ホスホマイシンナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	
620003817	ホスミンS静注用2g	○	○	○	○
620006317	ホスホマイシンNa静注用2g「NP」	○	○	○	○
621115302	ホスホマイシンNa静注用2g「タカタ」		○	○	○
620007477	フラゼミシン点滴静注用2gキット	○	○	○	○
640451022	ホスミンSバッグ1g点滴静注用	○	○	○	○
640451023	ホスミンSバッグ2g点滴静注用	○	○	○	○
620007519	メロペン点滴用バイアル0.25g	○	○	○	○
620009585	メロペネム点滴静注用0.25g「タイヨー」	○	○	○	○
620009586	メロペネム点滴静注用0.25g「日医工」	○	○	○	○
621952301	メロペネム点滴静注用0.25g「NP」	○	○	○	○
621950101	メロペネム点滴静注用0.25g「ケミファ」	○	○	○	○
621967801	メロペネム点滴静注用0.25g「サワイ」	○	○	○	○
621967901	メロペネム点滴静注用0.25g「タナベ」	○	○	○	○
621946701	メロペネム点滴静注用0.25g「トーフ」	○	○	○	○
621947901	メロペネム点滴静注用0.25g「明治」	○	○	○	○
622044201	メロペネム点滴静注用0.25g「ファイザー」	○	○	○	○
620007520	メロペン点滴用バイアル0.5g	○	○	○	○
620009587	メロペネム点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009588	メロペネム点滴静注用0.5g「日医工」	○	○	○	○
621952401	メロペネム点滴静注用0.5g「NP」	○	○	○	○
621950201	メロペネム点滴静注用0.5g「ケミファ」	○	○	○	○
621968001	メロペネム点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
621968101	メロペネム点滴静注用0.5g「タナベ」	○	○	○	○
621946801	メロペネム点滴静注用0.5g「トーフ」	○	○	○	○
621948001	メロペネム点滴静注用0.5g「明治」	○	○	○	○
622044301	メロペネム点滴静注用0.5g「ファイザー」	○	○	○	○
622439001	メロペネム点滴静注用1g「NP」			○	○

622419401 シレント電算コード	メロペネム点滴静注用 1g 「明治」 名称	2010	2012	2014	2016
620007518	メロペン点滴用キット●. 5g	○	○	○	○
621952501	メロペネム点滴静注用バッグ●. 5g 「NP」	○	○	○	○
621967701	メロペネム点滴静注用バッグ●. 5g 「日医工」	○	○	○	○
621931801	メロペネム点滴静注用バッグ●. 5g 「明治」	○	○	○	○
622471301	メロペネム点滴静注用バッグ 1g 「NP」			○	○
622460901	メロペネム点滴静注用バッグ 1g 「明治」			○	○
640451036	オメガシン点滴用●. 3g	○	○	○	○
640451037	オメガシン点滴用●. 3g バッグ	○	○	○	○
621708501	フィニバックス点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622078501	フィニバックス点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
621727601	フィニバックスキット点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
646130264	スルペラゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
620004152	セフロニック静注用●. 5g	○	○	○	○
620007316	スペルゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
622083601	スルタムジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622099301	セフォセフ静注用●. 5g	○	○	○	○
622130901	セフォン静注用●. 5g	○	○	○	○
622111401	バクフォーゼ静注用●. 5g	○	○	○	○
622080002	ワイスターール配合静注用●. 5g		○	○	○
646130265	スルペラゾン静注用 1g	○	○	○	○
640444050	セフォセフ静注用 1g	○	○	○	○
640444051	セフォン静注用 1g	○	○	○	○
640444071	バクフォーゼ静注用 1g	○	○	○	○
640453097	スルタムジン静注用 1g	○	○	○	○
620003742	セフロニック静注用 1g	○	○	○	○
620007317	スペルゾン静注用 1g	○	○	○	○
621347901	ワイスターール配合静注用 1g		○	○	○
621116801	スルペラゾンキット静注用 1g	○	○	○	○
621441901	ワイスターール配合点滴静注用 1g バッグ		○	○	○
620004108	インダスト点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620007364	チエナム点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620008211	チエペネム点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622010201	チエクール点滴用●. 2.5g	○	○	○	○
622127601	イミペネム・シラスタチン点滴用●. 2.5g 「サンド」	○	○	○	○
622172601	イミスタン点滴静注用●. 2.5g		○	○	○
620003703	インダスト点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620004106	イミスタン点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620004155	チエクール点滴用●. 5g	○	○	○	○
620004707	チエペネム点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620005643	イミペネム・シラスタチン点滴用●. 5g 「サンド」	○	○	○	○
620007365	チエナム点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620007362	チエナム筋注用●. 5g	○	○	○	○
620007363	チエナム点滴静注用キット●. 5g	○	○	○	○
646130368	カルベニン点滴用●. 2.5g	○	○	○	○

646139369 640406222 シブレット電算コード	カルベニン点滴用●. 5g エナシン - S 静注用●. 7.5g 名称	2010	2012	2014	2016
620003003	ユナスピン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004132	スルバクシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004134	スルバシリン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620005874	ピスルシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620009560	スルバクタム・アンピシリン静注用●. 7.5g「サンド」	○	○	○	○
622118402	ピシリバクタ静注用●. 7.5g	○	○	○	○
622100601	ユーシオン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
640406223	ユナシン - S 静注用 1. 5g	○	○	○	○
620002977	ピシリバクタ静注用 1. 5g	○	○	○	○
620003002	ユーシオン - S 静注用 1. 5g	○	○	○	○
620003004	ユナスピン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620004133	スルバクシン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620004135	スルバシリン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620005875	ピスルシン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620009561	スルバクタム・アンピシリン静注用 1. 5g「サンド」	○	○	○	○
622250001	ユナシン - S 静注用 3g		○	○	○
622419601	スルバシリン静注用 3g			○	○
622408701	ピスルシン静注用 3g			○	○
622464401	スルバクシン静注用 3g			○	○
622467201	ピシリバクタ静注用 3g			○	○
622458201	ユーシオン - S 静注用 3g			○	○
622441301	ユナスピン静注用 3g			○	○
620004775	ユナシン - S キット静注用 1. 5g	○	○	○	○
620004776	ユナシン - S キット静注用 3g	○	○	○	○
620008446	ゾシン静注用 2. 25	○	○	○	○
622441401	タゾピペ配合静注用 2. 25「CHM」			○	○
622464701	タゾピペ配合静注用 2. 25「DK」			○	○
622453701	タゾピペ配合静注用 2. 25「DSEP」			○	○
622450601	タゾピペ配合静注用 2. 25「SN」			○	○
622461801	タゾピペ配合静注用 2. 25「サンド」			○	○
622458801	タゾピペ配合静注用 2. 25「テバ」			○	○
622467001	タゾピペ配合静注用 2. 25「日医工」			○	○
622470601	タゾピペ配合静注用 2. 25「ニプロ」			○	○
622455601	タゾピペ配合静注用 2. 25「ファイザー」			○	○
622460701	タゾピペ配合静注用 2. 25「明治」			○	○
620008447	ゾシン静注用 4. 5	○	○	○	○
622441501	タゾピペ配合静注用 4. 5「CHM」			○	○
622464801	タゾピペ配合静注用 4. 5「DK」			○	○
622453801	タゾピペ配合静注用 4. 5「DSEP」			○	○
622450701	タゾピペ配合静注用 4. 5「SN」			○	○
622461901	タゾピペ配合静注用 4. 5「サンド」			○	○
622458901	タゾピペ配合静注用 4. 5「テバ」			○	○
622467101	タゾピペ配合静注用 4. 5「日医工」			○	○

622479701 622455701 レボフロキサシ ン電算コード	タゾピペ配合静注用4.5「ニプロ」 タゾピペ配合静注用4.5「ファイザー」	2010	2012	2014	2016
622460801	タゾピペ配合静注用4.5「明治」			○	○
622423101	ゾシン配合点滴静注用バッグ4.5			○	○
622454001	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「DSEP」			○	○
622470901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ニプロ」			○	○
622455901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ファイザー」			○	○
622462101	タゾピペ配合点滴静注用4.5バッグ「サンド」			○	○
622453901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「DSEP」			○	○
622470801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ニプロ」			○	○
622455801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ファイザー」			○	○
622462001	タゾピペ配合点滴静注用2.25バッグ「サンド」			○	○
621120001	エリスロシン点滴静注用500mg	○	○	○	○
622085701	ジスロマック点滴静注用500mg	○	○	○	○
621122801	クロロマイセチンサクシネート静注用1g	○	○	○	○
620004770	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「日医工」		○	○	○
620005226	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620007513	ミノマイシン点滴静注用100mg	○	○	○	○
621126801	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「サワイ」		○	○	○
621126501	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「F」			○	○
620003244	硫酸ストレプトマイシン1g注射用「明治」	○	○	○	○
620007375	ツペラクチン筋注用1g	○	○	○	○
620007539	硫酸カナマイシン注射液1000mg「明治」	○	○	○	○
620007467	ファンギゾン注射用50mg	○	○	○	○
620003487	アムビゾーム点滴静注用50mg	○	○	○	○
640462040	ファンガード点滴用50mg	○	○	○	○
640462041	ファンガード点滴用75mg	○	○	○	○
620003489	ファンガード点滴用25mg	○	○	○	○
620002497	ブイフェンド200mg静注用	○	○	○	○
622136201	カンサイダス点滴静注用50mg		○	○	○
622136301	カンサイダス点滴静注用70mg		○	○	○
621131001	注射用ピクシリンS100	○	○	○	○
646190020	注射用ピクシリンS500	○	○	○	○
646190018	注射用ピクシリンS1000	○	○	○	○
620000446	シプロキササン注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注液300mg/150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキササン注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○

620009205 シロプロロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	シロプロロキサシン点滴静注液200mg「NP」	2010	2012	2014	2016
620009552	シロプロロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シロプロロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シロプロロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シロプロロキサシン点滴静注200mg / 100mL「明治」	○	○	○	○
620009548	シロプロロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「NP」	○	○	○	○
620009549	シロプロロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シロプロロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シロプロロキサシンDU点滴静注300mg / 250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサ注400mg			○	○
640462032	パシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	パシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	パシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg / 20mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○
640451010	ザイボックス注射液600mg	○	○	○	○
622419501	リネズリド点滴静注液600mg「明治」			○	○
620006311	フロリードF注200mg	○	○	○	○
620003726	ジフルカン静注液500mg	○	○	○	○
622056701	フルコナゾール静注500mg「トーワ」	○	○	○	○
622053301	フルコナゾール静注液500mg「サワイ」	○	○	○	○
622073601	フルコナゾール静注液500mg「日医工」	○	○	○	○
621539701	フルコナゾール静注液500mg「イセイ」		○	○	○
621544402	フルコナゾール静注液500mg「タカタ」			○	○
620003727	ジフルカン静注液1000mg	○	○	○	○
620007481	フルコナゾール静注1000mg「トーワ」	○	○	○	○
620008922	フルコナゾール静注液1000mg「サワイ」	○	○	○	○
621569201	フルコナゾール静注液1000mg「日医工」		○	○	○
621539801	フルコナゾール静注液1000mg「イセイ」		○	○	○
621554502	フルコナゾール静注液1000mg「タカタ」			○	○
620009582	フルコナゾール静注液2000mg「マイラン」		○	○	○
621539901	フルコナゾール静注液2000mg「イセイ」		○	○	○
620003728	ジフルカン静注液2000mg	○	○	○	○
620007482	フルコナゾール静注2000mg「トーワ」	○	○	○	○
620008923	フルコナゾール静注液2000mg「サワイ」	○	○	○	○
621569301	フルコナゾール静注液2000mg「日医工」		○	○	○
621554602	フルコナゾール静注液2000mg「タカタ」			○	○
620000295	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621541601	フルコナゾール静注液1000mg「テバ」		○	○	○
621543302	フルコナゾール静注1000mg「NP」		○	○	○
621541701	フルコナゾール静注液2000mg「テバ」		○	○	○
620000296	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○

621543402 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620000294	フルコナゾール静注200mg「NP」	○	○	○	○
621543201	フルコナゾール静注50mg「NP」		○	○	○
620000437	プロジフ静注液100	○	○	○	○
620000438	プロジフ静注液200	○	○	○	○
620000439	プロジフ静注液400	○	○	○	○
620004424	イトリゾール注1%	○	○	○	○
621167101	ベナンボックス注用300mg	○	○	○	○
622364001	アネメトロ点滴静注液500mg			○	○
646410002	バクタラミン注	○	○	○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g（シオノギ）	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーフ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
620000446	シプロキサ注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注300mg / 150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサ注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シプロフロキサシン点滴静注200mg / 100mL「明治」	○	○	○	○
620009548	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「NP」	○	○	○	○
620009549	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シプロフロキサシンDU点滴静注300mg / 250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサ注400mg			○	○

640462032電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621495102	パズクロス点滴静注液 300mg	○	○	○	○
640462033	パシル点滴静注液 500mg	○	○	○	○
621495202	パズクロス点滴静注液 500mg	○	○	○	○
622009401	パシル点滴静注液 1000mg	○	○	○	○
621997601	パズクロス点滴静注液 1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注 500mg / 20mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ 500mg / 100mL	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1:
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2:
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3:
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。
- 4:
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。
- 5:
本指標は、厚労省の「医療の質の評価・公表等推進事業」により示されたDPCを用いた共通指標の定義を利用している。
このうち、いくつか改訂（抗菌薬のコードの見直し）が望ましいものを反映した定義は2118_4として算出を行っているため、併せてご参照ください。

参考値:

参考資料:

- 1:
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 c. 術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率 (冠動脈バイパス手術) (共通定義)

指標番号:

QIP: 2119_w_1

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 c. 術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率 (冠動脈バイパス手術) (共通定義)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数 (冠動脈バイパス手術)

分子: 分母のうち術後2日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2:
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150145910	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (1吻合)
150146010	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (2吻合以上)
150318410	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺不使用) (1吻合)
150318510	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺不使用) (2吻合以上)

分子の定義:

1:
手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。
(ア) 術後2日目は手術日+2の日付とする。(例: 手術日が4月2日の場合4月4日を検索)
(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620005060	バイシリンG顆粒4万単位	○	○	○	○
640463089	注射用ペニシリンGカリウム2万単位	○	○	○	○
620000427	注射用ペニシリンGカリウム1万単位	○	○	○	○
620006026	ダラシンカプセル75mg	○	○	○	○
620006027	ダラシンカプセル150mg	○	○	○	○
620006165	リンコシンカプセル250mg	○	○	○	○
620003811	ペランコシン注300mg		○	○	
620007537	リズピオン注300mg		○	○	○
621062901	リンコマイシン塩酸塩注300mg「NP」		○	○	○
620006341	リンコシン注射液300mg	○	○	○	○
620003812	ペランコシン注600mg		○	○	

2010	2012	2014	2016
62107330	ピオン注600mg		
621380904	リンコマイシン塩酸塩注600mg「NPJ」	○	○
621380908	リンコマイシン塩酸塩注射液600mg「日医工」	○	○
620006342	リンコシン注射液600mg	○	○
620004196	ペランコシン注1g	○	○
620004197	ペランコシン注1.5g	○	○
620006344	リンコシン注射液1.5g	○	○
620006343	リンコシン注射液1g	○	○
620006261	ダラシンS注射液300mg	○	○
620008810	クリンダマイシン注射液300mg「タイヨー」	○	○
621064601	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「サワイ」	○	○
622111302	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「トーワ」	○	○
621064701	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「F」	○	○
621064501	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「NPJ」	○	○
620006262	ダラシンS注射液600mg	○	○
620008811	クリンダマイシン注射液600mg「タイヨー」	○	○
621065101	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「サワイ」	○	○
621065201	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「トーワ」	○	○
621065301	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「F」	○	○
621065001	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「NPJ」	○	○
620006226	クリンダマイシン注300mgシリンジ「タイヨー」	○	○
620006227	クリンダマイシン注600mgシリンジ「タイヨー」	○	○
620003894	塩酸バンコマイシン散0.5「MEEK」	○	○
620006791	塩酸バンコマイシン散0.5g(シオノギ)	○	○
620008047	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「サワイ」	○	○
620009408	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「タイヨー」	○	○
621738802	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「ファイザー」	○	○
621731302	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「MEEK」	○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g(シオノギ)	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」	○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」	○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」	○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」	○	○
621971901	バンコマイシン眼軟膏1%	○	○
621876001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「ケミファ」	○	○
620004729	ハベカシン注射液75mg	○	○

2010年電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621009501	ベカシン硫酸塩注射液 7.5mg 「HK」				
621735001	アルベカシン硫酸塩注射液 7.5mg 「テバ」			○	○
621066501	アルベカシン硫酸塩注射液 100mg 「ケミファ」	○	○	○	
620004730	ハベカシン注射液 100mg	○	○	○	○
620009512	アルベカシン硫酸塩注射液 100mg 「HK」	○	○	○	○
621066401	アルベカシン硫酸塩注射液 100mg 「テバ」			○	○
621924501	アルベカシン硫酸塩注射液 2.5mg 「ケミファ」	○	○	○	
620004728	ハベカシン注射液 2.5mg	○	○	○	○
620009509	アルベカシン硫酸塩注射液 2.5mg 「HK」	○	○	○	○
621896701	アルベカシン硫酸塩注射液 2.5mg 「テバ」			○	○
621950502	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg 「ケミファ」	○	○	○	
620007432	ハベカシン注射液 200mg	○	○	○	○
621955601	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg 「HK」	○	○	○	○
621936302	アルベカシン硫酸塩注射液 200mg 「テバ」			○	○
620004709	注射用タゴシッド 200mg	○	○	○	○
620008212	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「NP」	○	○	○	○
620008213	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「日医工」	○	○	○	○
620008532	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「F」	○	○	○	○
620008531	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「HK」	○	○	○	○
620008533	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「ケミファ」	○	○	○	○
620008535	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「トーワ」	○	○	○	○
620009572	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「TYK」	○	○	○	○
620009571	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「サワイ」	○	○	○	○
621995201	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「サンド」	○	○	○	○
622227801	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「明治」		○	○	○
621901402	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「ファイザー」			○	○
621884501	テイコブラニン点滴静注用 200mg 「テバ」			○	○
620009574	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「F」	○	○	○	○
622216601	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「NP」		○	○	○
622207201	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「日医工」		○	○	○
622227901	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「明治」		○	○	○
622338101	テイコブラニン点滴静注用 400mg 「トーワ」			○	○
622085501	キュビシン静注用 350mg	○	○	○	○
640462005	注射用シナシッド	○	○	○	○
620006477	バクトロバン鼻腔用軟膏 2%	○	○	○	○
646130274	アザクタム注射用 0.5g	○	○	○	○
646130275	アザクタム注射用 1g	○	○	○	○
620008598	カナマイシンカプセル 250mg 「明治」	○	○	○	○
620008599	カナマイシンシロップ 5% 「明治」	○	○	○	○
620008600	カナマイシンドライシロップ 2% 「明治」	○	○	○	○
640453139	トブラシン注小児用 100mg	○	○	○	○
640453140	トブラシン注 600mg	○	○	○	○
646120062	トブラシン注 900mg	○	○	○	○
620003676	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「サワイ」		○	○	○
620004178	プルテツシン注射液 100mg		○	○	

2009年電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621069302	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「N i k P」		○	○	○
621069501	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「F」			○	○
620003190	アミカマイシン注射液 100mg	○	○	○	○
621069402	アミカシン硫酸塩注射液 100mg 「日医工」	○	○	○	○
621069001	アミカシン硫酸塩注 100mg 「NP」		○	○	○
620003677	アミカシン硫酸塩注射液 200mg 「サワイ」		○	○	○
620003797	ブルテツシン注射液 200mg	○	○	○	
620006651	ロミカシン注射液 200mg	○	○	○	
621070102	アミカシン硫酸塩注射液 200mg 「N i k P」		○	○	○
621070301	アミカシン硫酸塩注射液 200mg 「F」			○	○
620003191	アミカマイシン注射液 200mg	○	○	○	○
621070202	アミカシン硫酸塩注射液 200mg 「日医工」	○	○	○	○
621069701	アミカシン硫酸塩注 200mg 「NP」		○	○	○
621070602	アミカシン硫酸塩注射用 100mg 「日医工」	○	○	○	○
621070902	アミカシン硫酸塩注射用 200mg 「日医工」	○	○	○	○
640453078	シオセシン注射液 200	○	○	○	○
620003198	エクサシン注射液 200	○	○	○	○
620003193	イセパシン注射液 200	○	○	○	○
620005641	イセパマイシン硫酸塩注射液 200mg 「日医工」	○	○	○	○
621604701	イセパマイシン硫酸塩注射液 200mg 「サワイ」		○	○	○
646120080	イセパシン注射液 400	○	○	○	○
646120081	エクサシン注射液 400	○	○	○	○
640453079	シオセシン注射液 400	○	○	○	○
620005642	イセパマイシン硫酸塩注射液 400mg 「日医工」	○	○	○	○
621695601	イセパマイシン硫酸塩注射液 400mg 「サワイ」		○	○	○
622213301	トービイ吸入液 300mg		○	○	○
620009196	トロビシン筋注用 2g	○	○	○	○
620008618	コリマイシン散 200万単位/g	○	○	○	○
620008753	メタコリマイシン顆粒 200万単位/g	○	○	○	○
620008752	メタコリマイシンカプセル 300万単位	○	○	○	○
622415701	オールドレブ点滴静注用 150mg			○	○
620003657	硫酸ポリミキシンB錠 25万単位 「ファイザー」	○	○	○	○
620003658	硫酸ポリミキシンB錠 100万単位 「ファイザー」	○	○	○	○
616120011	セフテムカプセル 100mg	○	○	○	○
616120012	セフテムカプセル 200mg	○	○	○	○
622199101	タイガシル点滴静注用 50mg		○	○	○
622066601	アモキシシリン細粒 10% 「タツミ」	○	○	○	
610454003	アモリン細粒 10%	○	○	○	○
620006920	サワシリン細粒 10%	○	○	○	○
620007026	パセトシン細粒 10%	○	○	○	○
622112902	ワイドシリン細粒 10%			○	○
620005906	アモキシシリン細粒 20% 「タツミ」	○	○	○	
621073001	ワイドシリン細粒 20%			○	○
616130132	サワシリン錠 250	○	○	○	○

レセプト電算コード	品名	2010	2012	2014	2016
616130095	パセトシン錠250				
616130039	アモリンカプセル125	○	○	○	○
620007024	パセトシンカプセル125	○	○	○	○
622054901	サワシリンカプセル125	○	○	○	○
622066501	アモキシシリンカプセル125mg「タツミ」	○	○	○	○
622111101	アモキシシリンカプセル125mg「トーワ」	○	○	○	○
622127801	アモキシシリンカプセル125mg「日医工」	○	○	○	○
622165902	アモキシシリンカプセル125mg「NP」		○	○	○
616130040	アモリンカプセル250	○	○	○	○
620006829	アモキシシリンカプセル250mg「タツミ」	○	○	○	○
620006919	サワシリンカプセル250	○	○	○	○
620007025	パセトシンカプセル250	○	○	○	○
620008584	アモキシシリンカプセル250mg「日医工」	○	○	○	○
620009117	アモキシシリンカプセル250mg「トーワ」	○	○	○	○
621073901	アモキシシリンカプセル250mg「NP」		○	○	○
621074701	ピクシリンカプセル250mg	○	○	○	○
621075101	ピクシリンドライシロップ10%	○	○	○	○
610451023	ペングッド錠250mg	○	○	○	○
621076301	ユナシン細粒小児用10%	○	○	○	○
621076401	ユナシン錠375mg	○	○	○	○
621076601	ピクシリン注射用0.25g	○	○	○	○
621076801	ピクシリン注射用0.5g	○	○	○	○
621077201	ピクシリン注射用1g	○	○	○	○
621077501	ピクシリン注射用2g	○	○	○	○
621078403	ピペラシリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	
646130136	ペントシリン注射用1g	○	○	○	○
620007456	ピペユンシン注射用1g	○	○	○	○
621078301	ピペラシリンNa注射用1g「サワイ」		○	○	○
621078103	ピペラシリンNa注射用1g「テバ」		○	○	○
621078601	ピペラシリンNa注射用1g「トーワ」		○	○	○
621342601	ピペラシリンNa注射用1g「SN」			○	○
621079203	ピペラシリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	
646130137	ペントシリン注射用2g	○	○	○	○
620007457	ピペユンシン注射用2g	○	○	○	○
621079101	ピペラシリンNa注射用2g「サワイ」		○	○	○
621078903	ピペラシリンNa注射用2g「テバ」		○	○	○
621079401	ピペラシリンNa注射用2g「トーワ」		○	○	○
621342802	ピペラシリンNa注射用2g「SN」			○	○
622079701	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ1g「NP」	○	○	○	
640462059	ペントシリン静注用1gバッグ	○	○	○	○
622079801	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ2g「NP」	○	○	○	
640462060	ペントシリン静注用2gバッグ	○	○	○	○
616130002	L-ケフレックス小児用顆粒	○	○	○	○
616130378	L-キサール顆粒500	○	○	○	○
616130003	L-ケフレックス顆粒	○	○	○	○

621083104 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621083503	セファレキシン錠 2.5g 「日医工」		○	○	
620003645	ラリキシン錠 2.5g	○	○	○	○
610454041	センセファリンカプセル 12.5	○	○	○	○
610454042	センセファリンカプセル 2.5g	○	○	○	○
620004512	セファレキシンカプセル 2.5g 「トーワ」	○	○	○	○
620004981	ケフレックスカプセル 2.5g	○	○	○	○
610453048	ケフレックスシロップ用細粒 1g	○	○	○	○
610454043	センセファリンシロップ用細粒 1%	○	○	○	○
620003646	ラリキシンドライシロップ小児用 1%	○	○	○	○
616130115	ケフレックスシロップ用細粒 2g	○	○	○	○
616130229	センセファリンシロップ用細粒 2%	○	○	○	○
620003647	ラリキシンドライシロップ小児用 2%	○	○	○	○
621085602	セファレキシンドライシロップ小児用 5% 「日医工」		○	○	
621087903	セファクロル細粒 1% 「日医工」		○	○	○
616130112	ケフラル細粒小児用 1g	○	○	○	○
621086806	セファクロル細粒小児用 1% 「JG」			○	○
621087001	セファクロル細粒小児用 1% 「サワイ」			○	○
621088403	セファクロル細粒 2% 「日医工」		○	○	
616130469	L-ケフラル顆粒	○	○	○	○
616130110	ケフラルカプセル 2.5g	○	○	○	○
620008657	トキクロルカプセル 2.5g	○	○	○	○
621088802	セファクロルカプセル 2.5g 「TCK」		○	○	○
621089701	セファクロルカプセル 2.5g 「トーワ」		○	○	○
621089501	セファクロルカプセル 2.5g 「日医工」		○	○	○
621088705	セファクロルカプセル 2.5g 「JG」			○	○
621089103	セファクロルカプセル 2.5g 「SN」			○	○
621088901	セファクロルカプセル 2.5g 「サワイ」			○	○
620005947	オラスポア小児用ドライシロップ 1%	○	○	○	○
616130404	セフspan細粒 5g	○	○	○	○
610453059	セフィーナ細粒 5g	○	○	○	○
620000061	セフィーナ細粒 1g	○	○	○	○
616130405	セフspanカプセル 5g	○	○	○	○
616130406	セフspanカプセル 1g	○	○	○	○
620002756	テラミロン細粒小児用 1%	○	○	○	○
620003583	トミロン細粒小児用 1%	○	○	○	○
621675801	セフテラムピボキシル細粒小児用 1% 「日医工」		○	○	○
616130407	トミロン錠 5g	○	○	○	○
616130408	トミロン錠 1g	○	○	○	○
620004958	オラセフ錠 2.5g	○	○	○	○
620003968	セフボドキシムプロキセチル錠 1g 「TCK」	○	○	○	○
620003970	セフボドキシムプロキセチル錠 1g 「タイヨー」	○	○	○	○
620008681	パナン錠 1g	○	○	○	○
621744203	セフボドキシムプロキセチル錠 1g 「JG」		○	○	○
621744401	セフボドキシムプロキセチル錠 1g 「トーワ」		○	○	○

621747601 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620008682	パナンドライシロップ5%	○	○	○	○
621747701	セフボドキシムプロキセチルD S小児用5%「サワイ」			○	○
616130476	パンスポリンT錠1●●	○	○	○	○
616130477	パンスポリンT錠2●●	○	○	○	○
620004513	セフゾン細粒小児用1●%	○	○	○	○
621935801	セフジニル細粒小児用1●%「タイヨー」	○	○	○	○
620008483	セフジニル細粒小児用1●%「YD」	○	○	○	○
620008482	セフジニル細粒小児用1●%「サワイ」	○	○	○	○
620008484	セフジニル細粒1●%小児用「日医工」	○	○	○	○
620009343	セフジニル細粒1●%小児用「TYK」	○	○	○	○
620009344	セフニール細粒小児用1●%	○	○	○	○
621889403	セフジニル細粒小児用1●%「JG」		○	○	○
621885302	セフジニル細粒1●%小児用「ファイザー」			○	○
621935901	セフジニル細粒小児用2●%「タイヨー」	○	○	○	○
620008488	セフジニル錠5●mg「サワイ」	○	○	○	○
620008490	セフジニル錠1●●mg「サワイ」	○	○	○	○
616130531	セフゾンカプセル5●mg	○	○	○	○
620008491	セフニールカプセル5●mg	○	○	○	○
620009334	セフジニルカプセル5●mg「TCK」	○	○	○	○
620009335	セフジニルカプセル5●mg「TYK」	○	○	○	○
620009337	セフジニルカプセル5●mg「YD」	○	○	○	○
620009336	セフジニルカプセル5●mg「日医工」	○	○	○	○
621910002	セフジニルカプセル5●mg「JG」		○	○	○
621885102	セフジニルカプセル5●mg「ファイザー」			○	○
616130532	セフゾンカプセル1●●mg	○	○	○	○
620008492	セフニールカプセル1●●mg	○	○	○	○
620009339	セフジニルカプセル1●●mg「TCK」	○	○	○	○
620009340	セフジニルカプセル1●●mg「TYK」	○	○	○	○
620009342	セフジニルカプセル1●●mg「YD」	○	○	○	○
620009341	セフジニルカプセル1●●mg「日医工」	○	○	○	○
621910102	セフジニルカプセル1●●mg「JG」		○	○	○
621885202	セフジニルカプセル1●●mg「ファイザー」			○	○
620005503	セフジトレンピボキシル小児用細粒1●%「CH」	○	○	○	○
620005501	セフジトレンピボキシル小児用細粒1●%「EMEC」	○	○	○	○
620005502	セフジトレンピボキシル小児用細粒1●%「サワイ」	○	○	○	○
620005499	セフジトレンピボキシル細粒小児用1●%「トーワ」	○	○	○	○
620005500	セフジトレンピボキシル細粒1●%小児用「日医工」	○	○	○	○
620008746	メイアクトMS小児用細粒1●%	○	○	○	○
620004080	メイアクトMS錠1●●mg	○	○	○	○
620005506	セフジトレンピボキシル錠1●●mg「CH」	○	○	○	○
620005505	セフジトレンピボキシル錠1●●mg「サワイ」	○	○	○	○
620005507	セフジトレンピボキシル錠1●●mg「トーワ」	○	○	○	○
620005508	セフジトレンピボキシル錠1●●mg「日医工」	○	○	○	○
610411059	フロモックス小児用細粒1●●mg	○	○	○	○

621955901 シロート電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用 10%「CH」				
621939401	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用 10%「JG」	○	○	○	○
621940201	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用 10%「YD」	○	○	○	○
621946301	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用 10%「トーワ」	○	○	○	○
621931001	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用 100mg「TCK」	○	○	○	○
621962401	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒 10%小児用「日医工」	○	○	○	○
621962501	セフカベンピボキシル塩酸塩小児用細粒 10%「サワイ」	○	○	○	○
621942904	セフカベンピボキシル塩酸塩細粒小児用 10%「ファイザー」			○	○
610411057	フロモックス錠 7.5mg	○	○	○	○
620009331	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 7.5mg「サワイ」	○	○	○	○
621956001	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 7.5mg「CH」	○	○	○	○
621930801	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 7.5mg「TCK」	○	○	○	○
621940301	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 7.5mg「YD」	○	○	○	○
621947501	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 7.5mg「トーワ」	○	○	○	○
621962601	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 7.5mg「日医工」	○	○	○	○
621943004	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 7.5mg「ファイザー」			○	○
610411058	フロモックス錠 100mg	○	○	○	○
620009332	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg「サワイ」	○	○	○	○
621956101	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg「CH」	○	○	○	○
621930901	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg「TCK」	○	○	○	○
621940401	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg「YD」	○	○	○	○
621947601	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg「トーワ」	○	○	○	○
621962701	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg「日医工」	○	○	○	○
621943104	セフカベンピボキシル塩酸塩錠 100mg「ファイザー」			○	○
646130121	バンスポリン筋注用0.25g	○	○	○	○
646130110	ハロスポア静注用0.25g	○	○	○	○
646130122	バンスポリン静注用0.25g	○	○	○	○
620004140	セファピコール静注用0.25g	○	○	○	○
620007293	ケミスポリン静注用0.25g	○	○	○	○
621989702	セフォチアム塩酸塩静注用0.25g「日医工」		○	○	○
621987602	セフォチアム塩酸塩静注用0.25g「NP」		○	○	○
621924001	セフォチアム塩酸塩静注用0.25g「SN」			○	○
646130111	ハロスポア静注用0.5g	○	○	○	○
646130123	バンスポリン静注用0.5g	○	○	○	○
620004141	セファピコール静注用0.5g	○	○	○	○
620007294	ケミスポリン静注用0.5g	○	○	○	○
621989802	セフォチアム塩酸塩静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621344901	セフォチアム塩酸塩静注用0.5g「NP」		○	○	○
621924101	セフォチアム塩酸塩静注用0.5g「SN」			○	○
646130112	ハロスポア静注用1g	○	○	○	○
646130124	バンスポリン静注用1g	○	○	○	○
620003732	セファピコール静注用1g	○	○	○	○
620007295	ケミスポリン静注用1g	○	○	○	○
621345002	セフォチアム塩酸塩静注用1g「日医工」		○	○	○
621345301	セフォチアム塩酸塩静注用1g「NP」		○	○	○

2019年電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
62109502	オチアム塩酸塩静注用1g「SN」				
640408149	パンスポリン静注用1gバッグS	○	○	○	○
620009563	セフォチアム静注用1gバッグ「日医工」	○	○	○	○
621540002	セフォチアム塩酸塩点滴静注用1gバッグ「NP」		○	○	○
640408148	パンスポリン静注用1gバッグG	○	○	○	○
620003735	セファメジンα注射用●. 2.5g	○	○	○	○
622104201	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
622130801	セファゾリンナトリウム注射用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622177601	トキオ注射用●. 2.5g		○	○	○
622124902	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「NP」			○	○
622033402	セファゾリンNa注射用●. 5g「NP」			○	○
622104301	セファゾリンNa注射用●. 5g「タイヨー」		○	○	○
622177701	トキオ注射用●. 5g		○	○	○
620003736	セファメジンα注射用●. 5g	○	○	○	○
621096002	セファゾリンナトリウム注射用●. 5g「日医工」		○	○	○
620003737	セファメジンα注射用1g	○	○	○	○
621096701	トキオ注射用1g	○	○	○	○
621096503	セファゾリンNa注射用1g「タイヨー」	○	○	○	○
621096802	セファゾリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	○
621096601	セファゾリンNa注射用1g「NP」			○	○
620003738	セファメジンα注射用2g	○	○	○	○
621097303	セファゾリンNa注射用2g「タイヨー」	○	○	○	○
622177801	トキオ注射用2g		○	○	○
621097602	セファゾリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	○
621097401	セファゾリンNa注射用2g「NP」			○	○
620003733	セファメジンα筋注用●. 2.5g	○	○	○	○
620003734	セファメジンα筋注用●. 5g	○	○	○	○
620003740	セファメジンα点滴用キット2g	○	○	○	○
620003739	セファメジンα点滴用キット1g	○	○	○	○
620007318	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「オーツカ」	○	○	○	○
621757001	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「NP」			○	○
620005674	コアキシシ注射用1g	○	○	○	○
620005675	コアキシシ注射用2g	○	○	○	○
646130072	セフメタゾン筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130073	セフメタゾン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622125001	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「NP」	○	○	○	○
622131001	セフメタゾールナトリウム静注用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622111501	リリアジン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622104002	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「テバ」			○	○
646130074	セフメタゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
621987501	セフメタゾールNa静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
622131101	セフメタゾールナトリウム静注用●. 5g「日医工」	○	○	○	○
622111601	リリアジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622104102	セフメタゾールNa静注用●. 5g「テバ」			○	○

646130075 620006243 計算コード	セフメタゾン静注用1g セフメタゾールNa静注用1g「NP」 名称	2010	2012	2014	2016
620007540	リリアジン静注用1g	○	○	○	○
621102102	セフメタゾールナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	○
621101803	セフメタゾールNa静注用1g「テバ」			○	○
646130076	セフメタゾン静注用2g	○	○	○	○
620006244	セフメタゾールNa静注用2g「NP」	○	○	○	○
620007541	リリアジン静注用2g	○	○	○	○
621102802	セフメタゾールナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	○
621101903	セフメタゾールNa静注用2g「テバ」			○	○
640470010	セフメタゾンキット点滴静注用1g	○	○	○	○
620004151	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ1g「NP」	○	○	○	○
621951701	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ2g「NP」	○	○	○	○
640454018	セフォタックス注射用○.5g	○	○	○	○
620004652	クラフォラン注射用○.5g	○	○	○	○
640454019	セフォタックス注射用1g	○	○	○	○
620004653	クラフォラン注射用1g	○	○	○	○
646130067	セフォビッド注射用1g	○	○	○	○
646130071	セフォペラジン注射用1g	○	○	○	○
646130132	ベストコール筋注用○.5g	○	○	○	○
646130133	ベストコール静注用○.5g	○	○	○	○
646130134	ベストコール静注用1g	○	○	○	○
620002999	モダケミン静注用○.5g	○	○	○	○
620003827	モダシン静注用○.5g	○	○	○	○
620006701	セフトラジジム静注用○.5g「マイラン」	○	○	○	○
621967001	セフトラジジム静注用○.5g「サンド」	○	○	○	○
621936401	セフトラジジム静注用○.5g「タイヨー」	○	○	○	○
622052901	セフトラジジム静注用○.5g「サワイ」	○	○	○	○
622124801	セフトラジジム静注用○.5g「NP」	○	○	○	○
621756202	セフトラジジム静注用○.5g「日医工」		○	○	○
621755802	セフトラジジム静注用○.5g「SN」			○	○
620003000	モダケミン静注用1g	○	○	○	○
620003001	モベンゾシン静注用1g	○	○	○	○
620003828	モダシン静注用1g	○	○	○	○
620005676	セフトラジジム静注用1g「NP」	○	○	○	○
620006702	セフトラジジム静注用1g「マイラン」	○	○	○	○
621967101	セフトラジジム静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621703001	セフトラジジム静注用1g「サワイ」	○	○	○	○
621756502	セフトラジジム静注用1g「日医工」		○	○	○
621755902	セフトラジジム静注用1g「SN」			○	○
646130268	ロセフィン静注用○.5g	○	○	○	○
640463134	リアソフィン静注用○.5g	○	○	○	○
620009566	セフキソン静注用○.5g	○	○	○	○
620009567	セフトリアキソンNa静注用○.5g「サンド」	○	○	○	○
621987301	セフトリアキソンナトリウム静注用○.5g「NP」	○	○	○	○

621967202 シフト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621538203	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「日医工」		○	○	○
622077302	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「ファイザー」		○	○	○
621836501	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「テバ」		○	○	○
646130269	ロセフィン静注用 1g	○	○	○	○
640463135	リアソフィン静注用 1g	○	○	○	○
640463080	セフキソン静注用 1g	○	○	○	○
620009568	セフトリアキソンNa静注用 1g「サンド」	○	○	○	○
621987401	セフトリアキソンナトリウム静注用 1g「NP」	○	○	○	○
621488601	セフトリアキソンNa静注用 1g「サワイ」		○	○	○
621538303	セフトリアキソンナトリウム静注用 1g「日医工」		○	○	○
621555202	セフトリアキソンNa静注用 1g「ファイザー」		○	○	○
621555101	セフトリアキソンNa静注用 1g「テバ」		○	○	○
640470011	ロセフィン点滴静注用 1gバッグ	○	○	○	○
620002955	セフトリアキソンナトリウム点滴用 1gバッグ「NP」	○	○	○	○
622051701	セフトリアキソンナトリウム点滴静注用バッグ 1g「ファイザー」	○	○	○	○
620007514	メイセリン静注用 1g	○	○	○	○
620004148	セフピロム硫酸塩静注用●. 5g「CMX」	○	○	○	○
620006706	硫酸セフピロム静注用●. 5g「マイラン」	○	○	○	○
620004149	セフピロム硫酸塩静注用 1g「CMX」	○	○	○	○
620006707	硫酸セフピロム静注用 1g「マイラン」	○	○	○	○
640407076	注射用マキシピーム●. 5g	○	○	○	○
621966801	セフェピム塩酸塩静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621994601	セフェピム塩酸塩静注用●. 5g「CMX」	○	○	○	○
640407077	注射用マキシピーム 1g	○	○	○	○
621966901	セフェピム塩酸塩静注用 1g「サンド」	○	○	○	○
621994701	セフェピム塩酸塩静注用 1g「CMX」	○	○	○	○
640407080	ファーストシン静注用●. 5g	○	○	○	○
640407081	ファーストシン静注用 1g	○	○	○	○
640443046	ファーストシン静注用 1gバッグS	○	○	○	○
640443047	ファーストシン静注用 1gバッグG	○	○	○	○
666130005	エポセリン坐剤 1 2 5	○	○	○	○
666130006	エポセリン坐剤 2 5 ●	○	○	○	○
646130037	シオマリン静注用 1g	○	○	○	○
646130301	フルマリン静注用●. 5g	○	○	○	○
646130302	フルマリン静注用 1g	○	○	○	○
640443048	フルマリンキット静注用 1g	○	○	○	○
620005201	パニマイシン注射液 5 ●mg	○	○	○	○
620005202	パニマイシン注射液 1 ● ●mg	○	○	○	○
620005180	注射用パニマイシン 1 ● ●mg	○	○	○	○
620003780	ピスタマイシン筋注 5 ● ●mg	○	○	○	○
620003781	ピスタマイシン筋注 1 ● ● ●mg	○	○	○	○
646120011	ゲンタシン注 1 ●	○	○	○	○
622037301	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 1 ●mg「日医工」	○	○	○	○
622074801	エルタシン注 1 ●mg	○	○	○	○

622074802 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621111803	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 10mg 「F」		○	○	○
620003210	ゲンタシン注40	○	○	○	○
620006210	エルタシン注40mg	○	○	○	○
621111802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 40mg 「F」				○
646120012	ゲンタシン注60	○	○	○	○
620006211	エルタシン注60mg	○	○	○	○
621112004	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 60mg 「日医工」		○	○	○
621112003	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 60mg 「F」				○
616130512	ホスミシン錠 250	○	○	○	○
616130513	ホスミシン錠 500	○	○	○	○
621946401	ホスマイカプセル 250mg	○	○	○	○
621964002	ホスホマイシンカルシウムカプセル 250mg 「日医工」		○	○	○
620008731	ホスマイカプセル 500mg	○	○	○	○
621113002	ホスホマイシンカルシウムカプセル 500mg 「日医工」		○	○	○
616130332	ホスミシンドライシロップ 200	○	○	○	○
616130526	ホスホミシンドライシロップ 400	○	○	○	○
616130333	ホスミシンドライシロップ 400	○	○	○	○
621113712	ホスホマイシンカルシウムドライシロップ 40% 「日医工」		○	○	
621812201	ホスホマイシンナトリウム静注用 0.5g 「日医工」		○	○	
622104401	フラゼミシン静注用 0.5g	○	○	○	
622131501	ホスカリーゼ静注用 0.5g	○	○	○	
620003815	ホスミシンS 静注用 0.5g	○	○	○	○
622079901	ホスホマイシンNa 静注用 0.5g 「NP」		○	○	
622045702	ホスホマイシンNa 静注用 0.5g 「タカタ」		○	○	○
620004750	フラゼミシン静注用 1g	○	○	○	
620004767	ホスカリーゼ静注用 1g	○	○	○	
621766301	ホスホマイシンナトリウム静注用 1g 「日医工」		○	○	
620003816	ホスミシンS 静注用 1g	○	○	○	○
620006316	ホスホマイシンNa 静注用 1g 「NP」	○	○	○	○
621114602	ホスホマイシンNa 静注用 1g 「タカタ」		○	○	○
620004751	フラゼミシン静注用 2g	○	○	○	
620004768	ホスカリーゼ静注用 2g	○	○	○	
621766401	ホスホマイシンナトリウム静注用 2g 「日医工」		○	○	
620003817	ホスミシンS 静注用 2g	○	○	○	○
620006317	ホスホマイシンNa 静注用 2g 「NP」	○	○	○	○
621115302	ホスホマイシンNa 静注用 2g 「タカタ」		○	○	○
620007477	フラゼミシン点滴静注用 2g キット	○	○	○	○
640451022	ホスミシンS バッグ 1g 点滴静注用	○	○	○	○
640451023	ホスミシンS バッグ 2g 点滴静注用	○	○	○	○
610411055	ファロム錠 150mg	○	○	○	○
610411056	ファロム錠 200mg	○	○	○	○
620008702	ファロムドライシロップ小児用 10%	○	○	○	○
621926801	オラペナム小児用細粒 10%	○	○	○	○
621116201	オーグメンチン配合錠 125SS	○	○	○	○

62116301 シテラド電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621709001	オメガメンチン配合錠2.5gRS クラバモックス小児用配合ドライシロップ	○	○	○	○
620007519	メロペン点滴用バイアル●. 2.5g	○	○	○	○
620009585	メロペネム点滴静注用●. 2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009586	メロペネム点滴静注用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
621952301	メロペネム点滴静注用●. 2.5g「NP」	○	○	○	○
621950101	メロペネム点滴静注用●. 2.5g「ケミファ」	○	○	○	○
621967801	メロペネム点滴静注用●. 2.5g「サワイ」	○	○	○	○
621967901	メロペネム点滴静注用●. 2.5g「タナベ」	○	○	○	○
621946701	メロペネム点滴静注用●. 2.5g「トーワ」	○	○	○	○
621947901	メロペネム点滴静注用●. 2.5g「明治」	○	○	○	○
622044201	メロペネム点滴静注用●. 2.5g「ファイザー」	○	○	○	○
620007520	メロペン点滴用バイアル●. 5g	○	○	○	○
620009587	メロペネム点滴静注用●. 5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009588	メロペネム点滴静注用●. 5g「日医工」	○	○	○	○
621952401	メロペネム点滴静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
621950201	メロペネム点滴静注用●. 5g「ケミファ」	○	○	○	○
621968001	メロペネム点滴静注用●. 5g「サワイ」	○	○	○	○
621968101	メロペネム点滴静注用●. 5g「タナベ」	○	○	○	○
621946801	メロペネム点滴静注用●. 5g「トーワ」	○	○	○	○
621948001	メロペネム点滴静注用●. 5g「明治」	○	○	○	○
622044301	メロペネム点滴静注用●. 5g「ファイザー」	○	○	○	○
622439001	メロペネム点滴静注用1g「NP」			○	○
622419401	メロペネム点滴静注用1g「明治」			○	○
620007518	メロペン点滴用キット●. 5g	○	○	○	○
621952501	メロペネム点滴静注用バッグ●. 5g「NP」	○	○	○	○
621967701	メロペネム点滴静注用バッグ●. 5g「日医工」	○	○	○	○
621931801	メロペネム点滴静注用バッグ●. 5g「明治」	○	○	○	○
622471301	メロペネム点滴静注用バッグ1g「NP」			○	○
622460901	メロペネム点滴静注用バッグ1g「明治」			○	○
640451036	オメガシン点滴用●. 3g	○	○	○	○
640451037	オメガシン点滴用●. 3gバッグ	○	○	○	○
621708501	フィニボックス点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622078501	フィニボックス点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
621727601	フィニボックス点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
646130264	スルペラゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
620004152	セフロニック静注用●. 5g	○	○	○	○
620007316	スperlゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
622083601	スルタムジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622099301	セフォセフ静注用●. 5g	○	○	○	○
622130901	セフォン静注用●. 5g	○	○	○	○
622111401	バクフォーゼ静注用●. 5g	○	○	○	○
622080002	ワイスタール配合静注用●. 5g		○	○	○
646130265	スルペラゾン静注用1g	○	○	○	○
640444050	セフォセフ静注用1g	○	○	○	○

640444051 640444071 シロブト電算コード	ネオオン静注用 1g 名称 ハクフォーゼ静注用 1g	2010	2012	2014	2016
640453097	スルタムジン静注用 1g	○	○	○	○
620003742	セフロニック静注用 1g	○	○	○	○
620007317	スペルゾン静注用 1g	○	○	○	○
621347901	ワイスターール配合静注用 1g		○	○	○
621116801	スルペラゾンキット静注用 1g	○	○	○	○
621441901	ワイスターール配合点滴静注用 1g バッグ		○	○	○
620004108	インダスト点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620007364	チエナム点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620008211	チエペナム点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622010201	チエクール点滴用●. 2.5g	○	○	○	○
622127601	イミペナム・シラスタチン点滴用●. 2.5g 「サンド」	○	○	○	○
622172601	イミスタン点滴静注用●. 2.5g		○	○	○
620003703	インダスト点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620004106	イミスタン点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620004155	チエクール点滴用●. 5g	○	○	○	○
620004707	チエペナム点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620005643	イミペナム・シラスタチン点滴用●. 5g 「サンド」	○	○	○	○
620007365	チエナム点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620007362	チエナム筋注用●. 5g	○	○	○	○
620007363	チエナム点滴静注用キット●. 5g	○	○	○	○
646130368	カルベニン点滴用●. 2.5g	○	○	○	○
646130369	カルベニン点滴用●. 5g	○	○	○	○
640406222	ユナシン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620003003	ユナスピン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004132	スルバクシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004134	スルバシリン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620005874	ピスルシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620009560	スルバクタム・アンピシリン静注用●. 7.5g 「サンド」	○	○	○	○
622118402	ピシリバクタ静注用●. 7.5g	○	○	○	○
622100601	ユーシオン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
640406223	ユナシン - S 静注用 1.5g	○	○	○	○
620002977	ピシリバクタ静注用 1.5g	○	○	○	○
620003002	ユーシオン - S 静注用 1.5g	○	○	○	○
620003004	ユナスピン静注用 1.5g	○	○	○	○
620004133	スルバクシン静注用 1.5g	○	○	○	○
620004135	スルバシリン静注用 1.5g	○	○	○	○
620005875	ピスルシン静注用 1.5g	○	○	○	○
620009561	スルバクタム・アンピシリン静注用 1.5g 「サンド」	○	○	○	○
622250001	ユナシン - S 静注用 3g		○	○	○
622419601	スルバシリン静注用 3g			○	○
622408701	ピスルシン静注用 3g			○	○
622464401	スルバクシン静注用 3g			○	○
622467201	ピシリバクタ静注用 3g			○	○

622458201 622441301 電算コード	ユナシオン - S 静注用 3 g エリスピン静注用 3 g 名称	2010	2012	2014	2016
620004775	ユナシン - S キット 静注用 1. 5 g	○	○	○	○
620004776	ユナシン - S キット 静注用 3 g	○	○	○	○
620008446	ゾシン 静注用 2. 2 5	○	○	○	○
622441401	タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「CHM」			○	○
622464701	タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「DK」			○	○
622453701	タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「DSEP」			○	○
622450601	タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「SN」			○	○
622461801	タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「サンド」			○	○
622458801	タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「テバ」			○	○
622467001	タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「日医工」			○	○
622470601	タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「ニプロ」			○	○
622455601	タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「ファイザー」			○	○
622460701	タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「明治」			○	○
620008447	ゾシン 静注用 4. 5	○	○	○	○
622441501	タゾピペ配合静注用 4. 5 「CHM」			○	○
622464801	タゾピペ配合静注用 4. 5 「DK」			○	○
622453801	タゾピペ配合静注用 4. 5 「DSEP」			○	○
622450701	タゾピペ配合静注用 4. 5 「SN」			○	○
622461901	タゾピペ配合静注用 4. 5 「サンド」			○	○
622458901	タゾピペ配合静注用 4. 5 「テバ」			○	○
622467101	タゾピペ配合静注用 4. 5 「日医工」			○	○
622470701	タゾピペ配合静注用 4. 5 「ニプロ」			○	○
622455701	タゾピペ配合静注用 4. 5 「ファイザー」			○	○
622460801	タゾピペ配合静注用 4. 5 「明治」			○	○
622423101	ゾシン配合点滴静注用バッグ 4. 5			○	○
622454001	タゾピペ配合点滴静注用バッグ 4. 5 「DSEP」			○	○
622470901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ 4. 5 「ニプロ」			○	○
622455901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ 4. 5 「ファイザー」			○	○
622462101	タゾピペ配合点滴静注用 4. 5 バッグ「サンド」			○	○
622453901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ 2. 2 5 「DSEP」			○	○
622470801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ 2. 2 5 「ニプロ」			○	○
622455801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ 2. 2 5 「ファイザー」			○	○
622462001	タゾピペ配合点滴静注用 2. 2 5 バッグ「サンド」			○	○
620000022	エリスロシンW 顆粒 2 0 %	○	○	○	○
620001975	エリスロシンドライシロップ 1 0 %	○	○	○	○
620001974	エリスロシンドライシロップ W 2 0 %	○	○	○	○
620004463	エリスロマイシン錠 2 0 0 m g 「サワイ」	○	○	○	○
620000020	エリスロシン錠 1 0 0 m g	○	○	○	○
620000021	エリスロシン錠 2 0 0 m g	○	○	○	○
621120001	エリスロシン点滴静注用 5 0 0 m g	○	○	○	○
620003495	アセチルスピラマイシン錠 1 0 0	○	○	○	○
620003496	アセチルスピラマイシン錠 2 0 0	○	○	○	○
620003554	ジョサマイシン錠 5 0 m g	○	○	○	○

620003555 620004503	電算コード	ジェネリック名 ジョサマイシン錠200mg ジョサマイシロップ3%	2010	2012	2014	2016
620004504		ジョサマイシロップ10%	○	○	○	○
616140099		ルリッド錠150	○	○	○	○
620002885		ロキシマイン錠150mg	○	○	○	○
620004096		ロキシスロマイシン錠150mg「サンド」	○	○	○	○
621681102		ロキシスロマイシン錠150mg「RM」		○	○	○
621694602		ロキシスロマイシン錠150mg「ファイザー」		○	○	○
621693303		ロキシスロマイシン錠150mg「JG」		○	○	○
621694201		ロキシスロマイシン錠150mg「サワイ」			○	○
621675901		ロキシスロマイシン錠150mg「日医工」			○	○
616140101		クラリシッド錠50mg小児用	○	○	○	○
616140104		クラリス錠50小児用	○	○	○	○
620003921		クラリスロマイシン錠50mg小児用「CH」	○	○	○	○
620003918		クラリスロマイシン錠50mg小児用「EMEC」	○	○	○	○
620003919		クラリスロマイシン錠50mg小児用「NP I」	○	○	○	○
620003917		クラリスロマイシン錠50小児用「TCK」	○	○	○	○
620003920		クラリスロマイシン錠50mg小児用「サワイ」	○	○	○	○
620003922		クラリスロマイシン錠50mg小児用「タイヨー」	○	○	○	○
620003916		クラリスロマイシン錠小児用50mg「タカタ」	○	○	○	○
620003923		クラリスロマイシン錠50mg小児用「日医工」	○	○	○	○
620003945		クラロイシン錠50小児用	○	○	○	○
620004075		マインベース錠50小児用	○	○	○	○
620005425		クラリスロマイシン錠50小児用「MEEK」	○	○	○	○
620006669		クラリスロマイシン錠50mg小児用「マイラン」	○	○	○	○
622079301		クラリスロマイシン錠50mg小児用「NP」	○	○	○	○
621741203		クラリスロマイシン錠50mg小児用「杏林」		○	○	○
621752801		クラリスロマイシン錠小児用50mg「トーフ」		○	○	○
616140102		クラリシッド錠200mg	○	○	○	○
616140105		クラリス錠200	○	○	○	○
620003932		クラリスロマイシン錠200mg「CH」	○	○	○	○
620003928		クラリスロマイシン錠200mg「EMEC」	○	○	○	○
620003926		クラリスロマイシン錠200「MEEK」	○	○	○	○
620003929		クラリスロマイシン錠200mg「NP I」	○	○	○	○
620003927		クラリスロマイシン錠200「TCK」	○	○	○	○
620003930		クラリスロマイシン錠200mg「サワイ」	○	○	○	○
620003931		クラリスロマイシン錠200mg「サンド」	○	○	○	○
620003933		クラリスロマイシン錠200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620003934		クラリスロマイシン錠200mg「タカタ」	○	○	○	○
620003935		クラリスロマイシン錠200mg「日医工」	○	○	○	○
620003946		クラロイシン錠200	○	○	○	○
620004076		マインベース錠200	○	○	○	○
620006670		クラリスロマイシン錠200mg「マイラン」	○	○	○	○
620008013		クラリスロマイシン錠200mg「タナベ」	○	○	○	○
622079401		クラリスロマイシン錠200mg「NP」	○	○	○	○

621749103 621752901	電算コード	クラリスロマイシン錠200mg「杏林」 クラリスロマイシン錠200mg「トーワ」	2010	2012	2014	2016
620003940		クラリスロマイシンDS 10%小児用「EMEC」	○	○	○	○
620003941		クラリスロマイシンDS 10%小児用「サワイ」	○	○	○	○
620003943		クラリスロマイシンDS小児用10%「タカタ」	○	○	○	○
620003942		クラリスロマイシンDS 10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620003939		クラリスロマイシンDS 10%「MEEK」	○	○	○	○
620004077		マインベースDS 10%小児用	○	○	○	○
620004476		クラリシッド・ドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620004974		クラリスドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620005426		クラリスロマイシンドライシロップ10%小児用「タイヨー」	○	○	○	○
620005427		クラロイシンドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620006671		クラリスロマイシンドライシロップ10%小児用「マイラン」	○	○	○	○
621753001		クラリスロマイシンDS小児用10%「トーワ」		○	○	○
621348401		ジスロマック細粒小児用10%	○	○	○	○
622295301		アジスロマイシン細粒小児用10%「JG」		○	○	○
622303301		アジスロマイシン細粒小児用10%「SN」		○	○	○
622269501		アジスロマイシン細粒小児用10%「YD」		○	○	○
622274301		アジスロマイシン細粒10%小児用「KN」		○	○	○
622274501		アジスロマイシン小児用細粒10%「タカタ」		○	○	○
622353101		アジスロマイシン細粒小児用10%「TCK」			○	○
622411501		アジスロマイシン細粒小児用10%「トーワ」			○	○
610443026		ジスロマック錠250mg	○	○	○	○
622286701		アジスロマイシン錠250mg「DSEP」		○	○	○
622294801		アジスロマイシン錠250mg「F」		○	○	○
622290801		アジスロマイシン錠250mg「JG」		○	○	○
622274201		アジスロマイシン錠250mg「KN」		○	○	○
622276801		アジスロマイシン錠250mg「KOG」		○	○	○
622296901		アジスロマイシン錠250mg「NP」		○	○	○
622303401		アジスロマイシン錠250mg「SN」		○	○	○
622269601		アジスロマイシン錠250mg「YD」		○	○	○
622275601		アジスロマイシン錠250mg「アメル」		○	○	○
622295401		アジスロマイシン錠250mg「サワイ」		○	○	○
622289801		アジスロマイシン錠250mg「サンド」		○	○	○
622274401		アジスロマイシン錠250mg「タカタ」		○	○	○
622282801		アジスロマイシン錠250mg「テバ」		○	○	○
622281501		アジスロマイシン錠250mg「トーワ」		○	○	○
622270801		アジスロマイシン錠250mg「日医工」		○	○	○
622275401		アジスロマイシン錠250mg「わかもと」		○	○	○
622352901		アジスロマイシン錠250mg「TCK」			○	○
622368001		アジスロマイシン錠250mg「CHM」			○	○
610451034		ジスロマック錠600mg	○	○	○	○
622274601		アジスロマイシン小児用錠100mg「タカタ」		○	○	○
622281601		アジスロマイシン錠500mg「トーワ」		○	○	○
622270901		アジスロマイシン錠500mg「日医工」		○	○	○

レセプト電算コード	剤名	2010	2012	2014	2016
610443024 622290701	ジスロマックカプセル小児用 100mg アジスロマイシンカプセル小児用 100mg「JG」		○	○	○
622303201	アジスロマイシンカプセル小児用 100mg「SN」		○	○	○
622269401	アジスロマイシンカプセル小児用 100mg「YD」		○	○	○
622353001	アジスロマイシンカプセル小児用 100mg「TCK」			○	○
620009094	ジスロマックSR成人用ドライシロップ 2g	○	○	○	○
622085701	ジスロマック点滴静注用 500mg	○	○	○	○
621122501	クロロマイセチン錠 50	○	○	○	○
621122601	クロロマイセチン錠 250	○	○	○	○
621122801	クロロマイセチンサクシネート静注用 1g	○	○	○	○
616150003	アクロマイシンVカプセル 50mg	○	○	○	○
616150002	アクロマイシンVカプセル 250mg	○	○	○	○
621123301	レダマイシンカプセル 150mg	○	○	○	○
620006083	ビブラマイシン錠 50mg	○	○	○	○
620006084	ビブラマイシン錠 100mg	○	○	○	○
620007109	ミノマイシン顆粒 2%	○	○	○	○
621124301	ミノサイクリン塩酸塩顆粒 2%「サワイ」		○	○	○
616150088	ミノマイシン錠 50mg	○	○	○	○
621124603	塩酸ミノサイクリン錠 50「日医工」		○	○	○
621124801	ミノサイクリン塩酸塩錠 50mg「サワイ」		○	○	○
621125101	ミノサイクリン塩酸塩錠 50mg「トーワ」		○	○	○
616150064	ミノマイシン錠 100mg	○	○	○	○
621125401	ミノサイクリン塩酸塩錠 100mg「サワイ」		○	○	○
621125701	ミノサイクリン塩酸塩錠 100mg「トーワ」		○	○	○
616150063	ミノマイシンカプセル 50mg	○	○	○	○
610454083	ミノマイシンカプセル 100mg	○	○	○	○
621126003	塩酸ミノサイクリンカプセル 100「日医工」		○	○	○
620004770	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100mg「日医工」		○	○	○
620005226	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620007513	ミノマイシン点滴静注用 100mg	○	○	○	○
621126801	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100mg「サワイ」		○	○	○
621126501	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100mg「F」			○	○
620003244	硫酸ストレプトマイシン 1g注射用「明治」	○	○	○	○
620008620	サイクロセリンカプセル 250mg「明治」	○	○	○	○
620004093	リファンピシンカプセル 150mg「サンド」	○	○	○	○
620008583	アプテシンカプセル 150mg	○	○	○	○
621127501	リファジンカプセル 150mg	○	○	○	○
620007375	ツベラクチン筋注用 1g	○	○	○	○
620008440	ミコブティンカプセル 150mg	○	○	○	○
620007539	硫酸カナマイシン注射液 1000mg「明治」	○	○	○	○
620008666	ナスタチン錠 50万単位「明治」	○	○	○	○
620007031	ハリゾン錠 100mg	○	○	○	○
620004560	ファンギゾンシロップ 100mg/mL	○	○	○	○
620007032	ハリゾンシロップ 100mg/mL	○	○	○	○
620007467	ファンギゾン注射用 500mg	○	○	○	○

620003487 シロップ電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620002493	ピゾム点滴静注用50mg ブイフェンド錠50mg	○	○	○	○
622480701	ポリコナゾール錠50mg「DSEP」				○
622491901	ポリコナゾール錠50mg「JG」				○
622499601	ポリコナゾール錠50mg「アメル」				○
622483001	ポリコナゾール錠50mg「タカタ」				○
622495401	ポリコナゾール錠50mg「テバ」				○
622479601	ポリコナゾール錠50mg「トーワ」				○
622501301	ポリコナゾール錠50mg「日医工」				○
620002494	ブイフェンド錠200mg	○	○	○	○
622480801	ポリコナゾール錠200mg「DSEP」				○
622492101	ポリコナゾール錠200mg「JG」				○
622499801	ポリコナゾール錠200mg「アメル」				○
622483101	ポリコナゾール錠200mg「タカタ」				○
622495501	ポリコナゾール錠200mg「テバ」				○
622479701	ポリコナゾール錠200mg「トーワ」				○
622501401	ポリコナゾール錠200mg「日医工」				○
622492001	ポリコナゾール錠100mg「JG」				○
622499701	ポリコナゾール錠100mg「アメル」				○
622375301	ブイフェンドドライシロップ280mg			○	○
640462040	ファンガード点滴用50mg	○	○	○	○
640462041	ファンガード点滴用75mg	○	○	○	○
620003489	ファンガード点滴用25mg	○	○	○	○
620002497	ブイフェンド200mg静注用	○	○	○	○
622136201	カンサイダス点滴静注用50mg		○	○	○
622136301	カンサイダス点滴静注用70mg		○	○	○
621130301	ピクシリンS配合錠	○	○	○	○
621131001	注射用ピクシリンS100	○	○	○	○
646190020	注射用ピクシリンS500	○	○	○	○
646190018	注射用ピクシリンS1000	○	○	○	○
622517701	リフキシマ錠200mg				○
610462048	ランサップ400	○	○	○	○
610462049	ランサップ800	○	○	○	○
622029101	ランピオンパック	○	○	○	○
622289101	ラベキュアパック400		○	○	○
622289201	ラベキュアパック800		○	○	○
622289301	ラベファインパック		○	○	○
622485401	ボノサップパック400				○
622485501	ボノサップパック800				○
622485601	ボノピオンパック				○
610463036	ウイントマイロン錠250	○	○	○	○
616290016	ウイントマイロン錠500	○	○	○	○
620006852	ウイントマイロンシロップ5%	○	○	○	○
620009216	カルノマチン錠250mg	○	○		
621137802	ピペミド酸錠250mg「YD」		○	○	○

6142905電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
610407051	キサフロール錠100mg	○	○	○	○
610407066	シーヌン錠100mg	○	○		
621138800	ノルフロキサシン錠100mg「YD」	○	○	○	○
621138803	ノルフロキサシン錠100mg「サワイ」			○	○
621138818	ノルフロキサシン錠100mg「ツルハラ」		○	○	○
621138823	ノルフロキサシン錠100mg「EMEC」	○	○	○	○
622058001	バステーン錠100mg	○	○	○	○
616290121	バクシダール錠100mg	○	○	○	○
610407052	キサフロール錠200mg	○	○	○	○
610407067	シーヌン錠200mg	○	○		
610412023	ウナセラ錠200mg	○	○		
620006594	バステーン錠200mg	○	○	○	○
621139104	ノルフロキサシン錠200mg「サワイ」			○	○
621139117	ノルフロキサシン錠200mg「YD」	○	○	○	○
621139123	ノルフロキサシン錠200mg「ツルハラ」		○	○	○
621139128	ノルフロキサシン錠200mg「EMEC」	○	○	○	○
616290147	バクシダール錠200mg	○	○	○	○
616240001	小児用バクシダール錠50mg	○	○	○	○
620003912	オフロキサシン錠100mg「サワイ」	○	○	○	
620003913	オフロキサシン錠100mg「ツルハラ」		○	○	○
620003984	タリフロム錠100mg	○	○	○	
620004040	フロキン錠100mg		○	○	○
620006024	タツミキシム錠100mg		○	○	○
621745304	オフロキサシン錠100mg「テバ」		○	○	○
621753101	オフロキサシン錠100mg「タナベ」		○	○	
621753103	オフロキサシン錠100mg「JG」		○	○	○
620006972	タリビッド錠100mg	○	○	○	○
622096201	シプロフロキサシン錠100mg「CH」		○	○	
622096202	シプロフロキサシン錠100mg「JG」		○	○	○
622125901	シバスタン錠100mg		○	○	○
616290155	シプロキサシン錠100mg	○	○	○	○
621489001	シプロフロキサシン錠100mg「日医工」		○	○	○
621946502	シプロフロキサシン錠100mg「トーワ」		○	○	○
621964702	シプロフロキサシン錠100mg「SW」			○	○
621529401	シプロフロキサシン錠100mg「TCK」			○	○
610463082	シバスタン錠200mg		○	○	○
620000118	プリモール錠200mg		○	○	○
621489201	シプロフロキサシン錠200mg「タナベ」	○	○	○	
621489203	シプロフロキサシン錠200mg「JG」		○	○	○
621529501	シプロフロキサシン錠200mg「TCK」			○	○
616290156	シプロキサシン錠200mg	○	○	○	○
621489601	シプロフロキサシン錠200mg「日医工」		○	○	○
621489502	シプロフロキサシン錠200mg「トーワ」		○	○	○

レセプト電算コード	シロフロキサシン錠200mg「SW」 名称 バレオン錠200mg	2010	2012	2014	2016
610407158		○	○	○	○
616290170	バレオンカプセル100mg	○	○	○	○
621971501	オゼックス細粒小児用15%	○	○	○	○
622410601	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「タカタ」			○	○
622413901	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「トーワ」			○	○
622420701	トスフロキサシントシル酸塩小児用細粒15%「明治」			○	○
622481701	トスフロキサシントシル酸塩細粒小児用15%「TCK」				○
616290166	オゼックス錠75	○	○	○	○
616290168	トスキサシン錠75mg	○	○	○	○
621952101	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「NP」	○	○	○	○
621931101	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「TCK」	○	○	○	○
621953501	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「TYK」	○	○	○	○
621940001	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「YD」	○	○	○	○
621963301	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サワイ」	○	○	○	○
621963401	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サンド」	○	○	○	○
621935301	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「タイヨー」	○	○	○	○
621956201	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「タナベ」	○	○	○	○
621963501	トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「日医工」	○	○	○	○
616290167	オゼックス錠150	○	○	○	○
616290169	トスキサシン錠150mg	○	○	○	○
621952201	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「NP」	○	○	○	○
621931201	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「TCK」	○	○	○	○
621953601	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「TYK」	○	○	○	○
621940101	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「YD」	○	○	○	○
621963601	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「サワイ」	○	○	○	○
621963701	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「サンド」	○	○	○	○
621935401	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「タイヨー」	○	○	○	○
621956301	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「タナベ」	○	○	○	○
621963801	トスフロキサシントシル酸塩錠150mg「日医工」	○	○	○	○
621925901	クラビット細粒10%	○	○	○	○
622371001	レボフロキサシン細粒10%「DSEP」			○	○
622383001	レボフロキサシン錠250mg「サンド」			○	
622387801	レボフロキサシン錠250mg「日医工P」			○	
622391701	レボフロキサシン錠250mg「ニプロ」			○	
622395201	レボフロキサシン錠250mg「アメル」			○	
621925701	クラビット錠250mg	○	○	○	○
622386101	レボフロキサシン錠250mg「CEO」			○	○
622379101	レボフロキサシン錠250mg「CH」			○	○
622370801	レボフロキサシン錠250mg「DSEP」			○	○
622394001	レボフロキサシン錠250mg「F」			○	○
622400801	レボフロキサシン錠250mg「MEEK」			○	○
622386801	レボフロキサシン錠250mg「TCK」			○	○
622367801	レボフロキサシン錠250mg「YD」			○	○
622376301	レボフロキサシン錠250mg「ZE」			○	○

622409701 622389401	電算コード レボフロキサシン錠250mg レボフロキサシン錠250mg	レボフロキサシン錠250mg「イセイ」 レボフロキサシン錠250mg「イワキ」	2010	2012	2014	2016
622380301		レボフロキサシン錠250mg「オーハラ」			○	○
622395901		レボフロキサシン錠250mg「科研」			○	○
622365901		レボフロキサシン錠250mg「杏林」			○	○
622388801		レボフロキサシン錠250mg「ケミファ」			○	○
622392301		レボフロキサシン錠250mg「サトウ」			○	○
622383501		レボフロキサシン錠250mg「サノフィ」			○	○
622391101		レボフロキサシン錠250mg「サワイ」			○	○
622377901		レボフロキサシン錠250mg「タカタ」			○	○
622380001		レボフロキサシン錠250mg「タナベ」			○	○
622394401		レボフロキサシン錠250mg「テバ」			○	○
622372801		レボフロキサシン錠250mg「トーワ」			○	○
622384801		レボフロキサシン錠250mg「ニッター」			○	○
622382001		レボフロキサシン錠250mg「ファイザー」			○	○
622369001		レボフロキサシン錠250mg「明治」			○	○
622435301		レボフロキサシン錠250mg「SUN」			○	○
622436801		レボフロキサシン錠250mg「日医工」			○	○
622383101		レボフロキサシン錠500mg「サンド」			○	
622391801		レボフロキサシン錠500mg「ニプロ」			○	
622395301		レボフロキサシン錠500mg「アメル」			○	
622435401		レボフロキサシン錠500mg「SUN」			○	
621925801		クラビット錠500mg	○	○	○	○
622386201		レボフロキサシン錠500mg「CEO」			○	○
622379201		レボフロキサシン錠500mg「CH」			○	○
622370901		レボフロキサシン錠500mg「DSEP」			○	○
622394101		レボフロキサシン錠500mg「F」			○	○
622401001		レボフロキサシン錠500mg「MEEK」			○	○
622386901		レボフロキサシン錠500mg「TCK」			○	○
622367901		レボフロキサシン錠500mg「YD」			○	○
622376401		レボフロキサシン錠500mg「ZE」			○	○
622400901		レボフロキサシン錠500mg「イセイ」			○	○
622389501		レボフロキサシン錠500mg「イワキ」			○	○
622380401		レボフロキサシン錠500mg「オーハラ」			○	○
622396001		レボフロキサシン錠500mg「科研」			○	○
622366001		レボフロキサシン錠500mg「杏林」			○	○
622388901		レボフロキサシン錠500mg「ケミファ」			○	○
622392401		レボフロキサシン錠500mg「サトウ」			○	○
622383601		レボフロキサシン錠500mg「サノフィ」			○	○
622391201		レボフロキサシン錠500mg「サワイ」			○	○
622378001		レボフロキサシン錠500mg「タカタ」			○	○
622380101		レボフロキサシン錠500mg「タナベ」			○	○
622394501		レボフロキサシン錠500mg「テバ」			○	○
622372901		レボフロキサシン錠500mg「トーワ」			○	○
622387901		レボフロキサシン錠500mg「日医工P」			○	○

622384901 622382101	電算コード レボフロキサシン錠500mg「ニッター」 レボフロキサシン錠500mg「ファイザー」	2010	2012	2014	2016
622369101	レボフロキサシン錠500mg「明治」			○	○
622436901	レボフロキサシン錠500mg「日医工」			○	○
622372601	レボフロキサシンOD錠250mg「トーワ」			○	○
622372701	レボフロキサシンOD錠500mg「トーワ」			○	○
622368201	レボフロキサシン粒状錠250mg「モチダ」			○	○
622368301	レボフロキサシン粒状錠500mg「モチダ」			○	○
622372501	レボフロキサシン内用液250mg「トーワ」			○	○
610462041	スオード錠100	○	○	○	○
620003125	アベロックス錠400mg	○	○	○	○
620005822	ジェニナック錠200mg	○	○	○	○
620006774	グレースビット細粒10%	○	○	○	○
620006773	グレースビット錠50mg	○	○	○	○
620000446	シプロキサ注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注300mg / 150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサ注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シプロフロキサシン点滴静注200mg / 100mL「明治」	○	○	○	○
620009548	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「NP」	○	○	○	○
620009549	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シプロフロキサシンDU点滴静注300mg / 250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサ注400mg			○	○
640462032	パシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	パシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	パシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg / 200mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○
610451000	ザイボックス錠600mg	○	○	○	○
622461001	リネズリド錠600mg「明治」			○	○
640451010	ザイボックス注射液600mg	○	○	○	○

品名コード	名称	2010	2012	2014	2016
62213901	フルリド点滴静注液600mg「明治」				
620004450	アンコチル錠500mg	○	○	○	○
616290164	ジフルカンカプセル500mg	○	○	○	○
620000121	フルコナゾールカプセル500mg「F」	○	○	○	○
620002804	フルコナゾールカプセル500mg「アメル」	○	○	○	○
621688201	フルコナゾールカプセル500mg「サワイ」	○	○	○	○
622070301	フルコナゾールカプセル500mg「JG」	○	○	○	○
621530003	フルコナゾールカプセル500mg「サンド」			○	○
621569001	フルコナゾールカプセル500mg「日医工」			○	○
621531201	フルコナゾールカプセル500mg「タカタ」			○	○
616290165	ジフルカンカプセル1000mg	○	○	○	○
620000122	フルコナゾールカプセル1000mg「F」	○	○	○	○
620002805	フルコナゾールカプセル1000mg「アメル」	○	○	○	○
621639401	フルコナゾールカプセル1000mg「サワイ」	○	○	○	○
622070401	フルコナゾールカプセル1000mg「JG」	○	○	○	○
621530103	フルコナゾールカプセル1000mg「サンド」			○	○
621569101	フルコナゾールカプセル1000mg「日医工」			○	○
621531301	フルコナゾールカプセル1000mg「タカタ」			○	○
622139201	ジフルカンドライシロップ3500mg		○	○	○
622139301	ジフルカンドライシロップ1400mg		○	○	○
620007077	フロリードゲル経口用2%	○	○	○	○
620001958	イトラコナゾール錠50「MEEK」	○	○	○	○
620007914	イトラコナゾール錠500mg「科研」	○	○	○	○
621636802	イトラコナゾール錠500mg「日医工」		○	○	○
620001959	イトラコナゾール錠100「MEEK」	○	○	○	○
621746701	イトラコナゾール錠1000mg「日医工」		○	○	○
620007915	イトラコナゾール錠200「MEEK」	○	○	○	○
616290177	イトリゾールカプセル50	○	○	○	○
621629201	イトラコナゾールカプセル500mg「SW」			○	○
620004349	イトリゾール内用液1%	○	○	○	○
610412199	ラミシール錠125mg	○	○	○	○
620003950	ケルガー錠125mg	○	○	○	○
620003987	テビーナ錠125mg	○	○	○	○
620003988	テビナシール錠125mg	○	○	○	○
620003989	テルビー錠125mg	○	○	○	○
620003995	テルビナフィン錠125mg「CH」	○	○	○	○
620003993	テルビナフィン錠125mg「F」	○	○	○	○
620003990	テルビナフィン錠125「MEEK」	○	○	○	○
620003990	テルビナフィン錠125mg「MEEK」	○	○	○	○
620003992	テルビナフィン錠125mg「NP」	○	○	○	○
620003991	テルビナフィン錠125「TCK」	○	○	○	○
620003998	テルビナフィン錠125mg「YD」	○	○	○	○
620003994	テルビナフィン錠125mg「サンド」	○	○	○	○
620003996	テルビナフィン錠125mg「タイヨー」	○	○	○	○
620004001	テルミシール錠125mg	○	○	○	○

621070H9電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620004094	リプノール錠 12.5mg	○	○	○	○
620008028	テルビナフィン錠 12.5mg 「タナベ」	○	○	○	○
621746301	テルビナフィン錠 12.5mg 「ケミファ」		○	○	○
621732101	テルビナフィン錠 12.5mg 「日医工」		○	○	○
622244201	テルビナフィン錠 12.5mg 「ファイザー」		○	○	○
621726702	テルビナフィン錠 12.5mg 「サワイ」		○	○	○
621748401	テルビナフィン錠 12.5mg 「トーワ」			○	○
622136101	サムチレール内用懸濁液 15%		○	○	○
621355101	ダイフェン配合顆粒		○	○	
621148101	バクタ配合顆粒	○	○	○	○
621148201	バクトラミン配合顆粒	○	○	○	○
621148801	ダイフェン配合錠	○	○	○	○
621148901	バクタ配合錠	○	○	○	○
621149001	バクトラミン配合錠	○	○	○	○
620006311	フロリードF注200mg	○	○	○	○
620003726	ジフルカン静注液50mg	○	○	○	○
622056701	フルコナゾール静注50mg 「トーワ」	○	○	○	○
622053301	フルコナゾール静注液50mg 「サワイ」	○	○	○	○
622073601	フルコナゾール静注液50mg 「日医工」	○	○	○	○
621539701	フルコナゾール静注液50mg 「イセイ」		○	○	○
621544402	フルコナゾール静注液50mg 「タカタ」			○	○
620003727	ジフルカン静注液100mg	○	○	○	○
620007481	フルコナゾール静注100mg 「トーワ」	○	○	○	○
620008922	フルコナゾール静注液100mg 「サワイ」	○	○	○	○
621569201	フルコナゾール静注液100mg 「日医工」		○	○	○
621539801	フルコナゾール静注液100mg 「イセイ」		○	○	○
621554502	フルコナゾール静注液100mg 「タカタ」			○	○
620009582	フルコナゾール静注液200mg 「マイラン」		○	○	○
621539901	フルコナゾール静注液200mg 「イセイ」		○	○	○
620003728	ジフルカン静注液200mg	○	○	○	○
620007482	フルコナゾール静注200mg 「トーワ」	○	○	○	○
620008923	フルコナゾール静注液200mg 「サワイ」	○	○	○	○
621569301	フルコナゾール静注液200mg 「日医工」		○	○	○
621554602	フルコナゾール静注液200mg 「タカタ」			○	○
620000295	フルコナゾール静注液0.2% 「F」	○	○	○	○
621541601	フルコナゾール静注液100mg 「テバ」		○	○	○
621543302	フルコナゾール静注100mg 「NP」		○	○	○
621541701	フルコナゾール静注液200mg 「テバ」		○	○	○
620000296	フルコナゾール静注液0.2% 「F」	○	○	○	○
621543402	フルコナゾール静注200mg 「NP」		○	○	○
620000294	フルコナゾール静注液0.1% 「F」	○	○	○	○
621543201	フルコナゾール静注50mg 「NP」		○	○	○
620000437	プロジフ静注液100	○	○	○	○
620000438	プロジフ静注液200	○	○	○	○

62000439電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620004424	イトリゾール注1%	○	○	○	○
621150001	エンペシドトローチ10mg	○	○	○	○
620005834	ベセルナクリーム5%	○	○	○	○
622365201	クレナフィン爪外用液10%			○	○
622471601	ルコナック爪外用液5%				○
621166401	チニダゾール錠200mg「F」		○	○	○
621166501	チニダゾール錠500mg「F」		○	○	○
620006817	アズゾール錠250mg	○	○	○	○
620007057	フラゾール内服錠250mg	○	○	○	○
620002484	メファキン「ヒサミツ」錠275	○	○	○	○
622224801	アマパロモカブセル250mg		○	○	○
622500501	プリマキン錠15mg「サノフィ」				○
622225701	マラロン配合錠		○	○	○
622500601	マラロン小児用配合錠				○
622532901	リアメット配合錠				○
621167101	ベナンボックス注用300mg	○	○	○	○
622364001	アネメトロ点滴静注液500mg			○	○
646410002	バクタミン注	○	○	○	○
640463089	注射用ペニシリンGカリウム20万単位	○	○	○	○
620000427	注射用ペニシリンGカリウム100万単位	○	○	○	○
620003811	ペランコシン注300mg		○	○	
620007537	リズピオン注300mg		○	○	○
621062901	リンコマイシン塩酸塩注300mg「NP」		○	○	○
620006341	リンコシン注射液300mg	○	○	○	○
620003812	ペランコシン注600mg		○	○	
620007538	リズピオン注600mg		○	○	○
621380904	リンコマイシン塩酸塩注600mg「NP」		○	○	○
621380908	リンコマイシン塩酸塩注射液600mg「日医工」		○	○	○
620006342	リンコシン注射液600mg	○	○	○	○
620004196	ペランコシン注1g		○	○	
620004197	ペランコシン注1.5g	○	○	○	
620006344	リンコシン注射液1.5g	○	○	○	○
620006343	リンコシン注射液1g	○	○	○	○
620006261	ダラシンS注射液300mg	○	○	○	○
620008810	クリンダマイシン注射液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
621064601	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「サワイ」	○	○	○	○
622111302	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「トーワ」		○	○	○
621064701	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「F」			○	○
621064501	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「NP」			○	○
620006262	ダラシンS注射液600mg	○	○	○	○
620008811	クリンダマイシン注射液600mg「タイヨー」	○	○	○	○
621065101	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「サワイ」	○	○	○	○
621065201	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「トーワ」		○	○	○
621065301	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「F」			○	○

62148700 電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620006226	クリンダマイシン注300mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620006227	クリンダマイシン注600mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g（シオノギ）	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
621876001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「ケミファ」	○	○	○	
620004729	ハベカシン注射液75mg	○	○	○	○
620009511	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「HK」	○	○	○	○
621735001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「テバ」			○	○
621066501	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「ケミファ」	○	○	○	
620004730	ハベカシン注射液100mg	○	○	○	○
620009512	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「HK」	○	○	○	○
621066401	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「テバ」			○	○
621924501	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「ケミファ」	○	○	○	
620004728	ハベカシン注射液25mg	○	○	○	○
620009509	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「HK」	○	○	○	○
621896701	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「テバ」			○	○
621950502	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「ケミファ」	○	○	○	
620007432	ハベカシン注射液200mg	○	○	○	○
621955601	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「HK」	○	○	○	○
621936302	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「テバ」			○	○
620004709	注射用タゴシッド200mg	○	○	○	○
620008212	テイコブラニン点滴静注用200mg「NP」	○	○	○	○
620008213	テイコブラニン点滴静注用200mg「日医工」	○	○	○	○
620008532	テイコブラニン点滴静注用200mg「F」	○	○	○	○
620008531	テイコブラニン点滴静注用200mg「HK」	○	○	○	○
620008533	テイコブラニン点滴静注用200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008535	テイコブラニン点滴静注用200mg「トーワ」	○	○	○	○
620009572	テイコブラニン点滴静注用200mg「TYK」	○	○	○	○
620009571	テイコブラニン点滴静注用200mg「サワイ」	○	○	○	○
621995201	テイコブラニン点滴静注用200mg「サンド」	○	○	○	○
622227801	テイコブラニン点滴静注用200mg「明治」		○	○	○

621901402 621884501	電算コード	名称 テイコブラニン点滴静注用200mg「ファイザー」 テイコブラニン点滴静注用200mg「テバ」	2010	2012	2014	2016
620009574		テイコブラニン点滴静注用400mg「F」	○	○	○	○
622216601		テイコブラニン点滴静注用400mg「NP」		○	○	○
622207201		テイコブラニン点滴静注用400mg「日医工」		○	○	○
622227901		テイコブラニン点滴静注用400mg「明治」		○	○	○
622338101		テイコブラニン点滴静注用400mg「トーワ」			○	○
622085501		キュビシン静注用350mg	○	○	○	○
640462005		注射用シナシッド	○	○	○	○
646130274		アザクタム注射用0.5g	○	○	○	○
646130275		アザクタム注射用1g	○	○	○	○
640453139		トブラシン注小児用100mg	○	○	○	○
640453140		トブラシン注600mg	○	○	○	○
646120062		トブラシン注900mg	○	○	○	○
620003676		アミカシン硫酸塩注射液100mg「サワイ」		○	○	○
620004178		プルテツシン注射液100mg		○	○	
620006356		ロミカシン注射液100mg		○	○	
621069302		アミカシン硫酸塩注射液100mg「N i k P」		○	○	○
621069501		アミカシン硫酸塩注射液100mg「F」			○	○
620003190		アミカマイシン注射液100mg	○	○	○	○
621069402		アミカシン硫酸塩注射液100mg「日医工」	○	○	○	○
621069001		アミカシン硫酸塩注100mg「NP」		○	○	○
620003677		アミカシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
620003797		プルテツシン注射液200mg	○	○	○	
620006651		ロミカシン注射液200mg	○	○	○	
621070102		アミカシン硫酸塩注射液200mg「N i k P」		○	○	○
621070301		アミカシン硫酸塩注射液200mg「F」			○	○
620003191		アミカマイシン注射液200mg	○	○	○	○
621070202		アミカシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621069701		アミカシン硫酸塩注200mg「NP」		○	○	○
621070602		アミカシン硫酸塩注射用100mg「日医工」	○	○	○	○
621070902		アミカシン硫酸塩注射用200mg「日医工」	○	○	○	○
640453078		シオセシン注射液200	○	○	○	○
620003198		エクサシン注射液200	○	○	○	○
620003193		イセパシン注射液200	○	○	○	○
620005641		イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621604701		イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
646120080		イセパシン注射液400	○	○	○	○
646120081		エクサシン注射液400	○	○	○	○
640453079		シオセシン注射液400	○	○	○	○
620005642		イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「日医工」	○	○	○	○
621695601		イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「サワイ」		○	○	○
620009196		トロビシン筋注用2g	○	○	○	○
622415701		オールドレブ点滴静注用150mg			○	○
622199101		タイガシル点滴静注用500mg		○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621076601	ピクシリン注射用●. 2.5g	○	○	○	○
621076801	ピクシリン注射用●. 5g	○	○	○	○
621077201	ピクシリン注射用 1g	○	○	○	○
621077501	ピクシリン注射用 2g	○	○	○	○
621078403	ピペラシリンナトリウム注射用 1g 「日医工」		○	○	
646130136	ペントシリン注射用 1g	○	○	○	○
620007456	ピペユンシン注射用 1g	○	○	○	○
621078301	ピペラシリンNa注射用 1g 「サワイ」		○	○	○
621078103	ピペラシリンNa注射用 1g 「テバ」		○	○	○
621078601	ピペラシリンNa注射用 1g 「トーワ」		○	○	○
621342601	ピペラシリンNa注射用 1g 「SN」			○	○
621079203	ピペラシリンナトリウム注射用 2g 「日医工」		○	○	
646130137	ペントシリン注射用 2g	○	○	○	○
620007457	ピペユンシン注射用 2g	○	○	○	○
621079101	ピペラシリンNa注射用 2g 「サワイ」		○	○	○
621078903	ピペラシリンNa注射用 2g 「テバ」		○	○	○
621079401	ピペラシリンNa注射用 2g 「トーワ」		○	○	○
621342802	ピペラシリンNa注射用 2g 「SN」			○	○
622079701	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ 1g 「NP」	○	○	○	
640462059	ペントシリン静注用 1g バッグ	○	○	○	○
622079801	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ 2g 「NP」	○	○	○	
640462060	ペントシリン静注用 2g バッグ	○	○	○	○
646130121	パンスポリン筋注用●. 2.5g	○	○	○	○
646130110	ハロスポア静注用●. 2.5g	○	○	○	○
646130122	パンスポリン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620004140	セファピコール静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620007293	ケミスポリン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
621989702	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5g 「日医工」		○	○	○
621987602	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5g 「NP」		○	○	○
621924001	セフォチアム塩酸塩静注用●. 2.5g 「SN」			○	○
646130111	ハロスポア静注用●. 5g	○	○	○	○
646130123	パンスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
620004141	セファピコール静注用●. 5g	○	○	○	○
620007294	ケミスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
621989802	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g 「日医工」		○	○	○
621344901	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g 「NP」		○	○	○
621924101	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g 「SN」			○	○
646130112	ハロスポア静注用 1g	○	○	○	○
646130124	パンスポリン静注用 1g	○	○	○	○
620003732	セファピコール静注用 1g	○	○	○	○
620007295	ケミスポリン静注用 1g	○	○	○	○
621345002	セフォチアム塩酸塩静注用 1g 「日医工」		○	○	○
621345301	セフォチアム塩酸塩静注用 1g 「NP」		○	○	○
621095002	セフォチアム塩酸塩静注用 1g 「SN」			○	○
640408149	パンスポリン静注用 1g バッグS	○	○	○	○

62009563 セファゾン電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	セフォチアム静注用1gバッグ「日医工」				
621540002	セフォチアム塩酸塩点滴静注用1gバッグ「NP」		○	○	○
640408148	パンスポリン静注用1gバッグG	○	○	○	○
620003735	セファメジンα注射用●. 2.5g	○	○	○	○
622104201	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
622130801	セファゾリンナトリウム注射用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622177601	トキオ注射用●. 2.5g		○	○	○
622124902	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「NP」			○	○
622033402	セファゾリンNa注射用●. 5g「NP」			○	○
622104301	セファゾリンNa注射用●. 5g「タイヨー」		○	○	○
622177701	トキオ注射用●. 5g		○	○	○
620003736	セファメジンα注射用●. 5g	○	○	○	○
621096002	セファゾリンナトリウム注射用●. 5g「日医工」		○	○	○
620003737	セファメジンα注射用1g	○	○	○	○
621096701	トキオ注射用1g	○	○	○	○
621096503	セファゾリンNa注射用1g「タイヨー」	○	○	○	○
621096802	セファゾリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	○
621096601	セファゾリンNa注射用1g「NP」			○	○
620003738	セファメジンα注射用2g	○	○	○	○
621097303	セファゾリンNa注射用2g「タイヨー」	○	○	○	○
622177801	トキオ注射用2g		○	○	○
621097602	セファゾリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	○
621097401	セファゾリンNa注射用2g「NP」			○	○
620003733	セファメジンα筋注用●. 2.5g	○	○	○	○
620003734	セファメジンα筋注用●. 5g	○	○	○	○
620003740	セファメジンα点滴用キット2g	○	○	○	○
620003739	セファメジンα点滴用キット1g	○	○	○	○
620007318	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「オーツカ」	○	○	○	○
621757001	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「NP」			○	○
620005674	コアキシシ注射用1g	○	○	○	○
620005675	コアキシシ注射用2g	○	○	○	○
646130072	セフメタゾン筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130073	セフメタゾン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622125001	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「NP」	○	○	○	○
622131001	セフメタゾールナトリウム静注用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622111501	リリアジン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622104002	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「テバ」			○	○
646130074	セフメタゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
621987501	セフメタゾールNa静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
622131101	セフメタゾールナトリウム静注用●. 5g「日医工」	○	○	○	○
622111601	リリアジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622104102	セフメタゾールNa静注用●. 5g「テバ」			○	○
646130075	セフメタゾン静注用1g	○	○	○	○
620006243	セフメタゾールNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
620007540	リリアジン静注用1g	○	○	○	○

621103102 シセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621101803	セフメタゾールナトリウム静注用 1 g 「日医工」			○	○
646130076	セフメタゾン静注用 2 g	○	○	○	○
620006244	セフメタゾールN a 静注用 2 g 「NP」	○	○	○	○
620007541	リリアジン静注用 2 g	○	○	○	○
621102802	セフメタゾールナトリウム静注用 2 g 「日医工」		○	○	○
621101903	セフメタゾールN a 静注用 2 g 「テバ」			○	○
640470010	セフメタゾンキット点滴静注用 1 g	○	○	○	○
620004151	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 1 g 「NP」	○	○	○	○
621951701	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 2 g 「NP」	○	○	○	○
640454018	セフォタックス注射用●. 5 g	○	○	○	○
620004652	クラフォラン注射用●. 5 g	○	○	○	○
640454019	セフォタックス注射用 1 g	○	○	○	○
620004653	クラフォラン注射用 1 g	○	○	○	○
646130067	セフォビッド注射用 1 g	○	○	○	○
646130071	セフォペラジン注射用 1 g	○	○	○	○
646130132	ベストコール筋注用●. 5 g	○	○	○	○
646130133	ベストコール静注用●. 5 g	○	○	○	○
646130134	ベストコール静注用 1 g	○	○	○	○
620002999	モダケミン静注用●. 5 g	○	○	○	○
620003827	モダシン静注用●. 5 g	○	○	○	○
620006701	セフトタジジム静注用●. 5 g 「マイラン」	○	○	○	○
621967001	セフトタジジム静注用●. 5 g 「サンド」	○	○	○	○
621936401	セフトタジジム静注用●. 5 g 「タイヨー」	○	○	○	○
622052901	セフトタジジム静注用●. 5 g 「サワイ」	○	○	○	○
622124801	セフトタジジム静注用●. 5 g 「NP」	○	○	○	○
621756202	セフトタジジム静注用●. 5 g 「日医工」		○	○	○
621755802	セフトタジジム静注用●. 5 g 「SN」			○	○
620003000	モダケミン静注用 1 g	○	○	○	○
620003001	モベンゾシン静注用 1 g	○	○	○	○
620003828	モダシン静注用 1 g	○	○	○	○
620005676	セフトタジジム静注用 1 g 「NP」	○	○	○	○
620006702	セフトタジジム静注用 1 g 「マイラン」	○	○	○	○
621967101	セフトタジジム静注用 1 g 「サンド」	○	○	○	○
621703001	セフトタジジム静注用 1 g 「サワイ」	○	○	○	○
621756502	セフトタジジム静注用 1 g 「日医工」		○	○	○
621755902	セフトタジジム静注用 1 g 「SN」			○	○
646130268	ロセフィン静注用●. 5 g	○	○	○	○
640463134	リアソフィン静注用●. 5 g	○	○	○	○
620009566	セフキソン静注用●. 5 g	○	○	○	○
620009567	セフトリアキソンN a 静注用●. 5 g 「サンド」	○	○	○	○
621987301	セフトリアキソンナトリウム静注用●. 5 g 「NP」	○	○	○	○
621967202	セフトリアキソンN a 静注用●. 5 g 「サワイ」		○	○	○
621538203	セフトリアキソンナトリウム静注用●. 5 g 「日医工」		○	○	○
622077302	セフトリアキソンN a 静注用●. 5 g 「ファイザー」		○	○	○

21836501 セフト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
646130269	セフトリアキソンNa静注用●. 5g「テバ」 ロセフィン静注用1g	○	○	○	○
640463135	リアソフィン静注用1g	○	○	○	○
640463080	セフキソン静注用1g	○	○	○	○
620009568	セフトリアキソンNa静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621987401	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「NPJ」	○	○	○	○
621488601	セフトリアキソンNa静注用1g「サワイ」		○	○	○
621538303	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	○
621555202	セフトリアキソンNa静注用1g「ファイザー」		○	○	○
621555101	セフトリアキソンNa静注用1g「テバ」		○	○	○
640470011	ロセフィン点滴静注用1gバッグ	○	○	○	○
620002955	セフトリアキソンナトリウム点滴用1gバッグ「NPJ」	○	○	○	○
622051701	セフトリアキソンナトリウム点滴静注用バッグ1g「ファイザー」	○	○	○	○
620007514	メイセリン静注用1g	○	○	○	○
620004148	セフピロム硫酸塩静注用●. 5g「CMX」	○	○	○	○
620006706	硫酸セフピロム静注用●. 5g「マイラン」	○	○	○	○
620004149	セフピロム硫酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
620006707	硫酸セフピロム静注用1g「マイラン」	○	○	○	○
640407076	注射用マキシピーム●. 5g	○	○	○	○
621966801	セフェピム塩酸塩静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621994601	セフェピム塩酸塩静注用●. 5g「CMX」	○	○	○	○
640407077	注射用マキシピーム1g	○	○	○	○
621966901	セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621994701	セフェピム塩酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
640407080	ファーストシン静注用●. 5g	○	○	○	○
640407081	ファーストシン静注用1g	○	○	○	○
640443046	ファーストシン静注用1gバッグS	○	○	○	○
640443047	ファーストシン静注用1gバッグG	○	○	○	○
646130037	シオマリリン静注用1g	○	○	○	○
646130301	フルマリリン静注用●. 5g	○	○	○	○
646130302	フルマリリン静注用1g	○	○	○	○
640443048	フルマリリンキット静注用1g	○	○	○	○
620005201	パニマイシン注射液5●mg	○	○	○	○
620005202	パニマイシン注射液1●●mg	○	○	○	○
620005180	注射用パニマイシン1●●mg	○	○	○	○
620003780	ビスタマイシン筋注5●●mg	○	○	○	○
620003781	ビスタマイシン筋注1●●●mg	○	○	○	○
646120011	ゲンタシン注1●	○	○	○	○
622037301	ゲンタマイシン硫酸塩注射液1●mg「日医工」	○	○	○	○
622074801	エルタシン注1●mg	○	○	○	○
622074802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液1●mg「F」				○
621111803	ゲンタマイシン硫酸塩注射液4●mg「日医工」		○	○	○
620003210	ゲンタシン注4●	○	○	○	○
620006210	エルタシン注4●mg	○	○	○	○
621111802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液4●mg「F」				○

646129012 レセプト電算コード	6 名称	2010	2012	2014	2016
620006211	ゲンタシン注60 エルタシン注60mg	○	○	○	○
621112004	ゲンタマイシン硫酸塩注射液60mg「日医工」		○	○	○
621112003	ゲンタマイシン硫酸塩注射液60mg「F」				○
621812201	ホスホマイシンナトリウム静注用0.5g「日医工」		○	○	
622104401	フラゼミシン静注用0.5g	○	○	○	
622131501	ホスカリーゼ静注用0.5g	○	○	○	
620003815	ホスミシンS静注用0.5g	○	○	○	○
622079901	ホスホマイシンNa静注用0.5g「NP」		○	○	
622045702	ホスホマイシンNa静注用0.5g「タカタ」		○	○	○
620004750	フラゼミシン静注用1g	○	○	○	
620004767	ホスカリーゼ静注用1g	○	○	○	
621766301	ホスホマイシンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	
620003816	ホスミシンS静注用1g	○	○	○	○
620006316	ホスホマイシンNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
621114602	ホスホマイシンNa静注用1g「タカタ」		○	○	○
620004751	フラゼミシン静注用2g	○	○	○	
620004768	ホスカリーゼ静注用2g	○	○	○	
621766401	ホスホマイシンナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	
620003817	ホスミシンS静注用2g	○	○	○	○
620006317	ホスホマイシンNa静注用2g「NP」	○	○	○	○
621115302	ホスホマイシンNa静注用2g「タカタ」		○	○	○
620007477	フラゼミシン点滴静注用2gキット	○	○	○	○
640451022	ホスミシンSバッグ1g点滴静注用	○	○	○	○
640451023	ホスミシンSバッグ2g点滴静注用	○	○	○	○
620007519	メロペン点滴用バイアル0.25g	○	○	○	○
620009585	メロペネム点滴静注用0.25g「タイヨー」	○	○	○	○
620009586	メロペネム点滴静注用0.25g「日医工」	○	○	○	○
621952301	メロペネム点滴静注用0.25g「NP」	○	○	○	○
621950101	メロペネム点滴静注用0.25g「ケミファ」	○	○	○	○
621967801	メロペネム点滴静注用0.25g「サワイ」	○	○	○	○
621967901	メロペネム点滴静注用0.25g「タナベ」	○	○	○	○
621946701	メロペネム点滴静注用0.25g「トーフ」	○	○	○	○
621947901	メロペネム点滴静注用0.25g「明治」	○	○	○	○
622044201	メロペネム点滴静注用0.25g「ファイザー」	○	○	○	○
620007520	メロペン点滴用バイアル0.5g	○	○	○	○
620009587	メロペネム点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009588	メロペネム点滴静注用0.5g「日医工」	○	○	○	○
621952401	メロペネム点滴静注用0.5g「NP」	○	○	○	○
621950201	メロペネム点滴静注用0.5g「ケミファ」	○	○	○	○
621968001	メロペネム点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
621968101	メロペネム点滴静注用0.5g「タナベ」	○	○	○	○
621946801	メロペネム点滴静注用0.5g「トーフ」	○	○	○	○
621948001	メロペネム点滴静注用0.5g「明治」	○	○	○	○
622044301	メロペネム点滴静注用0.5g「ファイザー」	○	○	○	○

622439001 シード電算コード	メロペネム点滴静注用 1g 「NP」 名称	2010	2012	2014	2016
622419401	メロペネム点滴静注用 1g 「明治」			○	○
620007518	メロペン点滴用キット●, 5g	○	○	○	○
621952501	メロペネム点滴静注用バッグ●, 5g 「NP」	○	○	○	○
621967701	メロペネム点滴静注用バッグ●, 5g 「日医工」	○	○	○	○
621931801	メロペネム点滴静注用バッグ●, 5g 「明治」	○	○	○	○
622471301	メロペネム点滴静注用バッグ 1g 「NP」			○	○
622460901	メロペネム点滴静注用バッグ 1g 「明治」			○	○
640451036	オメガシン点滴用●, 3g	○	○	○	○
640451037	オメガシン点滴用●, 3g バッグ	○	○	○	○
621708501	フィニバックス点滴静注用●, 2.5g	○	○	○	○
622078501	フィニバックス点滴静注用●, 5g	○	○	○	○
621727601	フィニバックス点滴静注用●, 2.5g	○	○	○	○
646130264	スルペラゾン静注用●, 5g	○	○	○	○
620004152	セフロニック静注用●, 5g	○	○	○	○
620007316	スペルゾン静注用●, 5g	○	○	○	○
622083601	スルタムジン静注用●, 5g	○	○	○	○
622099301	セフォセフ静注用●, 5g	○	○	○	○
622130901	セフォン静注用●, 5g	○	○	○	○
622111401	バクフォーゼ静注用●, 5g	○	○	○	○
622080002	ワイスタール配合静注用●, 5g		○	○	○
646130265	スルペラゾン静注用 1g	○	○	○	○
640444050	セフォセフ静注用 1g	○	○	○	○
640444051	セフォン静注用 1g	○	○	○	○
640444071	バクフォーゼ静注用 1g	○	○	○	○
640453097	スルタムジン静注用 1g	○	○	○	○
620003742	セフロニック静注用 1g	○	○	○	○
620007317	スペルゾン静注用 1g	○	○	○	○
621347901	ワイスタール配合静注用 1g		○	○	○
621116801	スルペラゾン点滴静注用 1g	○	○	○	○
621441901	ワイスタール配合点滴静注用 1g バッグ		○	○	○
620004108	インダスト点滴静注用●, 2.5g	○	○	○	○
620007364	チエナム点滴静注用●, 2.5g	○	○	○	○
620008211	チエペネム点滴静注用●, 2.5g	○	○	○	○
622010201	チエクール点滴用●, 2.5g	○	○	○	○
622127601	イミペネム・シラスタチン点滴用●, 2.5g 「サンド」	○	○	○	○
622172601	イミスタン点滴静注用●, 2.5g		○	○	○
620003703	インダスト点滴静注用●, 5g	○	○	○	○
620004106	イミスタン点滴静注用●, 5g	○	○	○	○
620004155	チエクール点滴用●, 5g	○	○	○	○
620004707	チエペネム点滴静注用●, 5g	○	○	○	○
620005643	イミペネム・シラスタチン点滴用●, 5g 「サンド」	○	○	○	○
620007365	チエナム点滴静注用●, 5g	○	○	○	○
620007362	チエナム筋注用●, 5g	○	○	○	○
620007363	チエナム点滴静注用キット●, 5g	○	○	○	○

646130368 646130369 レシド電算コード	カルベニン点滴用●. 2.5g 名称 カルベニン点滴用●. 5g	2010	2012	2014	2016
640406222	ユナシン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620003003	ユナスピン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004132	スルバクシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004134	スルバシリン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620005874	ピスルシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620009560	スルバクタム・アンピシリン静注用●. 7.5g「サンド」	○	○	○	○
622118402	ピシリバクタ静注用●. 7.5g	○	○	○	○
622100601	ユーシオン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
640406223	ユナシン - S 静注用 1. 5g	○	○	○	○
620002977	ピシリバクタ静注用 1. 5g	○	○	○	○
620003002	ユーシオン - S 静注用 1. 5g	○	○	○	○
620003004	ユナスピン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620004133	スルバクシン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620004135	スルバシリン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620005875	ピスルシン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620009561	スルバクタム・アンピシリン静注用 1. 5g「サンド」	○	○	○	○
622250001	ユナシン - S 静注用 3g		○	○	○
622419601	スルバシリン静注用 3g			○	○
622408701	ピスルシン静注用 3g			○	○
622464401	スルバクシン静注用 3g			○	○
622467201	ピシリバクタ静注用 3g			○	○
622458201	ユーシオン - S 静注用 3g			○	○
622441301	ユナスピン静注用 3g			○	○
620004775	ユナシン - S キット静注用 1. 5g	○	○	○	○
620004776	ユナシン - S キット静注用 3g	○	○	○	○
620008446	ゾシン静注用 2. 25	○	○	○	○
622441401	タゾピペ配合静注用 2. 25「CHM」			○	○
622464701	タゾピペ配合静注用 2. 25「DK」			○	○
622453701	タゾピペ配合静注用 2. 25「DSEP」			○	○
622450601	タゾピペ配合静注用 2. 25「SN」			○	○
622461801	タゾピペ配合静注用 2. 25「サンド」			○	○
622458801	タゾピペ配合静注用 2. 25「テバ」			○	○
622467001	タゾピペ配合静注用 2. 25「日医工」			○	○
622470601	タゾピペ配合静注用 2. 25「ニプロ」			○	○
622455601	タゾピペ配合静注用 2. 25「ファイザー」			○	○
622460701	タゾピペ配合静注用 2. 25「明治」			○	○
620008447	ゾシン静注用 4. 5	○	○	○	○
622441501	タゾピペ配合静注用 4. 5「CHM」			○	○
622464801	タゾピペ配合静注用 4. 5「DK」			○	○
622453801	タゾピペ配合静注用 4. 5「DSEP」			○	○
622450701	タゾピペ配合静注用 4. 5「SN」			○	○
622461901	タゾピペ配合静注用 4. 5「サンド」			○	○
622458901	タゾピペ配合静注用 4. 5「テバ」			○	○

622467101 622470701	電算コード シロブ タゾピペ配合静注用4.5「日医工」 タゾピペ配合静注用4.5「ニプロ」	2010	2012	2014	2016
622455701	タゾピペ配合静注用4.5「ファイザー」			○	○
622460801	タゾピペ配合静注用4.5「明治」			○	○
622423101	ゾシン配合点滴静注用バッグ4.5			○	○
622454001	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「DSEP」			○	○
622470901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ニプロ」			○	○
622455901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ファイザー」			○	○
622462101	タゾピペ配合点滴静注用4.5バッグ「サンド」			○	○
622453901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「DSEP」			○	○
622470801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ニプロ」			○	○
622455801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ファイザー」			○	○
622462001	タゾピペ配合点滴静注用2.25バッグ「サンド」			○	○
621120001	エリスロシン点滴静注用500mg	○	○	○	○
622085701	ジスロマック点滴静注用500mg	○	○	○	○
621122801	クロロマイセチンサクシネート静注用1g	○	○	○	○
620004770	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「日医工」		○	○	○
620005226	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620007513	ミノマイシン点滴静注用100mg	○	○	○	○
621126801	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「サワイ」		○	○	○
621126501	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「F」			○	○
620003244	硫酸ストレプトマイシン1g注射用「明治」	○	○	○	○
620007375	ツペラクチン筋注用1g	○	○	○	○
620007539	硫酸カナマイシン注射液1000mg「明治」	○	○	○	○
620007467	ファンギゾン注射用500mg	○	○	○	○
620003487	アムビゾーム点滴静注用500mg	○	○	○	○
640462040	ファンガード点滴用500mg	○	○	○	○
640462041	ファンガード点滴用750mg	○	○	○	○
620003489	ファンガード点滴用250mg	○	○	○	○
620002497	ブイフェンド200mg静注用	○	○	○	○
622136201	カンサイダス点滴静注用500mg		○	○	○
622136301	カンサイダス点滴静注用700mg		○	○	○
621131001	注射用ピクシリンS100	○	○	○	○
646190020	注射用ピクシリンS500	○	○	○	○
646190018	注射用ピクシリンS1000	○	○	○	○
620000446	シプロキサ注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注300mg/150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサ注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○

620009204 シロプロロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	シロプロロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	2010	2012	2014	2016
620008205	シロプロロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シロプロロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シロプロロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シロプロロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シロプロロキサシン点滴静注200mg / 100mL「明治」	○	○	○	○
620009548	シロプロロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「NP」	○	○	○	○
620009549	シロプロロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シロプロロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シロプロロキサシンDU点滴静注300mg / 250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサ注400mg			○	○
640462032	パシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	パシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	パシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg / 200mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○
640451010	ザイボックス注射液600mg	○	○	○	○
622419501	リネゾリド点滴静注液600mg「明治」			○	○
620006311	フロリードF注200mg	○	○	○	○
620003726	ジフルカン静注液500mg	○	○	○	○
622056701	フルコナゾール静注500mg「トーワ」	○	○	○	○
622053301	フルコナゾール静注液500mg「サワイ」	○	○	○	○
622073601	フルコナゾール静注液500mg「日医工」	○	○	○	○
621539701	フルコナゾール静注液500mg「イセイ」		○	○	○
621544402	フルコナゾール静注液500mg「タカタ」			○	○
620003727	ジフルカン静注液1000mg	○	○	○	○
620007481	フルコナゾール静注1000mg「トーワ」	○	○	○	○
620008922	フルコナゾール静注液1000mg「サワイ」	○	○	○	○
621569201	フルコナゾール静注液1000mg「日医工」		○	○	○
621539801	フルコナゾール静注液1000mg「イセイ」		○	○	○
621554502	フルコナゾール静注液1000mg「タカタ」			○	○
620009582	フルコナゾール静注液2000mg「マイラン」		○	○	○
621539901	フルコナゾール静注液2000mg「イセイ」		○	○	○
620003728	ジフルカン静注液2000mg	○	○	○	○
620007482	フルコナゾール静注2000mg「トーワ」	○	○	○	○
620008923	フルコナゾール静注液2000mg「サワイ」	○	○	○	○
621569301	フルコナゾール静注液2000mg「日医工」		○	○	○
621554602	フルコナゾール静注液2000mg「タカタ」			○	○
620000295	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621541601	フルコナゾール静注液1000mg「テバ」		○	○	○
621543302	フルコナゾール静注1000mg「NP」		○	○	○
621541701	フルコナゾール静注液2000mg「テバ」		○	○	○

620009296 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621543402	フルコナゾール静注液 2% 「F」		○	○	○
620000294	フルコナゾール静注 2 〇 〇 mg 「NP」				
621543201	フルコナゾール静注液 1% 「F」	○	○	○	○
620000437	フルコナゾール静注 5 〇 mg 「NP」		○	○	○
620000438	プロジフ静注液 1 〇 〇	○	○	○	○
620000439	プロジフ静注液 2 〇 〇	○	○	○	○
620000439	プロジフ静注液 4 〇 〇	○	○	○	○
620004424	イトリゾール注 1%	○	○	○	○
621167101	ベナンボックス注用 3 〇 〇 mg	○	○	○	○
622364001	アネメトロ点滴静注液 5 〇 〇 mg			○	○
646410002	バクタラミン注	○	○	○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン 〇. 5 「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用 〇. 5 g 「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 〇. 5 g 「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 〇. 5 g 「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用 〇. 5 g (シオノギ)	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 〇. 5 g 「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 〇. 5 g 「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用 〇. 5 g 「トーフ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 〇. 5 g 「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 〇. 5 g 「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 〇. 5 g 「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン 1. 〇 「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 1 g 「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 1. 〇 g 「MEEK」			○	○
620000446	シプロキサシン注 3 〇 〇 mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液 3 〇 〇 mg 「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液 3 〇 〇 mg 「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液 3 〇 〇 mg 「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液 3 〇 〇 mg 「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液 3 〇 〇 mg 「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液 3 〇 〇 mg 「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注 3 〇 〇 mg / 15 〇 mL 「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサシン注 2 〇 〇 mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液 2 〇 〇 mg 「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液 2 〇 〇 mg 「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液 2 〇 〇 mg 「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液 2 〇 〇 mg 「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液 2 〇 〇 mg 「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液 2 〇 〇 mg 「日医工」	○	○	○	○
620009558	シプロフロキサシン点滴静注 2 〇 〇 mg / 1 〇 〇 mL 「明治」	○	○	○	○
620009548	シプロフロキサシンDU点滴静注液 3 〇 〇 mg / 25 〇 mL 「NP」	○	○	○	○
620009549	シプロフロキサシンDU点滴静注液 3 〇 〇 mg / 25 〇 mL 「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シプロフロキサシンDU点滴静注液 3 〇 〇 mg / 25 〇 mL 「日医工」	○	○	○	○
620009551	シプロフロキサシンDU点滴静注 3 〇 〇 mg / 25 〇 mL 「明治」	○	○	○	○

2014年の電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621495102	ロキサン注400mg				
640462032	パシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	パシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	パシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg / 20mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1:
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2:
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3:
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。
- 4:
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。
- 5:
本指標は、厚労省の「医療の質の評価・公表等推進事業」により示されたDPCを用いた共通指標の定義を利用している。このうち、いくつか改訂（抗菌薬のコードの見直し）が望ましいものを反映した定義は2119_1として算出を行っているため、併せてご参照ください。

参考値:

参考資料:

- 1:
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 予防的抗菌薬 c. 術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率 (そのほかの心臓手術) (共通定義)

指標番号:

QIP: 2119_w_2

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: 抗菌薬の適正使用

名称: 予防的抗菌薬 c. 術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率 (そのほかの心臓手術) (共通定義)

意義: 手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

必要データセット: Fファイル

定義の要約:

分母: 入院手術件数 (そのほかの心臓手術)

分子: 分母のうち術後2日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間のDPCデータのうち、Fファイルを対象とする。

2:
下記に該当する手術を分母とする。

分母のデータ2

レセプト電算コード	名称
150317510	同種死体肺移植術
150319010	心室中隔穿孔閉鎖術 (単独)
150319110	心室中隔穿孔閉鎖術 (冠動脈血行再建術 (1吻合) を伴う)
150141010	弁形成術 (1弁)
150279510	弁形成術 (2弁)
150279610	弁形成術 (3弁)
150141410	弁置換術 (1弁)
150141610	弁置換術 (2弁)
150141710	弁置換術 (3弁)
150387210	経カテーテル大動脈弁置換術 (経心尖大動脈弁置換術)
150387310	経カテーテル大動脈弁置換術 (経皮的大動脈弁置換術)
150143610	大動脈弁狭窄直視下切開術
150143710	大動脈弁上狭窄手術
150143810	大動脈弁下狭窄切除術
150141510	弁輪拡大術を伴う大動脈弁置換術
150292910	ロス手術 (自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術)
150381650	オープン型ステントグラフト内挿術 (上行・弓部同時、弁置換・形成)
150381750	オープン型ステントグラフト内挿術 (上行・弓部同時、弁・基部置換)
150381850	オープン型ステントグラフト内挿術 (上行・弓部同時、弁温存置換術)
150346410	経皮的大動脈形成術
150320310	三尖弁手術 (エプスタイン氏奇形、ウール氏病手術)

レセプト電算コード	名称
150143910	肺動脈狭窄症手術（右室流出路形成又は肺動脈形成を伴う）
150320510	純型肺動脈弁閉鎖症手術（右室流出路形成又は肺動脈形成を伴う）
150346510	経皮的肺動脈形成術
150145110	肺静脈還流異常症手術（部分肺静脈還流異常）
150376210	肺静脈還流異常症手術（総肺静脈還流異常）（心臓型）
150376310	肺静脈還流異常症手術（総肺静脈還流異常）（その他）
150139610	心房中隔欠損作成術（経皮的心房中隔欠損作成術（ラッシュキンド法））
150142410	心房中隔欠損作成術（心房中隔欠損作成術）
150141810	心房中隔欠損閉鎖術（単独）
150141910	心房中隔欠損閉鎖術（肺動脈弁狭窄を合併する）
150320610	経皮的心房中隔欠損閉鎖術
150142050	三心房心手術
150142110	心室中隔欠損閉鎖術（単独）
150142210	心室中隔欠損閉鎖術（肺動脈絞扼術後肺動脈形成を伴う）
150142310	心室中隔欠損閉鎖術（大動脈弁形成を伴う）
150142810	心室中隔欠損閉鎖術（右室流出路形成を伴う）
150144010	バルサルバ洞動脈瘤手術（単独）
150320710	バルサルバ洞動脈瘤手術（大動脈閉鎖不全症手術を伴う）
150147410	不完全型房室中隔欠損症手術（心房中隔欠損パッチ閉鎖術（単独））
150147510	不完全型房室中隔欠損症手術（心房中隔欠損パッチ閉鎖及び弁形成術）
150320810	完全型房室中隔欠損症手術（心房及び心室中隔欠損パッチ閉鎖術）
150320910	完全型房室中隔欠損症手術（ファロー四徴症手術を伴う）
150146510	ファロー四徴症手術（右室流出路形成術を伴う）
150146610	ファロー四徴症手術（末梢肺動脈形成術を伴う）
150146910	両大血管右室起始症手術（単独）
150146810	両大血管右室起始症手術（右室流出路形成を伴う）
150321310	両大血管右室起始症手術（タウシヒ・ビング奇形手術）
150142510	大血管転位症手術（マスタート・セニング手術）
150145310	大血管転位症手術（ジャテン手術）
150139510	大血管転位症手術（心室中隔欠損閉鎖術を伴う）
150147010	大血管転位症手術（ラステリ手術を伴う）
150321410	修正大血管転位症手術（心室中隔欠損パッチ閉鎖術）
150321510	修正大血管転位症手術（根治手術（ダブルスイッチ手術））
150147310	総動脈幹症手術
150141310	三尖弁閉鎖症手術（両方向性グレン手術）
150321910	単心室症手術（フォンタン手術）
150146710	単心室症手術（心室中隔造成術）
150321710	三尖弁閉鎖症手術（心室中隔造成術）

分子の定義:

1:

手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。

(ア) 術後2日目は手術日+2の日付とする。（例：手術日が4月2日の場合4月4日を検索）

(イ) 予防的抗菌薬は下記に該当するものとする。

分子のデータ1

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016

620005060 レセプト電算コード	ペニシリンG顆粒4万単位 名称	2010	2012	2014	2016
640463089	注射用ペニシリンGカリウム2万単位	○	○	○	○
620000427	注射用ペニシリンGカリウム1万単位	○	○	○	○
620006026	ダラシンカプセル75mg	○	○	○	○
620006027	ダラシンカプセル150mg	○	○	○	○
620006165	リンコシンカプセル250mg	○	○	○	○
620003811	ペランコシン注300mg		○	○	
620007537	リズピオン注300mg		○	○	○
621062901	リンコマイシン塩酸塩注300mg「NP」		○	○	○
620006341	リンコシン注射液300mg	○	○	○	○
620003812	ペランコシン注600mg		○	○	
620007538	リズピオン注600mg		○	○	○
621380904	リンコマイシン塩酸塩注600mg「NP」		○	○	○
621380908	リンコマイシン塩酸塩注射液600mg「日医工」		○	○	○
620006342	リンコシン注射液600mg	○	○	○	○
620004196	ペランコシン注1g		○	○	
620004197	ペランコシン注1.5g	○	○	○	
620006344	リンコシン注射液1.5g	○	○	○	○
620006343	リンコシン注射液1g	○	○	○	○
620006261	ダラシンS注射液300mg	○	○	○	○
620008810	クリンダマイシン注射液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
621064601	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「サワイ」	○	○	○	○
622111302	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「トーワ」		○	○	○
621064701	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「F」			○	○
621064501	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「NP」			○	○
620006262	ダラシンS注射液600mg	○	○	○	○
620008811	クリンダマイシン注射液600mg「タイヨー」	○	○	○	○
621065101	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「サワイ」	○	○	○	○
621065201	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「トーワ」		○	○	○
621065301	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「F」			○	○
621065001	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「NP」			○	○
620006226	クリンダマイシン注300mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620006227	クリンダマイシン注600mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620003894	塩酸バンコマイシン散0.5「MEEK」	○	○	○	○
620006791	塩酸バンコマイシン散0.5g(シオノギ)	○	○	○	○
620008047	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620009408	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621738802	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「ファイザー」			○	○
621731302	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「MEEK」			○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g(シオノギ)	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○

620009576 シロート電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」				
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0g「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
621971901	バンコマイシン眼軟膏1%	○	○	○	○
621876001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「ケミファ」	○	○	○	
620004729	ハベカシン注射液75mg	○	○	○	○
620009511	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「HK」	○	○	○	○
621735001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「テバ」			○	○
621066501	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「ケミファ」	○	○	○	
620004730	ハベカシン注射液100mg	○	○	○	○
620009512	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「HK」	○	○	○	○
621066401	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「テバ」			○	○
621924501	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「ケミファ」	○	○	○	
620004728	ハベカシン注射液25mg	○	○	○	○
620009509	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「HK」	○	○	○	○
621896701	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「テバ」			○	○
621950502	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「ケミファ」	○	○	○	
620007432	ハベカシン注射液200mg	○	○	○	○
621955601	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「HK」	○	○	○	○
621936302	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「テバ」			○	○
620004709	注射用タゴシッド200mg	○	○	○	○
620008212	テイコブラニン点滴静注用200mg「NP」	○	○	○	○
620008213	テイコブラニン点滴静注用200mg「日医工」	○	○	○	○
620008532	テイコブラニン点滴静注用200mg「F」	○	○	○	○
620008531	テイコブラニン点滴静注用200mg「HK」	○	○	○	○
620008533	テイコブラニン点滴静注用200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008535	テイコブラニン点滴静注用200mg「トーワ」	○	○	○	○
620009572	テイコブラニン点滴静注用200mg「TYK」	○	○	○	○
620009571	テイコブラニン点滴静注用200mg「サワイ」	○	○	○	○
621995201	テイコブラニン点滴静注用200mg「サンド」	○	○	○	○
622227801	テイコブラニン点滴静注用200mg「明治」		○	○	○
621901402	テイコブラニン点滴静注用200mg「ファイザー」			○	○
621884501	テイコブラニン点滴静注用200mg「テバ」			○	○
620009574	テイコブラニン点滴静注用400mg「F」	○	○	○	○
622216601	テイコブラニン点滴静注用400mg「NP」		○	○	○
622207201	テイコブラニン点滴静注用400mg「日医工」		○	○	○
622227901	テイコブラニン点滴静注用400mg「明治」		○	○	○
622338101	テイコブラニン点滴静注用400mg「トーワ」			○	○
622085501	キュビシン静注用350mg	○	○	○	○
640462005	注射用シナシッド	○	○	○	○

品名コード	名称	2010	2012	2014	2016
62000647	トロバン鼻腔用軟膏2%				
646130274	アザクタム注射用0.5g	○	○	○	○
646130275	アザクタム注射用1g	○	○	○	○
620008598	カナマイシンカプセル250mg「明治」	○	○	○	○
620008599	カナマイシンシロップ5%「明治」	○	○	○	○
620008600	カナマイシンドライシロップ20%「明治」	○	○	○	○
640453139	トブラシン注小児用100mg	○	○	○	○
640453140	トブラシン注600mg	○	○	○	○
646120062	トブラシン注900mg	○	○	○	○
620003676	アミカシン硫酸塩注射液100mg「サワイ」		○	○	○
620004178	ブルテツシン注射液100mg		○	○	
620006356	ロミカシン注射液100mg		○	○	
621069302	アミカシン硫酸塩注射液100mg「N i k P」		○	○	○
621069501	アミカシン硫酸塩注射液100mg「F」			○	○
620003190	アミカマイシン注射液100mg	○	○	○	○
621069402	アミカシン硫酸塩注射液100mg「日医工」	○	○	○	○
621069001	アミカシン硫酸塩注100mg「NP」		○	○	○
620003677	アミカシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
620003797	ブルテツシン注射液200mg	○	○	○	
620006651	ロミカシン注射液200mg	○	○	○	
621070102	アミカシン硫酸塩注射液200mg「N i k P」		○	○	○
621070301	アミカシン硫酸塩注射液200mg「F」			○	○
620003191	アミカマイシン注射液200mg	○	○	○	○
621070202	アミカシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621069701	アミカシン硫酸塩注200mg「NP」		○	○	○
621070602	アミカシン硫酸塩注射用100mg「日医工」	○	○	○	○
621070902	アミカシン硫酸塩注射用200mg「日医工」	○	○	○	○
640453078	シオセシン注射液200	○	○	○	○
620003198	エクサシン注射液200	○	○	○	○
620003193	イセパシン注射液200	○	○	○	○
620005641	イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621604701	イセパマイシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
646120080	イセパシン注射液400	○	○	○	○
646120081	エクサシン注射液400	○	○	○	○
640453079	シオセシン注射液400	○	○	○	○
620005642	イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「日医工」	○	○	○	○
621695601	イセパマイシン硫酸塩注射液400mg「サワイ」		○	○	○
622213301	トービー吸入液300mg		○	○	○
620009196	トロビシン筋注用2g	○	○	○	○
620008618	コリマイシン散200万単位/g	○	○	○	○
620008753	メタコリマイシン顆粒200万単位/g	○	○	○	○
620008752	メタコリマイシンカプセル300万単位	○	○	○	○
622415701	オールドレブ点滴静注用150mg			○	○
620003657	硫酸ポリミキシンB錠25万単位「ファイザー」	○	○	○	○
620003658	硫酸ポリミキシンB錠100万単位「ファイザー」	○	○	○	○

61612001	名称	2010	2012	2014	2016
61612001	セフトムカプセル100mg				
616120012	セフトムカプセル200mg	○	○	○	○
622199101	タイガシル点滴静注用50mg		○	○	○
622066601	アモキシシリン細粒10%「タツミ」	○	○	○	
610454003	アモリン細粒10%	○	○	○	○
620006920	サワシリン細粒10%	○	○	○	○
620007026	パセトシン細粒10%	○	○	○	○
622112902	ワイドシリン細粒10%			○	○
620005906	アモキシシリン細粒20%「タツミ」	○	○	○	
621073001	ワイドシリン細粒20%			○	○
616130132	サワシリン錠250	○	○	○	○
616130295	パセトシン錠250	○	○	○	○
616130039	アモリンカプセル125	○	○	○	○
620007024	パセトシンカプセル125	○	○	○	○
622054901	サワシリンカプセル125	○	○	○	○
622066501	アモキシシリンカプセル125mg「タツミ」	○	○	○	○
622111101	アモキシシリンカプセル125mg「トーワ」	○	○	○	○
622127801	アモキシシリンカプセル125mg「日医工」	○	○	○	○
622165902	アモキシシリンカプセル125mg「NP」		○	○	○
616130040	アモリンカプセル250	○	○	○	○
620006829	アモキシシリンカプセル250mg「タツミ」	○	○	○	○
620006919	サワシリンカプセル250	○	○	○	○
620007025	パセトシンカプセル250	○	○	○	○
620008584	アモキシシリンカプセル250mg「日医工」	○	○	○	○
620009117	アモキシシリンカプセル250mg「トーワ」	○	○	○	○
621073901	アモキシシリンカプセル250mg「NP」		○	○	○
621074701	ピクシリンカプセル250mg	○	○	○	○
621075101	ピクシリンドライシロップ10%	○	○	○	○
610451023	ペングッド錠250mg	○	○	○	○
621076301	ユナシン細粒小児用10%	○	○	○	○
621076401	ユナシン錠375mg	○	○	○	○
621076601	ピクシリン注射用0.25g	○	○	○	○
621076801	ピクシリン注射用0.5g	○	○	○	○
621077201	ピクシリン注射用1g	○	○	○	○
621077501	ピクシリン注射用2g	○	○	○	○
621078403	ピペラシリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	
646130136	ペントシリン注射用1g	○	○	○	○
620007456	ピペユンシン注射用1g	○	○	○	○
621078301	ピペラシリンNa注射用1g「サワイ」		○	○	○
621078103	ピペラシリンNa注射用1g「テバ」		○	○	○
621078601	ピペラシリンNa注射用1g「トーワ」		○	○	○
621342601	ピペラシリンNa注射用1g「SN」			○	○
621079203	ピペラシリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	
646130137	ペントシリン注射用2g	○	○	○	○
620007457	ピペユンシン注射用2g	○	○	○	○

2017年10月電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621078903	ピペラシリンNa注射用2g「サワイ」		○	○	○
621079401	ピペラシリンNa注射用2g「トーワ」		○	○	○
621342802	ピペラシリンNa注射用2g「SN」			○	○
622079701	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ1g「NP」	○	○	○	
640462059	ペントシリン静注用1gバッグ	○	○	○	○
622079801	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ2g「NP」	○	○	○	
640462060	ペントシリン静注用2gバッグ	○	○	○	○
616130002	L-ケフレックス小児用顆粒	○	○	○	○
616130378	L-キサール顆粒500	○	○	○	○
616130003	L-ケフレックス顆粒	○	○	○	○
621083104	セファレキシシン顆粒500mg「JG」			○	
621083503	セファレキシシン錠250「日医工」		○	○	
620003645	ラリキシシン錠250mg	○	○	○	○
610454041	センセファリンカプセル125	○	○	○	○
610454042	センセファリンカプセル250	○	○	○	○
620004512	セファレキシシンカプセル250mg「トーワ」	○	○	○	○
620004981	ケフレックスカプセル250mg	○	○	○	○
610453048	ケフレックスシロップ用細粒100	○	○	○	○
610454043	センセファリンシロップ用細粒10%	○	○	○	○
620003646	ラリキシンドライシロップ小児用10%	○	○	○	○
616130115	ケフレックスシロップ用細粒200	○	○	○	○
616130229	センセファリンシロップ用細粒20%	○	○	○	○
620003647	ラリキシンドライシロップ小児用20%	○	○	○	○
621085602	セファレキシンドライシロップ小児用50%「日医工」		○	○	
621087903	セファクロル細粒10%「日医工」		○	○	○
616130112	ケフラー細粒小児用100mg	○	○	○	○
621086806	セファクロル細粒小児用10%「JG」			○	○
621087001	セファクロル細粒小児用10%「サワイ」			○	○
621088403	セファクロル細粒20%「日医工」		○	○	
616130469	L-ケフラー顆粒	○	○	○	○
616130110	ケフラーカプセル250mg	○	○	○	○
620008657	トキクロルカプセル250mg	○	○	○	○
621088802	セファクロルカプセル250mg「TCK」		○	○	○
621089701	セファクロルカプセル250mg「トーワ」		○	○	○
621089501	セファクロルカプセル250mg「日医工」		○	○	○
621088705	セファクロルカプセル250mg「JG」			○	○
621089103	セファクロルカプセル250mg「SN」			○	○
621088901	セファクロルカプセル250mg「サワイ」			○	○
620005947	オラスポア小児用ドライシロップ10%	○	○	○	○
616130404	セフspan細粒50mg	○	○	○	○
610453059	セフィーナ細粒50	○	○	○	○
620000061	セフィーナ細粒100	○	○	○	○
616130405	セフspanカプセル50mg	○	○	○	○
616130406	セフspanカプセル100mg	○	○	○	○

620009756 セブゾド電算コード	名称 トミロン細粒小児用 1.0%	2010	2012	2014	2016
620003583	トミロン細粒小児用 1.0%	○	○	○	○
621675801	セフテラムピボキシル細粒小児用 1.0%「日医工」		○	○	○
616130407	トミロン錠 5.0	○	○	○	○
616130408	トミロン錠 1.0	○	○	○	○
620004958	オラセフ錠 2.5.0mg	○	○	○	○
620003968	セフボドキシムプロキセチル錠 1.0.0「TCK」	○	○	○	○
620003970	セフボドキシムプロキセチル錠 1.0.0mg「タイヨー」	○	○	○	○
620008681	バナシ錠 1.0.0mg	○	○	○	○
621744203	セフボドキシムプロキセチル錠 1.0.0mg「JG」		○	○	○
621744401	セフボドキシムプロキセチル錠 1.0.0mg「トーフ」		○	○	○
621747601	セフボドキシムプロキセチル錠 1.0.0mg「サワイ」			○	○
620008682	バナシドライシロップ 5%	○	○	○	○
621747701	セフボドキシムプロキセチルD.S小児用 5%「サワイ」			○	○
616130476	パンスポリンT錠 1.0.0	○	○	○	○
616130477	パンスポリンT錠 2.0.0	○	○	○	○
620004513	セフゾン細粒小児用 1.0%	○	○	○	○
621935801	セフジニル細粒小児用 1.0%「タイヨー」	○	○	○	○
620008483	セフジニル細粒小児用 1.0%「YD」	○	○	○	○
620008482	セフジニル細粒小児用 1.0%「サワイ」	○	○	○	○
620008484	セフジニル細粒 1.0%小児用「日医工」	○	○	○	○
620009343	セフジニル細粒 1.0%小児用「TYK」	○	○	○	○
620009344	セフニール細粒小児用 1.0%	○	○	○	○
621889403	セフジニル細粒小児用 1.0%「JG」		○	○	○
621885302	セフジニル細粒 1.0%小児用「ファイザー」			○	○
621935901	セフジニル細粒小児用 2.0%「タイヨー」	○	○	○	○
620008488	セフジニル錠 5.0mg「サワイ」	○	○	○	○
620008490	セフジニル錠 1.0.0mg「サワイ」	○	○	○	○
616130531	セフゾンカプセル 5.0mg	○	○	○	○
620008491	セフニールカプセル 5.0mg	○	○	○	○
620009334	セフジニルカプセル 5.0mg「TCK」	○	○	○	○
620009335	セフジニルカプセル 5.0mg「TYK」	○	○	○	○
620009337	セフジニルカプセル 5.0mg「YD」	○	○	○	○
620009336	セフジニルカプセル 5.0mg「日医工」	○	○	○	○
621910002	セフジニルカプセル 5.0mg「JG」		○	○	○
621885102	セフジニルカプセル 5.0mg「ファイザー」			○	○
616130532	セフゾンカプセル 1.0.0mg	○	○	○	○
620008492	セフニールカプセル 1.0.0mg	○	○	○	○
620009339	セフジニルカプセル 1.0.0mg「TCK」	○	○	○	○
620009340	セフジニルカプセル 1.0.0mg「TYK」	○	○	○	○
620009342	セフジニルカプセル 1.0.0mg「YD」	○	○	○	○
620009341	セフジニルカプセル 1.0.0mg「日医工」	○	○	○	○
621910102	セフジニルカプセル 1.0.0mg「JG」		○	○	○
621885202	セフジニルカプセル 1.0.0mg「ファイザー」			○	○
620005503	セフジトレンピボキシル小児用細粒 1.0%「CH」	○	○	○	○

620005501 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620005502	セフジトレンピボキシシル小児用細粒 1.0%「EMEC」	○	○	○	○
620005499	セフジトレンピボキシシル細粒小児用 1.0%「トーワ」	○	○	○	○
620005500	セフジトレンピボキシシル細粒 1.0%小児用「日医工」	○	○	○	○
620008746	メリアクトMS小児用細粒 1.0%	○	○	○	○
620004080	メリアクトMS錠 1.0.0mg	○	○	○	○
620005506	セフジトレンピボキシシル錠 1.0.0mg「CH」	○	○	○	○
620005505	セフジトレンピボキシシル錠 1.0.0mg「サワイ」	○	○	○	○
620005507	セフジトレンピボキシシル錠 1.0.0mg「トーワ」	○	○	○	○
620005508	セフジトレンピボキシシル錠 1.0.0mg「日医工」	○	○	○	○
610411059	フロモックス小児用細粒 1.0.0mg	○	○	○	○
621955901	セフカベンピボキシシル塩酸塩細粒小児用 1.0%「CH」	○	○	○	○
621939401	セフカベンピボキシシル塩酸塩細粒小児用 1.0%「JG」	○	○	○	○
621940201	セフカベンピボキシシル塩酸塩細粒小児用 1.0%「YD」	○	○	○	○
621946301	セフカベンピボキシシル塩酸塩細粒小児用 1.0%「トーワ」	○	○	○	○
621931001	セフカベンピボキシシル塩酸塩細粒小児用 1.0.0mg「TCK」	○	○	○	○
621962401	セフカベンピボキシシル塩酸塩細粒 1.0%小児用「日医工」	○	○	○	○
621962501	セフカベンピボキシシル塩酸塩小児用細粒 1.0%「サワイ」	○	○	○	○
621942904	セフカベンピボキシシル塩酸塩細粒小児用 1.0%「ファイザー」			○	○
610411057	フロモックス錠 7.5mg	○	○	○	○
620009331	セフカベンピボキシシル塩酸塩錠 7.5mg「サワイ」	○	○	○	○
621956001	セフカベンピボキシシル塩酸塩錠 7.5mg「CH」	○	○	○	○
621930801	セフカベンピボキシシル塩酸塩錠 7.5mg「TCK」	○	○	○	○
621940301	セフカベンピボキシシル塩酸塩錠 7.5mg「YD」	○	○	○	○
621947501	セフカベンピボキシシル塩酸塩錠 7.5mg「トーワ」	○	○	○	○
621962601	セフカベンピボキシシル塩酸塩錠 7.5mg「日医工」	○	○	○	○
621943004	セフカベンピボキシシル塩酸塩錠 7.5mg「ファイザー」			○	○
610411058	フロモックス錠 1.0.0mg	○	○	○	○
620009332	セフカベンピボキシシル塩酸塩錠 1.0.0mg「サワイ」	○	○	○	○
621956101	セフカベンピボキシシル塩酸塩錠 1.0.0mg「CH」	○	○	○	○
621930901	セフカベンピボキシシル塩酸塩錠 1.0.0mg「TCK」	○	○	○	○
621940401	セフカベンピボキシシル塩酸塩錠 1.0.0mg「YD」	○	○	○	○
621947601	セフカベンピボキシシル塩酸塩錠 1.0.0mg「トーワ」	○	○	○	○
621962701	セフカベンピボキシシル塩酸塩錠 1.0.0mg「日医工」	○	○	○	○
621943104	セフカベンピボキシシル塩酸塩錠 1.0.0mg「ファイザー」			○	○
646130121	パンスポリン筋注用. 2.5g	○	○	○	○
646130110	ハロスポア静注用. 2.5g	○	○	○	○
646130122	パンスポリン静注用. 2.5g	○	○	○	○
620004140	セファピコール静注用. 2.5g	○	○	○	○
620007293	ケミスポリン静注用. 2.5g	○	○	○	○
621989702	セフォチアム塩酸塩静注用. 2.5g「日医工」		○	○	○
621987602	セフォチアム塩酸塩静注用. 2.5g「NP」		○	○	○
621924001	セフォチアム塩酸塩静注用. 2.5g「SN」			○	○
646130111	ハロスポア静注用. 5g	○	○	○	○
646130123	パンスポリン静注用. 5g	○	○	○	○

620004141 シラド電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620007294	セファピコール静注用●. 5g				
	ケミスポリン静注用●. 5g	○	○	○	○
621989802	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「日医工」		○	○	○
621344901	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「NP」		○	○	○
621924101	セフォチアム塩酸塩静注用●. 5g「SN」			○	○
646130112	ハロスポア静注用 1g	○	○	○	○
646130124	パンスポリン静注用 1g	○	○	○	○
620003732	セファピコール静注用 1g	○	○	○	○
620007295	ケミスポリン静注用 1g	○	○	○	○
621345002	セフォチアム塩酸塩静注用 1g「日医工」		○	○	○
621345301	セフォチアム塩酸塩静注用 1g「NP」		○	○	○
621095002	セフォチアム塩酸塩静注用 1g「SN」			○	○
640408149	パンスポリン静注用 1gバッグS	○	○	○	○
620009563	セフォチアム静注用 1gバッグ「日医工」	○	○	○	○
621540002	セフォチアム塩酸塩点滴静注用 1gバッグ「NP」		○	○	○
640408148	パンスポリン静注用 1gバッグG	○	○	○	○
620003735	セファメジンα注射用●. 2.5g	○	○	○	○
622104201	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
622130801	セファゾリンナトリウム注射用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622177601	トキオ注射用●. 2.5g		○	○	○
622124902	セファゾリンNa注射用●. 2.5g「NP」			○	○
622033402	セファゾリンNa注射用●. 5g「NP」			○	○
622104301	セファゾリンNa注射用●. 5g「タイヨー」		○	○	○
622177701	トキオ注射用●. 5g		○	○	○
620003736	セファメジンα注射用●. 5g	○	○	○	○
621096002	セファゾリンナトリウム注射用●. 5g「日医工」		○	○	○
620003737	セファメジンα注射用 1g	○	○	○	○
621096701	トキオ注射用 1g	○	○	○	○
621096503	セファゾリンNa注射用 1g「タイヨー」	○	○	○	○
621096802	セファゾリンナトリウム注射用 1g「日医工」		○	○	○
621096601	セファゾリンNa注射用 1g「NP」			○	○
620003738	セファメジンα注射用 2g	○	○	○	○
621097303	セファゾリンNa注射用 2g「タイヨー」	○	○	○	○
622177801	トキオ注射用 2g		○	○	○
621097602	セファゾリンナトリウム注射用 2g「日医工」		○	○	○
621097401	セファゾリンNa注射用 2g「NP」			○	○
620003733	セファメジンα筋注用●. 2.5g	○	○	○	○
620003734	セファメジンα筋注用●. 5g	○	○	○	○
620003740	セファメジンα点滴用キット 2g	○	○	○	○
620003739	セファメジンα点滴用キット 1g	○	○	○	○
620007318	セファゾリンNa点滴静注用 1gバッグ「オーツカ」	○	○	○	○
621757001	セファゾリンNa点滴静注用 1gバッグ「NP」			○	○
620005674	コアキシシ注射用 1g	○	○	○	○
620005675	コアキシシ注射用 2g	○	○	○	○
646130072	セフメタゾン筋注用●. 5g	○	○	○	○

646130073 シード電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622125001	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「NP」	○	○	○	○
622131001	セフメタゾールナトリウム静注用●. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622111501	リリアジン静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622104002	セフメタゾールNa静注用●. 2.5g「テバ」			○	○
646130074	セフメタゾールNa静注用●. 5g	○	○	○	○
621987501	セフメタゾールNa静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
622131101	セフメタゾールナトリウム静注用●. 5g「日医工」	○	○	○	○
622111601	リリアジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622104102	セフメタゾールNa静注用●. 5g「テバ」			○	○
646130075	セフメタゾールNa静注用1g	○	○	○	○
620006243	セフメタゾールNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
620007540	リリアジン静注用1g	○	○	○	○
621102102	セフメタゾールナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	○
621101803	セフメタゾールNa静注用1g「テバ」			○	○
646130076	セフメタゾールNa静注用2g	○	○	○	○
620006244	セフメタゾールNa静注用2g「NP」	○	○	○	○
620007541	リリアジン静注用2g	○	○	○	○
621102802	セフメタゾールナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	○
621101903	セフメタゾールNa静注用2g「テバ」			○	○
640470010	セフメタゾールキット点滴静注用1g	○	○	○	○
620004151	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ1g「NP」	○	○	○	○
621951701	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ2g「NP」	○	○	○	○
640454018	セフトラックス注射用●. 5g	○	○	○	○
620004652	クラフォラン注射用●. 5g	○	○	○	○
640454019	セフトラックス注射用1g	○	○	○	○
620004653	クラフォラン注射用1g	○	○	○	○
646130067	セフォビッド注射用1g	○	○	○	○
646130071	セフォペラジン注射用1g	○	○	○	○
646130132	ベストコール筋注用●. 5g	○	○	○	○
646130133	ベストコール静注用●. 5g	○	○	○	○
646130134	ベストコール静注用1g	○	○	○	○
620002999	モダケミン静注用●. 5g	○	○	○	○
620003827	モダシン静注用●. 5g	○	○	○	○
620006701	セフトラジジム静注用●. 5g「マイラン」	○	○	○	○
621967001	セフトラジジム静注用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
621936401	セフトラジジム静注用●. 5g「タイヨー」	○	○	○	○
622052901	セフトラジジム静注用●. 5g「サワイ」	○	○	○	○
622124801	セフトラジジム静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
621756202	セフトラジジム静注用●. 5g「日医工」		○	○	○
621755802	セフトラジジム静注用●. 5g「SN」			○	○
620003000	モダケミン静注用1g	○	○	○	○
620003001	モベンゾシン静注用1g	○	○	○	○
620003828	モダシン静注用1g	○	○	○	○
620005676	セフトラジジム静注用1g「NP」	○	○	○	○

2009年電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621967101	セフトアジジム静注用1g「マイラン」				
621967101	セフトアジジム静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621703001	セフトアジジム静注用1g「サワイ」	○	○	○	○
621756502	セフトアジジム静注用1g「日医工」		○	○	○
621755902	セフトアジジム静注用1g「SN」			○	○
646130268	ロセフィン静注用○. 5g	○	○	○	○
640463134	リアソフィン静注用○. 5g	○	○	○	○
620009566	セフキソン静注用○. 5g	○	○	○	○
620009567	セフトリアキソンNa静注用○. 5g「サンド」	○	○	○	○
621987301	セフトリアキソンナトリウム静注用○. 5g「NP」	○	○	○	○
621967202	セフトリアキソンNa静注用○. 5g「サワイ」		○	○	○
621538203	セフトリアキソンナトリウム静注用○. 5g「日医工」		○	○	○
622077302	セフトリアキソンNa静注用○. 5g「ファイザー」		○	○	○
621836501	セフトリアキソンNa静注用○. 5g「テバ」		○	○	○
646130269	ロセフィン静注用1g	○	○	○	○
640463135	リアソフィン静注用1g	○	○	○	○
640463080	セフキソン静注用1g	○	○	○	○
620009568	セフトリアキソンNa静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621987401	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「NP」	○	○	○	○
621488601	セフトリアキソンNa静注用1g「サワイ」		○	○	○
621538303	セフトリアキソンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	○
621555202	セフトリアキソンNa静注用1g「ファイザー」		○	○	○
621555101	セフトリアキソンNa静注用1g「テバ」		○	○	○
640470011	ロセフィン点滴静注用1gバッグ	○	○	○	○
620002955	セフトリアキソンナトリウム点滴用1gバッグ「NP」	○	○	○	○
622051701	セフトリアキソンナトリウム点滴静注用バッグ1g「ファイザー」	○	○	○	○
620007514	メイセリン静注用1g	○	○	○	○
620004148	セフピロム硫酸塩静注用○. 5g「CMX」	○	○	○	○
620006706	硫酸セフピロム静注用○. 5g「マイラン」	○	○	○	○
620004149	セフピロム硫酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
620006707	硫酸セフピロム静注用1g「マイラン」	○	○	○	○
640407076	注射用マキシピーム○. 5g	○	○	○	○
621966801	セフェピム塩酸塩静注用○. 5g「サンド」	○	○	○	○
621994601	セフェピム塩酸塩静注用○. 5g「CMX」	○	○	○	○
640407077	注射用マキシピーム1g	○	○	○	○
621966901	セフェピム塩酸塩静注用1g「サンド」	○	○	○	○
621994701	セフェピム塩酸塩静注用1g「CMX」	○	○	○	○
640407080	ファーストシン静注用○. 5g	○	○	○	○
640407081	ファーストシン静注用1g	○	○	○	○
640443046	ファーストシン静注用1gバッグS	○	○	○	○
640443047	ファーストシン静注用1gバッグG	○	○	○	○
666130005	エポセリン坐剤125	○	○	○	○
666130006	エポセリン坐剤25○	○	○	○	○
646130037	シオマリル静注用1g	○	○	○	○
646130301	フルマリル静注用○. 5g	○	○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
646130302	フルマリン静注用 1 g				
640443048	フルマリンキット静注用 1 g	○	○	○	○
620005201	パニマイシン注射液 5 〇 mg	○	○	○	○
620005202	パニマイシン注射液 1 〇 〇 mg	○	○	○	○
620005180	注射用パニマイシン 1 〇 〇 mg	○	○	○	○
620003780	ビスタマイシン筋注 5 〇 〇 mg	○	○	○	○
620003781	ビスタマイシン筋注 1 〇 〇 〇 mg	○	○	○	○
646120011	ゲンタシン注 1 〇	○	○	○	○
622037301	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 1 〇 mg 「日医工」	○	○	○	○
622074801	エルタシン注 1 〇 mg	○	○	○	○
622074802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 1 〇 mg 「F」				○
621111803	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 4 〇 mg 「日医工」		○	○	○
620003210	ゲンタシン注 4 〇	○	○	○	○
620006210	エルタシン注 4 〇 mg	○	○	○	○
621111802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 4 〇 mg 「F」				○
646120012	ゲンタシン注 6 〇	○	○	○	○
620006211	エルタシン注 6 〇 mg	○	○	○	○
621112004	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 6 〇 mg 「日医工」		○	○	○
621112003	ゲンタマイシン硫酸塩注射液 6 〇 mg 「F」				○
616130512	ホスミシン錠 2.5 〇	○	○	○	○
616130513	ホスミシン錠 5 〇 〇	○	○	○	○
621946401	ホスマイカプセル 2.5 〇 mg	○	○	○	○
621964002	ホスホマイシンカルシウムカプセル 2.5 〇 mg 「日医工」		○	○	○
620008731	ホスマイカプセル 5 〇 〇 mg	○	○	○	○
621113002	ホスホマイシンカルシウムカプセル 5 〇 〇 mg 「日医工」		○	○	○
616130332	ホスミシンドライシロップ 2 〇 〇	○	○	○	○
616130526	ホスホミシンドライシロップ 4 〇 〇	○	○	○	○
616130333	ホスミシンドライシロップ 4 〇 〇	○	○	○	○
621113712	ホスホマイシンカルシウムドライシロップ 4 〇 % 「日医工」		○	○	
621812201	ホスホマイシンナトリウム静注用 〇. 5 g 「日医工」		○	○	
622104401	フラゼミシン静注用 〇. 5 g	○	○	○	
622131501	ホスカリーゼ静注用 〇. 5 g	○	○	○	
620003815	ホスミシンS 静注用 〇. 5 g	○	○	○	○
622079901	ホスホマイシンNa 静注用 〇. 5 g 「NP」		○	○	
622045702	ホスホマイシンNa 静注用 〇. 5 g 「タカタ」		○	○	○
620004750	フラゼミシン静注用 1 g	○	○	○	
620004767	ホスカリーゼ静注用 1 g	○	○	○	
621766301	ホスホマイシンナトリウム静注用 1 g 「日医工」		○	○	
620003816	ホスミシンS 静注用 1 g	○	○	○	○
620006316	ホスホマイシンNa 静注用 1 g 「NP」	○	○	○	○
621114602	ホスホマイシンNa 静注用 1 g 「タカタ」		○	○	○
620004751	フラゼミシン静注用 2 g	○	○	○	
620004768	ホスカリーゼ静注用 2 g	○	○	○	
621766401	ホスホマイシンナトリウム静注用 2 g 「日医工」		○	○	

6200093817 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620006317	ホスホマイシンN a 静注用2 g 「NP」	○	○	○	○
621115302	ホスホマイシンN a 静注用2 g 「タカタ」		○	○	○
620007477	フラゼミシン点滴静注用2 g キット	○	○	○	○
640451022	ホスミンS バッグ1 g 点滴静注用	○	○	○	○
640451023	ホスミンS バッグ2 g 点滴静注用	○	○	○	○
610411055	ファロム錠15 〇mg	○	○	○	○
610411056	ファロム錠2 〇〇mg	○	○	○	○
620008702	ファロムドライシロップ小児用1 〇%	○	○	○	○
621926801	オラペナム小児用細粒1 〇%	○	○	○	○
621116201	オーグメンチン配合錠1 2 5 S S	○	○	○	○
621116301	オーグメンチン配合錠2 5 〇 R S	○	○	○	○
621709001	クラバモックス小児用配合ドライシロップ	○	○	○	○
620007519	メロペン点滴用バイアル 〇. 2 5 g	○	○	○	○
620009585	メロペナム点滴静注用 〇. 2 5 g 「タイヨー」	○	○	○	○
620009586	メロペナム点滴静注用 〇. 2 5 g 「日医工」	○	○	○	○
621952301	メロペナム点滴静注用 〇. 2 5 g 「NP」	○	○	○	○
621950101	メロペナム点滴静注用 〇. 2 5 g 「ケミファ」	○	○	○	○
621967801	メロペナム点滴静注用 〇. 2 5 g 「サワイ」	○	○	○	○
621967901	メロペナム点滴静注用 〇. 2 5 g 「タナベ」	○	○	○	○
621946701	メロペナム点滴静注用 〇. 2 5 g 「トーワ」	○	○	○	○
621947901	メロペナム点滴静注用 〇. 2 5 g 「明治」	○	○	○	○
622044201	メロペナム点滴静注用 〇. 2 5 g 「ファイザー」	○	○	○	○
620007520	メロペン点滴用バイアル 〇. 5 g	○	○	○	○
620009587	メロペナム点滴静注用 〇. 5 g 「タイヨー」	○	○	○	○
620009588	メロペナム点滴静注用 〇. 5 g 「日医工」	○	○	○	○
621952401	メロペナム点滴静注用 〇. 5 g 「NP」	○	○	○	○
621950201	メロペナム点滴静注用 〇. 5 g 「ケミファ」	○	○	○	○
621968001	メロペナム点滴静注用 〇. 5 g 「サワイ」	○	○	○	○
621968101	メロペナム点滴静注用 〇. 5 g 「タナベ」	○	○	○	○
621946801	メロペナム点滴静注用 〇. 5 g 「トーワ」	○	○	○	○
621948001	メロペナム点滴静注用 〇. 5 g 「明治」	○	○	○	○
622044301	メロペナム点滴静注用 〇. 5 g 「ファイザー」	○	○	○	○
622439001	メロペナム点滴静注用1 g 「NP」			○	○
622419401	メロペナム点滴静注用1 g 「明治」			○	○
620007518	メロペン点滴用キット 〇. 5 g	○	○	○	○
621952501	メロペナム点滴静注用バッグ 〇. 5 g 「NP」	○	○	○	○
621967701	メロペナム点滴静注用バッグ 〇. 5 g 「日医工」	○	○	○	○
621931801	メロペナム点滴静注用バッグ 〇. 5 g 「明治」	○	○	○	○
622471301	メロペナム点滴静注用バッグ1 g 「NP」			○	○
622460901	メロペナム点滴静注用バッグ1 g 「明治」			○	○
640451036	オメガシン点滴用 〇. 3 g	○	○	○	○
640451037	オメガシン点滴用 〇. 3 g バッグ	○	○	○	○
621708501	フィニボックス点滴静注用 〇. 2 5 g	○	○	○	○
622078501	フィニボックス点滴静注用 〇. 5 g	○	○	○	○

621727601 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
646130264	フェニバックスキット点滴静注用●. 2.5g スルペラゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
620004152	セフロニック静注用●. 5g	○	○	○	○
620007316	スペルゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
622083601	スルタムジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622099301	セフォセフ静注用●. 5g	○	○	○	○
622130901	セフォン静注用●. 5g	○	○	○	○
622111401	バクフォーゼ静注用●. 5g	○	○	○	○
622080002	ワイスターール配合静注用●. 5g		○	○	○
646130265	スルペラゾン静注用 1g	○	○	○	○
640444050	セフォセフ静注用 1g	○	○	○	○
640444051	セフォン静注用 1g	○	○	○	○
640444071	バクフォーゼ静注用 1g	○	○	○	○
640453097	スルタムジン静注用 1g	○	○	○	○
620003742	セフロニック静注用 1g	○	○	○	○
620007317	スペルゾン静注用 1g	○	○	○	○
621347901	ワイスターール配合静注用 1g		○	○	○
621116801	スルペラゾンキット静注用 1g	○	○	○	○
621441901	ワイスターール配合点滴静注用 1g バッグ		○	○	○
620004108	インダスト点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620007364	チエナム点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620008211	チエペナム点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622010201	チエクール点滴用●. 2.5g	○	○	○	○
622127601	イミペナム・シラスタチン点滴用●. 2.5g 「サンド」	○	○	○	○
622172601	イミスタン点滴静注用●. 2.5g		○	○	○
620003703	インダスト点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620004106	イミスタン点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620004155	チエクール点滴用●. 5g	○	○	○	○
620004707	チエペナム点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620005643	イミペナム・シラスタチン点滴用●. 5g 「サンド」	○	○	○	○
620007365	チエナム点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620007362	チエナム筋注用●. 5g	○	○	○	○
620007363	チエナム点滴静注用キット●. 5g	○	○	○	○
646130368	カルベニン点滴用●. 2.5g	○	○	○	○
646130369	カルベニン点滴用●. 5g	○	○	○	○
640406222	ユナシン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620003003	ユナスピン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004132	スルバクシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004134	スルバシリン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620005874	ピスルシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620009560	スルバクタム・アンピシリン静注用●. 7.5g 「サンド」	○	○	○	○
622118402	ピシリバクタ静注用●. 7.5g	○	○	○	○
622100601	ユーシオン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
640406223	ユナシン - S 静注用 1. 5g	○	○	○	○
620002977	ピシリバクタ静注用 1. 5g	○	○	○	○

620003002 レボプロ 620003004	計算コード	名称	2010	2012	2014	2016
		ユネシオン - S 静注用 1. 5 g	○	○	○	○
		ユネスピリン静注用 1. 5 g				
620004133		スルバクシン静注用 1. 5 g	○	○	○	○
620004135		スルバシリン静注用 1. 5 g	○	○	○	○
620005875		ピスルシン静注用 1. 5 g	○	○	○	○
620009561		スルバクタム・アンピシリン静注用 1. 5 g 「サンド」	○	○	○	○
622250001		ユナシン - S 静注用 3 g		○	○	○
622419601		スルバシリン静注用 3 g			○	○
622408701		ピスルシン静注用 3 g			○	○
622464401		スルバクシン静注用 3 g			○	○
622467201		ピシリバクタ静注用 3 g			○	○
622458201		ユネシオン - S 静注用 3 g			○	○
622441301		ユネスピリン静注用 3 g			○	○
620004775		ユナシン - S キット静注用 1. 5 g	○	○	○	○
620004776		ユナシン - S キット静注用 3 g	○	○	○	○
620008446		ゾシン静注用 2. 2 5	○	○	○	○
622441401		タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「CHM」			○	○
622464701		タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「DK」			○	○
622453701		タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「DSEP」			○	○
622450601		タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「SN」			○	○
622461801		タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「サンド」			○	○
622458801		タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「テバ」			○	○
622467001		タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「日医工」			○	○
622470601		タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「ニプロ」			○	○
622455601		タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「ファイザー」			○	○
622460701		タゾピペ配合静注用 2. 2 5 「明治」			○	○
620008447		ゾシン静注用 4. 5	○	○	○	○
622441501		タゾピペ配合静注用 4. 5 「CHM」			○	○
622464801		タゾピペ配合静注用 4. 5 「DK」			○	○
622453801		タゾピペ配合静注用 4. 5 「DSEP」			○	○
622450701		タゾピペ配合静注用 4. 5 「SN」			○	○
622461901		タゾピペ配合静注用 4. 5 「サンド」			○	○
622458901		タゾピペ配合静注用 4. 5 「テバ」			○	○
622467101		タゾピペ配合静注用 4. 5 「日医工」			○	○
622470701		タゾピペ配合静注用 4. 5 「ニプロ」			○	○
622455701		タゾピペ配合静注用 4. 5 「ファイザー」			○	○
622460801		タゾピペ配合静注用 4. 5 「明治」			○	○
622423101		ゾシン配合点滴静注用バッグ 4. 5			○	○
622454001		タゾピペ配合点滴静注用バッグ 4. 5 「DSEP」			○	○
622470901		タゾピペ配合点滴静注用バッグ 4. 5 「ニプロ」			○	○
622455901		タゾピペ配合点滴静注用バッグ 4. 5 「ファイザー」			○	○
622462101		タゾピペ配合点滴静注用 4. 5 バッグ 「サンド」			○	○
622453901		タゾピペ配合点滴静注用バッグ 2. 2 5 「DSEP」			○	○
622470801		タゾピペ配合点滴静注用バッグ 2. 2 5 「ニプロ」			○	○
622455801		タゾピペ配合点滴静注用バッグ 2. 2 5 「ファイザー」			○	○

622462001 62000022	電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
		エリスロシンW顆粒2.25バッグ「サンド」 エリスロシン配合点滴静注用2.25バッグ「サンド」 エリスロシンW顆粒2.25%				
620001975		エリスロシンドライシロップ1.0%	○	○	○	○
620001974		エリスロシンドライシロップW2.0%	○	○	○	○
620004463		エリスロマイシン錠2.00mg「サワイ」	○	○	○	○
620000020		エリスロシン錠1.00mg	○	○	○	○
620000021		エリスロシン錠2.00mg	○	○	○	○
621120001		エリスロシン点滴静注用5.00mg	○	○	○	○
620003495		アセチルスピラマイシン錠1.00	○	○	○	○
620003496		アセチルスピラマイシン錠2.00	○	○	○	○
620003554		ジョサマイシン錠5.0mg	○	○	○	○
620003555		ジョサマイシン錠2.00mg	○	○	○	○
620004503		ジョサマイシロップ3%	○	○	○	○
620004504		ジョサマイドドライシロップ1.0%	○	○	○	○
616140099		ルリッド錠15.0	○	○	○	○
620002885		ロキシマイン錠15.0mg	○	○	○	○
620004096		ロキスロマイシン錠15.0mg「サンド」	○	○	○	○
621681102		ロキスロマイシン錠15.0mg「RM」		○	○	○
621694602		ロキスロマイシン錠15.0mg「ファイザー」		○	○	○
621693303		ロキスロマイシン錠15.0mg「JG」		○	○	○
621694201		ロキスロマイシン錠15.0mg「サワイ」			○	○
621675901		ロキスロマイシン錠15.0mg「日医工」			○	○
616140101		クラリシッド錠5.0mg小児用	○	○	○	○
616140104		クラリス錠5.0小児用	○	○	○	○
620003921		クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「CH」	○	○	○	○
620003918		クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「EMEC」	○	○	○	○
620003919		クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「NP I」	○	○	○	○
620003917		クラリスロマイシン錠5.0小児用「TCK」	○	○	○	○
620003920		クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「サワイ」	○	○	○	○
620003922		クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「タイヨー」	○	○	○	○
620003916		クラリスロマイシン錠小児用5.0mg「タカタ」	○	○	○	○
620003923		クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「日医工」	○	○	○	○
620003945		クラロイシン錠5.0小児用	○	○	○	○
620004075		メインベース錠5.0小児用	○	○	○	○
620005425		クラリスロマイシン錠5.0小児用「MEEK」	○	○	○	○
620006669		クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「マイラン」	○	○	○	○
622079301		クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「NP」	○	○	○	○
621741203		クラリスロマイシン錠5.0mg小児用「杏林」		○	○	○
621752801		クラリスロマイシン錠小児用5.0mg「トーフ」		○	○	○
616140102		クラリシッド錠2.00mg	○	○	○	○
616140105		クラリス錠2.00	○	○	○	○
620003932		クラリスロマイシン錠2.00mg「CH」	○	○	○	○
620003928		クラリスロマイシン錠2.00mg「EMEC」	○	○	○	○
620003926		クラリスロマイシン錠2.00「MEEK」	○	○	○	○
620003929		クラリスロマイシン錠2.00mg「NP I」	○	○	○	○
620003927		クラリスロマイシン錠2.00「TCK」	○	○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620003930	クラリスロマイシン錠200mg「サワイ」				
620003931	クラリスロマイシン錠200mg「サンド」	○	○	○	○
620003933	クラリスロマイシン錠200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620003934	クラリスロマイシン錠200mg「タカタ」	○	○	○	○
620003935	クラリスロマイシン錠200mg「日医工」	○	○	○	○
620003946	クラロイシン錠200	○	○	○	○
620004076	マインベース錠200	○	○	○	○
620006670	クラリスロマイシン錠200mg「マイラン」	○	○	○	○
620008013	クラリスロマイシン錠200mg「タナベ」	○	○	○	○
622079401	クラリスロマイシン錠200mg「NP」	○	○	○	○
621742103	クラリスロマイシン錠200mg「杏林」		○	○	○
621752901	クラリスロマイシン錠200mg「トーワ」		○	○	○
620003940	クラリスロマイシンDS10%小児用「EMEC」	○	○	○	○
620003941	クラリスロマイシンDS10%小児用「サワイ」	○	○	○	○
620003943	クラリスロマイシンDS小児用10%「タカタ」	○	○	○	○
620003942	クラリスロマイシンDS10%小児用「日医工」	○	○	○	○
620003939	クラリスロマイシンDS10%「MEEK」	○	○	○	○
620004077	マインベースDS10%小児用	○	○	○	○
620004476	クラリシッド・ドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620004974	クラリスドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620005426	クラリスロマイシンドライシロップ10%小児用「タイヨー」	○	○	○	○
620005427	クラロイシンドライシロップ10%小児用	○	○	○	○
620006671	クラリスロマイシンドライシロップ10%小児用「マイラン」	○	○	○	○
621753001	クラリスロマイシンDS小児用10%「トーワ」		○	○	○
621348401	ジスロマック細粒小児用10%	○	○	○	○
622295301	アジスロマイシン細粒小児用10%「JG」		○	○	○
622303301	アジスロマイシン細粒小児用10%「SN」		○	○	○
622269501	アジスロマイシン細粒小児用10%「YD」		○	○	○
622274301	アジスロマイシン細粒10%小児用「KN」		○	○	○
622274501	アジスロマイシン小児用細粒10%「タカタ」		○	○	○
622353101	アジスロマイシン細粒小児用10%「TCK」			○	○
622411501	アジスロマイシン細粒小児用10%「トーワ」			○	○
610443026	ジスロマック錠250mg	○	○	○	○
622286701	アジスロマイシン錠250mg「DSEP」		○	○	○
622294801	アジスロマイシン錠250mg「F」		○	○	○
622290801	アジスロマイシン錠250mg「JG」		○	○	○
622274201	アジスロマイシン錠250mg「KN」		○	○	○
622276801	アジスロマイシン錠250mg「KOG」		○	○	○
622296901	アジスロマイシン錠250mg「NP」		○	○	○
622303401	アジスロマイシン錠250mg「SN」		○	○	○
622269601	アジスロマイシン錠250mg「YD」		○	○	○
622275601	アジスロマイシン錠250mg「アメル」		○	○	○
622295401	アジスロマイシン錠250mg「サワイ」		○	○	○
622289801	アジスロマイシン錠250mg「サンド」		○	○	○
622274401	アジスロマイシン錠250mg「タカタ」		○	○	○

62128206 電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
	スロマイシン錠250mg「テバ」				
622281501	アジスロマイシン錠250mg「トーワ」		○	○	○
622270801	アジスロマイシン錠250mg「日医工」		○	○	○
622275401	アジスロマイシン錠250mg「わかもと」		○	○	○
622352901	アジスロマイシン錠250mg「TCK」			○	○
622368001	アジスロマイシン錠250mg「CHM」			○	○
610451034	ジスロマック錠600mg	○	○	○	○
622274601	アジスロマイシン小児用錠100mg「タカタ」		○	○	○
622281601	アジスロマイシン錠500mg「トーワ」		○	○	○
622270901	アジスロマイシン錠500mg「日医工」		○	○	○
610443024	ジスロマックカプセル小児用100mg	○	○	○	○
622290701	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「JG」		○	○	○
622303201	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「SN」		○	○	○
622269401	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「YD」		○	○	○
622353001	アジスロマイシンカプセル小児用100mg「TCK」			○	○
620009094	ジスロマックSR成人用ドライシロップ2g	○	○	○	○
622085701	ジスロマック点滴静注用500mg	○	○	○	○
621122501	クロロマイセチン錠50	○	○	○	○
621122601	クロロマイセチン錠250	○	○	○	○
621122801	クロロマイセチンサクシネート静注用1g	○	○	○	○
616150003	アクロマイシンVカプセル500mg	○	○	○	○
616150002	アクロマイシンVカプセル2500mg	○	○	○	○
621123301	レダマイシンカプセル150mg	○	○	○	○
620006083	ビブラマイシン錠500mg	○	○	○	○
620006084	ビブラマイシン錠1000mg	○	○	○	○
620007109	ミノマイシン顆粒2%	○	○	○	○
621124301	ミノサイクリン塩酸塩顆粒2%「サワイ」		○	○	○
616150088	ミノマイシン錠500mg	○	○	○	○
621124603	塩酸ミノサイクリン錠50「日医工」		○	○	○
621124801	ミノサイクリン塩酸塩錠500mg「サワイ」		○	○	○
621125101	ミノサイクリン塩酸塩錠500mg「トーワ」		○	○	○
616150064	ミノマイシン錠1000mg	○	○	○	○
621125401	ミノサイクリン塩酸塩錠1000mg「サワイ」		○	○	○
621125701	ミノサイクリン塩酸塩錠1000mg「トーワ」		○	○	○
616150063	ミノマイシンカプセル500mg	○	○	○	○
610454083	ミノマイシンカプセル1000mg	○	○	○	○
621126003	塩酸ミノサイクリンカプセル1000「日医工」		○	○	○
620004770	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用1000mg「日医工」		○	○	○
620005226	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用1000mg「タイヨー」	○	○	○	○
620007513	ミノマイシン点滴静注用1000mg	○	○	○	○
621126801	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用1000mg「サワイ」		○	○	○
621126501	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用1000mg「F」			○	○
620003244	硫酸ストレプトマイシン1g注射用「明治」	○	○	○	○
620008620	サイクロセリンカプセル250mg「明治」	○	○	○	○
620004093	リファンピシンカプセル150mg「サンド」	○	○	○	○

62100853 JANコード	名称	2010	2012	2014	2016
62100853	テシシカプセル150mg				
621127501	リファジンカプセル150mg	○	○	○	○
620007375	ツベラクチン筋注用1g	○	○	○	○
620008440	ミコブテインカプセル150mg	○	○	○	○
620007539	硫酸カナマイシン注射液100mg「明治」	○	○	○	○
620008666	ナスタチン錠50万単位「明治」	○	○	○	○
620007031	ハリゾン錠100mg	○	○	○	○
620004560	ファンギゾンシロップ100mg/mL	○	○	○	○
620007032	ハリゾンシロップ100mg/mL	○	○	○	○
620007467	ファンギゾン注射用50mg	○	○	○	○
620003487	アムビゾーム点滴静注用50mg	○	○	○	○
620002493	ブイフェンド錠50mg	○	○	○	○
622480701	ポリコナゾール錠50mg「DSEP」				○
622491901	ポリコナゾール錠50mg「JG」				○
622499601	ポリコナゾール錠50mg「アメル」				○
622483001	ポリコナゾール錠50mg「タカタ」				○
622495401	ポリコナゾール錠50mg「テバ」				○
622479601	ポリコナゾール錠50mg「トーワ」				○
622501301	ポリコナゾール錠50mg「日医工」				○
620002494	ブイフェンド錠200mg	○	○	○	○
622480801	ポリコナゾール錠200mg「DSEP」				○
622492101	ポリコナゾール錠200mg「JG」				○
622499801	ポリコナゾール錠200mg「アメル」				○
622483101	ポリコナゾール錠200mg「タカタ」				○
622495501	ポリコナゾール錠200mg「テバ」				○
622479701	ポリコナゾール錠200mg「トーワ」				○
622501401	ポリコナゾール錠200mg「日医工」				○
622492001	ポリコナゾール錠100mg「JG」				○
622499701	ポリコナゾール錠100mg「アメル」				○
622375301	ブイフェンドドライシロップ280mg			○	○
640462040	ファンガード点滴用50mg	○	○	○	○
640462041	ファンガード点滴用75mg	○	○	○	○
620003489	ファンガード点滴用25mg	○	○	○	○
620002497	ブイフェンド200mg静注用	○	○	○	○
622136201	カンサイダス点滴静注用50mg		○	○	○
622136301	カンサイダス点滴静注用70mg		○	○	○
621130301	ピクシリンS配合錠	○	○	○	○
621131001	注射用ピクシリンS100	○	○	○	○
646190020	注射用ピクシリンS500	○	○	○	○
646190018	注射用ピクシリンS1000	○	○	○	○
622517701	リフキシマ錠200mg				○
610462048	ランサップ400	○	○	○	○
610462049	ランサップ800	○	○	○	○
622029101	ランピオンパック	○	○	○	○
622289101	ラベキュアパック400		○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622289201	キューアパック800				
622289301	ラベファインパック		○	○	○
622485401	ボノサップパック400				○
622485501	ボノサップパック800				○
622485601	ボノピオンパック				○
610463036	ウイントマイロン錠250	○	○	○	○
616290016	ウイントマイロン錠500	○	○	○	○
620006852	ウイントマイロンシロップ5%	○	○	○	○
620009216	カルノマチン錠250mg	○	○		
621137802	ピペミド酸錠250mg「YD」		○	○	○
616290054	ドルコール錠250mg	○	○	○	○
610407051	キサフロール錠100	○	○	○	○
610407066	シーヌン錠100mg	○	○		
621138800	ノルフロキサシン錠100mg「YD」	○	○	○	○
621138803	ノルフロキサシン錠100mg「サワイ」			○	○
621138818	ノルフロキサシン錠100mg「ツルハラ」		○	○	○
621138823	ノルフロキサシン錠100mg「EMEC」	○	○	○	○
622058001	バスティーン錠100mg	○	○	○	○
616290121	バクシダール錠100mg	○	○	○	○
610407052	キサフロール錠200	○	○	○	○
610407067	シーヌン錠200mg	○	○		
610412023	ウナセラ錠200mg	○	○		
620006594	バスティーン錠200mg	○	○	○	○
621139104	ノルフロキサシン錠200mg「サワイ」			○	○
621139117	ノルフロキサシン錠200mg「YD」	○	○	○	○
621139123	ノルフロキサシン錠200mg「ツルハラ」		○	○	○
621139128	ノルフロキサシン錠200mg「EMEC」	○	○	○	○
616290147	バクシダール錠200mg	○	○	○	○
616240001	小児用バクシダール錠50mg	○	○	○	○
620003912	オフロキサシン錠100mg「サワイ」	○	○	○	
620003913	オフロキサシン錠100mg「ツルハラ」		○	○	○
620003984	タリフロキシド錠100mg	○	○	○	
620004040	フロキン錠100mg		○	○	○
620006024	タツミキシド錠100mg		○	○	○
621745304	オフロキサシン錠100mg「テバ」		○	○	○
621753101	オフロキサシン錠100mg「タナベ」		○	○	
621753103	オフロキサシン錠100mg「JG」		○	○	○
620006972	タリビッド錠100mg	○	○	○	○
622096201	シプロフロキサシン錠100mg「CH」		○	○	
622096202	シプロフロキサシン錠100mg「JG」		○	○	○
622125901	シバスタン錠100mg		○	○	○
616290155	シプロキサシン錠100mg	○	○	○	○
621489001	シプロフロキサシン錠100mg「日医工」		○	○	○
621946502	シプロフロキサシン錠100mg「トーワ」		○	○	○

621964702 レボフロキサシ ン錠100mg「SW」	シプロフロキサシ ン錠100mg「TCK」	2010	2012	2014	2016
621529401	シプロフロキサシ ン錠100mg「TCK」				
610463082	シバスタン錠200mg		○	○	○
620000118	プリモール錠200mg		○	○	○
621489201	シプロフロキサシ ン錠200mg「タナベ」	○	○	○	
621489203	シプロフロキサシ ン錠200mg「JG」		○	○	○
621529501	シプロフロキサシ ン錠200mg「TCK」			○	○
616290156	シプロキサシ ン錠200mg	○	○	○	○
621489601	シプロフロキサシ ン錠200mg「日医工」		○	○	○
621489502	シプロフロキサシ ン錠200mg「トーワ」		○	○	○
621489102	シプロフロキサシ ン錠200mg「SW」			○	○
610407158	バレオン錠200mg	○	○	○	○
616290170	バレオンカプセル100mg	○	○	○	○
621971501	オゼックス細粒小児用15%	○	○	○	○
622410601	トスフロキサシ ントシル酸塩細粒小児用15%「タカタ」			○	○
622413901	トスフロキサシ ントシル酸塩細粒小児用15%「トーワ」			○	○
622420701	トスフロキサシ ントシル酸塩小児用細粒15%「明治」			○	○
622481701	トスフロキサシ ントシル酸塩細粒小児用15%「TCK」				○
616290166	オゼックス錠75	○	○	○	○
616290168	トスキサシ ン錠75mg	○	○	○	○
621952101	トスフロキサシ ントシル酸塩錠75mg「NP」	○	○	○	○
621931101	トスフロキサシ ントシル酸塩錠75mg「TCK」	○	○	○	○
621953501	トスフロキサシ ントシル酸塩錠75mg「TYK」	○	○	○	○
621940001	トスフロキサシ ントシル酸塩錠75mg「YD」	○	○	○	○
621963301	トスフロキサシ ントシル酸塩錠75mg「サワイ」	○	○	○	○
621963401	トスフロキサシ ントシル酸塩錠75mg「サンド」	○	○	○	○
621935301	トスフロキサシ ントシル酸塩錠75mg「タイヨー」	○	○	○	○
621956201	トスフロキサシ ントシル酸塩錠75mg「タナベ」	○	○	○	○
621963501	トスフロキサシ ントシル酸塩錠75mg「日医工」	○	○	○	○
616290167	オゼックス錠150	○	○	○	○
616290169	トスキサシ ン錠150mg	○	○	○	○
621952201	トスフロキサシ ントシル酸塩錠150mg「NP」	○	○	○	○
621931201	トスフロキサシ ントシル酸塩錠150mg「TCK」	○	○	○	○
621953601	トスフロキサシ ントシル酸塩錠150mg「TYK」	○	○	○	○
621940101	トスフロキサシ ントシル酸塩錠150mg「YD」	○	○	○	○
621963601	トスフロキサシ ントシル酸塩錠150mg「サワイ」	○	○	○	○
621963701	トスフロキサシ ントシル酸塩錠150mg「サンド」	○	○	○	○
621935401	トスフロキサシ ントシル酸塩錠150mg「タイヨー」	○	○	○	○
621956301	トスフロキサシ ントシル酸塩錠150mg「タナベ」	○	○	○	○
621963801	トスフロキサシ ントシル酸塩錠150mg「日医工」	○	○	○	○
621925901	クラビット細粒10%	○	○	○	○
622371001	レボフロキサシ ン細粒10%「DSEP」			○	○
622383001	レボフロキサシ ン錠250mg「サンド」			○	
622387801	レボフロキサシ ン錠250mg「日医工P」			○	
622391701	レボフロキサシ ン錠250mg「ニプロ」			○	

622395201 レボフロキサシンの電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621925701	レボフロキサシ錠250mg「アメル」 クラビット錠250mg	○	○	○	○
622386101	レボフロキサシ錠250mg「CEO」			○	○
622379101	レボフロキサシ錠250mg「CH」			○	○
622370801	レボフロキサシ錠250mg「DSEP」			○	○
622394001	レボフロキサシ錠250mg「F」			○	○
622400801	レボフロキサシ錠250mg「MEEK」			○	○
622386801	レボフロキサシ錠250mg「TCK」			○	○
622367801	レボフロキサシ錠250mg「YD」			○	○
622376301	レボフロキサシ錠250mg「ZE」			○	○
622400701	レボフロキサシ錠250mg「イセイ」			○	○
622389401	レボフロキサシ錠250mg「イワキ」			○	○
622380301	レボフロキサシ錠250mg「オーハラ」			○	○
622395901	レボフロキサシ錠250mg「科研」			○	○
622365901	レボフロキサシ錠250mg「杏林」			○	○
622388801	レボフロキサシ錠250mg「ケミファ」			○	○
622392301	レボフロキサシ錠250mg「サトウ」			○	○
622383501	レボフロキサシ錠250mg「サノフィ」			○	○
622391101	レボフロキサシ錠250mg「サワイ」			○	○
622377901	レボフロキサシ錠250mg「タカタ」			○	○
622380001	レボフロキサシ錠250mg「タナベ」			○	○
622394401	レボフロキサシ錠250mg「テバ」			○	○
622372801	レボフロキサシ錠250mg「トーワ」			○	○
622384801	レボフロキサシ錠250mg「ニッター」			○	○
622382001	レボフロキサシ錠250mg「ファイザー」			○	○
622369001	レボフロキサシ錠250mg「明治」			○	○
622435301	レボフロキサシ錠250mg「SUN」			○	○
622436801	レボフロキサシ錠250mg「日医工」			○	○
622383101	レボフロキサシ錠500mg「サンド」			○	
622391801	レボフロキサシ錠500mg「ニプロ」			○	
622395301	レボフロキサシ錠500mg「アメル」			○	
622435401	レボフロキサシ錠500mg「SUN」			○	
621925801	クラビット錠500mg	○	○	○	○
622386201	レボフロキサシ錠500mg「CEO」			○	○
622379201	レボフロキサシ錠500mg「CH」			○	○
622370901	レボフロキサシ錠500mg「DSEP」			○	○
622394101	レボフロキサシ錠500mg「F」			○	○
622401001	レボフロキサシ錠500mg「MEEK」			○	○
622386901	レボフロキサシ錠500mg「TCK」			○	○
622367901	レボフロキサシ錠500mg「YD」			○	○
622376401	レボフロキサシ錠500mg「ZE」			○	○
622400901	レボフロキサシ錠500mg「イセイ」			○	○
622389501	レボフロキサシ錠500mg「イワキ」			○	○
622380401	レボフロキサシ錠500mg「オーハラ」			○	○
622396001	レボフロキサシ錠500mg「科研」			○	○

薬品コード	名称	2010	2012	2014	2016
622388901	レボフロキサシン錠500mg「杏林」			○	○
622392401	レボフロキサシン錠500mg「サトウ」			○	○
622383601	レボフロキサシン錠500mg「サノフィ」			○	○
622391201	レボフロキサシン錠500mg「サワイ」			○	○
622378001	レボフロキサシン錠500mg「タカタ」			○	○
622380101	レボフロキサシン錠500mg「タナベ」			○	○
622394501	レボフロキサシン錠500mg「テバ」			○	○
622372901	レボフロキサシン錠500mg「トーワ」			○	○
622387901	レボフロキサシン錠500mg「日医工P」			○	○
622384901	レボフロキサシン錠500mg「ニッター」			○	○
622382101	レボフロキサシン錠500mg「ファイザー」			○	○
622369101	レボフロキサシン錠500mg「明治」			○	○
622436901	レボフロキサシン錠500mg「日医工」			○	○
622372601	レボフロキサシンOD錠250mg「トーワ」			○	○
622372701	レボフロキサシンOD錠500mg「トーワ」			○	○
622368201	レボフロキサシン粒状錠250mg「モチダ」			○	○
622368301	レボフロキサシン粒状錠500mg「モチダ」			○	○
622372501	レボフロキサシン内用液250mg「トーワ」			○	○
610462041	スオード錠100	○	○	○	○
620003125	アベロックス錠400mg	○	○	○	○
620005822	ジェニナック錠200mg	○	○	○	○
620006774	グレースビット細粒10%	○	○	○	○
620006773	グレースビット錠50mg	○	○	○	○
620000446	シプロキサ注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注300mg/150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサ注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シプロフロキサシン点滴静注200mg/100mL「明治」	○	○	○	○
620009548	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg/250mL「NP」	○	○	○	○
620009549	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg/250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg/250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シプロフロキサシンDU点滴静注300mg/250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサ注400mg			○	○

64462032電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	バシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	バシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg/20mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg/100mL	○	○	○	○
610451000	ザイボックス錠600mg	○	○	○	○
622461001	リネゾリド錠600mg「明治」			○	○
640451010	ザイボックス注射液600mg	○	○	○	○
622419501	リネゾリド点滴静注液600mg「明治」			○	○
620004450	アンコチル錠500mg	○	○	○	○
616290164	ジフルカンカプセル500mg	○	○	○	○
620000121	フルコナゾールカプセル500mg「F」	○	○	○	○
620002804	フルコナゾールカプセル500mg「アメル」	○	○	○	○
621688201	フルコナゾールカプセル500mg「サワイ」	○	○	○	○
622070301	フルコナゾールカプセル500mg「JG」	○	○	○	○
621530003	フルコナゾールカプセル500mg「サンド」			○	○
621569001	フルコナゾールカプセル500mg「日医工」			○	○
621531201	フルコナゾールカプセル500mg「タカタ」			○	○
616290165	ジフルカンカプセル1000mg	○	○	○	○
620000122	フルコナゾールカプセル1000mg「F」	○	○	○	○
620002805	フルコナゾールカプセル1000mg「アメル」	○	○	○	○
621639401	フルコナゾールカプセル1000mg「サワイ」	○	○	○	○
622070401	フルコナゾールカプセル1000mg「JG」	○	○	○	○
621530103	フルコナゾールカプセル1000mg「サンド」			○	○
621569101	フルコナゾールカプセル1000mg「日医工」			○	○
621531301	フルコナゾールカプセル1000mg「タカタ」			○	○
622139201	ジフルカンドライシロップ350mg		○	○	○
622139301	ジフルカンドライシロップ1400mg		○	○	○
620007077	フロリードゲル経口用2%	○	○	○	○
620001958	イトラコナゾール錠50「MEEK」	○	○	○	○
620007914	イトラコナゾール錠500mg「科研」	○	○	○	○
621636802	イトラコナゾール錠500mg「日医工」		○	○	○
620001959	イトラコナゾール錠100「MEEK」	○	○	○	○
621746701	イトラコナゾール錠1000mg「日医工」		○	○	○
620007915	イトラコナゾール錠200「MEEK」	○	○	○	○
616290177	イトリゾールカプセル50	○	○	○	○
621629201	イトラコナゾールカプセル500mg「SWJ」			○	○
620004349	イトリゾール内用液1%	○	○	○	○
610412199	ラミシール錠125mg	○	○	○	○
620003950	ケルガー錠125mg	○	○	○	○
620003987	テビーナ錠125mg	○	○	○	○
620003988	テビナシール錠125mg	○	○	○	○

620003999 薬品コード	名称	2010	2012	2014	2016
620003995	テルビナフィン錠125mg「CH」	○	○	○	○
620003993	テルビナフィン錠125mg「F」	○	○	○	○
620003990	テルビナフィン錠125「MEEK」	○	○	○	○
620003990	テルビナフィン錠125mg「MEEK」	○	○	○	○
620003992	テルビナフィン錠125mg「NP」	○	○	○	○
620003991	テルビナフィン錠125「TCK」	○	○	○	○
620003998	テルビナフィン錠125mg「YD」	○	○	○	○
620003994	テルビナフィン錠125mg「サンド」	○	○	○	○
620003996	テルビナフィン錠125mg「タイヨー」	○	○	○	○
620004001	テルミシール錠125mg	○	○	○	○
620004019	ネドリール錠125mg	○	○	○	○
620004094	リプノール錠125mg	○	○	○	○
620008028	テルビナフィン錠125mg「タナベ」	○	○	○	○
621746301	テルビナフィン錠125mg「ケミファ」		○	○	○
621732101	テルビナフィン錠125mg「日医工」		○	○	○
622244201	テルビナフィン錠125mg「ファイザー」		○	○	○
621726702	テルビナフィン錠125mg「サワイ」		○	○	○
621748401	テルビナフィン錠125mg「トーワ」			○	○
622136101	サムチレール内用懸濁液15%		○	○	○
621355101	ダイフェン配合顆粒		○	○	
621148101	バクタ配合顆粒	○	○	○	○
621148201	バクトラミン配合顆粒	○	○	○	○
621148801	ダイフェン配合錠	○	○	○	○
621148901	バクタ配合錠	○	○	○	○
621149001	バクトラミン配合錠	○	○	○	○
620006311	フロリードF注200mg	○	○	○	○
620003726	ジフルカン静注液50mg	○	○	○	○
622056701	フルコナゾール静注50mg「トーワ」	○	○	○	○
622053301	フルコナゾール静注液50mg「サワイ」	○	○	○	○
622073601	フルコナゾール静注液50mg「日医工」	○	○	○	○
621539701	フルコナゾール静注液50mg「イセイ」		○	○	○
621544402	フルコナゾール静注液50mg「タカタ」			○	○
620003727	ジフルカン静注液100mg	○	○	○	○
620007481	フルコナゾール静注100mg「トーワ」	○	○	○	○
620008922	フルコナゾール静注液100mg「サワイ」	○	○	○	○
621569201	フルコナゾール静注液100mg「日医工」		○	○	○
621539801	フルコナゾール静注液100mg「イセイ」		○	○	○
621554502	フルコナゾール静注液100mg「タカタ」			○	○
620009582	フルコナゾール静注液200mg「マイラン」		○	○	○
621539901	フルコナゾール静注液200mg「イセイ」		○	○	○
620003728	ジフルカン静注液200mg	○	○	○	○
620007482	フルコナゾール静注200mg「トーワ」	○	○	○	○
620008923	フルコナゾール静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
621569301	フルコナゾール静注液200mg「日医工」		○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621554602	フルコナゾール静注液200mg「タカタ」				
620000295	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621541601	フルコナゾール静注液100mg「テバ」		○	○	○
621543302	フルコナゾール静注100mg「NP」		○	○	○
621541701	フルコナゾール静注液200mg「テバ」		○	○	○
620000296	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621543402	フルコナゾール静注200mg「NP」		○	○	○
620000294	フルコナゾール静注液0.1%「F」	○	○	○	○
621543201	フルコナゾール静注500mg「NP」		○	○	○
620000437	プロジフ静注液100	○	○	○	○
620000438	プロジフ静注液200	○	○	○	○
620000439	プロジフ静注液400	○	○	○	○
620004424	イトリゾール注1%	○	○	○	○
621150001	エンペシドトローチ10mg	○	○	○	○
620005834	ベセルナクリーム5%	○	○	○	○
622365201	クレナフィン爪外用液10%			○	○
622471601	ルコナック爪外用液5%				○
621166401	チニダゾール錠200mg「F」		○	○	○
621166501	チニダゾール錠500mg「F」		○	○	○
620006817	アズブルー錠250mg	○	○	○	○
620007057	フラジール内服錠250mg	○	○	○	○
620002484	メファキン「ヒサミツ」錠275	○	○	○	○
622224801	アメパロモカプセル250mg		○	○	○
622500501	プリマキン錠15mg「サノフィ」				○
622225701	マラロン配合錠		○	○	○
622500601	マラロン小児用配合錠				○
622532901	リアメット配合錠				○
621167101	ベナンボックス注用300mg	○	○	○	○
622364001	アネメト口点滴静注液500mg			○	○
646410002	バクタミン注	○	○	○	○
640463089	注射用ペニシリンGカリウム20万単位	○	○	○	○
620000427	注射用ペニシリンGカリウム100万単位	○	○	○	○
620003811	ペランコシン注300mg		○	○	
620007537	リズピオン注300mg		○	○	○
621062901	リンコマイシン塩酸塩注300mg「NP」		○	○	○
620006341	リンコシン注射液300mg	○	○	○	○
620003812	ペランコシン注600mg		○	○	
620007538	リズピオン注600mg		○	○	○
621380904	リンコマイシン塩酸塩注600mg「NP」		○	○	○
621380908	リンコマイシン塩酸塩注射液600mg「日医工」		○	○	○
620006342	リンコシン注射液600mg	○	○	○	○
620004196	ペランコシン注1g		○	○	
620004197	ペランコシン注1.5g	○	○	○	
620006344	リンコシン注射液1.5g	○	○	○	○
620006343	リンコシン注射液1g	○	○	○	○

620006261 レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620008810	ダラシンS注射液300mg クリンダマイシン注射液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
621064601	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「サワイ」	○	○	○	○
622111302	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「トーワ」		○	○	○
621064701	クリンダマイシンリン酸エステル注300mg「F」			○	○
621064501	クリンダマイシンリン酸エステル注射液300mg「NP」			○	○
620006262	ダラシンS注射液600mg	○	○	○	○
620008811	クリンダマイシン注射液600mg「タイヨー」	○	○	○	○
621065101	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「サワイ」	○	○	○	○
621065201	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「トーワ」		○	○	○
621065301	クリンダマイシンリン酸エステル注600mg「F」			○	○
621065001	クリンダマイシンリン酸エステル注射液600mg「NP」			○	○
620006226	クリンダマイシン注300mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
620006227	クリンダマイシン注600mgシリンジ「タイヨー」	○	○	○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g（シオノギ）	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
621876001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「ケミファ」	○	○	○	
620004729	ハベカシン注射液75mg	○	○	○	○
620009511	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「HK」	○	○	○	○
621735001	アルベカシン硫酸塩注射液75mg「テバ」			○	○
621066501	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「ケミファ」	○	○	○	
620004730	ハベカシン注射液100mg	○	○	○	○
620009512	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「HK」	○	○	○	○
621066401	アルベカシン硫酸塩注射液100mg「テバ」			○	○
621924501	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「ケミファ」	○	○	○	
620004728	ハベカシン注射液25mg	○	○	○	○
620009509	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「HK」	○	○	○	○
621896701	アルベカシン硫酸塩注射液25mg「テバ」			○	○
621950502	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「ケミファ」	○	○	○	
620007432	ハベカシン注射液200mg	○	○	○	○
621955601	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「HK」	○	○	○	○
621936302	アルベカシン硫酸塩注射液200mg「テバ」			○	○
620004709	注射用タゴシッド200mg	○	○	○	○

7桁コード	名称	2010	2012	2014	2016
620008212	テイコブラニン点滴静注用200mg「NP」				
620008213	テイコブラニン点滴静注用200mg「日医工」	○	○	○	○
620008532	テイコブラニン点滴静注用200mg「F」	○	○	○	○
620008531	テイコブラニン点滴静注用200mg「HK」	○	○	○	○
620008533	テイコブラニン点滴静注用200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008535	テイコブラニン点滴静注用200mg「トーワ」	○	○	○	○
620009572	テイコブラニン点滴静注用200mg「TYK」	○	○	○	○
620009571	テイコブラニン点滴静注用200mg「サワイ」	○	○	○	○
621995201	テイコブラニン点滴静注用200mg「サンド」	○	○	○	○
622227801	テイコブラニン点滴静注用200mg「明治」		○	○	○
621901402	テイコブラニン点滴静注用200mg「ファイザー」			○	○
621884501	テイコブラニン点滴静注用200mg「テバ」			○	○
620009574	テイコブラニン点滴静注用400mg「F」	○	○	○	○
622216601	テイコブラニン点滴静注用400mg「NP」		○	○	○
622207201	テイコブラニン点滴静注用400mg「日医工」		○	○	○
622227901	テイコブラニン点滴静注用400mg「明治」		○	○	○
622338101	テイコブラニン点滴静注用400mg「トーワ」			○	○
622085501	キュビシン静注用350mg	○	○	○	○
640462005	注射用シナシッド	○	○	○	○
646130274	アザクタム注射用0.5g	○	○	○	○
646130275	アザクタム注射用1g	○	○	○	○
640453139	トブラシン注小児用100mg	○	○	○	○
640453140	トブラシン注600mg	○	○	○	○
646120062	トブラシン注900mg	○	○	○	○
620003676	アミカシン硫酸塩注射液100mg「サワイ」		○	○	○
620004178	ブルテツシン注射液100mg		○	○	
620006356	ロミカシン注射液100mg		○	○	
621069302	アミカシン硫酸塩注射液100mg「N i k P」		○	○	○
621069501	アミカシン硫酸塩注射液100mg「F」			○	○
620003190	アミカマイシン注射液100mg	○	○	○	○
621069402	アミカシン硫酸塩注射液100mg「日医工」	○	○	○	○
621069001	アミカシン硫酸塩注100mg「NP」		○	○	○
620003677	アミカシン硫酸塩注射液200mg「サワイ」		○	○	○
620003797	ブルテツシン注射液200mg	○	○	○	
620006651	ロミカシン注射液200mg	○	○	○	
621070102	アミカシン硫酸塩注射液200mg「N i k P」		○	○	○
621070301	アミカシン硫酸塩注射液200mg「F」			○	○
620003191	アミカマイシン注射液200mg	○	○	○	○
621070202	アミカシン硫酸塩注射液200mg「日医工」	○	○	○	○
621069701	アミカシン硫酸塩注200mg「NP」		○	○	○
621070602	アミカシン硫酸塩注射用100mg「日医工」	○	○	○	○
621070902	アミカシン硫酸塩注射用200mg「日医工」	○	○	○	○
640453078	シオセシン注射液200	○	○	○	○
620003198	エクサシン注射液200	○	○	○	○
620003193	イセパシン注射液200	○	○	○	○

620005641 シード電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621604701	イセパマイシン硫酸塩注射液 200mg 「日医工」		○	○	○
646120080	イセパマイシン硫酸塩注射液 200mg 「サワイ」				
646120081	イセパマイシン注射液 400mg	○	○	○	○
640453079	イクサシン注射液 400mg	○	○	○	○
620005642	シオセシン注射液 400mg	○	○	○	○
621695601	イセパマイシン硫酸塩注射液 400mg 「日医工」		○	○	○
620009196	イセパマイシン硫酸塩注射液 400mg 「サワイ」				
622415701	トロピシン筋注用 2g	○	○	○	○
622199101	オールドレブ点滴静注用 150mg			○	○
621076601	タイガシル点滴静注用 50mg		○	○	○
621076801	ピクシリン注射用0.25g	○	○	○	○
621077201	ピクシリン注射用0.5g	○	○	○	○
621077501	ピクシリン注射用1g	○	○	○	○
621078403	ピクシリン注射用2g	○	○	○	○
646130136	ピペラシリンナトリウム注射用1g 「日医工」		○	○	
620007456	ペントシリン注射用1g	○	○	○	○
621078301	ピペラシリンNa注射用1g 「サワイ」		○	○	○
621078103	ピペラシリンNa注射用1g 「テバ」		○	○	○
621078601	ピペラシリンNa注射用1g 「トーワ」		○	○	○
621342601	ピペラシリンNa注射用1g 「SN」			○	○
621079203	ピペラシリンナトリウム注射用2g 「日医工」		○	○	
646130137	ペントシリン注射用2g	○	○	○	○
620007457	ピペラシリンNa注射用2g 「サワイ」		○	○	○
621078903	ピペラシリンNa注射用2g 「テバ」		○	○	○
621079401	ピペラシリンNa注射用2g 「トーワ」		○	○	○
621342802	ピペラシリンNa注射用2g 「SN」			○	○
622079701	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ1g 「NP」	○	○	○	
640462059	ペントシリン静注用1g バッグ	○	○	○	○
622079801	ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ2g 「NP」	○	○	○	
640462060	ペントシリン静注用2g バッグ	○	○	○	○
646130121	パンスポリン筋注用0.25g	○	○	○	○
646130110	パンスポリン静注用0.25g	○	○	○	○
646130122	パンスポリン静注用0.5g	○	○	○	○
620004140	パンスポリン静注用0.25g	○	○	○	○
620007293	パンスポリン静注用0.5g	○	○	○	○
621989702	セファピコール静注用0.25g 「日医工」		○	○	○
621987602	セファピコール静注用0.25g 「NP」		○	○	○
621924001	セファピコール静注用0.25g 「SN」			○	○
646130111	セファピコール静注用0.5g	○	○	○	○
646130123	セファピコール静注用0.5g	○	○	○	○
620004141	セファピコール静注用0.5g	○	○	○	○
620007294	セファピコール静注用0.5g	○	○	○	○
621989802	セファピコール静注用0.5g 「日医工」		○	○	○

621344901 セプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
621924101	セフォチアム塩酸塩静注用⓪. 5g「NPJ」			○	○
646130112	ハロスポア静注用1g	○	○	○	○
646130124	パンスポリン静注用1g	○	○	○	○
620003732	セファピコール静注用1g	○	○	○	○
620007295	ケミスポリン静注用1g	○	○	○	○
621345002	セフォチアム塩酸塩静注用1g「日医工」		○	○	○
621345301	セフォチアム塩酸塩静注用1g「NPJ」		○	○	○
621095002	セフォチアム塩酸塩静注用1g「SNJ」			○	○
640408149	パンスポリン静注用1gバッグS	○	○	○	○
620009563	セフォチアム静注用1gバッグ「日医工」	○	○	○	○
621540002	セフォチアム塩酸塩点滴静注用1gバッグ「NPJ」		○	○	○
640408148	パンスポリン静注用1gバッグG	○	○	○	○
620003735	セファメジンα注射用⓪. 2.5g	○	○	○	○
622104201	セファゾリンNa注射用⓪. 2.5g「タイヨー」	○	○	○	○
622130801	セファゾリンナトリウム注射用⓪. 2.5g「日医工」	○	○	○	○
622177601	トキオ注射用⓪. 2.5g		○	○	○
622124902	セファゾリンNa注射用⓪. 2.5g「NPJ」			○	○
622033402	セファゾリンNa注射用⓪. 5g「NPJ」			○	○
622104301	セファゾリンNa注射用⓪. 5g「タイヨー」		○	○	○
622177701	トキオ注射用⓪. 5g		○	○	○
620003736	セファメジンα注射用⓪. 5g	○	○	○	○
621096002	セファゾリンナトリウム注射用⓪. 5g「日医工」		○	○	○
620003737	セファメジンα注射用1g	○	○	○	○
621096701	トキオ注射用1g	○	○	○	○
621096503	セファゾリンNa注射用1g「タイヨー」	○	○	○	○
621096802	セファゾリンナトリウム注射用1g「日医工」		○	○	○
621096601	セファゾリンNa注射用1g「NPJ」			○	○
620003738	セファメジンα注射用2g	○	○	○	○
621097303	セファゾリンNa注射用2g「タイヨー」	○	○	○	○
622177801	トキオ注射用2g		○	○	○
621097602	セファゾリンナトリウム注射用2g「日医工」		○	○	○
621097401	セファゾリンNa注射用2g「NPJ」			○	○
620003733	セファメジンα筋注用⓪. 2.5g	○	○	○	○
620003734	セファメジンα筋注用⓪. 5g	○	○	○	○
620003740	セファメジンα点滴用キット2g	○	○	○	○
620003739	セファメジンα点滴用キット1g	○	○	○	○
620007318	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「オーツカ」	○	○	○	○
621757001	セファゾリンNa点滴静注用1gバッグ「NPJ」			○	○
620005674	コアキシシ注射用1g	○	○	○	○
620005675	コアキシシ注射用2g	○	○	○	○
646130072	セフメタゾン筋注用⓪. 5g	○	○	○	○
646130073	セフメタゾン静注用⓪. 2.5g	○	○	○	○
622125001	セフメタゾールNa静注用⓪. 2.5g「NPJ」	○	○	○	○
622131001	セフメタゾールナトリウム静注用⓪. 2.5g「日医工」	○	○	○	○

621736電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622104002	セフメタゾールN a 静注用 2.5 g 「テバ」			○	○
646130074	セフメタゾン静注用 5 g	○	○	○	○
621987501	セフメタゾールN a 静注用 5 g 「NP」	○	○	○	○
622131101	セフメタゾールナトリウム静注用 5 g 「日医工」	○	○	○	○
622111601	リリアジン静注用 5 g	○	○	○	○
622104102	セフメタゾールN a 静注用 5 g 「テバ」			○	○
646130075	セフメタゾン静注用 1 g	○	○	○	○
620006243	セフメタゾールN a 静注用 1 g 「NP」	○	○	○	○
620007540	リリアジン静注用 1 g	○	○	○	○
621102102	セフメタゾールナトリウム静注用 1 g 「日医工」		○	○	○
621101803	セフメタゾールN a 静注用 1 g 「テバ」			○	○
646130076	セフメタゾン静注用 2 g	○	○	○	○
620006244	セフメタゾールN a 静注用 2 g 「NP」	○	○	○	○
620007541	リリアジン静注用 2 g	○	○	○	○
621102802	セフメタゾールナトリウム静注用 2 g 「日医工」		○	○	○
621101903	セフメタゾールN a 静注用 2 g 「テバ」			○	○
640470010	セフメタゾンキット点滴静注用 1 g	○	○	○	○
620004151	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 1 g 「NP」	○	○	○	○
621951701	セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ 2 g 「NP」	○	○	○	○
640454018	セフォタックス注射用 5 g	○	○	○	○
620004652	クラフォラン注射用 5 g	○	○	○	○
640454019	セフォタックス注射用 1 g	○	○	○	○
620004653	クラフォラン注射用 1 g	○	○	○	○
646130067	セフォビッド注射用 1 g	○	○	○	○
646130071	セフォペラジン注射用 1 g	○	○	○	○
646130132	ベストコール筋注用 5 g	○	○	○	○
646130133	ベストコール静注用 5 g	○	○	○	○
646130134	ベストコール静注用 1 g	○	○	○	○
620002999	モダケミン静注用 5 g	○	○	○	○
620003827	モダシン静注用 5 g	○	○	○	○
620006701	セフタジジム静注用 5 g 「マイラン」	○	○	○	○
621967001	セフタジジム静注用 5 g 「サンド」	○	○	○	○
621936401	セフタジジム静注用 5 g 「タイヨー」	○	○	○	○
622052901	セフタジジム静注用 5 g 「サワイ」	○	○	○	○
622124801	セフタジジム静注用 5 g 「NP」	○	○	○	○
621756202	セフタジジム静注用 5 g 「日医工」		○	○	○
621755802	セフタジジム静注用 5 g 「SN」			○	○
620003000	モダケミン静注用 1 g	○	○	○	○
620003001	モベンゾシン静注用 1 g	○	○	○	○
620003828	モダシン静注用 1 g	○	○	○	○
620005676	セフタジジム静注用 1 g 「NP」	○	○	○	○
620006702	セフタジジム静注用 1 g 「マイラン」	○	○	○	○
621967101	セフタジジム静注用 1 g 「サンド」	○	○	○	○

621703001 レセプト電算コード	セフトラジジム静注用 1g「サワイ」 セフトラジジム静注用 1g「日医工」	2010	2012	2014	2016
621755902	セフトラジジム静注用 1g「SN」			○	○
646130268	ロセフィン静注用○. 5g	○	○	○	○
640463134	リアソフィン静注用○. 5g	○	○	○	○
620009566	セフキソン静注用○. 5g	○	○	○	○
620009567	セフトリアキソンNa静注用○. 5g「サンド」	○	○	○	○
621987301	セフトリアキソンナトリウム静注用○. 5g「NP」	○	○	○	○
621967202	セフトリアキソンNa静注用○. 5g「サワイ」		○	○	○
621538203	セフトリアキソンナトリウム静注用○. 5g「日医工」		○	○	○
622077302	セフトリアキソンNa静注用○. 5g「ファイザー」		○	○	○
621836501	セフトリアキソンNa静注用○. 5g「テバ」		○	○	○
646130269	ロセフィン静注用 1g	○	○	○	○
640463135	リアソフィン静注用 1g	○	○	○	○
640463080	セフキソン静注用 1g	○	○	○	○
620009568	セフトリアキソンNa静注用 1g「サンド」	○	○	○	○
621987401	セフトリアキソンナトリウム静注用 1g「NP」	○	○	○	○
621488601	セフトリアキソンNa静注用 1g「サワイ」		○	○	○
621538303	セフトリアキソンナトリウム静注用 1g「日医工」		○	○	○
621555202	セフトリアキソンNa静注用 1g「ファイザー」		○	○	○
621555101	セフトリアキソンNa静注用 1g「テバ」		○	○	○
640470011	ロセフィン点滴静注用 1gバッグ	○	○	○	○
620002955	セフトリアキソンナトリウム点滴用 1gバッグ「NP」	○	○	○	○
622051701	セフトリアキソンナトリウム点滴静注用バッグ 1g「ファイザー」	○	○	○	○
620007514	メイセリン静注用 1g	○	○	○	○
620004148	セフピロム硫酸塩静注用○. 5g「CMX」	○	○	○	○
620006706	硫酸セフピロム静注用○. 5g「マイラン」	○	○	○	○
620004149	セフピロム硫酸塩静注用 1g「CMX」	○	○	○	○
620006707	硫酸セフピロム静注用 1g「マイラン」	○	○	○	○
640407076	注射用マキシピーム○. 5g	○	○	○	○
621966801	セフェピム塩酸塩静注用○. 5g「サンド」	○	○	○	○
621994601	セフェピム塩酸塩静注用○. 5g「CMX」	○	○	○	○
640407077	注射用マキシピーム 1g	○	○	○	○
621966901	セフェピム塩酸塩静注用 1g「サンド」	○	○	○	○
621994701	セフェピム塩酸塩静注用 1g「CMX」	○	○	○	○
640407080	ファーストシン静注用○. 5g	○	○	○	○
640407081	ファーストシン静注用 1g	○	○	○	○
640443046	ファーストシン静注用 1gバッグS	○	○	○	○
640443047	ファーストシン静注用 1gバッグG	○	○	○	○
646130037	シオマリン静注用 1g	○	○	○	○
646130301	フルマリン静注用○. 5g	○	○	○	○
646130302	フルマリン静注用 1g	○	○	○	○
640443048	フルマリンキット静注用 1g	○	○	○	○
620005201	パニマイシン注射液 5○mg	○	○	○	○
620005202	パニマイシン注射液 1○mg	○	○	○	○

620005180 シラザド電算コード	注射用パニマイシン100mg 名称	2010	2012	2014	2016
620003780	ビスタマイシン筋注500mg	○	○	○	○
620003781	ビスタマイシン筋注1000mg	○	○	○	○
646120011	ゲンタシン注100	○	○	○	○
622037301	ゲンタマイシン硫酸塩注射液100mg「日医工」	○	○	○	○
622074801	エルタシン注100mg	○	○	○	○
622074802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液100mg「F」				○
621111803	ゲンタマイシン硫酸塩注射液400mg「日医工」		○	○	○
620003210	ゲンタシン注400	○	○	○	○
620006210	エルタシン注400mg	○	○	○	○
621111802	ゲンタマイシン硫酸塩注射液400mg「F」				○
646120012	ゲンタシン注600	○	○	○	○
620006211	エルタシン注600mg	○	○	○	○
621112004	ゲンタマイシン硫酸塩注射液600mg「日医工」		○	○	○
621112003	ゲンタマイシン硫酸塩注射液600mg「F」				○
621812201	ホスホマイシンナトリウム静注用0.5g「日医工」		○	○	
622104401	フラゼミシン静注用0.5g	○	○	○	
622131501	ホスカリーゼ静注用0.5g	○	○	○	
620003815	ホスミシンS静注用0.5g	○	○	○	○
622079901	ホスホマイシンNa静注用0.5g「NP」		○	○	
622045702	ホスホマイシンNa静注用0.5g「タカタ」		○	○	○
620004750	フラゼミシン静注用1g	○	○	○	
620004767	ホスカリーゼ静注用1g	○	○	○	
621766301	ホスホマイシンナトリウム静注用1g「日医工」		○	○	
620003816	ホスミシンS静注用1g	○	○	○	○
620006316	ホスホマイシンNa静注用1g「NP」	○	○	○	○
621114602	ホスホマイシンNa静注用1g「タカタ」		○	○	○
620004751	フラゼミシン静注用2g	○	○	○	
620004768	ホスカリーゼ静注用2g	○	○	○	
621766401	ホスホマイシンナトリウム静注用2g「日医工」		○	○	
620003817	ホスミシンS静注用2g	○	○	○	○
620006317	ホスホマイシンNa静注用2g「NP」	○	○	○	○
621115302	ホスホマイシンNa静注用2g「タカタ」		○	○	○
620007477	フラゼミシン点滴静注用2gキット	○	○	○	○
640451022	ホスミシンSバッグ1g点滴静注用	○	○	○	○
640451023	ホスミシンSバッグ2g点滴静注用	○	○	○	○
620007519	メロペン点滴用バイアル0.25g	○	○	○	○
620009585	メロペネム点滴静注用0.25g「タイヨー」	○	○	○	○
620009586	メロペネム点滴静注用0.25g「日医工」	○	○	○	○
621952301	メロペネム点滴静注用0.25g「NP」	○	○	○	○
621950101	メロペネム点滴静注用0.25g「ケミファ」	○	○	○	○
621967801	メロペネム点滴静注用0.25g「サワイ」	○	○	○	○
621967901	メロペネム点滴静注用0.25g「タナベ」	○	○	○	○
621946701	メロペネム点滴静注用0.25g「トーワ」	○	○	○	○
621947901	メロペネム点滴静注用0.25g「明治」	○	○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622044201	メロペネム点滴静注用●. 2.5g「ファイザー」				
620007520	メロペン点滴用バイアル●. 5g	○	○	○	○
620009587	メロペネム点滴静注用●. 5g「タイヨー」	○	○	○	○
620009588	メロペネム点滴静注用●. 5g「日医工」	○	○	○	○
621952401	メロペネム点滴静注用●. 5g「NP」	○	○	○	○
621950201	メロペネム点滴静注用●. 5g「ケミファ」	○	○	○	○
621968001	メロペネム点滴静注用●. 5g「サワイ」	○	○	○	○
621968101	メロペネム点滴静注用●. 5g「タナベ」	○	○	○	○
621946801	メロペネム点滴静注用●. 5g「トーワ」	○	○	○	○
621948001	メロペネム点滴静注用●. 5g「明治」	○	○	○	○
622044301	メロペネム点滴静注用●. 5g「ファイザー」	○	○	○	○
622439001	メロペネム点滴静注用1g「NP」			○	○
622419401	メロペネム点滴静注用1g「明治」			○	○
620007518	メロペン点滴用キット●. 5g	○	○	○	○
621952501	メロペネム点滴静注用バッグ●. 5g「NP」	○	○	○	○
621967701	メロペネム点滴静注用バッグ●. 5g「日医工」	○	○	○	○
621931801	メロペネム点滴静注用バッグ●. 5g「明治」	○	○	○	○
622471301	メロペネム点滴静注用バッグ1g「NP」			○	○
622460901	メロペネム点滴静注用バッグ1g「明治」			○	○
640451036	オメガシン点滴用●. 3g	○	○	○	○
640451037	オメガシン点滴用●. 3gバッグ	○	○	○	○
621708501	フィニボックス点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
622078501	フィニボックス点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
621727601	フィニボックス点滴静注用キット●. 2.5g	○	○	○	○
646130264	スルペラゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
620004152	セフロニック静注用●. 5g	○	○	○	○
620007316	スペルゾン静注用●. 5g	○	○	○	○
622083601	スルタムジン静注用●. 5g	○	○	○	○
622099301	セフォセフ静注用●. 5g	○	○	○	○
622130901	セフォン静注用●. 5g	○	○	○	○
622111401	バクフォーゼ静注用●. 5g	○	○	○	○
622080002	ワistarール配合静注用●. 5g		○	○	○
646130265	スルペラゾン静注用1g	○	○	○	○
640444050	セフォセフ静注用1g	○	○	○	○
640444051	セフォン静注用1g	○	○	○	○
640444071	バクフォーゼ静注用1g	○	○	○	○
640453097	スルタムジン静注用1g	○	○	○	○
620003742	セフロニック静注用1g	○	○	○	○
620007317	スペルゾン静注用1g	○	○	○	○
621347901	ワistarール配合静注用1g		○	○	○
621116801	スルペラゾン点滴静注用1g	○	○	○	○
621441901	ワistarール配合点滴静注用1gバッグ		○	○	○
620004108	インダスト点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620007364	チエナム点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○
620008211	チエペネム点滴静注用●. 2.5g	○	○	○	○

622019201 シブド電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
622127601	チエクール点滴用●. 2.5g イミペネム・シラスタチン点滴用●. 2.5g「サンド」	○	○	○	○
622172601	イミスタン点滴静注用●. 2.5g		○	○	○
620003703	インダスト点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620004106	イミスタン点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620004155	チエクール点滴用●. 5g	○	○	○	○
620004707	チエペネム点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620005643	イミペネム・シラスタチン点滴用●. 5g「サンド」	○	○	○	○
620007365	チエナム点滴静注用●. 5g	○	○	○	○
620007362	チエナム筋注用●. 5g	○	○	○	○
620007363	チエナム点滴静注用キット●. 5g	○	○	○	○
646130368	カルベニン点滴用●. 2.5g	○	○	○	○
646130369	カルベニン点滴用●. 5g	○	○	○	○
640406222	ユナシン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620003003	ユナスピン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004132	スルバクシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620004134	スルバシリン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620005874	ピスルシン静注用●. 7.5g	○	○	○	○
620009560	スルバクタム・アンピシリン静注用●. 7.5g「サンド」	○	○	○	○
622118402	ピシリバクタ静注用●. 7.5g	○	○	○	○
622100601	ユーシオン - S 静注用●. 7.5g	○	○	○	○
640406223	ユナシン - S 静注用 1. 5g	○	○	○	○
620002977	ピシリバクタ静注用 1. 5g	○	○	○	○
620003002	ユーシオン - S 静注用 1. 5g	○	○	○	○
620003004	ユナスピン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620004133	スルバクシン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620004135	スルバシリン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620005875	ピスルシン静注用 1. 5g	○	○	○	○
620009561	スルバクタム・アンピシリン静注用 1. 5g「サンド」	○	○	○	○
622250001	ユナシン - S 静注用 3g		○	○	○
622419601	スルバシリン静注用 3g			○	○
622408701	ピスルシン静注用 3g			○	○
622464401	スルバクシン静注用 3g			○	○
622467201	ピシリバクタ静注用 3g			○	○
622458201	ユーシオン - S 静注用 3g			○	○
622441301	ユナスピン静注用 3g			○	○
620004775	ユナシン - S キット静注用 1. 5g	○	○	○	○
620004776	ユナシン - S キット静注用 3g	○	○	○	○
620008446	ゾシン静注用 2. 25	○	○	○	○
622441401	タゾピペ配合静注用 2. 25「CHM」			○	○
622464701	タゾピペ配合静注用 2. 25「DK」			○	○
622453701	タゾピペ配合静注用 2. 25「DSEP」			○	○
622450601	タゾピペ配合静注用 2. 25「SN」			○	○
622461801	タゾピペ配合静注用 2. 25「サンド」			○	○
622458801	タゾピペ配合静注用 2. 25「テバ」			○	○

622467001 シロップ電算コード	タゾピペ配合静注用2.25「日医工」	2010	2012	2014	2016
622470601	タゾピペ配合静注用2.25「ニプロ」			○	○
622455601	タゾピペ配合静注用2.25「ファイザー」			○	○
622460701	タゾピペ配合静注用2.25「明治」			○	○
620008447	ゾシン静注用4.5	○	○	○	○
622441501	タゾピペ配合静注用4.5「CHM」			○	○
622464801	タゾピペ配合静注用4.5「DK」			○	○
622453801	タゾピペ配合静注用4.5「DSEP」			○	○
622450701	タゾピペ配合静注用4.5「SN」			○	○
622461901	タゾピペ配合静注用4.5「サンド」			○	○
622458901	タゾピペ配合静注用4.5「テバ」			○	○
622467101	タゾピペ配合静注用4.5「日医工」			○	○
622470701	タゾピペ配合静注用4.5「ニプロ」			○	○
622455701	タゾピペ配合静注用4.5「ファイザー」			○	○
622460801	タゾピペ配合静注用4.5「明治」			○	○
622423101	ゾシン配合点滴静注用バッグ4.5			○	○
622454001	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「DSEP」			○	○
622470901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ニプロ」			○	○
622455901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ4.5「ファイザー」			○	○
622462101	タゾピペ配合点滴静注用4.5バッグ「サンド」			○	○
622453901	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「DSEP」			○	○
622470801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ニプロ」			○	○
622455801	タゾピペ配合点滴静注用バッグ2.25「ファイザー」			○	○
622462001	タゾピペ配合点滴静注用2.25バッグ「サンド」			○	○
621120001	エリスロシン点滴静注用500mg	○	○	○	○
622085701	ジスロマック点滴静注用500mg	○	○	○	○
621122801	クロロマイセチンサクシネート静注用1g	○	○	○	○
620004770	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「日医工」		○	○	○
620005226	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「タイヨー」	○	○	○	○
620007513	ミノマイシン点滴静注用100mg	○	○	○	○
621126801	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「サワイ」		○	○	○
621126501	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用100mg「F」			○	○
620003244	硫酸ストレプトマイシン1g注射用「明治」	○	○	○	○
620007375	ツバラクチン筋注用1g	○	○	○	○
620007539	硫酸カナマイシン注射液100mg「明治」	○	○	○	○
620007467	ファンギゾン注射用50mg	○	○	○	○
620003487	アムビゾーム点滴静注用50mg	○	○	○	○
640462040	ファンガード点滴用50mg	○	○	○	○
640462041	ファンガード点滴用75mg	○	○	○	○
620003489	ファンガード点滴用25mg	○	○	○	○
620002497	ブイフェンド200mg静注用	○	○	○	○
622136201	カンサイダス点滴静注用50mg		○	○	○
622136301	カンサイダス点滴静注用70mg		○	○	○
621131001	注射用ピクシリンS100	○	○	○	○
646190020	注射用ピクシリンS500	○	○	○	○

646190018 シロキサン注300mg シロキサン注300mg	注射用ピクシリンS 1000 シロキサン注300mg	2010	2012	2014	2016
620000446	シロキサン注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注300mg / 150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサ注200mg	○	○	○	○
620008206	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」	○	○	○	○
620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シプロフロキサシン点滴静注200mg / 100mL「明治」	○	○	○	○
620009548	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「NP」	○	○	○	○
620009549	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シプロフロキサシンDU点滴静注300mg / 250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサ注400mg			○	○
640462032	パシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	パシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	パシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg / 200mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○
640451010	ザイボックス注射液600mg	○	○	○	○
622419501	リネズリド点滴静注液600mg「明治」			○	○
620006311	フロリードF注200mg	○	○	○	○
620003726	ジフルカン静注液50mg	○	○	○	○
622056701	フルコナゾール静注50mg「トーワ」	○	○	○	○
622053301	フルコナゾール静注液50mg「サワイ」	○	○	○	○
622073601	フルコナゾール静注液50mg「日医工」	○	○	○	○
621539701	フルコナゾール静注液50mg「イセイ」		○	○	○
621544402	フルコナゾール静注液50mg「タカタ」			○	○
620003727	ジフルカン静注液100mg	○	○	○	○
620007481	フルコナゾール静注100mg「トーワ」	○	○	○	○
620008922	フルコナゾール静注液100mg「サワイ」	○	○	○	○
621569201	フルコナゾール静注液100mg「日医工」		○	○	○
621539801	フルコナゾール静注液100mg「イセイ」		○	○	○
621554502	フルコナゾール静注液100mg「タカタ」			○	○

620009582 シロプロド 621539901	電算コード フルコナゾール静注液200mg「マイラン」 フルコナゾール静注液200mg「イセイ」	2010	2012	2014	2016
620003728	ジフルカン静注液200mg	○	○	○	○
620007482	フルコナゾール静注200mg「トーワ」	○	○	○	○
620008923	フルコナゾール静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
621569301	フルコナゾール静注液200mg「日医工」		○	○	○
621554602	フルコナゾール静注液200mg「タカタ」			○	○
620000295	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621541601	フルコナゾール静注液100mg「テバ」		○	○	○
621543302	フルコナゾール静注100mg「NP」		○	○	○
621541701	フルコナゾール静注液200mg「テバ」		○	○	○
620000296	フルコナゾール静注液0.2%「F」	○	○	○	○
621543402	フルコナゾール静注200mg「NP」		○	○	○
620000294	フルコナゾール静注液0.1%「F」	○	○	○	○
621543201	フルコナゾール静注50mg「NP」		○	○	○
620000437	プロジフ静注液100	○	○	○	○
620000438	プロジフ静注液200	○	○	○	○
620000439	プロジフ静注液400	○	○	○	○
620004424	イトリゾール注1%	○	○	○	○
621167101	ベナンボックス注用300mg	○	○	○	○
622364001	アネメトロ点滴静注液500mg			○	○
646410002	バクタラミン注	○	○	○	○
640463091	点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」	○	○	○	○
620002907	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g「TX」	○	○	○	○
620005694	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サワイ」	○	○	○	○
620005695	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ホスピーラ」	○	○	○	○
620006792	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g（シオノギ）	○	○	○	○
620009575	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「サンド」	○	○	○	○
620009576	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「タイヨー」	○	○	○	○
621487601	バンコマイシン点滴静注用0.5g「トーワ」	○	○	○	○
621487701	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「日医工」		○	○	○
621487802	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「ファイザー」			○	○
621487501	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」			○	○
622107901	点滴静注用バンコマイシン1.0「MEEK」	○	○	○	○
621942602	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1g「ファイザー」			○	○
622107902	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用1.0g「MEEK」			○	○
620000446	シプロキサシン注300mg	○	○	○	○
620008209	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「DK」	○	○	○	○
620008207	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008208	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009555	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「NP」	○	○	○	○
620009556	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「サワイ」	○	○	○	○
620009557	シプロフロキサシン点滴静注液300mg「日医工」	○	○	○	○
620009559	シプロフロキサシン点滴静注300mg / 150mL「明治」	○	○	○	○
620002581	シプロキサシン注200mg	○	○	○	○

レセプト電算コード	名称	2010	2012	2014	2016
620009206 620008204	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「DK」 シプロフロキサシン点滴静注液200mg「ケミファ」	○	○	○	○
620008205	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「タイヨー」	○	○	○	○
620009552	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「NP」	○	○	○	○
620009553	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「サワイ」	○	○	○	○
620009554	シプロフロキサシン点滴静注液200mg「日医工」	○	○	○	○
620009558	シプロフロキサシン点滴静注200mg / 100mL「明治」	○	○	○	○
620009548	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「NP」	○	○	○	○
620009549	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「サワイ」	○	○	○	○
620009550	シプロフロキサシンDU点滴静注液300mg / 250mL「日医工」	○	○	○	○
620009551	シプロフロキサシンDU点滴静注300mg / 250mL「明治」	○	○	○	○
622446501	シプロキサ注400mg			○	○
640462032	バシル点滴静注液300mg	○	○	○	○
621495102	バズクロス点滴静注液300mg	○	○	○	○
640462033	バシル点滴静注液500mg	○	○	○	○
621495202	バズクロス点滴静注液500mg	○	○	○	○
622009401	バシル点滴静注液1000mg	○	○	○	○
621997601	バズクロス点滴静注液1000mg	○	○	○	○
622030301	クラビット点滴静注500mg / 200mL	○	○	○	○
622030201	クラビット点滴静注バッグ500mg / 100mL	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。
- 2 :
術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。
- 3 :
治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。
- 4 :
感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。
- 5 :
本指標は、厚労省の「医療の質の評価・公表等推進事業」により示されたDPCを用いた共通指標の定義を利用している。
このうち、いくつか改訂（抗菌薬のコードの見直し）が望ましいものを反映した定義は2119_2として算出を行っているため、併せてご参照ください。

参考値:

参考資料:

- 1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 胃全摘術 (開腹/腹腔鏡下手術)

指標番号:

QIP: 3311

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-17

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 胃全摘術 (開腹/腹腔鏡下手術)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 胃全摘術 (開腹/腹腔鏡下) が行われた症例

分子: 抗菌薬の予防的投与日数の総計 (推奨薬剤かどうかは問わない)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2 :
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150166110	K6571	胃全摘術 (単純全摘術)	○	○	○	○	○
150168110	K6572	胃全摘術 (悪性腫瘍手術)	○	○	○	○	○
150323610	K657-21	腹腔鏡下胃全摘術 (単純全摘術)	○	○	○	○	○
150323710	K657-22	腹腔鏡下胃全摘術 (悪性腫瘍手術)	○	○	○	○	○
150407010	K657-21	腹腔鏡下胃全摘術 (単純全摘術) (内視鏡手術用支援機器を用いて行った場合)					○
150407110	K657-22	腹腔鏡下胃全摘術 (悪性腫瘍手術) (内視鏡手術用支援機器を用いて行った場合)					○

3 :
このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が開始されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4 :

このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

5：
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く。

分子の定義：

1：
手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2：
14日を超える症例は14日として集計する。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件：

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意：

1：
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2：
手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。

3：
抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として14日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

参考値：

参考資料：

1：
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング：

最終更新日: 2018-10-17

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 胃全摘術 (開腹/腹腔鏡下手術)

指標番号:

QIP: 3312

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-17

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 胃全摘術 (開腹/腹腔鏡下手術)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 胃全摘術 (開腹/腹腔鏡下) が行われた症例

分子: 手術実施日の翌々日 (手術実施日+2) に抗菌薬 (推奨薬剤かどうかは問わない) が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150166110	K6571	胃全摘術 (単純全摘術)	○	○	○	○	○
150168110	K6572	胃全摘術 (悪性腫瘍手術)	○	○	○	○	○
150323610	K657-21	腹腔鏡下胃全摘術 (単純全摘術)	○	○	○	○	○
150323710	K657-22	腹腔鏡下胃全摘術 (悪性腫瘍手術)	○	○	○	○	○
150407010	K657-21	腹腔鏡下胃全摘術 (単純全摘術) (内視鏡手術用支援機器を用いて行った場合)					○
150407110	K657-22	腹腔鏡下胃全摘術 (悪性腫瘍手術) (内視鏡手術用支援機器を用いて行った場合)					○

3:

このうち、手術実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

5：
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義：

1：
手術実施日の翌々日（手術実施日 + 2）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1：
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2：
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

参考値:

参考資料:

1：
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-17

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 胃全摘術 (開腹/腹腔鏡下手術)

指標番号:

QIP: 3313

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-17

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 胃全摘術 (開腹/腹腔鏡下手術)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ又はSBT/ABPC) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 胃全摘術 (開腹/腹腔鏡下) が行われた症例

分子: 手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150166110	K6571	胃全摘術 (単純全摘術)	○	○	○	○	○
150168110	K6572	胃全摘術 (悪性腫瘍手術)	○	○	○	○	○
150323610	K657-21	腹腔鏡下胃全摘術 (単純全摘術)	○	○	○	○	○
150323710	K657-22	腹腔鏡下胃全摘術 (悪性腫瘍手術)	○	○	○	○	○
150407010	K657-21	腹腔鏡下胃全摘術 (単純全摘術) (内視鏡手術用支援機器を用いて行った場合)					○
150407110	K657-22	腹腔鏡下胃全摘術 (悪性腫瘍手術) (内視鏡手術用支援機器を用いて行った場合)					○

3:

このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に抗菌薬 (注射薬抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母条件2「手術点数コード」の実施日にCEZ又はSBT/ABPCが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

分子のデータ1

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○
SBT/ABPC	6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。

3:

本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。

4:

SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-17

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 胃全摘術 (開腹/腹腔鏡下手術)

指標番号:

QIP: 3314

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 胃全摘術 (開腹/腹腔鏡下手術)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ又はSBT/ABPC、および投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 胃全摘術 (開腹/腹腔鏡下) が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

分子: 手術実施日の翌々日 (手術実施日+2) に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150166110	K6571	胃全摘術 (単純全摘術)	○	○	○	○	○
150168110	K6572	胃全摘術 (悪性腫瘍手術)	○	○	○	○	○
150323610	K657-21	腹腔鏡下胃全摘術 (単純全摘術)	○	○	○	○	○
150323710	K657-22	腹腔鏡下胃全摘術 (悪性腫瘍手術)	○	○	○	○	○
150407010	K657-21	腹腔鏡下胃全摘術 (単純全摘術) (内視鏡手術用支援機器を用いて行った場合)					○
150407110	K657-22	腹腔鏡下胃全摘術 (悪性腫瘍手術) (内視鏡手術用支援機器を用いて行った場合)					○

3:
このうち、手術実施日にCEZ又はSBT/ABPCが投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。

【推奨抗菌薬 (CEZまたはSBP/ABPC) 表】

分母のデータ3

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○
SBT/ABPC	6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○	○

4:
このうち、手術実施日の前日 (手術日-1) に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018

薬価基準コード7桁	抗生物質製剤 分類名	注射 投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日の翌々日(手術実施日+2)に当該抗菌薬が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例(【推奨抗菌薬(CEZまたはSBP/ABPC)表】参照)。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1(主要手術)のみを対象とする。

2:

予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗菌薬を予防的抗菌薬として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。

3:

本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

4:

SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ使用)

指標番号:

QIP: 3394

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ使用)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ又はSBT/ABPC、および投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ使用) が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

分子: 手術実施日の翌日 (手術実施日+1) に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150159010	K6335	ヘルニア手術 (鼠径ヘルニア)	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日にメッシュが算定されている (EFファイルの特定器材コードに、下記9桁に対応する特定器材コードが含まれる) 症例。

分母のデータ3

特定器材コード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
736670000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・一般	x	○	○	○	○
736680000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・形状付加型	x	○	○	○	○
736690000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・腹膜欠損用	x	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日にCEZ又はSBT/ABPCが投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。

【推奨抗菌薬 (CEZ又はSBT/ABPC) 表】

分母のデータ4

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○
SBT/ABPC	6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○	○

5:

このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ5

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
-----------	-----	------	------	------	------	------	------

薬価基準コード7桁	抗生物質製剤 分類名	注射 投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

6 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日の翌日（手術実施日+1）に当該抗菌薬が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例（【推奨抗菌薬（CEZ又はSBT/ABPC）表】参照）。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2 :
予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗菌薬を予防的抗菌薬として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。

3 :
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

4 :
SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 乳房切除術

指標番号:

QIP: 3321

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 乳房切除術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 乳房切除術が行われた症例

分子: 抗菌薬の予防的投与日数の総計 (推奨薬剤かどうかは問わない)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150121410	K475	乳房切除術	○	○	○	○	○
150405810	K475	乳房切除術 (性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)					○
150121610	K4761	乳腺悪性腫瘍手術 (単純乳房切除術 (乳腺全摘術))		○	○	○	○
150121610	K4761	乳腺悪性腫瘍手術 (単純乳房切除術) (乳腺全摘術)	○				
150303110	K4762	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術 (腋窩部郭清を伴わないもの))		○	○	○	○
150303110	K4762	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術) (腋窩部郭清を伴わないもの)	○				
150316510	K4763	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩部郭清を伴わないもの)	○				
150316510	K4763	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術 (腋窩部郭清を伴わないもの))		○	○	○	○
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術 (腋窩部郭清を伴うもの (内視鏡下によるものを含む。)))		○	○	○	○
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術) (腋窩部郭清を伴うもの (内視鏡下によるものを含む))	○				
150121710	K4765	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの) (胸筋切除を併施しないもの)	○				
150121710	K4765	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術 (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施しないもの)		○	○	○	○
150121810	K4766	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術 (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施するもの)		○	○	○	○
150121810	K4766	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの) (胸筋切除を併施するもの)	○				
150121910	K4767	乳腺悪性腫瘍手術 (拡大乳房切除術 (胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの))		○	○	○	○
150121910	K4767	乳腺悪性腫瘍手術 (拡大乳房切除術) (胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの)	○				

150386410	K4768	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの））					○	
150386410	K4768	乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの））	2010	2012	2014	2016	2018	
150386510	K4769	乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））						○
150386510	K4769	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））					○	

3:

このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が開始されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。

【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く。

分子の定義:

1:

手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:

14日を超える症例は14日として集計する。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。

3:

抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として14日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 乳房切除術

指標番号:

QIP: 3322

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 乳房切除術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 乳房切除術が行われた症例

分子: 手術実施日の翌日 (手術実施日+1) に抗菌薬 (推奨薬剤かどうかは問わない) が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150121410	K475	乳房切除術	○	○	○	○	○
150405810	K475	乳房切除術 (性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)					○
150121610	K4761	乳腺悪性腫瘍手術 (単純乳房切除術 (乳腺全摘術))		○	○	○	○
150121610	K4761	乳腺悪性腫瘍手術 (単純乳房切除術) (乳腺全摘術)	○				
150303110	K4762	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術 (腋窩部郭清を伴わないもの))		○	○	○	○
150303110	K4762	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術) (腋窩部郭清を伴わないもの)	○				
150316510	K4763	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩部郭清を伴わないもの)	○				
150316510	K4763	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩部郭清を伴わないもの)		○	○	○	○
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術 (腋窩部郭清を伴うもの (内視鏡下によるものを含む。)))		○	○	○	○
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術) (腋窩部郭清を伴うもの (内視鏡下によるものを含む))	○				
150121710	K4765	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの) (胸筋切除を併施しないもの)	○				
150121710	K4765	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施しないもの		○	○	○	○
150121810	K4766	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施するもの		○	○	○	○
150121810	K4766	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの) (胸筋切除を併施するもの)	○				
150121910	K4767	乳腺悪性腫瘍手術 (拡大乳房切除術) (胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの)		○	○	○	○
150121910	K4767	乳腺悪性腫瘍手術 (拡大乳房切除術) (胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの)	○				

150386410	K4768	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの））					○	
150386410	K4768	乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの））	2010	2012	2014	2016	2018	
150386510	K4769	乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））						○
150386510	K4769	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））					○	

3:

このうち、手術実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。

【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日（手術日-1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日の翌日（手術実施日+1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 乳房切除術

指標番号:

QIP: 3323

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 乳房切除術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 乳房切除術が行われた症例

分子: 手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150121410	K475	乳房切除術	○	○	○	○	○
150405810	K475	乳房切除術 (性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)					○
150121610	K4761	乳腺悪性腫瘍手術 (単純乳房切除術 (乳腺全摘術))		○	○	○	○
150121610	K4761	乳腺悪性腫瘍手術 (単純乳房切除術) (乳腺全摘術)	○				
150303110	K4762	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術 (腋窩部郭清を伴わないもの))		○	○	○	○
150303110	K4762	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術) (腋窩部郭清を伴わないもの)	○				
150316510	K4763	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩部郭清を伴わないもの)	○				
150316510	K4763	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術 (腋窩部郭清を伴わないもの))		○	○	○	○
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術 (腋窩部郭清を伴うもの (内視鏡下によるものを含む。)))		○	○	○	○
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術) (腋窩部郭清を伴うもの (内視鏡下によるものを含む))	○				
150121710	K4765	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの) (胸筋切除を併施しないもの)	○				
150121710	K4765	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術 (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施しないもの)		○	○	○	○
150121810	K4766	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術 (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施するもの)		○	○	○	○
150121810	K4766	乳腺悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの) (胸筋切除を併施するもの)	○				
150121910	K4767	乳腺悪性腫瘍手術 (拡大乳房切除術 (胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの))		○	○	○	○
150121910	K4767	乳腺悪性腫瘍手術 (拡大乳房切除術) (胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの)	○				

150386410	K4768	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの））					○	
150386410	K4768	乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの））	2010	2012	2014	2016	2018	
150386510	K4769	乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））					○	
150386510	K4769	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））					○	

3:

このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に抗菌薬（注射薬抗菌薬）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母条件2「手術点数コード」の実施日にCEZが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

分子のデータ1

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。

3:

本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。

4:

SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 乳房切除術

指標番号:

QIP: 3324

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 乳房切除術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用(薬剤種類: CEZ、および投与期間: 24時間以内停止)をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 乳房切除術が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

分子: 手術実施日の翌日(手術実施日+1)に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150121410	K475	乳房切除術	○	○	○	○	○
150405810	K475	乳房切除術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)					○
150121610	K4761	乳腺悪性腫瘍手術(単純乳房切除術(乳腺全摘術))		○	○	○	○
150121610	K4761	乳腺悪性腫瘍手術(単純乳房切除術)(乳腺全摘術)	○				
150303110	K4762	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴わないもの))		○	○	○	○
150303110	K4762	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術)(腋窩部郭清を伴わないもの)	○				
150316510	K4763	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩部郭清を伴わないもの)	○				
150316510	K4763	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩部郭清を伴わないもの)		○	○	○	○
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。)))		○	○	○	○
150262710	K4764	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術)(腋窩部郭清を伴うもの(内視鏡下によるものを含む。))	○				
150121710	K4765	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)(胸筋切除を併施しないもの)	○				
150121710	K4765	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施しないもの)		○	○	○	○
150121810	K4766	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)・胸筋切除を併施するもの)		○	○	○	○
150121810	K4766	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの)(胸筋切除を併施するもの)	○				
150121910	K4767	乳腺悪性腫瘍手術(拡大乳房切除術(胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの))		○	○	○	○
150121910	K4767	乳腺悪性腫瘍手術(拡大乳房切除術)(胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの)	○				

診療行為 コード 150386410	K4768 ド K4768	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）） 基本漢字名称 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの））	2010	2012	2014	2016	2018
150386510	K4769	乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））				○	○
150386510	K4769	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））				○	

3:

このうち、手術実施日にCEZが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。

【推奨抗菌薬（CEZ）表】

分母のデータ3

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている症例は分母から除外する。

【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日の翌日（手術実施日+1）に当該抗菌薬が投与されていない（薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない）症例（【推奨抗菌薬（CEZ）表】参照）。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗菌薬を予防的抗菌薬として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。

3:

本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

4:

SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 腹式子宮摘出術 (開腹)

指標番号:

QIP: 3331

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 腹式子宮摘出術 (開腹)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 腹式子宮摘出術 (開腹) が行われた症例

分子: 抗菌薬の予防的投与日数の総計 (推奨薬剤かどうかは問わない)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150215410	K8654	子宮脱手術 (腔壁形成手術及び子宮全摘術 (腔式、腹式))		○	○	○	○
150215410	K8654	子宮脱手術 (腔壁形成手術及び子宮全摘術) (腔式、腹式)	○				
150217510	K877	子宮全摘術	○	○	○	○	○
150409010	K877	子宮全摘術 (性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)					○
150217710	K879	子宮悪性腫瘍手術	○	○	○	○	○

3:

このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が開始されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に抗菌薬 (【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】参照) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く。

分子の定義:

1:

手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:

14日を超える症例は14日として集計する。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。

3:

抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として14日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 腹式子宮摘出術 (開腹)

指標番号:

QIP: 3332

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 腹式子宮摘出術 (開腹)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 腹式子宮摘出術 (開腹) が行われた症例

分子: 手術実施日の翌日 (手術実施日+1) に抗菌薬 (推奨薬剤かどうかは問わない) が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150215410	K8654	子宮脱手術 (腔壁形成手術及び子宮全摘術 (腔式、腹式))		○	○	○	○
150215410	K8654	子宮脱手術 (腔壁形成手術及び子宮全摘術) (腔式、腹式)	○				
150217510	K877	子宮全摘術	○	○	○	○	○
150409010	K877	子宮全摘術 (性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)					○
150217710	K879	子宮悪性腫瘍手術	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日 (手術日-1) に抗菌薬 (【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】参照) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日の翌日（手術実施日+1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2 :
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

参考値:**参考資料:**

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 腹式子宮摘出術 (開腹)

指標番号:

QIP: 3333

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-11-06

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 腹式子宮摘出術 (開腹)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CMZ、FMOX、SBT/ABPC、CEZ&MNZ) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 腹式子宮摘出術 (開腹) が行われた症例

分子: 手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150215410	K8654	子宮脱手術 (腔壁形成手術及び子宮全摘術 (腔式、腹式))		○	○	○	○
150215410	K8654	子宮脱手術 (腔壁形成手術及び子宮全摘術) (腔式、腹式)	○				
150217510	K877	子宮全摘術	○	○	○	○	○
150409010	K877	子宮全摘術 (性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)					○
150217710	K879	子宮悪性腫瘍手術	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に抗菌薬 (注射薬抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母条件2「手術点数コード」の実施日にCMZ、FMOX、SBT/ABPC、CEZ&MNZが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

分子のデータ1

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CMZ	6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○	○
FMOX	6133401	フロモキシセフナトリウム	○	○	○	○	○
SBT/ABPC	6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○
MNZ	6419401	メトロニダゾール	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。

3:

本指標は予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を使用しているかをみる指標であり、推奨抗菌薬が2種類以上同時に投与されている症例も分子に含まれる（例：CMZ&FMOX、CMZ&SBT/ABPCなど）。ただし、CEZ&MNZは同時投与が推奨されているため、CEZ単剤が投与されている症例は分子に含まない（CEZの場合は、MNZ以外の推奨抗菌薬と投与されていても分子に含まない）。

4:

本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。

5:

ガイドラインの対象術式は腹式子宮摘出術であるが、本指標の対象術式のうち子宮脱手術には膣式手術が含まれる。

6:

SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-11-06

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 腹式子宮摘出術 (開腹)

指標番号:

QIP: 3334

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-11-06

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 腹式子宮摘出術 (開腹)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CMZ、FMOX、SBT/ABPC、CEZ&MNZ、および投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 腹式子宮摘出術 (開腹) が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

分子: 手術実施日の翌日 (手術実施日+1) に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150215410	K8654	子宮脱手術 (腔壁形成手術及び子宮全摘術 (腔式、腹式))		○	○	○	○
150215410	K8654	子宮脱手術 (腔壁形成手術及び子宮全摘術) (腔式、腹式)	○				
150217510	K877	子宮全摘術	○	○	○	○	○
150409010	K877	子宮全摘術 (性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)					○
150217710	K879	子宮悪性腫瘍手術	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日にCMZ、FMOX、SBT/ABPC、CEZ&MNZが投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。

【推奨抗菌薬 (CMZ、FMOX、SBT/ABPC、CEZ&MNZ) 表】

分母のデータ3

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CMZ	6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○	○
FMOX	6133401	フロモキシセフナトリウム	○	○	○	○	○
SBT/ABPC	6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○
MNZ	6419401	メトロニダゾール	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日 (手術日-1) に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
-----------	-----	------	------	------	------	------	------

薬価基準コード7桁	抗生物質製剤 分類名	注射 投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日の翌日（手術実施日+1）に当該抗生物質が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例（【推奨抗生物質（CMZ、FMOX、SBT/ABPC、CEZ&MNZ）表】参照）。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2 :
予防的抗生物質として推奨抗生物質を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗生物質を予防的抗生物質として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。

3 :
本指標の分母は予防的抗生物質として推奨抗生物質を使用しているかをみており、推奨抗生物質が2種類以上投与されている症例も分母に含まれる例：CMZ&FMOX、CMZ&SBT/ABPCなど）。ただし、CEZ&MNZは同時投与が推奨されているため、CEZ単剤が投与されている症例は分母に含まない（CEZの場合は、MNZ以外の推奨抗生物質と投与されていても分母に含まない）。

4 :
手術実施日+1に推奨抗生物質が中止されていれば、推奨抗生物質以外の抗生物質が投与されていても分子に含まれる。例えば、手術日にCEZ&MNZが予防的抗生物質として投与され、手術実施日+1にMNZの投与は中止されてCEZのみが投与されている症例は推奨抗生物質以外の抗生物質の投与とみなし、分子に含まれる。

5 :
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

6 :
ガイドラインの対象術式は腹式子宮摘出術であるが、本指標の対象術式のうち子宮脱手術には膣式手術が含まれる。

7 :
SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗生物質適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗生物質適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-11-06

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 冠動脈バイパス手術

指標番号:

QIP: 3341

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 冠動脈バイパス手術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 冠動脈バイパス手術が行われた症例

分子: 抗菌薬の予防的投与日数の総計 (推奨薬剤かどうかは問わない)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150145910	K5521	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (1 吻合のもの)	○	○	○	○	○
150146010	K5522	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (2 吻合以上のもの)	○	○	○	○	○
150318410	K552-21	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺を使用しないもの) (1 吻合のもの)	○	○	○	○	○
150318510	K552-22	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺を使用しないもの) (2 吻合以上のもの)	○	○	○	○	○

3:

このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が開始されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に抗菌薬 (【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】参照) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く。

分子の定義:

1:
手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:
14日を超える症例は14日として集計する。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:
手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。

3:
抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として14日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

参考値:

参考資料:

1:
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 冠動脈バイパス手術

指標番号:

QIP: 3342

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 冠動脈バイパス手術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 冠動脈バイパス手術が行われた症例

分子: 手術実施日の翌々日 (手術実施日+3) に抗菌薬 (推奨薬剤かどうかは問わない) が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150145910	K5521	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (1吻合のもの)	○	○	○	○	○
150146010	K5522	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (2吻合以上のもの)	○	○	○	○	○
150318410	K552-21	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺を使用しないもの) (1吻合のもの)	○	○	○	○	○
150318510	K552-22	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺を使用しないもの) (2吻合以上のもの)	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日 (手術日-1) に抗菌薬 (【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】参照) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:
手術実施日の翌々日(手術実施日+3)に抗菌薬(【抗菌薬(抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く)表】参照)が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
本指標では様式1の手術1(主要手術)のみを対象とする。

2:
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

参考値:

参考資料:

1:
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 冠動脈バイパス手術

指標番号:

QIP: 3343

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 冠動脈バイパス手術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 冠動脈バイパス手術が行われた症例

分子: 手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150145910	K5521	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (1 吻合のもの)	○	○	○	○	○
150146010	K5522	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (2 吻合以上のもの)	○	○	○	○	○
150318410	K552-21	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺を使用しないもの) (1 吻合のもの)	○	○	○	○	○
150318510	K552-22	冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺を使用しないもの) (2 吻合以上のもの)	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に抗菌薬 (注射薬抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母条件2「手術点数コード」の実施日にCEZが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

分子のデータ1

推奨抗菌薬	薬価基準コード	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
	7桁						
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1:
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。
- 2:
抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。
- 3:
本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。
- 4:
SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

- 1:
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 冠動脈バイパス手術

指標番号:

QIP: 3344

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 冠動脈バイパス手術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用(薬剤種類: CEZ、および投与期間: 24時間以内停止)をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 冠動脈バイパス手術が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

分子: 手術実施日の翌々日(手術実施日+3)に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1: 解析期間に入退院した症例を対象とする。

2: このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150145910	K5521	冠動脈、大動脈バイパス移植術(1吻合のもの)	○	○	○	○	○
150146010	K5522	冠動脈、大動脈バイパス移植術(2吻合以上のもの)	○	○	○	○	○
150318410	K552-21	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないもの)(1吻合のもの)	○	○	○	○	○
150318510	K552-22	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないもの)(2吻合以上のもの)	○	○	○	○	○

3: このうち、手術実施日にCEZが投与されている(EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる)症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。

【推奨抗菌薬(CEZ)表】

分母のデータ3

推奨抗菌薬	薬価基準コード	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
	7桁						
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○

4: このうち、手術実施日の前日(手術日-1)に下記抗菌薬(注射抗菌薬)が投与されている症例は分母から除外する。

【抗菌薬(抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く)表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	抗生物質製剤 分類名	注射 投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日の翌々日（手術実施日+3）に当該抗菌薬が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例
（【推奨抗菌薬（CEZ）表】参照）。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2 :
予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗菌薬を予防的抗菌薬として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。

3 :
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

4 :
SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 弁膜症手術 (弁置換術、弁形成術)

指標番号:

QIP: 3351

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 弁膜症手術 (弁置換術、弁形成術)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 弁膜症手術 (弁置換術、弁形成術) が行われた症例

分子: 抗菌薬の予防的投与日数の総計 (推奨薬剤かどうかは問わない)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150141010	K5541	弁形成術 (1弁のもの)	○	○	○	○	○
150279510	K5542	弁形成術 (2弁のもの)	○	○	○	○	○
150279610	K5543	弁形成術 (3弁のもの)	○	○	○	○	○
150141410	K5551	弁置換術 (1弁のもの)	○	○	○	○	○
150141610	K5552	弁置換術 (2弁のもの)	○	○	○	○	○
150141710	K5553	弁置換術 (3弁のもの)	○	○	○	○	○

3:
このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が開始されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:
このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に抗菌薬 (【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】参照) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く。

分子の定義:

1:
手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:
14日を超える症例は14日として集計する。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:
手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。

3:
抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として14日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

参考値:

参考資料:

1:
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 弁膜症手術 (弁置換術、弁形成術)

指標番号:

QIP: 3352

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 弁膜症手術 (弁置換術、弁形成術)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 弁膜症手術 (弁置換術、弁形成術) が行われた症例

分子: 手術実施日の翌々日 (手術実施日+3) に抗菌薬 (推奨薬剤かどうかは問わない) が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150141010	K5541	弁形成術 (1弁のもの)	○	○	○	○	○
150279510	K5542	弁形成術 (2弁のもの)	○	○	○	○	○
150279610	K5543	弁形成術 (3弁のもの)	○	○	○	○	○
150141410	K5551	弁置換術 (1弁のもの)	○	○	○	○	○
150141610	K5552	弁置換術 (2弁のもの)	○	○	○	○	○
150141710	K5553	弁置換術 (3弁のもの)	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日 (手術日-1) に抗菌薬 (【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】参照) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:
手術実施日の翌々日(手術実施日+3)に抗菌薬(【抗菌薬(抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く)表】参照)が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
本指標では様式1の手術1(主要手術)のみを対象とする。

2:
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

参考値:

参考資料:

1:
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 弁膜症手術 (弁置換術、弁形成術)

指標番号:

QIP: 3353

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 弁膜症手術 (弁置換術、弁形成術)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 弁膜症手術 (弁置換術、弁形成術) が行われた症例

分子: 手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150141010	K5541	弁形成術 (1弁のもの)	○	○	○	○	○
150279510	K5542	弁形成術 (2弁のもの)	○	○	○	○	○
150279610	K5543	弁形成術 (3弁のもの)	○	○	○	○	○
150141410	K5551	弁置換術 (1弁のもの)	○	○	○	○	○
150141610	K5552	弁置換術 (2弁のもの)	○	○	○	○	○
150141710	K5553	弁置換術 (3弁のもの)	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に抗菌薬 (注射薬抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母条件2「手術点数コード」の実施日にCEZが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

分子のデータ1

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。

3:

本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。

4:

SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 弁膜症手術 (弁置換術、弁形成術)

指標番号:

QIP: 3354

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 弁膜症手術 (弁置換術、弁形成術)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ、および投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 弁膜症手術 (弁置換術、弁形成術) が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

分子: 手術実施日の翌々日 (手術実施日+3) に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150141010	K5541	弁形成術 (1弁のもの)	○	○	○	○	○
150279510	K5542	弁形成術 (2弁のもの)	○	○	○	○	○
150279610	K5543	弁形成術 (3弁のもの)	○	○	○	○	○
150141410	K5551	弁置換術 (1弁のもの)	○	○	○	○	○
150141610	K5552	弁置換術 (2弁のもの)	○	○	○	○	○
150141710	K5553	弁置換術 (3弁のもの)	○	○	○	○	○

3:
このうち、手術実施日にCEZが投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。

【推奨抗菌薬 (CEZ) 表】

分母のデータ3

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○

4:
このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	抗生物質製剤 分類名	注射 投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日の翌々日(手術実施日+3)に当該抗菌薬が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例
(【推奨抗菌薬(CEZ)表】参照)。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1(主要手術)のみを対象とする。

2:

予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗菌薬を予防的抗菌薬として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。

3:

本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

4:

SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 心臓デバイス挿入手技 (ペースメーカーなど)

指標番号:

QIP: 3361

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 心臓デバイス挿入手技 (ペースメーカーなど)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 心臓デバイス挿入手技 (ペースメーカーなど) が行われた症例

分子: 抗菌薬の予防的投与日数の総計 (推奨薬剤かどうかは問わない)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2 :
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150140110	K5971	ペースメーカー移植術 (心筋電極の場合)	○	○	○	○	○
150140210	K5972	ペースメーカー移植術 (経静脈電極の場合)	○	○	○	○	○
150395350	K5973	ペースメーカー移植術 (リードレスペースメーカーの場合)					○
150303210	K598	両心室ペースメーカー移植術	○	○	○	○	○
150275210	K599	植込型除細動器移植術	○	○	○		
150387410	K5991	植込型除細動器移植術 (経静脈リードを用いるもの)				○	○
150383250	K5992	植込型除細動器移植術 (皮下植込型リードを用いるもの)				○	○
150336910	K599-3	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術	○	○	○	○	○

3 :
このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が開始されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4 :

このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

5：
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く。

分子の定義：

1：
手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2：
14日を超える症例は14日として集計する。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件：

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意：

1：
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2：
手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。

3：
抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として14日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

参考値：

参考資料：

1：
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング：

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 心臓デバイス挿入手技 (ペースメーカーなど)

指標番号:

QIP: 3362

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-22

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 心臓デバイス挿入手技 (ペースメーカーなど)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 心臓デバイス挿入手技 (ペースメーカーなど) が行われた症例

分子: 手術実施日の翌日 (手術実施日+1) に抗菌薬 (推奨薬剤かどうかは問わない) が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2 :
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150140110	K5971	ペースメーカー移植術 (心筋電極の場合)	○	○	○	○	○
150140210	K5972	ペースメーカー移植術 (経静脈電極の場合)	○	○	○	○	○
150395350	K5973	ペースメーカー移植術 (リードレスペースメーカーの場合)					○
150303210	K598	両心室ペースメーカー移植術	○	○	○	○	○
150275210	K599	植込型除細動器移植術	○	○	○		
150387410	K5991	植込型除細動器移植術 (経静脈リードを用いるもの)				○	○
150383250	K5992	植込型除細動器移植術 (皮下植込型リードを用いるもの)				○	○
150336910	K599-3	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術	○	○	○	○	○

3 :
このうち、手術実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4 :

このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

5：
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義：

1：
手術実施日の翌日（手術実施日 + 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1：
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2：
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

参考値:

参考資料:

1：
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-22

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 心臓デバイス挿入手技 (ペースメーカーなど)

指標番号:

QIP: 3363

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 心臓デバイス挿入手技 (ペースメーカーなど)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 心臓デバイス挿入手技 (ペースメーカーなど) が行われた症例

分子: 手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2 :
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150140110	K5971	ペースメーカー移植術 (心筋電極の場合)	○	○	○	○	○
150140210	K5972	ペースメーカー移植術 (経静脈電極の場合)	○	○	○	○	○
150395350	K5973	ペースメーカー移植術 (リードレスペースメーカーの場合)					○
150303210	K598	両心室ペースメーカー移植術	○	○	○	○	○
150275210	K599	植込型除細動器移植術	○	○	○		
150387410	K5991	植込型除細動器移植術 (経静脈リードを用いるもの)				○	○
150383250	K5992	植込型除細動器移植術 (皮下植込型リードを用いるもの)				○	○
150336910	K599-3	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術	○	○	○	○	○

3 :
このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に抗菌薬 (注射薬抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4 :

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母条件2「手術点数コード」の実施日にCEZが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

分子のデータ1

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。

3:

本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。

4:

SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 心臓デバイス挿入手技 (ペースメーカーなど)

指標番号:

QIP: 3364

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 心臓デバイス挿入手技 (ペースメーカーなど)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ、および投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 心臓デバイス挿入手技 (ペースメーカーなど) が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

分子: 手術実施日の翌日 (手術実施日+1) に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2 :
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150140110	K5971	ペースメーカー移植術 (心筋電極の場合)	○	○	○	○	○
150140210	K5972	ペースメーカー移植術 (経静脈電極の場合)	○	○	○	○	○
150395350	K5973	ペースメーカー移植術 (リードレスペースメーカーの場合)					○
150303210	K598	両心室ペースメーカー移植術	○	○	○	○	○
150275210	K599	植込型除細動器移植術	○	○	○		
150387410	K5991	植込型除細動器移植術 (経静脈リードを用いるもの)				○	○
150383250	K5992	植込型除細動器移植術 (皮下植込型リードを用いるもの)				○	○
150336910	K599-3	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術	○	○	○	○	○

3 :
このうち、手術実施日にCEZが投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。

【推奨抗菌薬 (CEZ) 表】

分母のデータ3

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○

4 :
このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	抗生物質製剤 分類名	注射 投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日の翌日（手術実施日+1）に当該抗生物質が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例（【推奨抗生物質（CEZ）表】参照）。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2 :
予防的抗生物質として推奨抗生物質を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗生物質を予防的抗生物質として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。

3 :
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

4 :
SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗生物質適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗生物質適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 肺切除術 (開腹)

指標番号:

QIP: 3371

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 肺切除術 (開腹)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 肺切除術 (開腹) が行われた症例

分子: 抗菌薬の予防的投与日数の総計 (推奨薬剤かどうかは問わない)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150129710	K5111	肺切除術 (楔状部分切除)	○	○	○	○	○
150129810	K5112	肺切除術 (区域切除 (1肺葉に満たないもの))		○	○	○	○
150129810	K5112	肺切除術 (区域切除) (1肺葉に満たないもの)	○				
150129910	K5113	肺切除術 (肺葉切除)	○	○	○	○	○
150130010	K5114	肺切除術 (複合切除 (1肺葉を超えるもの))		○	○	○	○
150130010	K5114	肺切除術 (複合切除) (1肺葉を超えるもの)	○				
150130110	K5115	肺切除術 (1側肺全摘)	○	○	○	○	○
150130650	K5115	肺切除と胸郭形成手術の併施	○		○		
150130650	K5115	肺切除と胸郭形成手術の併施した場合		○			
150317110	K5116	肺切除術 (気管支形成を伴う肺切除)	○	○	○	○	○
150130810	K5141	肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又はこれに満たないもの)	○				
150357810	K5141	肺悪性腫瘍手術 (部分切除)		○	○	○	○
150130910	K5142	肺悪性腫瘍手術 (1側肺全摘又は1肺葉を超えるもの)	○				
150357910	K5142	肺悪性腫瘍手術 (区域切除)		○	○	○	○
150317210	K5143	肺悪性腫瘍手術 (気管支形成を伴う肺切除)	○	○	○	○	○
150358010	K5143	肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)		○	○	○	○
150336410	K5144	肺悪性腫瘍手術 (胸膜肺全摘)	○		○	○	○
150358110	K5144	肺悪性腫瘍手術 (肺全摘)		○	○	○	○
150358210	K5145	肺悪性腫瘍手術 (隣接臓器合併切除を伴う肺切除)		○	○	○	○
150358310	K5146	肺悪性腫瘍手術 (気管支形成を伴う肺切除)	○	○	○	○	○
150358410	K5147	肺悪性腫瘍手術 (気管分岐部切除を伴う肺切除)		○	○	○	○

診療行為コード	K5148	肺悪性腫瘍手術（気管分枝部再建を伴う肺切除）		○	○	○	○	○
150374510	K5149	基本疾患名称（胸膜肺全摘）	2010	2012	2014	2016	2018	
150386610	K51410	肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの））				○	○	
150287750	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（楔状部分切除）	○					
150287750	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（楔状部分切除）		○	○	○	○	
150287850	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（区域切除（1肺葉に満たないもの））		○	○			
150287850	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（区域切除）（1肺葉に満たないもの）	○					
150287950	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（肺葉切除）	○					
150287950	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（肺葉切除）		○	○			
150288050	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（複合切除（1肺葉を超えるもの））		○	○			
150288050	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（複合切除）（1肺葉を超えるもの）	○					
150288150	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（1側肺全摘）		○	○			
150288150	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（1側肺全摘）	○					
150331150	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（気管支形成を伴う肺切除）	○					
150331150	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（気管支形成を伴う肺切除）		○	○			
150287750	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（楔状部分切除）		○	○	○	○	
150287850	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（区域切除（1肺葉に満たないもの））		○	○			
150287950	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（肺葉切除）		○	○			
150288050	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（複合切除（1肺葉を超えるもの））		○	○			
150288150	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（1側肺全摘）		○	○			
150331150	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（気管支形成を伴う肺切除）		○	○			

3:

このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が開始されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。

【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日（手術日-1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く。

分子の定義:

1 :
手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2 :
14日を超える症例は14日として集計する。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2 :
手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。

3 :
抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として14日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 肺切除術 (開腹)

指標番号:

QIP: 3372

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 肺切除術 (開腹)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 肺切除術 (開腹) が行われた症例

分子: 手術実施日の翌々日 (手術実施日+2) に抗菌薬 (推奨薬剤かどうかは問わない) が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150129710	K5111	肺切除術 (楔状部分切除)	○	○	○	○	○
150129810	K5112	肺切除術 (区域切除 (1肺葉に満たないもの))		○	○	○	○
150129810	K5112	肺切除術 (区域切除) (1肺葉に満たないもの)	○				
150129910	K5113	肺切除術 (肺葉切除)	○	○	○	○	○
150130010	K5114	肺切除術 (複合切除 (1肺葉を超えるもの))		○	○	○	○
150130010	K5114	肺切除術 (複合切除) (1肺葉を超えるもの)	○				
150130110	K5115	肺切除術 (1側肺全摘)	○	○	○	○	○
150130650	K5115	肺切除と胸郭形成手術の併施	○		○		
150130650	K5115	肺切除と胸郭形成手術の併施した場合		○			
150317110	K5116	肺切除術 (気管支形成を伴う肺切除)	○	○	○	○	○
150130810	K5141	肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又はこれに満たないもの)	○				
150357810	K5141	肺悪性腫瘍手術 (部分切除)		○	○	○	○
150130910	K5142	肺悪性腫瘍手術 (1側肺全摘又は1肺葉を超えるもの)	○				
150357910	K5142	肺悪性腫瘍手術 (区域切除)		○	○	○	○
150317210	K5143	肺悪性腫瘍手術 (気管支形成を伴う肺切除)	○	○	○	○	○
150358010	K5143	肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)		○	○	○	○
150336410	K5144	肺悪性腫瘍手術 (胸膜肺全摘)	○		○	○	○
150358110	K5144	肺悪性腫瘍手術 (肺全摘)		○	○	○	○
150358210	K5145	肺悪性腫瘍手術 (隣接臓器合併切除を伴う肺切除)		○	○	○	○
150358310	K5146	肺悪性腫瘍手術 (気管支形成を伴う肺切除)	○	○	○	○	○
150358410	K5147	肺悪性腫瘍手術 (気管分岐部切除を伴う肺切除)		○	○	○	○

診療行為コード	K5148	肺悪性腫瘍手術（気管分枝部再建を伴う肺切除）		○	○	○	○	○
基本診療場名称	K5149	基本診療場名称（胸膜肺全摘）	2010	2012	2014	2016	2018	
150386610	K51410	肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの））				○	○	
150287750	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（楔状部分切除）	○					
150287750	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（楔状部分切除）		○	○	○	○	
150287850	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（区域切除（1肺葉に満たないもの））		○	○			
150287850	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（区域切除）（1肺葉に満たないもの）	○					
150287950	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（肺葉切除）	○					
150287950	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（肺葉切除）		○	○			
150288050	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（複合切除（1肺葉を超えるもの））		○	○			
150288050	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（複合切除）（1肺葉を超えるもの）	○					
150288150	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（1側肺全摘）		○	○			
150288150	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（1側肺全摘）	○					
150331150	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（気管支形成を伴う肺切除）	○					
150331150	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（気管支形成を伴う肺切除）		○	○			
150287750	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（楔状部分切除）		○	○	○	○	
150287850	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（区域切除（1肺葉に満たないもの））		○	○			
150287950	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（肺葉切除）		○	○			
150288050	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（複合切除（1肺葉を超えるもの））		○	○			
150288150	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（1側肺全摘）		○	○			
150331150	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（気管支形成を伴う肺切除）		○	○			

3:

このうち、手術実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。

【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日（手術日-1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1：
手術実施日の翌々日（手術実施日+2）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1：
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2：
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

参考値:

参考資料:

1：
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 肺切除術 (開腹)

指標番号:

QIP: 3373

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 肺切除術 (開腹)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ又はSBT/ABPC) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 肺切除術 (開腹) が行われた症例

分子: 手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150129710	K5111	肺切除術 (楔状部分切除)	○	○	○	○	○
150129810	K5112	肺切除術 (区域切除 (1肺葉に満たないもの))		○	○	○	○
150129810	K5112	肺切除術 (区域切除) (1肺葉に満たないもの)	○				
150129910	K5113	肺切除術 (肺葉切除)	○	○	○	○	○
150130010	K5114	肺切除術 (複合切除 (1肺葉を超えるもの))		○	○	○	○
150130010	K5114	肺切除術 (複合切除) (1肺葉を超えるもの)	○				
150130110	K5115	肺切除術 (1側肺全摘)	○	○	○	○	○
150130650	K5115	肺切除と胸郭形成手術の併施	○		○		
150130650	K5115	肺切除と胸郭形成手術の併施した場合		○			
150317110	K5116	肺切除術 (気管支形成を伴う肺切除)	○	○	○	○	○
150130810	K5141	肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又はこれに満たないもの)	○				
150357810	K5141	肺悪性腫瘍手術 (部分切除)		○	○	○	○
150130910	K5142	肺悪性腫瘍手術 (1側肺全摘又は1肺葉を超えるもの)	○				
150357910	K5142	肺悪性腫瘍手術 (区域切除)		○	○	○	○
150317210	K5143	肺悪性腫瘍手術 (気管支形成を伴う肺切除)	○	○	○	○	○
150358010	K5143	肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)		○	○	○	○
150336410	K5144	肺悪性腫瘍手術 (胸膜肺全摘)	○		○	○	○
150358110	K5144	肺悪性腫瘍手術 (肺全摘)		○	○	○	○
150358210	K5145	肺悪性腫瘍手術 (隣接臓器合併切除を伴う肺切除)		○	○	○	○
150358310	K5146	肺悪性腫瘍手術 (気管支形成を伴う肺切除)	○	○	○	○	○
150358410	K5147	肺悪性腫瘍手術 (気管分岐部切除を伴う肺切除)		○	○	○	○

診療行為コード	K5148	肺悪性腫瘍手術（気管分枝部再建を伴う肺切除）		○	○	○	○
150374510	K5149	基本病名手術（胸膜肺全摘）	2010	2012	2014	2016	2018
150386610	K51410	肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの））				○	○
150287750	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（楔状部分切除）	○				
150287750	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（楔状部分切除）		○	○	○	○
150287850	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（区域切除（1肺葉に満たないもの））		○	○		
150287850	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（区域切除）（1肺葉に満たないもの）	○				
150287950	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（肺葉切除）	○				
150287950	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（肺葉切除）		○	○		
150288050	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（複合切除（1肺葉を超えるもの））		○	○		
150288050	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（複合切除）（1肺葉を超えるもの）	○				
150288150	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（1側肺全摘）		○	○		
150288150	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（1側肺全摘）	○				
150331150	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（気管支形成を伴う肺切除）	○				
150331150	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（気管支形成を伴う肺切除）		○	○		
150287750	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（楔状部分切除）		○	○	○	○
150287850	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（区域切除（1肺葉に満たないもの））		○	○		
150287950	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（肺葉切除）		○	○		
150288050	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（複合切除（1肺葉を超えるもの））		○	○		
150288150	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（1側肺全摘）		○	○		
150331150	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（気管支形成を伴う肺切除）		○	○		

3:

このうち、手術実施日の前日（手術日-1）に抗菌薬（注射薬抗菌薬）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母条件2「手術点数コード」の実施日にCEZ又はSBT/ABPCが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

分子のデータ1

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○
SBT/ABPC	6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。
- 2 :
抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。
- 3 :
本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。
- 4 :
SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

- 1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 肺切除術 (開腹)

指標番号:

QIP: 3374

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 肺切除術 (開腹)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ又はSBT/ABPC、および投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 肺切除術 (開腹) が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

分子: 手術実施日の翌々日 (手術実施日+2) に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150129710	K5111	肺切除術 (楔状部分切除)	○	○	○	○	○
150129810	K5112	肺切除術 (区域切除 (1肺葉に満たないもの))		○	○	○	○
150129810	K5112	肺切除術 (区域切除) (1肺葉に満たないもの)	○				
150129910	K5113	肺切除術 (肺葉切除)	○	○	○	○	○
150130010	K5114	肺切除術 (複合切除 (1肺葉を超えるもの))		○	○	○	○
150130010	K5114	肺切除術 (複合切除) (1肺葉を超えるもの)	○				
150130110	K5115	肺切除術 (1側肺全摘)	○	○	○	○	○
150130650	K5115	肺切除と胸郭形成手術の併施	○		○		
150130650	K5115	肺切除と胸郭形成手術の併施した場合		○			
150317110	K5116	肺切除術 (気管支形成を伴う肺切除)	○	○	○	○	○
150130810	K5141	肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又はこれに満たないもの)	○				
150357810	K5141	肺悪性腫瘍手術 (部分切除)		○	○	○	○
150130910	K5142	肺悪性腫瘍手術 (1側肺全摘又は1肺葉を超えるもの)	○				
150357910	K5142	肺悪性腫瘍手術 (区域切除)		○	○	○	○
150317210	K5143	肺悪性腫瘍手術 (気管支形成を伴う肺切除)	○	○	○	○	○
150358010	K5143	肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)		○	○	○	○
150336410	K5144	肺悪性腫瘍手術 (胸膜肺全摘)	○		○	○	○
150358110	K5144	肺悪性腫瘍手術 (肺全摘)		○	○	○	○
150358210	K5145	肺悪性腫瘍手術 (隣接臓器合併切除を伴う肺切除)		○	○	○	○
150358310	K5146	肺悪性腫瘍手術 (気管支形成を伴う肺切除)	○	○	○	○	○
150358410	K5147	肺悪性腫瘍手術 (気管分岐部切除を伴う肺切除)		○	○	○	○

診療行為コード	K5148 ド K5149	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部再建を伴う肺切除） 基本漢字名称 肺悪性腫瘍手術（胸膜肺全摘）	2010	2012	2014	2016	2018
150374510	K5148	肺悪性腫瘍手術（気管分岐部再建を伴う肺切除）	○	○	○	○	○
150374510	K5149	肺悪性腫瘍手術（胸膜肺全摘）	○	○	○	○	○
150386610	K51410	肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの））				○	○
150287750	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（楔状部分切除）	○				
150287750	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（楔状部分切除）		○	○	○	○
150287850	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（区域切除（1肺葉に満たないもの））		○	○		
150287850	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（区域切除）（1肺葉に満たないもの）	○				
150287950	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（肺葉切除）	○				
150287950	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（肺葉切除）		○	○		
150288050	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（複合切除（1肺葉を超えるもの））		○	○		
150288050	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（複合切除）（1肺葉を超えるもの）	○				
150288150	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（1側肺全摘）		○	○		
150288150	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（1側肺全摘）	○				
150331150	K517	肺気腫に対する正中切開による肺縫縮術（気管支形成を伴う肺切除）	○				
150331150	K517	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（気管支形成を伴う肺切除）		○	○		
150287750	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（楔状部分切除）		○	○	○	○
150287850	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（区域切除（1肺葉に満たないもの））		○	○		
150287950	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（肺葉切除）		○	○		
150288050	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（複合切除（1肺葉を超えるもの））		○	○		
150288150	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（1側肺全摘）		○	○		
150331150	K5171	肺縫縮術（肺気腫に対する正中切開によるもの）（気管支形成を伴う肺切除）		○	○		

3:

このうち、手術実施日にCEZ又はSBT/ABPCが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。

【推奨抗菌薬（CEZ又はSBT/ABPC）表】

分母のデータ3

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○
SBT/ABPC	6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日（手術日-1）に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている症例は分母から除外する。

【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	抗生物質製剤 分類名	注射 投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日の翌々日(手術実施日+2)に当該抗菌薬が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例(【推奨抗菌薬(CEZ又はSBT/ABPC)表】参照)。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
本指標では様式1の手術1(主要手術)のみを対象とする。

2 :
予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗菌薬を予防的抗菌薬として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。

3 :
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

4 :
SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 顎変形症手術

指標番号:

QIP: 3381

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 顎変形症手術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 顎変形症手術が行われた症例

分子: 抗菌薬の予防的投与日数の総計 (推奨薬剤かどうかは問わない)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150115610	K437	下顎骨部分切除術	○	○	○	○	○
150115710	K438	下顎骨離断術	○	○	○	○	○
150116710	K4431	上顎骨形成術 (単純な場合)	○	○	○	○	○
150116810	K4432	上顎骨形成術 (複雑な場合及び2次的再建の場合)	○	○	○	○	○
150336110	K4433	上顎骨形成術 (骨移動を伴う場合)	○	○	○	○	○
150268410	K4441	下顎骨形成術 (おとがい形成の場合)	○	○	○	○	○
150268510	K4442	下顎骨形成術 (短縮の場合)	○	○	○	○	○
150268610	K4442	下顎骨形成術 (伸長の場合)	○	○	○	○	○
150356710	K444-21	下顎骨延長術 (片側)		○	○	○	○
150356810	K444-22	下顎骨延長術 (両側)		○	○	○	○
150268710	K4443	下顎骨形成術 (再建の場合)	○	○	○	○	○
150336210	K4444	下顎骨形成術 (骨移動を伴う場合)	○	○	○	○	○

3:

このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が開始されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4 :
このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く。

分子の定義:

1 :
手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2 :
14日を超える症例は14日として集計する。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2 :
手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。

3 :
抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として14日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 顎変形症手術

指標番号:

QIP: 3382

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 顎変形症手術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 顎変形症手術が行われた症例

分子: 手術実施日の翌々日 (手術実施日+3) に抗菌薬 (推奨薬剤かどうかは問わない) が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150115610	K437	下顎骨部分切除術	○	○	○	○	○
150115710	K438	下顎骨離断術	○	○	○	○	○
150116710	K4431	上顎骨形成術 (単純な場合)	○	○	○	○	○
150116810	K4432	上顎骨形成術 (複雑な場合及び2次的再建の場合)	○	○	○	○	○
150336110	K4433	上顎骨形成術 (骨移動を伴う場合)	○	○	○	○	○
150268410	K4441	下顎骨形成術 (おとがい形成の場合)	○	○	○	○	○
150268510	K4442	下顎骨形成術 (短縮の場合)	○	○	○	○	○
150268610	K4442	下顎骨形成術 (伸長の場合)	○	○	○	○	○
150356710	K444-21	下顎骨延長術 (片側)		○	○	○	○
150356810	K444-22	下顎骨延長術 (両側)		○	○	○	○
150268710	K4443	下顎骨形成術 (再建の場合)	○	○	○	○	○
150336210	K4444	下顎骨形成術 (骨移動を伴う場合)	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4 :
このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日の翌々日（手術実施日+3）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2 :
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 顎変形症手術

指標番号:

QIP: 3383

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 顎変形症手術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: SBT/ABPCまたはCMZ) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 顎変形症手術が行われた症例

分子: 手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150115610	K437	下顎骨部分切除術	○	○	○	○	○
150115710	K438	下顎骨離断術	○	○	○	○	○
150116710	K4431	上顎骨形成術 (単純な場合)	○	○	○	○	○
150116810	K4432	上顎骨形成術 (複雑な場合及び2次的再建の場合)	○	○	○	○	○
150336110	K4433	上顎骨形成術 (骨移動を伴う場合)	○	○	○	○	○
150268410	K4441	下顎骨形成術 (おとがい形成の場合)	○	○	○	○	○
150268510	K4442	下顎骨形成術 (短縮の場合)	○	○	○	○	○
150268610	K4442	下顎骨形成術 (伸長の場合)	○	○	○	○	○
150356710	K444-21	下顎骨延長術 (片側)		○	○	○	○
150356810	K444-22	下顎骨延長術 (両側)		○	○	○	○
150268710	K4443	下顎骨形成術 (再建の場合)	○	○	○	○	○
150336210	K4444	下顎骨形成術 (骨移動を伴う場合)	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に抗菌薬 (注射薬抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母条件2「手術点数コード」の実施日にSBT/ABPCまたはCMZが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

分子のデータ1

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
SBT/ABPC	6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○	○
CMZ	6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2 :
抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。

3 :
本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。

4 :
SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 顎変形症手術

指標番号:

QIP: 3384

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 顎変形症手術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用(薬剤種類: SBT/ABPCまたはCMZ、および投与期間: 24時間以内停止)をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 顎変形症手術が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

分子: 手術実施日の翌々日(手術実施日+3)に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150115610	K437	下顎骨部分切除術	○	○	○	○	○
150115710	K438	下顎骨離断術	○	○	○	○	○
150116710	K4431	上顎骨形成術(単純な場合)	○	○	○	○	○
150116810	K4432	上顎骨形成術(複雑な場合及び2次的再建の場合)	○	○	○	○	○
150336110	K4433	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合)	○	○	○	○	○
150268410	K4441	下顎骨形成術(おとがい形成の場合)	○	○	○	○	○
150268510	K4442	下顎骨形成術(短縮の場合)	○	○	○	○	○
150268610	K4442	下顎骨形成術(伸長の場合)	○	○	○	○	○
150356710	K444-21	下顎骨延長術(片側)		○	○	○	○
150356810	K444-22	下顎骨延長術(両側)		○	○	○	○
150268710	K4443	下顎骨形成術(再建の場合)	○	○	○	○	○
150336210	K4444	下顎骨形成術(骨移動を伴う場合)	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日にSBT/ABPCまたはCMZが投与されている(EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる)症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。

【推奨抗菌薬(SBT/ABPCまたはCMZ)表】

分母のデータ3

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
SBT/ABPC	6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○	○
CMZ	6132408	セフメタゾールナトリウム	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日(手術日-1)に下記抗菌薬(注射抗菌薬)が投与されている症例は分母から除外する。

【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日の翌々日（手術実施日+3）に当該抗菌薬が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例（【推奨抗菌薬（SBT/ABPCまたはCMZ）表】参照）。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。
- 2 :
予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗菌薬を予防的抗菌薬として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。
- 3 :
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。
- 4 :
SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ使用)

指標番号:

QIP: 3391

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-22

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ使用)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ使用) が行われた症例

分子: 抗菌薬の予防的投与日数の総計 (推奨薬剤かどうかは問わない)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150159010	K6335	ヘルニア手術 (鼠径ヘルニア)	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日にメッシュが算定されている (EFファイルの特定器材コードに、下記9桁に対応する特定器材コードが含まれる) 症例。

分母のデータ3

特定器材コード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
736670000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・一般	x	○	○	○	○
736680000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・形状付加型	x	○	○	○	○
736690000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・腹膜欠損用	x	○	○	○	○

4:

このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が開始されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5:

このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

6：
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く。

分子の定義：

1：
手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2：
14日を超える症例は14日として集計する。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件：

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意：

1：
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2：
手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。

3：
抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として14日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

参考値：

参考資料：

1：
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング：

最終更新日: 2018-10-22

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ使用)

指標番号:

QIP: 3392

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ使用)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ使用) が行われた症例

分子: 手術実施日の翌日 (手術実施日+1) に抗菌薬 (推奨薬剤かどうかは問わない) が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150159010	K6335	ヘルニア手術 (鼠径ヘルニア)	○	○	○	○	○

3:
このうち、手術実施日にメッシュが算定されている (EFファイルの特定器材コードに、下記9桁に対応する特定器材コードが含まれる) 症例。

分母のデータ3

特定器材コード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
736670000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・一般	x	○	○	○	○
736680000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・形状付加型	x	○	○	○	○
736690000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・腹膜欠損用	x	○	○	○	○

4:
このうち、手術実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5:

このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

6：
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義：

1：
手術実施日の翌日（手術実施日 + 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1：
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2：
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

参考値:

参考資料:

1：
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ使用)

指標番号:

QIP: 3393

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ使用)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ又はSBT/ABPC) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ使用) が行われた症例

分子: 手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150159010	K6335	ヘルニア手術 (鼠径ヘルニア)	○	○	○	○	○

3:
このうち、手術実施日にメッシュが算定されている (EFファイルの特定器材コードに、下記9桁に対応する特定器材コードが含まれる) 症例。

分母のデータ3

特定器材コード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
736670000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・一般	x	○	○	○	○
736680000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・形状付加型	x	○	○	○	○
736690000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・腹膜欠損用	x	○	○	○	○

4:
このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に抗菌薬 (注射薬抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母条件2「手術点数コード」の実施日にCEZ又はSBT/ABPCが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

分子のデータ1

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○
SBT/ABPC	6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。

3:

本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。

4:

SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ非使用)

指標番号:

QIP: 3401

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ非使用)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ非使用) が行われた症例

分子: 抗菌薬の予防的投与日数の総計 (推奨薬剤かどうかは問わない)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150159010	K6335	ヘルニア手術 (鼠径ヘルニア)	○	○	○	○	○

3:
このうち、手術実施日にメッシュが算定されている (EFファイルの特定器材コードに、下記9桁に対応する特定器材コードが含まれる) 症例を除外する。

分母のデータ3

特定器材コード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
736670000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・一般	x	○	○	○	○
736680000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・形状付加型	x	○	○	○	○
736690000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・腹膜欠損用	x	○	○	○	○

4:
このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が開始されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5:

このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

6:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く。

分子の定義:

1:

手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:

14日を超える症例は14日として集計する。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。

3:

抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として14日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ非使用)

指標番号:

QIP: 3402

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ非使用)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ非使用) が行われた症例

分子: 手術実施日の翌日 (手術実施日+1) に抗菌薬 (推奨薬剤かどうかは問わない) が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150159010	K6335	ヘルニア手術 (鼠径ヘルニア)	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日にメッシュが算定されている (EFファイルの特定器材コードに、下記9桁に対応する特定器材コードが含まれる) 症例を除外する。

分母のデータ3

特定器材コード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
736670000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・一般	x	○	○	○	○
736680000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・形状付加型	x	○	○	○	○
736690000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・腹膜欠損用	x	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5:

このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

6:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日の翌日（手術実施日 + 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ非使用)

指標番号:

QIP: 3403

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ非使用)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ非使用) が行われた症例

分子: 手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150159010	K6335	ヘルニア手術 (鼠径ヘルニア)	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日にメッシュが算定されている (EFファイルの特定器材コードに、下記9桁に対応する特定器材コードが含まれる) 症例を除外する。

分母のデータ3

特定器材コード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
736670000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・一般	x	○	○	○	○
736680000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・形状付加型	x	○	○	○	○
736690000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・腹膜欠損用	x	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に抗菌薬 (注射薬抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母条件2「手術点数コード」の実施日にCEZが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

分子のデータ1

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2 :
抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。

3 :
本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。

4 :
SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ非使用)

指標番号:

QIP: 3404

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-22

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ非使用)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ、および投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 鼠径部ヘルニア根治術 (開腹、メッシュ非使用) が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

分子: 手術実施日の翌日 (手術実施日+1) に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2 :
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150159010	K6335	ヘルニア手術 (鼠径ヘルニア)	○	○	○	○	○

3 :
このうち、手術実施日にメッシュが算定されている (EFファイルの特定器材コードに、下記9桁に対応する特定器材コードが含まれる) 症例を除外する。

分母のデータ3

特定器材コード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
736670000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・一般	x	○	○	○	○
736680000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・形状付加型	x	○	○	○	○
736690000	組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・腹膜欠損用	x	○	○	○	○

4 :
このうち、手術実施日にCEZが投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。

【推奨抗菌薬 (CEZ) 表】

分母のデータ4

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○

5 :
このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ5

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
-----------	-----	------	------	------	------	------	------

薬価基準コード7桁	抗生物質製剤 分類名	注射 投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

6 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
手術実施日の翌日(手術実施日+1)に当該抗菌薬が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例 (【推奨抗菌薬 (CEZ) 表】参照)。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
本指標では様式1の手術1 (主要手術) のみを対象とする。

2 :
予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗菌薬を予防的抗菌薬として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。

3 :
本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

4 :
SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-22

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 人工関節置換術

指標番号:

QIP: 3411

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-22

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 人工関節置換術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 人工関節置換術が行われた症例

分子: 抗菌薬の予防的投与日数の総計 (推奨薬剤かどうかは問わない)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150256210	K082-32	人工関節再置換術 (胸鎖)	○	○	○	○	○
150255910	K082-31	人工関節再置換術 (肩)	○	○	○	○	○
150256610	K082-33	人工関節再置換術 (肩鎖)	○	○	○	○	○
150256010	K082-31	人工関節再置換術 (股)	○	○	○	○	○
150256710	K082-33	人工関節再置換術 (指 (手、足))	○	○	○	○	○
150256410	K082-32	人工関節再置換術 (手)	○	○	○	○	○
150256510	K082-32	人工関節再置換術 (足)	○	○	○	○	○
150256110	K082-31	人工関節再置換術 (膝)	○	○	○	○	○
150256310	K082-32	人工関節再置換術 (肘)	○	○	○	○	○
150050610	K0822	人工関節置換術 (胸鎖)	○	○	○	○	○
150050310	K0821	人工関節置換術 (肩)	○	○	○	○	○
150051010	K0823	人工関節置換術 (肩鎖)	○	○	○	○	○
150050410	K0821	人工関節置換術 (股)	○	○	○	○	○
150051110	K0823	人工関節置換術 (指 (手、足))	○	○	○	○	○
150050810	K0822	人工関節置換術 (手)	○	○	○	○	○
150050910	K0822	人工関節置換術 (足)	○	○	○	○	○
150050510	K0821	人工関節置換術 (膝)	○	○	○	○	○
150050710	K0822	人工関節置換術 (肘)	○	○	○	○	○

3:

このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が開始されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く。

分子の定義:

1:

手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2:

14日を超える症例は14日として集計する。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。

3:

抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として14日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-22

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 人工関節置換術

指標番号:

QIP: 3412

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-22

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 人工関節置換術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 人工関節置換術が行われた症例

分子: 手術実施日の翌々日 (手術実施日+3) に抗菌薬 (薬剤種類かどうかは問わない) が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150256210	K082-32	人工関節再置換術 (胸鎖)	○	○	○	○	○
150255910	K082-31	人工関節再置換術 (肩)	○	○	○	○	○
150256610	K082-33	人工関節再置換術 (肩鎖)	○	○	○	○	○
150256010	K082-31	人工関節再置換術 (股)	○	○	○	○	○
150256710	K082-33	人工関節再置換術 (指 (手、足))	○	○	○	○	○
150256410	K082-32	人工関節再置換術 (手)	○	○	○	○	○
150256510	K082-32	人工関節再置換術 (足)	○	○	○	○	○
150256110	K082-31	人工関節再置換術 (膝)	○	○	○	○	○
150256310	K082-32	人工関節再置換術 (肘)	○	○	○	○	○
150050610	K0822	人工関節置換術 (胸鎖)	○	○	○	○	○
150050310	K0821	人工関節置換術 (肩)	○	○	○	○	○
150051010	K0823	人工関節置換術 (肩鎖)	○	○	○	○	○
150050410	K0821	人工関節置換術 (股)	○	○	○	○	○
150051110	K0823	人工関節置換術 (指 (手、足))	○	○	○	○	○
150050810	K0822	人工関節置換術 (手)	○	○	○	○	○
150050910	K0822	人工関節置換術 (足)	○	○	○	○	○
150050510	K0821	人工関節置換術 (膝)	○	○	○	○	○
150050710	K0822	人工関節置換術 (肘)	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日の翌々日（手術実施日+3）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-22

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 人工関節置換術

指標番号:

QIP: 3413

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 人工関節置換術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 人工関節置換術が行われた症例

分子: 手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150256210	K082-32	人工関節再置換術 (胸鎖)	○	○	○	○	○
150255910	K082-31	人工関節再置換術 (肩)	○	○	○	○	○
150256610	K082-33	人工関節再置換術 (肩鎖)	○	○	○	○	○
150256010	K082-31	人工関節再置換術 (股)	○	○	○	○	○
150256710	K082-33	人工関節再置換術 (指 (手、足))	○	○	○	○	○
150256410	K082-32	人工関節再置換術 (手)	○	○	○	○	○
150256510	K082-32	人工関節再置換術 (足)	○	○	○	○	○
150256110	K082-31	人工関節再置換術 (膝)	○	○	○	○	○
150256310	K082-32	人工関節再置換術 (肘)	○	○	○	○	○
150050610	K0822	人工関節置換術 (胸鎖)	○	○	○	○	○
150050310	K0821	人工関節置換術 (肩)	○	○	○	○	○
150051010	K0823	人工関節置換術 (肩鎖)	○	○	○	○	○
150050410	K0821	人工関節置換術 (股)	○	○	○	○	○
150051110	K0823	人工関節置換術 (指 (手、足))	○	○	○	○	○
150050810	K0822	人工関節置換術 (手)	○	○	○	○	○
150050910	K0822	人工関節置換術 (足)	○	○	○	○	○
150050510	K0821	人工関節置換術 (膝)	○	○	○	○	○
150050710	K0822	人工関節置換術 (肘)	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に抗菌薬 (注射薬抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
分母条件2「手術点数コード」の実施日にCEZが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

分子のデータ1

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。
- 2 :
抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。
- 3 :
本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。
- 4 :
SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 人工関節置換術

指標番号:

QIP: 3414

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 人工関節置換術

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用(薬剤種類: CEZ、および投与期間: 24時間以内停止)をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 人工関節置換術が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

分子: 手術実施日の翌々日(手術実施日+3)に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150256210	K082-32	人工関節再置換術(胸鎖)	○	○	○	○	○
150255910	K082-31	人工関節再置換術(肩)	○	○	○	○	○
150256610	K082-33	人工関節再置換術(肩鎖)	○	○	○	○	○
150256010	K082-31	人工関節再置換術(股)	○	○	○	○	○
150256710	K082-33	人工関節再置換術(指(手、足))	○	○	○	○	○
150256410	K082-32	人工関節再置換術(手)	○	○	○	○	○
150256510	K082-32	人工関節再置換術(足)	○	○	○	○	○
150256110	K082-31	人工関節再置換術(膝)	○	○	○	○	○
150256310	K082-32	人工関節再置換術(肘)	○	○	○	○	○
150050610	K0822	人工関節置換術(胸鎖)	○	○	○	○	○
150050310	K0821	人工関節置換術(肩)	○	○	○	○	○
150051010	K0823	人工関節置換術(肩鎖)	○	○	○	○	○
150050410	K0821	人工関節置換術(股)	○	○	○	○	○
150051110	K0823	人工関節置換術(指(手、足))	○	○	○	○	○
150050810	K0822	人工関節置換術(手)	○	○	○	○	○
150050910	K0822	人工関節置換術(足)	○	○	○	○	○
150050510	K0821	人工関節置換術(膝)	○	○	○	○	○
150050710	K0822	人工関節置換術(肘)	○	○	○	○	○

3:

このうち、手術実施日にCEZが投与されている(EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる)症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。

【推奨抗菌薬(CEZ)表】

分母のデータ3

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日(手術日-1)に下記抗菌薬(注射抗菌薬)が投与されている症例は分母から除外する。

【抗菌薬(抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く)表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日の翌々日(手術実施日+3)に当該抗菌薬が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例(【推奨抗菌薬(CEZ)表】参照)。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1(主要手術)のみを対象とする。

2:

予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗菌薬を予防的抗菌薬として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。

3:

本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

4:

SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 経尿道的前立腺切除術 (TURP)

指標番号:

QIP: 3421

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-22

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値: 経尿道的前立腺切除術 (TURP)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 経尿道的前立腺切除術 (TURP) が行われた症例

分子: 抗菌薬の予防的投与日数の総計 (推奨薬剤かどうかは問わない)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150209110	K841	経尿道的前立腺手術	○	○			
150379710	K8412	経尿道的前立腺手術 (その他のもの)			○	○	○
150379610	K8411	経尿道的前立腺手術 (電解質溶液利用のもの)			○	○	○

3:

このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が開始されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に抗菌薬 (【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】参照) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く。

分子の定義:

1:

手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。

2：
14日を超える症例は14日として集計する。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1：
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2：
手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。

3：
抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として14日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

参考値:

参考資料:

1：
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-22

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 経尿道的前立腺切除術 (TURP)

指標番号:

QIP: 3422

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-22

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率: 経尿道的前立腺切除術 (TURP)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 経尿道的前立腺切除術 (TURP) が行われた症例

分子: 手術実施日の4日目 (手術実施日+4) に抗菌薬 (推奨薬剤かどうかは問わない) が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150209110	K841	経尿道的前立腺手術	○	○			
150379710	K8412	経尿道的前立腺手術 (その他のもの)			○	○	○
150379610	K8411	経尿道的前立腺手術 (電解質溶液利用のもの)			○	○	○

3:

このうち、手術実施日に下記抗菌薬 (注射抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

このうち、手術実施日の前日 (手術日-1) に抗菌薬 (【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】参照) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術実施日の4日目（手術実施日+4）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2:

本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

参考値:

参考資料:

1:

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-22

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 経尿道的前立腺切除術 (TURP)

指標番号:

QIP: 3423

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率: 経尿道的前立腺切除術 (TURP)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ、CTM、SBT/ABPC、アミノグリコシ系薬) をみるプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 経尿道的前立腺切除術 (TURP) が行われた症例

分子: 手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:

このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150209110	K841	経尿道的前立腺手術	○	○			
150379710	K8412	経尿道的前立腺手術 (その他のもの)			○	○	○
150379610	K8411	経尿道的前立腺手術 (電解質溶液利用のもの)			○	○	○

3:

このうち、手術実施日の前日 (手術日 - 1) に抗菌薬 (注射薬抗菌薬) が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例は分母から除外する。

【抗菌薬 (抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く) 表】

分母のデータ3

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母条件2「手術点数コード」の実施日にCEZ、CTM、SBT/ABPC、アミノグリコシ系薬が投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

分子のデータ1

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CTM	6132400	セフトチアム塩酸塩	○	○	○	○	○
SM	6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○	○
TOB	6123401	トブラマイシン	○	○	○	○	○
GM	6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○	○
KM	6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○	○
AMK	6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○	○
DKB	6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○	○
RSM	6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○	
ISP	6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○	○
ABK	6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○	○
SPCM	6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○
SBT/ABPC	6139504	スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。
- 2 :
抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。
- 3 :
本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。
- 4 :
SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

- 1 :
術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 経尿道的前立腺切除術 (TURP)

指標番号:

QIP: 3424

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-18

指標群: 周術期抗菌薬予防投与

名称: 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率: 経尿道的前立腺切除術 (TURP)

意義: 周術期抗菌薬の適切な使用 (薬剤種類: CEZ、CTM、SBT/ABPC、アミノグリコシ系薬、および投与期間: 24時間以内停止) をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 経尿道的前立腺切除術 (TURP) が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

分子: 手術実施日の4日目 (手術実施日+4) に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に入退院した症例を対象とする。

2:
このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

分母のデータ2

診療行為コード	Kコード	基本漢字名称	2010	2012	2014	2016	2018
150209110	K841	経尿道的前立腺手術	○	○			
150379710	K8412	経尿道的前立腺手術 (その他のもの)			○	○	○
150379610	K8411	経尿道的前立腺手術 (電解質溶液利用のもの)			○	○	○

3:

このうち、手術実施日にCEZ、CTM、SBT/ABPCが投与されている (EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる) 症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。

【推奨抗菌薬 (CEZ、CTM、SBT/ABPC) 表】

分母のデータ3

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
CTM	6132400	セフォチアム塩酸塩	○	○	○	○	○
SM	6161400	ストレプトマイシン硫酸塩	○	○	○	○	○
TOB	6123401	トブラマイシン	○	○	○	○	○
GM	6134407	ゲンタマイシン硫酸塩	○	○	○	○	○
KM	6169400	カナマイシン硫酸塩	○	○	○	○	○
AMK	6123402	アミカシン硫酸塩	○	○	○	○	○
DKB	6134400	ジベカシン硫酸塩	○	○	○	○	○
RSM	6134401	リボスタマイシン硫酸塩	○	○	○	○	
ISP	6123404	イセパマイシン硫酸塩	○	○	○	○	○
ABK	6119400	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○	○
SPCM	6124400	スペクチノマイシン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム			○	○	○
CEZ	6132401	セファゾリンナトリウム水和物	○	○	○	○	○

推奨抗菌薬	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
		シタマナトリウム・アンピシリンナトリウム					

4 :

このうち、手術実施日の前日（手術日 - 1）に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている症例は分母から除外する。

【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○

5 :

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :

手術実施日の4日目（手術実施日 + 4）に当該抗菌薬が投与されていない(薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例（【推奨抗菌薬（CEZ、CTM、SBT/ABPC、アミノグリコシ系薬）表】参照）。

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): %

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :

本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。

2 :

予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗菌薬を予防的抗菌薬として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。

3 :

本指標は2016年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

4 :

SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。

参考値:

参考資料:

1 :

術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-18

名称: 小児入院患者件数に対する、時間外または深夜入院の入院数および割合

指標番号:

QIP: 2042

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: マネジメント

名称: 小児入院患者件数に対する、時間外または深夜入院の入院数および割合

意義: ストラクチャー指標。小児の時間外・深夜救急の受け入れ態勢の数値化

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 15歳以下の退院症例、院内出生症例を除く

分子: 分母のうち、時間外または深夜に緊急入院した症例（分子の数値も指標）

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院年月日より入院時年齢を求め15歳以下とする。

3:

入院経路が院内出生の症例は除外する。平成22～25年度 「1. 院内出生」の症例は除外する。平成26年度から 「8. 院内で出生」の症例は除外する

4:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

以下に示す時間外加算が算定されている症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
111000570	初診（時間外）加算	○	○	○	○	
111000670	初診（休日）加算	○	○	○	○	
111000770	初診（深夜）加算	○	○	○	○	
111000870	初診（時間外特例）加算	○	○	○	○	
111010770	小児科外来診療料（初診時時間外特例医療機関）加算	○	○	○	○	
111011570	小児科初診（乳幼児夜間）加算（6歳未満）	○	○	○	○	
111011670	小児科初診（乳幼児休日）加算（6歳未満）	○	○	○	○	
111011770	小児科初診（乳幼児深夜）加算（6歳未満）	○	○	○	○	
111011970	初診（乳幼児時間外）加算	○	○	○	○	
111012070	初診（乳幼児休日）加算	○	○	○	○	
111012170	初診（乳幼児深夜）加算	○	○	○	○	
111012270	初診（乳幼児時間外特例医療機関）加算	○	○	○	○	
111012470	初診（夜間・早朝等）加算	○	○	○	○	
112001110	再診（時間外）加算	○	○	○	○	
112001110	時間外（再診）	○	○	○	○	

1300コード	科目(再診) 診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
112001210	再診(休日)加算	○	○	○	○	
112001310	深夜(再診)	○	○	○	○	
112001310	再診(深夜)加算	○	○	○	○	
112001410	再診(時間外特例)加算	○	○	○	○	
112001410	時間外特例(再診)	○	○	○	○	
112006070	小児科外来診療料(再診時時間外特例医療機関)加算	○	○	○	○	
112006470	外来診療料(時間外)加算	○	○	○	○	
112006470	時間外(外来診療料)	○	○	○	○	
112006570	外来診療料(休日)加算	○	○	○	○	
112006570	休日(外来診療料)	○	○	○	○	
112006670	外来診療料(深夜)加算	○	○	○	○	
112006670	深夜(外来診療料)	○	○	○	○	
112006770	外来診療料(時間外特例医療機関)加算	○	○	○	○	
112006770	時間外特例(外来診療料)	○	○	○	○	
112014170	小児科再診(乳幼児夜間)加算(6歳未満)	○	○	○	○	
112014270	小児科再診(乳幼児休日)加算(6歳未満)	○	○	○	○	
112014370	小児科再診(乳幼児深夜)加算(6歳未満)	○	○	○	○	
112014470	外来診療料(小児科・乳幼児夜間)加算(6歳未満)	○	○	○	○	
112014570	外来診療料(小児科・乳幼児休日)加算(6歳未満)	○	○	○	○	
112014670	外来診療料(小児科・乳幼児深夜)加算(6歳未満)	○	○	○	○	
112014770	再診(乳幼児時間外)加算	○	○	○	○	
112014870	再診(乳幼児休日)加算	○	○	○	○	
112014970	再診(乳幼児深夜)加算	○	○	○	○	
112015070	再診(乳幼児時間外特例医療機関)加算	○	○	○	○	
112015170	外来診療料(乳幼児時間外)加算	○	○	○	○	
112015270	外来診療料(乳幼児休日)加算	○	○	○	○	
112015370	外来診療料(乳幼児深夜)加算	○	○	○	○	
112015470	外来診療料(乳幼児時間外特例医療機関)加算	○	○	○	○	
112015570	再診(夜間・早朝等)加算	○	○	○	○	
112015670	時間外対応加算2	○	○	○	○	
112016070	時間外対応加算1	NULL	○	○	○	
112016170	時間外対応加算3	NULL	○	○	○	
113005570	小児科外来診療料(外来診療料時間外特例医療機関)加算	○	○	○	○	
113006710	地域連携小児夜間・休日診療料1	○	○	○	○	
113007070	小児科外来診療料(初診時乳幼児夜間)加算	○	○	○	○	
113007170	小児科外来診療料(初診時乳幼児休日)加算	○	○	○	○	
113007270	小児科外来診療料(初診時乳幼児深夜)加算	○	○	○	○	
113007370	小児科外来診療料(再診時乳幼児夜間)加算	○	○	○	○	
113007470	小児科外来診療料(再診時乳幼児休日)加算	○	○	○	○	
113007570	小児科外来診療料(再診時乳幼児深夜)加算	○	○	○	○	
113007670	小児科外来診療料(外来診療料乳幼児夜間)加算	○	○	○	○	
113007770	小児科外来診療料(外来診療料乳幼児休日)加算	○	○	○	○	
113007870	小児科外来診療料(外来診療料乳幼児深夜)加算	○	○	○	○	
113008210	地域連携小児夜間・休日診療料2	○	○	○	○	

13000670 J七電子コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
113009770	小児科外来診療料（初診時乳幼児時間外）加算	○	○	○	○	
113009870	小児科外来診療料（再診時乳幼児時間外）加算	○	○	○	○	
113011610	地域連携夜間・休日診療料	○	○	○	○	
113013810	夜間休日救急搬送医学管理料		○	○	○	
113020170	小児かかりつけ診療料（初診時乳幼児時間外）加算				○	
113020270	小児かかりつけ診療料（初診時乳幼児休日）加算				○	
113020370	小児かかりつけ診療料（初診時乳幼児深夜）加算				○	
113020470	小児かかりつけ診療料（初診時時間外特例医療機関）加算				○	
113020570	小児科小児かかりつけ診療料（初診時乳幼児夜間）加算				○	
113020670	小児科小児かかりつけ診療料（初診時乳幼児休日）加算				○	
113020770	小児科小児かかりつけ診療料（初診時乳幼児深夜）加算				○	
113020870	小児かかりつけ診療料（再診時乳幼児時間外）加算				○	
113020970	小児かかりつけ診療料（再診時乳幼児休日）加算				○	
113021070	小児かかりつけ診療料（再診時乳幼児深夜）加算				○	
113021170	小児かかりつけ診療料（再診時時間外特例医療機関）加算				○	
113021270	小児科小児かかりつけ診療料（再診時乳幼児夜間）加算				○	
113021370	小児科小児かかりつけ診療料（再診時乳幼児休日）加算				○	
113021470	小児科小児かかりつけ診療料（再診時乳幼児深夜）加算				○	
113021570	小児かかりつけ診療料（外来診療料乳幼児時間外）加算				○	
113021670	小児かかりつけ診療料（外来診療料乳幼児休日）加算				○	
113021770	小児かかりつけ診療料（外来診療料乳幼児深夜）加算				○	
113021870	小児かかりつけ診療料（外来診療料時間外特例医療機関）加算				○	
113021970	小児科小児かかりつけ診療料（外来診療料乳幼児夜間）加算				○	
113022070	小児科小児かかりつけ診療料（外来診療料乳幼児休日）加算				○	
113022170	小児科小児かかりつけ診療料（外来診療料乳幼児深夜）加算				○	
140007910	夜間、休日加算	○	○	○	○	
190126470	夜間緊急体制確保加算	○	○	○	○	
190126470	夜間緊急体制確保加算（有床診療所入院基本料）	○	○	○	○	○
112017790	再診（時間外）加算（入院）				○	○
112017890	休日加算（再診）（入院）				○	○
112017990	再診（深夜）加算（入院）				○	○
112018090	再診（乳幼児時間外）加算（入院）				○	○
112018190	再診（乳幼児休日）加算（入院）				○	○
112018290	再診（乳幼児深夜）加算（入院）				○	○
112018390	再診（時間外特例医療機関）加算（入院）				○	○
112018490	再診（乳幼児時間外特例医療機関）加算（入院）				○	○
112018590	小児科再診（乳幼児夜間）加算（6歳未満）（入院）				○	○
112018690	小児科再診（乳幼児休日）加算（6歳未満）（入院）				○	○
112018790	小児科再診（乳幼児深夜）加算（6歳未満）（入院）				○	○
112018890	外来診療料（時間外）加算（入院）				○	○
112018990	外来診療料（休日）加算（入院）				○	○
112019090	外来診療料（深夜）加算（入院）				○	○
112019190	外来診療料（乳幼児時間外）加算（入院）				○	○
112019290	外来診療料（乳幼児休日）加算（入院）				○	○

ICDコード	診療名(時間外特例医療機関) 加算 (入院)	2010	2012	2014	2016	2018
112019490	外来診療料(乳幼児深夜) 加算 (入院)				○	○
112019590	外来診療料(乳幼児時間外特例医療機関) 加算 (入院)				○	○
112019690	外来診療料(小児科・乳幼児夜間) 加算(6歳未満) (入院)				○	○
112019790	外来診療料(小児科・乳幼児休日) 加算(6歳未満) (入院)				○	○
112019890	外来診療料(小児科・乳幼児深夜) 加算(6歳未満) (入院)				○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
ストラクチャー指標である

2:
年度により診療報酬改定あり、分子が異なる

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: [測定終了]4大癌・悪性腫瘍手術症例における大量輸血の割合（胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん）

指標番号:

QIP: 2060

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-10-02

指標群: マネジメント

名称: [測定終了]4大癌・悪性腫瘍手術症例における大量輸血の割合（胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん）

意義: 医療の質

必要データセット: DPC様式1 EFファイル Dファイル

定義の要約:

分母: 4大癌・悪性腫瘍に対する手術症例（胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん）

分子: 分母のうち、大量に輸血の実施された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、4大癌胃悪性腫瘍に対する手術をされた症例。DPCコードが以下のいずれかの症例

分母のデータ2

?DPCコード	内容	2010	2012	2014	2016
060020 x x 01\$	胃の悪性腫瘍 手術K6572等	○	○	○	○
060020xx02\$	胃の悪性腫瘍 手術K655-22等		○	○	○
060035xx01\$	大腸の悪性腫瘍 手術K7193等	○	○	○	○
060035xx02\$	大腸の悪性腫瘍 手術K724等	○	○	○	○
040040xx01\$	肺の悪性腫瘍 手術K514\$等	○	○		
040040xx97\$	肺の悪性腫瘍 手術あり			○	○
060050xx01\$	肝・肝内胆管の悪性腫瘍 手術K6957等	○	○	○	○
060050xx02\$	肝・肝内胆管の悪性腫瘍 手術K6951等	○	○	○	○

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

大量輸血の実施された症例。以下のいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれ、その合計数量が3を超える症例。合計数量はEFファイルのEF-12使用量×EF-21行為回数、あるいはFファイルのF-12使用量×対応するEファイルのE-15行為回数を、入院期間で合計する（複数薬剤も合算する）

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6341403	人全血液	○	○	○	○
6341404	人全血液	○	○	○	○
6342402	合成血	○	○	○	○
6342403	解凍人赤血球濃厚液	○	○	○	○
6342405	人赤血球濃厚液	○	○	○	○
6342407	白血球除去人赤血球浮遊液	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016
6342410	人赤血球濃厚液	○	○	○	○
6342413	解凍人赤血球濃厚液	○	○	○	○
6342414	合成血	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
輸血薬剤は複数の数量規格 (200ml、400ml) があるが、いずれも1袋と考え、袋数をもとに大量輸血を定義した。輸血には赤血球だけではなく血漿や血小板などが含まれるが、本指標では赤血球を含む製剤のみに注目し算出した。また、入院期間に渡り合計するため、長期間にわたる貧血への結果的な大量輸血が分子に含まれる可能性がある。

2 :
Dファイルのない場合の結果は参考値 (QIPでは疑似的にDPCコードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している)

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-02

名称: [測定終了]5大癌初発に対する入院のうちStageIまでの割合（胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん）

指標番号:

QIP: 2064

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-10-12

指標群: マネジメント

名称: [測定終了]5大癌初発に対する入院のうちStageIまでの割合（胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん）

意義: 地域医療（検診等）の指標。自院あるいは地域の外来診療における早期発見の取り組みの充実度をみる。

必要データセット: DPC様式1 Dファイル

定義の要約:

分母: 5大癌初発に対する初回入院（胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん）

分子: 分母のうち、StageIまでの割合

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
このうち、初発の5大癌症例。DPCコードが以下のいずれかの症例

分母のデータ2

?DPCコード	内容	2010	2012	2014	2016
060020\$	胃の悪性腫瘍	○	○	○	○
060035\$	大腸の悪性腫瘍	○	○	○	○
040040\$	肺の悪性腫瘍	○	○	○	○
060050\$	肝・肝内胆管の悪性腫瘍	○	○	○	○
090010\$	乳房の悪性腫瘍	○	○	○	○

3:
このうち、がんの初発、再発が「0. 初発」でありかつ、前回同一疾病で自院入院の有無が無し（NULL, 00000000, 99999999など）の症例

4:
同一症例IDが複数ある場合は、その最も古い入院データのみを使用

5:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:
DPCコードに応じて、UICC病期分類T、UICC病期分類N、UICC病期分類Mがそれぞれ以下のいずれかの組み合わせである症例(Stageの入力は必須ではないためTNMで判定)

分子のデータ1

疾患	対象DPCコード	T	N	M	(参考) Stage
胃の悪性腫瘍	060020\$	T1\$	N0	M0	IA
		T1\$	N1	M0	IB
		T2\$	N0	M0	IB
大腸の悪性腫瘍	060035\$	TIS\$	N0	M0	0
		T1	N0	M0	I
		T2	N0	M0	I

肺の悪性腫瘍 疾患	対象DPCコード	T ^X	N ⁰	M ⁰	潜伏期 (参考) Stage
		TIS\$	N0	M0	0
		T1\$	N0	M0	IA
		T2	N0	M0	IB(UICC6)
		T2A	N0	M0	IB(UICC7)
肝・肝内胆管の悪性腫瘍	060050\$	T1	N0	M0	I
乳房の悪性腫瘍	090010\$	TIS\$	\$	\$	0
		T1\$	N0	M0	I

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

1人の症例は1カウント（複数の悪性腫瘍が診断されている場合も1カウントのみ）。TNMが誤入力や未入力症例・MX（遠隔転移未診断症例）などが多いと、指標値は低く算出される。初回入院が検査入院の場合、TNMが入力されない。このため、検査入院が多い場合も指標値は低く算出される。

2:

Dファイルのない場合の結果は参考値（QIPでは疑似的にDPCコードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-12

名称: 悪性腫瘍症例に対する退院支援の割合

指標番号:

QIP: 2071

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-28

指標群: マネジメント

名称: 悪性腫瘍症例に対する退院支援の割合

意義: 悪性腫瘍は長期間の療養を要する症例も多く、在宅療養に向けた体制づくりを早期から始めることが求められている。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 悪性腫瘍入院症例数

分子: 分母のうち、退院調整を行った症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
医療資源を最も利用した傷病名に、ICD-10コードとして以下のコードが含まれる症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
C\$	C00-D48 新生物
D\$	D50-D89 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害

3 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
退院調整がされている症例。以下のいずれかが算定されている症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2016	2018
190137410	急性期病棟等退院調整加算1（退院時1回）	A238-21	○				
190137510	急性期病棟等退院調整加算2（退院時1回）	A238-21	○				
190141470	退院調整加算	A314	○	○	○		
190147610	退院調整加算（一般病棟入院基本料等）（14日以内）	A2381		○			
190147710	退院調整加算（一般病棟入院基本料等）（15日以上30日以内）	A2381		○			
190147810	退院調整加算（一般病棟入院基本料等）（31日以上）	A2381		○			
190147610	退院調整加算（一般病棟入院等）（～14日）	A2381			○		
190147710	退院調整加算（一般病棟入院等）（15日～30日）	A2381			○		
190147810	退院調整加算（一般病棟入院等）（31日～）	A2381			○		
190173310	退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（～14日）	A2384			○		
190173410	退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（15日～30日）	A2384			○		
190173510	退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（31日～）	A2384			○		
190141470	退院調整加算（認知症治療病棟入院料）	A3143				○	○

ICDコード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2016	2018
190151570	退院調整加算（精神療養病棟入院料）	A3123					
190192310	退院支援加算 1（一般病棟入院基本料等の場合）	A2461				○	
190192410	退院支援加算 1（療養病棟入院基本料等の場合）	A2461				○	
190192510	退院支援加算 2（一般病棟入院基本料等の場合）	A2462				○	
190192610	退院支援加算 2（療養病棟入院基本料等の場合）	A2462				○	
190192710	退院支援加算 3	A2463				○	
190192870	地域連携診療計画加算（退院支援加算）	A2464				○	
190192910	退院支援加算（特定地域）（一般病棟入院基本料等の場合）	A2465				○	
190193010	退院支援加算（特定地域）（療養病棟入院基本料等の場合）	A2465				○	
190141470	退院調整加算（認知症治療病棟入院料）	A314					○
190192310	入退院支援加算 1（一般病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190192410	入退院支援加算 1（療養病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190192510	入退院支援加算 2（一般病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190192610	入退院支援加算 2（療養病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190192710	入退院支援加算 3	A246					○
190192870	地域連携診療計画加算（入退院支援加算）	A246					○
190192910	入退院支援加算（特定地域）（一般病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190193010	入退院支援加算（特定地域）（療養病棟入院基本料等の場合）	A246					○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1:
必ずしも、すべての患者に退院支援を要するわけではなく、100%を目指す指標ではない。
- 2:
指標で利用している加算について要件の変更が随時行われており、診療報酬改定を挟む経時的変化については解釈の注意が必要。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-28

名称: [測定終了予定]救急搬送により入院した症例の救命率 (31日後生存/救急搬送入院)

指標番号:

QIP: 2028

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-27

指標群: マネジメント

名称: [測定終了予定]救急搬送により入院した症例の救命率 (31日後生存/救急搬送入院)

意義: アウトカム指標ではあるが、ストラクチャー指標の側面が強い

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 救急搬送により入院した症例数

分子: 分母のうち、生存退院もしくは入院日数が31日以上であった症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、「救急車による搬送の有無」が1(有)の症例。

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義:

1:

在院日数が31日以上、もしくは「退院時転帰」が1、2、3、4、5、9のいずれかの症例

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

アウトカム指標というより、施設の機能(急性期・看取り等)や、Case-mixを見ているストラクチャー指標の側面が強い。算出結果を見て、解釈については再度検討が必要。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 薬剤管理指導実施割合 (実施患者数ベース)

指標番号:

QIP: 2048

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: マネジメント

名称: 薬剤管理指導実施割合 (実施患者数ベース)

意義: 薬剤師の薬学的管理指導は、医療改善につながる

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 入院症例数

分子: 分母のうち、薬剤管理指導を受けた症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

薬剤指導管理実施の算定されている症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
113010710	薬剤管理指導料 1 (救命救急入院料等算定患者)	○	○	○	○	
113010810	薬剤管理指導料 (安全管理を要する医薬品投与患者)	○	○	○	○	○
120001610	薬剤管理指導料	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

薬剤管理指導料は、算定には特定の施設基準を満たしている必要があり、実施が「○」の施設は、未実施という意味ではない可能性が高い（これらの施設件数も比較には参考となると考えられるため、表・グラフには、0の施設も併記はする）。必ずしも、すべての患者に薬剤管理指導を要するわけではなく、100%を目指す指標ではない。分子の薬剤管理指導は、特に安全管理が必要な医薬品が投薬又は注射されている患者に対して行う場合以外も含め、管理指導が実施の有無の計測を主旨とする。指標としては、このほかに、実施回数を考慮したものが考えられる。

参考値:

参考資料:

1:

日本医療・病院管理学会誌49(4)195-203

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: [測定終了]退院前30日間に、何らかの検査は行われている割合

指標番号:

QIP: 2054

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: マネジメント

名称: [測定終了]退院前30日間に、何らかの検査は行われている割合

意義: ストラクチャー指標。入院患者像のモニタリング

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 退院患者数

分子: 分母のうち、退院前30日間に、検査実施が1以上はある症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:
退院日から30日前までの間に、検査の算定されている症例。退院（退院日を1）から30日前までのEファイル、E-5にコード60（検査・病理）、70（画像）が少なくとも1つは算定されている症例

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
ストラクチャー指標である

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: [測定終了]退院前 1週間に、何らかの検査は行われている割合

指標番号:

QIP: 2055

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: マネジメント

名称: [測定終了]退院前 1週間に、何らかの検査は行われている割合

意義: ストラクチャー指標。入院患者像のモニタリング

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 退院患者数

分子: 分母のうち、退院前7日間に、検査実施が1以上はある症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:
退院日から7日前までの間に、検査の算定されている症例。退院（退院日を1）から7日前までのEファイル、E-5にコード60（検査・病理）、70（画像）が少なくとも1つは算定されている症例

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
ストラクチャー指標である

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への栄養管理実施割合

指標番号:

QIP: 2079

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: マネジメント

名称: 糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への栄養管理実施割合

意義: 積極的な栄養管理の介入

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病であり、それらへの治療が主目的ではない入院症例の食事

分子: 分母のうち、特別食加算の算定

指標の定義算出方法:

分母の定義:

- 1 :
解析期間に退院した症例を対象とする
- 2 :
このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。
- 3 :
このうち、入院時併存症として糖尿病が慢性腎臓病が診断されている入院した症例。入院時併存症に、ICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
E10\$～ E14\$	糖尿病
N03\$	慢性腎炎症候群
N04\$	ネフローゼ症候群
N18\$	慢性腎不全

- 4 :
このうち、主傷病名、入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名のいずれかに糖尿病が慢性腎臓病が該当する症例は除外する (コードは上記と同一)

- 5 :
上記にて抽出された症例に対して算定された食事回数を計測する。下記レセ電コードの算定回数

分母のデータ5

レセ電コード	行為名	2010	2012	2014	2016	2018
197000110	入院時食事療養(1)(1食につき)	○	○	○	○	○
197000710	入院時食事療養(2)(1食につき)	○	○	○	○	○
197003110	入院時食事療養(1)(1食につき)(流動食のみを提供)				○	○
197003210	入院時食事療養(2)(1食につき)(流動食のみを提供)				○	○

- 6 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

- 1 :
分母で抽出された症例に対し、特別食加算の算定された回数を計測する。

分子のデータ1

レセ電コード	薬剤名	2010	2012	2014	2016	2018
197000470	特別食加算（食事療養）	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

EFファイルを利用する場合は、Fファイル相当のレコードのみ利用する。本指標は主に急性期医療の症例を対象とするため、下記は対象外としている

データ1

レセ電コード	行為名	2010	2012	2014	2016	2018
197001310	入院時生活療養（1）食事療養（1食につき）	○	○	○	○	○
197001710	入院時生活療養（2）食事療養（1食につき）	○	○	○	○	○

参考値:

参考資料:

1:

<http://www.nutri.co.jp/nutrition/keywords/append/>

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への早期栄養管理実施割合

指標番号:

QIP: 2080

年度: 2010, 2012, 2014

更新日: 2018-08-29

指標群: マネジメント

名称: 糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への早期栄養管理実施割合

意義: 積極的な栄養管理の介入

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病であり、それらへの治療が主目的ではない入院症例の入院翌日までの食事

分子: 分母のうち、特別食加算の算定

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求め18歳以上の症例。

3:

このうち、入院時併存症として糖尿病が慢性腎臓病が診断されている入院した症例。入院時併存症に、ICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ3

ICD-10コード	病名
E10\$ ~E14\$	糖尿病
N03\$	慢性腎炎症候群
N04\$	ネフローゼ症候群
N18\$	慢性腎不全

4:

このうち、主傷病名、入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名のいずれかに糖尿病が慢性腎不全が該当する症例は除外する (コードは上記と同一)

5:

上記にて抽出された症例に対して、入院翌日までに算定された食事回数を計測する。下記レセ電コードの算定回数

分母のデータ5

レセ電コード	行為名	2010	2012	2014	2016	2018
197000110	入院時食事療養(1)(1食につき)	○	○	○	○	○
197000710	入院時食事療養(2)(1食につき)	○	○	○	○	○
197003110	入院時食事療養(1)(1食につき)(流動食のみを提供)				○	○
197003210	入院時食事療養(2)(1食につき)(流動食のみを提供)				○	○

6:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母で抽出された症例に対し、入院翌日までに特別食加算の算定された回数を計測する。

分子のデータ1

レセ電コード	薬剤名	2010	2012	2014	2016	2018
197000470	特別食加算（食事療養）	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

EFファイルを利用する場合は、Fファイル相当のレコードのみ利用する。本指標は主に急性期医療の症例を対象とするため、下記は対象外としている

データ1

レセ電コード	行為名	2010	2012	2014	2016	2018
197001310	入院時生活療養（1）食事療養（1食につき）	○	○	○	○	○
197001710	入院時生活療養（2）食事療養（1食につき）	○	○	○	○	○

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-29

名称: 高難易度（外保連試案技術度D・E）手術実施割合

指標番号:

QIP: 2027

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2019-03-08

指標群: マネジメント

名称: 高難易度（外保連試案技術度D・E）手術実施割合

意義: マネジメント

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 手術実施症例数（外保連試案技術度B・C・D・E手術）

分子: 高難易度（外保連試案技術度D・E）手術実施数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

手術点数コード（5フィールド）のいずれかに、外保連試案技術度D・E手術が含まれる症例

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

手術点数コード（5フィールド）のいずれかに、別添で示す外保連試案技術度D・E手術が含まれる症例

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

現在の指標は2018年度外保連試案データを使用。

2:

同じKコードに複数の難易度が当てはまる場合、いずれかが含まれていれば利用している。またリストから漏れているKコードも存在する。これらにより、測定の誤差が生じる。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-03-08

名称: 退院後6週間以内の再入院割合 (退院症例集計)

指標番号:

QIP: 2083

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-29

指標群: マネジメント

名称: 退院後6週間以内の再入院割合 (退院症例集計)

意義: 退院のモニタリング

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 退院症例数

分子: 前回の退院日が42日以内の症例数 (予定再入院を除く)

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
前回退院年月日が42日以内の症例

2 :
対象となる再入院が予定入院の場合、分子から除外し「○」とする。入院中の主な診療目的が3.計画された短期入院の繰り返し (化学療法、放射線療法、抜釘) である症例、あるいは予定・緊急医療入院が 1. 予定入院・その他は分子「○」

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
集計は退院症例の集計。退院症例の入院日を、その入院の前回退院日と比較した集計。再入院後、データベース最新情報で入院継続中の症例については分子の計算に含めていない。このため短期間で集計を行うと誤差が生じる。比較的長期 (年度等) の集計を行うことで、退院後の再入院割合と近似する。前日の退院は 1 日とカウントする。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-29

名称: 退院後6週間以内の救急医療入院率 (退院症例集計)

指標番号:

QIP: 2084

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: マネジメント

名称: 退院後6週間以内の救急医療入院率 (退院症例集計)

意義: 退院のモニタリング

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 退院症例数

分子: 前回の退院日が42日以内の救急医療入院症例数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち入院経路が一般入院を対象とする

2010～2013年度「2」、2014年度～「1」「4」「5」

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義:

1:

前回退院年月日が42日以内の症例

2:

このうち救急医療入院の症例を対象とする

救急医療入院 予定・救急医療入院 2010～2011年度 「2」、2012年度～ 「3**」

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

集計は退院症例の集計。退院症例の入院日を、その入院の前回退院日と比較した集計。再入院後、データベース最新情報で入院継続中の症例については分子の計算に含めていない。これらのため短期間で集計を行うと誤差が生じる。比較的長期(年度等)の集計を行うことで、退院後の再入院割合と近似する。

前日の退院は1日とカウントする。

2012年度以降の予定・救急医療入院は、2**、3**がレセプトの「緊急入院」と対応するが、指標としては救急医療入院「3**」の集計が妥当と考えられる

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

名称: 緊急入院の割合

指標番号:

QIP: 2088

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-29

指標群: マネジメント

名称: 緊急入院の割合

意義: 地域における病院の役割の把握

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 入院経路が一般入院の症例の退院月で集計

分子: 緊急入院

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする。

2:

入院経路が2010~2013年度は一般入院「2」の症例、2014年度~家庭からの入院「1」、他の病院・診療所の病棟からの転院「4」、介護施設・福祉施設に入所中「5」のいずれかの場合

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義:

1:

緊急入院の症例

緊急入院 予定・救急医療入院

2010~2011年度 「2」、2012年度~ 「3**」

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

予定・救急医療入院は、200、3**が「緊急入院」と対応するが、指標としては3**の集計が妥当と考えられる

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-29

名称: 他院よりの紹介の有る入院の割合

指標番号:

QIP: 2089

年度: 2010, 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-08-29

指標群: マネジメント

名称: 他院よりの紹介の有る入院の割合

意義: 地域における病院の役割の把握

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 入院経路が一般入院の症例

分子: 他院よりの紹介有「1」

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする。

2:
入院経路が2010~2013年度は一般入院「2」の症例、2014年度~家庭からの入院「1」、他の病院・診療所の病棟からの転院「4」、介護施設・福祉施設に入所中「5」のいずれかの場合かつ、救急車による搬送がなし「0」の症例

3:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義:

1:
他院よりの紹介有が「1」

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-08-29

名称: DPC入院期間II以内の割合

指標番号:

QIP: 2090

年度: 2014, 2016

更新日: 2018-09-27

指標群: マネジメント

名称: DPC入院期間II以内の割合

意義: マネジメント

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 退院症例数 (DPC分析対象)

分子: 入院期間II以内の退院数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、分科会の分析対象データを参考に、以下の基準で除外を行う

① 在院日数1日以下 (外泊日数含む)

② 外泊>=在院日数

③ 年齢0歳未満120歳超

④ 一般病棟以外の病棟との移動あり (DPC対象病棟となる入院料を算定していないもの)

⑤ 24時間以内の死亡

⑥ 移植手術あり

⑦ DPC該当せず

⑧ 治験の実施

⑨ 生後7日以内の死亡

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母のうち、入院期間II以内の退院数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

症例の限定は分科会定義に準じるが、完全に一致はしない。

マネジメントの指標値であって、計測値の解釈は個別に必要。

DPC対象の精神病棟への入院も除外している。

参考値:

参考資料:

1:

平成22年度第9回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 議事次第
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000000ysr0.html>

2 :
平成23年度第9回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 議事次第
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001u23a.html>

3 :
平成24年度第5回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 議事次第
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002hs9l.html>

4 :
平成25年度第7回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会 議事次第
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000023522.html>

5 :
平成26年度 第5回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000056344.html>

6 :
平成27年度第7回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000104146.html>

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: DPC入院期間III超えの割合

指標番号:

QIP: 2091

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: マネジメント

名称: DPC入院期間III超えの割合

意義: マネジメント

必要データセット: DPC様式1

定義の要約:

分母: 退院症例数 (DPC分析対象)

分子: 入院期間IIIより長い退院数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

このうち、分科会の分析対象データを参考に、以下の基準で除外を行う

① 在院日数1日以下 (外泊日数含む)

② 外泊>=在院日数

③ 年齢0歳未満120歳超

④ 一般病棟以外の病棟との移動あり (DPC対象病棟となる入院料を算定していないもの)

⑤ 24時間以内の死亡

⑥ 移植手術あり

⑦ DPC該当せず

⑧ 治験の実施

⑨ 生後7日以内の死亡

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母のうち、在院日数が入院期間IIIより長い退院数

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

症例の限定は分科会定義に準じるが、完全に一致はしない。

マネジメントの指標値であって、計測値の解釈は個別に必要。

DPC対象の精神病棟への入院も除外している。

参考値:

参考資料:

1:

平成22年度第9回診療報酬調査専門組織・D P C評価分科会 議事次第
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000000ysr0.html>

2 :
平成23年度第9回診療報酬調査専門組織・D P C評価分科会 議事次第
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000001u23a.html>

3 :
平成24年度第5回診療報酬調査専門組織・D P C評価分科会 議事次第
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002hs9l.html>

4 :
平成25年度第7回診療報酬調査専門組織・D P C評価分科会 議事次第
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000023522.html>

5 :
平成26年度 第5回 診療報酬調査専門組織・D P C評価分科会
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000056344.html>

6 :
平成27年度第7回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000104146.html>

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-27

名称: 5大癌初発に対する他院よりの紹介のない入院のうちStageIまでの割合 (胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん)

指標番号:

QIP: 2096

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-28

指標群: マネジメント

名称: 5大癌初発に対する他院よりの紹介のない入院のうちStageIまでの割合 (胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん)

意義: 地域医療 (検診等) の指標。自院あるいは地域の外来診療における早期発見の取り組みの充実度をみる。

必要データセット: DPC様式1 Dファイル

定義の要約:

分母: 5大癌初発に対する他院よりの紹介のない初回入院 (胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん)

分子: 分母のうち、StageI までの割合

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
このうち、初発の5大癌症例
DPCコードが以下のいずれかの症例

分母のデータ2

DPCコード	内容	2010	2012	2014	2016	2018
060020\$	胃の悪性腫瘍	○	○	○	○	○
060035\$	大腸の悪性腫瘍	○	○	○	○	○
040040\$	肺の悪性腫瘍	○	○	○	○	○
060050\$	肝・肝内胆管の悪性腫瘍	○	○	○	○	○
090010\$	乳房の悪性腫瘍	○	○	○	○	○

3 :
このうち、がんの初発、再発が「0. 初発」でありかつ、前回同一疾病で自院入院の有無が無し (NULL, 00000000, 99999999など) の症例

4 :
同一症例IDが複数ある場合は、その最も古い入院データのみを使用

5 :
このうち、「他院よりの紹介の有無」が「○. 無」の症例

6 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
StageI までの症例
DPCコードに応じて、UICC病期分類T、UICC病期分類N、UICC病期分類Mがそれぞれ以下のいずれかの組み合わせである症例(Stageの入力は必須ではないためTNMで判定)

分子のデータ1

疾患	対象DPCコード	T	N	M	(参考) Stage
胃の悪性腫瘍	060020\$	T1\$	N0	M0	IA
		T1\$	N1	M0	IB
		T2\$	N0	M0	IB

大腸の悪性腫瘍 疾患	060035\$ 対象DPCコード	TIS\$	N0	M0	0(参考) Stage
		T1	N0	M0	I
		T2	N0	M0	I
肺の悪性腫瘍	040040\$	TX	N0	M0	潜伏期
		TIS\$	N0	M0	0
		T1\$	N0	M0	IA
		T2	N0	M0	IB(UICC6)
		T2A	N0	M0	IB(UICC7)
肝・肝内胆管の悪性腫瘍	060050\$	T1	N0	M0	I
乳房の悪性腫瘍	090010\$	TIS\$	\$	\$	0
		T1\$	N0	M0	I

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

1人の症例は1カウント（複数の悪性腫瘍が診断されている場合も1カウントのみ）

TNMが誤入力や未入力症例・MX（遠隔転移未診断症例）などが多いと、指標値は低く算出される

初回入院が検査入院の場合、TNMが入力されない。このため、検査入院が多い場合も指標値は低く算出される。

2:

Dファイルのない場合の結果は参考値（QIPでは疑似的にDPCコードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-28

名称: 5大癌初発に対する他院よりの紹介のある入院のうちStageIまでの割合 (胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん)

指標番号:

QIP: 2097

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-28

指標群: マネジメント

名称: 5大癌初発に対する他院よりの紹介のある入院のうちStageIまでの割合 (胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん)

意義: 地域医療 (検診等) の指標。自院あるいは地域の外来診療における早期発見の取り組みの充実度をみる。

必要データセット: DPC様式1 Dファイル

定義の要約:

分母: 5大癌初発に対する他院よりの紹介のある初回入院 (胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん)

分子: 分母のうち、StageI までの割合

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
このうち、初発の5大癌症例
DPCコードが以下のいずれかの症例

分母のデータ2

?DPCコード	内容	2010	2012	2014	2016
060020\$	胃の悪性腫瘍	○	○	○	○
060035\$	大腸の悪性腫瘍	○	○	○	○
040040\$	肺の悪性腫瘍	○	○	○	○
060050\$	肝・肝内胆管の悪性腫瘍	○	○	○	○
090010\$	乳房の悪性腫瘍	○	○	○	○

3 :
このうち、がんの初発、再発が「0. 初発」でありかつ、前回同一疾病で自院入院の有無が無し (NULL, 00000000, 99999999など) の症例

4 :
同一症例IDが複数ある場合は、その最も古い入院データのみを使用

5 :
このうち、「他院よりの紹介の有無」が「1. 有」の症例

6 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
StageI までの症例
DPCコードに応じて、UICC病期分類T、UICC病期分類N、UICC病期分類Mがそれぞれ以下のいずれかの組み合わせである症例(Stageの入力は必須ではないためTNMで判定)

分子のデータ1

疾患	対象DPCコード	T	N	M	(参考) Stage
胃の悪性腫瘍	060020\$	T1\$	N0	M0	IA
		T1\$	N1	M0	IB
		T2\$	N0	M0	IB

大腸の悪性腫瘍 疾患	060035\$ 対象DPCコード	TIS\$	N0	M0	0(参考) Stage
		T1	N0	M0	I
		T2	N0	M0	I
肺の悪性腫瘍	040040\$	TX	N0	M0	潜伏期
		TIS\$	N0	M0	0
		T1\$	N0	M0	IA
		T2	N0	M0	IB(UICC6)
		T2A	N0	M0	IB(UICC7)
肝・肝内胆管の悪性腫瘍	060050\$	T1	N0	M0	I
乳房の悪性腫瘍	090010\$	TIS\$	\$	\$	0
		T1\$	N0	M0	I

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

1人の症例は1カウント（複数の悪性腫瘍が診断されている場合も1カウントのみ）

TNMが誤入力や未入力症例・MX（遠隔転移未診断症例）などが多いと、指標値は低く算出される

初回入院が検査入院の場合、TNMが入力されない。このため、検査入院が多い場合も指標値は低く算出される。

2:

Dファイルのない場合の結果は参考値（QIPでは疑似的にDPCコードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-28

名称: 悪性腫瘍（4種）手術症例における大量輸血の割合2（食道がん・胃がん・大腸がん・直腸がん）

指標番号:

QIP: 2101

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-10-02

指標群: マネジメント

名称: 悪性腫瘍（4種）手術症例における大量輸血の割合2（食道がん・胃がん・大腸がん・直腸がん）

意義: 医療の質

必要データセット: DPC様式1 EFファイル Dファイル

定義の要約:

分母: 4大癌・悪性腫瘍に対する手術症例（食道がん・胃がん・大腸がん・直腸がん）

分子: 分母のうち、大量に輸血の実施された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
このうち、食道がん・胃がん・大腸がん・直腸がんに対する手術をされた症例。DPCコードが以下のいずれかの症例

分母のデータ2

DPCコード	内容	2010	2012	2014	2016	2018
060010xx01\$	食道の悪性腫瘍 手術K5291等	○	○	○	○	○
060020xx01\$	胃の悪性腫瘍 手術K6572等	○	○	○	○	○
060020xx02\$	胃の悪性腫瘍 手術K655-22等		○	○	○	○
060035xx01\$	大腸の悪性腫瘍 手術K7193等	○	○			
060035xx02\$	大腸の悪性腫瘍 手術K724等	○	○			
060040xx01\$	直腸の悪性腫瘍 手術K645等	○	○			
060035xx01\$	結腸の悪性腫瘍 手術K7193等			○	○	○
060035xx02\$	結腸の悪性腫瘍 手術K724等			○	○	○
060040xx01\$	直腸肛門の悪性腫瘍 手術K645等			○	○	○
060040xx02\$	直腸肛門の悪性腫瘍 手術K7481等			○	○	○

3:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:
大量輸血の実施された症例。以下のいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれ、その合計数量が3を超える症例。合計数量はEFファイルのEF-12使用量×EF-21行為回数、あるいはFファイルのF-12使用量×対応するEファイルのE-15行為回数を、入院期間で合計する（複数薬剤も合算する）

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
6341403	人全血液	○	○	○	○	○
6341404	人全血液	○	○	○	○	○
6342402	合成血	○	○	○	○	○
6342403	解凍人赤血球濃厚液	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
6342407	白血球除去人赤血球浮遊液	○	○	○	○	
6342408	洗浄人赤血球浮遊液	○	○	○	○	○
6342410	人赤血球濃厚液	○	○	○	○	○
6342413	解凍人赤血球濃厚液	○	○	○	○	○
6342414	合成血	○	○	○	○	○
6342415	洗浄人赤血球浮遊液	○	○	○		
6342415	洗浄人赤血球液				○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

輸血薬剤は複数の数量規格（200ml、400ml）があるが、いずれも1袋と考え、袋数をもとに大量輸血を定義した。輸血には赤血球だけではなく血漿や血小板などが含まれるが、本指標では赤血球を含む製剤のみに注目し算出した。また、入院期間に渡り合計するため、長期間にわたる貧血への結果的な大量輸血が分子に含まれる可能性がある。

2:

Dファイルのない場合の結果は参考値（QIPでは疑似的にDPCコードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-10-02

名称: 誤嚥性肺炎症例に対する退院支援の割合

指標番号:

QIP: 2102

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-28

指標群: マネジメント

名称: 誤嚥性肺炎症例に対する退院支援の割合

意義: 誤嚥性肺炎は長期間の療養を要する症例も多く、在宅療養に向けた体制づくりを早期から始めることが求められている。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 誤嚥性肺炎入院症例数

分子: 分母のうち、退院調整を行った症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

医療資源を最も利用した傷病名に、ICD-10コードとして以下のコードが含まれる症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
J69\$	固形物および液状物による肺臓炎

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

退院調整がされている症例。以下のいずれかが算定されている症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2106	2018
190137410	急性期病棟等退院調整加算1（退院時1回）	A238-21	○				
190137510	急性期病棟等退院調整加算2（退院時1回）	A238-21	○				
190141470	退院調整加算	A314	○	○	○		
190147610	退院調整加算（一般病棟入院基本料等）（14日以内）	A2381		○			
190147710	退院調整加算（一般病棟入院基本料等）（15日以上30日以内）	A2381		○			
190147810	退院調整加算（一般病棟入院基本料等）（31日以上）	A2381		○			
190147610	退院調整加算（一般病棟入院等）（～14日）	A2381			○		
190147710	退院調整加算（一般病棟入院等）（15日～30日）	A2381			○		
190147810	退院調整加算（一般病棟入院等）（31日～）	A2381			○		
190173310	退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（～14日）	A2384			○		
190173410	退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（15日～30日）	A2384			○		
190173510	退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（31日～）	A2384			○		
190141470	退院調整加算（認知症治療病棟入院料）	A3143				○	○
190151570	退院調整加算（精神療養病棟入院料）	A3123				○	○

ICDコード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2106	2018
190192310	退院支援加算 1 (一般病棟入院基本料等の場合)	A2461				○	
190192410	退院支援加算 1 (療養病棟入院基本料等の場合)	A2461				○	
190192510	退院支援加算 2 (一般病棟入院基本料等の場合)	A2462				○	
190192610	退院支援加算 2 (療養病棟入院基本料等の場合)	A2462				○	
190192710	退院支援加算 3	A2463				○	
190192870	地域連携診療計画加算 (退院支援加算)	A2464				○	
190192910	退院支援加算 (特定地域) (一般病棟入院基本料等の場合)	A2465				○	
190193010	退院支援加算 (特定地域) (療養病棟入院基本料等の場合)	A2465				○	
190141470	退院調整加算 (認知症治療病棟入院料)	A314					○
190192310	入退院支援加算 1 (一般病棟入院基本料等の場合)	A246					○
190192410	入退院支援加算 1 (療養病棟入院基本料等の場合)	A246					○
190192510	入退院支援加算 2 (一般病棟入院基本料等の場合)	A246					○
190192610	入退院支援加算 2 (療養病棟入院基本料等の場合)	A246					○
190192710	入退院支援加算 3	A246					○
190192870	地域連携診療計画加算 (入退院支援加算)	A246					○
190192910	入退院支援加算 (特定地域) (一般病棟入院基本料等の場合)	A246					○
190193010	入退院支援加算 (特定地域) (療養病棟入院基本料等の場合)	A246					○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

- 1 :
必ずしも、すべての患者に退院支援を要するわけではなく、100%を目指す指標ではない。
- 2 :
指標で利用している加算について要件の変更が随時行われており、診療報酬改定を挟む経時的変化については解釈の注意が必要。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-28

名称: 認知症を伴う症例に対する退院支援の割合

指標番号:

QIP: 2103

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-28

指標群: マネジメント

名称: 認知症を伴う症例に対する退院支援の割合

意義: 認知症症例は、在宅療養に向けた体制づくりを早期から始めることが求められている。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 認知症を伴う入院症例数

分子: 分母のうち、退院調整を行った症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1 :
解析期間に退院した症例を対象とする

2 :
傷病名のいずれかに、ICD-10コードとして以下のコードが含まれる症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
F00\$	アルツハイマー病の認知症
F01\$	血管性認知症
F02\$	他に分類されるその他の疾患の認知症
F03\$	詳細不明の認知症
G30\$	アルツハイマー病
G31\$	神経系のその他の変性疾患

3 :
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :
退院調整がされている症例。以下のいずれかが算定されている症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2106	2018
190137410	急性期病棟等退院調整加算 1 (退院時 1回)	A238-21	○				
190137510	急性期病棟等退院調整加算 2 (退院時 1回)	A238-21	○				
190141470	退院調整加算	A314	○	○	○		
190147610	退院調整加算 (一般病棟入院基本料等) (14日以内)	A2381		○			
190147710	退院調整加算 (一般病棟入院基本料等) (15日以上30日以内)	A2381		○			
190147810	退院調整加算 (一般病棟入院基本料等) (31日以上)	A2381		○			
190147610	退院調整加算 (一般病棟入院等) (~14日)	A2381			○		
190147710	退院調整加算 (一般病棟入院等) (15日~30日)	A2381			○		
190147810	退院調整加算 (一般病棟入院等) (31日~)	A2381			○		

ICD-10コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2106	2018
190173410	退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（～14日）	A2384			○		
190173510	退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（15日～30日）	A2384			○		
190141470	退院調整加算（認知症治療病棟入院料）	A3143				○	○
190151570	退院調整加算（精神療養病棟入院料）	A3123				○	○
190192310	退院支援加算1（一般病棟入院基本料等の場合）	A2461				○	
190192410	退院支援加算1（療養病棟入院基本料等の場合）	A2461				○	
190192510	退院支援加算2（一般病棟入院基本料等の場合）	A2462				○	
190192610	退院支援加算2（療養病棟入院基本料等の場合）	A2462				○	
190192710	退院支援加算3	A2463				○	
190192870	地域連携診療計画加算（退院支援加算）	A2464				○	
190192910	退院支援加算（特定地域）（一般病棟入院基本料等の場合）	A2465				○	
190193010	退院支援加算（特定地域）（療養病棟入院基本料等の場合）	A2465				○	
190141470	退院調整加算（認知症治療病棟入院料）	A314					○
190192310	入退院支援加算1（一般病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190192410	入退院支援加算1（療養病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190192510	入退院支援加算2（一般病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190192610	入退院支援加算2（療養病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190192710	入退院支援加算3	A246					○
190192870	地域連携診療計画加算（入退院支援加算）	A246					○
190192910	入退院支援加算（特定地域）（一般病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190193010	入退院支援加算（特定地域）（療養病棟入院基本料等の場合）	A246					○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

必ずしも、すべての患者に退院支援を要するわけではなく、100%を目指す指標ではない。ICD-10として「認知症」をキーワードに含む可能性のあるものを網羅させず、主に使用されると考えられるものだけに限定している（例：F10.7 アルコール使用による精神及び行動の障害、残遺性及び遅発性の精神障害 に「アルコール性認知症」が含まれる可能性はあるが分母には入れていない。

2:

指標で利用している加算について要件の変更が随時行われており、診療報酬改定を挟む経時的変化については解釈の注意が必要。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-28

名称: 薬剤管理指導実施開始日

指標番号:

QIP: 2104

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-27

指標群: マネジメント

名称: 薬剤管理指導実施開始日

意義: 薬剤師の薬学的管理指導は、医療改善につながる

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 入院症例のうち、薬剤管理指導を受けた症例数

分子: 分母のうち、入院日から薬剤指導管理実施を最初に算定された日までの日数（入院日を1）

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した症例を対象とする

2:
薬剤指導管理実施の算定されている症例

分母のデータ2

レセ電コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
113010710	薬剤管理指導料1（救命救急入院料等算定患者）	○	○	○	○	
113010810	薬剤管理指導料（安全管理を要する医薬品投与患者）	○	○	○	○	○
120001610	薬剤管理指導料	○	○	○	○	○

3:
調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:
入院日から薬剤指導管理実施を最初に算定された日までの日数。入院日を1とする

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): 日

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
必ずしも、すべての患者に薬剤管理指導を要するわけではないが、本指標では「実施された症例」に限定している点に注意。
また、入院途中に介入が必要となった症例が多い場合、指標値としては低く算出される。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

名称: 悪性腫瘍・誤嚥性肺炎・認知症の症例に対する退院支援の割合

指標番号:

QIP: 2105

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-09-28

指標群: マネジメント

名称: 悪性腫瘍・誤嚥性肺炎・認知症の症例に対する退院支援の割合

意義: 悪性腫瘍、誤嚥性肺炎、認知症は長期間の療養を要する症例も多く、在宅療養に向けた体制づくりを早期から始めることが求められている。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 悪性腫瘍・誤嚥性肺炎・認知症いずれかの入院症例数

分子: 分母のうち、退院調整を行った症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に退院した症例を対象とする

2:

医療資源を最も利用した傷病名に、ICD-10コードとして以下のコードが含まれる症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
C\$	C00-D48 新生物
D\$	D50-D89 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害
J69\$	固形物および液状物による肺臓炎
F00\$	アルツハイマー病の認知症
F01\$	血管性認知症
F02\$	他に分類されるその他の疾患の認知症
F03\$	詳細不明の認知症

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

退院調整がされている症例。以下のいずれかが算定されている症例

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2106	2018
190137410	急性期病棟等退院調整加算 1 (退院時 1回)	A238-21	○				
190137510	急性期病棟等退院調整加算 2 (退院時 1回)	A238-21	○				
190141470	退院調整加算	A314	○	○	○		
190147610	退院調整加算 (一般病棟入院基本料等) (14日以内)	A2381		○			
190147710	退院調整加算 (一般病棟入院基本料等) (15日以上3●日以内)	A2381		○			
190147810	退院調整加算 (一般病棟入院基本料等) (31日以上)	A2381		○			
190147610	退院調整加算 (一般病棟入院等) (~14日)	A2381			○		

190147710 レセプトコード	退院調整加算（一般病棟入院等）（15日～30日） 診療行為名	A2381 区分	2010	2012	2014	2106	2018
190147810	退院調整加算（一般病棟入院等）（31日～）	A2381			○		
190173310	退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（～14日）	A2384			○		
190173410	退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（15日～30日）	A2384			○		
190173510	退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（31日～）	A2384			○		
190141470	退院調整加算（認知症治療病棟入院料）	A3143				○	○
190151570	退院調整加算（精神療養病棟入院料）	A3123				○	○
190192310	退院支援加算1（一般病棟入院基本料等の場合）	A2461				○	
190192410	退院支援加算1（療養病棟入院基本料等の場合）	A2461				○	
190192510	退院支援加算2（一般病棟入院基本料等の場合）	A2462				○	
190192610	退院支援加算2（療養病棟入院基本料等の場合）	A2462				○	
190192710	退院支援加算3	A2463				○	
190192870	地域連携診療計画加算（退院支援加算）	A2464				○	
190192910	退院支援加算（特定地域）（一般病棟入院基本料等の場合）	A2465				○	
190193010	退院支援加算（特定地域）（療養病棟入院基本料等の場合）	A2465				○	
190141470	退院調整加算（認知症治療病棟入院料）	A314					○
190192310	入退院支援加算1（一般病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190192410	入退院支援加算1（療養病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190192510	入退院支援加算2（一般病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190192610	入退院支援加算2（療養病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190192710	入退院支援加算3	A246					○
190192870	地域連携診療計画加算（入退院支援加算）	A246					○
190192910	入退院支援加算（特定地域）（一般病棟入院基本料等の場合）	A246					○
190193010	入退院支援加算（特定地域）（療養病棟入院基本料等の場合）	A246					○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:
必ずしも、すべての患者に退院支援を要するわけではなく、100%を目指す指標ではない。

2:
指標で利用している加算について要件の変更が随時行われており、診療報酬改定を挟む経時的変化については解釈の注意が必要。

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-28

名称: 外来インスリン治療症例への糖尿病透析予防指導実施割合

指標番号:

QIP: 2116

年度: 2012, 2014, 2016

更新日: 2018-09-06

指標群: マネジメント

名称: 外来インスリン治療症例への糖尿病透析予防指導実施割合

意義:

必要データセット: DPC様式1 外来EFファイル

定義の要約:

分母: インスリン注射を処方された症例の処方された月数

分子: 分母の月に、糖尿病透析予防指導の実施された月数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に外来で受診した症例を対象とする

2:

このうち、インスリン注射を処方された症例。E/Fファイルの薬剤情報の点数コードのいずれかに、以下のいずれかの薬価基準コードに対応するレセ電コードが含まれる症例を1か月1症例で集計（月数）

分母のデータ2

薬価基準コード上7ケタ	名称	2010	2012	2014	2016	2018
2492403	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	○	○	○	○	○
2492405	イソフェンインスリン水性		○			
2492406	インスリン		○			
2492407	インスリン亜鉛水性		○			
2492409	結晶性インスリン亜鉛水性		○			
2492410	無晶性インスリン亜鉛水性		○			
2492411	プロタミンインスリン亜鉛水性		○			
2492413	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	○	○	○	○	○
2492414	インスリンリスプロ（遺伝子組換え）	○	○	○	○	○
2492415	インスリンアスパルト（遺伝子組換え）	○	○	○	○	○
2492416	インスリングルルギン（遺伝子組換え）	○	○	○	○	○
2492417	インスリンデテミル（遺伝子組換え）	○	○	○	○	○
2492418	インスリングルリジン（遺伝子組換え）	○	○	○	○	○
2492419	インスリンデグルデク（遺伝子組換え）		○	○	○	○
2492500	インスリンデグルデク（遺伝子組換え）・インスリンアスパルト（遺伝子組換え）			○	○	○

3:

特定疾患療養管理料の算定された症例は除外する

分母のデータ3

レセ電コード	診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
113001810	B000-00	特定疾患療養管理料（診療所）	○	○	○	○	○

レセ電コード	診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
113002010	B000-00	特定疾患療養管理料（1〇〇床未満）	○	○	○	○	○

分子の定義:

1:

糖尿病透析予防指導料を算定された症例。分母の月に、E/Fファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例を1か月1症例で集計（月数）

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為コード	診療行為名	2010	2012	2014	2016	2018
113013610	B001-00	糖尿病透析予防指導管理料		○	○	○	○
113015610	B001-00	糖尿病透析予防指導管理料（特定地域）			○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

参考値:

参考資料:

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-06

名称: 服薬指導 b. 安全管理が必要な医薬品に対する服薬指導実施率

指標番号:

QIP: 2120

年度: 2016, 2018

更新日: 2018-09-21

指標群: マネジメント

名称: 服薬指導 b. 安全管理が必要な医薬品に対する服薬指導実施率

意義: 服薬指導により薬物療法に対する安全性や有用性を患者が認識すれば、アドヒアランスの向上(患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定にそって治療を受けること)に繋がると期待される。

必要データセット: EFファイル

定義の要約:

分母: 特に安全管理が必要な医薬品として、別表に定める医薬品のいずれかが投薬又は注射されている患者数

分子: 分母のうち薬剤管理指導料が算定された患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

計測期間において、EF ファイルおよびレセプト（入院）の診療行為レコードを参照し、当該入院期間中に以下のいずれかが処方された患者を抽出し、分母とする。

分母のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名
1124003	ニトラゼパム
1124701	ジアゼパム
1125003	フェノバルビタール
1125004	フェノバルビタール
1125402	フェノバルビタール
1125700	フェノバルビタールナトリウム
1126001	臭化カリウム
1126002	臭化ナトリウム
1131001	アセチルフェネトライド
1132001	エトトイン
1132002	フェニトイン
1132400	フェニトインナトリウム
1132401	ホスフェニトインナトリウム水和物
1133002	トリメタジオン
1135002	プリミドン
1137001	スルチアム
1139001	エトスクシミド
1139002	カルバマゼピン
1139003	クロナゼパム
1139004	バルプロ酸ナトリウム
1139005	ゾニサミド
1139006	クロバザム

1139007 薬価基準コード7桁	成分名
1139008	トピラマート
1139009	ラモトリギン
1139010	レベチラセタム
1139011	スチリペントール
1139012	ルフィナミド
1139013	ビガバトリン
1139014	ペランパネル水和物
1139015	ラコサミド
1139100	フェニトイン・フェノバルビタール
1139103	フェニトイン・フェノバルビタール配合剤
1139104	フェニトイン・フェノバルビタール配合剤
1139105	フェニトイン・フェノバルビタール配合剤
1139400	フェノバルビタールナトリウム
1139401	ミダゾラム
1139402	レベチラセタム
1143001	アスピリン
1171001	クロルプロマジン塩酸塩
1171005	クロルプロマジンフェノールフタリン酸塩
1171400	クロルプロマジン塩酸塩
1172004	ペルフェナジンフェンジゾ酸塩
1172005	プロペリシアジン
1172006	ペルフェナジン
1172007	ペルフェナジン
1172009	フルフェナジンマレイン酸塩
1172010	プロクロルペラジンマレイン酸塩
1172013	ペルフェナジンマレイン酸塩
1172014	レボメプロマジンマレイン酸塩
1172402	塩酸ペルフェナジン
1172403	レボメプロマジン塩酸塩
1172404	プロクロルペラジン
1172405	フルフェナジンデカン酸エステル
1174002	クロミプラミン塩酸塩
1174004	ロフェプラミン塩酸塩
1174005	トリミプラミンマレイン酸塩
1174006	イミプラミン塩酸塩
1174401	クロミプラミン塩酸塩
1179001	アモキサピン
1179002	アミトリプチリン塩酸塩
1179004	ノルトリプチリン塩酸塩
1179005	ヒドロキシジン塩酸塩
1179006	ピバンペロン塩酸塩
1179008	マプロチリン塩酸塩
1179009	メチルフェニデート塩酸塩
1179011	オキシペルチン

薬価基準コード7桁	成分名
1179015	スピペロン
1179016	スルピリド
1179017	炭酸リチウム
1179019	ヒドロキシジンパモ酸塩
1179020	ハロペリドール
1179022	ピモジド
1179023	ペモリン
1179024	ゾテピン
1179025	エチゾラム
1179026	チミペロン
1179027	ドスレピン塩酸塩
1179028	ブロムペリドール
1179030	クロカプラミン塩酸塩水和物
1179032	スルトプリド塩酸塩
1179033	ミアンセリン塩酸塩
1179034	セチプチリンマレイン酸塩
1179035	モサプラミン塩酸塩
1179036	ネモナブリド
1179037	トラゾドン塩酸塩
1179038	リスペリドン
1179039	フルボキサミンマレイン酸塩
1179040	ミルナシبران塩酸塩
1179041	パロキセチン塩酸塩水和物
1179042	クエチアピンフマル酸塩
1179043	ペロスピロン塩酸塩水和物
1179044	オランザピン
1179045	アリピプラゾール
1179046	塩酸セルトラリン
1179047	モダフィニル
1179048	ブロナンセリン
1179049	クロザピン
1179050	アトモキセチン塩酸塩
1179051	ミルタザピン
1179052	糖尿病用剤
1179053	パリペリドン
1179054	エスシタロプラムシュウ酸塩
1179055	ベンラファキシン塩酸塩
1179056	アセナピンマレイン酸塩
1179057	グアンファシン塩酸塩
1179058	ブレクスピプラゾール
1179401	ヒドロキシジン塩酸塩
1179403	スルピリド
1179404	ハロペリドール
1179405	チミペロン

薬価基準コード7桁	成分名
	リドールデカン酸エステル
1179407	リスペリドン
1179408	オランザピン
1179409	パリペリドンパルミチン酸エステル
1179410	アリピプラゾール水和物
1214401	リドカイン
1214404	リドカイン
1242008	アトロピン硫酸塩水和物
1242405	アトロピン硫酸塩水和物
1242406	アトロピン硫酸塩水和物
2113001	ジギトキシン
2113003	ジゴキシン
2113004	ジゴキシン
2113005	メチルジゴキシン
2113006	ラナトシドC
2113400	ジゴキシン
2113401	デスラノシド
2115001	アミノフィリン水和物
2115002	アミノフィリン水和物
2115400	テオフィリン製剤 キサンチン誘導体1
2115404	テオフィリン製剤 キサンチン誘導体1
2119002	d l - イソプレナリン塩酸塩
2119400	l - イソプレナリン塩酸塩
2121001	プロカインアミド塩酸塩
2121400	プロカインアミド塩酸塩
2122001	キニジン硫酸塩水和物
2122002	キニジン硫酸塩水和物
2123001	アセブトロール塩酸塩
2123005	カルテオロール塩酸塩
2123006	ブフェトロール塩酸塩
2123008	プロプラノロール塩酸塩
2123009	ピンドロール
2123011	アテノロール
2123014	アロチノロール塩酸塩
2123015	ナドロール
2123016	ビソプロロールフマル酸塩
2123402	プロプラノロール塩酸塩
2123404	ランジオロール塩酸塩
2123405	エスモロール塩酸塩
2129002	ジソピラミド
2129003	メキシレチン塩酸塩
2129004	アブリンジン塩酸塩
2129005	リン酸ジソピラミド
2129006	プロパフェノン塩酸塩
2129007	シベンゾリンコハク酸塩

薬価基準コード7桁	成分名
	カイニド塩酸塩水和物
2129009	フレカイニド酢酸塩
2129010	アミオダロン塩酸塩
2129011	ベプリジル塩酸塩水和物
2129012	ピルメノール塩酸塩水和物
2129013	ソタロール塩酸塩
2129401	リン酸ジソピラミド
2129402	ベラパミル塩酸塩
2129403	メキシレチン塩酸塩
2129404	アブリンジン塩酸塩
2129405	シベンゾリンコハク酸塩
2129406	フレカイニド酢酸塩
2129407	ニフェカラント塩酸塩
2129408	ピルシカイニド塩酸塩水和物
2129409	塩酸リドカイン
2129410	アミオダロン塩酸塩
2134001	アセタゾラミド
2134002	アセタゾラミド
2134400	アセタゾラミドナトリウム
2149010	メトプロロール酒石酸塩
2149032	カルベジロール
2160400	フェニレフリン塩酸塩
2171008	ベラパミル塩酸塩
2171010	ジピリダモール
2171405	ジルチアゼム塩酸塩
2251001	テオフィリン
2329009	スルピリド
2329401	スルピリド
2355002	硫酸マグネシウム水和物
2399016	ブデソニド
2399402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2399403	インフリキシマブ（遺伝子組換え） [インフリキシマブ後続1]
2399404	インフリキシマブ（遺伝子組換え） [インフリキシマブ後続2]
2399716	ブデソニド
2411401	酢酸テトラコサクチド垂鉛
2452001	コルチゾン酢酸エステル
2452002	ヒドロコルチゾン
2452003	フルドロコルチゾン酢酸エステル
2452400	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム
2452402	ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム
2454002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2454003	トリアムシノロン
2454004	ベタメタゾン
2454402	トリアムシノロンアセトニド
2454404	ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム

薬価標準コード7桁	成分名
2454407	デキサメタゾンパルミチン酸エステル
2454408	ベタメタゾン酢酸エステル・ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム
2454700	ベタメタゾン
2454701	ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム
2456001	プレドニゾン
2456002	プレドニゾン
2456003	メチルプレドニゾン
2456400	メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウム
2456402	メチルプレドニゾン酢酸エステル
2456405	プレドニゾンコハク酸エステルナトリウム
2456700	プレドニゾンリン酸エステルナトリウム
2459100	ベタメタゾン・d-クロルフェニラミンマレイン酸塩
2462001	メチルテストステロン
2474001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2478001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2478002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2492403	糖尿病用剤
2492413	糖尿病用剤
2492414	糖尿病用剤
2492415	糖尿病用剤
2492416	糖尿病用剤
2492417	糖尿病用剤
2492418	糖尿病用剤
2492419	糖尿病用剤
2492420	インスリングルラルギン（遺伝子組換え） [インスリングルラルギン後続1]
2492421	インスリングルラルギン（遺伝子組換え） [インスリングルラルギン後続2]
2492500	インスリン デグルデク（遺伝子組換え）・インスリン アスパルト（遺伝子組換え）
2499003	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499006	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499406	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499407	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499410	糖尿病用剤
2499411	糖尿病用剤
2499412	デガレリクス酢酸塩
2499415	糖尿病用剤
2499416	デュラグルチド（遺伝子組換え）
3229400	塩化カリウム
3229401	L-アスパラギン酸カリウム
3229500	アスパラギン酸カリウム・マグネシウム
3319402	カリウム製剤（注射）
3319406	リン酸二カリウム
3332001	ワルファリンカリウム
3339001	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩

薬価基準コード7桁	成分名
3339003	リバーロキサバン
3339004	アピキサバン
3399001	血液凝固阻止剤 チクロピジン
3399002	血液凝固阻止剤 シロスタゾール
3399007	血液凝固阻止剤 アスピリン血液
3399008	血液凝固阻止剤 プラビックス
3399009	プラスゲレル塩酸塩
3399011	チカグレロル
3399100	血液凝固阻止剤 アスピリン血液
3399101	クロピドゲレル硫酸塩・アスピリン
3399102	アスピリン・ランソプラゾール
3929004	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3929407	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3961001	糖尿病用剤
3961002	糖尿病用剤
3961003	糖尿病用剤
3961004	糖尿病用剤
3961006	糖尿病用剤
3961007	糖尿病用剤
3961008	糖尿病用剤
3962001	糖尿病用剤
3962002	糖尿病用剤
3969003	糖尿病用剤
3969004	糖尿病用剤
3969006	糖尿病用剤
3969007	糖尿病用剤
3969008	糖尿病用剤
3969009	糖尿病用剤
3969010	糖尿病用剤
3969011	糖尿病用剤
3969012	糖尿病用剤
3969013	糖尿病用剤
3969014	糖尿病用剤
3969015	糖尿病用剤
3969016	糖尿病用剤
3969017	糖尿病用剤
3969018	イブラグリフロジン L - プロリン
3969019	ダバグリフロジンプロピレングリコール水和物
3969020	ルセオグリフロジン水和物
3969021	トホグリフロジン水和物
3969022	カナグリフロジン水和物
3969023	エンパグリフロジン
3969024	トレラグリプチンコハク酸塩
3969025	オマリグリプチン

3969100 薬価基準コード7桁	糖尿病用剤 成分名
3969101	糖尿病用剤
3969102	糖尿病用剤
3969103	糖尿病用剤
3969104	ビルダグリプチン・メトホルミン塩酸塩
3969105	アログリプチン安息香酸塩・メトホルミン塩酸塩
3969106	テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物・カナグリフロジン水和物
3969107	シタグリプチンリン酸塩水和物・イブラグリフロジン L-プロリン
3999002	ミゾリビン
3999004	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999005	アザチオプリン
3999014	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999016	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999017	ミコフェノール酸 モフェチル
3999020	レフルノミド
3999022	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999031	イグラチモド
3999034	トファシチニブクエン酸塩
3999043	バリシチニブ
3999406	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999416	タクロリムス水和物
3999417	グスペリムス塩酸塩
3999418	パミドロン酸二ナトリウム水和物
3999423	ゾレドロン酸水和物
3999424	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999426	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999429	アバタセプト（遺伝子組換え）
3999433	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999435	デノスマブ（遺伝子組換え）
3999437	セルトリズマブ ペゴル（遺伝子組換え）
3999444	サリルマブ（遺伝子組換え）
3999448	エタネルセプト（遺伝子組換え） [エタネルセプト後続 1]
4211002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4211401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4211402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4213002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4213400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219003	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219004	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219404	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤

4218495 薬価基準コード7桁	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤 成分名
4219406	ストレプトゾシン
4219700	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4221001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4222001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4222400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223003	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223004	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223005	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223700	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223701	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4224001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4224401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4224402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4224403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229100	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229101	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229404	プララトレキサート
4231400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4233400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4234400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4234402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4234700	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235404	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235405	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235406	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4239400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4239401	イノツズマブ オゾガマイシン（遺伝子組換え）
4240001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤

4240403 薬価基準コード7桁	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤 成分名
4240404	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240405	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240406	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240407	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240408	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240409	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240410	カバジタキセル アセトン付加物
4291002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291003	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291004	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291005	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291006	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291007	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291009	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291010	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291011	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291012	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291013	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291014	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291015	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291016	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291017	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291018	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291019	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291020	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291021	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291022	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291023	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291024	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291025	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291026	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291027	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291028	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291029	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291030	アフアチニブマレイン酸塩
4291031	エンザルタミド
4291032	アレクチニブ塩酸塩
4291033	アピラテロン酢酸エステル
4291034	ルキシソリチニブリン酸塩
4291035	シロリムス
4291036	ボスチニブ水和物
4291037	ベムラフェニブ
4291038	ポマリドミド
4291039	レンパチニブメシル酸塩

薬品基準コード7桁	成分名
4291040	β-ヒンノスタット乳酸塩
4291041	バンデタニブ
4291042	ベキサロテン
4291043	イブルチニブ
4291044	セリチニブ
4291045	オシメルチニブメシル酸塩
4291046	ダブラフェニブメシル酸塩
4291047	トラメチニブ ジメチルスルホキシド付加物
4291048	ポナチニブ塩酸塩
4291049	イキサゾミブクエン酸エステル
4291050	フォロデシン塩酸塩
4291051	パルボシクリブ
4291052	オラパリブ
4291400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291404	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291405	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291406	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291407	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291408	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291409	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291410	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291412	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291413	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291414	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291415	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291416	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291417	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291418	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291419	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291420	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291421	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291422	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291423	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291424	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291425	ブレンツキシマブ ベドチン（遺伝子組換え）
4291426	トラスツズマブ エムタンシン（遺伝子組換え）
4291427	ニボルマブ（遺伝子組換え）
4291428	アレムツズマブ（遺伝子組換え）
4291429	ラムシルマブ（遺伝子組換え）
4291430	イピリムマブ（遺伝子組換え）
4291431	トラベクテジン
4291432	塩化ラジウム（ ^{223}Ra ）

薬品標準コード7桁	成分名
4291434	エロツズマブ（遺伝子組換え）
4291435	ペムプロリズマブ（遺伝子組換え）
4291436	アフリベルセプト ベータ（遺伝子組換え）
4291437	ダラツムマブ（遺伝子組換え）
4291438	アベルマブ（遺伝子組換え）
4291439	リツキシマブ（遺伝子組換え） [リツキシマブ後続 1]
4291440	ロミデプシン
4291441	アテゾリズマブ（遺伝子組換え）
4291442	トラスツズマブ（遺伝子組換え） [トラスツズマブ後続 1]
4291443	デュルバルマブ（遺伝子組換え）
4291444	オビヌツズマブ（遺伝子組換え）
4291700	シロリムス
4299002	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299003	アナグレリド塩酸塩水和物
4299100	トリフルリジン・チピラシル塩酸塩
4299400	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299401	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299403	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299404	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299405	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4300003	ヨウ化ナトリウム（131I）
5200050	柴胡加竜骨牡蛎湯エキス
6250001	抗HIV薬
6250003	抗HIV薬
6250006	抗HIV薬
6250009	抗HIV薬
6250011	抗HIV薬
6250012	抗HIV薬
6250013	抗HIV薬
6250014	抗HIV薬
6250015	抗HIV薬
6250023	抗HIV薬
6250024	抗HIV薬
6250027	抗HIV薬
6250028	抗HIV薬
6250030	抗HIV薬
6250032	抗HIV薬
6250033	抗HIV薬
6250034	抗HIV薬
6250036	抗HIV薬
6250038	抗HIV薬
6250100	抗HIV薬
6250101	抗HIV薬
6250102	抗HIV薬

薬剤基準コード7桁	成分名
6250104	抗HIV薬
6250105	抗HIV薬
6250106	抗HIV薬
6250109	エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩
6250110	ダルナビル エタノール付加物・コビシスタット
6250111	エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩
6250114	リルピビルン塩酸塩・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩
6391700	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399402	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399404	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399408	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399411	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399418	バシリキシマブ（遺伝子組換え）
6399420	ペグインターフェロンアルファ - 2 b（遺伝子組換え）
6399421	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399423	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
1179100	クロルプロマジン・プロメタジン
1179101	クロルプロマジン・プロメタジン
2123002	アルプレノロール塩酸塩
2454401	デキサメタゾンメタスルホ安息香酸エステルナトリウム
3399010	ルストロンボパグ
4299001	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6250007	抗HIV薬
6250010	抗HIV薬
6250020	ラミブジン
6391701	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399406	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399410	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤

分子の定義:

1 :
分母のうち薬剤管理指導料が算定された患者数

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2016	2018
113010710	薬剤管理指導料 1	B0081	○	○	○	○	
113010810	薬剤管理指導料 2	B0082	○	○	○		
120001610	薬剤管理指導料 3	B0083	○	○	○		
113010810	薬剤管理指導料 1	B0081				○	○
120001610	薬剤管理指導料 2	B0082				○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

分母で検索する薬剤は、「特定薬剤管理指導加算等の算定対象となる薬剤一覧」として、これまでに対象となったものをすべて含める。このため、入院当時「加算の算定対象ではない」症例が分母に含まれるが、本指標で測定する分子は薬剤管理指導全般であり、薬剤師による何らかの介入があることが望ましいとして指標の設定を行っている。

2:

2018年9月に本指標を改訂して、薬剤の一覧に過去の薬剤についても薬価基準コードを用いて網羅させた。

参考値:

参考資料:

1:

独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアル

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: 再入院 (30日) a.30日以内の予定外再入院率

指標番号:

QIP: 2123

年度: 2014, 2016

更新日: 2018-09-06

指標群: マネジメント

名称: 再入院 (30日) a.30日以内の予定外再入院率

意義: 前回入院時の治療が不十分であったこと、回復が不完全な状態で早期退院を強いたことによる等の予定外の再入院を防ぐ。

必要データセット: DPC様式1 EFファイル

定義の要約:

分母: 退院患者数

分子: 分母のうち前回の退院日が30日以内の救急医療入院患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

計測期間において退院した患者を対象とする。

2:

1のうち、様式1の入院経路が一般入院「1」「4」「5」の患者を分母とする。

3:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母のうち、前回退院年月日が30日以内の患者を算出する。

2:

分子定義1のうち、救急医療入院「3**」の患者を分子とする。

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

参考値:

参考資料:

1:

QIP Quality Indicator/Improvement Project 医療の質の指標 <http://qi.med.kyoto-u.ac.jp/>

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-06

名称: 服薬指導 b. 安全管理が必要な医薬品に対する服薬指導実施率 (共通定義)

指標番号:

QIP: 2120_w

年度: 2016

更新日: 2018-09-21

指標群: マネジメント

名称: 服薬指導 b. 安全管理が必要な医薬品に対する服薬指導実施率 (共通定義)

意義: 服薬指導により薬物療法に対する安全性や有用性を患者が認識すれば、アドヒアランスの向上(患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定にそって治療を受けること)に繋がると期待される。

必要データセット: EFファイル

定義の要約:

分母: 特に安全管理が必要な医薬品として、別表に定める医薬品のいずれかが投薬又は注射されている患者数

分子: 分母のうち、「B008 薬剤管理指導料 2 特に安全管理が必要な医薬品が投薬又は注射がされている患者に対して行う場合 (1に該当する場合を除く)」が算定された患者数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

計測期間において、EF ファイルおよびレセプト (入院) の診療行為レコードを参照し、当該入院期間中に以下のいずれかが処方された患者を抽出し、分母とする。

分母のデータ1

薬価基準コード	名称
3319402\$	カリウム製剤 (注射)
2113\$	ジギタリス製剤
2115400\$	テオフィリン製剤 キサンチン誘導体1
2115401\$	テオフィリン製剤 キサンチン誘導体1
2115402\$	テオフィリン製剤 キサンチン誘導体1
2115404\$	テオフィリン製剤 キサンチン誘導体1
2251400\$	テオフィリン製剤 キサンチン誘導体2
3399007\$	血液凝固阻止剤 アスピリン血液
3399100\$	血液凝固阻止剤 アスピリン血液
3399002\$	血液凝固阻止剤 シロスタゾール
3399001\$	血液凝固阻止剤 チクロピジン
3399008\$	血液凝固阻止剤 プラビックス
3332\$	血液凝固阻止剤 ワルファリンカリウム
6250001\$	抗HIV薬
6250003\$	抗HIV薬
6250006\$	抗HIV薬
6250007\$	抗HIV薬
6250009\$	抗HIV薬
6250010\$	抗HIV薬
6250011\$	抗HIV薬
6250012\$	抗HIV薬
6250013\$	抗HIV薬

薬価基準コード	名称
6250015\$	抗HIV薬
6250023\$	抗HIV薬
6250024\$	抗HIV薬
6250027\$	抗HIV薬
6250028\$	抗HIV薬
6250030\$	抗HIV薬
6250032\$	抗HIV薬
6250033\$	抗HIV薬
6250034\$	抗HIV薬
6250036\$	抗HIV薬
6250038\$	抗HIV薬
6250100\$	抗HIV薬
6250101\$	抗HIV薬
6250102\$	抗HIV薬
6250103\$	抗HIV薬
6250104\$	抗HIV薬
6250105\$	抗HIV薬
6250106\$	抗HIV薬
113\$	抗てんかん剤
1319403\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2290400\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2399402\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2431001\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2431004\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2454002\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2474001\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2478001\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2478002\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2478003\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2479002\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2479003\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2479004\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2479401\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499003\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499006\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499403\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499406\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
2499407\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3929004\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3929403\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3929407\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999004\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999014\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999016\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤

薬価基準コード	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999406\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999424\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999426\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
3999433\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4211001\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4211002\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4211401\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4211402\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4213002\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4213400\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219002\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219003\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219004\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219400\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219401\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219402\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219403\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219404\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219405\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4219700\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4221001\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4222001\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4222400\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223002\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223003\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223004\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223005\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223400\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223401\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223700\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4223701\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4224001\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4224401\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4224402\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4224403\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229001\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229002\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229100\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229101\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229400\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229401\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229402\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4229403\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4231400\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤

薬価集録コード	名称
4234400\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4234402\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4234700\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235400\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235401\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235402\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235403\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235404\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235405\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4235406\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4236401\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4239400\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240001\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240400\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240401\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240402\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240403\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240404\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240405\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240406\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240407\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240408\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4240409\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291001\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291002\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291003\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291004\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291005\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291006\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291007\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291009\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291010\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291011\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291012\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291013\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291014\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291015\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291016\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291017\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291018\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291019\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291020\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291021\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291022\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤

薬品基準コード	名称
4291023\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291024\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291025\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291026\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291027\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291028\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291029\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291400\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291401\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291402\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291403\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291404\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291405\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291406\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291407\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291408\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291409\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291410\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291412\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291413\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291414\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291415\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291416\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291417\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291418\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291419\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291420\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291421\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291422\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291423\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4291424\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299001\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299002\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299400\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299401\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299403\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299404\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4299405\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
4300450\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6391700\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6391701\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399402\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399404\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399406\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399407\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤

薬価基準コード	名称
6399408\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399410\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399411\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399421\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
6399423\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
7990401\$	抗悪性腫瘍剤と免疫抑制剤
117\$	精神神経用剤
1179052\$	糖尿病用剤
1190017\$	糖尿病用剤
2492403\$	糖尿病用剤
2492413\$	糖尿病用剤
2492414\$	糖尿病用剤
2492415\$	糖尿病用剤
2492416\$	糖尿病用剤
2492417\$	糖尿病用剤
2492418\$	糖尿病用剤
2492419\$	糖尿病用剤
2499410\$	糖尿病用剤
2499411\$	糖尿病用剤
2499415\$	糖尿病用剤
3961001\$	糖尿病用剤
3961002\$	糖尿病用剤
3961003\$	糖尿病用剤
3961004\$	糖尿病用剤
3961006\$	糖尿病用剤
3961007\$	糖尿病用剤
3961008\$	糖尿病用剤
3962001\$	糖尿病用剤
3962002\$	糖尿病用剤
3969003\$	糖尿病用剤
3969004\$	糖尿病用剤
3969006\$	糖尿病用剤
3969007\$	糖尿病用剤
3969008\$	糖尿病用剤
3969009\$	糖尿病用剤
3969010\$	糖尿病用剤
3969011\$	糖尿病用剤
3969012\$	糖尿病用剤
3969013\$	糖尿病用剤
3969014\$	糖尿病用剤
3969015\$	糖尿病用剤
3969016\$	糖尿病用剤
3969017\$	糖尿病用剤
3969100\$	糖尿病用剤
3969101\$	糖尿病用剤

3969103\$	糖尿病用剤
3969103\$	糖尿病用剤
3999013\$	糖尿病用剤
212\$	不整脈

分子の定義:

1 :
 分母のうち、EF ファイルおよびレセプト（入院）の診療行為レコードを参照し、当該入院期間中に以下のいずれかの算定があった患者を抽出し、分子とする。

分子のデータ1

レセ電コード	診療行為名	区分	2010	2012	2014	2016
113010810	薬剤管理指導料2	B0082	○	○	○	-

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1 :
 本指標は、厚労省の「医療の質の評価・公表等推進事業」により示されたDPCを用いた共通指標の定義を利用している。
 このうち、いくつか改訂（コードと定義）が望ましいものを反映した定義は2120として算出を行っているため、併せてご参照ください。

参考値:

参考資料:

1 :
 独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3計測マニュアル

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21

名称: AKIのための早期診断・モニター実施割合 (1) 尿中L-FABP検査

指標番号:

QIP: 2131_1

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2019-03-13

指標群: 急性腎障害 診断

名称: AKIのための早期診断・モニター実施割合 (1) 尿中L-FABP検査

意義: 早期診断のプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 集中治療室に入室して1回以上血液透析を実施した症例

分子: 分母のうち、集中治療室入室後の初回透析日よりも前（透析日は含まない）に尿中L-FABP検査が実施された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した18歳以上の症例を対象とする。

2:
このうち集中治療室に入室した症例（下記レセ電コードが実施された症例）

分母のデータ2

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
190066710	総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）	○	○	○	○	○
190116310	特定集中治療室管理料3（7日以内）	○	○	○	○	○
190139810	特定集中治療室管理料4（特定集中治療室管理料・7日以内）	○	○	○	○	○
190140010	特定集中治療室管理料4（広範囲熱傷特定集中治療・7日以内）	○	○	○	○	○
190174410	特定集中治療室管理料1（7日以内）			○	○	○
190174610	特定集中治療室管理料2（特定集中治療室管理料・7日以内）			○	○	○
190174810	特定集中治療室管理料2（広範囲熱傷特定集中治療・7日以内）			○	○	○
190717210	特定集中治療室管理料1（7日以内）（栄養経過措置）		○			
190717410	特定集中治療室管理料2（特定集中・7日以内）（栄養経過措置）		○			
190717610	特定集中治療室管理料2（広範囲熱傷・7日以内）（栄養経過措置）		○			
190718410	総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）（栄養経過措置）		○			
190727710	特定集中治療室管理料1（7日以内）（栄養経過措置）		○			
190727910	特定集中治療室管理料2（特定集中・7日以内）（栄養経過措置）		○			
190728110	特定集中治療室管理料2（広範囲熱傷・7日以内）（栄養経過措置）		○			
190729710	総合周産期特定集中治療室管理料1（14日以内）（栄養経過措置）		○			
190730010	総合周産期特定集中治療室管理料2（14日以内）（栄養経過措置）		○			
190737210	特定集中治療室管理料1（7日以内）（栄養経過措置）		○			
190737410	特定集中治療室管理料2（特定集中・7日以内）（栄養経過措置）		○			
190737610	特定集中治療室管理料2（広範囲熱傷・7日以内）（栄養経過措置）		○			
190738810	新生児特定集中治療室管理料2（14日以内）（栄養経過措置）		○			
190739210	総合周産期特定集中治療室管理料1（14日以内）（栄養経過措置）		○			
190739510	総合周産期特定集中治療室管理料2（14日以内）（栄養経過措置）		○			

190746710 レセプトコード	特定集中治療室管理料 1 (7日以内) (栄養経過措置)	2010	2012	2014	2016	2018
190746910	特定集中治療室管理料 2 (特定集中・7日以内) (栄養経過措置)		○			
190747110	特定集中治療室管理料 2 (広範囲熱傷・7日以内) (栄養経過措置)		○			
190748710	総合周産期特定集中治療室管理料 1 (14日以内) (栄養経過措置)		○			
190749010	総合周産期特定集中治療室管理料 2 (14日以内) (栄養経過措置)		○			
193001610	特定集中治療室管理料 3 (7日以内)	○	○	○	○	○
193002110	総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児) (14日以内)	○	○	○	○	○
193005910	特定集中治療室管理料 4 (特定集中治療室管理料・7日以内)	○	○	○	○	○
193006110	特定集中治療室管理料 4 (広範囲熱傷特定集中治療・7日以内)	○	○	○	○	○
193010010	特定集中治療室管理料 1 (7日以内)			○	○	○
193010210	特定集中治療室管理料 2 (特定集中治療室管理料・7日以内)			○	○	○
193301410	特定集中治療室管理料 3 (7日以内)	○	○	○	○	○
193302410	総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児) (14日以内)	○	○	○	○	○
193302510	総合周産期特定集中治療室管理料 2 (14日以内)	○	○	○	○	○
193307210	特定集中治療室管理料 4 (特定集中治療室管理料・7日以内)	○	○	○	○	○
193307410	特定集中治療室管理料 4 (広範囲熱傷特定集中治療・7日以内)	○	○	○	○	○
193310210	特定集中治療室管理料 1 (7日以内)			○	○	○
193310410	特定集中治療室管理料 2 (特定集中治療室管理料・7日以内)			○	○	○
193310610	特定集中治療室管理料 2 (広範囲熱傷特定集中治療・7日以内)			○	○	○
193501610	特定集中治療室管理料 3 (7日以内)	○	○	○	○	○
193502310	総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児) (14日以内)	○	○	○	○	○
193502410	総合周産期特定集中治療室管理料 2 (14日以内)	○	○	○	○	○
193507510	特定集中治療室管理料 4 (特定集中治療室管理料・7日以内)	○	○	○	○	○
193507710	特定集中治療室管理料 4 (広範囲熱傷特定集中治療・7日以内)	○	○	○	○	○
193511710	特定集中治療室管理料 1 (7日以内)			○	○	○
193511910	特定集中治療室管理料 2 (特定集中治療室管理料・7日以内)			○	○	○
193512110	特定集中治療室管理料 2 (広範囲熱傷特定集中治療・7日以内)			○	○	○
190024310	救命救急入院料 2 (3日以内)	○	○	○	○	○
190024510	救命救急入院料 1 (3日以内)	○	○	○	○	○
190138110	救命救急入院料 3 (救命救急入院料) (3日以内)	○	○	○	○	○
190138410	救命救急入院料 3 (広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
190138710	救命救急入院料 4 (救命救急入院料) (3日以内)	○	○	○	○	○
190139010	救命救急入院料 4 (広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
190714410	救命救急入院料 1 (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190714710	救命救急入院料 2 (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190715010	救命救急入院料 3 (救命救急) (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190715310	救命救急入院料 3 (広範囲熱傷・3日以内) (栄養経過措置)		○			
190715610	救命救急入院料 4 (救命救急入院料) (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190715910	救命救急入院料 4 (広範囲熱傷・3日以内) (栄養経過措置)		○			
190723410	救命救急入院料 1 (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190724210	救命救急入院料 2 (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190724610	救命救急入院料 3 (救命救急) (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190725510	救命救急入院料 3 (広範囲熱傷・3日以内) (栄養経過措置)		○			
190726910	救命救急入院料 4 (救命救急入院料) (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190727210	救命救急入院料 4 (広範囲熱傷・3日以内) (栄養経過措置)		○			

190732910 レセプトコード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
190733710	救命救急入院料1(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190734110	救命救急入院料3(救命救急)(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190735010	救命救急入院料3(広範囲熱傷・3日以内)(栄管経過措置)		○			
190736410	救命救急入院料4(救命救急入院料)(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190736710	救命救急入院料4(広範囲熱傷・3日以内)(栄管経過措置)		○			
190742410	救命救急入院料1(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190743210	救命救急入院料2(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190743610	救命救急入院料3(救命救急)(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190744510	救命救急入院料3(広範囲熱傷・3日以内)(栄管経過措置)		○			
190745910	救命救急入院料4(救命救急入院料)(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190746210	救命救急入院料4(広範囲熱傷・3日以内)(栄管経過措置)		○			
193000310	救命救急入院料1(3日以内)	○	○	○	○	○
193000610	救命救急入院料2(3日以内)	○	○	○	○	○
193003910	救命救急入院料3(救命救急入院料・3日以内)	○	○	○	○	○
193004210	救命救急入院料3(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193004710	救命救急入院料4(救命救急入院料)(3日以内)	○	○	○	○	○
193005010	救命救急入院料4(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193009970	急性薬毒物中毒加算2(その他のもの)(救命救急入院料)			○	○	○
193300110	救命救急入院料1(3日以内)	○	○	○	○	○
193300410	救命救急入院料2(3日以内)	○	○	○	○	○
193305210	救命救急入院料3(救命救急入院料)(3日以内)	○	○	○	○	○
193305510	救命救急入院料3(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193306010	救命救急入院料4(救命救急入院料・3日以内)	○	○	○	○	○
193306310	救命救急入院料4(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193500310	救命救急入院料1(3日以内)	○	○	○	○	○
193500610	救命救急入院料2(3日以内)	○	○	○	○	○
193505510	救命救急入院料3(救命救急入院料)(3日以内)	○	○	○	○	○
193505810	救命救急入院料3(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193506310	救命救急入院料4(救命救急入院料・3日以内)	○	○	○	○	○
193506610	救命救急入院料4(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193301810	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)	○	○			
190738010	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)(栄管経過措置)		○			
190117310	ハイケアユニット入院医療管理料	○	○			
193512510	ハイケアユニット入院医療管理料1(14日以内)			○	○	○
193003010	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)	○	○			
193512710	ハイケアユニット入院医療管理料2(14日以内)			○	○	○
190747510	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)(栄管経過措置)		○			
193011010	ハイケアユニット入院医療管理料2(14日以内)			○	○	○
193311210	ハイケアユニット入院医療管理料2(14日以内)			○	○	○
190717810	ハイケアユニット入院医療管理料(栄管経過措置)		○			
190728510	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)(栄管経過措置)		○			
190175110	ハイケアユニット入院医療管理料2			○	○	○
190175010	ハイケアユニット入院医療管理料1			○	○	○
193010810	ハイケアユニット入院医療管理料1(14日以内)			○	○	○

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
193311010	ハイケアユニット入院医療管理料（14日以内）					
193501810	ハイケアユニット入院医療管理料（14日以内）	○	○			
193302010	脳卒中ケアユニット入院医療管理料（14日以内）	○	○	○	○	○
190747710	脳卒中ケアユニット入院医療管理料（14日以内）（栄養経過措置）		○			
190738210	脳卒中ケアユニット入院医療管理料（14日以内）（栄養経過措置）		○			
193003210	脳卒中ケアユニット入院医療管理料（14日以内）	○	○	○	○	○
193504510	脳卒中ケアユニット入院医療管理料（14日以内）	○	○	○	○	○
190717910	脳卒中ケアユニット入院医療管理料（栄養経過措置）		○			
190728710	脳卒中ケアユニット入院医療管理料（14日以内）（栄養経過措置）		○			
190120810	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	○	○	○	○	○

3:

このうち集中治療室入室後に1回以上血液透析を実施した症例(下記レセ電コードが実施された症例)

分母のデータ3

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
140029850	持続緩徐式血液濾過	○	○	○	○	○
140053670	障害者等加算（持続緩徐式血液濾過）		○	○	○	○
140007710	人工腎臓（その他）	○	○	○	○	○
140008170	人工腎臓（導入期）加算	○	○	○	○	○
140033770	障害者等加算（人工腎臓）	○	○	○	○	○
140036710	人工腎臓（慢性維持透析）（4時間未満）	○	○	○	○	○
140051010	人工腎臓（慢性維持透析）（4時間以上5時間未満）	○	○	○	○	○
140051110	人工腎臓（慢性維持透析）（5時間以上）	○	○	○	○	○
140052810	人工腎臓（慢性維持透析濾過）（複雑）		○	○	○	○

4:

このうち入院後の初回透析が入院4日目以降かつ集中治療室入室後に行われた症例（入院日を1日目とする）

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母のうち集中治療室入室後の初回透析日より前（透析日は含まない）に尿中L-FABP検査が実施された症例。

EおよびFファイル、もしくはEFファイルにおいて、下記レセ電コードの実施年月日が集中治療室入室後の初回透析日より前の症例。

分子のデータ1

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
160189250	L-FABP（尿）	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

従来の血清クレアチニン上昇に基づいたAKIへの介入と、尿中バイオマーカーによる診断が真に有用か否かは今後の検討課題とされている。(推奨度2、エビデンスレベルB)

2:

慢性腎不全による透析患者を除外するために入院後の初回透析日が入院4日目以降とした。

3 :

重症患者を対象とする目的で集中治療室入室患者とした。

4 :

AKI早期診断にマーカー測定の有用性が示唆されており、本指標では血液透析を実施する前に尿中バイオマーカーの測定が行われたかどうかをみている。

参考値:

参考資料:

1 :

AKI(急性腎障害)診療ガイドライン2016

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-03-13

名称: AKIのための早期診断・モニター実施割合(2) 尿中NGAL検査

指標番号:

QIP: 2131_2

年度: 2018

更新日: 2019-03-13

指標群: 急性腎障害 診断

名称: AKIのための早期診断・モニター実施割合(2) 尿中NGAL検査

意義: 早期診断のプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 集中治療室に入室して1回以上血液透析を実施した症例

分子: 分母のうち、集中治療室入室後の初回透析日よりも前(透析日は含まない)に尿中NGAL検査が実施された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:
解析期間に退院した18歳以上の症例を対象とする。

2:
このうち集中治療室に入室した症例(下記レセ電コードが実施された症例)

分母のデータ2

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
190066710	総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児)	○	○	○	○	○
190116310	特定集中治療室管理料3(7日以内)	○	○	○	○	○
190139810	特定集中治療室管理料4(特定集中治療室管理料・7日以内)	○	○	○	○	○
190140010	特定集中治療室管理料4(広範囲熱傷特定集中治療・7日以内)	○	○	○	○	○
190174410	特定集中治療室管理料1(7日以内)			○	○	○
190174610	特定集中治療室管理料2(特定集中治療室管理料・7日以内)			○	○	○
190174810	特定集中治療室管理料2(広範囲熱傷特定集中治療・7日以内)			○	○	○
190717210	特定集中治療室管理料1(7日以内)(栄養経過措置)		○			
190717410	特定集中治療室管理料2(特定集中・7日以内)(栄養経過措置)		○			
190717610	特定集中治療室管理料2(広範囲熱傷・7日以内)(栄養経過措置)		○			
190718410	総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児)(栄養経過措置)		○			
190727710	特定集中治療室管理料1(7日以内)(栄養経過措置)		○			
190727910	特定集中治療室管理料2(特定集中・7日以内)(栄養経過措置)		○			
190728110	特定集中治療室管理料2(広範囲熱傷・7日以内)(栄養経過措置)		○			
190729710	総合周産期特定集中治療室管理料1(14日以内)(栄養経過措置)		○			
190730010	総合周産期特定集中治療室管理料2(14日以内)(栄養経過措置)		○			
190737210	特定集中治療室管理料1(7日以内)(栄養経過措置)		○			
190737410	特定集中治療室管理料2(特定集中・7日以内)(栄養経過措置)		○			
190737610	特定集中治療室管理料2(広範囲熱傷・7日以内)(栄養経過措置)		○			
190738810	新生児特定集中治療室管理料2(14日以内)(栄養経過措置)		○			
190739210	総合周産期特定集中治療室管理料1(14日以内)(栄養経過措置)		○			
190739510	総合周産期特定集中治療室管理料2(14日以内)(栄養経過措置)		○			

190746710 レセプトコード	特定集中治療室管理料 1 (7日以内) (栄養経過措置)	2010	2012	2014	2016	2018
190746910	特定集中治療室管理料 2 (特定集中・7日以内) (栄養経過措置)		○			
190747110	特定集中治療室管理料 2 (広範囲熱傷・7日以内) (栄養経過措置)		○			
190748710	総合周産期特定集中治療室管理料 1 (14日以内) (栄養経過措置)		○			
190749010	総合周産期特定集中治療室管理料 2 (14日以内) (栄養経過措置)		○			
193001610	特定集中治療室管理料 3 (7日以内)	○	○	○	○	○
193002110	総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児) (14日以内)	○	○	○	○	○
193005910	特定集中治療室管理料 4 (特定集中治療室管理料・7日以内)	○	○	○	○	○
193006110	特定集中治療室管理料 4 (広範囲熱傷特定集中治療・7日以内)	○	○	○	○	○
193010010	特定集中治療室管理料 1 (7日以内)			○	○	○
193010210	特定集中治療室管理料 2 (特定集中治療室管理料・7日以内)			○	○	○
193301410	特定集中治療室管理料 3 (7日以内)	○	○	○	○	○
193302410	総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児) (14日以内)	○	○	○	○	○
193302510	総合周産期特定集中治療室管理料 2 (14日以内)	○	○	○	○	○
193307210	特定集中治療室管理料 4 (特定集中治療室管理料・7日以内)	○	○	○	○	○
193307410	特定集中治療室管理料 4 (広範囲熱傷特定集中治療・7日以内)	○	○	○	○	○
193310210	特定集中治療室管理料 1 (7日以内)			○	○	○
193310410	特定集中治療室管理料 2 (特定集中治療室管理料・7日以内)			○	○	○
193310610	特定集中治療室管理料 2 (広範囲熱傷特定集中治療・7日以内)			○	○	○
193501610	特定集中治療室管理料 3 (7日以内)	○	○	○	○	○
193502310	総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児) (14日以内)	○	○	○	○	○
193502410	総合周産期特定集中治療室管理料 2 (14日以内)	○	○	○	○	○
193507510	特定集中治療室管理料 4 (特定集中治療室管理料・7日以内)	○	○	○	○	○
193507710	特定集中治療室管理料 4 (広範囲熱傷特定集中治療・7日以内)	○	○	○	○	○
193511710	特定集中治療室管理料 1 (7日以内)			○	○	○
193511910	特定集中治療室管理料 2 (特定集中治療室管理料・7日以内)			○	○	○
193512110	特定集中治療室管理料 2 (広範囲熱傷特定集中治療・7日以内)			○	○	○
190024310	救命救急入院料 2 (3日以内)	○	○	○	○	○
190024510	救命救急入院料 1 (3日以内)	○	○	○	○	○
190138110	救命救急入院料 3 (救命救急入院料) (3日以内)	○	○	○	○	○
190138410	救命救急入院料 3 (広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
190138710	救命救急入院料 4 (救命救急入院料) (3日以内)	○	○	○	○	○
190139010	救命救急入院料 4 (広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
190714410	救命救急入院料 1 (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190714710	救命救急入院料 2 (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190715010	救命救急入院料 3 (救命救急) (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190715310	救命救急入院料 3 (広範囲熱傷・3日以内) (栄養経過措置)		○			
190715610	救命救急入院料 4 (救命救急入院料) (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190715910	救命救急入院料 4 (広範囲熱傷・3日以内) (栄養経過措置)		○			
190723410	救命救急入院料 1 (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190724210	救命救急入院料 2 (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190724610	救命救急入院料 3 (救命救急) (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190725510	救命救急入院料 3 (広範囲熱傷・3日以内) (栄養経過措置)		○			
190726910	救命救急入院料 4 (救命救急入院料) (3日以内) (栄養経過措置)		○			
190727210	救命救急入院料 4 (広範囲熱傷・3日以内) (栄養経過措置)		○			

190732910 レセプトコード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
190733710	救命救急入院料1(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190734110	救命救急入院料3(救命救急)(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190735010	救命救急入院料3(広範囲熱傷・3日以内)(栄管経過措置)		○			
190736410	救命救急入院料4(救命救急入院料)(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190736710	救命救急入院料4(広範囲熱傷・3日以内)(栄管経過措置)		○			
190742410	救命救急入院料1(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190743210	救命救急入院料2(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190743610	救命救急入院料3(救命救急)(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190744510	救命救急入院料3(広範囲熱傷・3日以内)(栄管経過措置)		○			
190745910	救命救急入院料4(救命救急入院料)(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190746210	救命救急入院料4(広範囲熱傷・3日以内)(栄管経過措置)		○			
193000310	救命救急入院料1(3日以内)	○	○	○	○	○
193000610	救命救急入院料2(3日以内)	○	○	○	○	○
193003910	救命救急入院料3(救命救急入院料・3日以内)	○	○	○	○	○
193004210	救命救急入院料3(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193004710	救命救急入院料4(救命救急入院料)(3日以内)	○	○	○	○	○
193005010	救命救急入院料4(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193009970	急性薬毒物中毒加算2(その他のもの)(救命救急入院料)			○	○	○
193300110	救命救急入院料1(3日以内)	○	○	○	○	○
193300410	救命救急入院料2(3日以内)	○	○	○	○	○
193305210	救命救急入院料3(救命救急入院料)(3日以内)	○	○	○	○	○
193305510	救命救急入院料3(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193306010	救命救急入院料4(救命救急入院料・3日以内)	○	○	○	○	○
193306310	救命救急入院料4(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193500310	救命救急入院料1(3日以内)	○	○	○	○	○
193500610	救命救急入院料2(3日以内)	○	○	○	○	○
193505510	救命救急入院料3(救命救急入院料)(3日以内)	○	○	○	○	○
193505810	救命救急入院料3(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193506310	救命救急入院料4(救命救急入院料・3日以内)	○	○	○	○	○
193506610	救命救急入院料4(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193301810	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)	○	○			
190738010	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)(栄管経過措置)		○			
190117310	ハイケアユニット入院医療管理料	○	○			
193512510	ハイケアユニット入院医療管理料1(14日以内)			○	○	○
193003010	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)	○	○			
193512710	ハイケアユニット入院医療管理料2(14日以内)			○	○	○
190747510	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)(栄管経過措置)		○			
193011010	ハイケアユニット入院医療管理料2(14日以内)			○	○	○
193311210	ハイケアユニット入院医療管理料2(14日以内)			○	○	○
190717810	ハイケアユニット入院医療管理料(栄管経過措置)		○			
190728510	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)(栄管経過措置)		○			
190175110	ハイケアユニット入院医療管理料2			○	○	○
190175010	ハイケアユニット入院医療管理料1			○	○	○
193010810	ハイケアユニット入院医療管理料1(14日以内)			○	○	○

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
193311010	ハイケアユニット入院医療管理料（14日以内）					
193501810	ハイケアユニット入院医療管理料（14日以内）	○	○			
193302010	脳卒中ケアユニット入院医療管理料（14日以内）	○	○	○	○	○
190747710	脳卒中ケアユニット入院医療管理料（14日以内）（栄養経過措置）		○			
190738210	脳卒中ケアユニット入院医療管理料（14日以内）（栄養経過措置）		○			
193003210	脳卒中ケアユニット入院医療管理料（14日以内）	○	○	○	○	○
193504510	脳卒中ケアユニット入院医療管理料（14日以内）	○	○	○	○	○
190717910	脳卒中ケアユニット入院医療管理料（栄養経過措置）		○			
190728710	脳卒中ケアユニット入院医療管理料（14日以内）（栄養経過措置）		○			
190120810	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	○	○	○	○	○

3:

このうち集中治療室入室後に1回以上血液透析を実施した症例(下記レセ電コードが実施された症例)

分母のデータ3

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
140029850	持続緩徐式血液濾過	○	○	○	○	○
140053670	障害者等加算（持続緩徐式血液濾過）		○	○	○	○
140007710	人工腎臓（その他）	○	○	○	○	○
140008170	人工腎臓（導入期）加算	○	○	○	○	○
140033770	障害者等加算（人工腎臓）	○	○	○	○	○
140036710	人工腎臓（慢性維持透析）（4時間未満）	○	○	○	○	○
140051010	人工腎臓（慢性維持透析）（4時間以上5時間未満）	○	○	○	○	○
140051110	人工腎臓（慢性維持透析）（5時間以上）	○	○	○	○	○
140052810	人工腎臓（慢性維持透析濾過）（複雑）		○	○	○	○

4:

このうち入院後の初回透析が入院4日目以降かつ集中治療室入室後に行われた症例（入院日を1日目とする）

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1:

分母のうち集中治療室入室後の初回透析日よりも前（透析日は含まない）に尿中NGAL検査が実施された症例。

EおよびFファイル、もしくはEFファイルにおいて、下記レセ電コードの実施年月日が集中治療室入室後の初回透析日よりも前の症例。

分子のデータ1

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
160209650	NGAL（尿）					○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

従来の血清クレアチニン上昇に基づいたAKIへの介入と、尿中バイオマーカーによる診断が真に有用か否かは今後の検討課題とされている。(推奨度2、エビデンスレベルB)

2:

慢性腎不全による透析患者を除外するために入院後の初回透析日が入院4日目以降とした。

3 :

重症患者を対象とする目的で集中治療室入室患者とした。

4 :

AKI早期診断にマーカー測定の有用性が示唆されており、本指標では血液透析を実施する前に尿中バイオマーカーの測定が行われたかどうかをみている。

参考値:

参考資料:

1 :

AKI(急性腎障害)診療ガイドライン2016

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-03-13

名称: AKIのための早期診断・モニター実施割合 (3) 尿中L-FABP検査または尿中NGAL検査

指標番号:

QIP: 2131_3

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2019-03-13

指標群: 急性腎障害 診断

名称: AKIのための早期診断・モニター実施割合 (3) 尿中L-FABP検査または尿中NGAL検査

意義: 早期診断のプロセス指標

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 集中治療室に入室して1回以上血液透析を実施した症例

分子: 分母のうち、集中治療室入室後の初回透析日よりも前（透析日は含まない）に尿中L-FABP検査または尿中NGAL検査が実施された症例

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1: 解析期間に退院した18歳以上の症例を対象とする。

2: このうち集中治療室に入室した症例（下記レセ電コードが実施された症例）

分母のデータ2

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
190066710	総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）	○	○	○	○	○
190116310	特定集中治療室管理料3（7日以内）	○	○	○	○	○
190139810	特定集中治療室管理料4（特定集中治療室管理料・7日以内）	○	○	○	○	○
190140010	特定集中治療室管理料4（広範囲熱傷特定集中治療・7日以内）	○	○	○	○	○
190174410	特定集中治療室管理料1（7日以内）			○	○	○
190174610	特定集中治療室管理料2（特定集中治療室管理料・7日以内）			○	○	○
190174810	特定集中治療室管理料2（広範囲熱傷特定集中治療・7日以内）			○	○	○
190717210	特定集中治療室管理料1（7日以内）（栄養経過措置）		○			
190717410	特定集中治療室管理料2（特定集中・7日以内）（栄養経過措置）		○			
190717610	特定集中治療室管理料2（広範囲熱傷・7日以内）（栄養経過措置）		○			
190718410	総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）（栄養経過措置）		○			
190727710	特定集中治療室管理料1（7日以内）（栄養経過措置）		○			
190727910	特定集中治療室管理料2（特定集中・7日以内）（栄養経過措置）		○			
190728110	特定集中治療室管理料2（広範囲熱傷・7日以内）（栄養経過措置）		○			
190729710	総合周産期特定集中治療室管理料1（14日以内）（栄養経過措置）		○			
190730010	総合周産期特定集中治療室管理料2（14日以内）（栄養経過措置）		○			
190737210	特定集中治療室管理料1（7日以内）（栄養経過措置）		○			
190737410	特定集中治療室管理料2（特定集中・7日以内）（栄養経過措置）		○			
190737610	特定集中治療室管理料2（広範囲熱傷・7日以内）（栄養経過措置）		○			
190738810	新生児特定集中治療室管理料2（14日以内）（栄養経過措置）		○			
190739210	総合周産期特定集中治療室管理料1（14日以内）（栄養経過措置）		○			

190739510 レセプトコード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
190746710	総合周産期特定集中治療室管理料2（14日以内）（栄管経過措置）		○			
190746910	特定集中治療室管理料2（特定集中・7日以内）（栄管経過措置）		○			
190747110	特定集中治療室管理料2（広範囲熱傷・7日以内）（栄管経過措置）		○			
190748710	総合周産期特定集中治療室管理料1（14日以内）（栄管経過措置）		○			
190749010	総合周産期特定集中治療室管理料2（14日以内）（栄管経過措置）		○			
193001610	特定集中治療室管理料3（7日以内）	○	○	○	○	○
193002110	総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）（14日以内）	○	○	○	○	○
193005910	特定集中治療室管理料4（特定集中治療室管理料・7日以内）	○	○	○	○	○
193006110	特定集中治療室管理料4（広範囲熱傷特定集中治療・7日以内）	○	○	○	○	○
193010010	特定集中治療室管理料1（7日以内）			○	○	○
193010210	特定集中治療室管理料2（特定集中治療室管理料・7日以内）			○	○	○
193301410	特定集中治療室管理料3（7日以内）	○	○	○	○	○
193302410	総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）（14日以内）	○	○	○	○	○
193302510	総合周産期特定集中治療室管理料2（14日以内）	○	○	○	○	○
193307210	特定集中治療室管理料4（特定集中治療室管理料・7日以内）	○	○	○	○	○
193307410	特定集中治療室管理料4（広範囲熱傷特定集中治療・7日以内）	○	○	○	○	○
193310210	特定集中治療室管理料1（7日以内）			○	○	○
193310410	特定集中治療室管理料2（特定集中治療室管理料・7日以内）			○	○	○
193310610	特定集中治療室管理料2（広範囲熱傷特定集中治療・7日以内）			○	○	○
193501610	特定集中治療室管理料3（7日以内）	○	○	○	○	○
193502310	総合周産期特定集中治療室管理料（母体・胎児）（14日以内）	○	○	○	○	○
193502410	総合周産期特定集中治療室管理料2（14日以内）	○	○	○	○	○
193507510	特定集中治療室管理料4（特定集中治療室管理料・7日以内）	○	○	○	○	○
193507710	特定集中治療室管理料4（広範囲熱傷特定集中治療・7日以内）	○	○	○	○	○
193511710	特定集中治療室管理料1（7日以内）			○	○	○
193511910	特定集中治療室管理料2（特定集中治療室管理料・7日以内）			○	○	○
193512110	特定集中治療室管理料2（広範囲熱傷特定集中治療・7日以内）			○	○	○
190024310	救命救急入院料2（3日以内）	○	○	○	○	○
190024510	救命救急入院料1（3日以内）	○	○	○	○	○
190138110	救命救急入院料3（救命救急入院料）（3日以内）	○	○	○	○	○
190138410	救命救急入院料3（広範囲熱傷特定集中治療・3日以内）	○	○	○	○	○
190138710	救命救急入院料4（救命救急入院料）（3日以内）	○	○	○	○	○
190139010	救命救急入院料4（広範囲熱傷特定集中治療・3日以内）	○	○	○	○	○
190714410	救命救急入院料1（3日以内）（栄管経過措置）		○			
190714710	救命救急入院料2（3日以内）（栄管経過措置）		○			
190715010	救命救急入院料3（救命救急）（3日以内）（栄管経過措置）		○			
190715310	救命救急入院料3（広範囲熱傷・3日以内）（栄管経過措置）		○			
190715610	救命救急入院料4（救命救急入院料）（3日以内）（栄管経過措置）		○			
190715910	救命救急入院料4（広範囲熱傷・3日以内）（栄管経過措置）		○			
190723410	救命救急入院料1（3日以内）（栄管経過措置）		○			
190724210	救命救急入院料2（3日以内）（栄管経過措置）		○			
190724610	救命救急入院料3（救命救急）（3日以内）（栄管経過措置）		○			
190725510	救命救急入院料3（広範囲熱傷・3日以内）（栄管経過措置）		○			
190726910	救命救急入院料4（救命救急入院料）（3日以内）（栄管経過措置）		○			

190727210 シブ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
190732910	救命救急入院料4(広範囲熱傷・3日以内)(栄管経過措置)		○			
190733710	救命救急入院料2(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190734110	救命救急入院料3(救命救急)(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190735010	救命救急入院料3(広範囲熱傷・3日以内)(栄管経過措置)		○			
190736410	救命救急入院料4(救命救急入院料)(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190736710	救命救急入院料4(広範囲熱傷・3日以内)(栄管経過措置)		○			
190742410	救命救急入院料1(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190743210	救命救急入院料2(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190743610	救命救急入院料3(救命救急)(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190744510	救命救急入院料3(広範囲熱傷・3日以内)(栄管経過措置)		○			
190745910	救命救急入院料4(救命救急入院料)(3日以内)(栄管経過措置)		○			
190746210	救命救急入院料4(広範囲熱傷・3日以内)(栄管経過措置)		○			
193000310	救命救急入院料1(3日以内)	○	○	○	○	○
193000610	救命救急入院料2(3日以内)	○	○	○	○	○
193003910	救命救急入院料3(救命救急入院料・3日以内)	○	○	○	○	○
193004210	救命救急入院料3(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193004710	救命救急入院料4(救命救急入院料)(3日以内)	○	○	○	○	○
193005010	救命救急入院料4(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193009970	急性薬毒物中毒加算2(その他のもの)(救命救急入院料)			○	○	○
193300110	救命救急入院料1(3日以内)	○	○	○	○	○
193300410	救命救急入院料2(3日以内)	○	○	○	○	○
193305210	救命救急入院料3(救命救急入院料)(3日以内)	○	○	○	○	○
193305510	救命救急入院料3(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193306010	救命救急入院料4(救命救急入院料・3日以内)	○	○	○	○	○
193306310	救命救急入院料4(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193500310	救命救急入院料1(3日以内)	○	○	○	○	○
193500610	救命救急入院料2(3日以内)	○	○	○	○	○
193505510	救命救急入院料3(救命救急入院料)(3日以内)	○	○	○	○	○
193505810	救命救急入院料3(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193506310	救命救急入院料4(救命救急入院料・3日以内)	○	○	○	○	○
193506610	救命救急入院料4(広範囲熱傷特定集中治療・3日以内)	○	○	○	○	○
193301810	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)	○	○			
190738010	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)(栄管経過措置)		○			
190117310	ハイケアユニット入院医療管理料	○	○			
193512510	ハイケアユニット入院医療管理料1(14日以内)			○	○	○
193003010	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)	○	○			
193512710	ハイケアユニット入院医療管理料2(14日以内)			○	○	○
190747510	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)(栄管経過措置)		○			
193011010	ハイケアユニット入院医療管理料2(14日以内)			○	○	○
193311210	ハイケアユニット入院医療管理料2(14日以内)			○	○	○
190717810	ハイケアユニット入院医療管理料(栄管経過措置)		○			
190728510	ハイケアユニット入院医療管理料(14日以内)(栄管経過措置)		○			
190175110	ハイケアユニット入院医療管理料2			○	○	○
190175010	ハイケアユニット入院医療管理料1			○	○	○

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
	ケアユニット入院医療管理料 1 (14日以内)					
193311010	ハイケアユニット入院医療管理料 1 (14日以内)			○	○	○
193501810	ハイケアユニット入院医療管理料 (14日以内)	○	○			
193302010	脳卒中ケアユニット入院医療管理料 (14日以内)	○	○	○	○	○
190747710	脳卒中ケアユニット入院医療管理料 (14日以内) (栄養経過措置)		○			
190738210	脳卒中ケアユニット入院医療管理料 (14日以内) (栄養経過措置)		○			
193003210	脳卒中ケアユニット入院医療管理料 (14日以内)	○	○	○	○	○
193504510	脳卒中ケアユニット入院医療管理料 (14日以内)	○	○	○	○	○
190717910	脳卒中ケアユニット入院医療管理料 (栄養経過措置)		○			
190728710	脳卒中ケアユニット入院医療管理料 (14日以内) (栄養経過措置)		○			
190120810	脳卒中ケアユニット入院医療管理料	○	○	○	○	○

3 :

このうち集中治療室入室後に1回以上血液透析を実施した症例(下記レセ電コードが実施された症例)

分母のデータ3

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
140029850	持続緩徐式血液濾過	○	○	○	○	○
140053670	障害者等加算 (持続緩徐式血液濾過)		○	○	○	○
140007710	人工腎臓 (その他)	○	○	○	○	○
140008170	人工腎臓 (導入期) 加算	○	○	○	○	○
140033770	障害者等加算 (人工腎臓)	○	○	○	○	○
140036710	人工腎臓 (慢性維持透析) (4時間未満)	○	○	○	○	○
140051010	人工腎臓 (慢性維持透析) (4時間以上5時間未満)	○	○	○	○	○
140051110	人工腎臓 (慢性維持透析) (5時間以上)	○	○	○	○	○
140052810	人工腎臓 (慢性維持透析濾過) (複雑)		○	○	○	○

4 :

このうち入院後の初回透析が入院4日目以降かつ集中治療室入室後に行われた症例 (入院日を1日目とする)

5 :

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「○」の症例を除く

分子の定義:

1 :

1. 分母のうち集中治療室入室後の初回透析日より前 (透析日は含まない) に尿中L-FABP検査または尿中NGAL検査が実施された症例。EおよびFファイル、もしくはEFファイルにおいて、下記レセ電コードの実施年月日が集中治療室入室後の初回透析日より前の症例。

分子のデータ1

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018
160189250	L-FABP (尿)	○	○	○	○	○
160209650	NGAL (尿)					○

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

従来の血清クレアチニン上昇に基づいたAKIへの介入と、尿中バイオマーカーによる診断が真に有用か否かは今後の検討課題とされている。(推奨度2、エビデンスレベルB)

2:

慢性腎不全による透析患者を除外するために入院後の初回透析日が入院4日目以降とした。

3:

重症患者を対象とする目的で集中治療室入室患者とした。

4:

AKI早期診断にマーカー測定の有用性が示唆されており、本指標では血液透析を実施する前に尿中バイオマーカーの測定が行われたかどうかをみている。

参考値:

参考資料:

1:

AKI(急性腎障害)診療ガイドライン2016

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-03-13

名称: シスプラチンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与

指標番号:

QIP: 2133

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2019-03-06

指標群: 化学療法

名称: シスプラチンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与

意義: 化学療法を円滑に進めるためのガイドライン遵守の計測

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の症例で、入院にてシスプラチンを含む化学療法を受けた、実施日数

分子: 分母の実施日の前日または当日に、5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの3剤すべてを併用した数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入院で新生物と診断された症例

主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ1

ICD- 10 コード	病名
C00-D48	新生物<腫瘍>

2:

このうち、血液腫瘍症例は除外する。主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名に以下のいずれかが含まれる症例を除外する

分母のデータ2

ICD- 10 コード	病名
C81-C96	リンパ組織, 造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>, 原発

3:

このうち、様式1の生年月日、入院日より年齢を求め18歳以上の症例

4:

このうち、抗がん剤としてシスプラチンを受けた症例を対象とし、シスプラチンの実施日を検索する。このとき、シスプラチンは静注用のみを含む。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて解析期間において、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる実施日数。

※注 4291401Dは動注用シスプラチン

分母のデータ4

薬価基準コード8桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
4291401A	シスプラチン	○	○	○	○	○

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く。

分子の定義:

1:

分母の抗がん剤投与日当日あるいは前日に5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾンの3剤がすべて併用されている数。2日間の内、必ずしもいずれかの日にまとめて併用されている必要はなく、2日間に少なくとも3剤がそれぞれ1回以上実施されている場合に分子とする。

E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の3つのカテゴリーについてそれぞれいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる症例。5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾン（いずれも内服もしくは注射）。

分子のデータ1

名称	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
5HT3受容体拮抗薬	2391002	グラニセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391400	グラニセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391001	オndanセトロン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391401	オndanセトロン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391006	オndanセトロン	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391402	アゼセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391005	アゼセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391003	トロピセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391004	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391403	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2399014	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391404	パロノセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391007	インジセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
NK1受容体拮抗薬	2391008	アプレピタント	○	○	○	○	○
NK1受容体拮抗薬	2391405	ホスアプレピタントメグルミン	○	○	○	○	○
デキサメタゾン	2454002	デキサメタゾン	○	○	○	○	○
デキサメタゾン	2454405	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 降順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

ステロイドを使用できない理由がある場合（糖尿病など）、NK1受容体拮抗薬を使用できない理由がある場合（相互作用のある薬剤を内服している）など、低く見積もられる可能性がある

2:

持参薬がデータに反映されていない場合、低く見積もられる可能性がある（2016年度以前は原則持参薬の使用は禁止、以降はEFファイルに登録可能となっている）

参考値:

1:

高度催吐性リスクの化学療法を受けた患者のうち83%が5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾンの3剤併用で予防が実施されていた。（一般社団法人 日本癌治療学会編 制吐剤適正使用ガイドライン2015年10月【第2版】より）

参考資料:

1:

好な治療アドヒアランスを得て化学療法を円滑に進めるために、催吐リスクに応じた予防的な制吐剤の使用は重要である。高度の抗がん薬による急性の悪心・嘔吐に対しては、アプレピタント（もしくはホスアプレピタント）と5HT3受容体拮抗薬およびデキサメタゾンを併用する。（推奨グレードA）シスプラチンは「高度催吐性リスク」に分類される。一般社団法人 日本癌治療学会編 制吐剤適正使用ガイドライン2015年10月【第2版】

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2019-03-06

名称: ストレプトゾシンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与

指標番号:

QIP: 2134

年度: 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-12-20

指標群: 化学療法

名称: ストレプトゾシンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与

意義: 化学療法を円滑に進めるためのガイドライン遵守の計測

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の症例で、入院にてストレプトゾシンを含む化学療法を受けた、実施日数

分子: 分母の実施日の前日または当日に、5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの3剤すべてを併用した数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入院で新生物と診断された症例

主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ1

ICD- 10 コード	病名
C00-D48	新生物<腫瘍>

2:

このうち、血液腫瘍症例は除外する。主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名に以下のいずれかが含まれる症例を除外する

分母のデータ2

ICD- 10 コード	病名
C81-C96	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>、原発

3:

このうち、様式1の生年月日、入院日より年齢を求め18歳以上の症例

4:

このうち、抗がん剤としてストレプトゾシンを受けた症例を対象とし、ストレプトゾシンの実施日を検索する。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて解析期間において、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる実施日数。

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
4219406	ストレプトゾシン	x	x	o	o	o

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く。

分子の定義:

1:

分母の抗がん剤投与日当日あるいは前日に5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾンの3剤がすべて併用されている数。2日間の内、必ずしもいずれかの日にまとめて併用されている必要はなく、2日間に少なくとも3剤がそれぞれ1回以上実施されている場合に分子とする。

E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の3つのカテゴリーについてそれぞれいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる症例。5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾン（いずれも内服もしくは注射）。

分子のデータ1

名称	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
5HT3受容体拮抗薬	2391002	グラニセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391400	グラニセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391001	オndanセトロン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391401	オndanセトロン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391006	オndanセトロン	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391402	アザセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391005	アザセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391003	トロピセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391004	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391403	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2399014	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391404	パロノセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391007	インジセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
NK1受容体拮抗薬	2391008	アプレピタント	○	○	○	○	○
NK1受容体拮抗薬	2391405	ホスアプレピタントメグルミン	○	○	○	○	○
デキサメタゾン	2454002	デキサメタゾン	○	○	○	○	○
デキサメタゾン	2454405	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

ステロイドを使用できない理由がある場合（糖尿病など）、NK1受容体拮抗薬を使用できない理由がある場合（相互作用のある薬剤を内服している）など、低く見積もられる可能性がある

2:

持参薬がデータに反映されていない場合、低く見積もられる可能性がある（2016年度以前は原則持参薬の使用は禁止、以降はEFファイルに登録可能となっている）

参考値:

1:

高度催吐性リスクの化学療法を受けた患者のうち83%が5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾンの3剤併用で予防が実施されていた。（一般社団法人 日本癌治療学会編 制吐剤適正使用ガイドライン2015年10月【第2版】より）

参考資料:

1:

好な治療アドヒアランスを得て化学療法を円滑に進めるために、催吐リスクに応じた予防的な制吐剤の使用は重要である。高度の抗がん薬による急性の悪心・嘔吐に対しては、アプレピタント（もしくはホスアプレピタント）と5HT3受容体拮抗薬およびデキサメタゾンを併用する。（推奨グレードA） ストレプトゾシンは「高度催吐性リスク」に分類される。 一般社団法人 日本癌治療学会編 制吐剤適正使用ガイドライン2015年10月【第2版】

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-12-20

名称: ダカルバジンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与

指標番号:

QIP: 2135

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-12-20

指標群: 化学療法

名称: ダカルバジンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与

意義: 化学療法を円滑に進めるためのガイドライン遵守の計測

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の症例で、入院にてダカルバジンを含む化学療法を受けた、実施日数

分子: 分母の実施日の前日または当日に、5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの3剤すべてを併用した数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入院で新生物と診断された症例

主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ1

ICD- 10 コード	病名
C00-D48	新生物<腫瘍>

2:

このうち、血液腫瘍症例は除外する。主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名に以下のいずれかが含まれる症例を除外する

分母のデータ2

ICD- 10 コード	病名
C81-C96	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>、原発

3:

このうち、様式1の生年月日、入院日より年齢を求め18歳以上の症例

4:

このうち、抗がん剤としてダカルバジンを受けた症例を対象とし、ダカルバジンの実施日を検索する。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて解析期間において、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる実施日数。

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
4219401	ダカルバジン	○	○	○	○	○

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く。

分子の定義:

1:

分母の抗がん剤投与日当日あるいは前日に5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾンの3剤がすべて併用されている数。2日間の内、必ずしもいずれかの日にまとめて併用されている必要はなく、2日間に少なくとも3剤がそれぞれ1回以上実施されている場合に分子とする。

E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の3つのカテゴリーについてそれぞれいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる症例。5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾン（いずれも内服もしくは注射）。

分子のデータ1

名称	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
5HT3受容体拮抗薬	2391002	グラニセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391400	グラニセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391001	オndanセトロン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391401	オndanセトロン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391006	オndanセトロン	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391402	アゼセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391005	アゼセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391003	トロピセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391004	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391403	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2399014	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391404	パロノセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391007	インジセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
NK1受容体拮抗薬	2391008	アプレピタント	○	○	○	○	○
NK1受容体拮抗薬	2391405	ホスアプレピタントメグルミン	○	○	○	○	○
デキサメタゾン	2454002	デキサメタゾン	○	○	○	○	○
デキサメタゾン	2454405	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

ステロイドを使用できない理由がある場合（糖尿病など）、NK1受容体拮抗薬を使用できない理由がある場合（相互作用のある薬剤を内服している）など、低く見積もられる可能性がある

2:

持参薬がデータに反映されていない場合、低く見積もられる可能性がある（2016年度以前は原則持参薬の使用は禁止、以降はEFファイルに登録可能となっている）

参考値:

1:

高度催吐性リスクの化学療法を受けた患者のうち83%が5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾンの3剤併用で予防が実施されていた。（一般社団法人 日本癌治療学会編 制吐剤適正使用ガイドライン2015年10月【第2版】より）

参考資料:

1:

好な治療アドヒアランスを得て化学療法を円滑に進めるために、催吐リスクに応じた予防的な制吐剤の使用は重要である。高度の抗がん薬による急性の悪心・嘔吐に対しては、アプレピタント（もしくはホスアプレピタント）と5HT3受容体拮抗薬およびデキサメタゾンを併用する。（推奨グレードA）ダカルバジンは「高度催吐性リスク」に分類される。一般社団法人 日本癌治療学会編 制吐剤適正使用ガイドライン2015年10月【第2版】

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-12-20

名称: AC (ドキシソルピシン、シクロホスファミド) 療法後の急性期予防的制吐剤の投与

指標番号:

QIP: 2136

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-12-20

指標群: 化学療法

名称: AC (ドキシソルピシン、シクロホスファミド) 療法後の急性期予防的制吐剤の投与

意義: 化学療法を円滑に進めるためのガイドライン遵守の計測

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の症例で、入院にてドキシソルピシン、シクロホスファミドの両薬剤を同日に含む化学療法を受けた実施日数

分子: 分母の実施日の前日または当日に、5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの3剤すべてを併用した数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入院で新生物と診断された症例

主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ1

ICD- 10 コード	病名
C00-D48	新生物<腫瘍>

2:

このうち、血液腫瘍症例は除外する。主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名に以下のいずれかが含まれる症例を除外する

分母のデータ2

ICD- 10 コード	病名
C81-C96	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>、原発

3:

このうち、様式1の生年月日、入院日より年齢を求め18歳以上の症例

4:

このうち、抗がん剤としてドキシソルピシン、シクロホスファミドの両薬剤を同日に実施した症例を対象とし、実施日を検索する。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて解析期間において、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる実施日数。

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
4211401	シクロホスファミド水和物	○	○	○	○	○
4235402	ドキシソルピシン塩酸塩	○	○	○	○	○

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く。

分子の定義:

1:

分母の抗がん剤投与日当日あるいは前日に5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾンの3剤がすべて併用されている数。2日間の内、必ずしもいずれかの日にまとめて併用されている必要はなく、2日間に少なくとも3剤がそれぞれ1回以上実施されている場合に分子とする。

E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の3つのカテゴリーについてそれぞれいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる症例。5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾン（いずれも内服もしくは注射）。

分子のデータ1

名称	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
5HT3受容体拮抗薬	2391002	グラニセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391400	グラニセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391001	オndanセトロン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391401	オndanセトロン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391006	オndanセトロン	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391402	アザセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391005	アザセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391003	トロピセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391004	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391403	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2399014	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391404	パロノセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391007	インジセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
NK1受容体拮抗薬	2391008	アプレピタント	○	○	○	○	○
NK1受容体拮抗薬	2391405	ホスアプレピタントメグルミン	○	○	○	○	○
デキサメタゾン	2454002	デキサメタゾン	○	○	○	○	○
デキサメタゾン	2454405	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

ステロイドを使用できない理由がある場合（糖尿病など）、NK1受容体拮抗薬を使用できない理由がある場合（相互作用のある薬剤を内服している）など、低く見積もられる可能性がある

2:

持参薬がデータに反映されていない場合、低く見積もられる可能性がある（2016年度以前は原則持参薬の使用は禁止、以降はEFファイルに登録可能となっている）

参考値:

1:

高度催吐性リスクの化学療法を受けた患者のうち83%が5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾンの3剤併用で予防が実施されていた。（一般社団法人 日本癌治療学会編 制吐剤適正使用ガイドライン2015年10月【第2版】より）

参考資料:

1:

好な治療アドヒアランスを得て化学療法を円滑に進めるために、催吐リスクに応じた予防的な制吐剤の使用は重要である。高度の抗がん薬による急性の悪心・嘔吐に対しては、アプレピタント（もしくはホスアプレピタント）と5HT3受容体拮抗薬およびデキサメタゾンを併用する。（推奨グレードA） AC（ドキシルピシン、シクロホスファミド）療法は「高度催吐性リスク」に分類される。一般社団法人 日本癌治療学会編 制吐剤適正使用ガイドライン2015年10月【第2版】

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-12-20

名称: EC (エピルピシン、シクロホスファミド) 療法後の急性期予防的制吐剤の投与

指標番号:

QIP: 2137

年度: 2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日: 2018-12-20

指標群: 化学療法

名称: EC (エピルピシン、シクロホスファミド) 療法後の急性期予防的制吐剤の投与

意義: 化学療法を円滑に進めるためのガイドライン遵守の計測

必要データセット: DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約:

分母: 18歳以上の症例で、入院にてエピルピシン、シクロホスファミドの両薬剤を同日に含む化学療法を受けた、実施日数

分子: 分母の実施日の前日または当日に、5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの3剤すべてを併用した数

指標の定義算出方法:

分母の定義:

1:

解析期間に入院で新生物と診断された症例

主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

分母のデータ1

ICD- 10 コード	病名
C00-D48	新生物<腫瘍>

2:

このうち、血液腫瘍症例は除外する。主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名に以下のいずれかが含まれる症例を除外する

分母のデータ2

ICD- 10 コード	病名
C81-C96	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>、原発

3:

このうち、様式1の生年月日、入院日より年齢を求め18歳以上の症例

4:

このうち、エピルピシン、シクロホスファミドの両薬剤を同日に実施した症例を対象とし、実施日を検索する。

Fファイル、もしくはEFファイルにおいて解析期間において、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる実施日数。

分母のデータ4

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
4211401	シクロホスファミド水和物	○	○	○	○	○
4235404	エピルピシン塩酸塩	○	○	○	○	○

5:

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「●」の症例を除く。

分子の定義:

1:

分母の抗がん剤投与日当日あるいは前日に5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾンの3剤がすべて併用されている数。2日間の内、必ずしもいずれかの日にまとめて併用されている必要はなく、2日間に少なくとも3剤がそれぞれ1回以上実施されている場合に分子とする。

E/Fファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の3つのカテゴリーについてそれぞれいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる症例。5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾン（いずれも内服もしくは注射）。

分子のデータ1

名称	薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
5HT3受容体拮抗薬	2391002	グラニセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391400	グラニセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391001	オndanセトロン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391401	オndanセトロン塩酸塩水和物	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391006	オndanセトロン	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391402	アザセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391005	アザセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391003	トロピセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391004	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391403	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2399014	ラモセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391404	パロノセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
5HT3受容体拮抗薬	2391007	インジセトロン塩酸塩	○	○	○	○	○
NK1受容体拮抗薬	2391008	アプレピタント	○	○	○	○	○
NK1受容体拮抗薬	2391405	ホスアプレピタントメグルミン	○	○	○	○	○
デキサメタゾン	2454002	デキサメタゾン	○	○	○	○	○
デキサメタゾン	2454405	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	○	○	○	○	○

薬剤一覧の出力: true

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明): 分子÷分母

指標の算出方法(単位): パーセント

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

ステロイドを使用できない理由がある場合（糖尿病など）、NK1受容体拮抗薬を使用できない理由がある場合（相互作用のある薬剤を内服している）など、低く見積もられる可能性がある

2:

持参薬がデータに反映されていない場合、低く見積もられる可能性がある（2016年度以前は原則持参薬の使用は禁止、以降はEFファイルに登録可能となっている）

参考値:

1:

高度催吐性リスクの化学療法を受けた患者のうち83%が5HT3受容体拮抗薬、NK1受容体拮抗薬、デキサメタゾンの3剤併用で予防が実施されていた。（一般社団法人 日本癌治療学会編 制吐剤適正使用ガイドライン2015年10月【第2版】より）

参考資料:

1:

好な治療アドヒアランスを得て化学療法を円滑に進めるために、催吐リスクに応じた予防的な制吐剤の使用は重要である。高度の抗がん薬による急性の悪心・嘔吐に対しては、アプレピタント（もしくはホスアプレピタント）と5HT3受容体拮抗薬およびデキサメタゾンを併用する。（推奨グレードA） EC（エピルピシン、シクロホスファミド）療法は「高度催吐性リスク」に分類される。一般社団法人 日本癌治療学会編 制吐剤適正使用ガイドライン2015年10月【第2版】

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-12-20